

佐久市立国保浅间総合病院
医療情報システム更新業務仕様書

佐久市立国保浅间総合病院

目 次

1	医療情報システム更新の目的	
(1)	医療の質的向上	2
(2)	患者サービスの向上	3
(3)	チーム医療の推進	3
(4)	経営の健全化への寄与	4
(5)	地域医療への貢献	5
2	医療情報システム更新の基本方針	
(1)	システム基本方針	7
(2)	システム化基本条件	8
(3)	システム構築の考え方（具体的な方策、システム機能及び課題）	12
(4)	現行の医療情報システムの課題について	14
3	医療情報システムの更新範囲	
(1)	対象業務範囲	17
(2)	システム関連図（現行システム範囲）	19
(3)	システム関連図（システム更新範囲）	20
4	システム機能	
(1)	電子カルテシステム	22
4.1.1	共通事項	23
4.1.2	患者選択	37
4.1.3	病名登録オーダー	42
4.1.4	予約オーダー	45
4.1.5	病床管理機能	50
4.1.6	基本オーダー	54
4.1.7	処方オーダー	63
4.1.8	注射オーダー	69
4.1.9	服薬指導オーダー	75
4.1.10	処置オーダー	76
4.1.11	検体検査オーダー	80
4.1.12	生理検査オーダー	87
4.1.13	輸血検査オーダー	91
4.1.14	病理検査オーダー	94
4.1.15	細菌オーダー	96
4.1.16	透析オーダー	99
4.1.17	画像・内視鏡検査オーダー	102
4.1.18	手術オーダー	108
4.1.19	リハビリテーションオーダー	113
4.1.20	食事オーダー	115
4.1.21	栄養指導オーダー	120
4.1.22	レジメンオーダー	124

4.1.23	診療記録作成	128
4.1.24	看護支援	135
4.1.25	3点認証	152
4.1.26	クリニカルパス	153
4.1.27	チーム医療	158
4.1.28	文書作成	160
4.1.29	承認	162
4.1.30	血糖測定器連携	164

(2) 部門システム

4.2.1	画像ファイリングシステム	169
4.2.3	眼科システム	173
4.2.4	聴力検査システム	182
4.2.5	歯科システム	185
4.2.7	手術映像システム	197
4.2.8	薬剤部門システム (DI システム含む)	198
4.2.9	服薬指導システム	201
4.2.10	検体検査システム	210
4.2.11	細菌検査システム	211
4.2.12	輸血検査システム	220
4.2.13	採血管準備システム	223
4.2.14	生理検査システム	226
4.2.15	病理検査システム	229
4.2.16	透析管理システム	230
4.2.17	放射線検査部門システム	231
4.2.18	リハビリテーション部門システム	272
4.2.19	給食システム	285
4.2.20	NST システム	291
4.2.21	イントラネットシステム	300
4.2.22	勤怠管理システム	315
4.2.23	医事会計システム	333
4.2.24	レセプト返戻分析システム	370
4.2.25	診察券発システム	371
4.2.26	再来受付システム	372
4.2.27	外来案内表示システム	377
4.2.28	POS・自動精算機	382
4.2.29	DPC コーディングシステム	383
4.2.31	DWH	386
4.2.32	健康管理システム	394
4.2.33	医療相談システム	418
4.2.34	地域医療連携システム	420
4.2.35	ID-LINK	422
4.2.36	インシデントシステム	423
4.2.37	感染管理システム	431
4.2.38	血糖測定装置	433

5	障害対策	
(1)	障害対策	434
6	セキュリティ対策	
(1)	個人認証	437
(2)	アクセス制限	438
(3)	データの改ざん防止	438
(4)	ウィルス対策	438
(5)	無線 LAN のセキュリティ	439
(6)	その他	439
7	導入計画	
(1)	基本方針	441
(2)	導入（稼動）スケジュール	441
(3)	段階ごとの業務内容及びサポート体制	441
8	移行計画	
(1)	移行計画	444
(2)	移行対象業務	444
(3)	移行対象業務の業務分担及びサポート体制	445
(4)	移行対象データ	446
9	運用（保守）計画	
(1)	運用（保守）体制及び業務内容	448
(2)	医療情報システムの運用（保守）	448
(3)	ソフトウェアの保守・管理	448
(4)	ハードウェアの保守・管理	449
(5)	研修・教育の実施	449
(6)	マニュアルの納品	449
10	機器構成	
(1)	ハードウェア機器選定の基本方針	451
(2)	ネットワーク構築の基本方針	453
(3)	ネットワーク系統図	465
11	見積範囲	
(1)	見積範囲	473

1 医療情報システム更新の目的

1 医療情報システム更新の目的

佐久市立国保浅間総合病院（「以下「浅間総合病院」という。」）の医療情報システム更新にあたり、次の5点を目的とする。

請負業者は、この目的を達成するために必要となる全ての業務について、浅間総合病院と協調し誠実かつ確実に業務の執行にあたらなければならない。

- 1 医療の質的向上
- 2 患者サービスの向上
- 3 チーム医療の推進
- 4 経営の健全化への寄与
- 5 地域医療への貢献

(1) 医療の質的向上

医療の質的向上は、診療レベルを左右する大きな課題である。この課題を放置することは、医療機能の低下を招くとともに、医療過誤の発生にもつながり、患者の病院に対する信頼を失うばかりでなく、病院経営上多大な影響を及ぼしかねない事項である。

医療の質的向上に寄与する機能を確保するため次の事項に留意すること。

ア 診療支援機能の確立

「診療の質的向上」を第一の目的とする。そのためには患者情報の分析とそれに基づく意思決定への介入機能が重要であるが、患者の所見や病名、プロブレムリスト、アセスメントなどが必要となる。

そのため新医療情報システムの導入により、診療記録の質的向上のための機能を確立し、簡便な操作により適切な入力支援を行い、入力内容の標準化、患者のあらゆる診療データを必要に応じ提供できるようにするなど、診療を支援する機能の確立を行う。

イ 効率的、効果的な症例検討機能

それぞれの症例において、どのような治療が有効であるかを検討することは医療技術の向上ばかりでなく、医療経営上も有効である。これを効率的に検討するために、日常診療において診療データの蓄積や疾病ごとの分類を行う。

また、地域の中核的な病院として、病院・診療所・病診連携を積極的に進めていく中において、蓄積する診療データは標準的な様式で記録し、共通のデータベースでの分析が可能のようにし、施設間でのデータ交換と共有が可能になるように対応する。

(2) 患者サービスの向上

患者サービスの向上は、患者の病院に対する評価に直接的に影響するものであり、これを怠ると、医療の質的向上に関する課題と同様の結果が予測される。

患者サービスの向上に寄与する機能を確保するため次の事項に留意する。

ア 適切なインフォームド・コンセントの推進（診療データベースの活用）

医療が、かつてのような医師等からの一方的なものから、医師と患者が共同して治療に取り組むものへと変貌する中で、患者に十分な情報を提供し、患者自身による選択と決定により、患者が納得した上で医療を行うというインフォームド・コンセントが、ますます重要となってきている。

こうした基本的姿勢を院内に確立する上で、医療情報システムでは電子カルテ画面による患者説明（検査結果のグラフ化、診察室への画像提供等）の充実のために診療記録、看護記録、検査結果、画像などをスムーズに表示することで、説明支援を行いやすい環境を構築する。

(3) チーム医療の推進

当院では、一人ひとりの患者さんの状態に合わせて、さまざまな職種の職員が連携し、治療やサポートを進めていく「チーム医療」を実施しています。病院内の職員が協働して、患者さんにとって、よりよいチーム医療を推進していく必要があります。

チーム医療の推進を図る機能を確保するため次の事項に留意すること。

ア 従来、チーム医療で管理すべき患者の情報はチーム関係職員間でしか共有されておらず、他の職員が情報をとらえることが困難でした。チーム医療推進のため、チーム医療に関係する患者の登録、介入、終了などの状況把握、これを必要とする病院職員間で情報共有できること。

イ ユニット型クリニカルパスで医療の質・安全性の向上を目指し、患者様の容態変化に柔軟に対応可能することを目的とした機能を有し、手術に対するバリエーションなどを予め考慮し、選択可能な診療行為を複数用意することで患者様の様々な容態対応を可能とし、チーム医療の推進を支援できること。

また、術前／術後などにおいて予想される患者さんの状態変化に対応するユニットを作成しておくことにより、柔軟なユニット組み換えが可能となり、医療の標準化による質の向上をはかり、チーム全員が最終アウトカムを意識して行動できる機能を有するよう対応すること。

(4) 経営の健全化への寄与

経営に関する課題は、材料費等の費用の増加、収益の減少など、直接的に病院経営に対して影響を与える問題である。

経営の健全化に寄与する機能を確保するため次の事項に留意すること。

ア 病床の効率的利用

病床を新医療情報システムにより DPC 対象患者の入院状況ならびに一般患者の入院状況を適切に管理し、病院全体の病床利用状況や入退院、転科・転棟の状況を把握できるようにし、病床の回転率を高め、医療資源の有効利用を図り、経営に資することとする。

また、救急患者や紹介患者の入退院手続きを迅速に行えるようし、患者サービスの向上を図り、外部へ情報公開することにより、連携医療機関等による地域包括ケア病棟の利用促進を図る。

イ 経営改善につながる適切な記事記録と確実な算定機能

多忙な診療状況が原因で記事内容の不足や病名記入忘れを発生することがあり、適切な収入を得ることができない場合がある。これらを防ぐために、提供した医療サービスを適切に入力するための支援機能を持ち、算定漏れを防止する機能を有すること。

ウ 事務の効率化

紙による保存が必要な状況を改善し、できるだけシステム内に情報を残せる仕組みを構築すること。これにより現在発生している搬送業務を減らし、事務作業の効率化を図ることにより、各職員が本来の業務に集中できる環境を構築すること。

エ 請求漏れ

請求漏れ防止の改善策として、イに示した適切な入力内容を基に請求漏れが発生しやすい医療行為の確実な記録を行うとともに、請求漏れの無い機能を実現できること。

査定減点防止の対応策としてコンピュータによるチェック機能を実現できること。レセプト請求後に生じた返戻情報を分析し適切な返戻業務支援機能を実現できること。

(5) 地域医療への貢献

地域医療室は、市立病院として、また地域の中核病院の一つとして市の施策に沿った医療を提供するとともに、病院連携を緊密にして地域で協力しあって医療を支える体制づくりを進めるために設置されています。

今後も連携室の機能の充実を図り、地域に開かれた病院として、いっそうの信頼関係の構築や病診連携に努め、地域の中核病院として、地域医療への貢献が更に求められてくる。

地域医療への貢献に寄与する機能を確保するため次の事項に留意すること。

ア 他の病院との連携を推進

限りある医療資源の効率的活用を図っていくためには、各々の病院がそれぞれの特性に応じて、相互に機能分担と連携を図ることができるシステムの構築を目指さなければならない。地域の参加医療施設間をインターネット回線で接続し、それぞれの施設が保有している診療情報の相互参照を可能としている。

現在運用中の「ID-LINK」との接続を行うこと。

イ 地域における連携の推進

浅間総合病院は、地域の中核的病院として、連携機能を発揮していくことが強く求められている。

地域の医療機関等との連携推進や医療相談に来られる患者さんとのコミュニケーションを図るためにも事務業務の効率化を図り、地域医療室が病院の顔として窓口業務に集中できる環境を構築すること。

2 医療情報システム更新の基本方針

2 医療情報システム更新の基本方針

本システムの導入にあたり、電子カルテシステム及び各部門システム等を含む浅間総合病院医療情報システムが、今後提供される全ての機能強化（バージョンアップ）に対応できることを基本とし、導入及びシステム強化を行う。

(1) システム基本方針

医療情報システムの更新にあたり、次の事項の性能・機能確保を基本的な方針として進めていくこととする。ただし、各論において別途記述されている事柄については、各論の内容を優先することとする。

ア 操作性の確保

(ア) 利用者にとって操作しやすいシステムを実現するため、ニーズに応じた入力・表示ツールを提供すること。

また、システム全体を通じて一貫した操作性を有すること。

(イ) システム間で情報を共有し、一度入力した情報は利用可能とするよう情報を一元化すること。

(ウ) 診療情報を十分に利活用できる仕組みを構築する。部門システムとの連携を強化し伝票運用を減らすこと。

(エ) 紙記録を減らすためのシステムを提供すること。また、紙運用を削減するための運用提案を行うこと。

イ 信頼性の確保

(ア) システムは十分な障害及び災害対策がなされており、病院業務に極力支障を来さずに保守・復旧ができること。

(イ) システムのセキュリティが万全であり、診療データの機密保護が徹底されたシステムを構築すること。

ウ 拡張性の確保

(ア) 将来のシステム更新や、新しい機能の拡張が容易に行えること。

バージョンアップされた場合には情報提供を行い、バージョンアップが可能なこと。(別途費用なし)

(イ) 蓄積されたデータは次世代システムでも継承し、利用できること。

(ウ) 地域の医療関連機関や市町村の保健・福祉施設等とのネットワーク化を視野に入れたシステムを目指すこと。

(エ) 最適なパフォーマンスを維持するために、適切な対応（チューニング・DB再

編成など)が容易に行えること。また、適切なシステム構造にすること。

エ 経済性の確保

- (ア) 病院機能を効果的に支援し、業務の省力化を図ること。
- (イ) 省エネルギー、省スペースに配慮すること。
- (ウ) 費用対効果を重視し、病院経営を圧迫することがないものとする。
- (エ) 紙の出力を極力減らし経営負担を軽減すること。

オ データ移行

- (ア) 各種診療データおよびマスタについては、既存システムベンダーが情報を提供すること。

(2) システム化基本条件

ア システム全般

(ア) 稼働形態

本システムは24時間、365日安定稼働が保証されたシステムであること。

(イ) 処理形態

処理形態は、クライアント/サーバー型の分散処理を基本とする。

(ウ) 通信手段

ネットワークに接続されるサーバー、端末、プリンター間の通信手段はTCP/IP手順とする。

(エ) 既存システムとの接続

各部門で導入予定、またはすでに導入済みの医療機器で、その情報が有効に利用できると思われるものは、必要に応じて本システムとの接続を考慮すること。

イ 業務支援機能

- (ア) 日常業務において、極力運用上の制限がないこと。特にある日常業務を行っている間は、他の日常業務は起動できない等の状況が発生しないこと。
- (イ) 個々の業務の処理は高速であること。クライアント端末のレスポンスタイムは、基本的には画像も含めて概ね3秒であること。
- (ウ) 画面展開、入力、表示方法は柔軟性があり、操作が容易であること。
- (エ) 操作は、選択項目の候補表示、番号入力などの極力簡単な方法であること。また、各種検索機能が提供されていること。
- (オ) 入力方式は、入力内容に応じてペン、マウス、タッチパネル、キーボード等から適した方式を選択できるようにすること。
- (カ) 日本語処理(かな・ローマ字漢字変換、辞書作成)が可能であること。

また、汎用性のある効率的で最新のF E P（フロントエンドプロセッサ）を用いること。

- (キ) 辞書は、基本辞書に医療用語・人名・地名辞書、その他すべてを統合させたものを利用できる仕組みを有すること。
- (ク) 辞書はどの端末を利用してもログイン者の辞書を利用できること。
- (ケ) 入力支援機能が充実していること。
 - ・ヘルプ画面
 - ・ガイダンス機能
 - ・定型コメント選択
 - ・テンプレート機能 等

ウ システム管理・情報処理業務

- (ア) 各種マスタやプログラム制御テーブルを有し、病院職員によるメンテナンスが容易に可能であること。
- (イ) ディスク内に保存されているデータ等に対応するマスタ類及びアプリケーションプログラム等はすべて世代管理が行われ、遡り処理が可能であること。また、ディスクからのデータ退避保存時には、復元時に正常に稼働できる環境も合わせて保存できること。
- (ウ) エンドユーザが、容易に画面等を自主設定できる環境を保証すること。
- (エ) 各種データの検索は、単項目及び複数項目で容易に可能なこと。また、マスタ入力だけでなく、手入力項目であっても検索可能であること。検索したデータは、汎用のアプリケーションソフトへ抽出できること。
- (オ) 日常のデータ保存用の媒体は、データ量に応じて十分な容量をもつものとし、バックアップはNASで取得すること。
- (カ) 診療運用上必要なデータは、半永久的に保存し、そのデータの呼び出しの際には、優れた応答性で抽出できること。
- (キ) システムの運転開始及び終了のスケジュール管理機能を有し、自動運転（電源投入～設定業務起動／業務終了～終了処理～バックアップ処理～電源切断）が可能なこと。

また、設定変更は容易で、1年以上のスケジュール管理が可能であること。
- (ク) 週次処理、月次処理、年次処理としてデータ整理等の作業は、システムごとに行き、システム全体の停止を来さないこと。
- (ケ) ホスト及びサーバー系において、次の機能を有すること。
 - a バッチ処理、リモートバッチ処理、オンライン処理、トランザクション処理等が同時に多重並行処理できること。
 - b データ入力系画面や、システム内の各種ファイル及びデータを使用した汎用レポートの作成が容易にできる環境が提供されていること。

- c 統計資料及び帳票の作成等の定型的な業務に関しては、手順を登録し自動実行できること。未定型の書類は汎用ソフトを利用して作成可能なこと。
- d 将来的なシステム化対象業務の追加、診療形態の変更に対して、システムを長時間停止することなく、ハードウェア及びソフトウェアの追加・更新ができること。

また、法改正等に伴うシステムの更新も同様に行えること。

エ ソフトウェア

- (ア) 基本ソフトウェア（OS）は、当院の導入対象業務を処理する性能を有していること。
- (イ) データベースサーバー、アプリケーションサーバーのOSは、オープン環境下のスタンダードなものを使用すること。また、開発途中で陳腐化することがないように十分な実績があり、かつ将来においてもその発展が見込まれるものであること。
ならびに、端末（クライアント）のOSは使用目的に最適なものを使用可能とすること。
- (ウ) 各種システム及び機器等との接続が可能であり、情報の受け渡しができること。
- (エ) 病院医療情報システム端末間で、グループウェア、電子メール、掲示板機能が使用可能なこと。

オ ハードウェア

- (ア) 本システムのハードウェアは、当院の導入対象業務を処理できる必要な性能を有していること。
- (イ) データ量の増加や、システム拡張時に対応するため、サーバーは周辺機器の増設、フィールドグレードアップ（同機種での性能アップ）が可能であること。
- (ウ) 調達するサーバー類は当院が用意するサーバー室に設置すること。また、必要な配線及び設置に関わる作業、費用は当院と打ち合わせを行い、応札者が実施すること。
- (エ) 調達システムのサーバーは可能なかぎり仮想化し集約すること。

カ ネットワーク

- (ア) 各部門システムをLAN（Local Area Network）で結び、総合的な病院医療情報システムを構築する。LANを構成する幹線、支線は医療情報システムのレスポンスに支障を来さないようにすること。
- (イ) システム全体を通じて、ネットワーク機器や端末等の稼働状況を中央管理できること。

キ セキュリティ

- (ア) ホスト及びサーバー系においては、停電や電圧の変化を感知し、自動的に正常な電源停止が行える機能を有すること。
- (イ) システム障害回復、エラー自動訂正、命令再試行、装置監視等のハードウェア機能を有すること。
- (ウ) 障害の局所化を図る機能を有すること。
また、回復後の自動リカバリ、自動リスタート機能を有すること。
- (エ) データ保護のための機能として、バックアップや、ファイル更新ログを使用したリカバリ等の機能を有するとともに、更新のタイミングによって、データの整合性が失われたり、デッドロックが発生したりしないこと。
- (オ) システムログが記録・保存でき、障害発生時には迅速に原因調査・復旧作業を行えること。
- (カ) システムは、院内各部門から入力されたデータをその性質に応じて集中または分散管理するとともに、病院業務全体を通じて十分な整合性が保証されていること。
- (キ) 保守契約先から通信回線を介して接続し、障害情報等の授受とそれに基づく解析・診断等の措置が図れる機能を有すること。
ただし、機密保護に対して十分な対策が講じられていること。
- (ク) 機密保護、データ保護等のファイル管理、パスワード等のアクセス管理など高度なセキュリティ機能を有すること。
- (ケ) 業務の種類・内容及び操作者によって、各情報に最適なセキュリティをかけることができること。さらに、それぞれの条件下で、権限（検索照会権、新規入力権、更新修正権）レベルを分けることができること。
- (コ) ノート型ユーザ端末については盗難防止用の処置が講じられていること。
- (サ) ウィルス対策が十分講じられていること。
- (シ) 外部からの不正アクセスに対する対策が十分講じられていること。

ク 設置条件

- (ア) 本システムは、浅間総合病院に設置するものとする。
- (イ) 設置環境を配慮した防護対策を講じること。
- (ウ) 導入機器の搬入、据え付け、調整等は導入計画に支障を来さないこと。

ケ データ移行

- (ア) 現行システムで蓄積されたテーブル、マスタ等の各種データ及び入出力帳票等は、新システムにおいても利用可能であること。
- (イ) 移行にあたっては、現行業務の中断及び運用の変更を必要とせず新システム稼働までに確実にできること。

(ウ) 全てのデータ（移行されたデータを含む。）は、病院職員が簡易に検索、抽出し、ユーザ端末に取り込むことができること。

また、取り込まれたデータは、ユーザ端末の市販ソフトウェアで自由に利用できること。

コ その他

(ア) 診療データはMML (Medical Markup Language) S S - M I X 2 規格による書き出し、取込み又インターフェースを利用した HL 7 (Health Level17) 規格によるデータの取出しができること。

(イ) 端末上で展開されるすべての画面はハードコピー（プリントアウト）がとれること。

(ウ) 国が指定する標準規格を用いて相互に連携可能な電子カルテシステムを目指すこと。

(エ) 業務遂行上必要と認められるもので、仕様書の解釈に疑義を生じた事項、並びに仕様書に明記していない事項については、当院と協議の上決定すること。

(3) システム構築の考え方(具体的な方策、システム機能及び課題)

ア システム構築の視点

医療情報システムの整備は、短期的な問題点の改善に留まるものではなく、将来にわたって地域における保健・医療・福祉・介護体制の中核を担うべき機能向上に資するものでなければならない。

また、電子カルテシステムを導入することにより、診療情報の完全電子化を図り、情報公開や地域医療機関との診療情報の共有が容易に行え、地域医療の質的向上に寄与するシステムを目指すこと。

また、医療情報システムを導入したことによる職員の負担増や、病院経営を圧迫することなどがあってはならない。

こうした観点からシステム整備にあたっては、次の三つの視点を基本に据える。

- 1 病院機能の向上に資するシステムであること。
- 2 情報公開及び地域における医療機能連携に寄与するシステムであること。
- 3 費用対効果の高いシステムであること。

イ システム構築の基本的な考え方

システムの構築にあたっては、現行の問題点の解消を図るとともに、職員の要望に対して可能な限り対応することを最優先とすること。

(ア) システムの安定稼働

一般的に、規模の大きい医療情報システムが稼働する際には、システムの不具合等が発生することがあり、最悪の場合、システムの停止等により、診療に支障を来すことも考えられるので、稼働に際しては、安定稼働を図り、システムの障害等の危険性を最小限のものとするために慎重に導入を行うこと。

(イ) 利用者の習熟度

職員により習熟度の差があるため、新システムの稼働においてはスムーズな立ち上がりを期するために十分な習熟期間を取りサポートすること。

(ウ) 人的資源の有効活用

システム開発や、それに伴う各種マスタ（病名マスタ、薬剤マスタ等）、セット等の整備などにより、多大な負担がかかるものと思われるので、限られた人的資源等を効果的に活用するとともに、十分な準備期間を確保すること。

(エ) 診療の質の向上

診療の質の向上には診療時の記録の質向上が不可欠であるが、記載すべき事項が多岐にわたり記載漏れが発生しやすくなっており、入力時において必要事項を入力する支援の仕組みを構築すること。

(オ) 経営の質の向上

正しい経営状況とするために、行った診療に対して算定漏れなどにならないような支援の仕組みがあること。

(カ) ノンカスタマイズでの導入

低コストかつシステム安定を得るためにノンカスタマイズでの導入をすること。

(キ) 紙運用の低減

診療録は電子カルテ化されているが、様々な文書が紙運用となっており、紙保存となっているものが多い。電子カルテの3原則を担保し、作成した文書を検索、保存しやすい環境を構築し診療支援に資すること。

(ク) WEBシステムとの連携

当院は、PACSを始め結果参照するためにWEBシステムが導入されている。よりわかりやすく検索するために統合画像ファイリングシステムを導入し、結果参照を行いやすくすることで、診療の質の向上を図ること。

(ケ) データベースの開示

DWHの情報のみでは病院の欲しいデータを検索することができないこともある。次期システムにおいてはデータベースの開示を求めるものとする。

(4) 現行の医療情報システムの課題について

具体的な事例を示すので解決策を提示すること。

(ア) 紙運用の低減を図ること

- ・電子カルテに文書作成の機能がないためファイルメーカーを利用している。
- ・プレビュー機能操作が煩雑で印刷している。
- ・手術予定などの各種一覧を、簡単に見ることが出来ないため印刷している。
- ・指示簿機能が不足しており、伝票運用となっている。

(イ) 情報管理機能の追加、改善を行うこと

- ・閲覧制限がないため、特別な事情のある患者カルテが誰でも見えてしまう。

(ウ) 検索方法の簡素化を行うこと

- ・患者の重要情報

(エ) オーダー機能不足の改善を行うこと

- ・オーダー種が独立していないため誤ったオーダーが出てしまう。
- ・オーダーの重複が防げていない。
- ・必須項目のチェック機能が不足しており、オーダー内容に不備があっても登録が可能である。
- ・D○機能の不備があり修正ができない。
- ・検体検査オーダーが、個別（グループ毎）にできない。

(オ) 電子カルテの記事内容の機能改善を行うこと

- ・カルテの記事記載機能が不足しており、必要事項が漏れてしまうことがある。
- ・記事内容が不足した場合に算定が不足してしまうことがある。

(カ) 算定誤りをしないように、医事会計システムの算定チェック機能の改善を行うこと。

(キ) システム側の統計機能不足によりDWHを駆使する必要があるため、統計

機能不足の改善。

(ク)画面のどこにどのような機能があるのか、操作性がわかりやすいこと。

3 医療情報システムの更新範囲

3. 医療情報システム更新範囲

(1) 対象業務範囲

以下のシステムを調達範囲とし、ソフトウェア・ハードウェア・ネットワークの見積を行うこと。
「連携のみ」の場合は、相手側システムの連携費用を見込むこと。

《導入区分の説明》

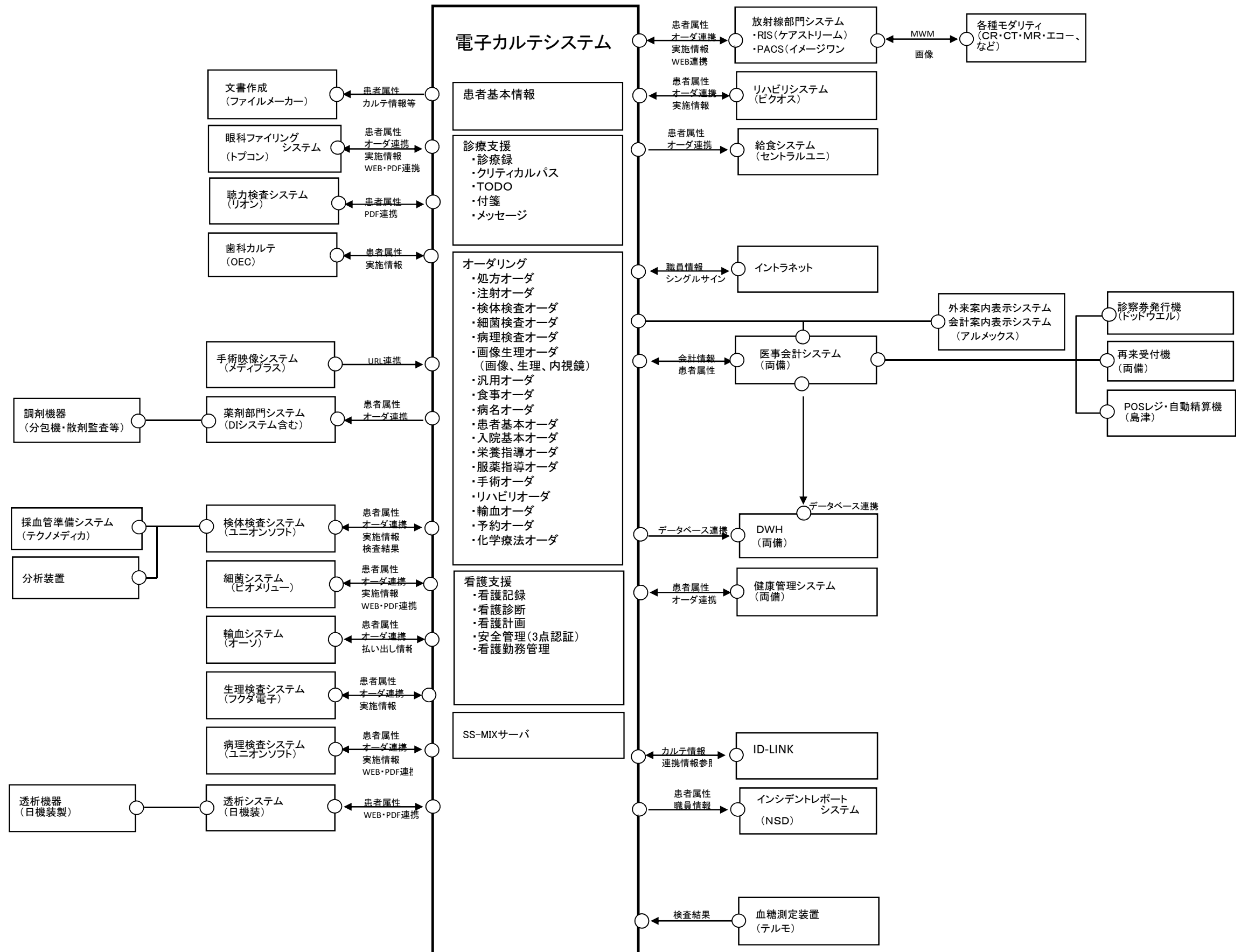
- ・「システム更新」・・・ベンダーの変更を考慮し更新するシステム。
- ・「バージョンアップ更新」・・・既存システムを最新バージョンに更新するシステム。
- ・「ハードウェア更新」・・・ハードウェアのみを更新するシステム。
- ・「新規導入」・・・現在未導入のシステムで、病院が新たに導入したいシステム。
- ・「連携のみ」・・・既存システムと連携のみ行う。

	次期システム一覧表	導入区分	現在導入システム一覧表
1	電子カルテシステム (オーダーリング・看護支援機能を含む)	システム更新	電子カルテシステム (オーダーリング・看護支援機能を含む)
2	画像ファイリングシステム	新規導入	
3	眼科システム	バージョンアップ更新	眼科システム
4	聴力検査システム	バージョンアップ更新	聴力検査システム
5	歯科システム	バージョンアップ更新	歯科システム
6	手術映像システム	連携のみ	手術映像システム
7	薬剤部門システム (D Iシステムを含む)	ハードウェア更新	薬剤部門システム (D Iシステムを含む)
8	服薬指導システム	新規導入	
9	検体検査システム	連携のみ	検体検査システム
10	細菌検査システム	バージョンアップ更新	細菌検査システム
11	輸血検査システム	バージョンアップ更新	輸血検査システム
12	採血管準備システム	バージョンアップ更新	採血管準備システム
13	生理検査システム	ハードウェア更新	生理検査システム
14	病理検査システム	連携のみ	病理検査システム
15	透析管理システム	連携のみ	透析管理システム
16	放射線検査部門システム	システム更新	放射線検査部門システム
17	リハビリテーション部門システム	バージョンアップ更新	リハビリテーション部門システム
18	給食システム	システム更新	給食システム
19	N S Tシステム	新規導入	
20	イントラネットシステム	システム更新	イントラネットシステム
21	勤怠管理システム	新規導入	
22	医事会計システム	システム更新	医事会計システム
23	レセプト返戻分析システム	新規導入	
24	診察券発行システム	連携のみ	診察券発行システム
25	再来受付機	システム更新	再来受付機

	次期システム一覧表	導入区分	現在導入システム一覧表
26	外来案内表示システム	システム更新	外来案内表示システム
27	POS・自動精算機	連携のみ	POS・自動精算機
28	DPCコーディングシステム	新規導入	
29	DWH	システム更新	DWH
30	健康管理システム	システム更新	健康管理システム
31	医療相談システム	新規導入	
32	地域連携システム	新規導入	
33	ID-LINK	連携のみ	ID-LINK
34	インシデントシステム	バージョンアップ更新	インシデントシステム
35	感染管理システム	新規導入	
36	血糖測定器	連携のみ	血糖測定器

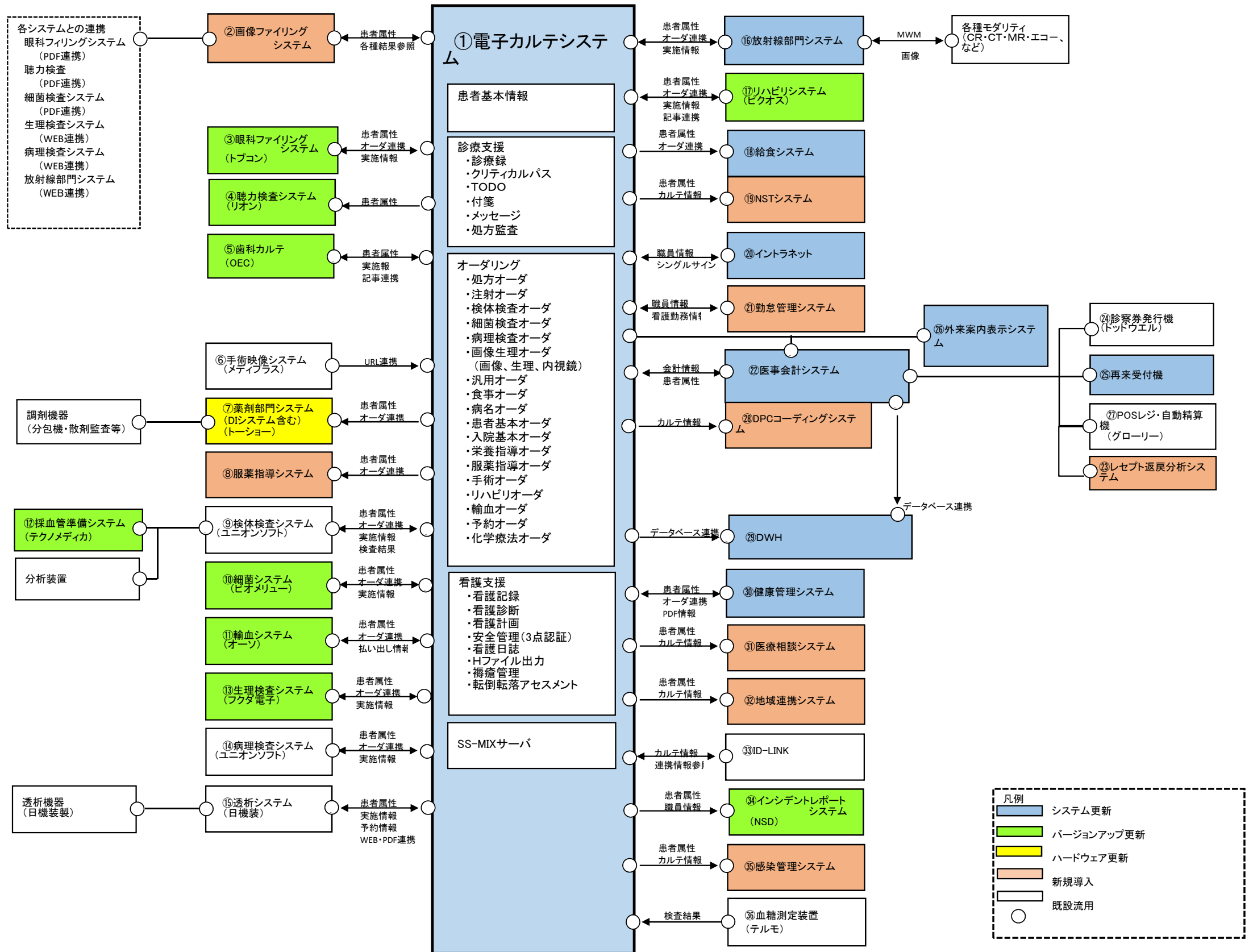
3 導入範囲

(2)システム関連図
・現行システム範囲



3 導入範囲

(3)システム関連図
・システム更新範囲



佐久市立国保浅间综合病院

医療情報システム要求仕様書

4 システム機能

(1)電子カルテシステム

佐久市立国保浅间综合病院

4 システム機能

4.1 電子カルテシステム

4.1.1	共通事項	23
4.1.2	患者選択	38
4.1.3	病名登録オーダー	43
4.1.4	予約オーダー	46
4.1.5	病床管理機能	52
4.1.6	基本オーダー	57
4.1.7	処方オーダー	67
4.1.8	注射オーダー	74
4.1.9	服薬指導オーダー	80
4.1.10	処置オーダー	81
4.1.11	検体検査オーダー	85
4.1.12	生理検査オーダー	92
4.1.13	輸血検査オーダー	97
4.1.14	病理検査オーダー	100
4.1.15	細菌検査オーダー	102
4.1.16	透析オーダー	105
4.1.17	画像・内視鏡検査オーダー	108
4.1.18	手術オーダー	114
4.1.19	リハビリテーションオーダー	119
4.1.20	食事オーダー	121
4.1.21	栄養指導オーダー	126
4.1.22	レジメンオーダー	130
4.1.23	診療記録作成	134
4.1.24	看護支援	141
4.1.25	3点認証	159
4.1.26	クリニカルパス	160
4.1.27	チーム医療	165
4.1.28	文書作成	167
4.1.29	承認	170
4.1.30	血糖測定器連携	172

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.1	共通事項					
4.1.1.1	共通			・本院に導入する予定の医療情報システムのパッケージは、トラブル時の迅速な対応、直接サポートができること。		
4.1.1.2				・厚生労働省の電子保存に関する3原則を満たすシステムであること。		
4.1.1.3				・複数の導入実績を有すること。		
4.1.1.4				・導入する各システムはパッケージを基本とし、ノンカスタマイズで導入すること。		
4.1.1.5				・電子カルテ・オーダ・看護支援の各機能において1データベースとして管理していること。		
4.1.1.6				・発生源入力を原則とする医師および看護師等による入力形態で、容易に運用できるシステムであること。		
4.1.1.7				・利用者指向でメンテナンス性の高いシステムであること。		
4.1.1.8				・基幹システムと連動したDWHが付加できるシステムであること。		
4.1.1.9				・オーダ履歴画面において指示医名が表示されていること。		
4.1.1.10				・操作者毎に各画面のフォント、フォントサイズを記憶する機能を有すること。		
4.1.1.11				・DAS28を電子カルテに張り付けることが可能なこと。		
4.1.1.12				・DAS28を電子カルテと一緒に参照可能なこと。		
4.1.1.13				・外来基本カードを出力する仕組みを有すること。		
4.1.1.14				・外来基本カードは診療科毎に印刷するしないの設定が可能なこと。		
4.1.1.15		セット		・各種マスタの変更は病院職員が容易にできること。		
4.1.1.16				・各種セット等の変更は病院職員が容易にできること。		
4.1.1.17				・院内共通、科別および医師別で頻繁にオーダされる診療内容をグループ化してセットとし、オーダ登録が簡便にできること。		
4.1.1.18				・また、セットの登録については、職種による制限ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.1.19				・科別および医師別の3種類以上の区分に分けて、薬剤セット、オーダーセット、必要時セットを登録できること。		
4.1.1.20				・セットの登録とその利用はセット機能として共通化し、複数オーダー種の組み合わせが可能なこと。		
4.1.1.21				・対象セット項目(オーダー種)として、病名、処方、検体検査、画像生理、注射および処置、指導が登録可能なこと。		
4.1.1.22				・セットにおいては、日付を複数組み合わせた時系列セットも登録可能なこと。		
4.1.1.23				・時系列セットにおいてオーダー登録が可能なこと。		
4.1.1.24		連携・その他		・すべての部門システムと電子カルテをの連携を行うこと。		
4.1.1.25				・連携については、当院各部門、部門システムベンダと十分な協議を行い、円滑かつ安全な連携作業を行うこと。		
4.1.1.26		排他制御		・医師看護師その他患者に関わる病院スタッフが情報共有できるよう、電子カルテシステム(オーダーリング機能/看護師援機能含む)は1患者のカルテを複数の場所から同時に参照入力できること。		
4.1.1.27				・同時参照について以下の設定が可能なこと。 <ul style="list-style-type: none"> ・許可しない ・参照のみ可能 ・参照と新規オーダー登録のみ可能 ・オーダー単位でチェック可能 		
4.1.1.28				・同時参照しているすべての操作者(端末)に対し、リアルタイムに以下の情報が表示可能なこと。 <ul style="list-style-type: none"> ・端末名 ・操作者名 ・登録中のオーダー種 		
4.1.1.29				・同時参照している場合において同一のオーダーを操作しようとした際にチェックがかかること。		
4.1.1.30				・同時参照している場合において同一のオーダー種を登録しようとした際にオーダーの登録前でもチェックがかかること。		
4.1.1.31				・複数患者のカルテ画面を同時に表示・操作可能なこと。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.1.32				・操作中にエラーなどにより、カルテ画面が停止しても登録中のデータの復旧が可能なこと。		
4.1.1.33		重要コメント		・重要なコメントについてすべての画面の最前面に表示可能なこと。		
4.1.1.34				・1クリックで表示非表示が可能なこと。		
4.1.1.35				・参照可能な職種を設定できること。		
4.1.1.36				・表示期限を設定できること。		
4.1.1.37		操作研修		・当院の準備する研修室もしくは病院内の臨時研修室にて操作教育を行うこと。		
4.1.1.38				・病院からの要請があった場合、毎年4月に新任医師等への操作説明に3日間訪問すること。		
4.1.1.39				・操作マニュアルを作成し納品すること。		
4.1.1.40		導入体制		・円滑なシステム本稼働を実現する為に、他病院において電子カルテシステム開発経験のあるSEによる開発体制を整備すること。		
4.1.1.41				・運用検討は、運用検討ワークシートなどを作成し、ワークシートを元に選択形式で効率良く取り決めが可能なこと。		
4.1.1.42				・運用検討部会における、議事録を作成し提出すること。		
4.1.1.43				・運用環境が完成した段階で、総合的なリハーサルを2回以上行い本稼働に備えること。		
4.1.1.44				・システム稼働後、立会い業務スキルを有する人員を、当院が必要とする期間複数名を各部署に配置し、立会いを実施すること。		
4.1.1.45				・システム設計、プログラム製造からシステム総合テストまでの作業、医療機関職員への操作研修、本稼働前のリハーサル、本稼働立ち会い、安定稼働までのシステム支援など、全てに対応すること。		
4.1.1.46				・システム開発途中においては、随時パッケージソフトを提示し、画面構成および機能、操作性の説明を行い、マスター設定の変更でどのように変化するかユーザーが確認可能なこと。		
4.1.1.47				・設置する機器との接続テスト、機能テストおよびプログラムテストは医療機関職員の立ち会いのもとに行い、その評価を受けること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.1.48				・プログラムのテストデータは医療機関と協議したデータの提供するデータを用い、実際の稼働環境に適切なプログラムであるかどうかを確認すること。		
4.1.1.49				・システム導入のスケジュールを医療機関に提示したうえ、進捗会議を月1回以上開催し、医療機関に書面にて報告すること(但し、稼働1ヶ月前は毎週)。		
4.1.1.50				・システム開発プロジェクトは各システムごとに医療機関業務およびITに精通したシステムエンジニアで編成すること。担当者は正当な理由が無い限り、システム開発初期から本稼働までの期間において変更を行わないこと。		
4.1.1.51				・システム開発中に発生する懸案事項、問題点に対し請負者側の検討が必要な場合、解決方を速やかに提案すること。		
4.1.1.52		開発保守体制	開発サポート体制	・医療機関職員へ対象となるシステムを運用するために、必要な教育および端末機器などの操作訓練を行うこと。		
4.1.1.53				・また、教育や操作訓練に必要な操作マニュアルを作成すること。		
4.1.1.54				・システムの動作テスト(接続、機能、プログラム等)は、病院職員の立ち会いのもとに行い、その評価を受けること。		
4.1.1.55				・リハーサル等で模擬患者の情報や内容等に関する資料を提供すること。		
4.1.1.56				・リハーサルの実施計画策定に必要な支援を行うこと。		
4.1.1.57				・新システム稼働日には、可能な限りの職員を支援要員として派遣し万全の体制を取ること。		
4.1.1.58				・稼働後の立会いについては、一定期間、一定の要員を配置すること。		
4.1.1.59			保守・支援体制	・サーバ保守については、契約に基づいた24時間365日監視する体制が取れること。		
4.1.1.60				・故障時の対応修理だけでなく、定期点検を含む保守ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.1.61				・定期的なシステム検証会議を開催し、システムの運用状況、問題点および改案の報告を行うこと。		
4.1.1.62				・医療改定に伴うプログラム変更、薬価点数マスタを提供すること。		
4.1.1.63				・また個別カスタマイズで別途費用が必要な場合は費用に含めること。		
4.1.1.64				・24時間365日ハードウェアアプリケーションに関するコールを一元的に受け付けるサポート窓口を設けること。		
4.1.1.65				・サーバ障害時にはシステム担当者が当院に出動できること。		
4.1.1.66				・障害発生時には、当院が指定する当院システム担当者にも速やかに報告すること。		
4.1.1.67				・提案する電子カルテシステムのアプリケーションソフトとサーバのハード保守は提案ベンダが責任を持って行うこと。		
4.1.1.68				・部門システムを含めてリモート保守環境を構築すること。		
4.1.1.69		システム要件	サーバ	・サーバ関連には必ず無停電電源装置を有すること。		
4.1.1.70			データベース機能	・診療情報は患者単位での管理ができること。		
4.1.1.71		共通	ログオン	・職員番号、パスワードによるログインができること。		
4.1.1.72				・クライアント端末利用時に利用者認証(所属職種)を行い、システムログイン時に端末利用者の資格権限のチェックができること。		
4.1.1.73				・利用者IDのパスワードについてはセキュリティを考慮してパスワード有効期限を設定でき、有効期限が切れた場合は利用者に対しパスワード変更を促す機能を有すること。		
4.1.1.74				・生体認証によるログインにも対応可能なこと。		
4.1.1.75				・各種利用者権限を設定でき、職種毎にも設定できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.1.76				・パスワードは半角文字で、英数アルファベットを利用できること。		
4.1.1.77				・パスワードは、業務利用中であっても個人毎に任意に変更ができること。		
4.1.1.78				・ログオンと同時に業務初期メニューが起動し、未読メールの有無がわかること。		
4.1.1.79				・職員コードに応じ利用可能な業務が制限できること。		
4.1.1.80				・職員コードに応じた利用可能な業務のみが業務メニューに表示されること。		
4.1.1.81				・各画面にログオンした職員の氏名を表示できること。		
4.1.1.82				・職員健診や不妊治療など患者のプライバシーの確保を目的とし、操作閲覧を制限する機能を有すること。		
4.1.1.83				・トリアージ用紙についてどの端末からでも発行可能なこと。		
4.1.1.84			セキュリティ	・カルテを参照および、帳票出力した際に、アクセスログを取得する仕組みがあること。		
4.1.1.85				・サーバ及びクライアントの日付時刻は整合性が保たれていること。		
4.1.1.86				・最新版のウィルスソフトが自動更新されること。		
4.1.1.87			アクセスログ	・カルテを参照した際に、いつ、誰(ログイン者)が、誰(患者)のデータにアクセスしたかをアクセスログとして取得する仕組みがあること。		
4.1.1.88				・アクセスログについて確認可能な職種を設定できること。		
4.1.1.89		印刷	画面印刷	・各種定型帳票は、容易に印刷できること。		
4.1.1.90		ヘルプ機能		・特定の項目については、ヘルプ機能、ガイダンス機能、マニュアルを整備すること。		
4.1.1.91		各種マスタ		・各種マスタメンテナンスが容易にできること。		
4.1.1.92				・各種マスタメンテナンス画面について同一末端にて同時に複数画面展開しメンテナンスできること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.1.93				・各種マスタメンテナンスにおいて一覧からも効率よくメンテナンスが行えること。		
4.1.1.94				・マスタメンテ時のマスタ検索機能については全角・半角・かな・カナで入力しても自動変換対応されること。		
4.1.1.95				・マスタメンテ時のサービスマスタ検索において種類選択が必要な場合は、薬剤サービスマスタをデフォルトに設定すること。		
4.1.1.96				・薬剤マスタメンテナンスについては薬剤部門システムと連動させ、電子カルテ薬剤マスタ整備時に、部門薬剤マスタが自動整備されること。		
4.1.1.97				・各業務はアイコンボタンまたはメニューバーから選択できること。		
4.1.1.98				・マスタメンテ画面が一画面で表示できること。できない場合はスクロールできること。		
4.1.1.99		メール・掲示板		・院内メール送受信及び掲示板機能を有すること。		
4.1.1.100				・グループウェア機能を有すること。		
4.1.1.101				・職員に対してメールを送信できること。		
4.1.1.102				・部門を指定し、メールを送信でき、当該部門に所属する職員のみ参照可能となること。		
4.1.1.103				・未読既読管理がなされていること。		
4.1.1.104				・メールについて患者番号と連動し、メールから患者のカルテ画面の表示可能とすること。		
4.1.1.105				・DI情報、院内薬事委員会情報などの情報発信が可能なこと。		
4.1.1.106		共通		・業務を終了することなく、他の業務を起動することができること。		
4.1.1.107				・オーダした内容は全て電子カルテシステムに反映されること。		
4.1.1.108				・各種オーダ項目、実施項目等を患者履歴情報として時系列表示し、そこから各種オーダ画面、実施画面、レポート画面を表示できること。		
4.1.1.109				・カルテ画面からオーダ発行ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.1.110				・自科/他科問わずの診察状況が分かること。		
4.1.1.111				・カルテ画面を表示する際に外来、入院区別なく表示可能とすること。		
4.1.1.112				・診療科の変更についてカルテ画面を閉じずに変更可能なこと。		
4.1.1.113				・患者が重複した場合、後でドッキングする機能を有すること。		
4.1.1.114				・薬剤・注射・検査・画像等のオーダ履歴がわかりやすいこと。		
4.1.1.115				・重複オーダは、メッセージ画面が警告としてポップアップが表示されること。		
4.1.1.116				・不要な過去データが削除できること。		
4.1.1.117				・退院サマリ等の担当医への催促ができ、メールでの転送もできること。		
4.1.1.118				・電子カルテソフトと連動し、Internet Explorer で画像を参照できること。		
4.1.1.119		辞書		・医療辞書を利用できること。	ライセンスは別調達	
4.1.1.120				・用語登録は端末ごとではなく利用者IDごとの機能すること。		
4.1.1.121		掲示板		・院内掲示板機能を有すること。		
4.1.1.122		院内の利用状況がリアルタイムで確認できる		・稼働率がリアルタイムで確認できること。		
4.1.1.123		車両予約、管理機能		・車両予約、管理ができること。		
4.1.1.124		施設予約、管理機能		・会議室の予約、管理ができること。		
4.1.1.125		ID管理について		・職員IDに関する一覧が確認できること(種別、科別など)、経過が残ること。		
		患者検索機能		以下の条件を指定することにより、対象患者の一覧が表示されること。		
4.1.1.126				・患者氏名(カナ氏名)		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.1.127				・性別(男性のみ、女性のみ、男女両方のいずれかを選択)		
4.1.1.128				・生年月日(西暦もしくは和暦のいずれかを選択)		
				検索結果患者一覧下記項目が表示できること。		
4.1.1.129				・カナ患者氏名		
4.1.1.130				・漢字患者氏名		
4.1.1.131				・患者番号		
4.1.1.132				・性別		
4.1.1.133				・年齢		
4.1.1.134				・生年月日		
4.1.1.135				・電話番号		
4.1.1.136				・最終来院歴		
4.1.1.137		閲覧機能		・診療行為を時系列表示し、診療を行う際の指標やカルテ記載情報に関するナビゲーションに役立つ機能であること。		
4.1.1.138				・紹介先に対して患者の紹介文や病名を登録できること。		
4.1.1.139				・紹介文は、フリー入力や定型文から選択して作成ができること。		
4.1.1.140				・病名は、患者に登録されている病名からも選択ができること。		
4.1.1.141				・診察依頼登録時にシエーマ情報登録ができること。		
4.1.1.142				・紹介先の診察予約を予約状況を参照しながら取得ができること。 また、診察予定日を日付未定で依頼登録ができること。		
4.1.1.143				・診察戻り有無の情報を登録ができること。		
4.1.1.144				・登録時に、紹介内容や返書の内容をコミュニケートやTODOに通知できること。		
4.1.1.145				・登録時に、紹介状を印刷できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.1.146				・診察依頼に対して返信記載ができること。		
4.1.1.147				・返信内容をフリー入力や定型文から選択して作成ができること。		
4.1.1.148				・返信時にシェーマ情報登録ができること。		
4.1.1.149				・診察依頼、返信内容の既読状態を管理できること。		
4.1.1.150				・外来患者一覧に他科紹介区分を表示できること。		
4.1.1.151		他科紹介		・専用の他科紹介機能を有すること。		
4.1.1.152				・紹介先として診療科指定、医師指定ができること。		
4.1.1.153				・紹介時に任意で紹介先にアラームを表示可能なこと。		
4.1.1.154				・紹介時に任意で照会先にメール送信が可能なこと。		
4.1.1.155				・メールの宛先、内容は紹介情報を自動で反映されていること。		
4.1.1.156				・紹介情報を受ける場合、操作者の所属する診療科情報により該当する紹介情報を既定表示すること。		
4.1.1.157				・操作により所属科の他の医師、他科の紹介情報も参照可能なこと。		
4.1.1.158				・紹介元の診療記録に返書を記載できること。		
4.1.1.159				・返書は複数回登録可能なこと。		
4.1.1.160				・紹介を受けた際に紹介内容が記載された診療記録に自動で移ること。		
4.1.1.161		他科紹介一覧		・他科紹介が登録されている患者を一覧表示し進捗の確認ができること。		
4.1.1.162				・一覧表示の内容は、紹介期間や、紹介元、紹介先、患者単位や、診療科などで絞り込みができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.1.163				・一覧には、紹介元、紹介先の情報や、紹介状既読状況、返信記載・既読の状況が表示できること。		
4.1.1.164				・一覧から返信記載画面が起動できること。		
4.1.1.165		TODO	リスト・画面	・TODOリスト機能により、自己の業務管理を行うことができること。		
4.1.1.166				・また、依頼内容に関する実施管理ができること。		
4.1.1.167				・To doリストの一覧から、依頼画面の参照及び該当患者のカルテが展開できること。		
4.1.1.168				・業務依頼した項目が、自動でTo doリストに表示できること。		
4.1.1.169				・他科紹介返信を入力は、ひらがな入力になるようにすること。		
4.1.1.170				・指示簿指示、処置オーダーの中止の指示が明確に出せること。		
4.1.1.171				・指示受けが一括で受けできること。		
4.1.1.172				・入院患者に対して医師指示情報、看護情報などの内容を一覧形式で表示が行えること。		
4.1.1.173				・また、スケジュール調整を行うことができること。		
4.1.1.174				・一覧には時間帯、予定時刻、患者氏名、指示内容、実施時刻、進捗、入院病室等が表示できること。		
4.1.1.175				・一覧の表示列の並べ替えや、ソート(昇順、降順)が行えること。		
4.1.1.176				・病棟単位で表示内容の絞りこみができること。		
4.1.1.177				・受持患者表の患者表示に絞りこみができること。		
4.1.1.178				・部屋順、時間順に表示ができること。		
4.1.1.179				・病棟チーム患者毎の患者表示に絞り込みができること。		
4.1.1.180				・一覧に表示されている指示内容の詳細内容が表示できること。		
4.1.1.181				・一覧から実施入力対象を選択することにより、実施入力ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.1.182				・実施一覧画面では、カレンダー表示ができること。		
4.1.1.183				・実施一覧画面では、依頼情報と実施状況、実施回数が表示できること。		
4.1.1.184				・実施一覧画面から実施入力詳細画面の表示ができること。		
4.1.1.185				・実施入力詳細では、実施日、実施時間、使用量、単位、入力者の登録ができること。		
4.1.1.186				・予定内容を中止できること。		
4.1.1.187				・入院患者一覧画面、ベットマップで未確認指示の表示が行えること。		
4.1.1.188				・また未受け指示の重要度の把握ができること。		
4.1.1.189			医師	・入院患者に対してオーダーした指示情報の進捗状況の一覧表示ができること。		
4.1.1.190				・一覧には、患者氏名、指示内容、進捗状況が表示できること。		
4.1.1.191				・定期切処方切れの通知が表示できること。		
4.1.1.192				・未承認のオーダーの表示ができること。		
4.1.1.193			患者	・患者ごとに対象日の医師指示情報と看護情報を一覧で表示できること。		
4.1.1.194				・一覧には、実施予定時間順に表示された指示情報、病名、最新バイタル情報、必要実施時、イベント(移動情報・予約)、診察記事、看護記録が確認できること。また注意事項等メモの入力ができること。		
4.1.1.195				・指示受けや実施入力が可能なこと。		
4.1.1.196				・指示受け、実施状況を表示ができること。		
4.1.1.197			患者サマリ	・患者サマリの機能を有すること。		
4.1.1.198				・診療記録記載時にサマリに転記が可能なこと。		
4.1.1.199				・任意にサマリの終了が可能なこと。		
4.1.1.200				・診療科毎に記載可能なこと。		
4.1.1.201				・複数のサマリ登録が可能なこと。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.1.202				・マウス操作でページめくりが可能なこと。		
4.1.1.203				・マウス操作による患者コメントのコピー&ペーストが可能なこと。		
4.1.1.204				・版数管理ができ、改版については任意で操作が可能なこと。		
4.1.1.205		その他		・サマリー作成、印刷を支障なくできること。		
4.1.1.206				・オーダー入力後プリンターから即座に用紙が出てくること。		
4.1.1.207		スキャナ運用		・現在実施しているスキャナ枚数を軽減するための提案を実施すること。		
4.1.1.208				・患者や操作者のサイン、外部機関からの文書以外などスキャナ取込みがやむをえない場合を除き、原則、紙の印刷→スキャナ運用は廃止とすること。		
4.1.1.209				・電子カルテに登録した各種データについては電子カルテ内の機能を利用し、帳票発行を可能とすること。		
4.1.1.210				・現在利用しているファイルメーカーの利用を極力避け、電子カルテ内にデータ登録し、電子カルテの3原則を確保すること。		
4.1.1.211				・作成する文書については汎用的なアプリケーションを利用し、そのまま電子カルテに保存されること。		
4.1.1.212				・作成した文書はそのまま電子カルテに保存されること。		
4.1.1.213				・スキャナ登録した文書について検索機能を有すること。		
4.1.1.214		部門システム連携		・「システム関連図」に示した部門システム及び機器等と連携ができること。		
4.1.1.215		その他接続		・ID-Linkと接続を行うこと。		
4.1.1.216				・SPDシステムへの対応が可能なこと。		
4.1.1.217		移行		・システム導入時の各種マスタは病院側の情報をもとに移行できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.1.218				・移行する際、マスタコード等の変更が無いこと。		
4.1.1.219				・変更がある場合は電子カルテシステムベンダーが部門システムも含め変更を行うこと。		
4.1.1.220				・患者属性の移行ができること。		
4.1.1.221				・患者属性の移行ができること ・氏名		
4.1.1.222				・年齢		
4.1.1.223				・生年月日		
4.1.1.224				・保険		
4.1.1.225				・住所		
4.1.1.226				・TEL		
4.1.1.227				・病名		
4.1.1.228				・血液型		
4.1.1.229				・入院患者の移行ができること。(食事含む)		
4.1.1.230				・過去カルテの移行ができること。(参照可能なこと)		
4.1.1.231				・検査結果の移行ができること。		
4.1.1.232				・前回処方 of 移行ができること。		
4.1.1.233				・以下の未来日オーダーの移行ができること。		
4.1.1.234				・予約		
4.1.1.235				・各種セットの移行ができること。		
4.1.1.236				・操作画面上で該当する箇所のマニュアルを展開できること		
4.1.1.237				・システムのバージョンアップごとにマニュアルを納品すること		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.2	患者選択					
4.1.2.1		外来基本	外来患者選択	・日付を選択することにより該当日の表示に切り替わること。		
4.1.2.2				・操作者が医師の場合、担当する予約項目のスケジュールを表示すること。		
4.1.2.3				・当該患者のカルテを開くことなく、検体検査の進捗状況を表示することが可能なこと。		
4.1.2.4				・当該患者のカルテを開くことなく、放射線検査の進捗状況を表示することが可能なこと。		
4.1.2.5				・当該患者のカルテを開くことなく、生理検査の進捗状況を表示することが可能なこと。		
4.1.2.6				・当該患者のカルテを開くことなく、内視鏡検査の進捗状況を表示することが可能なこと。		
4.1.2.7				・外来患者選択画面では、指定日の指定予約項目に予約がある患者一覧表示されること。		
4.1.2.8				・外来患者選択画面では、予約患者は予約時間順に、予約外患者は受付時間順に一覧表示できること。		
4.1.2.9				・また、診察一時終了患者の選択や診察終了患者の再表示にも対応できていること。		
4.1.2.10				・医師(診察室)別予約及び予約外患者一覧を識別表示できること。		
4.1.2.11				・検査結果が返ってきたことを表示できること。		
4.1.2.12				・患者の呼び出し状況を識別表示できること。		
4.1.2.13				・手動により他の外来患者一覧画面への移動ができること。		
4.1.2.14				・予約外患者を予約患者一覧へ割込み入力できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.2.15				・医師(診察室)別外来患者選択には、次の内容を表示できること。 患者氏名、患者カナ氏名、患者番号、性別、年齢、予約区分、予約時間、来院時間、診療状態、検査結果、レントゲン、生理、画像レポート結果、初診区分、併科の有無、患者区分、フリーコメント、準備品、入院科、入院病棟、他科紹介区分		
4.1.2.16				・当日再診患者の保留機能を有し、識別表示できること。		
4.1.2.17				・患者選択によりオーダー画面に展開できること。		
4.1.2.18				・また、患者が入室しない場合は、保留とできること。		
4.1.2.19				・併科受診がある場合に併科の参照ができること。		
4.1.2.20				・診察終了患者は、非表示とできること。また、必要に応じて再表示できること。		
4.1.2.21				・診察終了毎に自動的に最新表示できること。		
4.1.2.22				・外来患者選択画面で患者の各検査の進捗状況(オーダー中、オーダー済、実施、中止)が表示できること。		
4.1.2.23				・担当医師への連絡のために、必要な場合に定型コメント、フリーコメント入力ができること。		
4.1.2.24				・ワークフローにより、他科等の診察、検査等の診察状況が、分かること。		
4.1.2.25				・患者の来院情報等定期的に自動更新されること。		
4.1.2.26				・外来患者一覧で患者を選択すると、薬剤禁忌、食物禁忌、感染症、障害情報、視覚障害情報、聴覚障害情報の有無が、アイコン等で表示できること。		
4.1.2.27			患者受付	・予約患者の到着確認や予約外患者の医師振り分けなど、ブロックや診療科での受付業務を支援する機能を有すること。		
4.1.2.28				・ブロックや診療科に来院予定の患者一覧が受付患者一覧として表示されること。		
4.1.2.29				・受付患者一覧の各々の表示項目について、ワンタッチで患者の並び替え(昇順/降順)ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.2.30				・また、表示項目自体の選択や並び替えができること。		
4.1.2.31				・受付患者一覧には、外来患者一覧と同様の項目が表示されること。 (患者氏名、患者カナ氏名、患者番号、性別、年齢、予約区分、予約時間、来院時間、診療状態、検査結果、レントゲン、生理、画像レポート結果、初診区分、併科の有無、患者区分、フリーコメント、準備品、入院科、入院病棟が表示されること。)		
4.1.2.32				・受付時間と経過時間が表示されること。		
4.1.2.33				・到着確認登録ができること。		
4.1.2.34				・また到着確認登録時には、診察前検査情報や併科情報などが一画面で参照できること。		
4.1.2.35				・予約外患者の到着確認登録時には、診察医師割り振り登録ができること。		
4.1.2.36				・診察医師割り振り登録の際に、受付科の予約状況を参照できること。		
4.1.2.37				・案内票の出力ができること。		
4.1.2.38				・自動案内表示盤と接続時には到着確認情報を表示盤へ送信できること。		
4.1.2.39		入院基本	入院患者選択	・病棟および診療科を選択することにより入院患者一覧、入院予定患者一覧、転入予定患者一覧を表示する。		
4.1.2.40				・主治医、担当医、診療科、病棟別の入院患者の選択により現在の入院患者と入院決定患者一覧を識別表示できること。		
4.1.2.41				・入院患者選択画面には、次の内容を表示できること。 ・患者氏名 ・患者カナ氏名 ・患者番号 ・科 ・入院日 ・病棟 ・病室 ・ベッド ・特記事項		
4.1.2.42				・表示内容、表示順が任意に設定できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.2.43				・主治医ではない場合も、担当患者一覧自動表示される設定ができること。		
4.1.2.44				・患者選択によりオーダー画面に展開できること。		
4.1.2.45				・診察終了毎に最新表示できること。		
4.1.2.46				・患者選択による担当職員(主治医担当医看護職員、薬剤師)表示変更入力ができること。		
4.1.2.47				・入院患者選択画面は、退院予定患者、転棟予定患者および外泊中、外泊予定を色分けして表示できること。		
4.1.2.48				・入院患者選択画面で患者を選択すると、薬剤禁忌、食物禁忌、感染症、障害情報、視覚障害情報、聴覚障害情報の有無がアイコンで表示できること。		
4.1.2.49				・入院患者選択画面には、パスの登録の有無が表示されること。		
4.1.2.50				・キーボードまたはIDカードから患者番号を入力し、該当患者を指定できること。		
4.1.2.51				・医師に対して、患者毎に確認が必要な情報がある場合に、確認事項があることを示すマークが表示されること。		
4.1.2.52				・看護師に対して、患者毎に医師からの指示等がある場合は、患者毎に指示事項があることを示すマークが表示されること。		
4.1.2.53				・入院患者一覧にDPC期間が表示されること。		
4.1.2.54				・DPC期間によって色などで識別可能なこと。		
4.1.2.55				・病棟毎の各種オーダーの一覧が参照可能なこと。		
4.1.2.56			展開	・患者選択により電子カルテオーダー画面に展開できること。		
4.1.2.57				・また、ベッドボードより患者を選択することによっても、電子カルテオーダー入力画面が展開できること。		
4.1.2.58		セキュリティ	VIP機能	・利用者毎のカルテデータへのアクセス制限は権限レベルの設定(参照のみ許可、記載も許可など)ができること。		
4.1.2.59				・患者毎にカルテデータへのアクセス制限をかけられること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.1.2.60				・アクセス制限がある患者の画面に表示される氏名を変更可能なこと。		
4.1.2.61		患者確認	患者確認	・カルテを開き記載する前に患者IDや氏名が表示され、カルテ取り違いを防止する機能を有すること。		
4.1.2.62				・患者の顔写真を表示可能なこと。		
4.1.2.63				・カルテを開き記載する前にカルテ入力条件設定(入院/外来の切り替え診療科の変更保険の変更など)を、行える機能を有すること。		
4.1.2.64				・カルテにシステムダウンなどで事後入力する際、事後モードが選択できること。		
4.1.2.65				・VIP設定されている場合はパスワード入力が、促されること。		
4.1.2.66				・死亡患者の場合、それを警告するメッセージを表示等で、死亡患者と認識できること。		
4.1.2.67		検索	検索	・患者IDまたは50音により患者検索ができること。		
4.1.2.68				・救急患者の検索、分類ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.3	病名登録オーダ					
4.1.3.1		病名登録	病名入力	<ul style="list-style-type: none"> ・次の内容を入力できること。マスタで登録済みの項目については、選択入力ができること。 病名 病名区分(診断病名社会保険病名等) 主病名指定 開始、終了日 転帰 入外区分 接頭語(部位等)及び接尾語(疑い等) 		
4.1.3.2				<ul style="list-style-type: none"> ・病名一覧画面を全科にするか特定科にするかの設定が可能であること。 		
4.1.3.3				<ul style="list-style-type: none"> ・病名一覧画面の表示を診療開始日の昇順、降順の設定が、可能であること。 		
4.1.3.4				<ul style="list-style-type: none"> ・入外別保険別の区分があること。(任意に表示が選択できること) 		
4.1.3.5				<ul style="list-style-type: none"> ・アクティブ病名のみ選択表示できること。 		
4.1.3.6				<ul style="list-style-type: none"> ・病名マスタのセキュリティ区分により、セキュリティ病名を、表示できること。 		
4.1.3.7				<ul style="list-style-type: none"> ・入力者と更新者の管理ができること。 		
4.1.3.8				<ul style="list-style-type: none"> ・全科共通の病名が登録できること。 		
4.1.3.9				<ul style="list-style-type: none"> ・病名検索が可能であること。 		
4.1.3.10				<ul style="list-style-type: none"> ・基本病名はICD10分類に準拠すること。 		
4.1.3.11				<ul style="list-style-type: none"> ・1画面にて複数病名(10病名以上)の表示ができること。 		
4.1.3.12				<ul style="list-style-type: none"> ・病名の登録・修正・削除・照会が同一画面でできること。 		
4.1.3.13				<ul style="list-style-type: none"> ・病名(受診した科)のすべてがレセプト表示されること。 		
4.1.3.14				<ul style="list-style-type: none"> ・病名の処理は全てレセプト単位に処理できること。 		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.3.15				・指定年月のレセプトに表示する病名のみを抽出して病名一覧画面に表示できること。		
4.1.3.16				・病名コード検索、分類検索およびカナ検索により、病名を選択入力できること。また、病名のワープロフリー入力もできること。		
4.1.3.17				・操作者単位でよく使用する病名をリスト化し、頻用病名リストから病名登録が可能なること。		
4.1.3.18				・頻用病名リストの表示順は自動で設定されるとともに手動でも変更可能とすること。		
4.1.3.19				・病名単位に科の限定および外来/入院/入外共通の限定が可能であること。		
4.1.3.20				・病名と修飾語(接頭語、接尾語、部位など)を自由に組み合わせて漢字名称を合成できること。		
4.1.3.21				・主病名サインおよび優先順位の入力により、レセプトへの病名出力順を制御できること。		
4.1.3.22				・病名の部分一致検索ができること。		
4.1.3.23				・病名のテキスト入力ができること。		
4.1.3.24				・また、テキスト入力した病名は、識別表示できること。		
4.1.3.25				・開始日・終了日は西暦表示ができること。		
4.1.3.26				・歯科口腔外科の病名入力が容易にでき、医科から歯科病名入力ができること。		
4.1.3.27				・歯牙毎に簡単な操作により選択、選択解除が出来ること。		
4.1.3.28				・連続した複数歯牙を同時に選択出来ること。		
4.1.3.29				・橋義歯の支台歯(支台歯はまるで囲まれる)を表現出来、指定が、出来ること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.3.30			病名一覧表示	<ul style="list-style-type: none"> ・登録病名一覧に次の内容を表示できること。 ・病名 ・診療科 ・開始日、終了日 ・転帰 ・主病名区分 ・入院／外来区分 		
4.1.3.31				<ul style="list-style-type: none"> ・全科自科病名の切り替え表示ができること。 		
4.1.3.32				<ul style="list-style-type: none"> ・アクティブ病名のみ選択表示できること。 		
4.1.3.33				<ul style="list-style-type: none"> ・病名一覧の表示条件を変更することで、医科歯科相互に病名の参照ができること。 		
4.1.3.34			他オーダーとの連動	<ul style="list-style-type: none"> ・入院基本オーダーの入院予定および入院決定の入力時、入院病名の登録が病名オーダーと連携してできること。 		
4.1.3.35				<ul style="list-style-type: none"> ・画像生理オーダー・手術オーダー・リハビリオーダーの依頼情報入力時に病名オーダーと連携して病名の登録ができること。 		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.4.	予約オーダー					
4.1.4.1		オーダー入力	共通	・診察予約、医療相談、検査予約、入退院予約、リハビリテーション、栄養指導予約ができること。		
4.1.4.2				・予約の必要な検査等は、項目別オーダーに連続して入力できること。		
4.1.4.3				・また、依頼先部門で予約入力が必要な場合は、連絡方法等のコメント表示ができること。		
4.1.4.4				・予約項目毎に予約入力状況をカレンダー表示し、空き状況が識別表示でき容易に予約入力できること。		
4.1.4.5				・また、カレンダーを繰り上げて表示できること。		
4.1.4.6				・さらに、一週間3か月後、6ヶ月後1年度等の指定したカレンダーを表示できること。		
4.1.4.7				・予約は検査指示と一連の操作で入力でき、該当各科へ電話連絡を行う検査や緊急検査及び空きがない場合は連絡方法等のコメントが表示されること。		
4.1.4.8				・予約オーダー画面の診療科、予約項目について操作者毎に既定表示が可能なこと。		
4.1.4.9				・予約取得可能期間は、13ヶ月程度できること。		
4.1.4.10				・各予約オーダー時に他の全予約情報・既予約情報が同一画面に表示できること。		
4.1.4.11				・診療行為別(医師・部屋別診察、検査項目別等)予約入力ができること。		
4.1.4.12				・患者または医療従事者へ定型コメント、フリーコメント入力ができること。		
4.1.4.13				・入院患者の外来診察予約ができること。		
4.1.4.14				・予約枠を越えた予約入力ができること。		
4.1.4.15				・予約取得画面に、自科、他科を含む全ての予約(診療・検査入院・リハ等)情報が一覧表示されること。		
4.1.4.16				・科毎、部門ごとの予約枠の設定ができ、ユーザーが任意の日付で枠変更できること。		
4.1.4.17				・臨時スケジュールとして、日付指定でのスケジュール変更や休診設定ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.1.4.18				・予約を基本とする検査の場合、各科から予約枠の変更、制限、削除、追加等の予約枠の管理が行えるようにすること。		
4.1.4.19				・またオーダーの新規作成・修正・登録が容易に行えること。		
4.1.4.20				・依頼済み予約の中止、変更等が容易にでき、検査・診療履歴へ反映できること。		
4.1.4.21				・診療予約の画面に名前と時間だけでなく、診療予定内容が表記されていること。		
4.1.4.22				・患者登録の取り消し時、最終確認メッセージが出せること。		
4.1.4.23				・予約の際、全科の予約状況を確認できること。		
4.1.4.24				・診療予約の画面に名前、ID、予約時間等だけでなく、その日の診療予定内容が一緒に表示されて、キャンセルの電話対応も簡便にできること。		
4.1.4.25				・予約日と予約時間の表形式の中に空き予約数(表示スケジュール)を表示できること。		
4.1.4.26				・当該患者の取得済み予約状況を一覧で表示できること。		
4.1.4.27				・予約状況一覧は、予約日、曜日、時間、予約科、予約項目名称、予約区分、フリーコメント、コメント、準備品、依頼科、依頼者が表示されること。		
4.1.4.28				・予約状況一覧より該当の予約を選択して、予約(診療)区分、行為および予約時間を変更できること。		
4.1.4.29				・また、準備品やコメントも変更できること。		
4.1.4.30				・予約状況一覧より予約状況を選択して、該当する予約を削除できること。		
4.1.4.31				・年月日を直接指定して、予約入力できること。		
4.1.4.32				・予約項目ごとに、準備品の既定値を設定できること。		
4.1.4.33				・予約入力時に、一日の最大枠超え、時間枠超え、科限定、入外限定、操作者限定および同一時間重複の各種チェックが行えること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.4.34				・入力された予約情報を、医療事務システムへ伝達できること。		
4.1.4.35				・複数回の予約ができること。但し、2件目の予約取得時は既に予約取得済みのメッセージが自動表示され、その変更も容易にできること。		
4.1.4.36				・科別医師別または診察室別予約ができること。		
4.1.4.37				・指定の科及び医師の1、2、4週後の予約状況も一覧で表示されること。		
4.1.4.38				・予約外患者は、当日予約入力ができ、診療科別に入力できること。		
4.1.4.39				・同一診療科及び他診療科の医師または他診察室を指定し、診察予約ができること。		
4.1.4.40				・。また、当日他科依頼の場合は、連絡方法等のコメント表示とともに併診依頼書の出力ができること。		
4.1.4.41				・他科の医師または診察室指定による予約ができること。		
4.1.4.42				・入院患者の外来診察予約ができること。		
4.1.4.43				・予約枠を修正する際、その枠を既に取得されている予約を一覧表示(出力)ができること。		
4.1.4.44				・連動設定により1回の操作で複数の予約取得が可能なこと。		
4.1.4.45				・患者一覧画面より直接予約オーダー画面が起動可能なこと。		
4.1.4.46			化学療法	・外来化学療法の予約管理ができること。		
4.1.4.47			検査・放射線	・検査予約は、各種検査オーダーと一連の操作により行う場合と別途予約入力のみできるように選択できること。		
4.1.4.48				・検査部門で予約入力が必要な場合は、連絡方法等のコメント表示ができること。		
4.1.4.49				・外来通院時または入院時に取得した予約は、その区分が変更した場合でも有効とすること。		
4.1.4.50			リハビリ	・リハビリ行為別に予約ができること。		
4.1.4.51			栄養指導	・予約の必要な栄養指導は、栄養指導オーダーと一連の操作により行う場合と別途予約入力のみできるように選択できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.1.4.52				・栄養部門で予約入力が必要な場合は、連絡方法等のコメント表示ができること。		
4.1.4.53				・予約日時の入力は、栄養指導のスケジュールにもとづき入力できること。		
4.1.4.54				・入院患者の場合は、実施場所(総合相談部門、病棟)を指定できること。		
4.1.4.55			医療相談	・医療相談予約ができること。		
4.1.4.56				・入院患者の場合は、実施場所(総合相談部門、病棟)を指定できること。		
4.1.4.57			チェック機能	・予約時間が重複した場合は、警告表示できること。		
4.1.4.58			予約変更	・予約変更入力ができ、変更に伴うコメントを表示できること。		
4.1.4.59				・予約歴から予約変更入力ができること。		
4.1.4.60			予約スケジュール管理	・予約スケジュール管理は、診療科または検査科別、科別、グループ別、予約項目名別に予約の管理ができること。		
4.1.4.61				・予約項目に対して、曜日ごとの予約の時間枠・枠ごとのポイント数・1日合計人数・受付場所・診療場所の内容を入力し、予約の基本スケジュール(1週間単位)を作成できること。		
4.1.4.62				・科限定/入外限定情報、当日予約枠、紹介患者予約枠が管理できること。		
4.1.4.63				・基本スケジュールを、指定した期間(開始日および終了日)の月例スケジュールとして展開(コピー)できること。		
4.1.4.64				・基本スケジュール、月例スケジュールに関する各処理機能およびスケジュール展開(コピー)の機能については、職種によって操作者を限定できること。		
4.1.4.65				・基本スケジュールは、指定期間に対して予約項目毎にスケジュールの展開(コピー)ができること。		
4.1.4.66				・予約枠のポイント数を超える場合、予約の超過入力(1日合計人数まで)を可能なように設定できること。		
4.1.4.67			予約帳表出力	・医療事務システム側またはオーダーリングシステム側で予約票が出力できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.4.68				・予約項目一覧表、基本スケジュール一覧表および月例スケジュール一覧表が出力できること。		
4.1.4.69			予約状況照会	・患者別の予約状況の表示ができること。		
4.1.4.70				・患者別予約一覧には、予約日、曜日、予約時間、予約科、予約項目、予約コード、予約区分、フリーコメント、コメント情報、準備品情報、依頼科、依頼者が表示されること。		
4.1.4.71				・患者別予約一覧から予約内容の詳細が確認できること。		
4.1.4.72				・患者別予約一覧から予約の削除、予約内容の変更が行なえること。		
4.1.4.73				・患者別予約一覧から予約票の再発行ができること。		
4.1.4.74				・項目別予約照会として、予約項目と期間を指定して予約済み患者一覧を表示できること。		
4.1.4.75				・項目別予約一覧には、予約日、予約時間、患者番号、患者氏名、予約行為、予約区分、性別、年齢、併科情報、入院病棟、連絡先が表示されること。		
4.1.4.76				・項目別予約一覧から予約票の発行ができること。		
4.1.4.77				・項目別予約一覧から予約の削除、予約内容の変更が行なえること。		
4.1.4.78				・月例スケジュール照会として、予約項目と期間を指定して日付別時間帯別の予約取得状況を表示できること。		
4.1.4.79				・予約更新履歴が表示できること。		
4.1.4.80			他システム連携	・医事会計システム、再来受付機システムとの連携が密接に行われること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.5	病床管理機能					
		入院基本	入院予定	次の項目が入力できること。		
4.1.5.1				・ 入院希望日		
4.1.5.2				・ 手術予定日		
4.1.5.3				・ 食事(食種)		
4.1.5.4				・ 入院緊急度		
4.1.5.5				・ 入院予定期間		
4.1.5.6				・ 入院目的		
4.1.5.7				・ 病棟		
4.1.5.8				・ 病名		
4.1.5.9				・ フリーコメント		
4.1.5.10				・ 入院希望日、手術予定日は、カレンダーから選択入力できること。		
4.1.5.11				・ 緊急入院もオーダできること。		
4.1.5.12				・ 入院予定患者一覧、入院決定患者一覧が表示できること。		
			入院決定	入院決定患者一覧に次の内容が入力できること。		
4.1.5.13				・ 入院目的		
4.1.5.14				・ 病棟名		
4.1.5.15				・ 手術予定		
4.1.5.16				・ 入院緊急度		
4.1.5.17				・ 診療科		
4.1.5.18				・ 病名		
4.1.5.19				・ 入院予約日		
4.1.5.20				・ 入院決定日		
4.1.5.21				・ 主治医		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.1.5.22				・担当医		
4.1.5.23				・フリーコメント		
4.1.5.24				・病床管理担当が、入院決定入力を行うための支援機能として、入院予定入力ができること。		
4.1.5.25				・入院予定患者の入院決定(確定)変更入力ができること。		
4.1.5.26				・入院予定入力時に診療科、病棟指定による空床情報を表示できること。		
4.1.5.27				・空床情報は、次の内容を表示できること。 ・病棟、病室名 ・定床数 ・病室タイプ(多床室個室、男女別)空床数		
4.1.5.28				・入院診療が予定される患者に対して、入院予定内容を登録できること。		
4.1.5.29				・現在入院している患者の次回の入院予定も登録できること。また、決定ができないようにチェックがかかること		
4.1.5.30				・入院日が決定した患者に対して、入院予定情報があれば引き継ぎ、なければ新規に入院決定内容を登録できること。		
4.1.5.31			共通	・入院決定時または入院確認時に食事指示の自動発行ができること。		
4.1.5.32				・転室、転棟予定時または転入確認時、配膳先の自動変更ができること。		
4.1.5.33				・外出外泊時に欠食の自動発行ができること。		
4.1.5.34				・退院予定時または退院確認時に、食止めの自動発行ができること。		
4.1.5.35				・入力されたデータは、医療事務システムや栄養管理システムに伝達できること。		
4.1.5.36	病床管理	病棟管理(病床マップ利用)		・病棟プランを模式した病床マップの表示ができ、入院患者等の状況が容易に把握できること。		
4.1.5.37				・病棟選択により、他の病棟の状況も把握できること。 病床マップには、次の内容が表示できること。		
4.1.5.38				・病室番号		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.1.5.39				・ベッド番号		
4.1.5.40				・診療科		
4.1.5.41				・患者名		
4.1.5.42				・年齢		
4.1.5.43				・性別		
4.1.5.44				・救護区分		
4.1.5.45				・感染症		
4.1.5.46				・クリパス有無		
4.1.5.47				・ベッドマップよりカルテ画面を表示可能なこと。		
4.1.5.48				・ベッドの属性の設定が容易に任意にできること。		
4.1.5.49				・入院決定及び予定の患者一覧を表示でき、入室登録ができること。		
4.1.5.50				・入院決定情報が表示できること。		
4.1.5.51				・患者選択により、患者基本情報が表示できること。		
4.1.5.52				・各種移動は食事オーダーと連動していること。		
4.1.5.53				・主治医、担当看護師は複数人登録できること。		
4.1.5.54				・移動履歴の取消、修正ができること。		
4.1.5.55				・入院取消ができること。		
4.1.5.56				・ベッドNo.の選択により、患者の詳細情報(年齢、性別、入院科、入院日、主治医、看護度、救護区分および感染症有無)を表示できること。		
4.1.5.57			入院確認	・患者が実際に入院した場合には、入院確認入力ができること。なお、入院決定情報があれば、入院確認情報としてその内容を引き継げること。		
4.1.5.58				・依頼科、依頼医師、入院料、入院日、入院時間、主治医、病棟病室ベッドを必須項目として登録が必要なこと。		
4.1.5.59				・入院確認を行った患者は入院患者一覧に表示されること。		
4.1.5.60				・入院患者一覧にDPC期間が表示され、期間によって色などで識別可能なこと。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.5.61			転医	・病床マップ画面を利用して転医入力ができること。 次の内容が入力できること。		
4.1.5.62				・主治医		
4.1.5.63				・看護職員		
4.1.5.64				・登録済み医師の修正削除ができること。		
4.1.5.65			外出・外泊	・病床マップを利用して外出、外泊、帰室入力ができること。		
4.1.5.66				・外出、外泊期間(日時)の内容が入力できること。		
4.1.5.67				・食止め期間と食事区分(朝昼夕)の内容が入力できること。		
4.1.5.68				・変更入力もできること。		
4.1.5.69				・外泊、外出患者一覧表示ができること。		
4.1.5.70				・食事の変更を伴わない外出、外泊入力も可能。		
4.1.5.71				・食止めは夕止め、夕開始などができること。		
4.1.5.72				・食事の摂取時間帯を含む外出、外泊を登録した時、食事指示(欠食)を自動発行できること。		
4.1.5.73				・外出、外泊の時間とは連動しない食事指示(欠食)もできること。		
4.1.5.74			転室・転科	・病床マップを利用して、転室・転科・転ベッド入力ができること。		
4.1.5.75				・移動日付の変更ができること。		
4.1.5.76				・診療科が入力できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.6	基本オーダー					
4.1.6.1		オーダー入力	共通	<ul style="list-style-type: none"> 各種オーダー画面には、画面上部に次の内容が表示できること。 <ul style="list-style-type: none"> 患者氏名、年齢、性別 病棟、病室名(入院患者) 患者ID 感染症の有無 		
4.1.6.2				<ul style="list-style-type: none"> 入外区分、検索期間、オーダー種、科、病棟を指定して検索できること。 		
4.1.6.3				<ul style="list-style-type: none"> 履歴より選択した日のオーダーが検索できること。 		
4.1.6.4				<ul style="list-style-type: none"> タイトルバーには、次内容を表示できること。 <ul style="list-style-type: none"> 患者氏名(フリガナ) 年齢 性別 患者ID 保険名 血液型 病棟・病室 感染症 薬剤禁忌 食物アレルギー 障害情報 		
4.1.6.5				<ul style="list-style-type: none"> 死亡退院時の各種オーダーは死亡退院登録時に自動的に消去できること。 		
4.1.6.6			患者基本情報入力	<ul style="list-style-type: none"> 基本情報として、医事会計システムで登録された患者氏名、性別、住所、保険情報が反映されること。 		
4.1.6.7				<ul style="list-style-type: none"> また障害情報、感染情報、薬剤禁忌情報、食物禁忌情報、アレルギー情報、職種別コメント、体内金属情報、造影剤禁忌情報およびフリーコメントを登録できること。 		
4.1.6.8				<ul style="list-style-type: none"> 薬剤禁忌情報については、禁忌薬剤を選択することにより禁忌薬剤の登録できること。 		
4.1.6.9				<ul style="list-style-type: none"> 障害情報・感染情報・薬剤禁忌情報・食物禁忌情報・アレルギー情報、体内金属情報、造影剤禁忌情報については、選択形式及びフリーコメント入力ができること。 		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.6.10				・患者情報として、身長、体重、血液型、亜型、かかりつけ病院・診療所名称とコメント、かかりつけ薬局名称とコメントおよび愛玩動物飼育歴を登録できること。		
4.1.6.11				・主訴情報として、主訴、病状、フリーコメントが登録できること。		
4.1.6.12				・医学的背景情報として既往歴、手術歴、麻酔歴登録できること。		
4.1.6.13				・また病名表示ができること。		
4.1.6.14				・また、輸血歴、自己血採決歴、治験歴、被爆歴、骨髄移植歴、月経歴、妊娠/出産歴、放射線治療歴、化学療法歴、海外渡航歴の登録ができること。		
4.1.6.15				・ワクチン接種履歴の登録ができ各項目にフリーコメントの入力が登録できること。		
4.1.6.16				・家族歴・生育歴情報として家族歴・同居者、生活歴・生育歴の登録ができること。		
4.1.6.17				・生活習慣情報として睡眠、排泄、食事、喫煙、飲酒、宗教、住環境、性格および趣味の登録ができること。		
4.1.6.18				・介護情報として、移動、移動補助、移乗、食事内容、食事補助、食事動作、更衣、入浴、入浴補助、整容、意思疎通、排尿状況、排便状況の登録ができること。		
4.1.6.19				・患者に関する人物情報(世話人、キーパーソン等)の登録ができること。		
4.1.6.20				・患者の職業歴の登録ができること。		
4.1.6.21				・指示情報として処方一包化指示、薬自己管理、院外不可の指示の有無が登録できること。		
4.1.6.22				・服薬指導の簡易的な内容の登録ができること。		
4.1.6.23				・処方箋に関して薬剤師コメントが登録できること。		
4.1.6.24				・処方箋上に検査値が記載されること。		
4.1.6.25				・処方箋上に、QRコードを載せ、患者情報等がデータとして読み取れるようにできること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.6.26				・社会保障情報として要介護認定情報、身体障害者手帳、精神障害者手帳、難病認定、年金種類、利用している社会サービスおよび連絡先の登録ができること。		
4.1.6.27				・職種により入力可能項目を限定できること。		
4.1.6.28				・また、データ更新者の表示ができること。		
4.1.6.29				・身長、体重についてグラフ表示可能なこと。		
4.1.6.30				・看護区分、患者区分および救護区分の情報は、「看護ケア」の患者状態情報と連動できること。		
4.1.6.31				・臨床検査システム側からの検体検査結果受信時に、感染情報、血液型の自動更新ができること。		
4.1.6.32				・感染情報は、検体検査オーダの検体ラベルへのコメント表示、画像・生理オーダの検査申込書へのコメント表示としても利用できること。		
4.1.6.33				・薬剤禁忌情報は、処方オーダおよび注射オーダの患者アレルギーチェックとして利用できること。		
4.1.6.34				・食物禁忌情報は、食事オーダの禁止事項項目への連動ができること。		
4.1.6.35				・造影剤情報は画像オーダのチェックとして利用できること。		
4.1.6.36				・特定の基本情報は履歴管理されて、更新履歴が参照できること。		
4.1.6.37				・項目ごとに最新の更新日付を表示できること。		
4.1.6.38				・値に変更がなくても更新日付を更新できること。		
4.1.6.39			オーダ入力	・オーダセットの入力ができること。		
4.1.6.40				・患者保留処理ができること。		
4.1.6.41				・次回診察前検査のオーダ入力ができること。		
4.1.6.42				・外来オーダで入院予定患者に入院時オーダの発行ができること。		
4.1.6.43				・外来オーダでオーダセットを発行することで入院時に入院オーダとして発行できること。		
4.1.6.44				・入力中のオーダ内容をガイド画面(簡易選択画面)に登録できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.1.6.45				・入力オーダーの保険指定、変更ができること。		
4.1.6.46				・医師毎にメニューの機能をショートカットキーに登録することができること。		
4.1.6.47				・職種、レベルによってオーダーの削除、変更ができること。		
4.1.6.48				・科別来院状況とオーダー内容が一覧で見えること。		
4.1.6.49				・医師毎、科毎、部門毎に専門の入力ガイド画面(簡易選択画面)を作成することができること。	必須	
4.1.6.50				・代行入力機能および承認機能があること。		
4.1.6.51				・入力されたオーダー内容確認画面が展開でき入力内容を確認できること。		
4.1.6.52				・操作者単位にセット内容は処方、検査、注射等複数の行為を一セットでオーダーできること。		
4.1.6.53				・感染症情報は、選択によりその内容を表示できること。		
4.1.6.54				・各種オーダー、実施歴及び予約歴の確認ができること。		
4.1.6.55				・また、オーダー歴を個別に指定してオーダー内容の確認ができること。		
4.1.6.56				・オーダー内容により、個別にプリントアウトの設定ができること。		
4.1.6.57				・カルテ画面からオーダー入力ができること。		
4.1.6.58				・重複オーダーのチェック機能を有すること。		
4.1.6.59				・入院中、転科後も、全科の各種オーダーは全科指定で参照できること。		
4.1.6.60				・入院患者の指示をセット展開する際に基準日を定めた指示が登録できること。		
4.1.6.61				・権限により、当日の臨時処方の修正、削除ができること。		
4.1.6.62				・内服薬、注射の中止の指示機能ができること。		
4.1.6.63				・薬剤部にて持参薬オーダーを入力することができること。入力した内容を医師が承認する機能があること。	代行入力承認機能を利用可能とすること	
4.1.6.64		検索	共通	・入外、科、オーダーの種類、日付等の条件を指定しオーダーが検索できること。		
4.1.6.65				・来院履歴より選択した日のオーダーが検索できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.6.66				・処方履歴(他科・持参薬を含む)が検索できること。		
4.1.6.67				・予約のオーダーが検索できること。		
4.1.6.68				・薬品名、検査名称を略称で検索することができること。		
4.1.6.69				・アルファベット・カナ文字で検索ができること。		
4.1.6.70				・各種検査結果参照をWebとした場合、オーダー入力と並行しWeb参照できること。		
4.1.6.71				・職員の検査結果は参照権限のある医師及び技師のみ参照できること。		
4.1.6.72		基本料・指導料・他オーダー		・自費(文書料など)の入力ができること。		
4.1.6.73				・自費のオーダーへの対応ができること。		
4.1.6.74				・薬剤情報提供料の自動発生ができること。		
4.1.6.75				・登録したオーダー内容は、医事会計システムに送信でき、指導料の算定ができること。		
4.1.6.76				・算定対象は、初・再診料および指導管理料の指導部分であること。		
4.1.6.77	指導管理算定		運用管理	・ログインするID・パスワードは、電子カルテに登録されているID・パスワードを使用し、医学管理料算定支援システムで個別に登録・管理する必要がないこと。		
4.1.6.78				・電子カルテシステムと連携する際、シングルサインオン(一度の利用者認証で複数のシステムを利用できること)ができること。		
4.1.6.79				・複数端末による同一患者の同時データ更新を防止できること。(患者ロック機能)		
4.1.6.80				・フルHD画面に対応していること。		
4.1.6.81				・仮想環境において動作できること。		
4.1.6.82			導入前シミュレーション	・指定した対象年月に医事会計システムで診療情報(算定済み医学管理料、病名、投薬)が登録されている患者の医学管理料について算定可能と推測されるもののシミュレーションを行い抽出できること。		
4.1.6.83			医学管理料オーダー機能	・オーダーリングシステムと連携し、選択した患者に対する医学管理料オーダーの機能を有すること。		
4.1.6.84				・選択した患者に、当日算定可能な医学管理料が存在する場合に、医学管理料オーダー画面を自動起動できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.6.85				・オーダー画面では算定候補の医学管理料を表示し、医師の指示が行えるようにすること。(自動選択は行わないこと。)		
4.1.6.86				・オーダー画面で医師の指示した医学管理料のみ医事会計システムへ伝達されること。(自動算定は行わないこと。)		
4.1.6.87				・特定の診療科について、医学管理料オーダー画面を自動起動しない設定ができること。		
4.1.6.88				・職制によって、医学管理料オーダー画面を自動起動しない設定ができること。		
4.1.6.89				・外来のみ医学管理料オーダー画面を自動起動する設定ができること。		
4.1.6.90				<ul style="list-style-type: none"> ・以下の条件で算定可能と推測される医学管理料を選出すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・科チェック ・病名チェック ・薬剤チェック <ul style="list-style-type: none"> ・診療行為チェック ・入外チェック ・年齢チェック ・性別チェック ・初診日チェック ・限度回数チェック ・背反チェック ・過去算定履歴チェック ・保険チェック 		
4.1.6.91				・チェックマスタの設定にて、上記の条件の組合せから、病名チェックを除いた条件の組合せで算定可能と推測される医学管理料を抽出できること。		
4.1.6.92				・チェックマスタの設定にて、病名のみでチェックして算定候補として挙げている医学管理料をチェック対象から外すことができること。		
4.1.6.93				・過去算定履歴のある医学管理料のみを算定候補と出来るチェックができること。		
4.1.6.94				・過去算定履歴のある医学管理料のみを算定候補とするチェックができ、かつ、病名・薬剤・診療行為・保険・職種のチェックを合わせて行なえること。		
4.1.6.95				・診療記録の記載内容として、加算指示内容も登録可能であること。		
4.1.6.96				・選択した医学管理料をオーダー登録することで、実施情報が医事システムへ伝達されること。 また、オーダー登録した医学管理料がオーダーリングシステム画面上で確認できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.6.97				・加算同士の背反チェックが設定できること。		
4.1.6.98				・医学管理料の検索機能を有すること。		
4.1.6.99				・選択された医学管理料をオーダーする際に、その内容に見合ったカルテ記載内容のテンプレートが自動表示され、診療記録の記載漏れを防止するような仕組みを有すること。		
4.1.6.100				・オーダー履歴のDO入力を行う際に、カルテ記載内容のDO入力もできること。		
4.1.6.101				・カルテ記載が完了しなくても、(一時保存)状態でオーダー登録ができること。		
4.1.6.102				・登録したカルテ記載内容は、電子カルテへ診察記事として伝達できること。		
4.1.6.103				・該当患者の処方オーダー、注射オーダー、汎用オーダー、病名オーダーの内容をもとに、算定可能な医学管理料の候補を選出できること。		
4.1.6.104				・直近の初診日以降の算定済み医学管理料で判断ができること。		
4.1.6.105				・カルテ記載画面は、前回入力した診療記録内容を引継ぐことができること。		
4.1.6.106				・オーダー画面でDOを行い、カルテ記載画面を表示する場合、今回のカルテテンプレートとDO元のテンプレートの世代が異なる場合はその旨を警告メッセージにて表示し、その記載内容はクリアした状態で表示できること。		
4.1.6.107				・医事会計システムに伝達するコードは、(医事システムの医事コード)あるいは(医事システム側のセットコード)を設定できること。		
4.1.6.108				・特定の医学管理料については、医事会計システムに伝達しない設定もできること。		
4.1.6.109				・患者単位・医学管理料単位、指示医単位に候補として表示しない指定ができること。		
4.1.6.110				・患者単位・医学管理料単位、指示医単位に候補として表示しない期間指定ができること。(例:患者Aについて、平成25年6月30日までは特定薬剤治療管理料をオーダー画面に候補として表示しない)		
4.1.6.111				・診療記録記載画面は(一時保存)と(登録)が行なえること。		
4.1.6.112				・診療記録記載画面は(一時保存)を使用しない設定ができること。		
4.1.6.113				・カルテ画面を開いた際に算定可能な医学管理料の候補がある患者に対しては、その旨をお知らせする機能を有すること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.1.6.114				・患者単位・医学管理料単位、指示医単位に候補として表示しない指定をしたデータを一覧画面で確認できること。また、一覧画面上から新規／変更／削除登録も可能なこと。		
4.1.6.115			電子診療記録の代行入力・承認機能	・電子カルテの承認機能と連携して、オーダー内容およびカルテ記載内容の承認が電子カルテ上で可能であること。		
4.1.6.116				・医師が電子カルテにログインした場合、承認依頼がある時のみ代行入力・承認画面が自動的に表示されること。		
4.1.6.117				・研修医が診療記録の代行入力を行う場合は指示医の指定ができること。		
4.1.6.118				・医療クラーク等が診療記録の代行入力を行う場合は指示医の指定ができること。		
4.1.6.119				・医療クラーク等が算定可能な医学管理料あるいは算定不可な医学管理料を指定し、診療記録の代行入力をできること。		
4.1.6.120				・事前登録を行った内容を、担当医に伝達できること。		
4.1.6.121				・医学管理料オーダーの事前登録は、任意の患者を指定することでも実施できること。		
4.1.6.122				・医学管理料オーダーの事前登録を行う前に、対象患者の医学管理料算定候補の有無をチェックできること。		
4.1.6.123				・医学管理料オーダー画面を医師が開いた際に、医療クラーク等が事前登録した医学管理料の内容および診察記事の内容が反映されていること。医師は代行者の登録した判断根拠を確認の上、診察記事を承認しオーダー登録ができること。		
4.1.6.124				・事前登録した医学管理料情報について、医師がオーダーしたかどうか、診察記事に反映されているかどうかの状況を確認できること。		
4.1.6.125			医学管理料チェックマスタ	・診療内容(薬剤)、傷病名、算定履歴などと紐付けをした医学管理料チェックマスタが提供可能であること。改正時の変更対応もできること。		
4.1.6.126			カルテ記載用テンプレート	・医学管理料単位に、カルテ記載用テンプレートのサンプル提供が可能であること。(歯科は除く)		
4.1.6.127				・改正時に変更・追加がある場合、サンプル提供が可能であること。		
4.1.6.128				・病院オリジナルのカルテ記載用テンプレートを、チェックボックス・ラジオボタン・テキストボックスを使用して新規作成できること。		
4.1.6.129				・提供されたカルテ記載用テンプレートを流用して病院オリジナルのカルテ記載用テンプレートが作成できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.6.130			適応症チェック機能	・オーダーリングシステムと連携し、選択した患者に対する当日の処方、注射オーダーと病名オーダーとの適応チェックの機能を有すること。		
4.1.6.131				・選択した患者の処方、注射オーダー登録時に、薬剤に適応する病名オーダーが存在しない場合、候補病名一覧画面を自動起動できること。		
4.1.6.132				・候補病名一覧画面では、当日オーダーされている処方、注射薬剤ごとに候補病名およびICD10が一覧表示されること。		
4.1.6.133				・候補病名一覧画面における、各薬剤に対する病名候補の表示個数は設定により変更可能であること。		
4.1.6.134				・候補病名一覧画面における、各薬剤に対する病名候補は各診療科ごとの頻用順に表示されること。		
4.1.6.135				・候補病名一覧画面において、表示された病名を引用し、病名オーダー画面においてICD10による病名検索が行えること。		
4.1.6.136				・適応症チェックの元となるマスタデータベースを適宜最新に更新可能であること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.7	処方オーダー					
4.1.7.1	処方オーダー	オーダー入力	共通	・適用保険選択によるオーダーができること。		
4.1.7.2				・次の内容を入力ができること。マスタまたは他のシステムで入力済みの項目については選択入力または自動表示できること。 <ul style="list-style-type: none"> ・薬剤 ・用量 ・用法(内服外用頓服回数時間粉碎混合等) ・投与日数 ・一包化指示はAA/ABともにできること。 ・現在の一包原則を踏襲すること。 ・定型コメント及びフリーコメント(RP毎) 		
4.1.7.3				・入力簡素化のために以下の簡易選択画面が作成できること。 <ul style="list-style-type: none"> ・院内共通 ・科別 ・医師別 ・疾患別 ・主訴別 等 		
4.1.7.4				・またユーザ側で自由かつ容易に簡易選択画面の作成修正ができる機能を有すること。		
4.1.7.5				・薬剤のカナ検索、英字検索が容易にできること。		
4.1.7.6				・検索は3文字以上等文字数の制限ができること。		
4.1.7.7				・カナまたは英字3文字以上を検索キーとして、薬剤を選択できること。 設定により検索文字数の変更ができること。 また、1薬剤ごとの検索名称(略称)を30個以上登録できること。		
4.1.7.8				・設定により検索文字数の変更ができること。		
4.1.7.9				・また、1薬剤ごとの検索名称(略称)を30個以上登録できること。		
4.1.7.10				・キーボードを使わずにマウスのみで薬品検索ができること。		
4.1.7.11				・薬効検索ができること。		
4.1.7.12				・疾病検索ができること。		
4.1.7.13				・単位が3種類まで設定できること。 (成分単位、規格単位、包装単位)		
4.1.7.14				・麻薬は識別表示できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.1.7.15				・薬品選択時に頻用の薬剤の用量用法をあらかじめ登録しておきデフォルト(既定値)表示できること。		
4.1.7.16				・デフォルト(既定値)は必要に応じて変更できること。		
4.1.7.17				・既オーダを参照し、全部または一部を利用(DO処理)して処方オーダができ、発行済のオーダも複写することができること。		
4.1.7.18				・薬品名称が変更になった過去の処方オーダを複写する場合、最新の薬品名称に自動変更され、オーダ発行ができること。		
4.1.7.19				・各種セットを利用し、処方指示入力ができること。		
4.1.7.20				・科別、疾患別セットの選択入力が容易にできること。		
4.1.7.21				・コメント数の制限がないこと。		
4.1.7.22				・コメントはRP毎に入力できること。		
4.1.7.23				・薬剤指定によるDI情報表示ができること。		
4.1.7.24				・不均等処方の指定ができること。		
4.1.7.25				・粉碎、倍量、ミックスの指定ができること。		
4.1.7.26				・粉碎禁止、半錠禁止のチェックができること。		
4.1.7.27				・全科分の既オーダを参照し、オーダ単位またはRp単位で流用(DO入力)でき、保険期間切れのチェックもできること。		
4.1.7.28				・1Rp内に複数の薬剤を登録する場合、自動で行の追加が可能なこと。		
4.1.7.29				・複数のRpがある処方オーダのうち、1つのRpのみ個別選択しコメントを追加することが可能なこと。		
4.1.7.30				・複数薬剤が登録されている処方オーダを継続投与する際に一括操作で継続指示が可能なこと。		
4.1.7.31				・100日以上処方が発行できること。		
4.1.7.32				・長期投与日数、最大投与日数のチェックができること。		
4.1.7.33				・外用薬で頓服の用法を指定するか内服の用法を指定するか、総量で指定するかが薬品毎に設定できること。		
4.1.7.34				・外用薬に内服の用法、内服薬に外用の用法が指定できないようチェックできること。		
4.1.7.35				・自己注射(薬剤注射器針)の入力ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.1.7.36				・インスリン製剤の単位数入力が簡単にできること。		
4.1.7.37				・持参薬の登録ができること。		
4.1.7.38				・定数配置薬を利用した場合の事後(オーダー即実施)入力と医事会計システムへの情報送信ができること。		
4.1.7.39				・システム障害時(手書き伝票運用)の処方歴記録のための入力ができること。		
4.1.7.40				・オーダーの進捗状況を表示できること。		
4.1.7.41				・条件によって患者を限定し表示できること。		
4.1.7.42				・日付を限定することで該当情報が参照でき、表示されたオーダーに対しては削除指示が行えること。		
4.1.7.43				・院内院外処方を保険や夜間休日等で自動的に切り替える設定ができること。		
4.1.7.44				・オーダーで過去のを調べる時に、日時指定して一度に検索がかけられること。		
4.1.7.45				・後発品から先発品の略称検索ができること。		
4.1.7.46				・検索する薬剤が、先発医薬品または後発医薬品か判別できること。		
4.1.7.47				・注意が必要な薬品については、種類毎に設定された文字色で表示できること。		
4.1.7.48				・文字色の指定は、薬品の種類(麻薬劇薬毒薬向精神薬)毎および薬品毎に設定できること。		
4.1.7.49				・内用薬は1日量、頓服は1回量、外用薬は総投与量または一回量で使用量を登録することができ、成分量での登録もできること。		
4.1.7.50				・入力薬剤の種類に対応した用法種を自動的に検索表示領域に表示し、この用法種から用法を選択して登録できること。		
4.1.7.51				・必要時指示の入力ができること。		
4.1.7.52				・外来処方を入力時、開始日を当日に設定できること。		
4.1.7.53				・入院定期処方を入力時、入院科および病棟に対応した定期処方日の選択入力が行え、次回までの日数を自動発生できること。		
4.1.7.54				・権限により、オーダー発行後の修正・削除ができ、当日の臨時処方の修正・削除もできること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.1.7.55				・処方された薬が一覧表示できること。		
4.1.7.56				・当院で処方された薬が全科分一覧表示でき、他院で処方された薬も入力すれば、同じ画面で確認できること。		
4.1.7.57				・同一オーダにてインスリンの定期投与(朝3単位、昼3単位、夜3単位、寝る前別の薬3単位)のオーダ登録が可能なこと。		
4.1.7.58				・トーショー社製医薬品データベースと連携可能なこと。		
4.1.7.59				・薬剤師による処方オーダの登録、修正、削除が可能なこと。		
4.1.7.60			外来	・院外、院内処方選択ができること。		
4.1.7.61				・時間外の処方オーダについて院内処方が既定となるよう設定が可能なこと。		
4.1.7.62				・臨時処方の入力ができること。		
4.1.7.63				・院内採用薬は識別表示できること。		
4.1.7.64				・後発医薬品への変更可不可の指定ができること。		
4.1.7.65				・投与開始日はデフォルト(既定値)で当日に設定できること。		
4.1.7.66				・投与開始日はデフォルトで当日に設定できること。		
4.1.7.67				・薬剤情報提供指示ができること。		
4.1.7.68				・麻薬特殊薬剤の識別表示(表示色を変える)ができること。		
4.1.7.69				・麻薬を選択した場合、麻薬施用者番号が職員マスタに設定されている医師のみが入力可能なようにチェックできること。		
4.1.7.70				・患者希望により、院内院外の切り替えができること。		
4.1.7.71			入院	・定時、臨時、退院処方等のオーダ区分による入力ができること。		
4.1.7.72				・処方開始日付による定時、臨時処方の自動設定ができること。		
4.1.7.73				・病棟毎の定時処方(定時処方運用時)は、次回迄の投薬日数を自動表示できること。		
4.1.7.74				・次回調剤日が祝祭日、年末年始、連休の場合、メッセージ表示又は締切時間をマスターで設定できること。		
4.1.7.75				・定時処方は自己管理の有無についても指定できること。		
4.1.7.76				・定期処方の締めに関係なく入力できる臨時処方の入力ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.7.77				・退院時処方の入力ができること。		
4.1.7.78				・臨時、退院時には至急指定できること。 (システムで至急指定の可否が設定できること。)		
4.1.7.79				・入院中外来患者の入院処方を可能とすること。		
4.1.7.80				・入院の場合には、定期、臨時、退院、持参薬の処方区分で表示、 選択できること。		
4.1.7.81		チェック機能		・次の処方チェック機能を有すること。チェックのある場合は、警告表示とともにチェック内容を表示できること。 投与量(上限下限極量)慎重投与(含む注射薬) 用量回数 粉砕不可 重複(他科) 妊産婦禁忌 投与日数 必須入力項目 同日の院外/院内処方 使用期限 併用禁忌(含む注射薬)年齢による常用量 アレルギー 内服種類数		
4.1.7.82				・警告に対して、コメント付加等の一定の条件によるオーダーができること。		
4.1.7.83				・強制入力によるオーダーはコメントまたは識別表示できること。		
4.1.7.84				・麻薬劇薬は識別できること。		
4.1.7.85				・薬品アレルギーについて、個々の薬品に対するアレルギーチェックができること。		
4.1.7.86				・アレルギー登録後は、画面上にマークが表示されること。		
4.1.7.87				・薬品アレルギーについて、剤形が多い薬剤は、成分名を単独で登録することで、全ての剤形をアレルギー登録ができること(アセトアミノフェン、ジクロフェナク等)		
4.1.7.88				・薬品アレルギーの分類を細かく分けられること。		
4.1.7.89				・患者基本オーダーとの連動により患者アレルギー、妊産婦禁忌や、 院外処方不可などのチェックができること。		
4.1.7.90				・病名オーダーとの連動により、患者保有病名と薬剤との禁忌チェック ができること。		
4.1.7.91				・麻薬、特殊薬剤を選択した場合に、警告メッセージが表示されること。		
4.1.7.92				・患者のアレルギー情報の参照ができること。		
4.1.7.93				・注射薬との相互チェックができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.7.94				・禁忌チェックについては薬剤師にてメンテナンス可能なこと。		
4.1.7.95		持参薬管理		・全薬品(採用薬以外含む)を管理できること。オーダ履歴として管理できること。		
4.1.7.96				・処方及び持参薬を同じオーダ画面に表示できること。また、処方カレンダー表示にも対応できること。		
4.1.7.97				・医療安全の面で、服薬期間を明確に把握できるカレンダー表示ができ、持参薬、現在内服中の薬、中止薬等一覧が参照できること。		
4.1.7.98				・持参薬をDoする際に院内採用薬がない場合、院内採用薬から候補を提示すること。		
4.1.7.99				・処方ワークシートへの印刷を、持参薬と入院後の処方のみに調整できること。		
4.1.7.100				・持参薬登録の際、持参薬区分を一括で選択できること。		
4.1.7.101				・通常処方同様禁忌等のチェック対象とすること。		
4.1.7.102				・保険請求の対象外とすること。		
4.1.7.103				・薬局システムへの情報連携(インターフェイス)ができること。		
4.1.7.104				・入院患者の処方に「持参薬」としてオーダできること。		
4.1.7.105				・持参薬の登録時、院内非採用薬に対し院内採用薬の情報を登録できること。		
4.1.7.106				・持参薬の登録時、持参薬通知書を発行できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.8	注射オーダー					
4.1.8.1	注射オーダー	オーダー入力	共通	・適用保険選択によるオーダーができること。		
4.1.8.2				・薬剤検索等の方法を利用して注射に関する情報を登録し、注射箋を発行すること。		
4.1.8.3				・表示された履歴単位または日付単位でDo入力、修正入力、実施入力を行うことができること。		
4.1.8.4				・情報の入力はルート(手技)選択をし薬剤入力を行うこと。		
4.1.8.5				・薬剤の入力は、フォルダを利用して頻用薬剤から選択する方法と、カナアルファベットから検索する方法の2種類ができること。		
4.1.8.6				・次の内容を入力でき、マスタ等の設定により選択入力または自動選択できること。 薬剤 用量 用法(手技、速度/時間、投与経路、実施時間/回数) 投与期間 定型コメントおよびフリーコメント(RP単位)		
4.1.8.7				・入力簡素化のために以下の簡易選択画面が作成できること。 院内共通 科別 医師別 疾患別 主訴別 等 また自由に利用者がその画面の作成修正ができる機能を有すること。		
4.1.8.8				・作成された簡易選択画面は、USBメモリー等の媒体を利用せず、どの端末においても利用できること。		
4.1.8.9				・カナまたは英字の3文字以上を検索キーとして、薬剤を選択できること。		
4.1.8.10				・設定により検索文字数の変更ができ、1薬剤ごとの検索名称(略称)を30個以上登録できること。		
4.1.8.11				・検索した薬剤について、DI(医薬品情報)が表示できること。		
4.1.8.12				・発行済注射オーダーを複写することができること。		
4.1.8.13				・薬効検索ができること。		
4.1.8.14				・疾病検索ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.1.8.15				・用量は、複数単位で選択入力できること。		
4.1.8.16				・単位が3種類まで設定できること。		
4.1.8.17				・薬品選択時に頻用の薬剤の用量用法をあらかじめ登録しておきデフォルト(既定値)表示できること。		
4.1.8.18				・デフォルト(既定値)は必要に応じて変更できること。		
4.1.8.19				・点滴ドロップ数の指定ができること。		
4.1.8.20				・CC/時、CC/分、滴/時、滴/分の指定ができること。		
4.1.8.21				・点滴時間よりドロップ数を自動計算できること。		
4.1.8.22				・持続点滴の場合点滴量、ドロップ数より1日の必要回数を、自動計算できること。		
4.1.8.23				・小数点以下の入力ができること。		
4.1.8.24				・注射開始時間の指定が注射回数にあわせてできること。		
4.1.8.25				・注射薬剤のみの入力で手技の入力をうながすことができること。		
4.1.8.26				・既オーダを参照し、全部または一部を流用(DO処理)して、オーダができること。		
4.1.8.27				・インスリン製剤の単位数入力が簡単にできること。		
4.1.8.28				・日付指定の先付けオーダができること。		
4.1.8.29				・定数配置薬を利用した場合の事後(オーダ即実施)入力と、医事会計システムへの情報送信ができること。		
4.1.8.30				・システム障害時(手書き伝票運用)の注射歴の記録のための入力(事後入力)ができること。		
4.1.8.31				・精密持続点滴、無菌製剤加算等は注射オーダの指示内容に伴い、自動的に表示されること。		
4.1.8.32				・追加薬剤オーダ時、薬剤部門に注射箋が出力されること。		
4.1.8.33				・必要時指示の入力ができること。		
4.1.8.34				・外来の投与日はデフォルト(既定値)で当日に設定できること。		
4.1.8.35				・オーダ入力時にオーダ内容をカレンダー表示し、既オーダ内容を含めオーダ内容の確認ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.1.8.36				・注射実施期間の指定ができること。		
4.1.8.37				・持続点滴(継続)オーダーの指定ができること。		
4.1.8.38				・継続オーダーの発行期間の制限ができること。		
4.1.8.39				・発行済オーダーをカレンダー表示し、変更中止削除ができること。		
4.1.8.40				・祝祭日年末年始連休の場合は、その旨メッセージ表示又は締切時間マスタで設定できること。		
4.1.8.41				・注射オーダーは、カレンダー形式にてオーダーが出せること。また、指示のON、OFFができるようにすること。		
4.1.8.42				・処方も薬剤名をクリックで入力できるようにすること。 (点滴速度なども)		
4.1.8.43				・オーダーの削除指示でラベルプリンターよりラベルが出力されないこと。		
4.1.8.44				・オーダーの中止や変更が把握し易いこと。		
4.1.8.45				・全科分の既オーダーを参照し、オーダー単位の流用(DO入力)ができること。		
4.1.8.46				・1回量での使用量および使用量コメントの入力ができ、使用量は成分量での入力もできること。		
4.1.8.47				・ルート、ルートコメントおよび投与方法を、一覧から選択入力できること。		
4.1.8.48				・注射の速度指示の入力(数値入力)ができること。		
4.1.8.49				・麻薬特殊薬剤の識別表示(表示色を変える)ができること。		
4.1.8.50				・患者のアレルギー情報の参照ができること。		
4.1.8.51				・オーダーの進捗状況(未実施/実施済み/会計済み等)により、識別表示(表示色を変える)ができること。		
4.1.8.52				・注射オーダー入力/発行済み注射の修正/会計済み注射の修正について、各々職種により操作者を限定できること。		
4.1.8.53				・複数薬剤が登録されている注射オーダーを継続投与する際に一括操作で継続指示が可能なこと。		
4.1.8.54				・トーショー社製医薬品データベースと連携可能なこと。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.8.55			チェック機能	・注射指示入力時に、同一薬剤、同一成分(同効薬剤)、絶対禁忌、相互作用、混合、剤型、適正規格値、薬剤手技(ルート)禁忌、妊産婦禁忌、および有効期限のチェックができること。 (他科との重複相互作用チェック含む)		
4.1.8.56				・患者基本オーダとの連動により患者アレルギーのチェックができること。		
4.1.8.57				・病名オーダとの連動により、患者保有病名と薬剤との禁忌チェックができること。		
4.1.8.58				・処方薬との相互チェックができること。		
4.1.8.59				・麻薬を選択した場合、麻薬施用者番号が職員マスタに設定されている医師のみが入力可能なようにチェックできること。		
4.1.8.60				・禁忌チェックについては薬剤師にてメンテナンス可能なこと。		
4.1.8.61			注射箋・ラベル出力	・麻薬注射箋を出力できること。		
4.1.8.62				・指定部署で注射箋出力をできること。(救急外来含む)		
4.1.8.63				・病棟で臨時オーダに伴う注射箋の出力をできること。		
4.1.8.64				・注射変更時は、変更前後の内容を出力できること。		
4.1.8.65				・注射箋は締め処理による出力ができること。締め前は薬剤部締め後は病棟に出力など柔軟に対応できること。		
4.1.8.66				・注射ラベルの出力ができること。		
4.1.8.67				・救急外来でも点滴ラベルを出せること。		
4.1.8.68				・次回来院時注射オーダの内容が、注射・処置箋に印刷されること。		
4.1.8.69			実施入力	・オーダ内容をもとに実施内容を入力できること。		
4.1.8.70				・オーダ指定日時ごとに実施入力ができること。また、投与量入力もできること。		
4.1.8.71				・手技等に変更があった場合は、変更入力ができること。		
4.1.8.72				・実施入力は注射歴に反映できること。		
4.1.8.73				・病棟別患者別に実施未実施リストを任意に確認できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.8.74				・注射実施時の認証システム 注射実施間違いを防止するため、現在もPDAを利用しているが、PDAを使用しなければ実施入力ができない設定が可能で、手入力は不可能にできること。		
4.1.8.75			注射歴表示	・次の内容の表示ができること。 日付(オーダー日) 入外区分 診療科 依頼医師 オーダー種別(定時、臨時等) オーダー進捗状況(依頼中、依頼済み、実施、中止等)		
4.1.8.76				・注射歴を個別に指定して注射内容を確認できること。		
4.1.8.77				・全科自科の切り替え表示ができること。		
4.1.8.78				・注射日指定で注射内容の表示ができること。		
4.1.8.79				・オーダー内容と注射実施内容(注射歴)をカレンダー(タイムテーブル)で識別表示できること。タイムテーブルは、一日(実施時間)表示と8日(実施日表示)程度の表示ができること。		
4.1.8.80				・オーダーの進捗状況を今週と翌週の2週間分カレンダー形式で表示し、以下の機能を有すること。		
4.1.8.81				・表示により前後のカレンダーも表示できること。		
4.1.8.82				・表示されたオーダーについて、削除指示、未実施指示、中止指示、中止取消指示ができること。		
4.1.8.83			注射セット登録	・入力簡素化のために以下の入力セットが作成できること。 院内共通セット 科別 医師別セット 疾患別セット 主訴別セット 等 また利用者側で自由かつ容易にセットの作成修正ができる機能を有すること。		
4.1.8.84				・各セットには、処方検体検査放射線注射等複数の行為をセット化できること。		
4.1.8.85				・登録されたセットは、USB等の媒体を利用せず、どの端末においても利用できること。		
4.1.8.86			他システム連携	・注射薬払出しシステム、治験管理システム、看護部門システム、医事会計システムとの連携が密接に行われること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.8.87				・オーダー情報(中止情報含む)は、調剤支援システムへ送信できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.9	服薬指導オーダー					
4.1.9.1		服薬指導オーダー	オーダー入力	・服薬指導依頼オーダー入力ができること。		
4.1.9.2				・薬剤部門への特定の指示が必要な場合に定型コメント、フリーコメント入力ができること。		
4.1.9.3			付加情報	・依頼医師、病名。		
4.1.9.4			実施入力	・服薬指導の実施入力ができること。		
4.1.9.5				・指導項目と内容は定型文から選択でき、フリー入力もできること。		
4.1.9.6			服薬指導記録出力	・必要に応じて服薬指導記録の出力ができること。		
4.1.9.7			服薬指導履歴表示	・服薬指導履歴を表示できること。また、指導日指定で指導内容の表示ができること。		
4.1.9.8			他システム連携	・看護システム、医事会計システムと連携が密接にできること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.10	処置オーダー					
4.1.10.1		処置オーダー	オーダー入力	・適用保険選択によるオーダーができること。		
4.1.10.2				・次の内容を入力ができること。マスタまたは他のシステムで入力済みの項目については選択入力または自動表示できること。 ・処置項目 ・処置実施日及び期間 ・処置部位 ・処置薬、診療材料 ・定型コメント及びフリーコメント		
4.1.10.3				・入力簡素化のために以下の入力ガイド画面(簡易選択画面)が作成できること。 ・院内共通ガイド ・科別ガイド ・医師別ガイド ・疾患別ガイド ・主訴別ガイド等		
4.1.10.4				・また自由に利用者がそのガイド画面(簡易選択画面)の作成・修正ができる機能を有すること。		
4.1.10.5				・作成されたガイド画面(簡易選択画面)は、USBメモリ等の媒体を利用せず、どの端末においても利用できること。		
4.1.10.6				・処置項目のカナ検索、英字検索が容易にできること。		
4.1.10.7				・既オーダーを参照し、全部または一部を流用(DO処理)して処置オーダーができること。		
4.1.10.8				・発行済処置オーダーを複写することができること。		
4.1.10.9				・身長、体重、酸素濃度、酸素流量等オーダーの付随情報が指定できること。		
4.1.10.10				・処置開始時間が処置回数分指定できること。		
4.1.10.11				・処置の開始時間、終了時間が日付をまたがって指定できること。		
4.1.10.12				・創処置で部位も記入できること。		
4.1.10.13				・処置行為に付随する詳細情報として、部位・薬剤・材料・コメント・時間が入力できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.1.10.14				・処置行為に伴う部位・材料・薬剤・処置時間の自動督促入力ができること。		
4.1.10.15				・日付指定の先付けオーダーができること。		
4.1.10.16				・事後(オーダー即実施)入力と医事会計システムへの情報送信ができること。		
4.1.10.17				・科別処置、病棟別処置および一般処置・緊急処置の機能別の処置項目画面を設定できること。		
4.1.10.18				・全科分の既オーダーを参照し、流用(DO入力)できること。		
4.1.10.19				・期間での曜日指定および間隔指定により、連続して処置指示入力ができること。		
4.1.10.20				・1日に複数回行う場合、その回数を指定できること。		
4.1.10.21				・患者に指示済みの処置オーダーの状況を、カレンダー形式で表示できること。		
4.1.10.22				・進捗状況(実施済み/未実施/中止)を識別表示(表示色を変える)できること。		
4.1.10.23				・処置実施日はデフォルト(既定値)で当日に設定できること。		
4.1.10.24				・処置実施期間の指定ができること。		
4.1.10.25				・処置の継続指定ができること。		
4.1.10.26				・曜日指定、間隔指定の期間オーダーができること。		
4.1.10.27			チェック機能	・次の処置薬剤のチェック機能を有すること。チェックのある場合は、警告表示とともにチェック内容を表示できること。 ・投与量(上限・下限・極量)		
4.1.10.28			処置箋出力	・外来の処置箋(処置指示票)を、各科処置室または病棟のプリンタに患者ごとに出力できること。		
4.1.10.29			中止	・指示簿指示、処置オーダーの中止の指示が明確に出せること。		
4.1.10.30			実施入力	・オーダー内容をもとに実施内容を入力および修正できること		
4.1.10.31				・オーダー指定日時毎、処置毎に実施入力ができること。		
4.1.10.32				・使用薬剤、診療材料の入力ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.1.10.33				・実施入力は処置歴に反映できること。		
4.1.10.34				・病棟別患者別に実施・未実施リストを定期的に出力できること。		
4.1.10.35				・オーダー即実施の設定が可能なこと。		
4.1.10.36			処置歴表示	・次の内容の表示ができること。 <ul style="list-style-type: none"> ・日付(オーダー日) ・入外区分 ・診療科 ・依頼医師 ・オーダー種別 ・オーダー進捗状況等) 		
4.1.10.37				・オーダー内容に沿った処置歴表示ができること。		
4.1.10.38				・全科・自科の切り替え表示ができること。		
4.1.10.39				・処置日指定で処置内容の表示ができること。		
4.1.10.40				・オーダー内容と処置実施内容(処置歴)をカレンダー(タイムテーブル)表示できること。		
4.1.10.41			入院患者の予定・実施状況一覧表示	・入院患者のオーダー予定・実施状況のカレンダー表示が患者一覧形式にて確認できること。		
4.1.10.42				・オーダーの予定、実施等の進捗状況がカレンダー上に記号で表示できること。		
4.1.10.43				・表示対象患者は、科および病棟を選択して表示できること。		
4.1.10.44				・カレンダー表示は、8日分の表示ができること。		
4.1.10.45				・2週間分の対象日は変更ができること。		
4.1.10.46				・患者詳細情報として、性別、生年月日、患者番号、科、病棟の表示ができること。		
4.1.10.47				・対象患者またはオーダー進捗記号をクリックすることにより、オーダーの詳細内容が確認できること。		
4.1.10.48			照会一覧	・照会一覧には、患者番号、患者氏名、性別、生年月日、科、部署、病棟、オーダー進捗、会計情報を表示できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.10.49			他システム連携	・看護部門システム、医事会計システムとの連携が密接にできること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.11	検体検査オーダー					
4.1.11.1		検体検査オーダー	オーダー入力	・入力検査伝票イメージで項目選択形式でできること。		
4.1.11.2				・適用保険選択によるオーダーができること。		
4.1.11.3				・次の内容を入力ができること。マスタまたは他のシステムで入力済みの項目については選択入力または自動表示できること。 ・検査種別検査項目（一般、生化、血液、血清、細菌等） ・検査日時及び同一日の同一項目の時間指定 ・検体材料 ・培養方法、検査材料、使用薬剤、染色方法（細菌検査） ・検査時間及び薬剤（負荷試験） ・定型コメント及びフリーコメント		
4.1.11.4				・また、項目のマスタ設定のない時効（セット検査等）についても集計が可能なこと。		
4.1.11.5				・入力簡素化のために以下の入力ガイド画面（簡易選択画面）が作成できること。 ・院内共通ガイド ・科別ガイド ・医師別ガイド ・疾患別ガイド ・主訴別ガイド 等		
4.1.11.6				・また自由に利用者がそのガイド画面の作成・修正ができる機能を有すること。		
4.1.11.7				・作成されたガイド画面は、USBメモリー等の媒体を利用せず、どの端末においても利用できること。		
4.1.11.8				・ガイド画面にあらかじめ「先付オーダー」、「至急検査」等の属性も含めてセットできること。		
4.1.11.9				・発行済検体検査オーダーを複写することができること。		
4.1.11.10				・以下の先付オーダー（次回診察前検査オーダー）ができること。 ・来院時（日付未定） ・来院時（日付未定）継続 ・日付指定の来院時 ・月1回継続来院時		
4.1.11.11				・検査D○機能があること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.1.11.12				・薬物血中濃度検査(TDM)オーダーができること。		
4.1.11.13				・至急検査(検査結果至急)が識別表示できること。		
4.1.11.14				・また、至急オーダー指定ができること。		
4.1.11.15				・緊急検査として指定が可能な検査か否かをあらかじめマスタ設定できること。		
4.1.11.16				・時間外検査、曜日指定検査は別途選択入力できること。		
4.1.11.17				・外注検査、保険外検査も同様にオーダーできること。		
4.1.11.18				・保険外検査は、保険外検査であることを識別表示できること。(色等が変わる等)		
4.1.11.19				・外注検査は、外注検査であることを識別表示できること。(色等が変わる等)		
4.1.11.20				・全科分の既オーダーを参照し、全部または一部を利用(DO処理)してオーダーができること。		
4.1.11.21				・発行済検体検査オーダーを複写することができること。		
4.1.11.22				・オーダー入力項目を検査種別毎に一覧表示でき、オーダー内容の確認できること。		
4.1.11.23				・フリーコメントで文字・記号入力ができること。		
4.1.11.24				・検査単位にも検体単位にもコメントの指定できること。		
4.1.11.25				・生化学、血液、血清、および一般の各検査をオーダー対象とできること。		
4.1.11.26				・同一オーダー内の検査項目ごとに検査材料の設定ができること。		
4.1.11.27				・各種セットを利用し、検査項目の指示入力ができること。		
4.1.11.28				・検査室別・機能別の検査項目画面を設定できること。		
4.1.11.29				・検査項目画面の初期画面については、科毎に変更ができること。		
4.1.11.30				・期間での曜日指定、日付指定および同一日での時間指定(負荷・日内変動検査の場合)により、連続して検査指示入力ができること。		
4.1.11.31				・採取日を当日に自動設定できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.11.32				・コメント入力および検体変更入力ができること。		
4.1.11.33				・なお、検体変更の可否がマスタ設定によりチェックできること。		
4.1.11.34				・検査指示入力時、自動的に付加情報の入力を促すことができること。		
4.1.11.35				・また、患者基本情報(身長・体重)等の付加情報は、患者基本オーダーと連動し表示できること。		
4.1.11.36				・同一日・同一検査項目の重複チェックが、自科・他科を問わずできること。		
4.1.11.37				・検査項目の有効期限切れをチェックできること。		
4.1.11.38				・負荷検査については、負荷薬剤および負荷時間の選択ができること。		
4.1.11.39				・日内変動検査については、日内変動時間の選択ができること。		
4.1.11.40				・検査指示の入力途中に、その患者の検体検査結果照会を表示できること。		
4.1.11.41				・登録した科と同一科でなければ、オーダー削除が行えないこと。		
4.1.11.42				・医師はラベル未発行のみ修正可能、検査技師は未発行・発行済みとも修正可能というように、各々職種により操作可能な範囲を限定できること。		
4.1.11.43				・採血時間の登録方法が簡便であること。		
4.1.11.44				・血液型がオモテ試験しか行っていない場合、患者属性へ反映しないこと。		
4.1.11.45				・同日の同一項目の重複オーダーの回避機能を有すること。		
4.1.11.46				・採取指示票・検体ラベルおよび採取一覧表の出力ができること。		
4.1.11.47				・同一項目において検体が複数ある場合、検体変更が可能なこと。		
4.1.11.48			中止・変更	・中止指示を検査履歴へ反映すること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.11.49				・オーダー内の単項目のみ中止の時など、検体検査部門システムからの中止処理が会計システムに反映されること。		
4.1.11.50				・従来の電子カルテシステムの検査項目のマスタの項目コードを新規のシステムに移行し、同一コードで使用できること。		
4.1.11.51			チェック機能	・重複チェックの際に1画面にて確認が可能なこと。		
4.1.11.52				・一部実施、一部中止が可能なこと。		
4.1.11.53		ラベル	検体ラベル	・検体ラベル出力できること。		
4.1.11.54				・発行指示を行った近傍のプリンタ(中央採血室や処置室)に採取指示票・検体ラベルを出力できること。		
4.1.11.55			受付	・検体検査オーダーを受ける画面において外来、入院患者を同時に表示可能なこと。		
4.1.11.56				・採取ラベル発行後にはオーダー変更を不可とする設定が可能なこと。		
4.1.11.57			一括発行	・入院中の患者および透析、検診患者に対し、一括発行ができること。		
4.1.11.58			検査履歴表示	・オーダー内容に沿った検査履歴表示ができること。		
4.1.11.59			一覧表示	・入院患者のオーダー予定・実施状況のカレンダー表示が患者一覧形式にて確認できること。		
4.1.11.60				・表示対象患者は、全患者と自担当患者を選択して表示できること。		
4.1.11.61				・表示対象患者は、科および病棟を選択して表示できること。入院外来の区別なく科の依頼一覧の表示ができること。		
4.1.11.62				・2週間分の対象日は変更ができること。		
4.1.11.63				・患者詳細情報として、性別、生年月日、患者番号、科、病棟の表示ができること。		
4.1.11.64				・検査項目によって身長・体重・畜尿量が入力でき検査システムと連動ができること。		
4.1.11.65		結果	検査結果表示	・検査部門システムから送信された検査結果を表示できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.11.66				・従来の電子カルテシステムの過去の検査履歴もすべて含め時系列での検査結果の表示ができること。		
4.1.11.67				・次の内容の検査結果が表示・印刷できること。 ・報告書イメージでの参照・印刷 ・検査日指定で検査種別の検査結果の一覧表示 ・検査項目別または検査セット指定による時系列表示 ・検査項目指定又は検査セット指定による時系列グラフ表示		
4.1.11.68				・検査結果の出力順を設定できること。		
4.1.11.69				・異常値の検査結果、正常値を超える検査結果は、識別表示できること。		
4.1.11.70				・患者情報として設定された血液型や感染情報などが、検査結果から自動更新できること。		
4.1.11.71				・パニック値等の情報を検査結果として送信ができること。		
4.1.11.72				・検査部門からのコメント情報を表示できること。		
4.1.11.73				・コメント欄は別個に4項以上あること。		
4.1.11.74				・検査結果の時系列ですべて確認できること。（横スクロールで確認できること。）		
4.1.11.75				・検査結果をエクセルに落とすことができること。		
4.1.11.76				・検体検査の結果の指定項目のみの表示することができること。		
4.1.11.77				・検査部門システムから一つでも結果が返ってくれば、当日の結果画面が表示される仕組みであること。		
4.1.11.78				・一般・血液・生化等のサマリ(報告書)単位の検体検査結果を表示できること。		
4.1.11.79				・また、対象オーダの依頼元、畜尿量・時間、付加コメント、依頼コメント、検体コメントを表示できること。		
4.1.11.80				・検体もしくは、報告書区分の指定により、データを絞り込んで表示できること。		
4.1.11.81				・検査項目の正常値範囲の数値ガイドと単位を表示できること。		
4.1.11.82				・異常値の検査項目については、色(上限値を超える場合には赤、下限値を下まわる場合には青)を変えて表示できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.11.83				・検査結果を診療記録にコピーする際に手直しせずにペースト可能なこと。		
4.1.11.84				・写真画像やグラフ画像を添付可能とすること。		
4.1.11.85			画像送信	・検査結果の画面に検体検査システムから送信されたJPEGファイルが表示可能であること。		
4.1.11.86				・採血結果は過去の結果を一度に参照できること。		
4.1.11.87			時系列	・一覧結果照会にて選択された項目の検査結果を、時系列に表示できること。		
4.1.11.88				・検査項目の正常値範囲の数値ガイドと単位を表示できること。		
4.1.11.89				・異常値の検査項目については、色(上限値を超える場合には赤、下限値を下まわる場合には青)を変えて表示できること。		
4.1.11.90				・時系列画面出力指示一覧から、選択したオーダを含む過去数回分の時系列データの出力ができること。		
4.1.11.91			グラフ表示	・一覧結果照会にて選択された項目の検査結果を、グラフ(折れ線グラフ)表示できること。		
4.1.11.92				・時系列結果照会で選択された項目の検査結果を、グラフ(折れ線グラフ)表示できること。		
4.1.11.93				・グラフ表示では、検査結果の正常値範囲を色帯で表示できること。		
4.1.11.94			負荷・日内検査	・異常値の検査項目については、色(上限値を超える場合には赤、下限値を下まわる場合には青)を変えて表示できること。		
4.1.11.95				・負荷検査および日内検査の結果を、グラフ(折れ線グラフ)表示できること。		
4.1.11.96				・グラフ表示では、検査ごとの結果の正常値範囲を色帯で表示できること。		
4.1.11.97				・検査結果の閲覧履歴が表示できること。		
4.1.11.98			接続機器	・血糖測定機器(テルモ社)と接続でき、電子カルテに結果が取込めること。		
4.1.11.99			マスタ外検査結果	・マスタ登録のない検査結果を編集、表示する機能を有すること。		
4.1.11.100		その他	統計	・台帳が出力できること。(日別・月別)		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.11.101			他システム連携	・検査部門システム、自動採血管準備システム、健診システム、看護部門システム、医事会計システムとの連携が密接にできること。		
4.1.11.102			会計システム	・同一オーダー内の検査材料ごとの会計送信ができること。		
4.1.11.103			血糖・POCT	・ベッドサイド血糖測定器POCTとの時間、属性、結果の受信、ケアシートへの結果の取り込みが円滑に行われること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.12	生理検査オーダー					
4.1.12.1		生理検査オーダー	オーダー入力	・適用保険選択によるオーダーができること。		
4.1.12.2				・超音波検査、生理検査の各検査をオーダー対象とできること。		
4.1.12.3				・次の内容を入力ができること。 ・検査種別検査項目 ・検査薬剤 ・検査目的 ・病名 ・検査日時 ・定型コメント及びフリーコメント		
4.1.12.4				・入力簡素化のために以下の入力ガイド画面(簡易入力画面)が作成できること。 ・院内共通ガイド ・科別ガイド ・医師別ガイド ・疾患別ガイド ・主訴別ガイド等		
4.1.12.5				・また自由に利用者がそのガイド画面の作成・修正ができる機能を有すること。		
4.1.12.6				・作成されたガイド画面は、USBメモリー等の媒体を利用せず、どの端末においても利用できること。		
4.1.12.7				・身長、体重、開始時間、終了時間等のオーダーに付随する情報が、指定できること。		
4.1.12.8				・検査日時の先付け指定もできること。		
4.1.12.9				・以下の先付オーダー(次回診察前検査オーダー)ができること。 ・来院時(日付未定) ・来院時(日付未定)継続 ・日付指定の来院時 ・月1回継続来院時		
4.1.12.10				・日付指定の来院時は複数日指定ができること。		
4.1.12.11				・緊急検査として指定が可能な検査か否かをあらかじめマスク設定できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.1.12.12				・全科の既オーダを参照し、全部または一部を流用(DO処理)してオーダができること。		
4.1.12.13				・予約の必要な検査は、検査指示と一連の操作で入力できること。		
4.1.12.14				・また、検査部門で予約入力が必要な場合は、連絡方法等のコメント表示ができること。		
4.1.12.15				・予約日時の入力は、カレンダー画面を利用して入力できること。		
4.1.12.16				・また、日付別の空き状況が容易に確認できること。		
4.1.12.17				・予約検査について通常の予約枠の他に「医師枠」「検査枠」を準備することができること。		
4.1.12.18				・技師の勤務体系に合わせて1日に登録可能なオーダ数を設定できること。		
4.1.12.19				・予約時間が重複した場合は、警告表示できること。		
4.1.12.20				・予約入力時に既予約情報を同一画面で表示できること。		
4.1.12.21				・各種セットを利用し、検査項目の指示入力ができること。		
4.1.12.22				・撮影種別・検査種別の検査項目画面を設定できること。		
4.1.12.23				・オーダごとに緊急度・保険の指示ができること。		
4.1.12.24				・項目選択時に、任意の注意メッセージを表示できること。		
4.1.12.25				・同日他科における指示の重複チェックができること。		
4.1.12.26				・検査項目選択時、該当患者の基本情報(身長/体重/移動方法/薬アレルギー/感染情報の有無/妊娠否定区分/出産予定日)については、患者基本オーダと連動し表示できること。		
4.1.12.27				・オーダ中止・削除が行われた場合、予約取りされたオーダに関して、予約の取り消しが自動的にできること。		
4.1.12.28				・実施入力時に実施者を選択できること。		
4.1.12.29			中止	・中止指示(依頼済み)を検査履歴へ反映できること。		
4.1.12.30			検査指示書出力	・患者別の検査指示書を必要に応じて出力できること。		
4.1.12.31			同意書・説明書出力	・オーダに紐付いた同意書や検査説明書などを生理検査オーダと同時に発行できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.12.32			予約管理	・検査種別にスケジュールの管理ができること。		
4.1.12.33				・予約情報の入力時に、当該患者の生理機能以外の検査予約状況を検索できること。		
4.1.12.34				・クローズド予約(生理検査部門予約)入力ができること。		
4.1.12.35				・検査予定一覧を以下の形式で表示し、患者を選択できること。 ・当日及び未来日の全予約・依頼科別・検査項目別		
4.1.12.36				・検査依頼情報の把握を行うため、次の帳票を出力できること。 ・予約患者一覧表		
4.1.12.37			受付・実施管理	・患者受付が以下の方法でできること。 ・診察券 ・患者ID入力 ・予約患者一覧選択		
4.1.12.38				・検査ラベル・検査ワークシートが出力できること。		
4.1.12.39				・オーダー内容を元に実施内容を入力できること。		
4.1.12.40				・オーダー指定日時、検査種別ごとに実施入力ができること。		
4.1.12.41				・使用薬剤、診療材料の入力ができること。		
4.1.12.42				・受付により即実施とできる検査項目を設定できること。		
4.1.12.43			照会	・照会画面は、入外区分、オーダー日、科、病棟、進捗状況、検査種、検査室で絞り込みを行い対象オーダーの一覧を表示できること。		
4.1.12.44				・画像・生理照会は、患者ID、患者氏名、性別、検査予定日・時間、年齢、部位、検査種、科、病棟が一覧で表示できること。		
4.1.12.45				・部門にて日付未定のオーダーが参照可能なこと。		
4.1.12.46				・オーダー一覧よりオーダーを選択することよりオーダーの詳細内容が表示できること。		
4.1.12.47				・オーダー一覧からオーダーの中止、オーダー内容の修正ができること。		
4.1.12.48				・オーダー一覧から撮影項目の予約取得ができること。		
4.1.12.49				・オーダー一覧で予約未確定のオーダーの予約確定処理ができること。		
4.1.12.50				・オーダー一覧で予約確定しているオーダーを予約未確定に戻せること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.1.12.51				・生理検査システムを導入しない場合、各検査項目ごとに、患者受付と同時に自動的に実施済みとなるように設定できること。		
4.1.12.52			検査履歴表示	<ul style="list-style-type: none"> ・次の内容の表示ができること。 ・日付(オーダー日) ・入外区分 ・診療科 ・依頼医師 ・オーダー種別 ・オーダー進捗状況 ・全科・自科の切り替え表示ができること。 		
4.1.12.53				・検査履歴を個別に指定して検査内容を確認できること。		
4.1.12.54			検査結果	・生理検査システムの結果をWEB参照できること。		
4.1.12.55				・生理結果レポート上の言葉を選択して診療記録にコピー&ペースト可能なこと。		
4.1.12.56			既存カルテ・システムとの連携	・既存のシステムにて保存されている過去データを移行し、カルテ端末で表示できること。	部門システム仕様書にも記載	
4.1.12.57				・既存のマスタ設定を引き継ぐことができること。		
4.1.12.58			他システム連携	・生理検査システム・生理検査ファイリングシステム、看護部門システム、医事会計システムとの連携が密接に行われること。		
4.1.12.59				・脳波データファイリングシステムと連携可能であること。		
4.1.12.60				・実施情報は電子カルテシステム・医事会計システムに連携されること。		
4.1.12.61			帳票作成等	<ul style="list-style-type: none"> ・生理検査の各種報告書の作成ができること。また、以下の条件を満たすこと。 ・現時点で作成する検査項目は以下の通り 各種超音波検査、脳波検査、ホルター心電図、6分間歩行検査、術中モニタリング、その他の項目についても、今後必要に応じて報告書を新たに作成することができること。 ・自由に報告書に記載する項目、検査結果などを編集できること。 ・pull downなどの選択式で項目を決定できること。 ・超音波画像など、任意の画像を添付できること。 ・作成した報告書は、承認するとともに電子カルテに送信・反映されること。 		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.13	輸血オーダー					
4.1.13.1		輸血オーダー	オーダー入力	・全科、自科の切り替え表示ができること。		
4.1.13.2				・輸血日指定で輸血内容の表示ができること。		
4.1.13.3				・適用保険選択によるオーダーができること。		
4.1.13.4				・感染症結果(HIV・HBV・HCV等)を輸血システムに送信できること。		
4.1.13.5				・不規則抗体が陽性時、抗体の種類を電子カルテの患者情報として共有可能なこと。		
4.1.13.6			自己貯血オーダー登録	・自己血採血依頼情報として病名、術式、手術予定日、予想出血量、採血予約、目標貯血量、予約情報(表示のみ)、輸血部への連絡事項、身長、体重、循環血液量の登録ができること。		
4.1.13.7				・採血予定日については、予約オーダーとの連携ができること。		
4.1.13.8				・身長・体重については、患者基本オーダーで登録済みの情報を取り込みできること。		
4.1.13.9				・患者の感染症情報がわかること。		
4.1.13.10				・自己血貯血量の規格変更があった場合に対応できるようにマスタで管理できること。		
4.1.13.11			輸血オーダー登録	・患者の輸血に関する輸血基本情報として、血液型(ABO型、Rh型)、不規則抗体、輸血歴、妊娠歴、分娩歴および副作用情報の内容を登録できること。		
4.1.13.12				・手術時の輸血オーダーについて、患者情報(体重)・検査データ(Hb)を参照し、予測出血量を入力することで製剤の準備単位数を算出できること。		
4.1.13.13				・輸血オーダーに対して、部門システムにおいて製剤を割り当てた時点で製剤lot番号を電子カルテで受け取ることができること。		
4.1.13.14				・使用予定日を指定できること。		
4.1.13.15				・緊急オーダー指定(コメント表示)ができること。		
4.1.13.16				・既オーダー参照し、全部または一部を流用(DO処理)できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.1.13.17				・血液照射、白血球除去フィルターはデフォルト(既定値)表示ができること。		
4.1.13.18				・投与日はデフォルトで当日設定(外来)ができること。		
4.1.13.19				・輸血がいつ何単位行われたかが把握できること。		
4.1.13.20				・輸血の投与速度の指示が出せること。		
4.1.13.21				・患者の輸血に関する輸血基本情報として、血液型(ABO型、Rh型)、不規則抗体、輸血歴、妊娠歴、分娩歴および副作用情報の内容を登録できること。		
4.1.13.22				・輸血基本情報の登録履歴を参照できること。		
4.1.13.23				・血液型は、患者基本オーダーで登録済みの情報を自動取り込みできること。		
4.1.13.24				・検査結果情報の参照ができること。		
4.1.13.25				・製剤請求情報として、依頼血液型、依頼Rh型、病名、在庫先、使用目的、緊急度(通常/緊急)、手術術式、輸血予定日、製剤名とその数量、特殊処理、特殊処理フリーコメント、輸血同意書の有無および輸注同意書の有無を登録できること。		
4.1.13.26				・依頼血液型、依頼Rhは既定値として該当患者の血液型を表示できること。		
4.1.13.27				・病名登録については、病名オーダーとの連携ができること。		
4.1.13.28				・血液製剤請求履歴画面には、輸血予定日、輸血時間、輸血区分(通常/緊急)、製剤種別、在庫先、オーダー進捗を表示できること。		
4.1.13.29			検体ラベル	・輸血検査・クロスマッチ用として出力ができること。		
4.1.13.30			実施入力	・輸血パックに添付されているバーコード情報をバーコードリーダで読み取り、実施入力できること。		
4.1.13.31				・輸血実施においては、開始入力と終了入力ができること。		
4.1.13.32				・製剤単位で実施入力が可能なこと。		
4.1.13.33				・400ml製剤1本で依頼する場合、200ml製剤2本でも実施入力が可能なこと。		
4.1.13.34				・払い戻しの入力が可能なこと。		
4.1.13.35				・日跨ぎの輸血について実施入力が可能なこと。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.13.36				・患者情報(身長・体重)と直近の検査結果(Hb・Fb)から製剤の投与量を入力し、予測上昇量を計算する機能を有すること。		
4.1.13.37			輸血歴表示	・日付、入外区分、診療科、依頼医師、オーダ種別、オーダ進捗状況が表示できること。		
4.1.13.38				・患者基本情報に患者プロフィールに輸血日・製剤種・副作用情報の輸血歴を表示できること。		
4.1.13.39			他システム連携	・輸血部門システム、医事会計システムと連携できること。		
4.1.13.40				・輸血実施入力後の会計連携が製剤単位でできること。		
4.1.13.41			その他	・病棟配置のPDAIによる実施入力が可能なこと。		
4.1.13.42				・また、PDA実施の際に、患者取り違いを検出できるシステムであること。(メッセージ等)		
4.1.13.43				・輸血の指示内容(製剤種類、患者情報、投与速度、使用フィルタ等)のワークシートの印字が可能なこと。		
4.1.13.44				・輸血ワークシートには輸血オーダー番号バーコードが印字され、製剤払出時の照合に使用できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.14	病理検査オーダー					
4.1.14.1		オーダー入力	共通	・適用保健選択オーダーができること。		
4.1.14.2				・全科、自科の切り替え表示ができること。		
4.1.14.3				・検査種別検査項目、検査日時、材料、検査目的、病名、定型コメント、フリーコメント入力ができること。		
4.1.14.4				・外注検査、保険外検査も同様にオーダーできること。		
4.1.14.5				・保険外検査については、識別表示できること。		
4.1.14.6				・既オーダーを参照し、全部または一部を利用(DO処理)してオーダーができること。		
4.1.14.7				・検体の変更ができること。		
4.1.14.8				・オーダー発行時に検体に貼付するラベルが発行できること。		
4.1.14.9				・検査単位にも検体単位にもコメントの指定できること。		
4.1.14.10				・コメント数の制限がないこと。		
4.1.14.11				・患者の感染情報の照会ができること。		
4.1.14.12				・分類画面からの選択登録ができること。		
4.1.14.13				・検査種は、採取法、検査種、加算の登録ができること。		
4.1.14.14				・入力された採取法、検査種、加算等の情報を医療事務システムへ伝達できること。		
4.1.14.15				・材料数を入力でき、ラベル発行時に材料数分のラベルが出力されること。		
4.1.14.16				・病理組織検査申込書の材料入力に関して、必須項目の設定ができること。		
4.1.14.17				・病理組織診の臓器数のまとめ設定が任意で可能なこと。		
4.1.14.18				・材料数を入力でき、ラベル発行時に材料数分のラベルが出力されること。		
4.1.14.19				・病理検査依頼指示箋採取ラベルを出力できること。		
4.1.14.20				・既存マスタのコード、名称、内容等が移行されること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.1.14.21				・また、職員がマスタを操作でき、新規項目作成や変更、削除等ができること。		
4.1.14.22			チェック機能	・必須入力項目の自動チェックがなされること。		
4.1.14.23		中止変更		・中止指示を検査履歴に反映できること。		
4.1.14.24				・依頼の削除、変更歴を履歴としてもてること。		
4.1.14.25		検査ラベル検査指示書の出力		・検体ラベルは各指定部署で出力できること。		
4.1.14.26		実施入力		・検体ラベル発行時に実施情報を医事会計システムへ送信できること。		
4.1.14.27		検査歴表示		・日付、入外区分、診療科、依頼医師、オーダー種別、オーダー進捗状況が表示できること。		
4.1.14.28		結果表示		・病理の検査結果はWEB参照ができること。		
4.1.14.29				・医師が結果を確認したか判別可能とすること。		
4.1.14.30				・至急検査についてオーダーした医師に結果が判明した旨を連絡可能とすること。		
4.1.14.31				・至急検査について電子カルテ側にて結果確認が可能とすること。		
4.1.14.32				・陽性結果の場合の医師への報告について機能を有するとともに運用提案すること。		
4.1.14.33		他システム連携		・病理検査システム、医事会計システムと連携できること。		
4.1.14.34				・検査中に発生する会計情報をリアルタイムに医事に送信できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.15	細菌検査オーダー			※カスタマイズとなる場合はコメント欄に金額を記載すること		
4.1.15.1		オーダー入力	共通	・適用保険選択によるオーダーができること。		
4.1.15.2				<ul style="list-style-type: none"> ・次の内容を入力ができること。マスタまたは他のシステムで入力済みの項目については選択入力または自動表示できること。 ・検査種別検査項目（一般検査、抗酸菌検査） ・検査日時及び同一日の同一項目の時間指定 ・検体材料 ・目標菌 ・投与中薬剤指定 ・追加薬剤指定 ・下痢発熱有無 ・渡航歴 ・感染有無 ・病名指定 ・定型コメント及びフリーコメント 		
4.1.15.3				<ul style="list-style-type: none"> ・入力簡素化のために以下の入力ガイド画面（簡易選択画面）が作成できること。 ・院内共通ガイド ・科別ガイド ・医師別ガイド ・疾患別ガイド ・主訴別ガイド 等 		
4.1.15.4				・また、自由に利用者がそのガイド画面の作成・修正ができる機能を有すること。		
4.1.15.5				・作成されたガイド画面は、USBメモリー等の媒体を利用せず、どの端末においても利用できること。		
4.1.15.6				・緊急検査指定ができること。		
4.1.15.7				・全科分の既オーダーを参照し、全部または一部を利用（DO処理）してオーダーができること。		
4.1.15.8				・検体の指定、変更ができること。		
4.1.15.9				・検査項目の有効期限切れをチェックできること。		
4.1.15.10				・休診日や締め切り時間のチェックを行い、オーダー時に警告メッセージを表示できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.1.15.11				・検査指示の入力途中に、その患者の検体検査結果照会が表示できること。		
4.1.15.12				・登録した科と同一科でなければ、オーダー削除が行えないこと。		
4.1.15.13				・医師はラベル未発行のみ修正可能、検査技師は未発行／発行済みとも修正可能というように、各々職種により操作可能な範囲を限定できること。		
4.1.15.14				・入力されたデータは、医療事務システムに伝達できること。		
4.1.15.15			中止	・中止指示を検査履歴へ反映できること。		
4.1.15.16			検体ラベル	・発行指示を行った近傍のプリンタ(中央採血室や処置室)に採取指示票・検体ラベルを出力できること。		
4.1.15.17				・外来診察室または処置室採液の検体ラベル、検査指示書は指定部署で出力できること。		
4.1.15.18			受付	・病棟からの検体は検査室で到着確認をすることにより会計情報を医事会計システムへ送信することができること。		
4.1.15.19			検査歴表示	・オーダー内容に沿った検査歴表示ができること。		
4.1.15.20				・検査歴を個別に指定して検査内容を確認できること。		
4.1.15.21				・全科・自科の切り替え表示ができること。		
4.1.15.22				・入院患者のオーダー予定・実施状況のカレンダー表示が患者一覧形式にて確認できること。		
4.1.15.23				・オーダーの予定、実施等の進捗状況がカレンダー上に記号で表示できること。		
4.1.15.24				・2週間分の対象日は変更ができること。		
4.1.15.25				・患者詳細情報として、性別、生年月日、患者番号、科、病棟の表示ができること。		
4.1.15.26				・対象患者またはオーダー進捗記号をクリックすることにより、オーダーの詳細内容が確認できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.15.27			検査結果表示	<ul style="list-style-type: none"> ・検査部門システムから送信された検査結果を表示できること。 ・一般細菌検査について ・迅速結果(項目名、結果) ・鏡検結果(項目名、結果、コメント) ・培養結果(菌、菌量、血清型、菌数) ・感受性検査(菌、薬剤、判定、MIC値) ・抗酸菌検査について ・鏡検結果(項目名、結果) ・培養結果(菌、菌量、コロニー数) ・感受性検査(薬剤、濃度、判定),MIC値 		
4.1.15.28				<ul style="list-style-type: none"> ・細菌検査の結果が出たことを画面で確認できること。 		
4.1.15.29				<ul style="list-style-type: none"> ・迅速検査の場合、結果出たことを画面で確認できること。 		
4.1.15.30				<ul style="list-style-type: none"> ・細菌検査の結果は単独で表示できること。 		
4.1.15.31				<ul style="list-style-type: none"> ・検査結果を参照する際、別の画面を経由せずに直接細菌検査結果を参照できること。 		
4.1.15.32				<ul style="list-style-type: none"> ・菌名の表示は検査システムより送信される菌名をすべて表示できること。 		
4.1.15.33				<ul style="list-style-type: none"> ・細菌検査コメント欄のフリーコメントを受信し表示できること。 		
4.1.15.34				<ul style="list-style-type: none"> ・細菌結果のコピー&ペーストが可能なこと。 		
4.1.15.35			他システム連携	<ul style="list-style-type: none"> ・細菌検査システム、看護部門システム、医事会計システムとの連携が密接にできること。 		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.16	透析オーダー			※カスタマイズとなる場合はコメント欄に金額を記載すること		
4.1.16.1		オーダー入力	共通	・適用保険選択によるオーダーができること。		
4.1.16.2				・透析指示の表示、編集、登録ができること。		
4.1.16.3				・疾患の指定(基疾患、合併症)ができる事。		
4.1.16.4				・透析基本情報として、透析コース、透析導入日、実施場所、加算の表示、編集、登録ができること。		
4.1.16.5				・維持期設定情報として、透析パターンを表示、編集、登録できること。		
4.1.16.6				・透析パターンは、曜日と時間の組み合わせをパターン化して登録できること。		
4.1.16.7				・導入期/単一オーダー設定情報として、ベッドの予約ができること。		
4.1.16.8				・透析指示情報として、ブラッドアクセス、部位、原疾患、DW、指示コメントの表示、編集、登録ができること。		
4.1.16.9				・血液浄化法の選択ができること。		
4.1.16.10				・また、詳細情報として、ダイアライザー、透析条件、抗凝固剤、透析液、その他薬剤、材料、加算、コメント、血液浄化コメントを登録できること。		
4.1.16.11				・血液浄化法、ダイアライザー名称、使用量、抗凝固剤材料名、使用量、使用条件、透析液名、使用量、その他薬剤名、使用量、血液浄化コメント等の指示情報の詳細が表示できること。		
4.1.16.12				・感染症情報が表示できること。		
4.1.16.13				・登録されている依頼情報(依頼日、依頼科、依頼医師、希望日、希望場所、手術術式、手術予定日、現病歴、治療目的、コメント、結果返信内容)、病名が依頼情報として表示できること。		
4.1.16.14				・経過表を参照しながら、透析指示が出せること。		
4.1.16.15			指示箋出力	・指示箋出力が各部署で出力できること。		
4.1.16.16			透析照会	・実施予定日、透析パターン、依頼内容での条件絞込みを行い、透析予定者一覧が表示できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.16.17				・透析予定者一覧には、進捗、患者氏名、カナ氏名、患者番号、年齢、性別、コース、実施場所、ベッド、透析種別、血液型、感染症、指示コメント、病棟、病室、食事有無が表示できること。		
4.1.16.18				・指定した日の実施予定患者一覧表の出力できること。		
4.1.16.19			透析結果照会	・透析実施結果および検査結果を一覧で表示できること。		
4.1.16.20				・結果照会では、オーダー入力および指示入力を行った項目でかつ結果が出ている項目についてその結果値の表示ができること。		
4.1.16.21				・結果照会では、最大5回分の結果を時系列で表示できること。		
4.1.16.22				・透析前後の結果を項目別、日別で並べて比較ができるように表示できること。		
4.1.16.23				・結果値が基準値範囲を超えている場合は、赤字で表示できること。		
4.1.16.24			一覧表出力	・以下に示す、帳表が出力できること。 ・透析の月間スケジュール表		
4.1.16.25				・年間透析件数表		
4.1.16.26			予約ベッド一覧表示機能	・ベッドの予約は、予約枠一覧から選択できること。		
4.1.16.27				・予約したベッド情報は、一覧表示されること。		
4.1.16.28				・ベット予約一覧からも予約の削除ができること。		
4.1.16.29				・ベッド予約一覧は、日毎にベッド予約時間(朝、昼、夜)を一覧で表示できること。		
4.1.16.30				・ベッド予約一覧では、予約内容の詳細情報が表示できること。		
4.1.16.31				・患者情報、指示情報(指示時登録情報)が表示できること。		
4.1.16.32				・透析実施情報(開始日時、終了日時、実施回数、実施場所、実施者、実施者所属、DW、実施前体重、実施後体重、心胸比、心電図の有無、実施コメント)の登録ができること。		
4.1.16.33				・血液浄化法の選択ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.16.34				・また、詳細情報として、ダイアライザー、透析条件、抗凝固剤、透析液、その他薬剤、材料、加算、コメント、血液浄化コメントを実施内容の登録ができること。		
4.1.16.35			他システム連携	・透析部門システム、医事会計システム、看護システムとの連携が密接にできること。		
4.1.16.36				・透析部門システムができる連携が全てできること。		
4.1.16.37			禁忌情報	・電子カルテ側から部門システムへ紐付けできること。		
4.1.16.38			薬剤リスト	・電子カルテ側から部門システムへ紐付けできること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.17	画像・内視鏡検査オーダー			※カスタマイズとなる場合はコメント欄に金額を記載すること		
4.1.17.1		オーダー入力	共通	・適用保険選択によるオーダーができること。		
4.1.17.2				・次の内容を入力ができること。マスタまたは他のシステムで入力済みの項目については選択入力または自動表示できること。 ・検査種別による検査項目別並びにそれぞれ撮影種別ごとの検査部位・手技・方向・方法 ・検査目的 ・病名 ・検査担当医師名（血管撮影検査等で依頼医師が違う時など） ・検査日時 ・検査別注意事項（アレルギー、ペースメーカー、出血傾向等）、チェックリスト（MRI検査時のペースメーカー・脳血管クリップ・人口弁人工内耳、体内金属当の有無のチェックができること。） ・身長・体重 ・定型コメント及びフリーコメント		
4.1.17.3				・検査日時は、先付け指定もできること。		
4.1.17.4				・当日緊急・至急オーダー指定ができること。		
4.1.17.5				・また、緊急・至急オーダー時に電話連絡が必要な場合はその旨コメントを表示できること。		
4.1.17.6				・入力簡素化のために以下の入力ガイド画面（簡易選択画面）が作成できること。 ・院内共通ガイド ・科別ガイド ・医師別ガイド ・疾患別ガイド ・主訴別ガイド 等		
4.1.17.7				・また自由に利用者がそのガイド画面の作成・修正ができる機能を有すること。		
4.1.17.8				・作成されたガイド画面は、USBメモリー等の媒体を利用せず、どの端末においても利用できること。		
4.1.17.9				・外注検査、保険外検査も同様にオーダーできること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.1.17.10				・保険外検査については、識別表示できること。		
4.1.17.11				・オーダ入力項目を検査種別ごとに一覧表示でき、オーダ内容の確認できること。		
4.1.17.12				・検査目的、病名、定型コメント、フリーコメントにおいて文字数の制限がないこと。		
4.1.17.13				・一連の撮影の入力ができること。		
4.1.17.14				・日付指定の来院時は複数日指定ができること。		
4.1.17.15				・予約枠作成、変更の権限設定ができること。		
4.1.17.16				・オンコール枠の設定ができること。		
4.1.17.17				・検査予約の一覧が出力できること。		
4.1.17.18				・全科の既オーダを参照し、全部または一部を利用(DO処理)してオーダができること。		
4.1.17.19				・科別・初診時・入院時・術前後セット等の選択入力ができること。		
4.1.17.20				・予約の必要な検査は、検査指示と一連の操作で入力できること。		
4.1.17.21				・また、検査部門で予約入力が必要な場合は、連絡方法等のコメント表示ができること。		
4.1.17.22				・予約登録の際に複数の予約が連動して取得可能なこと。		
4.1.17.23				・予約日時の入力は、カレンダー画面を利用して入力できること。		
4.1.17.24				・また、日付別の空き状況が容易に確認できること。		
4.1.17.25				・予約の必要なオーダの場合予約スケジュール画面を展開できること。		
4.1.17.26				・予約時間が重複した場合は、警告表示できること。		
4.1.17.27				・予約入力時に既予約情報を同一画面で表示できること。		
4.1.17.28				・予約日未定のオーダが発行できること。		
4.1.17.29				・検査済みの検査に対して、読影依頼のオーダができること。		
4.1.17.30				・検査日付指定による先付けオーダができること。		
4.1.17.31				・予約検査の至急検査入力ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.17.32				・ポータブル撮影、オペ室ポータブル撮影、一般撮影、MRI検査、CT検査、マンモ撮影、骨密度測定、造影検査、健診、核医学検査、血管造影検査・処置、内視鏡検査・処置、TV内視鏡検査・処置、超音波検査の各検査をオーダー対象とできること。		
4.1.17.33				・各種セットを利用し、検査項目の指示入力ができること。		
4.1.17.34				・撮影種別・検査種別の検査項目画面を設定できること。		
4.1.17.35				・予約の必要がない検査項目については、期間での曜日指定および日付指定により、連続して検査指示入力ができること。		
4.1.17.36				・検査日が日付未定のままでも指示ができること。		
4.1.17.37				・セットを利用することにより、前投薬(処方オーダー)、処置(処置オーダー)も合わせて指示できること。		
4.1.17.38				・オーダーごとに緊急度・保険の指示ができること。		
4.1.17.39				・項目選択時に、任意の注意メッセージを表示できること。		
4.1.17.40				・同日他科における指示の重複チェックができること。		
4.1.17.41				・病名、検査目的、特別指示およびその他詳細の依頼情報入力ができること。		
4.1.17.42				・連続してオーダー登録する場合を考慮し、直前の依頼情報の流用が可能なこと。		
4.1.17.43				・検査項目選択時、該当患者の基本情報(身長・体重・移動方法・薬アレルギー・感染情報の有無・妊娠否定区分・出産予定日)については、患者基本オーダーと連動し表示できること。		
4.1.17.44				・予約オーダーとの連携により、オープン予約検査またはクローズ予約検査を指示入力できること。		
4.1.17.45				・撮影項目により、オーダー入力時に直近予約を自動的に取得できること。		
4.1.17.46				・オーダー中止・削除が行われた場合、予約取りされたオーダーに関して、予約の取り消しが自動的にできること。		
4.1.17.47				・緊急オーダーとして新規オーダーを作成した場合には、オープン予約項目、クローズ予約項目にかかわらず当日検査としてオーダー発行できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.1.17.48				・また、セットにも緊急区分が引き継がれること。		
4.1.17.49				・検査オーダーに対し、読影依頼の付加を簡便にできること。		
4.1.17.50				・MRIオーダーの読影指示を同一グループ内で実施可能なこと。		
4.1.17.51				・検査済みの検査に対して、読影依頼のオーダーができること。		
4.1.17.52				・オーダー時に他の予約検査が表示されること。		
4.1.17.53				・また予約検査以外(一般撮影等)のオーダーに対してもその内容に関してオーダー時に表示できること。		
4.1.17.54				・オーダー登録時に必要な同意書が自動で登録、印刷が可能なこと。		
4.1.17.55				・オーダー登録時に必要な予約票、説明書が自動で登録、印刷が可能なこと。		
4.1.17.56				・オーダー登録時は規定値として検査日が当日となること。		
4.1.17.57				・予約を必要としない検査(一般撮影等)の過去日へのオーダーができないこと。		
4.1.17.58				・既存のマスタが移行されること。		
4.1.17.59				・またマスタの作成、変更、登録等は権限を与えられた職員が簡便に行えること。		
4.1.17.60			チェック機能	・同一日の重複オーダーの場合エラーメッセージ等表示されること。		
4.1.17.61				・他検査との予約時間重複。		
4.1.17.62				・造影剤アレルギーのチェックができること。		
4.1.17.63				・月複数回のチェックができること。		
4.1.17.64			中止	・中止指示(依頼済み)を検査履歴へ反映できること。		
4.1.17.65			画像・内視鏡照会	・画像・内視鏡照会画面は、入外区分、オーダー日、科、病棟、進捗状況、検査種、検査室で絞込みを行い対象オーダーの一覧を表示できること。		
4.1.17.66				・画像・内視鏡照会は、患者ID、患者氏名、性別、検査予定日・時間、生年月日、年齢、部位、検査種、科、病棟が一覧で表示されること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.1.17.67				・オーダー一覧よりオーダーを選択することよりオーダーの詳細内容が表示できること。		
4.1.17.68				・オーダー一覧からオーダーの中止、オーダー内容の修正ができること。		
4.1.17.69				・オーダー一覧から撮影項目の予約取得ができること。		
4.1.17.70				・オーダー一覧で予約未確定のオーダーの予約確定処理ができること。		
4.1.17.71				・オーダー一覧で予約確定しているオーダーを予約未確定に戻せること。		
4.1.17.72				・オーダー一覧から予約票再発行、依頼票再発行、一括依頼票仮発行が行なえること。		
4.1.17.73				・オーダー登録後の事後の読影依頼を考慮し、オーダーを受ける画面、操作者にてオーダー修正が可能なこと。		
4.1.17.74				・オーダー入力／受付済み分の修正／未実施分の修正／実施済み、一部実施済み分の修正／会計済み分の修正について、各々職種により操作者を限定できること。		
4.1.17.75			検査歴表示	・次の内容の表示ができること。 ・日付(オーダー日) ・入外区分 ・診療科 ・依頼医師 ・オーダー種別(検査種別) ・オーダー進捗状況		
4.1.17.76				・全科・自科の切り替え表示ができること。		
4.1.17.77			結果参照・読影レポート表示	・放射線・内視鏡・超音波検査の画像結果表示がWEB参照できること。		
4.1.17.78				・検査日指定で検査結果画像及び読影レポートが表示できること。		
4.1.17.79				・検査結果画像をサマリー等への登録ができること。		
4.1.17.80				・放射線、内視鏡レポートシステムから送信されたレポート報告書を表示できること。		
4.1.17.81			他システム連携	・放射線情報システムは既存更改システムと接続すること。		
4.1.17.82				・医用画像管理システムは既存更改システムと接続すること。		
4.1.17.83				・放射線情報システム、医用画像管理システム、医事会計システムとの連携が密接にできること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.1.17.84				・RISから送信される情報が(薬剤・器材・コメント等)HISに反映されること。		
4.1.17.85				・予約検査の場合、再来受付機で受付を行った情報がRIS側に通知できること。		
4.1.17.86				・日渡り検査(RI)の対応、処理ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.18	手術オーダー					
4.1.18.1				・外来手術オーダーは、区別してできること。		
4.1.18.2				・次の内容を入力ができること。マスタまたは他のシステムで入力済みの項目については選択入力または自動表示できること。		
4.1.18.3				・手術予定		
4.1.18.4				・手術日		
4.1.18.5				・入室時間(手術開始予定時間)		
4.1.18.6				・所要時間(手術所要予定時間)		
4.1.18.7				・術前病名		
4.1.18.8				・術式		
4.1.18.9				・準備血液		
4.1.18.10				・体位		
4.1.18.11				・部位		
4.1.18.12				・麻酔法		
4.1.18.13				・機器		
4.1.18.14				・材料		
4.1.18.15				・希望手術室		
4.1.18.16				・主治医		
4.1.18.17				・執刀医		
4.1.18.18				・麻酔医		
4.1.18.19				・助手		
4.1.18.20				・感染情報		
4.1.18.21				・コメント		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.18.22				・当日緊急手術指定ができること。		
4.1.18.23				・緊急オーダー時に電話連絡が必要な場合はその旨コメントを表示できること。		
4.1.18.24				・手術予約の際にタイムチャートが表示できること。		
4.1.18.25				・選択された術式に応じて、必要な準備物品が器械セット、ME機器、器材、その他などに分類されて自動的に展開できること。		
4.1.18.26				・手術時に必要な準備物品一覧から選択でき、一覧にない場合は、フリー入力ができること。		
4.1.18.27				・手術予約申込と同時に麻酔医への麻酔申込依頼ができること。		
4.1.18.28				・身長体重等の患者情報については、患者基本オーダーからの取込みが可能で、その値を既定値として画面表示できること。		
4.1.18.29				・病名の登録については、病名オーダーとの連動ができること。		
4.1.18.30				・締切時間チェックを行い、予定／依頼入力可能期間を制限できること。		
4.1.18.31				・手術予定／依頼登録、手術照会および手術帳表出力について、各々職種により操作者を限定できること。		
4.1.18.32				・入力必須項目の指定ができること。		
4.1.18.33				・患者基本画面に遷移できること。		
4.1.18.34			手術予定患者	・手術予定患者の一覧表示ができること。		
4.1.18.35				・手術室の数名称はユーザ側で容易に任意に設定できること。		
4.1.18.36				・手術の時間範囲はユーザ側で容易に任意に設定できること。		
4.1.18.37				・手術決定患者の変更入力ができること。		
4.1.18.38				・時間未定手術の登録もできること。		
4.1.18.39				・日付、時間未定手術の登録もできること。		
4.1.18.40				・日付未定、時間未定手術は一覧表示となること。		
				手術決定入力画面では下記の決定情報が登録できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.18.41				・手術日		
4.1.18.42				・手術時間(開始時間)		
4.1.18.43				・要求時間(所要時間)		
4.1.18.44				・手術室		
4.1.18.45				・麻酔法		
4.1.18.46				・麻酔種類		
4.1.18.47				・麻酔医		
4.1.18.48				・直接看護師および間接看護師		
4.1.18.49				・戻り先		
4.1.18.50				・リカバリ情報		
4.1.18.51			チェック機能	・必須入力項目		
4.1.18.52			手術受付	・術前訪問記録表を作成出力できること。		
4.1.18.53			手術決定一覧	・手術日指定により手術決定患者一覧表示出力ができること。 出力項目は、次の通りとする。		
4.1.18.54				・手術室		
4.1.18.55				・麻酔の種類		
4.1.18.56				・手術開始時間		
4.1.18.57				・麻酔医師		
4.1.18.58				・患者氏名、性別、年齢		
4.1.18.59				・術式		
4.1.18.60				・感染症		
4.1.18.61			手術スケジュール照会・出力	・手術部門で仮決定及び決定された週間手術スケジュールを全てのクライアント端末で参照できること。但し、参照者はログイン時の職員コード又は職種により制限されていること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.18.62			手術室状況照会	・手術室状況照会では、手術状況の一覧表示と、手術室状況表示ができること。		
4.1.18.63				・手術状況一覧表には、患者氏名、患者番号、性別、年齢、術式、手術日、入室時間、所要時間、手術進捗、手術室、依頼科が表示できること。		
4.1.18.64				・手術室状況表示では、指定期間における各手術室の予約および使用状況を、タイムテーブル形式(縦軸に手術室、横軸に時間)で表示することができること。		
4.1.18.65				・1週間以上の手術予定が参照可能なこと。		
4.1.18.66				・手術予約状況画面の予約取消を表示しないこと。		
4.1.18.67			手術歴表示	・次の内容の表示ができること。 日付(オーダー日) 依頼医師 術式 オーダー進捗状況		
4.1.18.68				・全科自科の切り替え表示ができること。		
4.1.18.69				・日付指定で手術実施内容が表示できること。		
4.1.18.70			実施入力	・下記の手術実績情報の登録ができること。又、修正等付加入力ができること。		
4.1.18.71				・術後病名		
4.1.18.72				・術式		
4.1.18.73				・体位		
4.1.18.74				・入退室時刻		
4.1.18.75				・執刀開始終了時刻		
4.1.18.76				・麻酔開始終了時刻		
4.1.18.77				・コメント		
4.1.18.78				・受持ち看護師(器械だし、外回り)		
4.1.18.79				・保存血液輸血量		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.18.80				・準備自己血液量		
4.1.18.81				・出血量		
4.1.18.82				・特記事項		
4.1.18.83			他システム連携	・看護勤務管理システム、看護部門システム、医事会計システムとの連携が密接にできること。		
4.1.18.84				・実施入力されたデータは、医療事務システムへ伝達できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.19	リハビリテーションオーダー					
4.1.19.1		リハビリテーションオーダー	オーダー入力	・適用保険選択によるオーダーができること。		
4.1.19.1.2				・リハビリ指示書の入力画面が入力しやすい画面で簡素化できること。		
4.1.19.1.3				・次の内容を入力ができること。マスタまたは他のシステムで入力済みの項目については選択入力または自動表示できること。 <ul style="list-style-type: none"> ・既往歴、現病歴 ・リハビリテーションの治療目標 ・各種療法別項目(理学、作業、言語等:療法が入力されない場合は、オーダー入力が終了できないようにすること) ・障害情報 ・病名及び開始日(病日) ・リスク管理 ・訓練場所 ・生活環境 ・在宅・退院前訪問 ・早期日リハ必要ADL ・定型コメント及びフリーコメント ・退院時リハビリテーション指導 		
4.1.19.1.4				・リハビリオーダーを登録する際に以下の項目を必須登録とすることが可能なこと。 <ul style="list-style-type: none"> ・療法種別 ・本人希望 ・目標 ・訓練内容 		
4.1.19.1.5				・療法種別を登録した際に訓練場所や訓練内容など自動でセットする機能を有すること。またセットされた項目は変更可能なこと。		
4.1.19.1.6				・以下の日付が登録可能なこと。また、日付を登録することにより初回算定日を表示可能なこと。 <ul style="list-style-type: none"> ・発症日 ・手術日 ・急性増悪日 ・治療開始日 ・初診日 		
4.1.19.1.7				・リハビリオーダー入力時、自動的にリハビリ実施計画書作成画面を起動させること。		
4.1.19.1.8				・リハビリオーダーは、設定によりリハビリ実施計画書に依頼医の氏名が自動的に反映できること。		
4.1.19.1.9				・予約枠を設定できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.19.1.10				・予約枠は個別、集団、リハビリ項目別に設定できること。		
4.1.19.1.11				・予約状況を参照しながら予約ができること。		
4.1.19.1.12				・必要に応じてリハビリテーション処方箋を出力できること。		
4.1.19.1.13				・運動療法処方箋を出力できること。		
4.1.19.1.14			リハビリ歴表示	<ul style="list-style-type: none"> ・次の内容の表示ができること。 ・日付(オーダー日) ・入外区分 ・診療科 ・依頼医師 ・オーダー種別 ・オーダー実施状況 ・療法区分(一般・運動) 		
4.1.19.1.15				・全科・自科の切り替え表示ができること。		
4.1.19.1.16				・リハビリ評価入力が出来、時系列表示ができること。		
4.1.19.1.17			他システム連携	・リハビリ部門システム、看護部門システム、医事会計システムとの連携が密接にできること。		
4.1.19.1.18				・リハビリの記録をカルテの経過記録にて参照できること。又は、PDFでレポートリストに保存する場合、経過記録に貼り付け、容易に参照できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.20	食事オーダー					
4.1.20.1	食事オーダー	オーダー入力	共通	<ul style="list-style-type: none"> 以下の内容を入力ができること。マスタまたは他のシステムで入力済みの項目については選択入力または自動表示できること。 		
4.1.20.2				<ul style="list-style-type: none"> 食種 		
4.1.20.3				<ul style="list-style-type: none"> 加算、非加算病名 		
4.1.20.4				<ul style="list-style-type: none"> 開始日、終了日 		
4.1.20.5				<ul style="list-style-type: none"> 食事区分(朝昼夕) 		
4.1.20.6				<ul style="list-style-type: none"> 主食の種類量 		
4.1.20.7				<ul style="list-style-type: none"> 禁止食品、代替食品(代替食品は選択可能である事) 		
4.1.20.8				<ul style="list-style-type: none"> エネルギー指示(熱量制限、低蛋白食) 		
4.1.20.9				<ul style="list-style-type: none"> 身長、体重表示 		
4.1.20.10				<ul style="list-style-type: none"> 経腸栄養の一回量及び回数 経腸栄養2種類以上の入力が可能であること。 		
4.1.20.11				<ul style="list-style-type: none"> 配膳先(病棟食堂、病室、透析室) 		
4.1.20.12				<ul style="list-style-type: none"> 食止め及び理由 		
4.1.20.13				<ul style="list-style-type: none"> 定型コメント及びフリーコメント 		
4.1.20.14				<ul style="list-style-type: none"> 現在の食事内容がカレンダー形式により一目で参照できること。 		
4.1.20.15				<ul style="list-style-type: none"> 食種一覧表から、別画面を開くことなく食種選択入力ができること。 		
4.1.20.16				<ul style="list-style-type: none"> 朝食、昼食、夕食ごとの登録が可能なこと。 		
4.1.20.17				<ul style="list-style-type: none"> 食事開始日、食事区分(朝・昼・夕食)の入力画面は締切時間を考慮したデフォルト表示ができること。 		
4.1.20.18				<ul style="list-style-type: none"> 食事終了日は未指定可能として、食事情報が継続されること。 		
4.1.20.19				<ul style="list-style-type: none"> メッセージの表示内容はマスタで設定できること。 		
4.1.20.20				<ul style="list-style-type: none"> 締切時間を過ぎた場合、エラーまたはワーニングが表示されること。 		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.20.21				・検査・術後食セット等の選択入力ができること。		
4.1.20.22				・オーダー食の栄養量表示ができること。		
4.1.20.23				・患者に指示した食事の履歴内容をカレンダー形式(1日、1週間、1ヶ月表示)で表示し以下の機能を有すること。		
4.1.20.24				・日付または患者の選択により該当する食事詳細情報を表示できること。		
4.1.20.25				・下記の選択した食種に応じた詳細指示ができること。		
4.1.20.26				・食事締め切りの時間のチェックを自動的に行い登録可能な食事開始日・区分を規定値表示することができること。		
4.1.20.27				・食事を継続する場合終了日および食事終了区分は入力を省略できること。		
4.1.20.28				・特別指示として栄養管理部門に伝えたいコメント情報や、食物禁忌情報(患者基本オーダーで登録済み項目が自動的に選択済みになること。)を入力できること。		
4.1.20.29				・栄養士のみが登録可能な特別指示が設定可能なこと。		
4.1.20.30				・術後食、潰瘍食などはパターン食として食事の変動(食上がり)に従ったセットを作成できること。		
4.1.20.31				・入院期間分の食事オーダーを1回で利用できる機能を有すること。食事オーダーのセット化ができること。		
4.1.20.32				・夜間緊急入院時など、入院時刻に連動して、食事開始区分が変更する機能を有すること。		
4.1.20.33				・退院したその日に入院する場合、食事オーダーが継続して登録可能なこと。		
4.1.20.34				・入院時に食事欄を開くと前回の食事内容が参照できること。		
4.1.20.35				・禁止コメントとその他のコメント、またアレルギーコメントを分けて表示でき。かつ、コードコメントは20個まで選択可能、フリーコメントは全角30文字まで入力できること。		
4.1.20.36				・オーダー時に1週間分の食事オーダーが確認できること。		
4.1.20.37				・転棟の場合(特に一般病棟から介護療養病棟へ)において、オーダー履歴を流用できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.20.38				・食物アレルギー情報と食事オーダーのチェック機能を有すること。		
4.1.20.39				・食物アレルギー情報がリアルタイムに栄養管理システムに伝達可能なこと。		
4.1.20.40				・外泊中の場合、食事オーダーで外泊中であることが確認できること。		
4.1.20.41				・転棟・帰院・退院取消・入院取消等の食出し時のリアル食事箋に、食事内容が表示できること。		
4.1.20.42				・食事変更時に有効なコメントを引き継ぐことができること。		
4.1.20.43			食事オーダー登録	・全科分の既オーダーをカレンダー形式で参照し(食事カレンダー表示)、流用(DO入力)できること。		
4.1.20.44				・食事カレンダーには、入院基本オーダーで登録された外出外泊期間および転棟転室の時間区分をカレンダー上に表示できること。		
4.1.20.45				・食種の設定は、食種一覧からの選択入力ができ、病名が表示・登録出来ること。		
4.1.20.46				・選択した食種毎に、開始日、開始時間(朝食から、昼食から、夕食から)、終了日時、終了時間(朝食まで、昼食まで、夕食まで)、病名、コメント、食堂利用の有無の登録ができること。		
4.1.20.47				・1日に複数の食種の登録ができること。		
4.1.20.48				・欠食や経腸栄養、検査食、調乳食および混合食の登録ができること。		
4.1.20.49				・術後食、潰瘍食などについては、食種の変動(食上がり)パターン入力ができること。(連続入力)		
4.1.20.50				・連続入力では、食上がり間隔の既定値を自動表示できること。		
4.1.20.51				・欠食時の欠食指示は、開始日、開始時間(朝食から、昼食から、夕食から)、終了日時、終了時間(朝食まで、昼食まで、夕食まで)、コメント、欠食理由の登録ができること。		
4.1.20.52				・昼食のみ欠食の場合を考慮し、主食による欠食登録が可能なこと。		
4.1.20.53				・経腸栄養は開始日、開始時間(朝食から、昼食から、夕食から)、終了日時、終了時間(朝食まで、昼食まで、夕食まで)、病名、コメントの登録ができること。		
4.1.20.54				・経腸栄養は、種類・量を項目選択や数値入力により入力できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.1.20.55				・経腸栄養は注入セットを複数作成し、選択することにより登録できること。		
4.1.20.56				・経腸栄養は注入量により、エネルギー・蛋白質・脂質・糖質・ナトリウム・カリウム・水分の量が表示できること		
4.1.20.57				・入力必須項目についてのチェックができること。		
4.1.20.58				・日付チェックおよび締切時間チェックができること。		
4.1.20.59				・禁止事項については、患者基本オーダーの食物禁忌情報と連携できること。		
4.1.20.60				・登録変更取消を栄養管理システムへ伝達できること。		
4.1.20.61				・欠食情報、特食加算情報を、医療事務システムへ伝達できること。		
4.1.20.62				・電子カルテで登録した患者のアレルギー情報が随時栄養システムに送信されること。		
4.1.20.63				・退院予定登録した際に食事オーダーを止めることが可能なこと。		
4.1.20.64			チェック機能	・患者プロフィール等に登録したアレルギー情報を食事入力画面上でも常に確認できること。(患者情報の共有できること)。アレルギーコメントと連携出来ること。		
4.1.20.65			付加情報	・オーダーの付加情報として患者情報に加えて次の項目を送信できること。 ・診療科 ・指示医師		
4.1.20.66			中止・変更	・特定の条件のもと、履歴を遡って変更入力ができること。		
4.1.20.67			食事箋発行および次回食事一覧表出力	・栄養管理部門の指示により、一括して食事箋を出力できること。		
4.1.20.68				・締切時間後のオーダーは、即時に食事箋が出力できること。		
4.1.20.69				・病棟において、次回食事一覧表を出力できること。		
4.1.20.70			食事オーダー一覧表示	・日付指定による病棟別部屋別に食事区分(朝昼夕)の食事オーダー一覧表示及び出力ができ、病棟食堂利用者の合計人数が把握できること。		
4.1.20.71			食事歴表示	・過去の食事歴と未来の食事オーダーの表示ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.20.72				・表示期間を1日分、1週間分、1ヶ月分と切り替えて表示できること。		
4.1.20.73				・オーダー歴を個別に指定してオーダー内容を確認できること。		
4.1.20.74			食事セット登録	・術後、検査等のセット登録ができ、セットの作成、修正は容易にユーザー側でできること。		
4.1.20.75			他システム連携	・栄養管理システム、病床管理システム、看護部門システム、医事会計システム等関連システムとの連携が密接にできること。		
4.1.20.76				・病棟移動情報(決定)が適宜送信できること。		
4.1.20.77				・クリニカルパスで食事オーダーされた場合も、先に入力したコメントを引き継ぐことができること。		
4.1.20.78				・禁止コメントを入力した場合、代替食品が入力されること。その場合、先に入力したコメントが禁止コメント入力により消されないこと。		
4.1.20.79				・食事入力画面の項目全てを削除し、新たに食種を選択すると、前に入力したコメントが復活しないこと。		
4.1.20.80				・食事オーダー画面で、コメントのみ変更した場合、食上げの履歴(1日上がり等の履歴)が継続されること。		
4.1.20.81				・クリニカルパスで食事オーダーされた場合、入院取り消しとなったら食事オーダーも削除されること。		
4.1.20.82				・定期的(1年毎)にシステムの操作説明を行うこと。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.21	栄養指導オーダー					
4.1.21.1		オーダー入力	共通	・ 次の内容を入力ができること。マスタまたは他のシステムで入力済みの項目については選択入力または自動表示できること。		
4.1.21.2				・ 集団栄養指導指示		
4.1.21.3				・ 個別栄養指導指示(入院、外来)		
4.1.21.4				・ 入院指導と外来指導の区別がつくこと。		
4.1.21.5				・ 病名及び開始日		
4.1.21.6				・ 栄養量		
4.1.21.7				・ 指示事項(一部のみでも可) ①熱量、②熱量構成、③蛋白質量、④脂質量 ⑤脂肪構成(不飽和脂肪酸/飽和脂肪酸)		
4.1.21.8				・ 定型コメント及びフリーコメント		
4.1.21.9				・ コメント表示が可能なこと。		
4.1.21.10				・ 画面展開を最小限に抑えること。		
4.1.21.11				・ 予約日未定のオーダーが発行できること。		
4.1.21.12				・ 予約枠を超えて予約登録できないよう設定が可能なこと。		
4.1.21.13				・ 予約の必要な場合は、栄養指導指示と一連の操作で入力できること。また、栄養部門で予約入力が必要な場合は、連絡方法等のコメント表示ができること。		
4.1.21.14				・ 予約日時の入力は、栄養指導のスケジュールにもとづきカレンダー画面を利用して入力できること。また、日付別の空き状況が容易に確認できること。		
4.1.21.15				・ 予約時間が重複した場合は、警告表示できること。		
4.1.21.16				・ 予約入力時に既予約情報を同一画面で表示できること。		
4.1.21.17				・ 栄養食事指導予約オーダーは、栄養部門からもできること。		
4.1.21.18				・ なお、指導日及び指導時間の変更は、自由に変更ができること。 また、カレンダーは、下記内容が表示できること。		
4.1.21.19				・ 予約項目ごとに予約入力状況をカレンダー表示できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.21.20				・空き状況が認識表示でき、容易に入力ができること。		
4.1.21.21				・繰り上げて表示でき、さらに数ヶ月目での予約入力ができること。		
4.1.21.22				・予約オーダー時に、既予約状況が同一画面に表示できること。		
4.1.21.23				・患者または医療従事者へ定型コメント、フリーコメントが入力できこと。		
4.1.21.24				・栄養指導票の発行ができること。		
4.1.21.25				・栄養指導票の再発行ができること。		
4.1.21.26				・栄養食事指導は、集団個人別に当日予定一覧が表示でき、印刷できること。		
4.1.21.27				・臨時で予約を取る場合、栄養科でのみで予約を取れること。		
4.1.21.28			栄養指導オーダー 依頼情報登録	・患者の過去の栄養指導依頼情報を参照でき流用(DO入力)できること。		
4.1.21.29				・操作者の職制により、入力の制限をできること。 依頼時の入力項目として、下記依頼情報を入力できること。		
4.1.21.30				・依頼日		
4.1.21.31				・依頼科		
4.1.21.32				・依頼医		
4.1.21.33				・病棟、病室、ベッド		
4.1.21.34				・相談対象者		
4.1.21.35				・継続指導の有無		
4.1.21.36				・依頼時の入力項目として、患者基本情報(身長体重、年齢)を患者基本オーダーより表示でき、BMI、標準体重については、自動計算し表示できること。		
4.1.21.37				・予約オーダーとの連動により、予約取得ができること。		
4.1.21.38				・指導食種の入力については、食種一覧から選択入力ができること。		
4.1.21.39				・下記指示栄養量を入力できること。 またその他栄養素についてはコメント入力できること。		
4.1.21.40				・熱量		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.1.21.41				・蛋白質		
4.1.21.42				・脂質		
4.1.21.43				・炭水化物		
4.1.21.44				・食塩		
4.1.21.45				・コレステロール		
4.1.21.46				・P/S比		
4.1.21.47				・依頼内容の詳細について、コメント入力ができること。		
4.1.21.48				・前回のオーダーをDoした際にコメントの変更が可能なこと。		
4.1.21.49			実施入力	・実施入力ができること。		
4.1.21.50				・実施中止入力ができること。		
4.1.21.51				・当日、未来日含めて栄養指導オーダーが依頼、実施の2段階で登録可能なこと。		
4.1.21.52			栄養指導歴・内容表示	・次の内容の表示ができること。 日付(オーダー日) 入外区分 診療科 依頼医師 オーダー種別 オーダー進捗状況		
4.1.21.53				・指導日指定で指導内容の表示ができること。		
4.1.21.54				・栄養指導指示書について直近の検査結果が毎回印字されること。		
4.1.21.55				・依頼後、栄養指導指示書の再発行が可能なこと。		
4.1.21.56			栄養指導照会	・当日または指定日にオーダー発行された患者一覧を表示できること。 なお、外来患者／入院患者の切り替え表示、全件／未実施／実施の進捗状況の切り替え表示、指定科分、指定病棟分、指定予約項目の絞り込み表示ができること。		
4.1.21.57				・一覧には患者番号、患者氏名、性別、生年月日、年齢、来院時間、開始時間、予約項目名、食種、オーダー進捗、他部門予約進捗、会計情報、科、病棟を表示できること。		
4.1.21.58				・一覧から患者を指定し、患者番号を入力すると、指定患者のオーダー内容の詳細が表示できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.21.59				・ 一覧からオーダーを指定し、患者照会を行うと対象患者の指定日のオーダー詳細がすべて表示できること。		
4.1.21.60				・ 一覧からオーダーを指定し、患者全照会を行うと対象患者のオーダー詳細がすべて表示できること。		
4.1.21.61			他システム連携	・ 医事会計システムとの連携が密接にできること。		
4.1.21.62				・ 定期的(1年毎)にシステムの操作説明を行うこと。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.22	レジメンオーダ					
4.1.22.1		レジメンオーダ	マスタ登録	・化学療法の治療計画をマップ形式にて登録できること。		
4.1.22.2				・抗がん剤のマスタに登録されている標準値および上限値を反映できること。		
4.1.22.3				・休薬期間の設定が登録できること。		
4.1.22.4				・薬剤の投与順が登録できること。		
4.1.22.5				・化学療法にかかわる検査や処置がセットとして登録できること。		
4.1.22.6				・化学療法の注意事項をコメントとして登録できること。		
4.1.22.7				・マスタの適用期間の登録ができること。		
4.1.22.8				・レジメンの作成が行え、レジメンが複数登録できること。		
4.1.22.9				・作成したレジメンを一覧表示できること。		
4.1.22.10				・レジメンマスター一覧は、診療科毎に分類を設定し、階層的に登録、表示できること。		
4.1.22.11				・レジメンマスター一覧には、レジメンNO.、レジメン名称、休薬期間、最大回数、確認コメント、有効期間、詳細表示が表示できること。		
4.1.22.12				・あらかじめ登録されたレジメンを流用し、新規のレジメンとして登録できること。		
4.1.22.13				・登録されたレジメンは、内容の修正、削除ができること。		
4.1.22.14				・レジメンの作成、修正、削除の権限が職種により設定可能なこと。		
4.1.22.15				・レジメンマスタの作成では、レジメンNO.、レジメン名称、有効期間、診療科、休薬期間、最大回数、確認コメント、注射オーダ内容、処方オーダ内容が登録できること。		
4.1.22.16				・注射オーダの指示内容としては、注射薬剤／手技、投与量、点滴時間速度、投与日を登録できること。		
4.1.22.17				・レジメンの世代登録が可能なこと。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.22.18				・レジメンの版数管理が可能なこと。		
4.1.22.19				・検査結果により、レジメンのレギュレーションの変更が可能なこと。		
4.1.22.20				・前クールの情報を流用する際に中止されたオーダの扱いについて設定可能とすること。		
4.1.22.21				・複数規格の薬剤について払い出しの優先順位の設定が可能なこと。		
4.1.22.22			レジメン管理	・化学療法実施患者の管理ができること。		
4.1.22.23				・適用した化学療法の治療計画をマップまたはカレンダー形式にて確認できること。		
4.1.22.24				・マップまたはカレンダー上で抗がん剤は文字色等で識別表示できること。		
4.1.22.25				・治療履歴と生涯投与量の管理ができること。		
4.1.22.26				・入力画面に、GFR値や検査結果を表示できること。		
4.1.22.27				・通常のオーダと同様に重複チェックができること。		
4.1.22.28				・予約オーダとして入力し、当日、実施／中止の決定ができること。		
4.1.22.29				・抗がん剤確定指示状況を一覧で表示できること。		
4.1.22.30			レジメン登録	・レジメン一覧から適用するレジメンを選択し、レジメンの適用ができること。		
4.1.22.31				・レジメン一覧で診療科、分類を指定し、適用可能なレジメンを絞り込むことができること。		
4.1.22.32				・レジメン適用時に注射薬が同時に適用できること。		
4.1.22.33				・レジメンで登録した注射薬剤と通常の注射オーダの薬剤が同時にカレンダー形式で参照できること。		
4.1.22.34				・レジメン一覧では、レジメンNO.、レジメン名称、休薬期間、最大回数、確認コメント、有効期間、詳細表示、生涯投与量確認、休薬期間経過日、開始日、投与量確認の各項目が表示されること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.22.35				・レジメン適用時に、以下のパラメータの表示登録ができること。 身長／体重 体表面積(自動計算表示) GFRの算出 AUC		
4.1.22.36				・GFRについては、医師が任意の投与量を入力可能な場合には、フリー入力ができること。		
4.1.22.37				・患者プロフィール(基本情報)に入力された身長・体重情報から、体表面積及び投与量を算出できること。		
4.1.22.38				・抗ガン剤の入力時に累積投与量を表示すること。		
4.1.22.39				・コメントはRP毎に入力できること。		
4.1.22.40				・付け指定ができること。		
4.1.22.41				・注射オーダ画面上にて、患者の身長・体重が参照できること。また、変更も可能とし、変更した際には、患者プロフィール(患者基本情報)にも反映されること。		
4.1.22.42				・身長については、患者基本オーダから登録済みである場合には、登録値を既定値表示すること。また、患者基本オーダから登録済みである場合には、体重も規定値表示し参照することができること。		
4.1.22.43				・適用薬剤の割合、使用量、規格使用量の直接入力ができること。		
4.1.22.44				・パラメータの変更ができること。		
4.1.22.45				・適用開始日の入力ができること。		
4.1.22.46				・レジメン適用時に、医師から薬剤部へ確定(混注)指示ができること。		
4.1.22.47				・患者に対して適用したレジメンの一覧が表示できること。		
4.1.22.48				・適用レジメン一覧では、レジメン名称、適用回数、適用期間、適用医師、適用科、投与量確認一覧、レジメンカレンダーが表示できること。		
4.1.22.49				・レジメンカレンダーでは、投与薬剤／手技等と投与スケジュールが表示されること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.22.50				・レジメンカレンダーでは、レジメン名称、適用回数、適用期間、適用パラメータ結果、休業期間、オーダー内容、コメントが表示されること。		
4.1.22.51				・レジメンカレンダーで修正を行い、診察終了、または一時終了時に指示書の出力ができること。		
4.1.22.52				・レジメンカレンダーから生涯投与量の確認一覧が表示できること。		
4.1.22.53				・使用量範囲毎の規格薬剤パターンのマスタ設定に従い、注射薬の規格最適化処理が行われること。		
4.1.22.54				・レジメンカレンダーから医師から薬剤部へ確定(混注)指示ができること。		
4.1.22.55			外来治療ベッド予約	・外来化学療法室のベッドを予約する機能を持つこと。また、ベッド予約を調整することができること。		
4.1.22.56			他システム連携	・薬剤部門システム、医事会計システムとの連携が密接にできること。		
4.1.22.57			データ移行	・現行のレジメンオーダー内容を引き継ぐこと		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.23	診療記録作成					
4.1.23.1		診療記録	共通	・リアルタイムにオーダ・カルテを、参照することができること。		
4.1.23.2				・患者検索が患者IDでもできること。		
4.1.23.3				・看護記録、部門の内容も記載、参照できること。		
4.1.23.4				・他業務からの情報をそのままカルテのデータとして取り込まれること。		
4.1.23.5				・更新情報がすべて残っていること。		
4.1.23.6				・カルテに関するアクセス情報がすべて記録として残ること。		
4.1.23.7				・システムは、権限により操作を行うものを識別して認証ができること。		
4.1.23.8				・カルテ情報の利用に際して、科別、入院、外来別及び全科等の範囲指示ができること。		
4.1.23.9				・カルテ情報はオーダ情報と問診／所見、治療計画等、紙カルテの2号紙イメージで表示記載ができること。		
4.1.23.10				・情報の保存タイミングを制御するための確定操作ができること。		
4.1.23.11				・同一患者のカルテ、画像を同時に複数の端末で参照できること。		
4.1.23.12				・カルテの代行入力を可能とし、その際は代行入力者、指示医の管理ができること。		
4.1.23.13				・システムで利用する部分のデータは、固定ディスクに常駐とし最低5年間は保存できること。		
4.1.23.14				・システムの変更に対して、蓄積した情報は継続的利用ができること。		
4.1.23.15				・診療記録の記載についてテンプレートが利用可能なこと。		
4.1.23.16				・診療諸記録(問診、所見、治療計画、他科依頼、看護記録、その他)の情報を、カルテ画面に直接記載ができること。		
4.1.23.17			入力・変更	・日、記載者(職種、氏名)、診療科の表示ができること。		
4.1.23.18				・2号紙に記載したカルテの内容で修正したい情報は容易に修正できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.23.19				・2号紙に記載したシェーマは拡大表示できること。		
4.1.23.20				・過去に記載したカルテ内容をコピー&ペーストの操作をして、記載中のカルテに利用できること。		
4.1.23.21				・コピー&ペーストの範囲を任意で調整可能なこと。		
4.1.23.22				・コピー&ペーストはマウス、キーボード双方で操作可能なこと。		
4.1.23.23				・入力方法は、下記から自由に選択できること。 ・キーボード入力 ・テンプレート選択入力 ・シェーマ入力		
4.1.23.24				・患者コメントを入力できること。		
4.1.23.25				・現病歴を入力できること。		
4.1.23.26				・既往歴、家族歴、生活習慣等を入力できること。		
4.1.23.27				・カルテの記録はカルテを閉じることなく登録でき、連続して入力できること。		
4.1.23.28				・ワープロ形式によるフリー入力ができること。		
4.1.23.29				・診察記録にタイトルをつけることができること。タイトルは、定型から選択できること。またフリー入力もできること。		
4.1.23.30				・診療記録のタイトルごとに権限を設定可能とすること。		
4.1.23.31				・診療記録のタイトルごとに医師への承認対象かどうか設定可能とすること。		
4.1.23.32				・定型文を登録することができ定型文を使用した診察記録の入力ができること。		
4.1.23.33				・診察記録にシェーマを挿入することができること。		
4.1.23.34				・所見入力時に画像などのイメージの貼り付けができること。		
4.1.23.35				・シェーマを利用した所見も登録できること。またシェーマに対するコメントは、ペンタブレットによる手書きもできること。		
4.1.23.36				・検査結果照会の結果値を引用して記録入力ができること。		
4.1.23.37				・検査結果照会の結果値を引用する際は手直しせずにペースト可能なこと。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.23.38				・オーダ・記録の承認または否認、承認・否認のコメント登録ができること。		
4.1.23.39				・診察記事、看護記事記載時、文書作成時にテンプレートを利用できること。		
4.1.23.40				・テンプレートで入力された情報は、自然言語変換した内容でカルテに展開ができること。		
4.1.23.41				・テキスト入力やコンボボックス、リストボックス、オプションボタン、リストボックス、チェックボックスによって値の入力ができること。		
4.1.23.42			シエーマ入力	・共通、診療科、簡易登録のシエーマを選択ができること。その際に、選択されたシエーマがプレビューできること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.23.43				・シェーマは、倍率指定もしくはアイコンクリックによる拡大・縮小ができること。		
4.1.23.44				・画像ファイルの格納場所を指定し、シェーマを取り込むことができること。		
4.1.23.45				・シェーマ、画像にコメント、矢印、図の記入が行えること。		
4.1.23.46				・シェーマの編集は、線の色、幅の変更ができること。		
4.1.23.47				・シェーマをカルテに貼り付けられること。		
4.1.23.48				・消しゴム機能を有すること。		
4.1.23.49				・取消し機能を有すること。		
4.1.23.50			参照	・診療情報は入力者、入力時間等が認識できること。		
4.1.23.51				・診療記録は、全科での表示、科を指定しての表示ができること。		
4.1.23.52				・診療記録は、記録の種類毎に分類して表示できること。		
4.1.23.53				・診療記録の、作成日時、作成者、更新日時、更新者を表示できること。		
4.1.23.54				・更新された診療記録は、修正履歴が確認できること。		
4.1.23.55				・診療記録のうち重要な記録を指定でき、表示することができること。		
4.1.23.56				・診療記録の有無を、日別、記録種類別に表示できること。		
4.1.23.57				・診療情報(各種報告書を含む)を時系列に表示できること。		
4.1.23.58				・Webでの画像参照に対応できること。		
4.1.23.59				・検査結果の参照ができること。		
4.1.23.60				・オーダーリング内容が表示できること。		
4.1.23.61				・各種報告書やスキャン書類を表示できること。		
4.1.23.62				・入外のカルテが一緒に一連で参照できること。		
4.1.23.63				・過去カルテを検索する際、日時指定の検索ができること。		
4.1.23.64				・リハビリ記録を経過記録ビューア上に表示できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.23.65				・カルテ2号紙のイメージで診療行為に関する情報を表示できること。表示出来る情報は、症状・所見等の診察記録、看護記録、オーダ情報、入院情報、レポート、サマリ、紹介状等であること。		
4.1.23.66				・サマリ情報の概要表示ができること。		
4.1.23.67				・診察記録の修正、削除履歴を表示できること。		
4.1.23.68				・レポートが有る場合には、記録表示部分からレポート内容の表示ができること。		
4.1.23.69				・スキャナにて取り込み処理を行った文書を表示できること。		
4.1.23.70				・入力された画像データやシェーマは縮小、標準の表示に切り替えができること。		
4.1.23.71				・カルテ情報と温度板が同時に参照ができること。		
4.1.23.72			表示切替	・診療データの表示順を変更できること。		
4.1.23.73				・診察記録、オーダ履歴を縦に列挙して表示する縦表示と診察記録を左側に、オーダ履歴を右側に列挙して表示する横表示の切り替えを行なう事ができること。		
4.1.23.74				・入院履歴の表示ができること。		
4.1.23.75			出力	・カルテ入力した記載内容の印刷ができること。		
4.1.23.76			時系列表示	・症状・所見等の診察記録、看護記録、オーダ情報、入院情報、レポート、サマリ、紹介状等の必要な情報が表示できること。		
4.1.23.77				・重要な記録には、目印マークを表示し、重要な記録を容易に把握できること。		
4.1.23.78				・診察記録につけられたタイトルを表示できること。		
4.1.23.79				・診察記録の修正、削除履歴を表示出来ること。		
4.1.23.80				・デジカメなどで取り込んだ画像データの表示ができること。		
4.1.23.81				・診療データの表示順を変更できること。		
4.1.23.82				・全診療科表示または、条件指定した診療科のみのデータを表示できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.23.83				・重要記録のみのデータを絞り込み表示ができること。		
4.1.23.84				・指定した基準日から、1画面に複数日のカルテ内容を並べて表示することができること。		
4.1.23.85				・表示内容の拡大、縮小のサイズを操作者が簡単に変更できること。		
4.1.23.86			付箋機能	・付箋は利用者が任意にタイトルを付け、貼り付けができること。		
4.1.23.87				・付箋本文は、フォント、文字サイズ、文字色を変更できること。		
4.1.23.88				・付箋の大きさ、表示位置を設定できること。		
4.1.23.89				・付箋の表示・非表示を1クリックで変更可能なこと。		
4.1.23.90			カルテ開示	・診療情報として入力された全ての情報が時系列・科別の分類で表示ができること。		
4.1.23.91				・診療情報は入力者、入力時間等の認識ができること。		
4.1.23.92				・診察情報の改訂は改訂箇所がその前後で認識できると共に改訂者、改訂時間の認識ができること。		
4.1.23.93				・閲覧、印刷ができること。		
4.1.23.94			紙スキャン	・電子カルテに登録した各種オーダデータについては電子カルテ内の機能を利用し、依頼帳票発行を可能とすること。		
4.1.23.95				・各種文書をスキャナにてカルテに取り込み管理することができること。(実施記録・紹介状等の紙スキャンをしたもの) タイムスタンプが取得できること。		
4.1.23.96				・スキャナ登録した文書について検索機能を有すること。		
4.1.23.97				・スキャナした文書は決められた時間までは削除できること。		
4.1.23.98				・スキャナした文書は版数管理ができること。		
4.1.23.99				・取り込み情報がカルテ画面で確認できること。		
4.1.23.100				・取り込まれた文書の一覧を患者毎に参照できること。		
4.1.23.101				・各文書・画像をブラウザで表示できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.23.102				・各文書・画像データをスキャナで読み取る場合、バーコードによる患者属性等の登録ができること。		
4.1.23.103				・スキャナ取り込みを目的とした任意の文書書式が作成、印刷できること。印刷時に指定された文書種別が自動的に入力できること。		
4.1.23.104			外部ファイル	・診察室でデジカメ、小型医療機器の画像を各端末のUSB経由で取り込み、電子カルテの所定の場所に貼り付けができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.24	看護支援					
4.1.24.1	看護勤務	共通		・極力手書き運用を排除した運用提案を実施すること。		
4.1.24.2				・システム起動時に固有のパスワードで保護されていること。		
4.1.24.3				・看護部長、副看護部長、師長、医事別に権限の設定ができること。また、権限の設定は任意に変更ができること。		
4.1.24.4				・他部署の勤務情報の変更権限を持たない職員は他病棟の勤務状況を変更できないこと。		
4.1.24.5				・全部署の勤務状況の変更権限を持つ職員のみが、全病棟の勤務状況を確認できること。		
4.1.24.6				・看護部長室の端末のみに、職員管理業務機能・マスタ管理の作業ができること。		
4.1.24.7				・印刷画面でプレビュー表示ができること。		
4.1.24.8				・勤務記号は99個まで登録できること。		
4.1.24.9				・勤務予定、勤務実績データはそれぞれ15月分以上保持でき、暦年及び年度どちらでも年間統計がとれること。		
4.1.24.10				・月末処理などでアクセスが集中した場合でも、操作速度が低下しないこと。		
4.1.24.11				・回診時にもシステム登録可能とすること。(ノート端末を準備すること)		
4.1.24.12				・印刷時にプレビュー機能を有すること。		
4.1.24.13		勤務管理	病棟人員構成 (勤務者設定)	・勤務の変更は、画面上から容易にできること。		
4.1.24.14				・勤務者の追加、削除は看護ID、氏名などからの検索からでもできること。		
4.1.24.15				・勤務者の並び順は更新前から更新後ヘドラックアンドドロップなどで容易にでき、保存ができること。また、複数の並び順の設定ができ、画面上から容易に変更ができること。		
4.1.24.16				・勤務箇所内の勤務者を複数の班別に設定ができること。		
4.1.24.17				・病棟人員構成で表示された順序は勤務表にも反映されること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
			勤務予定表作成	病棟別に以下の条件を満たす勤務割りの作成ができること。		
4.1.24.18				・深夜の限度回数		
4.1.24.19				・準夜の限度回数		
				個人別に以下の条件を満たす勤務割りの作成ができること。		
4.1.24.20				・深夜の限度回数		
4.1.24.21				・準夜の限度回数		
4.1.24.22				・禁止勤務		
4.1.24.23				・夜勤組み合わせ禁止者を職員個々に指定できること。		
4.1.24.24				・自動作成機能と手動作成機能があり、勤務予定表の作成ができること。		
4.1.24.25				・必要人員不足の表示ができること。		
4.1.24.26				・看護職は、個人希望入力時ができること		
4.1.24.27				・勤務記号入力は、マウスから入力できること。各部署で使用頻度の高い勤務記号を選択し、入力が容易にできること。		
4.1.24.28				・前月1ヶ月間の実績のデータを参照できること。		
4.1.24.29				・1画面で1日～月末及び横集計を表示できること。		
4.1.24.30				・手動入力時、マウス1クリックで連続した勤務の入力ができること。		
				下記の場合、特定の画面上に警告を色替えてできること。		
4.1.24.31				・深夜、準夜が設定回数を超えた時。		
4.1.24.32				・深夜、準夜が設定回数を満たない時。		
4.1.24.33				・勤務者を指定した順番で、画面に表示できること。		
4.1.24.34				・予定表作成時に選択されている職員、日の縦横にガイドラインが表示されていること。		
4.1.24.35				・横列に個人の勤務形態別日数が表示されること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.24.36				・看護師別、日別で準夜や深夜などの勤務形態の分類別に集計ができること。		
4.1.24.37				・勤務表作成画面について、休日欄の背景又は文字色の設定ができること。		
4.1.24.38			勤務予定表印刷	・用紙サイズ及び印刷フォーマットについて病院指定ができること。		
4.1.24.39				・勤務予定データより、週間業務予定表が印刷できること。		
4.1.24.40				・予定表印刷で、病棟用と提出用の2種類の印字順設定ができること。		
4.1.24.41				・予定表のカラー印刷ができること。		
4.1.24.42				・作成者、看護師長、主任、看護部長、院長の押印欄が用紙に記載できること。		
4.1.24.43			勤務実績入力	・実績入力画面で、勤務変更した実績が入力できること。		
4.1.24.44				・時間年休の入力ができること。		
4.1.24.45				・勤務記号入力は、マウスから入力できること。		
4.1.24.46				・実績決定後の変更、修正の権限は主任以上のみ等の設定ができること。		
4.1.24.47				・入力画面は日、月単位のどちらでも入力ができること。また、病棟別の入力画面も設定できること。		
4.1.24.48			勤務実績表印刷	・用紙サイズ及び印刷フォーマットについて病院指定ができること。		
4.1.24.49				・実績の行に勤務変更のあった勤務を記号印字できること。		
4.1.24.50			看護部配置一覧表作成	・用紙サイズ及び印刷フォーマットについて病院指定ができること。		
4.1.24.51	看護支援システム	業務概要		・看護過程全般を補うような機能構成であり、以下業務毎の機能要件を満たすこと。		
4.1.24.52				・医師や他部門のスタッフとの記録と一元管理できるようにすること。特に医師の指示変更や中止をリアルタイムに把握することができ、安全性の高いシステムであること。		
4.1.24.53				・ナースステーションでのデスクトップパソコンとノート型パソコンを無線LANで運用可能とし、ベッドサイドでのリアルタイムなデータ連携を実現すること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.24.54		患者プロフィール		・入院時や入院中の情報収集の登録は入力項目を病院独自の看護領域で登録できること。また、一画面で複数の患者の入力が同時にできること		
4.1.24.55				・入院時や入院中の情報収集の登録は当院指定のものを使用し、それに沿った登録画面を持つこと。また、一画面で複数の患者の入力が同時にできること		
4.1.24.56				・入院時や入院中の情報の登録はNANDAの13領域に則したものを標準機能で提供すること。		
4.1.24.57				・外来で問診入力した患者プロフィール情報を再度入力することが無いように自動で取り込めること。		
4.1.24.58				・患者バーにでてくるアイコンについて、薬剤、食品アレルギーが有る場合、NSの一次的な情報コメディカルの正確な情報で黄色→赤色に変更となるようにすること(現状 感染情報が2段階になって		
4.1.24.59				・入院時や入院中の情報収集の登録で入力した情報は、再度入力することが無いように電子カルテの患者基本情報や問診情報と連動すること。		
4.1.24.60				・入院時や入院中の情報収集の登録は履歴管理機能を有し、過去の入院時や入院中の情報を参照できること。		
4.1.24.61				・家族構成(家族歴)の表記が家系図形式の入力ができること。		
4.1.24.62				・家族情報の続柄にでてくる関係者の入力をした場合、家系図に反映されること。(キーパーソンが少し離れた続柄の場合もある)		
4.1.24.63				・患者本人が常に家系図の中央に表示されること。(家族構成順)		
4.1.24.64				・入力した情報を一部患者基本情報等に反映可能であること。		
4.1.24.65		看護診断		・情報収集した情報を登録しながら、看護問題の候補となりうる問題を仮診断として登録できること。		
4.1.24.66				・仮診断名(診断ラベル)は一覧表示し、仮診断名を容易に選択できること。		
4.1.24.67				・一覧表示されている診断ラベルで仮診断として選択した看護問題を絞り込んで表示できること。		
4.1.24.68				・仮診断として選択した看護問題から更に本診断とする診断ラベルを選択することで看護診断を記載できること。また、その際にナンバリングの順番を変更できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.24.69				・病院指定の看護分類(看護診断/共同問題/標準看護計画)にあわせた一覧による看護問題の検索ができること。できるだけ、目的の看護問題が素早く検索できるように一覧表示は階層構造とすること。また、問題点検索に関しては、階層からの検索の他にキーワード検索、ワープロ検索、アナムネの入力結果から検索できること。		
4.1.24.70				・選択された看護問題に対し、関連因子などを表示し、選択することによって看護計画が立案できること。		
4.1.24.71				・診断指標、関連因子、患者目標は一覧からの選択ができること。また、個別性を持たせるためにフリー入力にも対応していること。		
4.1.24.72				・患者の看護診断は診断名、診断指標、患者目標、関連因子が一覧で表示されること。その際、ナンバリングした順番で表示されること。		
4.1.24.73				・入力途中の状態でも、患者基本情報のみ印字された入院時看護記録が印刷できること。		
4.1.24.74		看護計画		・看護問題に対する看護計画はOP、TP、EPの分類で計画立案できること。また分類は一覧表示され、マスタで管理されること。		
4.1.24.75				・個別性を持たせるために、マスタ選択だけでなく看護計画のフリー入力ができること。		
4.1.24.76				・一覧表示された患者の看護問題一覧から診断名を選択することで、看護計画の内容が表示され、計画内容の参照・追加/評価ができること。また、入力後の修正ができること。		
4.1.24.77				・看護計画の入力後の修正は、操作性向上のために電子カルテシステムから行うこととし、修正履歴を残すこと。		
4.1.24.78				・看護計画は、「看護問題一覧」や「計画リスト」など選択した範囲で帳票を作成し、印刷できること。		
4.1.24.79				・標準看護計画マスタを採用した際は、看護問題に対する関連因子、患者目標、看護計画をセット化し、効率よく看護計画が立案できる機能を提案すること。また、そのセット分類は自由に追加することができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.24.80				・立案された看護計画で、必要とした観察項目と日々の看護ケアとして実践していく項目は看護指示としてオーダ発行できケアシートに反映すること		
4.1.24.81				・評価リスト(患者氏名、看護問題名、立案月日、評価日、評価内容)が画面上で参照、印刷できること。		
4.1.24.82				・看護問題やひとつひとつの看護計画の項目に対する評価、評価日、評価者、次回評価日の設定、修正ができること。		
4.1.24.83				・看護問題の評価の際に、評価記録の記載ができること。		
4.1.24.84				・看護計画、立案、修正、評価が一画面で参照できること。患者説明用として印刷できること		
4.1.24.85				・ケアプランの評価画面は1画面で構成されること。		
4.1.24.86				・立案、評価して再度見直した時にもプランの追加ができること。		
4.1.24.87				・退院後外来看護計画が使用できること。		
4.1.24.88		看護指示		・看護計画毎に日々の詳細な看護ケア指示をオーダ発行できること。		
4.1.24.89				・看護計画と紐付いていない場合でも、患者に対してケア指示を発行することができること。		
4.1.24.90				・看護ケア指示の入力後の修正は、操作性向上のために電子カルテシステムから行うこととし、修正履歴を残すこと。		
4.1.24.91				・看護ケア指示に対して、毎日、1日毎、曜日の指定、ケアの回数や時間の指定など詳細な指定ができること。		
4.1.24.92				・看護ケア指示は、開始日、終了日など期間指定の機能を有すること。		
4.1.24.93				・発行した看護ケア指示は自動的に取り込まれ、ワークシートとして画面への表示、紙での出力ができること。		
4.1.24.94		経時記録/看護記録		・看護記録は、SOAP形式、経時記録の形式に対応し、記載できること。		
4.1.24.95				・看護問題に対しての看護記録の記載を行う場合、患者への看護計画により登録されている問題点一覧からの問題選択ができること。		
4.1.24.96				・過去の看護記録からコピー＆ペーストができること。		
4.1.24.97				・シェーマ(スケッチ図)を使用しての看護記録が記載できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.24.98				・看護記録を作成/更新した際には、システムを使用するときに入力された利用者IDの利用者氏名が自動的に表示されること。		
4.1.24.99				・記載の日時に関しては、記載開始の時間が自動的に記載されること。ただし、業務上、実際のケアをした時間と記録した時間が異なる場合があるため、日時を変更できること。また、その際には、ケアした時間と、記録した時間の両方を記録できること。		
4.1.24.100				・過去のSOAP記録をキーワードなどで検索、絞り込み機能を有すること。また、検索は、看護問題(S・O・A・P)、経時記録の検索や作成者の検索、記録の中からフリーキーワードで検索できること。		
4.1.24.101				・電子カルテから看護記録を修正・削除できること。また、その際は即時に看護記録に反映することができること。		
4.1.24.102				・看護記録を修正・削除した場合、電子カルテで、いつ・誰が修正したのか履歴管理ができること。		
4.1.24.103				・コピー&ペースト機能によるサマリーへの貼り付けができること。		
4.1.24.104				・使用頻度の高いテンプレートを選択し、自分の画面にパーソナルスクリーンとテンプレートをまとめておける機能をもつこと。		
4.1.24.105		経過表(ケアシート)		・成人(一般・重症)、小児(一般・重症)の経過表をサポートできること。		
4.1.24.106				・患者の基本情報(血液型、感染症、病名など)、食事指示(食種)、入院日、移動情報、手術日、分娩日など他職種や他部門で入力された情報などを必要に応じて自動で経過表に取り込むことができること。		
4.1.24.107				・経過表の表示時間はレンジ変更機能を有しており、時間軸をクリックすることにより1日単位、6時間単位、3時間単位で時間レンジが変更できること。		
4.1.24.108				・重症用の経過表については時間軸をクリックすることにより1時間単位、30分単位…の時間レンジが変更できること。		
4.1.24.109				・血圧、体温、脈拍、呼吸数のバイタルデータをグラフ表示できること。また、バイタルデータ入力の際には入力時間が自動で表示されること。		
4.1.24.110				・入力したバイタルデータを自動でリアルタイムにグラフ表示できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.24.111				・入力したバイタルの数値誤りに警告がでること。		
4.1.24.112				・バイタルデータをリアルタイムに入力できない場合に、測定時間のさかのぼり入力が可能であること。		
4.1.24.113				・輸液/排液等のIntake/Output項目の自動集計、バランス計算が自動で行え、表示できること。		
4.1.24.114				・患者の疾患・状態に合わせて患者ごとに観察項目が設定できること。		
4.1.24.115				・観察項目の設定を効率よく行えるようにマスタ選択できること。		
4.1.24.116				・項目の入力、削除、追加が複数同時に行えること。		
4.1.24.117				・観察項目の設定を効率よく行えるように、症例毎や診療科でセット化することができ、患者の観察項目として経過表の縦軸に展開できること。マスター以外にフリーで観察項目を入れられること。		
4.1.24.118				・測定結果・観察結果情報の入力には、専用の入力画面からマウスやキーボード操作で簡単に結果入力が行えること。		
4.1.24.119				・パターンの限られた測定結果や観察結果に対しては、マスタ選択でき、入力作業を軽減すること。		
4.1.24.120				・観察結果を入力した詳細な情報(数量、回数、時間、コメントなど)はバルーン表示で表現できること。		
4.1.24.121				・注射や処置、検査部門での実施情報の自動取り込みができること。		
4.1.24.122				・パス以外も術後日数がケアシートに反映すること。		
4.1.24.123				・複数の受持ち患者の経過表を続けて入力できること。		
4.1.24.124				・過去の入力情報は履歴として確認できること。		
4.1.24.125				・煩雑な操作を避けるため、経過表から日々の経過記録(看護記録)を呼び出し入力することができること。また、過去の経過記録を参照できること。		
4.1.24.126				・経過表に電子カルテの検査結果情報を呼び出し、経過表から確認できること。		
4.1.24.127				・複数患者のバイタル情報一括入力が可能であること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.24.128				・カルテ、オーダ画面からワンクリックで経過表(ケアシート)を展開できること。		
4.1.24.129				・点滴の指示と実施等の状況を判別できること。		
4.1.24.130				・退院後も継続して経過表(ケアシート)が参照できること。		
4.1.24.131				・重症用のケアシートを利用できること。		
4.1.24.132				・カルテと経過表(ケアシート)の同時表示ができること。		
4.1.24.133				・経過一覧においてグラフと数値を同一画面で参照可能なこと。		
4.1.24.134		看護サマリー		・サマリーに関して病院独自のレイアウトに自由に変更できること。		
4.1.24.135				・病名、感染症、アレルギー、看護問題などの自動取り込みができること。		
4.1.24.136				・電子カルテで医師が入力した情報を元に、病名・退院処方の取り込みができること。		
4.1.24.137				・一度保存した看護サマリーを修正した場合、その履歴がカルテに残ること。また、修正した履歴はいつ・誰が修正したのか情報を持ち、全てカルテに残ること。		
4.1.24.138				・入力したサマリーの印刷機能を有すること。印刷プレビューできること。		
4.1.24.139		受け持ち患者割り振り表	業務割り振り	・病棟・勤務日・勤務帯・業務割りを設定し、看護師の勤務帯ごとの業務割り振りを行なうことができること。		
4.1.24.140			受け持ち割り振り	・担当別、患者別の受け持ち患者の割り振りを行なうことができること。		
4.1.24.141		指示受け/指示確認		・医師からの指示を指示受け、指示確認できる機能を有すること。		
4.1.24.142				・指示受けや指示の確認をした場合、受け方や確認者のサイン、日時が自動で記載されること。		
4.1.24.143				・業務の効率化を考慮し、医師からの指示を一括で指示受け、指示確認することができること。その際の指示受け者、確認者、日時は自動で記載されること。		
4.1.24.144				・受持ちやチーム単位で複数患者の医師からの指示を指示受け、指示確認することができること。		
4.1.24.145				・指示受け、指示確認された指示は、ワークシートや患者のスケジュールで識別できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.24.146				・指示受けや指示確認するオーダーは、指示の変更が識別できるように表示色や背景色などで他のオーダーと区別できること。(削除した指示は赤字表示など)		
4.1.24.147				・注射、処方処置が別々に表示されること。		
4.1.24.148				・指示受けや指示確認の機能は、指示の詳細まで印刷することができること。		
4.1.24.149				・未指示受け一覧の表示ができること。		
4.1.24.150		実施入力		・時間指定のないオーダーはまとめて表示され、時間指定のあるオーダーは横軸の時間に合わせて表示されること。		
4.1.24.151				・患者ごとのスケジュールは日勤・準夜・深夜ごとに時系列表示だけでなく、各種業務別(処方・注射・検査など)に表示できること。		
4.1.24.152				・患者のスケジュール(医師からの指示や看護ケア指示など、患者に対する指示の全て)は「未実施」、「確認済」、「実施済」が識別できるように色で区別し、表示できること。		
4.1.24.153				・指示受けや指示確認をした場合、実施入力をした場合に「確認済」や「実施済」の色は自動で変更されること。		
4.1.24.154				・患者のスケジュールから実施入力した情報は、電子カルテや経過表に実施記録として自動転記されること。		
4.1.24.155				・与薬、採血、看護指示などに対し、看護師が医療行為を実施したことを表す実施入力ができること。また、実施入力をした際に、実施した日時、実施者が自動的に記載されること。		
4.1.24.156				・実施入力時に現在の実施日時や予定の実施日時が自動展開されること。		
4.1.24.157				・実施日時は、業務上、遅れて記載されることを考慮し、実施時間の変更ができること。その際、実施時間と記載時間の両方を管理できること。		
4.1.24.158				・注射・処置オーダーの実施入力は、医事会計と連動し、実施入力によって会計送信できること。注射に関しては「1回実施」の運用は即時に会計送信できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.24.159				・処置オーダーの実施入力は、薬剤や使用器材の変更、追加、数量などの変更が実施入力時にできること。		
4.1.24.160				・受持ちやチーム単位で複数患者の実施入力が一画面でまとめてできること。		
4.1.24.161				・継続指示(発熱や疼痛時の指示など)の内容を確認できること。また、実施入力ができること。		
4.1.24.162				・医師からの指示や看護ケア指示の全ての患者に対する指示の詳細が参照できること。		
4.1.24.163				・患者リストバンドを使用し、患者の認証ができること。		
4.1.24.164				・注射のバーコードより、対象患者に有効なオーダーかの認証ができること。その際に医師からの変更や中止をリアルタイムに取込み、認証すること。		
4.1.24.165				・血液製剤のバーコードより、対象患者に有効なオーダーかの認証ができること。その際に医師からの変更や中止をリアルタイムに取込み、認証すること。		
4.1.24.166				・注射や血液製剤オーダーと患者の認証に成功した場合、そのオーダーの指示詳細が画面に表示されること。		
4.1.24.167				・バーコードによる注射や輸血の認証をした場合、看護師の実施入力ができること。		
4.1.24.168				・注射オーダーの認証は、看護師の実施入力とコスト送信が連動していること。		
4.1.24.169				・注射オーダーの認証をし、実施入力した際に、経過表と連携し、実施記録を経過表に自動転記すること。		
4.1.24.170				・輸血オーダー認証時に自動で輸血部門との連携ができること。		
4.1.24.171				・輸血オーダー終了実施時に副作用項目を入力することにより経過表への連携ができること。		
4.1.24.172		ケア予定登録		・看護項目について、ケア項目、バイタル等の測定・実施項目、観察項目等の登録が行なえること。		
4.1.24.173				・患者ごとに必要な看護項目を選択して、スケジュールが作成できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.24.174				・看護項目は名称による検索が行えること。		
4.1.24.175				・看護項目は一度に複数選択できること。		
4.1.24.176				・看護項目ごとに、開始日、終了日、曜日または日間隔、実施予定回数、実施予定時刻の登録ができること。		
4.1.24.177				・複数回の実施予定時刻をスケジュールとして登録できること。		
4.1.24.178				・看護項目のスケジュールごとに、コメントが登録できること。		
4.1.24.179				・患者ごとの登録済み看護項目内容(曜日、回数/実施時刻、最終更新者)を一覧で参照できること。		
4.1.24.180				・複数の看護項目について、同じスケジュールを一度に作成、登録できること。		
4.1.24.181				・「看護問題」との連動により、選択した看護介入の項目と関連づけされているケア項目が表示でき、選択して登録できること。		
4.1.24.182				・登録したケア予定は、ワークシート帳票に反映できること。		
4.1.24.183				・登録したケア予定は「ワークシート」画面で参照でき、この画面からもケア予定の追加、変更ができること。		
4.1.24.184				・ケアプランの観察項目をフローシートに反映できること。		
4.1.24.185				・回数の変更ができること。		
4.1.24.186		ケア実施入力		・指定日に予定されている看護項目が表示され、実施・中止の進捗や測定値・観察内容等の値の入力が行なえること。		
4.1.24.187				・各実施情報には、実施時刻が登録できること。		
4.1.24.188				・実施予定時刻がスケジュールされている項目は、予定時刻が表示されること。 また、スケジュールされている予定以外の時刻でも予定外の実施入力が行なえること。		
4.1.24.189				・観察項目については定型文から選択入力またはフリー入力できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.24.190				・実施入力された項目は、実施した事を示すため、チェックボックスにチェックが入ること。		
4.1.24.191				・実施済みの内容を修正できること。また、実施済みの進捗を未実施に戻すことができること。		
4.1.24.192				・予定されている処置内容、予定回数も同時に表示され、実施入力ができること。		
4.1.24.193		患者状態一括入力		・複数患者について、指定日時の複数患者の状態項目が参照でき、一度に患者状態の入力ができること。		
4.1.24.194				・対象患者は、病棟全患者または患者一覧からの個別選択ができること。		
4.1.24.195		ケア実施一括入力		・複数患者について、指定日の複数の看護項目の測定値・観察結果を一度に入力できること。		
4.1.24.196				・項目の組み合わせは、複数設定し、登録できること。		
4.1.24.197				・対象患者は、病棟全患者または患者一覧からの個別選択ができること。		
4.1.24.198				・実施予定時刻がスケジュールされている項目は、予定時刻が表示されること。 また、スケジュールされていない予定以外の時刻でも実施入力が行なえること。		
4.1.24.199				・測定値・IN/OUT項目については、キーボードまたは画面表示されるテンキーパッドから入力できること。 また、入力値に対して、項目ごとに設定されている桁数・上限値・下限値のチェックが行われること。		
4.1.24.200		ワークシート		・医師オーダーや看護ケア指示、看護管理項目など電子カルテやオーダーリングで入力された情報をワークシートに自動的に取り込み、画面表示および印刷できること。また、ワークシートの種類については下記のを標準で提供すること。		
4.1.24.201				・移動患者一覧		
4.1.24.202				・検体検査一覧		
4.1.24.203				・処方一覧		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.24.204				・注射一覧		
4.1.24.205				・処置一覧		
4.1.24.206				・チームワークシート		
4.1.24.207				・フリーシート		
4.1.24.208				・出棟一覧		
4.1.24.209				・医師オーダーシート(オーダーが一覧で確認できるシート)		
4.1.24.210				・清潔援助計画表		
4.1.24.211				・患者単位で各種ワークシートの画面表示および印刷ができること。ワークシートの印刷依頼をかけた場合、対象日が当日で表示されること。		
4.1.24.212				・受持ち単位で各種ワークシートの画面表示および印刷ができること。ワークシートの印刷依頼をかけた場合、対象日が当日で表示されること。		
4.1.24.213				・チーム単位で各種ワークシートの画面表示および印刷ができること。ワークシートの印刷依頼をかけた場合、対象日が当日で表示されること。		
4.1.24.214				・病棟単位で各種ワークシートの画面表示および印刷ができること。ワークシートの印刷依頼をかけた場合、対象日が当日で表示されること。		
4.1.24.215				・受持ち単位、チーム単位、病棟単位で複数患者のワークシートを画面表示した際に、ページをめくるイメージで表示切り替えができること。ワークシートの印刷依頼をかけた場合、対象日が当日で表示されること。		
4.1.24.216				・各種ワークシートを印刷した際には、印刷した日時が印字されること。ワークシートの印刷依頼をかけた場合、対象日が当日で表示されること。		
4.1.24.217				・個人看護ワークシートには、患者の重症度、看護度、救護区分、看護ケアオーダー、移動オーダー、医師からの検査、処方、注射指示を自動取り込みし、表示および印刷ができること。		
4.1.24.218				・ケアシートには、1週間分の患者の看護ケア指示を自動取り込みし、表示および印刷ができること。		
4.1.24.219				・注射、処置、指示などは個々で表示され指示が解かり易いこと。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.24.220				・ワークシートのプレビュー機能を有すること。		
4.1.24.221		管理日誌		・各管理日誌は、転記作業を削減するため、電子カルテやオーダーリング、看護勤務割システムで入力された情報を自動取り込みし、容易に作成できること。 管理日誌は下記のを標準で提供すること。		
4.1.24.222				・看護部長日誌		
4.1.24.223				・病棟管理日誌		
4.1.24.224				・看護部管理日誌		
4.1.24.225				・外来管理日誌		
4.1.24.226				・手術室管理日誌		
4.1.24.227				・病棟管理日誌に、付き添いに関して記入でき、それが看護部長日誌に反映すること		
4.1.24.228				・管理日誌は病院指定のフォーマットにも対応すること。		
4.1.24.229				・申し送りに利用する日誌類は、最新の情報が必要な場合、任意のタイミングで情報の取込み、集計ができること。		
4.1.24.230				・病棟管理日誌は入院・退院患者情報のほか、重症・要注意者の一覧、手術患者の一覧、救護区分集計、勤務者などの情報が網羅され、勤務交代時の引継ぎに利用できること。		
4.1.24.231				・病棟管理日誌は看護部へ作成状況を提示する機能を有すること。		
4.1.24.232				・外来管理日誌は、新患、再来などの区分で患者数集計が自動で行えること。		
4.1.24.233				・手術管理日誌は手術件数の集計、患者毎の術式や手術開始・終了時間を一覧表示できること。		
4.1.24.234				・看護管理日誌には、入院患者数や診療科毎の患者数、担送・護送区分数、手術など各病棟で入力された情報を自動集計できること。		
4.1.24.235				・各管理日誌に看護師の勤務状況を記載する為、看護勤務割システムと連携すること。勤務毎の看護師数、年休数の合計などが自動計算できること。		
4.1.24.236				・各管理日誌で特記事項をフリー入力できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.24.237				・各管理日誌は印刷ができること。その場合、紙での帳票レイアウトを考慮すること。		
4.1.24.238				・各管理日誌には師長、看護部長のサインが入力できること。		
4.1.24.239				・各項目の定義、判断基準が画面で確認できること		
4.1.24.240		看護必要度		・看護必要度の入力 ・表示ができる機能を有すること。		
4.1.24.241				・病棟毎の看護必要度が集計 ・表示できる機能を有すること。		
4.1.24.242				・ケアシートと必要度に関連した項目と評価がそれぞれ連動すること。		
4.1.24.243				・集計した看護必要度のファイル出力機能を有すること。		
4.1.24.244				・病棟毎の複数患者について、指定日の看護必要度が参照でき、一度に入力 ・集計できること。		
4.1.24.245				・必要度未評価の一覧が参照でき一覧から入力できること		
4.1.24.246				・評価対象外の場合評価表にコメントできること(例:15才未満のため対象外)		
4.1.24.247				・必要度Ⅰ→Ⅱへの変更が可能なこと		
4.1.24.248				・看護必要度について、下記の帳票が出力できること。 ・看護必要度患者分類別構成(日報 ・月報) ・看護必要度評価票		
		その他		患者ベッドサイドでの業務として、下記の機能を提供すること。		
4.1.24.249				・ ・ノートパソコンをすべて無線LANでの使用することを標準化すること。		
4.1.24.250				・ ・ノートパソコンに接続したバーコードリーダの使用。		
4.1.24.251				・ ・職員ネームプレートのバーコードによる実施者認証。		
4.1.24.252				・ ・患者リストバンドのバーコードによる患者認証。		
4.1.24.253				・ ・患者リストバンドと薬品ラベル等のバーコードによる各種指示内容の照合 ・確認 ・実施入力機能。		
				患者出棟業務として、下記の機能を提供すること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.24.254				・与薬・注射・処置・検査・看護指示等の実施入力が必要な項目に関して、日付・病棟・担当者を指定しての一覧表示及び一覧表の作成ができること。		
4.1.24.255				・ノート端末に接続したバーコードリーダによる三点認証が可能なこと。		
4.1.24.256				・注射オーダー、輸血オーダーの三点認証が可能なこと。		
4.1.24.257		他システム連携		・電子カルテシステム、看護勤務管理システム等との連携が密接に行われること。		
4.1.24.258		その他		・ケアシート画面、看護記録の入力画面が同時に見れること。		
4.1.24.259				・患者コメントの文字数を60文字から、100文字にすること。入力保存の際、保存の最終確認ができること。		
4.1.24.260				・データを入力すれば、すべてのシステムへ反映されること。		
4.1.24.261				・医療用語で漢字変換ができること		
4.1.24.262				・閲覧画面上の医師オーダーの指示、受付、実施についてのバーの色変更又は、文字色を変更できること。		
4.1.24.263				・文字数制限のあるものは、なるべく多く入力できること		
4.1.24.264				・MRIオーダー時、問診表と一緒に出力されること		
4.1.24.265				・パス患者の食事オーダーの際、禁止コメントを入力しても元の食事オーダーは変わらないこと。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.25	3点認証					
4.1.25.1		患者照合システム		・患者毎にリストバンドを発行し患者照合ができること。		
4.1.25.2				・ノートPC上で患者照合ができること。		
4.1.25.3				・患者照合は次の場合に行えること。 ・輸血用血液製剤投与時 ・薬剤投与時 等		
4.1.25.4				・リストバンドを利用したバーコードを読み取ることができ、患者照合ができること。		
4.1.25.5				・ノートPCでの利用が可能であり、無線LAN環境の整備、レスポンス等支障なく利用することができること。		
4.1.25.6				・患者認証、オーダ情報認証のためのバーコード読み取りで、対象患者のオーダ情報を確認できること。		
4.1.25.7				読み取り情報を活用し、オーダ実施情報として操作者、患者、実施オーダ情報を登録できること。		
4.1.25.8				バーコードを読み取った際、対象患者が異なった場合あるいは対象オーダが既に変更中止になっていた場合、エラーメッセージを表示できること。		
4.1.25.9				・注射オーダについて、注射バーコードの読み取りで、混注時に最新オーダ情報が確認できること。		
4.1.25.10				注射オーダのバーコード読み取った際、注射オーダの実施情報を登録できること。		
4.1.25.11				・輸血オーダについて、製剤の製剤種、ロットNo. のバーコード読み取ること、実施時に患者認証とオーダ確認ができること。		
4.1.25.12				・輸血オーダのバーコード読み取った際、輸血オーダの実施情報を登録できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.26	クリニカルパス					
4.1.26.1		クリニカルパスの作成	パステンプレート登録機能	・クリニカルパスの作成が容易にできること。		
4.1.26.2				・作成したパステンプレートは、診療科毎に一覧表示できること。 また、分類ごとにフィルタリングができること。		
4.1.26.3				・パス一覧には、パスコード、パス名称、更新履歴、更新者情報が表示されること。		
4.1.26.4				・既存のテンプレートの内容を流用して、新規のテンプレートとして登録できること。		
4.1.26.5			パス機能	・患者へのパス登録時は、基準日もしくは、イベント日(手術日、入院日など)を選択し展開できること。		
4.1.26.6				・イベント日については、1日を手術前、手術中、手術後のように日付内で複数に分割して表示することができること。		
4.1.26.7				・患者へのパス登録後、パス内容(オーダー指示情報等)の追加・修正・削除ができること。		
4.1.26.8				・各指示について、パス上の指示内容と通常の指示内容の区別が、色違いでできること。		
4.1.26.9				・日付け毎の指示コメントを登録できること。		
4.1.26.10				・検査や画像などの予約を伴う指示については、予約オーダーと連携し、パス上からの予約取得ができること。		
4.1.26.11				・パスの表示方法は、縦軸に分類、横軸に日付とし、時系列なカレンダー形式で表示できること。		
4.1.26.12				・パス表の縦項目は検査、治療、ケア等の項目と、さらにそれらの内部項目が配置できること。		
4.1.26.13				・パスの横軸には、日付とユニットごとに設定されたイベントを表示可能であること。		
4.1.26.14				・日ごとの表示ができること。		
4.1.26.15				・パスの有効期間の表示ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.26.16				・患者への適用状態、実施進捗状態については、背景色およびアイコンにて識別表示できること。		
4.1.26.17				・パス上の指示内容を個別に中止できること。		
4.1.26.18				・ケアシートから、アウトカム、バリエーション等の登録ができること。		
4.1.26.19				・一人の患者に対して複数のユニットパスが適用できること。		
4.1.26.20				・パス進捗により、背景色およびアイコンにて識別表示できること。		
4.1.26.21				・パスを適用した患者の一覧表示ができること。さらに、パス一覧画面からパス評価、カルテ起動が可能であること。		
4.1.26.22				・科、パス名称、期間、患者番号、パス進捗を指定して、登録済みパス情報が一覧表示できること。		
4.1.26.23				・登録されたアウトカムやバリエーション内容を参照し、パスの評価ができること。また、評価者が表示されること。		
4.1.26.24				・評価画面では、パス名称、適用期間、適用日数、パス状態、適用期間の変動、登録済みアウトカム、登録済みバリエーションが参照できること。		
4.1.26.25				・入院患者一覧には、パスの適用の有無が背景色で表示されること。		
4.1.26.26				・パス中止時に、未来日の未実施オーダを選択して削除できること。		
4.1.26.27				・一日コピーの対象として看護データも対象であること。		
4.1.26.28				・縦軸をオーダ種別や経過表項目、横軸を日付としたカレンダー形式でオーバービューできること。		
4.1.26.29				・1日を術前、術後といったフェーズで分けて登録することができること。		
4.1.26.30				・術後計画食を登録することができること。		
4.1.26.31				・フェーズ単位にアウトカム(目標設定)を登録することができること。		
4.1.26.32				・クリニカルパスの入力変更ができること。		
4.1.26.33				・パスのDr指示と看護の観察項目を別々に入れられること。		
4.1.26.34				・パス毎、プロセス毎にバリエーション理由を集計可能であること。		
4.1.26.35				・バリエーション理由毎に、設定されたバリエーション内容が一覧表示できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.26.36				・バリエーション理由毎バリエーション内容毎に、バリエーションが発生した相対日と登録件数が集計できること。		
4.1.26.37				・バリエーション理由毎バリエーション内容毎バリエーション発生日毎に、適用症例の一覧が表示できること。		
4.1.26.38				・オーダーセット入力ができること。		
4.1.26.39				・複数のパスをオーダーした際、看護項目の重複を防ぐこと。また、対応が難しい場合、簡便に削除することが対応できること。		
4.1.26.40				・パスシートの印刷や、ケアシート画面の印刷ができること。		
4.1.26.41				・クリニカルパスと他のオーダーをパス画面上で一元的に表示できかつその種別が背景色にて色分けできること。		
4.1.26.42			日めくりパスの表示	・表示対象日(日付け、曜日)、表示時間単位、適用中パス名称が表示できること。		
4.1.26.43			パス指定	・入院予約時に適用するパスをあらかじめ指定できること。		
4.1.26.44			パス適用	・入院予約時にパス適用の有無が指定できること。		
4.1.26.45				・パス適用時に、パス内容の変更ができること。		
4.1.26.46				・入院受入時、あらかじめ指定されているパスが自動で展開すること。		
4.1.26.47				・予約の必要な検査などの予約日付を確定することができること。		
4.1.26.48				・パスの内容を確認しサービスの削除、変更後にパスを発行することができること。		
4.1.26.49			パス参照と運用	・ケアシート画面では1週間単位で指示実施内容が確認できること。		
4.1.26.50				・経過表画面では1日単位で指示実施内容が確認できること。		
				ケアシート経過表		
4.1.26.51				・バイタルの内容がグラフで確認できること。		
4.1.26.52				・オーダーの進行状況(指示・受付・実施)がわかるようになっていること。		
4.1.26.53				・パス未適用患者でも利用できること。		
4.1.26.54				・指定日の詳細なオーダー情報を参照できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.26.55				・パス中止で翌日以降のオーダーを一括削除できること。		
4.1.26.56				・入院履歴より前回入院時の診療内容が参照できること。		
4.1.26.57				・手術予約と経過日数を表示できること。		
4.1.26.58				・条件付オーダー(レスキューオーダー)が入力できること。		
4.1.26.59				・注射オーダー等の実施管理ができること。		
4.1.26.60				・実施入力の際に実施者の認証ができること。		
4.1.26.61				・看護の指示追加・実施管理ができること。		
4.1.26.62				・バリエーションの登録ができ、パスの継続、中止が選択できること。		
4.1.26.63				・手術名(パス摘要患者は摘要病名)を表示できること。		
4.1.26.64			オーダー情報、看護情報の参照	・一覧表示はオーダー種毎、看護項目毎に表示されること。		
4.1.26.65				・パス作成時に、看護項目はコード順となること		
4.1.26.66				・一覧表から各項目を選択し、実施入力ができること。		
4.1.26.67			アウトカム	・各アウトカムは、あらかじめ登録してあるカテゴリから選択することで登録ができること。		
4.1.26.68				・各アウトカムは、カテゴリ毎、項目毎に達成・未達成の評価ができること。		
4.1.26.69				・対象パスのアウトカムはカテゴリ毎にまとめて一覧表示できること。		
4.1.26.70			バリエーション	・アウトカムが適正範囲外の場合にバリエーション入力を促すことができること。		
4.1.26.71				・オーダーデータに対し変更等のバリエーション入力ができること。		
4.1.26.72				・登録されたバリエーション内容が一覧表示されること。		
4.1.26.73				・一覧表示は、バリエーション発生時刻、バリエーション内容、入力者、種別(正・負)、レベル(パスへの影響度)、対応内容、結果、コメントが表示され、各項目の編集ができること。		
			統計機能	電子カルテシステムから下記統計を出力できること。		
4.1.26.74				・診療科・病棟別のパス適用率		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.26.75				・オールバリエンス統計		
4.1.26.76				・患者、科、パス名称、期間、パス進捗を指定してパス情報を集計することができること。		
4.1.26.77				・指定期間のパス毎の適用患者数の集計ができること。		
4.1.26.78				・指定期間のパス毎のバリエンス集計ができること。		
4.1.26.79				・ケアシートの看護項目についてはコード順に並び替えができること		
4.1.26.80			その他	・午後入院の場合昼食が出ないこと		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.27	チーム医療					
4.1.27.1		チーム医療管理		・一人の患者に対し複数の医療専門職が連携し治療やケアを行うため、介入から介入終了時までの情報管理を行える機能を有すること。		
4.1.27.2				・チーム介入依頼について、新規依頼、修正、削除が可能であること。		
4.1.27.3				・介入依頼は、チーム毎に依頼内容のテンプレートを設定できること。		
4.1.27.4				・テンプレートの内容は、病院独自の内容を作成できること。		
4.1.27.5				・チームはマスター管理されており、運用後のチームの追加が可能であること。		
4.1.27.6				・チーム介入依頼に対し、受付／却下ができ、また、受付取り消しも可能であること。		
4.1.27.7				・チーム介入依頼を却下する場合は、却下理由が入力できること。		
4.1.27.8				・受付したチーム介入に対し、回診予約または予約キャンセルが可能であること。		
4.1.27.9				・受付したチーム介入に対し、回診記録が登録あるいは回診記録の修正、削除が可能であること。		
4.1.27.10				・回診記録において、テンプレート機能により1チームに対して複数の回診記録内容を設定できること。		
4.1.27.11				・回診記録の下書き登録が可能であること。		
4.1.27.12				・回診記録において、回診予約が無い場合も回診記録を登録できること。		
4.1.27.13				・回診記録を作成する際、前回回診記録を流用して記録が作成できること。		
4.1.27.14				・回診時に加算が発生する場合、加算項目一覧から加算項目を選択登録することで医事システムへ加算情報を伝達できること。		
4.1.27.15				・加算項目は、チーム毎にマスターで管理が可能なこと。		
4.1.27.16				・加算項目は、複数項目を一度に登録できること。登録と同時に汎用オーダーを生成し、コストの取り漏れの防止が可能なこと。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.27.17				・加算項目は、登録と同時に汎用オーダーを生成し、コストの取り漏れの防止が可能なこと。		
4.1.27.18				・回診記録／加算一覧で介入依頼に対する回診記録の記載状況および加算登録状況を確認できること。		
4.1.27.19				・回診記録／加算一覧から回診記録内容および加算登録内容を参照できること。		
4.1.27.20				・チーム介入が終了する場合、チーム毎に介入終了登録が可能であること。		
4.1.27.21				・チーム介入が終了の場合、登録内容はテンプレートを活用することで登録の負荷を軽減できること。		
4.1.27.22				・チーム医療一覧にてチーム介入の状況(依頼、介入中、却下、終了)が確認できること。		
4.1.27.23				・チーム医療一覧から受付/却下、受付取消、介入終了、回診予約、回診記録・加算登録の操作が可能であること。		
4.1.27.24				・チーム医療一覧からチーム介入依頼の内容を参照できること。		
4.1.27.25				・チーム医療一覧からカルテ、検査結果照会、経過一覧表が起動できること。		
4.1.27.26				・チーム医療一覧の表示内容を印刷できること。		
4.1.27.27				・チーム介入依頼、回診記録、介入終了の記載内容はカルテに記載されること。		
4.1.27.28				・入院患者一覧画面、外来患者一覧画面にて介入中の全てのチームが表示されること。		
4.1.27.29				・病床一覧画面にてチームを選択すると介入中の患者が強調表示されること。		
4.1.27.30				・カルテを開いた時、チーム介入中を示すアイコンを、患者パネルに表示できること。		
4.1.27.31				・チーム医療一覧の情報は帳票印刷ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.28	文書作成					
4.1.28.1		文書作成		・多様な文書を作成することができること。(フォーマットは病院独自のフォーマットに対応できること。)		
4.1.28.2				・作成する文書については汎用的なアプリケーションを利用すること。		
4.1.28.3				・作成した文書は直接電子カルテに保存されること。		
4.1.28.4				・患者基本情報を取得し、作成文書へ引用できること。		
4.1.28.5				・既存文書を流用し新たな文書を作成することができること。		
4.1.28.6				・ワープロ形式のフリー入力ができること。		
4.1.28.7				・ワープロ入力では、文字入力の他に図や図形の挿入など各種の編集ができること。		
4.1.28.8				・入力の際にはテンプレート入力ができること。		
4.1.28.9				・画像の添付ができること。		
4.1.28.10				・文書を修正した場合、更新情報(区分、更新科、更新者、更新日)を表示できること。		
4.1.28.11				・文書を科毎にセット化でき、セットから文書を選択できること。		
4.1.28.12				・よく利用する文書を操作者毎に「お気に入り」として登録することができること。		
4.1.28.13				・作成中、承認待ち、最終承認待ち、承認済の進捗管理ができること。		
4.1.28.14				・サマリ毎に設定された権限者による承認ができること。		
4.1.28.15				・承認後のサマリは権限者以外修正できないこと。		
4.1.28.16				・文書への患者情報、利用者情報の自動記入ができること。		
4.1.28.17				・作成した文書の印刷が出来ること。		
4.1.28.18			参照・一覧	・文書別の作成文書一覧を作成できファイル出力ができること。		
4.1.28.19				・診療科別の作成文書一覧を作成できること。		
4.1.28.20				・作成者別の作成文書一覧を作成できること。		
4.1.28.21				・医師等に対し、文書作成依頼を行うことができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.1.28.22				・文書名、作成者、承認者、作成日、診療科、文書の作成進捗、患者IDの条件の指定により条件に該当する一覧を表示できること。		
4.1.28.23				・文書名はキーワード入力による部分検索ができること。		
4.1.28.24				・文書一覧には、患者ID、患者氏名、文書名、文書作成進捗、作成日、診療科、患者性別、生年月日、年齢を表示できること。		
4.1.28.25				・一覧から文書を参照し、印刷ができること。		
4.1.28.26				・一覧から文書を引用し、文書を作成ができること。		
4.1.28.27				・一覧から文書の修正・削除ができること。		
4.1.28.28				・文書種別、作成日別、作成者別、入院期間別、対象科別があり、分類一覧から該当の分類方法を選択できること。		
4.1.28.29				・個別の文書を選択でき、選択した文書をプレビューできること。		
4.1.28.30				・文書一覧には、作成状況、分類、作成科、作成者、作成日、文書名、対象期間、更新科が表示できること。		
4.1.28.31				・文書全体の作成状況が「作成中」の文書を一覧表示ができること。		
4.1.28.32				・各文書の記載者・承認者を設定し、各担当者の作成状況の確認を行うことができること。		
4.1.28.33				・文書情報一覧においては、未作成、作成中、作成完了などステータス管理ができること。		
4.1.28.34				・文書情報一覧においては、作成すべき文書を容易に把握できるよう、未作成文書は赤字、作成済みはグレーなど、文書のステータスにより色分け表示し進捗が管理できること。		
4.1.28.35				・文書の記載者に対して作成依頼・作成期限を登録することができること。		
4.1.28.36				・作成依頼先にメール送信することができること。		
4.1.28.37			作成歴	・患者ごとに作成した文書を画面で一覧表示できること。		
4.1.28.38				・操作者が作成した文書を画面で一覧表示できること。		
4.1.28.39				・作成した文書を修正した場合に文書の版数管理ができること。		
4.1.28.40			文書の承認機能	・研修医、承認が必要な医師が作成した文書を文書毎に内容を確認し、承認または差し戻しを行う機能があること。		
4.1.28.41			その他	・スキャンした書類の格納場所を追加できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.29	承認					
4.1.29.1		承認オーダー		・研修医または承認が必要な医師、スタッフが登録したオーダー情報・記事を指導医または指示医により承認することができること。		
4.1.29.2				・研修医または承認が必要な医師、スタッフがオーダーを登録した場合には、未承認オーダーとして登録できること。		
4.1.29.3				・承認対象のオーダーに対し、オーダー内容・記事の承認もしくは否認できること。		
4.1.29.4				・承認または否認を行った場合に、承認または否認コメントが登録できること。		
4.1.29.5				・オーダー内容により1オーダー ずつ 承認もしくは否認登録できること。		
4.1.29.6				・研修医または承認が必要な医師、スタッフがオーダー・記事を登録した場合に、承認医師に対し未承認オーダー、記事が存在することを通知できること。		
4.1.29.7				・承認依頼通知一覧には、患者氏名、承認通知内容、依頼者が表示できること。		
4.1.29.8				・承認依頼通知一覧より詳細情報を表示し、承認または否認、承認・否認のコメント登録ができること。		
4.1.29.9				・研修医、承認が必要な医師、スタッフの各々が登録したオーダー情報・記事の承認状況を一覧で表示できること。		
4.1.29.10				・一覧には患者氏名、患者番号、指示種別、指示内容、承認状況、承認医、承認日時、承認・否認コメント、オーダー日(記載日)が表示できること。		
4.1.29.11				・一覧は、未承認情報のみを表示できること。		
4.1.29.12				・複数の未承認データを1オーダー ずつ 確認が可能であり、承認を行うことができること。		
4.1.29.13				・研修医記事への指導医のコメントを記事への修正記載ではなく、コメントとして登録ができること。		
4.1.29.14				・承認対象者が記事登録後、ログオフする事なくプログレスノートビューワから承認者が記事承認操作ができること。		
4.1.29.15				・オーダー・記事の承認状況の表示ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.29.16				・オーダ・記事の承認・否認のコメントの参照ができること。		
4.1.29.17				・オーダ・記事の承認または否認、承認・否認のコメント登録ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.1	電子カルテシステム					
4.1.30	血糖測定器連携					
4.1.30.1		共通機能	対応するデータ 取込み装置	・WindowsPCにUSB接続したFeliCaリーダーライター（SONY製PaSoRi）を使って、血糖計からデータを取り込むことが可能なこと。		
4.1.30.2			対応機器 （Terumo HRJoint機器）	・電子血圧計ES-H700D（テルモ株式会社）。		
4.1.30.3				・電子体温計ES-C215S（テルモ株式会社）。		
4.1.30.4				・パルスオキシメータAファインパルスSP ZS-NS05（テルモ株式会社）。		
4.1.30.5				・血糖計MS-FR201B、MS-FR201P（テルモ株式会社 メディセーフフィット）。		
4.1.30.6				・病棟用血糖計MS-FKP01（テルモ株式会社 メディセーフフィットプロ）。		
4.1.30.7				・手動加圧式エレマーノ血圧計 ES-H55D、ES-H56D（テルモ株式会社）。		
4.1.30.8				・上記から変更の可能性があるため、上記以外の複数ベンダーの機器と連携可能なこと。また、技術提案の際は、どこのベンダーの機器と連携可能か示すこと。		
4.1.30.9		ログイン画面	ログイン認証	・システムは、各種コードとパスワードの組み合わせなどで、その操作を行う者を識別して認証が可能なこと。		
4.1.30.10			電子カルテシステムとの連携	・操作者のユーザーID（職員コード）のパスワードは、電子カルテシステムから参照可能なこと。参照するか、参照しないで独自に設定するかを設定ファイルにより可能なこと。		
4.1.30.11		起動	アイコンからの 起動	・ログイン画面による認証完了後、バイタル連携画面が起動可能なこと。		
4.1.30.12			電子カルテシステムからの 起動	・電子カルテ一覧画面のボタン（例「バイタル連携」）から起動可能なこと（パスワードの再入力不要）。		
4.1.30.13		バイタル連携画面	画面の起動	・ログイン画面による認証完了後、バイタル連携画面が起動可能なこと。		
4.1.30.14			”	・電子カルテシステムにログインしている場合、電子カルテシステムの画面内のボタン操作により、バイタル連携画面が起動可能なこと。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.30.15			取込み装置の接続	・対応するデータ取込み装置が接続され、バイタルデータが読み取れる状況であることを表示可能なこと(例「準備中」->「準備完了」)。		
4.1.30.16			バイタル値の取込み(血圧計)	・対応する血圧計より、最高血圧値、最低血圧値、脈拍、測定時刻を取り込むことが可能なこと。脈拍を取り込むか取り込まないかを、設定ファイルにより可能なこと。		
4.1.30.17			バイタル値の取込み(体温計)	・対応する体温計より、体温、測定時刻を取り込むことが可能なこと。		
4.1.30.18			バイタル値の取込み(パルスオキシメータ)	・対応するパルスオキシメータより、SPO2、脈拍、測定時刻を取り込むことが可能なこと。脈拍を取り込むか取り込まないかを、設定ファイルにより可能なこと。		
4.1.30.19			バイタル値の取込み(血糖計)	・対応する血糖計より、血糖値、測定時刻を取り込むことが可能なこと。		
4.1.30.20			患者の選択	・バイタルデータを取り込む際は、患者を選択して、その患者の値として取り込むことが可能なこと。		
4.1.30.21				・患者の選択機能は「病棟指定」と「患者指定」を選択が可能なこと。 「病棟指定」～入院患者を一覧から選択する。 「患者指定」～患者IDを入力して選択する(バーコード入力)。		
4.1.30.22				・「病棟指定」の場合、「抽出区分」として「病室」ごとに患者を一覧可能なこと。		
4.1.30.23				・「病棟指定」の場合、「抽出区分」として「チーム」ごとに患者を一覧可能なこと。		
4.1.30.24				・「病棟指定」の場合、「抽出区分」として「受持看護師」ごとに患者を一覧可能なこと。		
4.1.30.25			測定時刻モード	・バイタルデータを取り込む際の測定時刻は、①実測定時刻、②画面で選択した時刻のどちらかにするかを設定ファイルにより可能なこと。		
4.1.30.26			手入力	・バイタルデータは、手入力が可能なこと。		
4.1.30.27			バイタルデータの保存	・バイタルデータを取込み後、または手入力後、「保存」ボタンを押すことでデータを保存が可能なこと(保存されたデータは、経過一覧表に書き込まれる)。		
4.1.30.28			バイタルデータの削除	・バイタルデータを取込み後、または手入力後、かつ保存する前の状態のとき、バイタルデータを削除可能なこと。		
4.1.30.29			システムの終了	・バイタル連携画面中のボタン操作により、システムを終了可能なこと。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.1.30.30		経過一覧表連携	経過一覧表連携	・電子カルテシステムの経過一覧表と連携し、経過一覧表の各バイタル項目(体温、最高血圧、最低血圧、脈拍、SPO2、血糖値)に保存したバイタルデータを書き込むことが可能なこと。		
4.1.30.31				・電子カルテとの連携において、データが飛ばない、反映されないなど、不具合が起きないこと。		
4.1.30.32				・不具合が起きた際、迅速に対応する事が可能なこと。		

佐久市立国保浅间综合病院

医療情報システム構築業務仕様書

4 システム機能

(2)部門システム

佐久市立国保浅间综合病院

4 システム機能

4.2 部門システム

4.2.1	4.2.1 画像ファイリングシステム	169
4.2.3	4.2.3 眼科システム	173
4.2.4	4.2.4 聴力検査システム	182
4.2.5	4.2.5 歯科システム	185
4.2.7	4.2.7 手術映像システム	197
4.2.8	4.2.8 薬剤部門システム(DIシステム含む)	198
4.2.9	4.2.9 服薬指導システム	201
4.2.10	4.2.10 検体検査システム	210
4.2.11	4.2.11 細菌検査システム	211
4.2.12	4.2.12 輸血検査システム	220
4.2.13	4.2.13 採血管準備システム	223
4.2.14	4.2.14 生理検査システム	226
4.2.15	4.2.15 病理検査システム	229
4.2.16	4.2.16 透析管理システム	230
4.2.17	4.2.17 放射線検査部門システム	231
4.2.18	4.2.18 リハビリテーション部門システム	272
4.2.19	4.2.19 給食システム	285
4.2.20	4.2.20 NSTシステム	291
4.2.21	4.2.21 イン트라ネットシステム	300
4.2.22	4.2.22 勤怠管理システム	315
4.2.23	4.2.23 医事会計システム	333
4.2.24	4.2.24 レセプト返戻分析システム	370
4.2.25	4.2.25 診察券発システム	371
4.2.26	4.2.26 再来受付システム	372
4.2.27	4.2.27 外来案内表示システム	377
4.2.28	4.2.28 POS・自動精算機	382
4.2.29	4.2.29 DPCコーディングシステム	383
4.2.31	4.2.31 DWH	386
4.2.32	4.2.32 健康管理システム	394
4.2.33	4.2.33 医療相談システム	418
4.2.34	4.2.34 地域医療連携システム	420
4.2.35	4.2.35 ID-LINK	422
4.2.36	4.2.36 インシデントシステム	423
4.2.37	4.2.37 感染管理システム	431
4.2.38	4.2.38 血糖測定装置	433

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.1	画像ファイリングシステム					
4.2.1.1		共通		・職員コード、パスワードによるログインができること。また、電子カルテからのシングルサインオンも可能なこと。		
4.2.1.2				・システムは利用者の職種により利用できるメニューが制限可能なこと。		
4.2.1.3				・各画面にログオンした職員の氏名が表示できること。		
4.2.1.4		スキャンオーダー機能		・各診療部門にて発生した紙文書のスキャン依頼に関するオーダー(スキャンオーダー)を登録できること。		
4.2.1.5				・スキャナー取込用の仕切用紙が発行できること。		
4.2.1.6				・スキャナー取込用の仕切用紙は複数まとめて出力可能なこと。		
4.2.1.7				・仕切用紙には、患者ID・診療科・担当職員・文書分類・作成日時分秒を表すバーコードの情報が印字できること。		
4.2.1.8				・文書分類の登録が逐次、可能なこと。		
4.2.1.9		スキャンオーダー管理機能		・スキャンオーダー(仕切用紙を発行した依頼)に対するスキャン実施有無状況が把握できること。		
4.2.1.10				・スキャンオーダー管理画面では、スキャン依頼日や患者ID、文書分類名による状況確認が行えるよう検索条件指定が可能なこと。		
4.2.1.11				・スキャン依頼日もしくは実施日による期間指定検索も可能であること。		
4.2.1.12				・スキャンオーダー管理画面からスキャン済みファイルの確認が行えること。		
4.2.1.13				・スキャンオーダー管理画面から未スキャン分のスキャナー取込用の仕切用紙発行が行えること。		
4.2.1.14				・スキャンオーダー管理画面にて、指定期間にオーダーされたスキャン依頼情報やスキャン実績情報をExcel形式でファイル出力が可能であること。		
4.2.1.15		スキャナー取込機能		・仕切用紙のバーコードにより、文書名称(種別)や患者情報を入力することなく、システム内で自動的に文書管理システムへの患者情報などを付与できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.1.16				・一括スキャンする帳票に、異なる患者や文書種が混在している場合でも自動仕分けができること。		
4.2.1.17				・登録前のイメージ確認時にページの回転作業などができること。		
4.2.1.18				・システム登録時に、登録する帳票のイメージを端末で目視確認できること。		
4.2.1.19				・目視確認時に、ページの削除・向きの修正・文書属性の修正などができること。		
4.2.1.20				・バーコード付きの文書を一括スキャンした場合は、一帳票ずつ端末で目視確認ができること。		
4.2.1.21				・スキャン用台紙を使った登録の際には、台紙は登録せず、帳票本体のみを登録できること。		
4.2.1.22				・目視確認の結果、不都合がある場合には、再分割処理、ページ入れ替え、回転、一部削除、患者属性情報の修正を施し、登録ができること。		
4.2.1.23				・バーコードが付与されない帳票は、必要な属性を手入力して、登録できること。		
4.2.1.24				・スキャン日時を任意の日時で指定可能なこと。		
4.2.1.25				・スキャナーで取り込んだ文書情報はクライアントPC上に残らないこと。		
4.2.1.26		ドキュメントビュー機能		・患者文書一覧から登録されている文書のビューワ表示が可能なこと。		
4.2.1.27				・参照された文章情報はクライアントPC上に残らないこと。		
4.2.1.28				・改版履歴を取得し、各版の状態が参照可能なこと。		
4.2.1.29				・文書の分類を縦軸・発生日付を横軸とし、登録された文書が患者単位でマトリクス形式で表示可能なこと。		
4.2.1.30				・文書分類は、大分類・中分類の2つの分類で表示可能なこと。		
4.2.1.31				・文書分類で絞り込んで表示可能なこと。		
4.2.1.32				・長期の日付軸を別途表示し、文書の発生している時期や件数を視覚的に確認が可能であり、その部分をクリックすることで該当する日付のマトリクス表示へ遷移可能なこと。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.1.33				・長期の日付軸では、電子カルテで発生したイベント(入院・手術等)が確認可能であり、そのイベントをクリックすることで該当する日付のマトリクス表示へ遷移可能なこと。		
4.2.1.34				・登録された文書以外にマトリクス上で任意のコメントを付加できること。		
4.2.1.35				・マトリクス上で登録されている文書のビューワ表示が可能なこと。		
4.2.1.36				・各部門ベンダーとXML連携処理を行うことで、マトリクスビューから患者IDや文書/画像を特定するIDをパラメータにセットして各部門ベンダーのWEBシステムを起動できること。		
4.2.1.37				・デジタルカメラや部門システムで撮影/取得したjpgやbmp、png等の汎用画像をマトリクスビューに取り込みビューワ表示が行えること。 取り込み方式については、共有フォルダ保管による取り込みあるいは院内で許可された端末でのUSB接続による取り込みとする。		
4.2.1.38				・病院職員が作成・保管した文書のPDFファイルもしくは部門システムで作成された文書のPDFファイルをマトリクスビューに取り込みビューワ表示が行えること。 取り込み方式については、共有フォルダ保管による取り込みあるいは部門システムとのファイル連携処理(属性ファイルとPDFファイルを1式とした連携)とする。		
				接続対象は以下の通りとする。		
4.2.1.39				・ PACS		
4.2.1.40				・ 生理検査システム(WEB連携)		
4.2.1.41				・ 細菌システム(PDF取り込み)		
4.2.1.42				・ 病理システム(WEB連携)		
4.2.1.43				・ 眼科システム(WEB連携)		
4.2.1.44				・ 耳鼻科システム(PDF取り込み)		
4.2.1.45				・ 重心動揺計		
4.2.1.46		運用面		・ 当システムは単独稼動が可能なシステムとし、連携するHISシステムの稼動如何にこだわらず、帳票登録が可能なこと。		
4.2.1.47				・ 長期的に過去のデータが閲覧できるよう、HISとは独立したシステムとして診療記録の管理ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.1.48				・誤って登録した文書を表示上見えない状態に(論理削除)できること。		
4.2.1.49		システム連携		・電子カルテシステムから文書の参照画面が起動できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.3	眼科システム			※カスタマイズとなる場合はコメント欄に金額を記載すること		
4.2.3.1		カルテ基本機能		・ソフトウェアは、画像ファイリングシステムと互換性を有し、過去保存された画像・患者情報を全て共用出来ること。		
4.2.3.2				・カルテ記載データ(検査結果、撮影画像、記載事項、シェーマ等)は、初診日、来院日、入院日、等の日付単位で管理されること。		
4.2.3.3				・システムはカルテ記載画面と検査データ表示画面の2画面表示とすること。		
4.2.3.4				・2画面は患者変更時には連携して常に同一患者の画面表示となること。		
4.2.3.5				・検査データ表示画面には当日行なった全ての検査データが表示されること。		
4.2.3.6				・カルテ画面は、患者毎に6ヶ月分のカレンダー上に整理され、来院目的によりアイコン化された表記方法により、直感的に記載日毎に内容の概要が把握できること。		
4.2.3.7				・表示アイコンは任意に変更可能であること。		
4.2.3.8				・カレンダーに任意に付箋が添付できること、また付箋にコメントの設定が可能であること。		
4.2.3.9				・過去のカルテ情報を抜粋した診病録サマリーを、患者個別カルテ展開時に必ず初期画面として表示する機能を端末ごとで設定できること。サマリー画面は必要に応じて位置や大きさ非表示の変更が可能で、何時でもキーボード入力により追記出来ること。		
4.2.3.10				・診病録サマリーは、電子カルテ眼科部門システム本可動前に、別途専用ソフトウェアにより前もって作成できること。専用コンピュータでなく一般的なPC/AT互換のコンピュータにて使用可能なこと。		
4.2.3.11				・サマリーの単独にて起動する機能を有していること。		
4.2.3.12				・サマリーは文字色の変更可能であること。		
4.2.3.13				・サマリーは文字サイズの変更可能であること。		
4.2.3.14				・サマリーは用途別に複数作成可能であること。		
4.2.3.15				・受診票に印刷可能なサマリーを作成可能であること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.3.16				・患者カルテ画面は、初診画面、再診画面、病棟回診画面等の一目でわかる個別を有し、初診カルテには、主訴/問診、現病歴、特記事項、即往一般病、即往眼疾患、家族歴の6項目が記入できること。		
4.2.3.17				・記載に関して直接キーボードによるテキスト入力だけでなく、専用ダイヤログボックスによりワンクリックで項目を選択可能なこと。		
4.2.3.18				・更に項目は追加、削除、配置等のカスタマイズが可能なこと。		
4.2.3.19				・特記事項に記載された内容については受診票に印刷されること。		
4.2.3.20				・当日カルテと過去カルテが色分けにて明確に区別される識別がつくこと。		
4.2.3.21				・カルテ初期画面において、その日に行なった眼圧測定値、自覚視力測定値が表記され、特記事項(薬剤アレルギー、禁散瞳、特種事情)等の注意事項が表記されること。		
4.2.3.22				・カルテ初期画面には、当日記載した全てのシェーマがサムネイルにて表記されること。		
4.2.3.23				・カルテ初期画面にはシェーマ画面と文字所見が一覧出来る配置で表示されていること。		
4.2.3.24				・シェーマの記載はペンタブレット・マウスなどを使用し、必要に応じたなテンプレートを有していること。		
4.2.3.25				・シェーマ画面での所見入力記載に関して、直接キーボードによるテキスト入力だけでなく、記載内容により整備された専用ダイヤルボックスによりワンクリックで項目を選択可能なこと。更に項目は、追加・削除・配置等のカスタマイズが可能なこと。		
4.2.3.26				・シェーマテンプレートは、患者個人の当日撮影を行なった全ての画像を下絵として使用する事ができること。		
4.2.3.27				・過去シェーマをコピーして使用できること。		
4.2.3.28				・過去に記載したシェーマを修正して使用できること、その際過去のデータは改竄されないこと。		
4.2.3.29				・シェーマの記述には筆圧感知機能を有していること。		
4.2.3.30				・手書きシェーマによる所見記載をスキャナーにて取り込めること。		
4.2.3.31				・スキャナーにて取り込んだ画像をシェーマの下絵として使用できること、シェーマにて添付する所見コメントについては部位ごとに整理されたタブ表記となっていること。		
4.2.3.32				・所見コメントに対する検索機能を有していること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.3.33				・診察終了前に、次回以降の検査予定を制限無く複数の作成可能であること。		
4.2.3.34				・患者個別に、散瞳時間確認タイマーが装備されていること。		
4.2.3.35				・散瞳時間と使用薬剤は個別に設定ができること。		
4.2.3.36				・散瞳時間の設定は当日複数、可能であり、履歴表示が可能であること。		
4.2.3.37				・散瞳には部位指定が可能であること。		
4.2.3.38				・散瞳タイマー稼動後は自動的に散瞳待ち患者タブリストに表示されること。		
4.2.3.39				・設定の散瞳時間が経過後、患者リストの表示色が変更になる等の機能により状況の把握が容易であること。		
4.2.3.40				・HISにて入力された病名を受信、表記可能であること。		
4.2.3.41				・HISにて入力された処方を受信、表記可能であること。		
4.2.3.42				・処方薬の履歴表示が可能であること。		
4.2.3.43				・前回受信時の処方・検査情報を転記可能であること。		
4.2.3.44				・次回診察予定を作成し来院日に当日受診票として自動的にプリント出力する機能を有すること。		
4.2.3.45				・次回眼科内での検査・処置・診察の予定を全て管理可能なこと。		
4.2.3.46				・次回眼科内での検査・処置・診察の予定をセット化し1クリックで入力可能なこと。		
4.2.3.47				・当日受診票には患者基本情報の記載をすると共に、患者の取り違え防止のためにバーコードの表示を行うこと。		
4.2.3.48				・当日受診票にはアレルギー情報等の特記事項を記載する機能を有すること。		
4.2.3.49				・受診票にはHISにて入力した事前オーダー情報を反映可能であること。		
4.2.3.50				・受診票には前回散瞳情報を記載可能であること。		
4.2.3.51				・受診票サマリーに記載された内容を印刷可能であること。		
4.2.3.52				・受診票に前回来院日が記載可能であること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.3.53				・ 受診票には当日の診療予約時間が記載可能であること。		
4.2.3.54				・ 受診票には当日の担当医が複数記載可能であること。		
4.2.3.55				・ 受診票には当日の他科受診予定が表示可能であること。		
4.2.3.56				・ 次回予定作成時にHISにて予約された情報が確認できること。		
4.2.3.57				・ ログイン時のパスワードを複数設定可能であること。		
4.2.3.58				・ カルテ操作に関する全てのログを保存されていること。		
4.2.3.59				・ 検索統計機能を有していること。		
4.2.3.60				・ 検索機能は処方・病名・検査・所見・主訴・問診での検索機能を有していること。		
4.2.3.61				・ 患者一覧画面にマーキング機能を有していること。		
4.2.3.62				・ 患者一覧画面上で同姓・同名の区別可能な機能を有していること。		
4.2.3.63				・ 複数の名前を記載する機能を有していること。		
4.2.3.64				・ 契約ライセンス分のクライアントにてソフトウェアが同時起動し、同様の内容・表示ができること。		
		HIS連携機能		HISより入力された以下の情報を受信、表示可能であること。		
4.2.3.65				・ 1) 患者属性情報		
4.2.3.66				・ 2) 受付情報		
4.2.3.67				・ 3) 病名情報		
4.2.3.68				・ 4) 処方情報		
4.2.3.69				・ 5) 移動情報		
4.2.3.70				・ 6) 予約情報		
				眼科部門電子カルテにて入力された以下の情報を、HISへ送信可能であること。		
4.2.3.71				・ 1) 眼科レポート		
4.2.3.72				・ 2) 眼科実施情報		
4.2.3.73				・ カルテ情報を眼科レポートとして、HISもしくは他社画像管理システムへ、送信可能であること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.3.74				・外部システムより眼科部門電子カルテ内にある眼科レポートを参照可能なWebシステムを有すること。		
4.2.3.75				・基幹システム端末に同居して互いに問題なく動作できること。		
4.2.3.76				・HIS準備端末に相乗りし、HISにて患者を選択すると眼科部門電子カルテシステムでも患者を自動的に選択し、HISにて患者を終了したら、眼科部門電子カルテシステムでも患者を自動的に終了できること。		
4.2.3.77		手術記録		・手術記録の記載が可能であること。		
4.2.3.78				・手術実施日をカルテ画面上で履歴表示できること。		
4.2.3.79				・手術歴では手術履歴とレーザー治療履歴の両方を別々に表示可能なこと。		
4.2.3.80				・シェーマの記述が可能であること。		
4.2.3.81				・手術内容に応じて項目選択が区分されていること。		
4.2.3.82				・手術日が電子カルテの初期画面にあるカレンダーに自動的に表記されること。		
4.2.3.83				・カルテ初期画面に前回手術日からの経過日数が表示されていること。		
4.2.3.84				・カルテ初期画面に前回来院日からの経過日数が表示されていること。		
4.2.3.85				・眼科電子カルテシステムに含まれる全てのクライアントにてソフトウェアが起動し、同様の内容・表示ができること。		
4.2.3.86		眼科ファイリング		・患者ごとに登録された検査数値及び検査画像を管理・ファイリングする機能を有すること。		
4.2.3.87				・保存された検査数値及び検査画像を、表示・閲覧する機能を有すること。		
4.2.3.88				・患者データは、検査項目ごと・日付ごとのリスト表示機能を有すること。		
4.2.3.89				・患者データは、取込日時順・検査項目順・検査日順に切り替える機能を有すること。		
4.2.3.90				・診断をサポートするための画像加工ツール、画像解析機能を有していること。		
4.2.3.91				・表示している画像の濃度を反転させることができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.3.92				・表示している画像のコントラストまたはカラー・バランスを調整できること。		
4.2.3.93				・表示している画像の指定領域を強調できること。		
4.2.3.94				・表示している画像を3段階に平滑化できること。		
4.2.3.95				・表示している画像を3段階に鮮鋭化できること。		
4.2.3.96				・表示している画像の2×2、3×3、4×4のコンポジットが作成可能なこと。		
4.2.3.97				・選択した画像のマッピングができること。		
4.2.3.98				・画像上に文字や矢印を表示できること。		
4.2.3.99				・画像上でマウススクロールボタンを使用して画像の拡大・縮小できること。		
4.2.3.100				・左右眼情報がある画像は、左右眼毎に時系列に表示できること。		
4.2.3.101				・撮影画像1枚1枚に所見を添付することが可能なこと。		
4.2.3.102				・保存された画像が、眼科電子カルテシステムに接続するすべてのクライアントにて表示できること。		
4.2.3.103				・眼科部門電子カルテシステムに含まれる全てのクライアントにてソフトウェアが起動し、同様の内容・表示ができること。		
4.2.3.104				・眼科カルテシステムと起動連携が行えること。		
4.2.3.105				・株式会社トプコン社製 KR-1W(以降、ウェーブフロントアナライザー KR-1W)の検査データ解析ソフトを起動連携できること。		
4.2.3.106				・ウェーブフロントアナライザー KR-1Wにて保存されたの検査データの角膜解析・再解析をできること。		
4.2.3.107				・スリット装置のRCAまたはY/Cにてアナログ出力された映像信号を、静止画して取り込みすることができること。		
4.2.3.108		眼科検査入力		・自覚視力検査及び以下の検査データ入力機能と入力テンプレートを有すること。		
4.2.3.109				・1)4△BaseOutテスト		
4.2.3.110				・2)AC/A比の検査		
4.2.3.111				・3)BagoriniSGテスト		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.3.112				・ 4)CFF		
4.2.3.113				・ 5)Hessコージメータ		
4.2.3.114				・ 6)Hirschberg法		
4.2.3.115				・ 7)JB値		
4.2.3.116				・ 8)Krimsky法		
4.2.3.117				・ 9)Langステレオテスト		
4.2.3.118				・ 10) Maddox正切尺検査		
4.2.3.119				・ 11)Pola test		
4.2.3.120				・ 12) Titmusステレオテスト		
4.2.3.121				・ 13) TMC式色覚検査		
4.2.3.122				・ 14) Worth4灯計法		
4.2.3.123				・ 15) アノマロスコープ		
4.2.3.124				・ 16) アムスラーチャート		
4.2.3.125				・ 17) コントラスト感度		
4.2.3.126				・ 18) パネルD15色覚検査		
4.2.3.127				・ 19) プリズム遮蔽検査		
4.2.3.128				・ 20) レンズメータ		
4.2.3.129				・ 21) わとおし法		
4.2.3.130				・ 22) 角膜知覚検査		
4.2.3.131				・ 23) 眼圧検査		
4.2.3.132				・ 24) 眼球突出度検査		
4.2.3.133				・ 25) 眼軸長		
4.2.3.134				・ 26) 検影法		
4.2.3.135				・ 27) 残像検査法		
4.2.3.136				・ 28) 遮断検査		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.3.137				・ 29) 石原式色覚検査		
4.2.3.138				・ 30) 他覚検査		
4.2.3.139				・ 31) 大型弱視鏡		
4.2.3.140				・ 32) 瞳孔計		
4.2.3.141				・ 33) 標準色覚検査(第2部)		
4.2.3.142				・ 34) 涙液検査		
4.2.3.143				・ 検査結果を眼科部門電子カルテネットワークサーバへ送ることができること。		
4.2.3.144				・ 保存された検査結果(代表値と個々の値すべて)を表示することができること。		
4.2.3.145				・ 保存された検査結果(代表値と個々の値すべて)を他のクライアントにも表示することができること。		
4.2.3.146				・ 過去の自覚視力検査データを全て参照することができること。		
4.2.3.147				・ ワンタッチにて過去の自覚視力検査データを当日の検査入力欄に転記することが可能であること。		
4.2.3.148				・ 自覚視力入力画面上で、他覚式屈折・角膜曲率測定装置にて検査を行った屈折データが自動的に表示されること。		
4.2.3.149				・ 患者を選択後の視力入力画面上で、非接触式眼圧計にて検査を行った眼圧データが自動的に表示されること。		
4.2.3.150				・ レンズメータにて入力を行った、眼鏡データが自動的に閲覧できること。		
4.2.3.151				・ 他覚式屈折・角膜曲率測定装置のデータ表示欄は、当日の全てのデータが表示できること。		
4.2.3.152				・ 他覚式屈折・角膜曲率測定装置及びレンズメータデータは当日の検査データがない場合は、最新のデータが表示できること。		
4.2.3.153				・ 表示ボタンにより過去に検査を行った、他覚式屈折・角膜曲率測定装置の全てデータが一覧表示可能なこと。		
4.2.3.154				・ 視力入力テンプレートへの入力は、データ一覧からの選択とテンキーやタッチパネルからの直接入力いずれかの方法で選択可能なこと。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.3.155		データ受信		・検査機器より出力されたID付画像や数値データをファイリングへ自動保存できること。		
4.2.3.156				・検査機器より出力されたIDがない数値データへIDを付加してファイリングへ保存できること。		
4.2.3.157				・株式会社トプコン社製 オートレフケラトメータKR-8800(以降、KR-8800)とRS-232C ポートにて接続し、検査データをファイリングへ取り込み閲覧できること。		
4.2.3.158				・株式会社トプコン社製 ノンコンタクトノメータCT-80(以降、CT-80)とRS-232C ポートにて接続し、検査データをファイリングへ取り込み閲覧できること。		
4.2.3.159				・株式会社ライト製作所社製 手持ちレフケラトメータレチノマックス(以降、レチノマックス)とRS-232C ポートにて接続し、検査データをファイリングへ取り込み閲覧できること。		
4.2.3.160				・株式会社トーマコーポレーション社製 光学式眼軸長測定装置(以降、OA-2000)と接続し、画像データをファイリングへ取り込み閲覧できること。		
4.2.3.161				・株式会社トーマコーポレーション社製 超音波画像診断装置(以降、UD-6000)と接続し、画像データをファイリングへ取り込み閲覧できること。		
4.2.3.162				・カールツァイス社製 光干渉断層計(以降、CIRRUS)と接続し、画像データをファイリングへ取り込み閲覧できること。		
4.2.3.163				・カールツァイス社製 静的視野計(以降、ハンフリー視野計)と接続し、検査データをファイリングへ取り込み閲覧できること。		
4.2.3.164				・株式会社コーナンメディカル社製 角膜内皮細胞撮影装置(以降、NONCONROBO)と接続し、画像データをファイリングへ取り込み閲覧できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.4	聴力検査システム					
4.2.4.1	基本機能			・既存の聴力検査システムの患者情報や検査結果(数値情報)を、すべて移行できること。		
4.2.4.2				・利用者ごとにログイン及びログアウトができること。		
4.2.4.3				・患者のID をキーボードから入力できること。		
4.2.4.4				また、カードリーダーやバーコードリーダーからも、診察券などから患者のIDを読み込むことができること。		
4.2.4.5				・患者情報(氏名、生年月日、性別、診断名、注釈など)の入力ができること。		
4.2.4.6				・受信した検査データをデータベースへ登録できること。		
4.2.4.7				・データベース上の検査結果を表示できること。		
4.2.4.8				・検査結果の拡大表示(80~300%)ができること。		
4.2.4.9				・検査結果に対してのコメント入力ができること。		
4.2.4.10				・検査結果のタブは100件まで表示できること。		
4.2.4.11				・標準純音聴力検査、音場閾値検査、COR検査、遊戯聴力検査、チンパノメトリー(226/1000Hz)において、最大8件まで“重ね書き”表示ができること。		
4.2.4.12				・標準純音聴力検査、音場閾値検査、COR検査、遊戯聴力検査において、最大2件まで“重ねて比較”表示ができること。		
4.2.4.13				・標準純音聴力検査において、最大6件まで“並べて比較”表示ができること。		
4.2.4.14				・3分法(A)、3分法(B)、4分法(A)、4分法(B)、4分法(身障法)、4分法(AAO)、5分法、6分法の中から、平均聴力レベル表示種別を4つまで選択できること。		
4.2.4.15				・ID検索、検査結果検索の機能を有すること。		
4.2.4.16				・クリップボードに印刷イメージをコピーできること。		
4.2.4.17				・診断名情報のリストを登録できること。		
4.2.4.18				・検索結果のシンボルを変更できること。		
4.2.4.19				・検索結果の描画色を変更できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.4..20				・検索結果一覧及び検査履歴一覧のリスト表示色をクライアントごとに設定できること。		
4.2.4..21				・検査履歴の表示可能な検査種別をクライアントごとに設定できること。		
4.2.4..22				・一覧に表示させる運用ユーザの追加、変更、削除ができること。		
4.2.4..23				・データベースの自動バックアップ機能を有すること。		
4.2.4..24				・標準純音聴力検査、ABLB検査、語音聴力検査、音場語音聴力検査、音場閾値検査、遊戯聴力検査、COR検査、耳鳴検査、チンパノメトリー（226Hz）、レフレックス検査（AUTO）の数値データを抽出し、テキスト形式で出力できる機能を有すること。		
4.2.4..25				・コメント欄に入力する文言を定型文登録できる機能を有すること。		
4.2.4..26				・利用者のログイン又はログアウト等のログを管理できる機能を有すること。		
4.2.4..27				・システム稼働後もオプションのライセンスを追加できる機能を有すること。		
4.2.4..28				・RS-232C接続で、オージオメータ(AA-78)から、標準純音聴力検査、SISI検査、ABLB検査、語音聴力検査(語表なし)、音場語音聴力検査(語表なし)、TTS検査、連続周波数自記検査、音場閾値検査、遊戯聴力検査、COR検査、耳鳴検査の数値データを受信できること。		
4.2.4..29				・RS-232C接続で、オージオメータ(AA-76)から、標準純音聴力検査、遊戯聴力検査、COR検査、音場閾値検査の数値データを受信できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.4..30				・RS-232C接続で、インピーダンスオージオメータ(RS-22)から、チンパノメトリー(226Hz)、レフレックス(AUTO)の数値データを受信できること。		
4.2.4..31				・サーバ/システムライセンス(本ソフトウェアのライセンス)が含まれること。		
4.2.4..32				・閲覧端末接続ライセンス(クライアントプログラムを1端末にて使用できるライセンス)が含まれること。		
4.2.4..33				・クライアントプログラムを使用する端末4台を追加接続できること。		
4.2.4..34				・検査機器接続ライセンス(検査機器1台からデータを受信可能なライセンス)が含まれること。		
4.2.4..35				・同種の検査機器1台を追加接続できること。		
4.2.4..36				・異種の検査機器1台を追加接続できること。		
4.2.4..37		システム連携		・上位システムと患者属性情報連携ができること。		
4.2.4..38				・上位システムと画像連携ができること。		
4.2.4..39				・上位システムとIDキック、クローズ連携ができること。		
4.2.4..40		その他		・システム稼働後も、重心動揺検査のライセンスを追加できる機能を持つこと。		
4.2.4..41				・システム稼働後も、聴性誘発反応聴力検査のライセンスを追加できる機能をもつこと。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.5	歯科システム					
4.2.5.1	歯科システム	共通		・既存システム（OEC社製）からデータ移行ができること。		
4.2.5.2			診療プラット	・外来の診療システムは原則として診療プラットホームより行うこと。		
4.2.5.3				・歯科カルテは、医科電子カルテシステムから起動できること。		
4.2.5.4				・診療プラットホームの動作は、一患者の診療にのみ対応していること。		
4.2.5.5			セキュリティ管理	・各診療医は、それぞれの職務において業務の権限を持ち、その権限をメニューに表示・選択できる機能であること。		
4.2.5.6				・職務権限により、診療データベースからの読み込みが制限されること。		
4.2.5.7				・職務権限により、診療データベースの書き込みが制限できること。		
4.2.5.8				・職務権限により、診療データベースの書き換えが制限できること。		
4.2.5.9				・診療データベースへのアクセスはログを残すシステムであること。		
4.2.5.10			電子診療録	・法令に基づいた1号・2号様式の画面を基本として作成されていること。		
4.2.5.11				・保険医療養担当医規則にある1号用紙の機能を有していること。		
4.2.5.12				・保険医療養担当医規則にある2号用紙の機能を有していること。		
4.2.5.13				・保険点数および算定料金は自動計算され表示・確認ができること。		
4.2.5.14				・全病歴を参照し入力ができること。		
4.2.5.15				・部位・病名より基本的な診療ナビゲーションが可能であること。		
4.2.5.16				・必要な時に、2号用紙の印刷ができること。		
4.2.5.17				・入力された診療録は、改竄できないように確定されロックされること。		
4.2.5.18				・確定された診療録は、削除および修正は可能だが、訂正されたことが表現されること。		
4.2.5.19				・電子診療録は、カルテ閲覧機能により過去の内容を参照する機能を備えていること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.5.20				・電子診療録には記載した担当医の科および名前を表現すること。		
4.2.5.21				・フリーフォーマットのコメント入力が可能で、電子診療録上に1コメント文で、あることが表現されること。		
4.2.5.22				・電子診療録には、各種オーダリングシステムの情報および、シェーマを表現することができること。		
4.2.5.23				・電子診療録には、予診機能があり主訴、所感に併せては状態をイメージ画面より入力できること。		
4.2.5.24				・診断機能より診断情報の入力により病名を選抜して表示する検索機能があること。		
4.2.5.25				・電子診療録には処置に使用した材料や歯、歯面そしてそれぞれのコメントを入力する機能があること。		
4.2.5.26				・カルテ開示機能により、必要な時カルテの1号用紙・2号用紙の印刷ができること。		
4.2.5.27				・現病歴・現症が歯科分類区分別（口腔外科、歯周病、小児など）に入力できること。		
4.2.5.28				・SOAP入力ができること。		
4.2.5.29				・部位入力の際、文字部位の入力が可能で、ビジュアル画面を使用した簡易入力も用意されていること。		
4.2.5.30			検査(歯周病)	・歯周病検査は、診療プラットフォームより起動されること。		
4.2.5.31				・プラークコントロールの入力を行い、スコアを自動計算できること。		
4.2.5.32				・プラークコントロールの検査歴を管理すること。		
4.2.5.33				・プラークコントロールの検査結果を時系列に評価すること。		
4.2.5.34				・基本検査の入力ができること。		
4.2.5.35				・基本検査の検査歴を管理できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.5.36				・基本検査の結果を時系列に評価できること。		
4.2.5.37				・精密検査の入力ができること。		
4.2.5.38				・精密検査には、ポケット長、動揺度、出血点、予後、分岐部、付着歯肉幅等の検査があること。		
4.2.5.39				・精密検査の入力ができ、検査歴を管理できること。		
4.2.5.40				・精密検査の結果を時系列に評価できること。		
4.2.5.41				・歯周的評価(所見・診断)の情報が管理できること。		
4.2.5.42				・衛生実地指導の内容が管理できること。		
4.2.5.43				・口腔状態(欠損歯等)が検査表に反映されること。		
4.2.5.44				・歯周病検査の実施がカルテに記載されること。		
4.2.5.45			口腔診断・問診・所見	・口腔診断・問診・所見は、診療プラットフォームよりそれぞれ起動すること。		
4.2.5.46				・口腔診断は、口腔イメージ画面より状況を選択して入力することができること。		
4.2.5.47				・既往歴はフリーフォーマットで、入力できること。		
4.2.5.48				・アレルギー情報が登録できること。		
4.2.5.49				・感染症情報が登録できること。		
4.2.5.50				・家族歴は、家系図をイメージ的に作成し病歴等が管理できること。		
4.2.5.51				・問診表は、電子化された問診票を閲覧することができること。		
4.2.5.52				・入力した問診・所見項目は、必要な時にいつでも閲覧可能で、あること。		
4.2.5.53				・入力項目は、次元管理され保管されていること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.5.54				・入力の方法として、キーボード、マウスによる入力のほかに、入力パッドを備えていること。		
4.2.5.55				・問診・所見の項目は、未聞の確認管理が行えること。		
4.2.5.56		手書きシェーマ		・手書きシェーマは、診療プラットフォームより起動されること。		
4.2.5.57				・手書きペンの種類が変更できること。		
4.2.5.58				・消しゴム機能があること。		
4.2.5.59				・文字の入力ができること。		
4.2.5.60				・ペンの色を変更できること。		
4.2.5.61				・アンドゥ・リドゥができること。		
4.2.5.62				・テンプレートの取込ができること。		
4.2.5.63				・テンプレートの種類わけができること。		
4.2.5.64				・取り込んだテンプレートの位置やサイズの変更ができること。		
4.2.5.65				・入力終了時、登録することによりカルテに転記できること。		
4.2.5.66				・カルテに転記された絵は、再度呼び出し変更することができること。		
4.2.5.67		文書作成	管理各種文書作成	・各種文書作成は診療プラットフォームより起動されること。		
4.2.5.68				・診断書の作成ができること。		
4.2.5.69				・診療情報提供書ⅠおよびⅡの作成ができること。		
4.2.5.70				・診療情報提供書の結果報告の作成ができること。		
4.2.5.71				・歯科疾患総合指導、歯科口腔衛生指導1および2等説明文書の作成ができること。		
4.2.5.72				・補綴時診断および、クラウン・ブリッジ維持管理のお知らせの作成ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.5.73				・矯正治療計画書、歯科矯正内容書およびフォースシステムの作成ができること。		
4.2.5.74				・治療計画書の作成ができること。		
4.2.5.75				・歯科疾患管理計画書(初回用)および(継続用)の作成ができること。		
4.2.5.76				・口腔療養支援文書の作成ができること。		
4.2.5.77				・歯科疾患在宅療養管理計画書の作成ができること。		
4.2.5.78				・各種文書には、治療部位・病名を取り込み表現することができること。		
4.2.5.79				・発行文書は全て保存され、改竄防止の措置が執られていること。		
4.2.5.80		医事会計システム	メニュー	・外来の医事会計システムは原則としてメニューより起動すること。		
4.2.5.81				・メニューの動作は、複数患者の診療に対応して連続的な入力ができること。		
4.2.5.82				・ID及びパスワードによりセキュリティ管理機能を有していること。		
4.2.5.83				・病院全体への業務連絡のためのお知らせ機能があること。		
4.2.5.84			セキュリティ管理	・各診療医は、それぞれの職務において業務の権限を持ち、その権限をメニューに表示・選択できる機能であること。		
4.2.5.85				・職務権限により、診療データベースからの読み込みが制限できること。		
4.2.5.86				・職務権限により、診療データベースの書き込みが制限できること。		
4.2.5.87				・職務権限により、診療データベースの書き換えが制限できること。		
4.2.5.88				・診療データベースへのアクセスはログを残すシステムであること。		
4.2.5.89			患者登録	・患者氏名、フリガナ、性別、生年月日、住所、電話番号(携帯電話)、保険者番号、記号・番号、保険種別、公費番号、各種保険有効期限の基本情報が登録できること。		
4.2.5.90				・世帯情報の管理ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.5.91				・事業所情報の管理ができること。		
4.2.5.92				・患者番号が自動で採番でき、その番号の範囲等設定ができること。		
4.2.5.93				・患者番号のチェックデジットチェックができること。		
4.2.5.94				・漢字氏名を入力すると、フリガナの候補が自動で入力できること。		
4.2.5.95				・生年月日の入力で、年齢と保険のチェックができること。		
4.2.5.96				・保険者番号のチェックデジットチェックができること。		
4.2.5.97				・保険者の代表的な記号を登録しておくことができ、選択入力ができること。		
4.2.5.98				・資格取得目、有効期限のチェックができること。		
4.2.5.99				・公費番号の登録が2個までできること。		
4.2.5.100				・公費の有効期限をチェックすることができること。		
4.2.5.101				・各都道府県別の公費地単処理に対応していること。		
4.2.5.102				・各種保険情報より負担率の計算が自動でできること。		
4.2.5.103				・優待患者の設定が可能で、患者情報に選択登録ができること。		
4.2.5.104				・各種統計処理用として、フリーな登録項目を備えていること。		
4.2.5.105				・カルテ頭書き印刷ができること。		
4.2.5.106				・保険証確認チェック機能があること。		
4.2.5.107			診療入力	・法令に基づいた1号・2号様式の画面を基本として作成されていること。		
4.2.5.108				・保険医療養担当医規則にある1号用紙の機能を有していること。		
4.2.5.109				・保険医療養担当医規則にある2号用紙の機能を有していること。		
4.2.5.110				・保険点数および算定料金は自動計算され表示・確認ができること。		
4.2.5.111				・全病歴を参照し入力ができること。		
4.2.5.112				・文字部位に対応し、口腔外科で扱う部位入力がイメージ画面からも行えるように対応されていること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.5.113				・ 部位・病名より基本的な診療ナビゲーションができること。		
4.2.5.114				・ 必要な時に、2号用紙の印刷ができること。		
4.2.5.115				・ 入力された診療録は、改竄できないように確定されロックされること。		
4.2.5.116				・ 確定された診療録は削除および修正は可能だが、訂正されたことが表現される機能を有すること。		
4.2.5.117				・ カルテには、記載した担当医の科および氏名を表現できること。		
4.2.5.118				・ 初診の算定判断機能により、必要項目が自動算定できること。		
4.2.5.119				・ 起動時、初診、再診および訂正時を判断し初期画面の設定ができること。		
4.2.5.120				・ 各種保険の有効期限をチェックできること。		
4.2.5.121				・ 発生源入力を意識した機能として画面のサイズ、を変更し見やすくできること。		
4.2.5.122				・ 再診の期間が長期化する患者の病名を繰越、覚えておくことができること。		
4.2.5.123				・ 各診療科の病名入力を容易にするための病名選択機能にグループ、分類そして選択の区分があること。		
4.2.5.124				・ 第三病名まで登録でき接続詞により病名を表現することができること。		
4.2.5.125				・ 口腔外科病名の入力を容易とするために文字部位、右側・左側のボタンがあること。		
4.2.5.126				・ 歯周治療のための歯式表現(全顎、ブロック)の参照を一般治療と別で管理表現できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.5.127				・歯周病治療のスケーリングやSRPの進行が色分けされ表現されること。		
4.2.5.128				・診療行為の入力方法として、選択表方式、点数入力、読み仮名入力を備えていること。		
4.2.5.129				・入力時のチェックとして、診療行為毎に論理チェックする即時チェックができること。		
4.2.5.130				・入力時の選択表機能での即時算定判断機能を備えていること。		
4.2.5.131				・ブリッジの保険適用チェックが行なえること。		
4.2.5.132				・入力終了の登録時、内容のチェックを行なう登録時チェック機能を備えていること。		
4.2.5.133				・口腔管理(歯毎の処置、補綴物、各種目付等)の機能を備えていること。		
4.2.5.134				・P検査(基本検査、精密検査およびプラークコントロール)の時系列管理ができること。		
4.2.5.135				・カルテ参照機能で、保険診療分、自費診療分および両方の表示ができること。		
4.2.5.136			会計	・会計毎の未収管理ができること。		
4.2.5.137				・部別領収書の発行ができること。		
4.2.5.138				・優待患者の割引会計が設定により行なえること。		
4.2.5.139				・入金種類を指定することができること。		
4.2.5.140				・一部入金処理ができること。		
4.2.5.141				・歯科明細書の出力先を会計窓口にも設定できること		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.5.142			レセプト	・レセプトは「診療報酬請求書等の記載要領等について」の通知に基づいて作成できること。		
4.2.5.143				・レセプトの発行順序は編綴順をはじめ各種設定できること。		
4.2.5.144				・各都道府県の公費地単処理に対応していること。		
4.2.5.145				・レセプトの単独発行ができること。		
4.2.5.146				・オーバーデータの発行が添付する形式で、出力できること。		
4.2.5.147				・コンピュータ用紙および、オーバーレイで、発行できること。		
4.2.5.148				・レセプト発行時のまとめエラーチェックができること。		
4.2.5.149				・外来チェックリストを発行することができること。		
4.2.5.150				・科別・ドクター別のレセプトを発行することができること。		
4.2.5.151				・複数台のプリンタに分散してレセプトが発行できること。		
4.2.5.152				・診療報酬請求書の編集、発行ができること。		
4.2.5.153				・診療報酬請求書は、各都道府県の定形用紙または同様の形式で出力できること。		
4.2.5.154				・レセプト用紙の印字調整は、0.1 mm単位で、項目毎の設定が可能で簡単に行なえること。		
4.2.5.155			レセプト電算	・レセプト電算が行えること。		
4.2.5.156				・レセプト電算発行のためのデータを年月指定して集計できること。		
4.2.5.157				・集計したデータのエラーチェック機能を有していること。		
4.2.5.158				・翌月請求に回す患者を選択する機能を有していること。		
4.2.5.159				・保留を行っている患者を月遅れとして当月分と合わせて請求を行う機能を有していること。		
4.2.5.160				・紙レセプトで請求を行う患者を管理、紙レセプトを発行する機能を有していること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.5.161				・出力したデータの点検を行う機能を有していること。		
4.2.5.162				・請求データ作成後記録媒体に保存して頂くデータを取り出す機能を有していること。		
4.2.5.163				・支払基金・国保連合会へ記憶媒体を提出する際に添付する送付書の作成機能を有していること。		
4.2.5.164				・紙レセプトデータに登録した患者の紙レセプトを印字する機能を有していること。		
4.2.5.165				・今回請求分、保留分、保留請求分、紙レセプト提出分の一覧表示機能を有すること。csvファイル形式に出力できること。		
4.2.5.166			返戻処理	・レセプト集計・発行後の請求データを一連の流れとして管理する機能を備えていること。		
4.2.5.167				・請求情報として出力できること。		
4.2.5.168				・過去の請求データより返戻となったデータをピックアップできること。		
4.2.5.169				・返戻データとして登録した請求データは訂正し再請求することができること。		
4.2.5.170				・当月請求の請求データより保留レセプトを抽出することができること。		
4.2.5.171				・保留レセプトとして登録した請求データは再請求することができること。		
4.2.5.172			エラーチェック	・エラーチェックは、即時、登録時そしてまとめ時の3種類を備えていること。		
4.2.5.173				・自動算定や算定判断そして点数のまるめの判断・設定の機能を備えていること。		
4.2.5.174				・エラーマスターは動作の有無や追加が随時行なえること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.5.175				・エラーマスターは日本語の構文で作成されており追加や変更が利用者自身でも出来ること。		
4.2.5.176			統計処理	・一般的な、患者別、科別・Dr別の日計表や月計表の出力ができること。		
4.2.5.177				・統計表は、表計算ソフトとリンクし、表およびデータの再構築ができること。		
4.2.5.178				・必要に応じて、必要なデータが検索・抽出できるシステムであること。		
4.2.5.179				・また、病名検索ができること。		
4.2.5.180		接続連携	患者基本情報	・他システム(医科)で新規登録された患者情報が即時に取り込まれること。		
4.2.5.181				・患者番号を同じとし、情報を共有できること。		
4.2.5.182				・保険変更や追加の情報も即時に更新されること。		
4.2.5.183				・歯科で使用しない保険パターンの登録の有無を設定できること。		
4.2.5.184				・インターフェースは他システムに合わせるようフレキシブルなシステムであること。		
4.2.5.185			会計情報	・歯科システムでの診療入力を会計データとして即時に送信できること。		
4.2.5.186				・会計情報か診療情報を送信するかを設定でき、他システム側で使いやすいインターフェースであること。		
4.2.5.187				・他システムで部別領収書発行や未収管理ができるインターフェースであること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.5.188			処方オーダー	・処方オーダーの実施された項目を1クリックで診療入力に取り込むことができること。		
4.2.5.189			検査オーダー	・検査オーダーの実施された項目を1クリックで診療入力に取り込むことができること。		
4.2.5.190			放射線オーダー	・放射線オーダーの実施された項目を1クリックで、診療入力に取り込むことができること。		
4.2.5.191			注射オーダー	・注射オーダーの実施された項目を1クリックで、診療入力に取り込むことができること。		
4.2.5.192			医科医事会計	・歯科処置の医事データを医事会計システムに送信できること。		
4.2.5.193				・歯科医事会計より会計情報(当日処置分)を送信できること。		
4.2.5.194			デジタルX線システム	・患者番号、氏名、性別、生年月日等の基本情報を連携できること。		
4.2.5.195				・歯科電子カルテと同じクライアントで画像ビューアが使用できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.7	手術映像システム					
4.2.7.1		連携		・電子カルテとの連携		
4.2.7.2				・既存の医療機器との連携		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.8	薬剤部門システム(DIシステムを含む)					
4.2.8.1		ハードウェア更新		・既存システムのハードウェアを更新すること。		
4.2.8.2		DIシステム		医薬品添付文書情報検索システムはWeb型システムとして構築されたシステムであること。また、院内ネットワークに接続されている全てのHISクライアント端末から使用できるライセンスフリーのシステムであること。		
4.2.8.3				基本システム構成として、サーバー1台で運用できるシステムであること。また、院内ネットワーク上のHISクライアント端末にインストールされているWebブラウザソフト（Internet Explorer）を利用して運用できるシステムであること。		
4.2.8.4				医薬品添付文書データベースとして、財団法人日本医薬情報センター（JAPIC）の医薬品添付文書情報の全文テキストデータを搭載していること。		
4.2.8.5				・医薬品添付文書原本のPDFデータを搭載していること。		
4.2.8.6				院内ネットワークに接続されている全てのHISクライアント端末から医薬品添付文書情報の検索・閲覧ができること。		
4.2.8.7				HISと連動する場合、オーダー入力画面よりYJコードをキーにして、医薬品情報を直接呼出し・表示できるデータ連携方式に対応できるシステムであること。		
4.2.8.8				検索機能として、以下の検索ができること。 ①名称検索（商品名・一般名・英名） ②薬効分類検索 ③複合検索 ④薬剤鑑別（本体記号・包装記号・会社マーク・GTINからの検索） ⑤治療薬分類検索 ⑥薬品区分（内用・外用・注射・指定なし） ⑦採用薬品からの検索（全薬品、又は採用薬品の範囲を指定しての検索） ⑧先発品・後発品検索		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.8	薬剤部門システム(DIシステムを含む)					
4.2.8.9				日本標準商品分類（87分類）の薬効分類データベースを保持しており、同効薬の検索が容易にできる機能を有すること。		
4.2.8.10				3-8.の項にある薬効分類データベースの他に、治療分類データベースを保持しており、複数の適応症がある医薬品の検索にも対応できるよう、治療薬分類から同効薬の検索が容易にできる機能を有すること。		
4.2.8.11				本体記号、包装記号から薬剤識別ができること。		
4.2.8.12				会社マークから薬剤鑑別ができること。		
4.2.8.13				先発医薬品、後発医薬品を判別できるデータベースを保持しており、同一剤型・同一規格、同一剤型、同一成分の各種指定条件に応じた、先発品・後発品の一覧が確認できる機能を有すること。		
4.2.8.14				採用区分毎（院内採用薬、院外採用薬など）に採用薬品の一覧が画面上で確認できること。		
4.2.8.15				ユーザーID毎に直近参照薬品として、医薬品添付文書を参照した医薬品名の履歴表示ができること。		
4.2.8.16				掲示板機能を有しており、且つユーザー権限毎に登録情報の表示・非表示の設定ができること。		
4.2.8.17				最近新規登録された薬品（新規採用登録薬）を表示する機能を有すること。		
4.2.8.18				添付文書改訂情報を保持しており、過去の改訂情報を時系列で確認ができる機能を有すること。		
4.2.8.19				薬品毎にユーザー独自のコメント情報を登録することができ、また、PDF等のファイルのアップロードやリンクしたいページのURL登録などにも対応できる機能を有すること。		
4.2.8.20				表紙と目次【採用薬品リスト（読み順）・採用薬品リスト（薬効分類順）】を含めた、院内医薬品集の作成ができること。また、院内医薬品集に印字する添付文書項目は任意に選択できること。		
4.2.8.21				院内医薬品集の印刷機能の他に、採用区分・商品名・一般名・薬価、禁忌などの各種添付文書項目を任意に指定して、PDF、又はCSVファイルにてデータ出力できる機能を有すること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.8	薬剤部門システム(DIシステムを含む)					
4.2.8.22				検索した薬剤の画像を確認できること。また、画像は拡大して確認する機能を有すること。		
4.2.8.23				・ iPadでも添付文書情報を参照できること。		
4.2.8.24				医薬品情報データベースの更新は、年12回（毎月1回）更新に対応できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.9	服薬指導システム					
4.2.9.1				・ Web型システムとして構築されたシステムであること。		
4.2.9.2				また、院内ネットワークに接続されている全てのHISクライアント端末から使用できるライセンスフリーのシステムであること。		
4.2.9.3				・ 基本システム構成として、サーバー1台、メンテナンス用PC1台で運用できるシステムであること。		
4.2.9.4				また、持参薬管理システム専用のクライアント端末がなくても、院内ネットワーク上のHISクライアント端末にインストールされているWebブラウザソフト(Internet Explorer)を利用して運用できるシステムであること。		
4.2.9.5				・ HISより以下情報を取り込むことができ、持参薬管理業務のサポートが効果的に行えること。また、手動での登録、修正など入力機能も有すること。 ①処方情報・注射情報		
4.2.9.6				②患者基本情報(患者ID・患者住所・性別・身長・体重など)		
4.2.9.7				③移動情報(入院、退院、診療科、病棟、主治医、転棟転科情報など)		
4.2.9.8				・ 持参薬管理の進捗状況から患者検索ができる機能を有すること。		
4.2.9.9				・ 薬剤調査依頼書の作成、持参薬鑑別書の作成、持参薬指示書の作成といった、持参薬管理業務に必要な各種帳票作成をサポートできるシステムであり、当該システムにおいてすべての持参薬管理業務を完結できるシステムであること。		
4.2.9.10				・ 過去に作成した依頼書、鑑別書、指示書の履歴管理がされており、いつでもその内容を確認することができること。		
4.2.9.11				また、過去に作成した依頼書、鑑別書、指示書の再発行する機能も有すること。		
4.2.9.12				・ 登録者、鑑別者、指示者、最終更新者など、いつ・誰が・何をしたかの記録がシステムの的に管理・保存でき、また、容易に確認できるシステムであること。		
4.2.9.13				・ 薬剤調査依頼書は、運用ルール、持参薬処方者への問合せの可否、持参薬に添付したもの(お薬手帳、薬剤情報など)の確認、持参薬を処方した医療機関などを記載できること。		
4.2.9.14				また、持参薬を処方・調剤した医療機関について、予めマスタ登録できる機能を有すること。		
4.2.9.15				・ 以下の項目から持参薬の鑑別登録ができること。 ①薬品名(採用薬品以外のすべての医薬品を含む)		
4.2.9.16				・ ②本体記号・包装記号・GTIN		
4.2.9.17				・ ③会社マーク		
4.2.9.18				・ ④当院処方薬(当院の処方歴を参照しての鑑別登録)		
4.2.9.19				・ ⑤不特定薬品		
4.2.9.20				・ ⑥OTC		
4.2.9.21				・ ⑦サプリメント		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.9.22				・ ⑧電子お薬手帳用二次元バーコード		
4.2.9.23				・ 薬品名検索はひらがな、カタカナのどちらでも検索でき、最低検索文字数として2文字以上の入力に対応できること。		
4.2.9.24				・ 過去に作成した持参薬鑑別書の内容をコピーして、再利用できる機能を有すること。		
4.2.9.25				・ 持参薬登録時に用法用量(内服は1日量、頓服は1回量)、残数、残投与可能日数の登録ができること。		
4.2.9.26				また、残投与可能日数や余り数の自動計算が行える機能を有すること。		
4.2.9.27				・ 薬剤鑑別時に、院内採用薬より剤型・規格一致、規格違い、剤型違いの同一成分薬から自動的に代替薬表示ができ、規格違いの場合、相当数(例:1mg1錠は、0.5mg2錠に相当)の表示・印字ができること。		
4.2.9.28				・ 鑑別薬品が配合剤の場合、含有成分と含有量を表示できること。		
4.2.9.29				また、各単味薬品が採用薬の場合、自動的に代替薬の候補として表示ができること。		
4.2.9.30				・ 代替薬検索用のデータベースとして、日本標準商品分類(87分類)とは異なる治療分類データベースを搭載し、複数の適応症がある医薬品の代替薬検索にも対応できること。		
4.2.9.31				・ また、持参薬の同効薬として治療薬分類から代替薬検索できる機能を有すること。		
4.2.9.32				・ 持参薬と同一成分の代替薬がない場合、薬品指定、又は治療分類からの代替薬検索に対応できること。		
4.2.9.33				・ 2-15の項にある治療薬分類からの代替薬検索において、選択した治療薬に該当する院内採用薬があった場合、自動的に候補となる院内採用の代替薬が表示される機能を有すること。		
4.2.9.34				・ 鑑別した持参薬が高リスク薬、麻薬、向精神薬、に該当する薬品の場合、マークでお知らせする機能を有すること。		
4.2.9.35				・ また高リスク薬の場合は、その薬効分類(抗悪性腫瘍剤など)も確認できる機能を有すること。		
4.2.9.36				・ 術前・術後に中止すべき薬品のデータベースを搭載しており、鑑別した持参薬が術前・術後に中止情報のある薬品の場合は、マークでお知らせする機能や中止情報の詳細を自動表示させる機能を有すること。		
4.2.9.37				・ またその内容を鑑別書に反映させ、印刷することができること。		
4.2.9.38				・ ユーザー独自に術前・術後に中止情報のある薬品を登録できる機能を有すること。		
4.2.9.39				・ 持参薬、及び代替薬の医薬品添付文書情報が容易に確認できること。		
4.2.9.40				・ 過去の当院処方歴データを使用して、当院処方薬として過去に出された薬品を再度持参薬として持ち込まれた場合に登録できる機能を有すること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.9.41				また、院外処方された場合において、保険調剤薬局で当院処方薬と異なる後発品に変更された場合に、同一剤型・同一規格、同一剤型、同一成分の各種指定条件に応じて、容易に該当薬の後発品を検索・登録できる機能を有すること。		
4.2.9.42				・ 分包された散剤など、薬品名を特定できないような状態で持ち込まれた鑑別不可薬品についても、不特定薬品として、その旨を鑑別書に記録できる機能を有すること。		
4.2.9.43				・ 医療用医薬品以外の持参薬に対応できるよう、OTC・サプリメントのデータベースを搭載し、OTC商品名、サプリメント成分名からの検索・登録ができる機能を有すること。		
4.2.9.44				・ 鑑別書、及び指示書作成時に、登録した持参薬と、薬歴カレンダー上に表示されている処方薬、注射薬、OTC、サプリメント、患者基本情報を基に、相互作用チェックなどの各種処方チェックができること。		
4.2.9.45				・ また、そのチェック内容を容易に確認できること。		
4.2.9.46				・ 初めに登録された鑑別内容を「承認待ち」とし、別の薬剤師がチェックを行った後に確定ができる二重鑑別の機能を有すること。		
4.2.9.47				・ 医師、又は医師権限のある医療従事者が、当該システム上で直接、持参薬の指示入力ができる機能を有すること。		
4.2.9.48				・ 2-27.の項にある指示項目として、継続指示、中止指示、変更指示、一時中断指示に対応できること。		
4.2.9.49				・ また、一時中断指示については服用中止期間の登録もできること。		
4.2.9.50				・ 2-28.の項にある一時中断指示をした場合、中断した薬品の再開・中止の再指示を登録できる機能を有すること。		
4.2.9.51				・ 持参薬毎に服用開始日の変更ができること。		
4.2.9.52				・ また、すべての持参薬の服用開始日を一括して変更できる機能も有すること。		
4.2.9.53				・ 持参薬の指示入力をする際に、粉碎指示、一包化指示にも対応できる機能を有すること。		
4.2.9.54				・ 鑑別書と指示書の登録内容を比較する機能を有し、変更点を容易に確認できること。		
4.2.9.55				・ 薬剤調査依頼書、持参薬鑑別書、持参薬指示書の他に、以下の帳票が出力できること。 ①再調剤依頼書		
4.2.9.56				・ ②持参薬服用薬価統計表		
4.2.9.57				・ ③鑑別書・指示書の統計表		
4.2.9.58				・ ④持参薬処方切れ患者一覧		
4.2.9.59				・ 持参薬指示薬品情報をCSVデータとして書き出しできる機能を有すること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.9.60				・当該システムで登録した持参薬指示薬品情報を、別に定める薬剤管理指導支援システムに送信できること。		
4.2.9.61				・また、継続使用指示の薬品を院内処方薬と同一画面の薬歴カレンダーで表示・確認できること。		
4.2.9.62				・HISと連動して、オーダー画面より患者毎に持参薬管理情報を確認できること。		
4.2.9.63				・また、オーダー画面より持参薬の使用指示ができること。		
4.2.9.64				・持参薬管理データは、全て部門サーバーにて一元管理できること。		
4.2.9.65				・医薬品情報データベースの更新は、年12回(毎月1回)更新に対応できること。		
4.2.9.66				・各種データを12ヶ月以上保存でき、その後、外付けハードディスクやディスク媒体等へ保存ができること。		
4.2.9.67				・持参薬鑑別データをHISに送信できる機能を有すること。		
4.2.9.68				・持参薬鑑別書、又は持参薬指示書作成時に、EFファイル用の持参薬区分、持参薬処方区分の登録ができる機能を有すること。		
4.2.9.69				・システム運用を考慮して、EFファイル用の持参薬区分として、「当該入院の契機となる疾病の治療に係る薬品」、「当該入院の契機となる疾病の治療に係らない薬品」の他に、「未確認」として登録できる機能を有すること。		
4.2.9.70				・システム運用を考慮して、EFファイル用の持参薬処方区分として、「当院処方の薬品」、「他院処方の薬品」の他に、「未確認」として登録できる機能を有すること。		
4.2.9.71				・システム運用を考慮して、EFファイル用の持参薬区分、又は持参薬処方区分の登録機能の使用を選択できる設定機能も有すること。		
4.2.9.72				・EFファイル用の持参薬区分、持参薬処方区分の項目を含む、持参薬使用量のCSVファイルを出力できる機能を有すること。		
4.2.9.73				・また、期間を指定して一括出力、又は患者を指定して個別出力できる機能も有すること。		
4.2.9.74				・持参薬鑑別書、又は持参薬指示書作成時点における、EFファイル用の持参薬区分、持参薬処方区分の項目を含む、持参薬使用量情報をファイル出力できること。		
4.2.9.75				・薬剤管理指導支援システムはWeb型システムとして構築されたシステムであること。また、院内ネットワークに接続されている全てのHISクライアント端末から使用できるライセンスフリーのシステムであること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.9.76				・基本システム構成として、サーバー1台、メンテナンス用PC1台で運用できるシステムであること。また、薬剤管理指導支援システム専用のクライアント端末がなくても、院内ネットワーク上のHISクライアント端末にインストールされているWebブラウザソフト（Internet Explorer）を利用して運用できるシステムであること。		
4.2.9.77				・HISより以下のデータを取り込むことができ、薬剤管理指導業務のサポートが効果的に行えること。また、手動での登録、修正など入力機能も有すること。 ①処方情報、注射情報、持参薬情報 ②患者基本情報（患者ID・患者氏名・患者住所・性別・身長・体重など） ③患者プロフィール情報（アレルギー、感染症、既往症、妊娠・授乳、副作用発現歴、身体機能など） ④移動情報（入院、退院、診療科、病棟、主治医、転棟転科情報など） ⑤検体検査情報（血球検査、生化学検査など） ⑥服薬指導依頼情報 ⑦病名情報		
4.2.9.78				・HISから受信した処方、注射、患者情報などの各種情報の追加、変更、削除等が自動的に反映され、また手動でも簡単にメンテナンスできること。		
4.2.9.79				・入院患者の情報をカレンダー形式で一覧表示でき、且つ初回算定可能患者、本日算定可能患者、過去に指導した患者、医師同意ありの患者、ハイリスク薬・麻薬処方患者、処方変更のあった患者などの条件絞込みが行え、病棟順、診療科順、患者名順で並び順を変更できること。		
4.2.9.80				・指導患者抽出画面（服薬指導画面）を開いた段階で、使用者が担当している病棟の、本日算定可能な患者が自動的に表示されること。また、担当病棟以外にも病棟、診療科単位で容易に患者の検索ができること。		
4.2.9.81				・月初めの指導日に対して以後の指導予定日を自動設定できること。		
4.2.9.82				・指導患者抽出画面（服薬指導画面）の表示条件をユーザー毎に設定できること。		
4.2.9.83				・薬歴カレンダーには処方薬、注射薬、外用薬、頓服薬、持参薬をまとめて一画面で表示できること。		
4.2.9.84				・薬歴カレンダーの表示項目を処方区分（外来処方・入院処方・持参薬）、服用中・入院日以降などの条件で自由に選択でき、且つ薬品のまとめ表示ができること。表示順も薬名順、薬効順、処方順、剤型順、用法順に変更できること。		
4.2.9.85				・薬歴カレンダーは、ハイリスク薬（特に安全管理が必要な薬品）や麻薬が処方された際に自動でカレンダーに色がつくなど、より注意が必要な薬品が処方されていることが容易に判別できる機能を有しており、その薬品が属する薬効分類（抗悪性腫瘍剤など）の確認もできること。		
4.2.9.86				・薬歴カレンダーからワンクリックで医薬品添付文書情報の確認ができ、医薬品添付文書情報の印刷もできること。		
4.2.9.87				・薬歴カレンダーの表示条件をユーザー毎に設定できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.9.88				・薬歴カレンダーと検体検査データの相互関係が1画面で同時系列毎に表示できること。		
4.2.9.89				・検体検査データはグラフ形式と表形式での表示が行え、グラフ形式については薬歴カレンダーと同時系列毎に表示できること。		
4.2.9.90				・検体検査結果（検査異常値）から予測される重大な副作用と処方薬との間で、重大な副作用の発現のおそれの有無を確認できるデータベースを搭載し、その確認が行える機能を有すること。		
4.2.9.91				・検体検査結果（検査異常値）から予測される病態と処方薬との間で、処方チェックが行えるデータベースを搭載し、その確認が行える機能を有すること。		
4.2.9.92				・血清クレアチニン値と患者基本情報（性別・年齢・体重）を用い、クレアチンクリアランスの推定値を自動計算し、表示できる機能を有すること。		
4.2.9.93				・患者情報（アレルギー、感染症情報、身体機能、体質等）から、チェックを入れるだけで自動的にプロブレムが立案されSOAP形式で指導記録へ結びつくことができるデータベースを搭載していること。		
4.2.9.94				・処方監査機能として、処方薬・注射薬・持参薬・OTC・サプリメントとの間でチェックができること。		
4.2.9.95				・薬歴カレンダーと同一の画面で、相互作用・重複などの各種チェック内容を、リスト形式で表示・確認できること。		
4.2.9.96				・薬歴カレンダーと同一の画面で、相互作用チェックの他に、患者プロフィール情報（アレルギー（飲食物・薬品）、妊産婦・授乳婦、年齢（小児・高齢者）等）を基にした各種処方チェック内容の確認ができること。		
4.2.9.97				・処方監査結果にチェックを入れるだけで、処方監査に関するプロブレムが自動的に立案され、SOAP形式で指導記録へ結びつくことができるデータベースを搭載していること。		
4.2.9.98				・妊産授乳婦チェックとして、FDA（米国食品医薬品局）基準、及びADEC（オーストラリア医薬品評価委員会）基準の危険度分類を参照できるデータベースを搭載していること。		
4.2.9.99				・処方監査のチェックレベルは、任意に変更することができ、また処方監査レベルをユーザーID毎に設定できること。		
4.2.9.100				・術前・術後に中止情報のある薬品との処方チェックができ、そのチェック結果からチェックを入れるだけで自動的にプロブレムが立案され、SOAP形式で指導記録へ結びつくことができるデータベースを搭載していること。		
4.2.9.101				・処方薬情報の一覧からチェックをつけるだけで、効能効果・副作用・注意事項などの各種薬剤情報から薬品別のプロブレムが自動的に立案され、SOAP形式で指導記録へ結びつくことができるデータベースを搭載していること。また、当該データベースは、初回指導時に優先的に説明すべき項目（過敏症、低血糖の副作用情報等）を容易に判別できるデータベースであること。		
4.2.9.102				・1-27.の項にある薬品別のプロブレムを選択する際に、処方変更・用法変更・用量変更のある薬品を容易に判別でき、また一括して該当薬を選択できる機能を有すること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.9.103				・患者情報、処方監査、薬剤情報の項目から立案されるプロブレムは、SOAP形式で指導記録へ結びつくことができるデータベースとして管理されていること。		
4.2.9.104				・ベッドサイド専用画面を有し、ノートPCやiPad等のモバイル端末を用い、ベッドサイドにおいて薬剤管理指導記録を容易に作成できる機能を有すること。		
4.2.9.105				・薬歴を基に、患者が訴える重大な副作用の初期症状から、重大な副作用の可能性のある被疑薬を絞り込む機能を有すること。また、重大な副作用から考えられる初期症状を絞り込む機能も有すること。		
4.2.9.106				・1-31.の項にある重大な副作用情報を基に、そのチェック結果からチェックを入れるだけで自動的に副作用管理のプロブレムが立案され、SOAP形式で指導記録へ結びつくことができる機能を有すること。		
4.2.9.107				・SOAP形式、フリー入力、テンプレートを使用した指導記録の作成ができること。		
4.2.9.108				・指導記録内容の自動登録に対応可能なプロブレム－SOAP形式で記録できる服薬指導支援データベースを搭載していること。		
4.2.9.109				・プロブレム－SOAP形式の服薬指導支援データベースは、ユーザー独自に編集・登録できる機能を有し、また登録した情報を選択するだけ容易に指導記録として反映できること。		
4.2.9.110				・過去の検査値の参照が行え、チェックを入れるだけで指導記録へ反映できる機能を有すること。		
4.2.9.111				・添付文書上で使用期間中や使用後の検査実施が求められている医薬品について、該当の薬品が薬歴に存在する場合、薬歴画面から検査実施期間や検査内容を確認できること。また、登録された検査値において、前回実施日を参照できること。		
4.2.9.112				・薬剤管理指導の算定・レポート情報をHISに送信できる機能を有すること。		
4.2.9.113				・1-38.の項にあるHISに送信できる算定情報として、ハイリスク薬処方患者、その他の患者として薬剤管理指導料の区分に対応できること。また、麻薬管理指導加算、退院時薬剤管理指導料の算定にも対応できること。		
4.2.9.114				・1-39.の項にあるハイリスク薬処方患者の算定をする際に必要な当該ハイリスク薬品名が、自動的に抽出・表示できる機能を有すること。また、当該ハイリスク薬品名をコメント情報としてHISへ送信できる機能を有すること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.9.115				<ul style="list-style-type: none"> ・ 以下、帳票の出力が可能であること。 ①ワークシート <ul style="list-style-type: none"> ・ 服薬指導管理ワークシート ・ 患者情報シート ・ 薬歴シート ・ 服薬指導記録 ・ 服薬指導記録簿 ・ 退院時服薬指導記録 ②薬剤管理表 ③薬歴簿 ④医師同意書 ⑤退院時服薬指導提供書 ⑥薬剤情報提供書 ⑦簡易薬剤情報提供書 ⑧お薬手帳ラベル ⑨服用状況チェックシート 		
4.2.9.116				<ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤情報提供書用の患者向け薬剤情報データベースは、内用薬、外用薬、注射薬（自己注射以外の注射薬を含む）の情報を網羅したデータベースであること。またそのデータベースはコメント内容毎に分類・コード化されており、設定により出力する項目を任意に選択できる機能を有すること。 例：妊産婦に関する注意事項は16歳以上の女性にしか印字しない等 		
4.2.9.117				<ul style="list-style-type: none"> ・ 投薬情報より薬剤画像付（包装画像、本体画像）の薬剤情報の発行ができ、またプレビューが可能であること。 		
4.2.9.118				<ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤情報提供書に印字される効能効果などの内容は、院内用、診療科毎・医師毎・患者毎に適切な表現内容に編集し出力できる機能を有すること。 		
4.2.9.119				<ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤情報提供書には用法・用量等も含んでいること。 		
4.2.9.120				<ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤情報提供書は削除・変更の情報だけでも印刷できること。 		
4.2.9.121				<ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤情報提供書は薬品の順番を自由に変更できること。 		
4.2.9.122				<ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤情報提供書の再発行ができること。 		
4.2.9.123				<ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤情報提供書は当院採用以外の持参薬についても印刷できること。またその場合、持参薬の薬剤画像も印刷できること。 		
4.2.9.124				<ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤情報提供書は前回指導から今回指導に追加された処方薬のみ確認できる機能を有していること。 		
4.2.9.125				<ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤情報提供書の出力条件を剤型毎（内服・頓服・注射・点滴など）に変更でき、且つ並び順を薬品名順・薬効順・用法順などで変更できること。 		
4.2.9.126				<ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤情報提供書は出力する文章の変更がおこなえ、且つ1回量、1日量、用法名・用法コメント・薬品コメントなどを自由に変更できること。 		
4.2.9.127				<ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤情報提供書は英語版に対応できること。提供文章は薬効・副作用だけでなく服用・食事・生活に関する注意に関する内容も英語で出力できること。 		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.9.128				・ 退院時薬剤情報管理指導料の算定基準を満たしたお薬手帳ラベルの発行ができること。また、退院処方を含む前後7日間の処方情報を任意に選択し、且つ服薬指導中に入手した患者特記事項（アレルギー情報・副作用発現情報等）も合わせて出力できること。		
4.2.9.129				・ 電子お薬手帳用の二次元バーコードの出力ができること。		
4.2.9.130				・ 以下の帳票が出力できること。 ①薬剤管理指導患者一覧表 ②薬品投与量一覧 ③処方切れ患者一覧 ④薬剤管理指導統計表		
4.2.9.131				・ 薬剤管理指導患者一覧表はリスト形式（縦・横）、カレンダー形式（縦・横）で出力ができ、且つ診療科、病棟でのソートもできること。		
4.2.9.132				・ 薬品投与量一覧は診療科、処方区分などでソートができ、出力薬品リストはユーザー毎に保存することができること。		
4.2.9.133				・ 期間を指定し、処方薬品切れ患者の一覧が出力できること。		
4.2.9.134				・ 薬剤管理指導統計表は、月別・日別・年間別での表示ができ、且つ病棟別・診療科別・薬剤師別の集計区分で出力できること。		
4.2.9.135				・ 医薬品添付文書情報を容易に確認できる機能を有すること。		
4.2.9.136				・ 別に定める医薬品添付文書情報検索システムと連動でき、持参薬などの採用薬品以外の薬品についても処方入力できること。		
4.2.9.137				・ 別に定める持参薬管理システムと連動でき、当該システムで登録した持参薬の継続使用指示情報が取り込める機能を有すること。また、継続使用指示の持参薬については、院内処方薬と同一画面上の薬歴カレンダーで表示・確認できること。		
4.2.9.138				・ HISクライアント端末側ですでにログインされた状態の場合、登録されているユーザーID・パスワードを新規に入力することなく起動できるシステム（シングルサインオンに対応できるシステム）であること。		
4.2.9.139				・ 薬剤管理指導記録については、HISより閲覧ができる機能を有すること。		
4.2.9.140				・ 薬剤管理指導記録データは、全て部門サーバーにて一元管理できること。		
4.2.9.141				・ ノートPCやiPadなどのモバイル端末を使用する場合、当該モバイル端末には患者情報や薬剤管理指導記録などの情報が残らない、セキュリティ的に考慮されたシステムであること。		
4.2.9.142				・ iPadを利用する場合、入力しづらいことも考慮し一時保存の機能を有すること。		
4.2.9.143				・ iPadでも添付文書等のDI情報を参照できること。		
4.2.9.144				・ ノートPCやiPadなどのモバイル端末を使用したベッドサイド運用をする場合、無線LANが整備された病室などで入力した情報は、そのままダイレクトにサーバーへ記録・保存されること。		
4.2.9.145				・ 医薬品情報データベースの更新は、年12回（毎月1回）更新に対応できること。		
4.2.9.146				・ 各種データを12ヶ月以上保存でき、その後、外付けハードディスクやディスク媒体等へ保存ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2	部門システム					
4.2.10	検体検査システム					
4.2.10.1		連携		* 電子カルテと連携すること		
4.2.10.2				* 既存医療機器と連携すること		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.11	細菌検査システム					
4.2.11.1		全般		・細菌検査システムの作業端末が3台の構成であること。		
4.2.11.2				・各入力画面は、マウス、テンキー、及び、ファンクションキーが使用で、作業の効率化する機能があること		
4.2.11.3				・また、菌名、薬剤名など、各種マスタデータからの選択項目は、コードでの入力、及び、名称による検索選択が可能なこと。		
4.2.11.4				・システム起動時に、パスワード入力管理が可能なこと。		
4.2.11.5				・受付入力時に、検体番号は自動で採番が可能なこと。		
4.2.11.6				・検体番号は、年通番・月通番・日通番を選択が可能なこと。		
4.2.11.7				・検体番号 はフリーで入力可能なこと。		
4.2.11.8				・検体番号は範囲を指定して発番が可能なこと。		
4.2.11.9				・一般細菌・抗酸菌で、個別に検体番号の通番方法を選択が可能なこと。		
4.2.11.10				・登録されている患者データと一致する患者 ID を入力することにより患者マスターからデータを呼び出すことが可能なこと。		
4.2.11.11				・対応分離菌株数10 菌株登録が可能なこと。		
4.2.11.12				・薬剤を1菌種当たり60薬剤登録が可能なこと。		
4.2.11.13				・全ての結果入力画面において、臨床へのコメントを半角で、最大1024文字(全角で512文字)を6種類作成でき、分離株ごとのコメントも最大40文字(全角で20文字)登録可能なこと。		
4.2.11.14		一般細菌	個別画面	・検体毎の受付業務、患者属性、結果(塗抹、培養同定、感受性)の情報を1画面にて表示、入力することが可能なこと。		
4.2.11.15				・必須項目を設定しておくことで、ワーニングを表示し、入力漏れを防ぐことが可能なこと。		
4.2.11.16				・感染履歴として、特定菌毎に初回・最新の検出日付を保持 が可能なこと。		
4.2.11.17				・感染履歴の特定菌は、複数 指定が可能なこと。		
4.2.11.18				・感染履歴の初回に関してはワーニングを表示することが可能なこと。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.11.19				・患者の検体データの前回値を表示することが可能なこと。		
4.2.11.20				・前回値情報として、全材料・同一材料グループ・同材料で選択し表示が可能なこと。		
4.2.11.21				・薬剤感受性結果を時系列に参照でき任意の菌で絞ることが可能なこと。		
4.2.11.22				・菌株毎の結果を並べ替えて表示が可能なこと。		
4.2.11.23				・警告菌マスターに条件を登録しておき、画面に警告ウィンドウを表示することが可能なこと。		
4.2.11.24				・設定した条件のデータを入力すると、連動して別データも自動でセットすることをユーザー設定が可能なこと。		
4.2.11.25				・検体毎に画像データを5つまで保存が可能なこと。		
4.2.11.26				・表示検体の報告書をワンタッチで印刷することが可能なこと。		
4.2.11.27				・表示検体を電子カルテへ結果送信が可能なこと。		
4.2.11.28				・マスター設定することにより MIC 値、阻止円からSIRを自動で判定が可能なこと。		
4.2.11.29				・感受性検査パネルのイメージに合わせた結果入力画面からMIC値を入力し、判定結果値に変換代入が可能なこと。		
4.2.11.30				・保存菌株機能に対応していること。		
4.2.11.31			進捗一覧	・検体毎の進捗状況を任意の期間、報告管理別、材料別、担当者別で一覧を表示が可能なこと。		
4.2.11.32				・検体の報告状況や結果の入力状況を色で区別が可能なこと。		
4.2.11.33				・一覧表示の内容項目や表示位置はクライアント毎にユーザーで容易に設定が可能なこと。		
4.2.11.34				・一覧画面より依頼がある塗抹、他検査項目の結果入力が可能なこと。		
4.2.11.35				・一覧画面より選択している検体の個別入力画面に移動し検体の詳細確認、結果入力が可能なこと。		
4.2.11.36				・一覧画面より選択している検体の報告書の印刷、電子カルテへ結果送信が可能なこと。		
4.2.11.37			一覧入力	・塗抹の結果を一覧で入力が可能なこと。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.11.38				・培養の結果を一覧で入力が可能なこと。		
4.2.11.39				・迅速等の結果を一覧で入力が可能なこと。		
4.2.11.40			帳票印刷	・報告書を一括で印刷が可能なこと。		
4.2.11.41				・ワークシートを一括で印刷することが可能なこと。		
4.2.11.42				・報告書・ワークシートは出力管理が可能なこと。		
4.2.11.43				・ワークシートは前回値情報が印字でき、全材料・同一材料で表示が可能なこと。		
4.2.11.44				・医事リストを一括で印刷が可能なこと。		
4.2.11.45				・材料毎、検査依頼毎に培地名が記載した培地ラベルが出力可能なこと。		
4.2.11.46			データ出力	・システムの中に収集されたデータ項目を自由に選択、かつ条件を設定し抽出が可能なこと。		
4.2.11.47				・一度設定した条件は記憶することができ、同じ条件で集計を繰り返し使用が可能なこと。		
4.2.11.48				・受付日別検体数、保険点数が表示可能なこと。		
4.2.11.49				・診療科別検体数、保険点数が表示可能なこと。		
4.2.11.50				・病棟別検体数、保険点数が表示可能なこと		
4.2.11.51				・任意にカスタマイズしたフォーマットを元に CSV・EXCEL 出力が可能なこと。		
4.2.11.52				・院内感染対策サーベイランス(JANIS)用データが出力可能なこと。		
4.2.11.53		抗酸菌	個別画面	・検体毎の受付業務、患者属性、結果(塗抹、培養、感受性、PCR等)の情報を1画面にて表示、入力が可能なこと。		
4.2.11.54				・必須項目を設定しておくことで、ワーニングを表示し、入力漏れを防ぐことが可能なこと。		
4.2.11.55				・患者の検体データの前回値を表示が可能なこと。		
4.2.11.56				・感染履歴として、陽性患者の初回・最新の検出日付を保持が可能なこと。		
4.2.11.57				・患者の検体データの 前回値を表示することが可能なこと。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.11.58				・ 前回値情報として、全材料・同一材料グループ・同材料で選択し表示可能なこと。		
4.2.11.59				・ 設定した条件のデータを入力すると、連動して別データも自動でセットすることをユーザー設定が可能なこと。		
4.2.11.60				・ 検体毎に画像データを 5つまで保存が可能なこと。		
4.2.11.61				・ 表示検体の報告書をワンタッチで印刷が可能なこと。		
4.2.11.62				・ 表示検体を電子カルテへ結果送信 が可能なこと。		
4.2.11.63			進捗一覧	・ 検体毎の進捗状況を任意の期間、報告管理別、材料別、担当者別で一覧を表示が可能なこと。		
4.2.11.64				・ 検体の報告状況や結果の入力状況を色で区別が可能なこと。		
4.2.11.65				・ 一覧表示 の内容や表示位置はクライアント毎にユーザー で容易に設定が可能なこと。		
4.2.11.66				・ 一覧画面より依頼がある塗抹、他検査項目の結果入力が可能なこと。		
4.2.11.67				・ 一覧画面より選択している検体の個別入力画面に移動し検体の詳細確認、結果が入力可能なこと。		
4.2.11.68				・ 一覧画面より選択している検体の報告書の印刷、電子カルテへ結果送信 が可能なこと。		
4.2.11.69			一覧入力	・ 塗抹の結果を一覧で入力が可能なこと。		
4.2.11.70				・ 小川培養の結果を一覧で入力が可能なこと。		
4.2.11.71				・ 液体培養の結果を一覧で入力が可能なこと。		
4.2.11.72				・ PCR 等の結果を一覧で入力 が可能なこと。		
4.2.11.73			帳票印刷	・ 報告書を一括で印刷が可能なこと。		
4.2.11.74				・ ワークシートを一括で印刷が可能なこと。		
4.2.11.75				・ 報告書・ ワークシートの出力管理 が可能なこと。		
4.2.11.76				・ 医事リストを一括で印刷が可能なこと。		
4.2.11.77				・ 材料毎、検査依頼毎に培地名が記載した培地ラベルが出力可能なこと。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.11.78			データ出力	・システムの中に収集されたデータ項目を自由に選択、かつ条件を設定し抽出が可能なこと。		
4.2.11.79				・一度設定した条件は記憶することができ、同じ条件で集計を繰り返し使用が可能なこと。		
4.2.11.80				・受付日別検体数、保険点数が表示可能なこと。		
4.2.11.81				・診療科別検体数、保険点数が表示可能なこと。		
4.2.11.82				・病棟別検体数、保険点数が表示可能なこと。		
4.2.11.83				・任意にカスタマイズしたフォーマットを元に CSV・EXCEL出力が可能なこと。		
4.2.11.84		検索・検索入力		・検査結果の問い合わせができること。		
4.2.11.85				・検体番号・患者番号・患者名・科・病棟・材料・菌名・受付日・採取日・報告日で検索が可能なこと。		
4.2.11.86				・検索条件の保存が可能なこと。		
4.2.11.87				・検索後、対象検体の結果入力が可能なこと。		
4.2.11.88		マスター管理		・診療科・病棟・材料・菌・薬剤等のマスターを、画面から容易にメンテナンスできること。		
4.2.11.89				・マスターは管理者のみが修正・登録できること。		
4.2.11.90		疫学統計システム	基本動作	・統計システムは Microsoft Internet Explorer 11 で動作することでき、他 PCからの疫学統計システムの使用が容易なこと。		
4.2.11.91				・受付日での期間範囲変更・条件設定が可能なこと。		
4.2.11.92				・受付日(範囲)、重複条件(期間、材料、科・病棟)、報告日(範囲)、採取日(範囲)、年齢(範囲)、検体番号(範囲)、患者 ID(範囲)、患者名(一部分を含む)、性別(複数選択)、入外区分(複数選択)、診療科(複数選択)、病棟(複数選択)、医師(複数選択)、検査目的(複数選択)、材料(複数選択)、材料コメント(複数選択)、基礎疾患(複数選択)、疑う感染症(複数選択)、一般細菌菌名(複数選択)、パネル(複数選択)、菌量(複数選択)、バイオタイプ、βラクタマーゼ、薬剤(複数選択)、SIR(複数選択)で詳細条件を絞込みが可能なこと。		
4.2.11.93				・詳細絞込み条件の登録、呼出が可能なこと。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.11.94				・先月、先週の受付日の期間指定はワンタッチで選択が可能なこと。		
4.2.11.95				・菌セットマスターの登録、編集、削除が可能なこと。		
4.2.11.96				・薬剤セットマスターの登録、編集、削除が可能なこと。		
4.2.11.97				・検体番号から容易に検体情報が参照可能なこと。		
4.2.11.98				・患者IDから容易に検査履歴が参照可能なこと、また検査履歴一覧は EXCELに出力可能なこと。		
4.2.11.99				・統計結果の集計値から対象となる検体を リスト表示 し、検体情報または 検査履歴が容易に参照可能なこと。		
4.2.11.100			検体リスト	・条件で設定された検体は検体番号、診療科、病棟、材料、入外、菌、受付日、報告日で並替指定ができ、リストとして 画面表示 ・ EXCEL 出力可能なこと。		
4.2.11.101				・検体リストは 受付日、検体番号、患者 ID、患者 名、性別、年齢、入外区分、診療科、病棟、医師、菌名、菌量 ・ 指定した 50 薬剤までの感受性結果が表示可能なこと。		
4.2.11.102			多剤耐性菌リスト	・菌名 ・ 材料 ・ 薬剤と判定の組み合わせ の 5 個セットを複数条件設定し 多剤耐性菌リストが画面表示 ・ EXCEL 出力が可能なこと。		
4.2.11.103				・多剤耐性菌リストは 受付日、検体番号、患者 ID、患者 名、性別、年齢、入外区分、診療科、病棟、医師、菌名、菌量 ・ 指定した 50 薬剤までの感受性結果が表示可能なこと。		
4.2.11.104			カスタム リスト	・リストは 受付日、検体番号、患者 ID、患者 名、性別、年齢、入外区分、診療科、病棟、医師、菌名、菌量、菌コメント、指定した 50 薬剤までの感受性結果、迅速検査、迅速検査結果から EXCEL 出力の項目を選択できること。		
4.2.11.105				・リストについては次の条件で絞り込むことができること。 報告日(範囲)、採取日(範囲)、年齢(範囲)、検体番号(範囲)、患者 ID(範囲)、患者名(一部分を含む)、性別(複数選択)、入外区分(複数選択)、診療科(複数選択)、病棟(複数選択)、医師(複数選択)、検査目的(複数選択)、材料(複数選択)、材料コメント(複数選択)、基礎疾患(複数選択)、疑う感染症(複数選択)、一般細菌菌名(複数選択)、パネル(複数選択)、菌量(複数選択)、バイオタイプ、βラクタマーゼ、薬剤(複数選択)、SIR(複数選択)		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.11.106				・リストで設定した内容と条件は名前をつけて 200 個 登録 が可能なこと。		
4.2.11.107			アンチバイオグラム	・指定した 複数の菌と 50 薬剤までの感受性スペクトル(アンチバイオグラム)が表示可能なこと。		
4.2.11.108				・アンチバイオグラムは指定した判定値の割合を指定した色で結果が画面 表示 ・ EXCEL 出力可能なこと。		
4.2.11.109				・アンチバイオグラムの集計値から該当する検体のリストを薬剤感受性結果付きで参照可能なこと。		
4.2.11.110			新規・継続患者リスト・分離推移表	・指定した菌または複数菌 に対する新規・継続患者リストを画面 表示 ・ EXCEL 出力可能なこと。		
4.2.11.111				・新規・継続患者のリストは新規患者のみ・継続患者のみ・新規と継続患者を選択し画面表示 ・ EXCEL 出力可能なこと。		
4.2.11.112				・指定した菌に対しては新規 ・ 継続、受付検体数受付患者数の 12 ヶ月間の複合グラフが表示可能なこと。		
4.2.11.113			菌出現者別月内管理	・指定した菌を検出した患者の1ヶ月間の分離状況を病棟別に画面 表示 ・ EXCEL 出力可能なこと。		
4.2.11.114			入外別検出レポート	・指定した菌の検出数と患者数を 入院、外来別に集計した縦棒グラフが画面 表示 ・ EXCEL 出力可能なこと。		
4.2.11.115			月別分離菌頻度	・3ヶ月間に検出した菌株数の多い上位 10 菌種を対象に月毎に集計した円グラフが画面 表示 ・ EXCEL 出力可能なこと。		
4.2.11.116			陽性率	・受付を行った検体から菌の検出があった検体数の割合で陽性率を画面表示 ・ EXCEL 出力 可能なこと。		
4.2.11.117				・陽性率は 病棟、診療科、入外、材料、材料グループ、受付日(月)、受付日(週)、受付日(年) より 2 つ選択 し詳細表示して画面表示 ・ EXCEL 出力可能なこと。		
4.2.11.118			菌集計	・行項目、列項目、改ページの項目を 菌名、菌セット、病棟、診療科、入外、材料、材料グループ、菌量、受付日(週)、受付日(月)、受付日(年) から選択し菌出現数を画面表示 ・ EXCEL 出力可能なこと。		
4.2.11.119				・設定した条件の菌出現数の棒グラフを自動生成でき画面 表示 ・ EXCEL 出力可能なこと。		
4.2.11.120				・菌集計で設定した条件は名前をつけて 200 個登録が可能なこと。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.11.121			薬剤 集計	・ 行項目、改ページの項目を、菌名、菌セット、病棟、診療科、入外、材料、材料グループ、菌量、受付日(週)、受付日(月)、受付日(年)から選択し列項目を薬剤にした薬剤感受性率を画面表示・EXCEL出力可能なこと。		
4.2.11.122				・ 設定した条件の薬剤感受性率のグラフを自動生成でき画面表示・EXCEL 出力可能なこと。		
4.2.11.123				・ 薬剤集計で設定した条件は名前を付けて 200 個登録が可能なこと。		
4.2.11.124			MIC 集計	・ 菌名、菌セット、病棟、診療科、入外、材料、材料グループ、菌量、受付日(週)、受付日(月)、受付日(年)から選択した薬剤の累積 MIC 率を画面表示・EXCEL 出力可能なこと。		
4.2.11.125				・ 設定した条件の累積 MIC 率のグラフを自動生成でき画面表示・EXCEL 出力可能なこと。		
4.2.11.126				・ MIC 集計で設定した条件は名前をつけて 200 個登録が可能なこと。		
4.2.11.127			一括出力	・ EXCEL出力可能な統計システムの全ての内容をワンクリックで EXCEL のシート毎に出力可能なこと。		
4.2.11.128				・ 定期的に出力する複数の統計システムの内容をセット保存が可能なこと。		
4.2.11.129			迅速検査集計	・ 迅速検査項目、迅速検査結果、病棟、診療科、入外、材料、材料グループ、受付日(週)、受付日(月)、受付日(年)から選択した迅速検査の集計を画面表示・EXCEL出力可能なこと。		
4.2.11.130				・ 設定した条件の迅速検査集計の棒グラフを自動生成でき画面表示・EXCEL出力可能なこと。		
4.2.11.131				・ 迅速検査集計で設定した条件は名前をつけて 200 個登録が可能なこと。		
4.2.11.132			血培 2 セット率	・ 日別・月別・年別・診療科別・病棟別を 1 セット、2 セット、3 セットを件数とグラフ表示を EXCEL出力可能なこと。		
4.2.11.133				・ 陽性患者数・陽性率も出力可能なこと。		
4.2.11.134		データ保存		・ 外部媒体に検査データ・マスター・画像・疫学統計システム設定条件を保存可能なこと。		
4.2.11.135		電子カルテ連携		・ 電子カルテとのオンラインが可能なこと。		
4.2.11.136				・ 細菌検査のオーダー情報の受信、到着確認情報・検査結果情報を送信が可能なこと。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.11.137		到着確認		・電子カルテまたはオーダーリングシステムで出力された採取ラベルバーコードを読み取り、検体の到着確認が可能なこと。		
4.2.11.138				・一般細菌・抗酸菌・迅速検査の到着確認が可能なこと。		
4.2.11.139				・採取予定日を一定期間過ぎたオーダー情報を非表示することが可能なこと。		
4.2.11.140				・到着確認を行った検査依頼の詳細情報を、画面で確認が可能なこと。		
4.2.11.141				・採取日の未来日チェックが可能なこと。		
4.2.11.142				・到着確認時に依頼項目・材料の条件にて設定された培地名のラベルを印刷可能なこと。		
4.2.11.143		分析器オンライン		・バイオメリュージャパン製の 同定感受性の分析器の連携が可能なこと。		
4.2.11.144		データ移行		・データ 移行に伴う現行細菌システム（パイオリンク からのデータ抽出費用、及び新規導入するシステムへの移行費用の全てを本見積に含めること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.12	輸血検査システム					
4.2.12.1		電子カルテ連携	患者属性情報	・患者IDを入力することにより患者情報の最新が取得できること。		
4.2.12.2			検査オーダー	・電子カルテもしくはLISとの接続を行い、検査依頼データを受信できること。		
4.2.12.3				・検査オーダーを表示し内容の確認ができること。		
4.2.12.4			検査結果送信	・電子カルテへ検査結果の送信ができること。		
4.2.12.5			製剤オーダー	・電子カルテより輸血製剤依頼情報を受信できること。		
4.2.12.6			出庫情報送信	・電子カルテへ製剤出庫情報の送信ができること。		
4.2.12.7			輸血済み情報送信	・電子カルテへ輸血実施情報の送信ができること。		
4.2.12.8			実施情報送信	・電子カルテへ輸血製剤の実施を行った情報の送信ができること。		
4.2.12.9			自己血採血情報	・自己血の採血スケジュール情報の受信ができること。		
4.2.12.10			自己血貯血情報送信	・電子カルテへ自己血採血により貯血した情報の送信ができること。		
4.2.12.11		輸血検査業務	検査オーダー確認	・検査オーダーの受信及び検査状況の確認ができること。		
4.2.12.12			検査受付	・検査で使用する検体の受付を行い、検査依頼の作成ができること。		
4.2.12.13			検査依頼分析器送信	・分析器と接続することにより、血液型、不規則抗体などの検査依頼の送信ができること。		
4.2.12.14			検査結果入力・取込	・各検査依頼に対して行った検査結果の入力ができること。		
4.2.12.15				・分析器を使用する事によりデータ取り込みができること。		
4.2.12.16		製剤業務	製剤オーダー確認画面	・製剤オーダーの依頼状況確認ができること。		
4.2.12.17			製剤入庫	・製剤の入庫処理ができること。		
4.2.12.18			日赤発注機能	・日赤への発注書出力ができること。		
4.2.12.19			FPD入庫機能	・製剤の入庫処理がフロッピーディスクを使用してできること。 (日赤が対応の場合)		
4.2.12.20			照射登録画面	・院内で照射を行った場合に照射登録ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.12.21			廃棄・返品登録画面	・製剤の廃棄・返品ができること。		
4.2.12.22			製剤依頼・割当・出庫・輸血済み画面	・輸血依頼に対して割付・出庫・輸血済みと一連の操作ができること。		
4.2.12.23			交差試験依頼分析器送信画面	・分析器と接続することにより、交差試験の検査情報の送信ができること。		
4.2.12.24			製剤依頼スケジュール画面切替機能	・メイン画面の輸血製剤依頼表示を3パターン用意し、運用に切り替えができること。		
4.2.12.25		自己血業務	自己血予約・採血画面	・自己血の採血スケジュールから採血した自己血の登録と貯血情報の確認ができること。		
4.2.12.26		分画製剤	分画製剤管理(入庫・投与)	・分画製剤の入庫から出庫及び実施記録の管理ができること。		
4.2.12.27		患者情報	患者データ画面	・患者の検査データや輸血記録の参照ができること。		
4.2.12.28			患者検索	・患者IDを入力し、選択された患者データの参照ができること。		
4.2.12.29		その他	抗HLA/PLT抗体結果入力画面	・抗HLA/PLTの結果入力ができること。		
4.2.12.30			検体保存画面	・輸血前の検体保管に対応し、検体ラックのレイアウトを決めることにより登録ができること。		
4.2.12.31			データCSV出力機能	・製剤記録、在庫製剤、輸血歴、検査記録、交差試験記録、輸血済み記録輸血予定のデータをCSVに出力し自由にデータ加工ができること。		
4.2.12.32			データ分析(術式別輸血量)	・術式別に輸血量算定ができること。		
4.2.12.33			データ分析(診療科別C/T比)	・診療科別に交差試験と輸血実施のC/T比計算ができること。		
4.2.12.34			データ分析(患者別輸血効果分析)	・患者別に輸血効果の分析ができること。(赤血球製剤、血小板製剤、血漿製剤)		
4.2.12.35			輸血療法実績集計機能	<p>・輸血療法の実績についての集計ができること。</p> <p>集計機能は下記条件。</p> <p>年間の輸血実施患者数</p> <p>* 同一疾患、同一患者に対する輸血は1名として計算。</p> <p>指定期間の</p> <p>①同種血のみ人数②自己血のみ人数③同種血、自己血併用人数</p> <p>①+②+③ 合計人数</p> <p>製剤別血液製剤使用量</p> <p>製剤別血液製剤廃棄量</p> <p>自己血輸血量を集計</p>		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.12.36			製剤使用状況集計機能	<ul style="list-style-type: none"> 集計機能は下記条件とすること。 機能1: 診療科、病棟、医師別に製剤の使用数/廃棄数を集計。 機能2: 製剤の種類別に数量と金額を集計。 機能3: 集計結果をEXCELに貼り付け可能。 * 科/病棟が不明な廃棄血については、最終の出庫先、最後に割当てられた輸血予定、最後に交差試験を行った時の診療科の順で、科/病棟を特定する。(「最後に割当てられた輸血予定」は、処理済になっている予定を対象に検索。) * 自己血の廃棄血は、採血済み輸血予定、現在の患者属性の順で科/病棟を特定。 		
4.2.12.37			在庫照会	<ul style="list-style-type: none"> 在庫の確認を行うことができること。 切り分け 日赤製剤、期限切迫日赤製剤、フリー、割当、出庫中製剤、自己血、期限切迫自己血 		
4.2.12.38			製剤検索	<ul style="list-style-type: none"> 製剤番号(LOT番号)を入力し製剤情報を参照できること。 		
4.2.12.39			帳票類カスタマイズ機能	<ul style="list-style-type: none"> 予約/割当リスト、割当ラベル、交差試験結果リスト、交差試験適合ラベル、出庫製剤リスト、輸血製剤リスト、返品製剤リスト、廃棄製剤リスト、自己血ラベル、検査結果リスト、検査結果ラベル、分画製剤LOTNOラベル 日赤発注書 		
4.2.12.40			レポート	<ul style="list-style-type: none"> 日報・月報統計帳票(固定レイアウト) 		
4.2.12.41		不規則抗体同定支援システム	Quick Antigam	<ul style="list-style-type: none"> 分析器からの同定検査結果取り込みができること。 専用同定血球アンチグラムを入力し消去法を用いて支援を行う。 レポート印刷もできること。 		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.13	採血管準備システム					
4.2.13.1		採血・採尿受付機		・採血業務支援システムと連携し、診察券を挿入、もしくは患者 ID のバーコード読み取りにより取得したオーダー情報に応じて、バーコードラベルの貼付されたハルンカップの発行、採血整理券の発行が可能であること。		
4.2.13.2				・診察券の磁気カード読み取りのカードリーダー、依頼票の患者 ID 読み取りに対応するバーコードリーダーが装置前面に搭載されていること。		
4.2.13.3				・診察券挿入方法等をアニメーションで案内することが可能であること。		
4.2.13.4		自動採血管準備装置		・採血業務支援システムと連携し、1 患者採血管 4 本と仮定する場合、1 時間に300 人の採血管自動貼付、ラベル発行が可能であること。		
4.2.13.5				・ラベルの補充は新しいラベルをセットして、ボタンを押すことにより台紙の巻取り、ラベルの頭出しまで完了すること。		
4.2.13.6				・1 巻あたりのラベル枚数は 3000 枚以上であること。		
4.2.13.7				・装置上の PC 画面、装置全面のランプから積載採血管の残量を確認できること。		
4.2.13.8				・あらかじめラベルの貼られた採血管に重ねてラベルを貼りつける機能を有すること。		
4.2.13.9				・貼付プリンタのラベルがなくなった場合、ラベルのある他ユニットのプリンタを使い全管種の自動貼付を続行すること。他ユニットのプリンタへの切替は自動で行うこと。		
4.2.13.10				・採血管に貼付したラベルのバーコードがバーコードリーダーで読めるかチェックする機能を有すること。		
4.2.13.11				・装置前面、積み重ね部には確実に準備が完了した採血管のみ発行すること。		
4.2.13.12				・エラー発生時に作成された不完全の採血管、ラベルは正常準備された採血管、ラベルの入ったトレイと排出場所が異なること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.13.13				・採血管ケース内に異なる採血管が混入した場合、管長、管径、キャップ色情報を基に装置上の PC にアナウンスを出す機能を有すること。		
4.2.13.14				・採血管の補充はケース毎に行うこと。ケース補充間違いを防ぐために、位置ではなく、ケース毎に採血管を認識すること。		
4.2.13.15				・長野県内にメーカーのサービスマンが常駐していること。		
4.2.13.16		電動昇降採血台 付 採血 情報端 末		・採血管準備装置より発行された採血指示書のバーコードを読み取ること で、患者の採血整理番号を採血台のモニターに表示するとともに、採血 情報端末に採血情報が表示されること。		
4.2.13.17				・また、患者の採血整理券と採血指示書で患者照合ができること。		
4.2.13.18				・採血担当者、照合日時、採血担当者、患者番号、患者氏名、穿刺位置 及び照合結果を記録可能であること。情報端末には採血内容、採血コメ ント、前回穿刺位置 が表示されること。		
4.2.13.19				・また、採血コメントの選択入力が可能であること。		
4.2.13.20				・採血採尿受付機、自動採血管準備装置との連動により、採血業務の TAT 分析が可能であること。		
4.2.13.21				・受付時間、呼出時間、採血終了時間を上位システムに送信する機能を 有すること。		
4.2.13.22				・採血架台に情報端末、バーコードリーダー、呼出表示モニターが固定さ れていること。		
4.2.13.23				・また、端末、呼出表示モニターの向き、高さは調整可能であること。		
4.2.13.24				・採血架台に電動昇降採血台が取り付けられていること。		
4.2.13.25				・また、電 動昇降採血台は ボタンで 650 mm 900 mm の高さに調整でき ること。		
4.2.13.26				・採血情報端末で他採血台に採血援助の要請・メールの送信ができるこ と。		
4.2.13.27				・標準搭載のソフトウェアにより負荷試験の進捗管理を行う機能を有する こと。		
4.2.13.28				・また、2 回目以降の採血時間が近づいてきたら点滅等で通知する機能を 有すること。		
4.2.13.29				・同性患者の呼出がある場合は 通知 を出す機能を有すること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.13.30				・採血管準備装置からラベルのみで出力されたものがあつた場合、患者呼出時、貼付する採血管の画像を表示する機能を有すること。		
4.2.13.31				・受付待機画面で受付 済み、採血待ち の患者 の一覧を確認可能であること。		
4.2.13.32				・採血注意事項をピクトグラムで確認する機能を有すること。		
4.2.13.33		整理券プリンタ		・採血業務支援システムと連携し、受付に設置し、整理券を発行する機能を有すること。		
4.2.13.34				・印字幅は 72 mm 以上であること。		
4.2.13.35				・ドット幅は縦横 8ドット mm 以上であること。		
4.2.13.36		外待ち表示システム		・採血業務支援システムと連携し、採血採尿受付機、整理券プリンタの整理券発行状況、患者採血状況を基に、採血患者の呼出、不在保留番号の表示を行う機能を有すること。		
4.2.13.37				・外待ち表示システム管理 PC1 台、37 インチ以上のモニター 1 枚で構成されること。		

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.14	生理検査システム					
	生理検査システム	ハードウェア		生理検査システムハードウェア一式は以下の要件を満たすこと。 ただし、webサーバであるならば不要とする。		
4.2.14.1		データ管理サーバー	データ管理サーバー	・データ管理サーバ1台は、以下の要件を満たすこと。		
4.2.14.2			CPU性能	・CPUはインテルXeonプロセッサE-2124 (3.3GHz) 相当以上であること。		
4.2.14.3			メモリ	・主記憶装置の容量は8GB以上であること。		
4.2.14.4			ハードディスク	・ハードディスク容量は実効容量3TB以上であること。		
4.2.14.5			冗長化	・データ保存部のハードディスクはRAID1またはRAID5の構成で、単一故障でもデータの損失に陥らないこと。またホットスペアを備えること。		
4.2.14.6			ネットワーク	・1000Mbps以上のLANインターフェイスカードを2基装備すること。		
4.2.14.7			ネットワーク	・通信プロトコルはTCP/IPに対応していること。		
4.2.14.8			OS	・OSはMicrosoft Windows Server 2016 standard相当以上であること。		
4.2.14.9			DBMS性能	・データベースソフトは実績のあるRDBMSを使用すること(フリーソフトは不可)。		
4.2.14.10			UPS	・無停電装置を有すること。		
4.2.14.11			UPS	・一定条件を超える停電時、本システムを自動シャットダウンする機能を有するとともに、復旧後自動的に本システムが起動する機能を装備していること。		
		WEBサーバ	WEBサーバ	WEBサーバ1台は、以下の要件を満たすこと。(WEBサーバはDBサーバとの同居も可)		
4.2.14.12			CPU性能	・CPUはインテルXeonプロセッサE3-1220 (3.1GHz) 相当以上であること。		
4.2.14.13			メモリ	・主記憶装置の容量は8GB以上であること。		
4.2.14.14			ハードディスク	・ハードディスクは実効容量1TB以上を実装すること。		
4.2.14.15			冗長化	・データ保存部のハードディスクはRAID1またはRAID5の構成で、単一故障でもデータの損失に陥らないこと。またホットスペアを備えること。		
4.2.14.16			ネットワーク	・1000Mbps以上のLANインターフェイスカードを2基装備すること。		
4.2.14.17			ネットワーク	・通信プロトコルはTCP/IPに対応していること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.14.18			OS	・OSはMicrosoft Windows Server 2016 standard相当以上であること。		
4.2.14.19			UPS	・無停電装置を有すること。一定条件を超える停電時、本システムを自動シャットダウンする機能を有するとともに、復旧後自動的に本システムが起動する機能を装備していること。		
		バックアップ	バックアップ	バックアップ用ハードディスク1台は、以下の要件を満たすこと。		
4.2.14.20			ネットワーク	・イーサネット100Base-TX/1000Base-TIによるネットワーク接続機能を有すること。		
4.2.14.21			ハードディスク	・ハードディスクは実効容量5TB以上を実装すること。		
		サーバディスプレイ		サーバディスプレイは以下の要件を満たすこと。		
4.2.14.22			サーバディスプレイ	・対角17インチ以上のTFT液晶フルカラーディスプレイであること。		
4.2.14.23			解像度	・ディスプレイの解像度は、1024X768ドット以上、表示色1619万色以上の表示機能を有すること。		
		サーバラック		サーバラック1台は、以下の要件を満たすこと。		
4.2.14.24			サーバラック	・ラックマウント型サーバを格納可能な、19インチサーバラックであること。		
		検査開始機能		検査開始機能として、以下の機能を有すること。		
4.2.14.25			受付済一覧	・各生理機能検査室端末において、当該検査室における該当生理機能検査の受付済検査オーダー一覧を表示する機能を有すること。		
4.2.14.26			検査開始	・受付済検査オーダー一覧から、検査オーダーを選択し検査開始操作により検査状態を受付済から検査中に変更する機能を有すること。		
4.2.14.27			機器連携	・既存の心電計(FCP-8800、FCP-8321)、血圧脈派検査装置(VS-3000TE)または各検査ファイリングシステムから検査開始情報を取得し、自動的に検査状態を受付済から検査中に変更する機能を有すること。		
		システム管理機能		システム管理機能として、以下の機能を有すること。		
4.2.14.28			HIS連携	・病院情報システムと通信を行う機能を有すること。		
4.2.14.29			HIS連携	・既存の連携仕様を踏襲し、オーダー受信、結果表示が行えること。		
4.2.14.30			依頼情報受信	・病院情報システムから生理機能検査依頼情報を受信し、検査状態を依頼中としてデータベースに格納する機能を有すること		
4.2.14.31			修正情報受信	・病院情報システムから生理機能検査依頼訂正情報を受信し、該当検査内容を更新する機能を有すること。		
4.2.14.32			キャンセル情報	・病院情報システムから生理機能検査キャンセル情報を受信し、該当検査を削除する機能を有すること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.14.33			WEB配信	・生理機能検査報告書内容をWebサーバから病院情報システムへWeb配信する機能を有すること。		
4.2.14.34			障害時処理	・病院情報システムダウン時、送信情報を保留・蓄積し病院情報システム復旧後一括して保留していたデータを送信する機能を有すること。		
4.2.14.35		ME機器接続		・ME機器接続		
4.2.14.36			心電計接続	・既存の心電計FCP-8800、FCP-8321と心電図ファイリングシステムとを連携し、オーダ連携・検査結果連携を行うこと。		
4.2.14.37			呼吸機能検査装置	・既設呼吸機能検査装置と連携し、検査結果を受信できること。		
4.2.14.38			呼吸機能検査装置	・受信した検査結果は電子カルテで参照できること		
4.2.14.39			血圧脈派検査装置	・既存の血圧脈派検査装置VS-3000TEと連携し、オーダ連携・検査結果連携を行うこと。		
4.2.14.40			血圧脈派検査装置	・また、同一被検者の10件の数値時系列比較機能を有すること。		
4.2.14.41			血圧脈派検査装置	・CAVIの数値を時系列表示できること。		
4.2.14.42			ホルター心電図	・既存のホルター解析装置(SCM-6600)と連携し、長時間心電図検査の圧縮波形の保存対応が可能で、圧縮波形のみもしくは圧縮波形+トレンド表示が可能であること。		
		システム管理機能		システム管理機能として、以下の機能を有すること。		
4.2.14.43				・システムでデータ保護機能を有すること。マスタファイルはユーザが保守する機能を有すること。		
4.2.14.44				・システムのバックアップは一定時間毎に自動的バックアップする機能を有すること。		
4.2.14.45				・障害対策としてリモート保守機能を有し、遠隔操作にて障害の追跡・復旧が出来る機能を有すること。		
4.2.14.46		旧システムからの移行		・既存の心電図波形ファイリングシステムに保存されている過去データを移行できること。		
4.2.14.47		旧システムからの移行		・過去データについては、心電図・ホルター心電図・血圧脈派の全波形データも含め波形データをして完全移行できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2	部門システム					
4.2.15	病理検査システム					
4.2.15.1		連携		・電子カルテと連携すること		
4.2.15.2				・既存医療機器と連携すること		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.16	透析管理システム					
4.2.16.1		連携	基本	・既存の透析管理システムと電子カルテを接続すること。 接続内容は以下とする。		
4.2.16.2			患者基本情報連携	・患者IDを指定し、電子カルテより透析患者の基本情報を取得すること。		
4.2.16.3				・登録済み患者については、日に一度定期更新を行うこと。		
4.2.16.4			透析予定情報連携	・透析管理システムより、指示入力確定された時点で、透析予約情報を電子カルテへ送信すること。		
4.2.16.5			透析実施情報連携	・透析管理システムより、透析終了後、記録情報を確定した時点で、電子カルテへ透析実施情報を送信すること。		
4.2.16.6			透析レポートPDF連携	・透析管理システムより、透析終了後、記録情報を確定した時点で、透析記録用紙PDFを透析管理システム側の連携サーバに蓄積し、電子カルテからの参照ができること。		
4.2.16.7			血液検査結果情報連携	・登録済み患者の血液検査結果を、電子カルテより定期的に取得すること。		
4.2.16.8			コスト連動	・透析管理システムのレセプトデータが、電子カルテのレセコン送信出来ること		

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2	部門システム					
4.2.17	放射線検査部門システム					
	放射線部門システムは放射線情報システム(以下「RIS」という)、医用画像管理システム(レポートシステム含む)(以下「PACS」という)、それらにかかわる周辺機器の更新を含めたシステム化範囲とする。また電子カルテシステム(オーダーリングシステム含む)、医事会計システム、各モダリティとの連携も仕様の範囲とする。放射線部門システムはRIS、PACS各システムベンダー及び周辺機器を含めた現在運用中と同様の統合システムでの更改とすること。					
4.2.17.1	RIS	全般	画面表示設定機能	・[全体共通][端末区分][端末][ユーザー][ユーザー+端末]ごとに条件に応じて画面レイアウトを自由に変更でき、記憶できること。		
4.2.17.2				・縦型モニターでも見やすいレイアウトに設定変更できること。		
4.2.17.3				・RIS画面内に現在時刻を表示設定できること。表示形式は[時・分][時・分・秒][年・月・日・曜日・時・分・秒]等が選択でき、フォントの設定(色・大きさ・スタイル)ができること。		
4.2.17.4			ログイン機能	・職員コードまたは独自のID、パスワードによるログインができること。また利用者の権限に応じて、利用機能の制限がかけられること。		
4.2.17.5				・指定桁数分のIDを入力後、自動的にパスワード入力欄にフォーカスを移動し、連続入力ができること。		
4.2.17.6				・システム間でのシングルサインオンに対応し、RISから他システムの起動や他システムからRISが起動できること。		
4.2.17.7				・ログイン画面に連絡事項等が表示できること。(掲示板機能)またログイン後はログイン者の氏名、職種、所属部門等が表示されること。		
4.2.17.8		検査管理	検査予約・予定表機能	・検査種別にスケジュールの管理ができること。		
4.2.17.9				・電子カルテオーダーリングシステムの撮影予約と連動すること。		
4.2.17.10				・[全体共通][端末区分][端末][ユーザー][ユーザー+端末]ごとに検査予定一覧に表示させる検索プリセットボタンを設定し、記憶できること。		
4.2.17.11				・撮影室別の割り振り入力ができること。また撮影予約の修正、変更ができること。		
4.2.17.12				・検査予定一覧が[過去日、当日、未来日][検査種別][ステータス別]等の組み合わせで表示でき、患者を選択できること。		
4.2.17.13				・予約患者の来院状況及び他の診療検査スケジュールが把握できること。		
4.2.17.14				・検査予定一覧で外来・入院ごとに色分けが設定、表示できること。また表示されている項目のキーワードを指定することにより指定した項目のみ文字色や背景色の設定、表示できること。		
4.2.17.15				・検査予定一覧で選択している患者の進捗情報、当日の他検査、検査履歴、検査予定を同一画面内に表示できること。またそれぞれ色分け設定、表示できること。		
4.2.17.16				・検査予定一覧で選択している患者の検査ステータス、検査種別などで文字色や背景色を自由に色分け設定、表示できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.17.17				・ 予定一覧の文字の大きさ、項目の順番、表示・非表示の変更がユーザー設定でできること。		
4.2.17.18				・ オーダーされた撮影の依頼情報を把握するため予約患者一覧表を検査種別等で印刷あるいはCSVへ出力できること。		
4.2.17.19				・ 当日検査内で同姓同名の患者がいる場合はチェックまたは色分けで注意を促すことができること。		
4.2.17.20				・ 予約一覧上のオーダーにチェック印を付けることができること。チェックを付けると全てのRIS端末上でチェックされたことがわかること。チェック表記は自由に設定できること。		
4.2.17.21				・ 予約一覧上でRIS内のフリーコメントの編集ができること。		
4.2.17.22				・ 予約一覧上で検査状態、感染症患者、病棟呼出済み、他室で撮影中、保留(依頼内容を変更して保存した状態)など文字や色をわけで表示できること。		
4.2.17.23				・ 検査名やコメントに当該する文字列(ユーザー設定できること)が含まれている場合、該当する検査に色付け表示する設定ができること。		
4.2.17.24				・ 患者ID、氏名、生年月日(西暦・和暦)で検索できること。		
4.2.17.25				・ 予約一覧の自動更新機能があり、更新間隔はユーザー側で秒単位の指定ができること。ただし指定可能な最短時間はシステムで設定できること。		
4.2.17.26				・ 予約一覧から選択した患者の画像ビューア、レポート参照画面が起動表示できること。		
4.2.17.27				・ 予約一覧と同一画面上に放射線レポートのオーダーごとの所見サマリを表示できること。		
4.2.17.28		検査受付	患者受付・検査照会機能	・ 患者受付は電子カルテ側で発行した基本カードや受付票のバーコード、リストバンドのバーコードを使用しバーコードリーダーでの受付実施が行えること。また患者ID、氏名、生年月日のキーボード入力や検査予約患者一覧からも受付実施が行えること。		
4.2.17.29				・ バーコードリーダーを使用した患者受付を行うため、カーソルが患者ID欄にない場合、一定時間の非操作時には患者ID欄にカーソルが自動的に移動していること。		
4.2.17.30				・ 同一患者に対して同一日複数の検査オーダーがある場合は全検査選択状態にでき、一括受付あるいは個々の検査ごとの選択受付ができること。		
4.2.17.31				・ 受付済み検査オーダーに対し受付取り消し(キャンセル)ができること。		
4.2.17.32				・ 受付時に患者状態により至急等の指定ができること。また複数検査がある場合には優先順位が指定できること。		
4.2.17.33				・ 受付にて検査時の注意事項、連絡事項等の定型、フリーコメントが入力できること。入力されたコメント等は検査実施端末で色付け等で把握できるように表示されること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.17.34				・DWH等のシステムと連携し、受付患者の受付確認画面に採血、心電図、超音波検査等の他部門検査の予定が表示できること。		
4.2.17.35				・DWH等のシステムと連携し、受付患者の詳細情報が確認表示できること。(アレルギー、感染症障害、身体装着装置情報等)		
4.2.17.36				・電子カルテ側の再来受付機等で受付された外来患者の受付時刻が表示されること。(再来受付機との連携)		
4.2.17.37				・放射線科で受付した時刻が表示されること。		
4.2.17.38				・外来患者の場合、電子カルテ側の再来受付番号が表示できること。 入院など再来受付番号の発行がない場合は、RIS独自の受付番号が表示されること。		
4.2.17.39				・受付画面から各撮影室の受付済みの患者人数が把握できること。また受付済みの他、撮影中、撮影済みなどの各ステータスによる患者が把握できること。		
4.2.17.40				・受付端末以外の端末であっても、受付端末と同様の受付処理ができること。		
4.2.17.41				・RISに登録済みの患者情報あるいはRISで新規登録した患者情報を利用して、RIS独自にオーダー登録できること。		
4.2.17.42			放射線部門受付 帳票発行機能	・受付時、患者氏名、患者ID、IDバーコード、性別、生年月日、検査内容(部位等)、他検査情報、検査目的、依頼コメント等が記載された検査指示書が自動発行できること。検査指示書は検査種ごとに必要・不要が設定できること。		
4.2.17.43				・緊急時等、必要に応じて患者氏名、患者ID、IDバーコード、性別、生年月日、撮影部位、複数検査時の撮影順序、放射線科受付時間、受付番号などが記載された部門受付票の発行ができること。		
4.2.17.44		検査管理	撮影管理機能	・撮影モダリティーの表示ができること。		
4.2.17.45				・検査開始は患者ごとのバーコード(基本カード、受付票、リストバンド)を使用して行うことができること。		
4.2.17.46				・患者の個別情報、撮影依頼情報、撮影履歴のサマリ表示ができること。		
4.2.17.47				・撮影依頼単位で担当技師名、曝射記録、撮影条件、撮影回数、方向数、コメント、実施医師名、担当看護師名の撮影実施入力ができること。		
4.2.17.48				・DWH等のシステムと連携し、患者の検査結果項目や他検査、手術予定などを同じ画面で表示できること。また検査結果項目のタイトルにマウスポインターを持っていくことで、項目ごとの正常値を表示できること。		
4.2.17.49				・入力が簡略化できるように実施情報(検査内容、薬剤、器材、医事処置等)はデフォルト値を設定できること。その実施情報は変更、追加ができること。また各モダリティーから実施情報を取り込めること。		
4.2.17.50				・オーダーリング側(HIS)からの一つの検査オーダーに対し、RIS側で複数オーダーに展開できること。その際、それぞれのオーダーに対して実施情報が入力、変更でき実績情報としてそれぞれのオーダー、実施内容を医事会計システムへ伝達できること。		

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.17.51				・検査終了時の確認メッセージが表示できること。また表示させない設定もできること。		
4.2.17.52			検査実施マネジメント機能	・オーダーリング側(HIS)からの検査オーダーに対し、RIS側で検査部位、検査方法、方向などの追加、変更ができること。		
4.2.17.53				・オーダーリング側(HIS)からの患者詳細情報が確認表示できること。(アレルギー、感染症障害、身体装着装置情報等)またオーダー入力された情報が確認できること。(検査目的、シェーマイメージ、コメント等)		
4.2.17.54				・同一患者の同一検査種の複数オーダーを同時に実施できること。実施画面を起動した際には複数オーダー番号順にソートされた状態で撮影オーダーが展開されること。また撮影オーダーの並び替えは自由に変更できること。		
4.2.17.55				・検査実施画面に開いた検査項目に応じた検査マニュアルファイル(pdf形式)を開けること。複数検査がある場合は、検査項目を選択することでそれぞれに応じた検査マニュアルファイルが開けること。検査マニュアルは簡単に設定、登録が行えること。		
4.2.17.56				・一般撮影時の検査オーダーに対する分割撮影が選択できること。(分割撮影、一枚撮影の任意選択ができること)		
4.2.17.57				・撮影開始ボタン(タッチクリック)、またはバーコードによる呼び込み操作により撮影装置への検査内容自動転送ができること。(独自プロトコル、DICOM MWMによる接続ができること)		
4.2.17.58				・検査の際、選択検査のデフォルト条件を検査機器へ送信でき、撮影条件設定を不要にできること。また実撮影条件も受信でき、管電圧、管電流、撮影時間、フィルター種、距離等の情報を利用し、実データによる照射録管理並びにNDD表面線量簡易換算式による推定被曝線量を出力でき保存管理できること。(未対応検査機器は除く)		
4.2.17.59				・手術室のRIS端末は、既存のCR装置(ケアスリーム社製)に対し、カセットID、撮影部位、撮影方向等の条件を直接送信できること。		
4.2.17.60				・ポータブルオーダー一覧の検査を複数選択し、任意のDRコントロール装置(キャノン製)へ一括送信(MWM)できること。		
4.2.17.61				・ポータブル撮影から戻った際に、複数検査のMPPS情報を一括で取り込んで検査実施完了できること。		
4.2.17.62				・検査種ごとに、実施入力時に検査項目を変更した際、それまで入力していた薬剤、器材をプリセットで上書きされない設定ができること。		
4.2.17.63				・検査実施時に、薬剤、器材はバーコード読み取りで入力できること。選択する際は、検査種ごとに絞り込まれた薬剤、器材マスターからのみ選択できること。また設定切り替えにより全ての薬剤、器材マスターからも選択できること。		
4.2.17.64				・検査実績入力画面で、複数検査項目を任意に並び替えができること。		
4.2.17.65				・当該患者が同一日に検査種別の複数検査を受ける際、各検査室で他検査情報を表示することができること。		
4.2.17.66				・MWMを行う際、検査装置へ実施者のイニシャル(アルファベット)を連携させることができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.17.67				・MPPSの再取得機能を有すること。		
4.2.17.68				・核医学検査等における日渡り検査に対応していること。		
4.2.17.69				・保留、撮影中、移動中、検査終了、閉じるボタンの背景色を自由に設定できること。また実績入力の入力欄で、半角文字のみ、全角文字のみの入力制限設定ができること。		
4.2.17.70				・実績入力画面から直接マスタ登録の初期設定に反映できる機能を有すること。		
4.2.17.71			検査履歴管理機能	・過去の検査履歴が確認できること。その際、入力された実績情報(薬剤、器材等)やRIS内部コメント、オーダーリングコメントが表示できること。		
4.2.17.72				・選択した検査の画像ビューア、レポート参照画面を起動、表示できること。		
4.2.17.73			メッセージ、コメント管理機能	・患者単位の患者コメント、オーダー単位のコメント、オーダー単位の撮影時コメント、患者単位の検査種ごとのコメント、オーダー単位の検査処置コメント等のコメントを管理できること。コメントは追記、削除ができ、定型文を利用して記入することができること。定型文は個人用、共通用を検査種ごとに設定できること。		
4.2.17.74				・コメント入力時の利用者、入力日時を自動で表示できるコマンドを定型文に指定できること。		
4.2.17.75				・コメントは履歴管理され、コメント内容、入力者、入力日時を履歴表示できること。		
4.2.17.76				・造影剤副作用履歴を入力できること。入力されている場合、実施画面上で注意表示や色付け表示する設定ができること。		
4.2.17.77				・コメントに当該する注意すべき文字列(ユーザー設定できること)が含まれている場合、該当する検査に色付け表示する設定ができること。		
4.2.17.78				・検査オーダーに対し、依頼医師に報告したいコメント等を入力しオーダーリング側(電子カルテ)に返送、表示させることができること。		
4.2.17.79			情報入力管理機能	・検査実施画面から検査の実施修正処理が行えること。		
4.2.17.80				・検査実施画面上で入力した情報の一時保存が行えること。		
4.2.17.81				・CT、MRIなどモダリティに入力された使用薬剤器材名、使用量等がRIS側へ実施情報返送できること。		
4.2.17.82				・検査オーダーに対し、検査完了後、オーダーリング側(電子カルテ)への検査実施情報、医事会計システム側へ実績情報を返送できること。この際、必須入力項目を設定できること。		
4.2.17.83				・検査完了オーダーから読影オーダーをレポートシステムへ送信できること。		
4.2.17.84		検査スケジュール管理	検査スケジュール管理機能	・未来日検査の件数、内容を検査一覧画面から確認できること。検査種別、外来入院ごとの絞り込み検索ができること。		
4.2.17.85				・オーダーリング側で検査枠が一杯で予約が入らない場合、オーダーリング側から発行される日付未定検査予約を受信し、キャンセル待ちなどの枠外登録(日付未定登録)ができ、当日あるいは未来日へRIS予約登録ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.17.86		物品管理	在庫管理機能	・薬品、材料等の放射線科で使用する物品の在庫管理ができること。また在庫管理には定数管理ができること。		
4.2.17.87				・実績入力情報と連携して在庫数の減産ができること。		
4.2.17.88		統計資料	統計・集計・データ抽出機能	・集計項目はGUIで設定できること。		
4.2.17.89				・クロス集計できること。縦項目、横項目それぞれマスターに登録してある項目をユーザー自身で設定できること。最大3階層まで分類した集計の設定ができること。		
4.2.17.90				・設定した集計項目はテンプレートとして保存できること。テンプレートはフォルダにて分類し管理できること。またフォルダはログイン者しか表示できない個人フォルダの作成ができること。		
4.2.17.91				<ul style="list-style-type: none"> ・以下の集計ができること。 ・検査時年齢(〇〇才以上等)条件による集計 ・時間帯別の集計 ・受付時刻から検査開始時刻までの時間差での検査待ち時間ごとの集計 ・患者IDやオーダー番号を指定した集計 		
4.2.17.92				・特定の集計項目を追加する際、集計項目名をインライン検索で抽出できること。また統計フォーマットの並び順は設定画面で簡単に並び替えができること。		
4.2.17.93				・集計期間の初期状態(今年度、昨年度、先月、昨日等)を設定できること。		
4.2.17.94				・集計結果の数値から集計された内訳を表示し、検査内容の確認ができること。		
4.2.17.95				・テンプレートごとに集計結果を出力先としてEXCELファイル名およびシート名を指定できること。また出力先のEXCELファイルはサーバーにアップロードし利用できること。		
4.2.17.96				・EXCEL出力で、ダイレクトにEXCELとして保存するのではなく、EXCEL編集画面を展開しユーザーが確認後にユーザー自身が保存できること。		
4.2.17.97				・マスタに登録されているすべての項目からキーワードを指定してオーダ、実績情報の抽出ができること。抽出条件は、複数の条件を含む・含まない・いずれかと一致・いずれかが含まれるなど様々な条件を指定できること。		
4.2.17.98			日報・月報出力機能	・放射線科で指定する項目に伴う日報、月報および時間指定の集計が出力できること。		
4.2.17.99				・当直日報として当直時間帯に実施したオーダー一覧が出力できること。対象検査は前日の開始時間から翌日の終了時間を設定できること。		
4.2.17.100				・日報は検査室ごと、時間ごとに絞り込みができ、絞り込み条件はユーザー単位で保存できること。		
4.2.17.101				・申し送り事項、特記事項などコメントを日直、当直ごとに3種類以上保存できること。		
4.2.17.102		始業終業点検	始業終業点検機能	・装置単位で始業点検、終業点検の有無のチェック、保存、管理できること。また点検項目はJIRAでまとめている点検項目またはユーザーにて任意に登録した点検項目から装置ごとに自由に追加、削除、登録ができること。		
4.2.17.103				・院内に設置されている装置や部屋、廊下などの簡易的なレイアウト図を作成できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.17.104				・ 保存管理している点検データを月報として印刷、出力できること。		
4.2.17.105				・ 管理者権限を有するもののみ点検結果の変更が行えないようにする承認機能があること。		
4.2.17.106				・ 点検内容に数値が入力された場合、月報の表示内容は○△×の記号より数値を優先して表示されること。また設定で記号、数値の優先順位を設定できること。		
4.2.17.107				・ 正常チェック欄すべてに1操作でチェックをつけられること。また開始、全OK、閉じる処理をショートカットキーとして特定のキーボードへ自由に割り当てできること。		
4.2.17.108				・ RISに登録されている検査機器情報を管理できること。機器ごとの文書電子ファイルをRISに登録保存できること。		
4.2.17.109				・ 機器の修理、点検内容を日付ごとに入力できること。また作業報告書の電子ファイルを日付ごとに登録保管できること。		
4.2.17.110		RI管理	RI薬剤管理機能	・ 予約が確定している核医学検査オーダーから放射性医薬品の発注・入庫管理ができること。また複数の検査で使用するジェネレータ、キットの発注・入庫管理ができること。		
4.2.17.111				・ 放射性医薬品入庫時にGS1-RSSバーコードを読み取り、使用期限・製造番号等を取り込むこと。		
4.2.17.112				・ 放射性医薬品のシリンジに貼るラベルを印刷できること。		
4.2.17.113				・ 発注・入庫した放射性医薬品を実施することで、放射性医薬品使用記録簿を出力できること。またジェネレータ単位での放射性医薬品使用記録簿を出力できること。		
4.2.17.114				・ 使用した核種ごとの月報、年報を出力できること。		
4.2.17.115				・ 年ごとの診療用放射性同位元素の届出最大使用予定数量が管理でき、台帳に届出を超えている場合には赤く表示して知らせることができること。		
4.2.17.116				・ 使用した放射性医薬品を廃棄処理することで可燃物、難燃物、不燃物ごとに廃棄情報を管理できること。また廃棄容器の登録ができ、アイントープ廃棄物記録票を出力できること。廃棄容器は特殊容器も登録、管理できること。		
4.2.17.117			入退室管理機能	・ 入室日、入室時間、氏名、退室日、退室時間、目的、作業場所の管理ができること。		
4.2.17.118				・ 入力を簡便化するため職員IDのバーコードを読み取り記録できること。		
4.2.17.119				・ 職員以外(機器メーカー等)の入退室の管理ができること。		
4.2.17.120				・ ハンド・フットクロスモニターで計測した計測値を入力でき入力値から入室者の被曝量集計ができること。また結果をCSV出力できること。		
4.2.17.121		スケジュール管理	スケジュール管理機能	・ カレンダー画面を展開し、放射線科全体やグループごとの色分けされたスケジュールを登録、表示、印刷ができること。		
4.2.17.122				・ 日ごとにフリーコメントが入力できること。		
4.2.17.123				・ カレンダーの初期表示は当月を含む前後1ヶ月とする機能を有すること。またカレンダー画面は一定時間ごとに自動更新できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.17.124			伝言機能	・指定端末、指定端末グループへ伝言を送信できること。更新日時、更新者、内容が情報として管理されること。		
4.2.17.125				・新規の伝言があった場合、伝言ボタンを点滅させる機能を有すること。また端末ごとに新着伝言の有無をポップアップ表示できること。		
4.2.17.126			スタッフシフト機能	・職員配置管理として、職員、配置場所についてのリストが作成できること。リストは月表示、週表示、日表示でき印刷ができること。		
4.2.17.127		画像診断医検査指示	画像診断医検査指示機能	・検査オーダー一覧画面から検査を選択し、オーダーに対しての検査指示が入力できること。また検査指示の定型文を使用して指示内容を入力できること。		
4.2.17.128				・検査指示入力の際、検査指示用シエマ端末ごとの画像、サーバーに登録したシエマ画像から選択し貼付け編集ができること。また画像ビューワ等のスクリーンショットを貼付け矢印等をつけることができること。		
4.2.17.129				・HISから取得している患者の禁忌情報を同一画面に表示できること。禁忌情報のアレルギー情報は赤文字で表示できること。		
4.2.17.130				・表示している患者の造影剤使用履歴一覧、オーダー一覧、過去の検査指示内容を同一画面に表示できること。		
4.2.17.131				・ユーザー、端末、ユーザー+端末単位で画面のレイアウトを自由に設定、変更できること。		
4.2.17.132		システム管理	マスタメンテナンス機能	・マスタ管理機能で保持する各マスタについて、システム管理者が簡単にメンテナンス（作成、登録、変更、削除等）ができること。		
4.2.17.133				・利用者のアクセスログなどの解析ができること。		
4.2.17.134				・マスタ（検査項目、薬剤、器材等）に有効期間が設定できること。		
4.2.17.135				・実施入力の検査項目について、追加、変更、削除した情報（撮影条件、薬剤、器材、手技等）を、その検査項目の初期設定へ登録反映できること。		
4.2.17.136				・患者情報をRISにて新規で作成、編集、削除できること。		
4.2.17.137			マスタ管理機能	・現在運用中のすべてのマスタ（RISコード、項目名、セット、展開等）を変更することなく、引き継ぎ管理できること。		
4.2.17.138				・展開部位テーブルとして、撮影装置に対し具体的な詳細情報（検査部位、方向等）を展開して送信できること。		
4.2.17.139				・職員テーブルとして、RISのログインユーザーを権限定義として管理できること。アクセス権（マスタ管理者、物品管理者、オーダー登録、オーダー中止、受付、実施、参照、放射性医薬品管理等）は権限グループを作成し管理できること。それぞれの権限グループをユーザーに関連付けることによりユーザーのアクセス権を管理できること。		
4.2.17.140				・職員テーブルとして、電子カルテで登録された利用者をRISの利用者として連携登録することができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.17.141				・医事処置テーブルとして、当該検査オーダーに対し、医事会計算定上不可欠な処置を行い、オーダーリング側に返送するための処置コード、処置名称などを管理することができること。		
4.2.17.142				・医事会計テーブルとして、当該検査オーダーに対し、医事会計算定上必要な詳細情報をオーダーリング側に返送できること。		
4.2.17.143				・器材、薬剤、フィルムテーブルとして、当該検査オーダーに対し、実施情報をオーダーリング側に返送するためのコードとタイプ、名称などを管理できること。		
4.2.17.144				・検査項目、薬剤、器材、医事処置等のマスタを検査種ごとに任意の名称で登録、編集できること。また検査項目に合わせて薬剤、器材、加算等のマスタ及び数量のセット登録、編集ができること。		
4.2.17.145				・オーダーリング側からの一つのオーダーに対し、RIS側で複数検査項目に展開できるマスタを登録、編集できること。		
4.2.17.146			データ管理機能	・システムに蓄積されたデータは容易に抽出、分析等ができること。		
4.2.17.147				・患者情報は一元管理されると同時にシステム間での相互利用ができること。		
4.2.17.148			照射録管理・出力機能	・X線発生装置との通信により、診療放射線技師法 第27条に基づく患者に対する照射録情報(実撮影条件)がオンラインにて取得でき、厚生労働省が定める事項を満足させる照射録管理ができること。		
4.2.17.149		帳票出力	帳票出力機能	・受付時、患者氏名、患者ID、IDバーコード、性別、生年月日、検査内容(部位等)、他検査情報、検査目的、依頼コメント等が記載された検査指示書が自動発行できること。検査指示書は検査種ごとに必要・不要が設定できること。		
4.2.17.150				・緊急時等、必要に応じて患者氏名、患者ID、IDバーコード、性別、生年月日、撮影部位、複数検査時の撮影順序、放射線科受付時間、受付番号などが記載された部門独自の受付票の発行ができること。		
4.2.17.151				・検査種や検査項目ごとに未来日検査、当日検査オーダー一覧を印刷できること。また患者ごと、検査項目ごとに検査内容が印刷できること。		
4.2.17.152				・検査オーダー一覧を印刷する際、左端へ連番を表示印刷できること。また表示、非表示の設定ができること。		
4.2.17.153		業務連携	各種モダリティとの通信I/Fモジュール	・検査、撮影に際し、各種モダリティに必要情報をオンライン接続できること。DICOM Modality Worklist Management (MWM) ServiceClassによるオンライン接続。		
4.2.17.154				・CT装置(東芝製)、MRI装置(東芝製)、血管撮影装置(東芝製)、TV装置(東芝製、島津製)、マンモグラフィ装置(シーメンス製)、骨密度測定装置(ホロゾック製)との接続用プロトコルによる患者情報、撮影部位、方向などのオンライン接続。		
4.2.17.155				・DR装置(キャノン製CXDI)、CR装置(ケストリーム社製)との接続用プロトコルによる患者情報、撮影部位、方向、カセット情報などのオンライン接続。		
4.2.17.156				・その他装置(血管撮影室ホリグラフ装置、内視鏡DICOM変換装置、検査科超音波装置等)との接続用プロトコルによる患者情報などのオンライン接続。		
4.2.17.157			X線発生装置との通信I/Fモジュール	・検査、撮影に際し、X線発生装置と連携させることにより、撮影条件の設定を不要とし、業務効率改善が図れること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.17.158				・RIS側で実撮影条件をすべて自動的に取り込むことができること。(未対応装置は除く)		
4.2.17.159			オーダーリングシステムとの通信I/Fモジュール	・オーダーリング側のシステムに完全対応できること。		
4.2.17.160		その他	他システム連携	・電子カルテシステム、医事会計システム、医用画像管理システム、レポートシステム、各モダリティ等関連システムとの連携が密接に行われること。		
4.2.17.161				・電子カルテシステム(オーダーリング含む)、医事システム、既存放射線部門各システムのシステムベンダーは開発、運用、連携等に関して当院並びに当院放射線科システム担当者との入札前までに十分協議を行い、新システムを構築すること。また協議で決定された内容は各ベンダー毎に文書として当院に提出すること。		
4.2.17.162				・HISのDWH等のシステムと連携し、患者の検査結果項目や手術予定情報が表示できること。		
4.2.17.163				・検査実施画面から他システムの医用画像、放射線レポートを参照することができること。		
4.2.17.164				・本仕様書に記載していない事項についてはIHE-J最新版に準拠する。		
4.2.17.165			その他	・サーバ並びに各端末の機能は当院放射線科と入札前までに十分協議し、仕様の詳細内容を決定すること。		
4.2.17.166			単独運用	・システムの単独運用ができること。		
4.2.17.167		業務機能以外	性能等	・システム運用(I/F仕様)は関係する各ベンダーと密接に連携し構築させること。		
4.2.17.168				・現在運用中のサーバ全データを移行し、新システム上で履歴閲覧ができるよう稼働させること。(データ移行費用はすべて契約に含まれること)		
4.2.17.169				・RIS端末ソフトウェアの主たる機能および付加機能はサーバーからの配信型方式とし、端末への個別インストールなどの作業を必要としないシステムであること。		
4.2.17.170				・Internet Explorer等のWEB Browserに依存せず動作すること。		
4.2.17.171				・IHE-Jに準拠した仕様でありIHE統合宣言書(IHE Integration Statements)を公開していること。		
4.2.17.172				・端末に個人情報を残さず、すべての情報はサーバーのみに保管される仕組みであること。またシンクライアントに対応していること。		
4.2.17.173				・導入端末数、利用者数に制限のないライセンスフリーであること。また装置等の接続台数に制限がないこと。		
4.2.17.174				・システムのソフトウェア、ハードウェア、ネットワークについて十分な拡張性と柔軟性を有すること。		
4.2.17.175				・ハードウェアは耐障害性を考慮し、フォールトトレラントシステムであること。またデータベースのバックアップを随時取得し、障害時は最長5分前までの情報へ復帰できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.17.176				・システムは診療を遅延、停止させないハード構成とすること。(障害発生時のバックアップ、データ復元ができる仕組みを有すること)		
4.2.17.177				・システムは24時間365日の安定した連続運用ができること。		
4.2.17.178				・システムを停止することなく、データベースのバックアップ等やメンテナンスが行えること。		
4.2.17.179				・電子カルテシステムがダウンした場合でも、部門システムだけで運用ができること。また復旧後はデータの整合性が確保されること。		
4.2.17.180				・停電や瞬停、電圧降下などの電源異常が発生した場合は、無停電電源装置により5分以上電源供給ができること。		
4.2.17.181				・無停電電源装置は停電を通知するアラーム機能を有し、かつ停電した旨をサーバに通知し安全にオートシャットダウンできる機能を有すること。		
4.2.17.182				・ネットワークへの不正な接続及びクライアントなどへの不正なソフトウェアのインストールができないこと。		
4.2.17.183				・電子カルテシステムや部門システム等は同一のクライアント環境で利用できること。		
4.2.17.184				・各システム及びモダリティ間の円滑な情報連携を実現すること。		
4.2.17.185				・システムは耐震対策を行うこと。		
4.2.17.186				・システム設計、プログラム製造からシステム総合テストまでの作業、職員への操作研修、リハーサル、本稼働立ち会い、安定稼働までのシステム支援等すべてに対応すること。		
4.2.17.187				・操作研修は当院放射線科と日程、内容等を協議し十分な研修を行うこと。		
4.2.17.188				・故障、障害、その他緊急時におけるサポート体制が整っていること。またサポート体制は24時間365日サポートであること。		
4.2.17.189				・光回線等の常時接続によるサーバーシステム(ネットワーク機器含む)に対する24時間365日のリモート監視保守体制を構築し、定期点検並びに定期的に予防保守を行い、障害等の発生時は速やかに復旧できること。		
4.2.17.190				・サーバは停止、再起動、リセットをリモートアクセスにより制御できること。		
4.2.17.191				・ハードウェア、ソフトウェアの障害検知、自動通報機能を有すること。		
4.2.17.192				・納入後、すべてのハードウェア、ソフトウェアの保守保証対応は1年間無償とすること。		
4.2.17.193				・現在稼働中のシステムで保持しているデータを新システムへすべて移行すること。		
4.2.17.194				・データ移行は新システム稼働時までに終了しデータを利用できること。		
4.2.17.195				・RISサーバ及びこれに関わるインフラはいかなる条件においても診療に影響を及ぼす停止をしないこと。そのためにハードの必要な部分は二重化などを行い信頼性の高い構成とすること。また24時間かつ7年間以上できるシステム構成とすること。		

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.17.196				・サーバはバージョンアップなどの作業において、10分以上の停止をしないハード構成とすること。また作業において不具合等が発生した場合、10分以内に作業前の状態に戻ることができる構成とすること。		
4.2.17.197				・最も診療が混雑した状態で、画像表示などを含めてユーザが視覚的に感じるすべてのレスポンスを3秒以内で担保できるハード構成とすること。またデータの長期保存などの要因で10年間分以上低下しない構成とすること。		
4.2.17.198				・最近の目覚ましいハードウェア機器の性能向上に対応できるよう、機器発注時にサーバ及びクライアントの構成、機種、型式の見直しができること。		
4.2.17.199				・納入決定後、機器発注時点でメーカーの所有する最新のモデルシリーズ並びに最新バージョンであること。		
4.2.17.200				・ハードウェア更新時に、データの移行がスムーズに行え、更新時点で販売されている最新バージョンで継承利用できること。また継承利用が不可能な場合は、予めシステム更新時に想定されるソフトウェア費用を契約に含んでおくこと。		
4.2.17.201				・システムのセキュリティが万全であり、検査データの機密保護が徹底されたシステム構築とすること。		
4.2.17.202				・蓄積されたデータは次世代システムでも継承し、利用できること。		
4.2.17.203				・稼動後7年間以上、バージョンアップしなくても当院の日常業務に耐えられる十分なCPU性能、メモリ容量、RAIDシステム等、十分な容量を有していること。		
4.2.17.204				・RISサーバーは業務量を分析した上で日常業務においてアクセス数やデータ量がピークに達してもそのレスポンス及び処理能力が低下しない仕様であること。		
4.2.17.205				・当院で用意する機器(端末・モニタ)以外の機器(ネットワーク機器、バーコードリーダー等)の更新を行うこと。またネットワーク機器更新は現状の環境を引き継ぎ、当院放射線科及び関係ベンダーと詳細な打ち合わせを行うこと。		
4.2.17.206				・ネットワークは冗長性を取ること。各ネットワーク機器は停電時10分以上運用できるUPSを装備すること。またリモートメンテナンス環境を構築し、定期的に予防保守を行い、障害発生時は速やかに復旧できること。		
4.2.17.207				・サーバ並びに各機器の詳細な性能、機能、運用及び機器台数は当院放射線科と十分協議し決定、納入すること。		
4.2.17.208				・サーバのコンソールモニタを装備し接続すること。モニタは解像度XGA(1240×1024pixel)、19型以上で最大8台のCPUを切り替えできる一体式の液晶コンソールモニタであること。		
4.2.17.209				・RISで運用される範囲は放射線科内のすべての検査、内視鏡室検査、並びに生理検査室超音波検査とする。		
4.2.17.210				・端末は電子カルテ端末との相乗りをする場合は、電子カルテベンダー、PACSベンダーと相互動作検証を行うこと。		
4.2.17.211				・ウイルス対策製品を提案し、保守対象としてサポートできること。		
4.2.17.212				・ウイルス対策製品はサーバ、各端末にインストールされ、最新のパターンファイルが定義されるよう一括管理される構成とすること。		

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.17.213				・この仕様書に対する応札仕様書を入札前までに当院放射線科に提出すること。またその他、必要と思われる提案を行い応札仕様書に含めること。応札仕様の内容はすべて構築させること。		
4.2.17.214	PACS	画像サーバー	基本機能	・DICOM最新規格に基づく通信機能及び保存画像形式を有し、各モダリティからの画像受信 (Storage SCP) 及びDICOMビューワ、ワークステーション等からの検索/画像取得要求 (Query/Retrieve SCP) に答える機能を有していること。		
4.2.17.215				・Patient IDとモダリティ等の複数項目を検索キーにするリレーショナルQuery機能 (DICOM Standard 3.4C-FIND Service with relational-queries) を有し、高性能DICOM Viewerからの画像取得要求 (Query/Retrieve SCP) の際にも高速に回答ができること。		
4.2.17.216				・厚生労働省通達の「診療記録等の電子媒体による保存」のようにモニタ診断を実現すべく見読性、真正性、保存性を確保し、個人情報の漏洩防止を含めたセキュリティの強化ができるシステムであること。		
4.2.17.217				・保存の際は、画像1枚につきDICOMファイル1枚として保存すること。DICOM以外の画像フォーマットでは保存できないこと。但し、DICOM規格で許されるサムネイル画像は除く。		
4.2.17.218				・DICOM画像受信時に規格化された可逆圧縮、非可逆圧縮にて画像保存ができること。圧縮は検査種別ごと及び装置ごとに圧縮種別の選択ができること。		
4.2.17.219				・受信したDICOMデータを別のDICOM機器に自動送信する機能を有し転送先及び転送の条件に、AE SOP Classを使用できること。		
4.2.17.220				・白黒画像、カラー画像、また静止画像、動画画像を問わずDICOM画像サーバの対応SOP全てにおいてDICOM規格のJPEG可逆、JPEG非可逆の各種圧縮に対応していること。		
4.2.17.221				・画像に付属する患者情報は修正を不可能とすること。ただし権限を有する者のみがオリジナルデータとは別UIDの付けられたコピーを作成可能としコピーに対し患者情報を修正できること。又オリジナルデータを削除した場合はそのlogを残すこと。		
4.2.17.222				・画像保存ハードディスクに保存するデータ方式は、可逆圧縮のDICOM画像とすること。但し、心カテ、アンギオ、超音波心エコー等のDICOM Multi-frame画像は、Lossyで運用が可能なこと。Multi-frame画像を静止画に分割する保管方法は認めない。		
4.2.17.223				・受信したDICOMデータはBit Allocated値を変更することなく保存、配信できること。		
4.2.17.224				・画像保存サーバはRAID5とホットスペアディスク相当以上で構成すること。汎用品ハードディスクSATA仕様サーバは認めない。SAS仕様を採用すること。		
4.2.17.225				・1次画像保管領域のコピーで、別筐体で同容量(12TB以上)の2次保管サーバを有すること。2次保管サーバも、1次保管サーバ同様SAS仕様の筐体とすること。汎用品ハードディスクSATA仕様サーバは認めない。汎用品のNASも認めない。		
4.2.17.226				・漢字、ひらがな、半角カナの日本語に対応し、端末からの検索にも日本語で検索結果を返せること。		
4.2.17.227				・CR、CT、DR、RF、MR、SC、NM、XA、MG、US、ECG、DICOM PDF storage class SCP及びSCUIに対応していること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.17.228				・画像Serverにおける同時アソシエーション(Maximum number of simultaneous Associations)は64以上とする。動画を含む検査装置全てを接続するに当たり、DICOM Conformance Statements上認めている同時アソシエーションが64を下回ることは認めないこととする。		
4.2.17.229				・DICOM Multi-frame(動画像)と静止画像を同一データベースで管理、同一Viewer内で画像を表示させることが可能なこと。動画状態を配信するに当たり、静止画Viewerと異なるViewerが立ち上がることは認めない。また、動画情報を静止画分割する方法も認めないこととする。		
4.2.17.230				・所見レポートなどのPDFファイルを保存するためのDICOM規格SOP Class "EncapsulatedPDFStorage"のSCU/SCPに対応し、ストレス無く画像と共に院内配信できること。DICOM PDFはオリジナルの検査画像と同じStudy Instance UIDを持ち、検査に紐付いていること。		
4.2.17.231				・DICOM規格に準じたDICOM MGデータ及びDICOM SRとしてMAMMOCADの情報も同一サーバーで受信保管、配信できること。		
4.2.17.232				・MMG画像について、SOP class "Digital Mammography Image Storage-For Presentation"、及び"Digital Mammography Image Storage-For Processing"に対応し、受信、保管する機能を有すること。また、CAD等のSRを受信、保管、配信する機能を有すること。		
4.2.17.233				・IHE-Jコネクタソンに参加し、10個以上のアクターを有すること。		
4.2.17.234				・ログインユーザーを権限定義として管理できること。アクセス権(システム管理者、画像削除、画像修正、画像登録等)は権限グループを作成し管理できること。それぞれの権限グループをユーザーに関連付けることによりユーザーのアクセス権を管理できること。		
4.2.17.235				・設定により自動的に指定DICOM TAGを変更したり、DICOM TAGを追加、入替え可能なGateway機能があること。		
4.2.17.236				・装置・機器により患者氏名がローマ字やカナなどばらばらであるため、サーバー側で、どの装置・機器の患者名を優先してリスト表示させるか設定できること。		
4.2.17.237				・文字コードISO 2022 IR 13に対応していること。		
4.2.17.238				・DICOM通信にて、Explicit VR Little Endian転送構文に対応していること。		
4.2.17.239				・Study Root Q/R Find、Study Root Q/R MoveのDICOM Q/Rサービスクラスをサポートしていること。		
4.2.17.240				・どのユーザーがいつ、どのような操作をしたかをすべてログに保管されるアクセスログ機能を有すること。		
4.2.17.241				・患者名をカナからローマ字へ自動変換できること。		
4.2.17.242				・Thin Sliceの画像を登録するかしないか自動で判別処理できること。		
4.2.17.243				・画像修正機能にて依頼科の修正ができること。		

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.17.244				・システム管理者が保管されているデータ容量を把握できるよう、月別の検査種検査数、データ容量を直近から1年分グラフ表示できること。グラフ表示できる期間は最長2年以上とし、開始月、終了月を任意で設定し検索結果をグラフ表示できること。また検索結果は詳細表示でき各検査種ごとに内訳を確認できること。		
4.2.17.245				・グラフはモダリティ単位で表示、非表示を選択できること。またデータサイズはKB・MB・GB・TBを指定して表示できること。		
4.2.17.246				・検索結果はCSVファイルに出力できること。		
4.2.17.247		ビューワ機能	基本機能	・医薬品医療機器等法における医療機器プログラムとして医療機器承認番号を取得している製品であること。また法定表示にも対応していること。		
4.2.17.248				・Internet ExplorerなどのWebブラウザの機能に依存しないで動作できること。		
4.2.17.249				・DICOMオリジナル画像の配信、表示であること。		
4.2.17.250				・HISシステムから患者情報、オーダー情報を取得し、検索リストに依頼科、依頼医、漢字名、カナ名などの表示、またこれらの項目で検索できること。		
4.2.17.251				・シンクライアントに対応していること。		
4.2.17.252			患者ポータル機能	・指定期間とモダリティ種別でのAND検索のスピードは、CTであれば約1,000件、MRIであれば約500件、CRであれば約4,500件のデータを抽出するのに3秒以内で処理できること。		
4.2.17.253				・年別、月別でソートができること。また検査種別、検査日でソートができること。		
4.2.17.254				・マトリックス表示領域へマウスを置くことで、画像アイコン、レポートアイコン、コメントアイコンをポップアップで表示できること。		
4.2.17.255				・サムネイルをクリックすることにより、当該検査の画像を呼び出すことができること。サムネイルはDICOM画像から作成すること。またサムネイルの大きさを8段階で設定できること。		
4.2.17.256				・XAの検査画像サムネイル上に位置決め装置第一角度、第二角度を表示できること。		
4.2.17.257				・ワンボタンで患者ポータル画面とリスト画面の切替ができること。		
4.2.17.258				・該当検査を選択すると、過去検査のリストが自動で表示されること。		
4.2.17.259				・検索条件を登録できること。登録した条件を選択する場合はプルダウン方式ではなくボタンで押下出来ること。		
4.2.17.260				・HIS連携において、パラメータとして患者IDのみが渡されたときには自動的に最新の検査が表示される設定ができること。		
4.2.17.261			ユーザー別環境設定機能	・ウィンドウニング、ズーム、パン等の処理をマウスの左ボタン、右ボタン、ホイールボタンに自由に割り当て設定できること。		
4.2.17.262				・画像表示時のシリーズの初期レイアウトをモダリティごとに設定できること。		

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.17.263				・ 同様なキー入力、マウス移動、ボタン操作などのアクションをマクロとして登録することができること。マクロはアクションを順次覚える自動生成方法、個別入力及び生成後の編集もできること。		
4.2.17.264				・ ショートカットキーの一覧をテキストファイルとして出力できること。		
4.2.17.265				・ 検査単位で画像エリア枠に色をつけて視覚的に今回画像、前回画像を区別できること。また枠の線サイズは細くしたり、太くしたり設定で変更できること。色も任意に設定変更できること。		
4.2.17.266				・ 操作ボタンはすべて日本語化され、名称、色、サイズも任意に変更できること。また設定もユーザーごと、モダリティごとに変更ができること。		
4.2.17.267				・ Thin Slice画像やCTスカウト画像などルーチンの読影で不要なシリーズはデフォルトで非表示にできる表示設定ができること。		
4.2.17.268				・ モダリティごとに設定した条件により、初期表示時に任意のシリーズを表示から除外することができること。		
4.2.17.269				・ ビューワ上に表示してある画像情報(タグ)をモダリティごとに任意に設定できること。		
4.2.17.270				・ シリーズ記述、部位の情報を任意の値に自動で変換(日本語化)できること。 例) CORONAL→冠状面、ABDOMEN→腹部		
4.2.17.271				・ 右クリックショートカットメニューも任意に割り当て(ユーザーごと、モダリティごと)できること。		
4.2.17.272				・ ズーム操作の際、ドラックを開始した位置を中心にズームするか画像の真中を中心にズームするか設定できること。		
4.2.17.273				・ ビューワ上の患者情報、画像情報、ボタンの輝度調整が変更可能なこと。		
4.2.17.274				・ ビューワ上に表示している過去検査リスト(サムネイル画像)をボタンで表示、非表示、画面上固定、画面下固定など設定ができること。また、マウスカーソルの位置に応じて自動的に表示/非表示が切り替わるようにするかを設定できること。		
4.2.17.275				・ パンニング、ズーム、ウィンドウレベル変更処理操作を適用させる範囲を個別に設定できること。		
4.2.17.276				・ 複数のビューワ(ウィンドウ)を起動できる機能を有し、設定によって1つのビューアーしか起動できない動作に切り替えできること。		
4.2.17.277				・ 指定したモダリティを検査履歴リストの「すべて」の中から除外することができること。		
4.2.17.278				・ ビューワ内に表示している検査履歴のサムネイル画像生成ルールは、シリーズ内の中央画像にて生成するか、シリーズ内の先頭画像にて生成するか設定できること。		
4.2.17.279				・ マウス左右同時押しに、ズーム、パンニング、ウィンドウ調整機能割り当てることができること。		
4.2.17.280			画像表示、処理機能	・ ビューワ起動時にすべてのシリーズを自動統合して検査全体シリーズを表示できること。適用範囲をモダリティ単位で設定できること。		

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.17.281				・1モニター当たり最大で縦10×横10のウィンドウに分割でき、ウィンドウごとにシリーズ単位での割り付けができ、割り付けられたウィンドウはさらに最大で縦10×横10に分割し、画像表示ができること。		
4.2.17.282				・複数モニター構成の場合、モニターごとにシリーズのレイアウトを変更できる機能を有すること。		
4.2.17.283				・画像エリアにスライダバーがあり、スライダのバーにて任意の位置までスライスを移動できること。また設定で移動ではなくページ送りする動作も選択できること。		
4.2.17.284				・任意の角度で画像を回転する機能を有していること。		
4.2.17.285				・ダイナミックスタディー画像をワンボタンでサブシリーズに分解、結合できること。		
4.2.17.286				・初期表示状態に戻したい場合、ワンボタンで起動時の状態に戻すことができること。		
4.2.17.287				・画像をダブルクリックすることにより操作ボタン、履歴サムネイルが非表示になりモニター全体に画像を表示できる機能を有すること。		
4.2.17.288				・ビューワに表示させた直近20件までを一覧から再表示できること。また表示履歴は自動的に登録されること。		
4.2.17.289				・選択した範囲(組織)に最適なWW/WLに自動的に調整する機能を有すること。		
4.2.17.290				・整形MR画像などワンボタンでスカウトラインの作成ができること。		
4.2.17.291				・シネによる連続表示機能を有すること。また、フレームレートに対応した連続表示であること。		
4.2.17.292				・WW/WLのプリセットパラメータとしてエッジ強調フィルターを設定できること。		
4.2.17.293				・あるシリーズ画像のスライス位置情報に連動して、他シリーズ上に表示されるスライスラインが移動する機能を有すること。		
4.2.17.294				・ウィンドウに対する画像操作を、1操作で最大5操作までUndoできること。また、1操作で全操作のオールリセットができること。		
4.2.17.295				・ビューワ画面内に読影所見をボタンで開け表示/非表示で切替えること。		
4.2.17.296				・シリーズの統合機能、シリーズの複製機能を有すること。		
4.2.17.297				・マウス左ボタンのドラッグ&ドロップ操作にて複数のシリーズを表示している時、シリーズを任意の位置に移動でき、シリーズの中のイメージも上記操作にて移動が可能なこと。		
4.2.17.298				・タイトル表示の際、任意に選択した画像のみスクロールされず画面左上に固定して表示できること。		
4.2.17.299				・たとえばMRI検査17シリーズの画像をビューアーで表示した際に、レイアウトを3×3にして表示した時、シリーズ1～9までのシリーズが表示されるが、残りのシリーズ10～17までをワンボタンで表示できる機能を有すること。		

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.17.300				・スタディーやシリーズに画像が追加された時にメッセージを出す機能を有すること。更新ボタン押下で追加されたサムネイル画像の箇所へ自動的にスクロールされて頭出し表示ができること。		
4.2.17.301				・ハンギングプロトコル表示設定を登録することにより、どの位置にどのシリーズを表示させるか、また表示時のズーム倍率の指定ができること。		
4.2.17.302				・画像表示画面のウィンドウ上に表示されたシリーズ画像から、別ビューを起動することなく、1操作にて任意の厚さの画像に再構成(MIP/MinIP/AVG)する機能を有すること。		
4.2.17.303				・PDFおよびJPEGを表示中の検査の新規シリーズとしてインポートすることができ、DICOM3.0形式でサーバーに保管することができること。		
4.2.17.304				・MRダイナミックスタディで任意フェイズ同士のサブトラクション処理ができ淡く染まっている箇所の抽出ができること。		
4.2.17.305			比較機能	・画像上に日本語で今回画像、過去画像などの表示ができること。		
4.2.17.306				・ビューワ上に表示している検査履歴一覧は、撮影装置種別毎にフィルタリングできること。		
4.2.17.307				・ビューワ上に表示している検査履歴一覧サムネイル上に表示する検査情報は、任意に設定したタグを表示することができること。		
4.2.17.308				・ビューワ上に表示している検査履歴一覧にて、読影状態(未入力、確定)の確認ができ、履歴一覧から読影レポートを起動し、所見、診断内容を確認できること。		
4.2.17.309				・検査履歴のサムネイルからドラック&ドロップで過去画像を表示させた場合、アクティブな画像のFOV値、スライス位置にあわせて過去画像も自動表示できること。		
4.2.17.310				・同期モードを選択するとアクティブなシリーズのスライス位置、FOVを他のシリーズにも同時に同期させることができること。		
4.2.17.311				・読影レポートシステムを立ち上げることなく、画像ビューワの中に読影レポートを参照表示できること。読影レポートシステムへ貼り付けたキー画像を簡単に呼び出すことができること。		
4.2.17.312				・イメージナンバー順の画像単位の同期スクロールに対応していること。		
4.2.17.313				・同期させるシリーズをマニュアルで個別指定でき、グループ単位で同期連動できること。		
4.2.17.314				・傾いている画像を用いた同期スクロール処理は、画像断面の左上隅ではなく、中心(3次元的位置)で同期処理されること。		
4.2.17.315				・検査履歴のサムネイルからすべてのシリーズの画像を統合した状態で表示する機能を有すること。		
4.2.17.316				・任意のシリーズを指定して比較モードを選択することにより、指定した数分のレイアウト表示、FOVを合わせる処理を実行できる比較読影機能を有すること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.17.317				・ビューワへ表示している画像から簡単に正常画像を登録、管理出来る機能を有していること。		
4.2.17.318				・モダリティ、検査部位、性別、年齢区分、ログインユーザー単位で登録、管理、呼び出しができること。		
4.2.17.319			印刷、出力機能	・ディスプレイ上に表示した状態(レイアウト・マーク・過去画像・他モダリティ)の画像を印刷できること。		
4.2.17.320				・現在使用中のレーザープリンター(フィルム)やネットワークプリンター用紙へ実寸大(等倍)で印刷ができること。		
4.2.17.321				・選択シリーズの一連の画像を動画として汎用動画ファイルへの出力ができること。		
4.2.17.322				・汎用動画ファイル(AVIファイル)出力時に、動画の出力範囲(アクティブな画像から前後〇枚)と画像の関心領域を指定できること。		
4.2.17.323				・汎用ファイル(JPEGファイルなど)出力時に、出力範囲(アクティブな画像から前後〇枚)と画像の関心領域を指定できること。		
4.2.17.324				・計測を行った時点で計測結果をクリップボードにコピーする機能を有すること。		
4.2.17.325				・特定のキーを押下しながら距離計測を続けて2回行った場合は、計測結果を21x32mmといった書式に自動的に整形したうえでクリップボードにコピーする機能を有すること。		
4.2.17.326				・クリップボードにコピーされる距離の計測結果には自動的に単位(mm)が付加されること。クリップボードにコピーされるCT値の計測結果には自動的に単位(HU)が付加されること。		
4.2.17.327				・ワンボタンで選択画像をPower Pointに貼付けできること。		
4.2.17.328				・読影レポートや電子カルテに画像を貼付けたい場合、指定サイズにてクリップボードにコピーできること。指定サイズは、設定でサイズ容量(KB)と長辺サイズ(ピクセル)を設定できること。		
4.2.17.329			計測機能	・距離・角度・側湾度・CE角・FTA・真円(直径)・異画像間角度・面積(矩形・円形・任意閉曲線内)・CT値・最小・最大・標準偏差値の計測機能を有すること。		
4.2.17.330				・あるシリーズで関心領域のROIの計測をした際に、1操作で他のシリーズへ関心領域をコピーして同じ関心領域の計測が簡単にできること。		
4.2.17.331				・計測直後の計測結果は、クリップボードに保存され一操作でレポート管理システムに貼付けられること。また距離はmm、CT値はHUなど単位も自動的に貼付けられること。		
4.2.17.332				・ワンボタンで内臓脂肪と皮下脂肪を自動認識し内臓脂肪の計測ができること。またレポートも計測結果を参照して自動作成できること。		
4.2.17.333				・マウスポイント位置及びROI(楕円)でTime Intensity Crive計測ができること。		

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.17.334			カンファレンス機能	・画像表示画面にて表示されている画面レイアウト(ウィンドウの分割数やそのウィンドウごとに検査単位、シリーズ単位で割付けられた画像全て)をそのままサーバ上(もしくは端末上)に保存し、いつでも保存リストから1操作で同じ状態を再現できる機能を有すること。その際、画像(複数画像)に対して、サイズ変更、階調変更、画像位置の移動、マーキング、計測を実施した場合には、その情報を全て保存し保存時と同じ状態で表示すること。サーバ上に保存した場合には、院内に設置している同ビューワであれば何処からでも参照できること。個人用、共有用と設定で使い分できること。		
4.2.17.335			MIP/MPR機能	・同一ビューワ内にて任意の厚さの画像に再構成(AVG、MIP、MinIP)する機能を有すること。		
4.2.17.336				・直交断面と1軸オブリーク、2軸オブリークの再構成、MIP表示ができること。		
4.2.17.337				・カーブMPRが可能。切断面のパスはオブリーク断面上でも指定ができること。		
4.2.17.338				・MPR断面にスライス厚を設定し設定厚の加算平均画像の表示ができること。		
4.2.17.339				・MPR断面にスライス厚を設定し設定厚のMIP画像の表示ができること。		
4.2.17.340				・断面像は並行多断面と回転多断面の表示ができること。		
4.2.17.341				・任意のスライスピッチの設定ができること。		
4.2.17.342				・再構成した画像は新しいシリーズとしてサーバーに保存できること。		
4.2.17.343			FUSION機能	・別モダリティ、別検査間でのフュージョン表示が可能であること。モダリティはPET,CT,MR,SPECTIに対応していること。		
4.2.17.344				・別検査間のフュージョン合成時の位置合わせは、X,Y,Z軸直交断面の二次元軸とX,Y,Z軸の回転軸の6軸で自動及び手動でできること。		
4.2.17.345				・MPR表示(axial, coronal, sagittal)ができること。またPET画像については回転MIP表示ができること。		
4.2.17.346				・回転MIPの回転する単位は5度、10度、15度、20度、30度、40度から選択できること。また、回転方向(右回り、左回り)を選択できること。		
4.2.17.347				・任意の断面上でマウスをクリックすると、すべての断面(axial, coronal, sagittalおよび回転MIP)で3次元的な座標にリンクしたクリック位置のスライス面を表示すること。		
4.2.17.348				・SUVの計算方法は体重、標準体重、除脂肪体重から選択できること。起動時のSUVの計算方法の既定値を体重、標準体重、除脂肪体重から選択できること。		
4.2.17.349				・球形ROI(VOI)の設定ができること。PET画像のSUVIによる球形ROI(VOI)計測はROI(VOI)内のSUVの最大値、平均値およびSUVPeak、体積の計測が同時できること。		
4.2.17.350				・球形ROI(VOI)内でSUVの閾値を任意設定し閾値を超える領域のVOI(閾値VOI)の表示ができること。閾値設定はSUV値及びMaxSUV値に対するパーセンテージの数値入力、またはマウスホイール操作で簡単かつ連続的に変更ができること。また、閾値VOI内のSUVの最大値、平均値およびSUVPeak、MTV値、TLG値、体積の計測が同時にできること。		

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.17.351				・球形ROI(VOI)内に複数の閾値VOIが存在する際に、不要なVOIを削除する機能を有すること。		
4.2.17.352				・球形ROI(VOI)の位置情報を記録する機能を有すること。記録された球形ROI(VOI)の位置情報はリスト等で表示され、選択操作で容易に記録時の状態を再現できること。球形ROI(VOI)位置情報の記録は一検査当たり30カ所以上の記録ができること。		
4.2.17.353				・一つのウィンドウの中で複数検査画像の同期比較表示ができること。比較表示画面はそれぞれの検査のCT,PET,FUSIONの任意の断面及び回転MIP画像を任意に選択できること。また、同期時の位置合わせについて自動位置合わせができること。		
4.2.17.354				・複数検査画像の比較表示時に片方の検査に記録されている球形ROI(VOI)の位置情報を、別の検査にコピーして同一座標に再現できること。また、複数の記録を任意選択することで球形ROI(VOI)の位置情報を纏めてコピーできること。コピー後に球形ROI(VOI)の移動ができること。		
4.2.17.355				・各モダリティ画像及びフュージョン画像それぞれのaxial, coronal, sagittalの各断面の再構成に使用する画像枚数(またはスライス厚)等をプリセット登録し、ワンクリックでまとめて再構成とDICOM転送を行う、エクスポートプリセット機能を有すること。		
4.2.17.356				・エクスポートプリセット再構成時の機能として、空気部分を自動認識して再構成範囲から除外する機能を有すること。		
4.2.17.357				・エクスポートプリセット再構成時の機能として、任意選択した範囲でトリミングし、エクスポートできる機能を有すること。		
4.2.17.358				・任意のオプリーク断面の表示ができること。またオプリーク断面はCT、PET、FUSION画像で表示ができること。		
4.2.17.359				・オプリーク断面の角度及び座標情報を保存し再現できること。		
4.2.17.360			マンモ画像読影専用ビューワ機能	・読影のワークフローに従って表示レイアウトをプリセットする機能を有していること。表示レイアウト設定は、ズーム倍率、フィルタ、ネガポジ反転、CAD表示、MLOの配置方法(上端または中央)が設定できること。		
4.2.17.361				・表示レイアウトは、表示位置を自由に設定できること。		
4.2.17.362				・画像の並べ替え機能として、MG 検査内の画像を観察しやすい順番に並べ直して表示できること。		
4.2.17.363				・ショートカットキーにコマンドを自由に割り当てられること。		
4.2.17.364				・表示している各種情報(患者情報、画像情報、レイアウト(図)、レイアウト(枠)、撮影方向表記)の表示輝度を変更できること。		
4.2.17.365				・左右の乳房の自動位置合わせ機能を有すること。自動位置合わせはトップで合わせるか、形状で合わせるかを設定できること。		
4.2.17.366				・マウス操作で行う虫眼鏡、マスク機能は、MLO 画像やCC 画像などの左右対になる画像をペア画像として同期させて操作できること。		
4.2.17.367				・マスク(輪郭あり、輪郭なし、帯状、帯定置、斜め)処理を行う機能を有すること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.17.368				・画像処理の同期機能として、階調変更、ズーム、スクロール、反転、回転などの画像処理機能を検査画像全てに連動して処理が行えること。		
4.2.17.369				・マウスで画像移動を行う場合に胸壁をはなさず動作、胸壁を離して動作ができること。またマウスの拡大縮小では、胸壁をはなさず拡大・縮小する動作、目的の部位を中心に拡大・縮小する動作ができること。		
4.2.17.370				・経時的画像の比較として、ワンボタンで最大4検査まで過去画像と連携して画像を表示できること。		
4.2.17.371				・初回表示は、MLO の左右乳房、CC の左右乳房の順に並べ替えて表示できること。画像表示時に左右乳房画像が、背中合わせに表示されるように画像を自動回転、反転して表示できること。		
4.2.17.372				・他モダリティ画像の表示として、MG 以外の画像を患者ID などで別アプリケーションと連携し他検査画像をモニタに表示できること。特に超音波画像を同時に表示することで病変の確認がスムーズに行えること。		
4.2.17.373				・乳腺の評価、診断結果をレポートのマンモグラフィテンプレートに自動的に反映できること。		
4.2.17.374				・トモシンセシス画像を自動識別して、ボタンひとつでトモシンセシス画像をオートスクロール表示できること。		
4.2.17.375				・マンモ画像読影専用ビューワはWindows7,Windows8.1Windows10の各32bit,64bit OS上で動作すること。		
4.2.17.376				・表示したいLUTの値を設定できること。また、第一、第二と優先設定できる機能を有すること。		
4.2.17.377				・マンモビューワよりワンボタンにてレポートシステムまたは配信用レポートを起動させる機能を有すること。		
4.2.17.378			Lung Cheker機能	・Goddard法による肺気腫スコア判定をワンボタンで計測できること。		
4.2.17.379				・LAV%(肺気腫の体積÷肺野の体積)も表示できること。		
4.2.17.380				・正常と判断する範囲を設定できること。		
4.2.17.381				・スコアに基づいたレポートも自動で作成できること。		
4.2.17.382			PM View機能	・ダイナミックMRIマンモグラフィ画像用にピクセル単位でTIC計算を行いWash outの強度により画像上にカラーマップ表示する機能を実装すること。		
4.2.17.383				・BI-RADSの定義に沿ったInitial phaseとDelay phaseのカラーマップを1画面で同時に表示し、更に同期カーソルを用いてリアルタイムにKinetic CurveとTICを同時に表示できること。		
4.2.17.384				・リアルタイムに表示したKinetic CurveとTICのキャプチャー画像をDICOM形式で保存できること。		
4.2.17.385				・カラーマッピングされた病変部を選択すると病変部が自動で抽出され、悪性を疑う部位に自動でROIを配置できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.17.386				・カラーマッピングされた病変部を選択すると、病変部が自動で抽出され、追加・削除等の病変部の抽出範囲を修正できること。		
4.2.17.387				・カラーマッピングされた病変部を選択すると病変部が自動で抽出され、抽出された範囲におけるInitial slopeとDelay slopeの強さをプロットした散布図を表示することができること。		
4.2.17.388				・カラーマッピングされた病変部を選択すると病変部が自動で抽出され、抽出された範囲におけるInitial slopeとDelay slopeの強さをプロットした散布図のPlotを選択すると、対応した部位にROIを配置できること。		
4.2.17.389		検像機能	一般機能	・サーバー/クライアント構成によりシステム稼働後、運用フローの変更に伴い追加接続、追加費用なしに検像端末にて検像対象画像を柔軟に変更、追加でき作業場所を選ばない集約的な検像処理ができること。		
4.2.17.390				・医薬品医療機器等法における医療機器プログラムとして医療機器認証番号を取得している製品であること。また法定表示にも対応していること。		
4.2.17.391				・モダリティ接続制限がないこと。		
4.2.17.392				・検像ステータス(検像中/検像終了/検像待ちなど) をRISに送信できること。		
4.2.17.393				・他院CD画像を取り込み、検査情報を修正できること。		
4.2.17.394				・シンクライアントに対応していること。		
4.2.17.395				・PACSへ画像を転送する際に、すでにPACS内に同一画像がある場合は自動でPACS内の画像を削除して画像転送できる機能を有すること。		
4.2.17.396			ワークリスト機能	・よく使用する検索条件はプリセット登録できること。その際に条件としてソート順は3つ、昇順 / 降順も指定できること。		
4.2.17.397				・HDD空き容量(GB表示 または %表示) が表示されていること。設定したしきい値以下の場合には警告メッセージも常時表示されること。		
4.2.17.398				・検査リストの自動更新処理をON/OFFボタンで切替できること。		
4.2.17.399				・シリーズ数の多い検査(15~20)の並び替え処理の操作性向上のためサムネイルは複数行で表示されること。		
4.2.17.400				・他システムを起動するインターフェースを有していること。		
4.2.17.401				・他社RISからパラメータ指定により検像システムを起動できるインターフェースを有していること。		
4.2.17.402				・再検像処理は、オリジナル画像もしくは最終保存画像から処理が可能なこと。どちらを使用するか都度選択ができること。		
4.2.17.403				・オーダー情報(患者情報、検査情報)が同一画面で表示でき、自動で内容を照合し、不一致箇所があればメッセージリストに内容(生年月日不一致等)が表示できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.17.404				・保留とは別にちょっと作業中でロックしておきたい場合はロック操作を行うことにより、「XXさんがロックしています」とリストに表示され、他人に完了操作をされないようにすることができること。		
4.2.17.405				・FCR画像の場合に正面、側面情報(プライベートタグ)をサムネイル一覧に表示することができること。		
4.2.17.406				・MR画像などワンボタンで奇数・偶数イメージのみ抽出して新しいシリーズを作成することができること。		
4.2.17.407				・新人教育のためのS値判定機能を有すること。S値の閾値の範囲は設定で指定可能なこと。またS値範囲の上限と下限の色(一覧、サムネイル両方)と名称をユーザー設定で変更できること。		
4.2.17.408				・CR 画像のDI 値を計算し、アラートの表示・警告を一覧に表示できること。		
4.2.17.409				・選択したシリーズを複製できること。		
4.2.17.410				・情報不整合状態で検像完了させた場合に警告を表示するように設定することができること。		
4.2.17.411				・分割、統合、並び替え操作を行った後に、イメージ番号の振りなおしと降順処理がワンボタンでできること。また設定により画像の降り直しは自動処理できること。		
4.2.17.412				・選択検査に対する操作全般に対して、元に戻す(Undo)機能を有すること。また最大履歴数は設定画面で指定できること。		
4.2.17.413				・PACSへ画像を転送した際に、エラーの検査がある場合は検査リスト更新時に警告メッセージを表示する機能を有すること。		
4.2.17.414				・自動転送設定は、曜日、休日、時間範囲(例 8:00-18:00)、時間外に対して転送しない、すぐに転送、5分経過後転送など細かく処理を設定できること。		
4.2.17.415			情報(DICOMタグ)修正機能	・検像システムへログインしたユーザーが、必ずしも検像確定処理を行わないケースがあるため、ログインユーザーと確定ユーザーを別々に管理できること。		
4.2.17.416				・検像完了時、ユーザー名を選択しログに検像完了者名を出力する機能を有すること。		
4.2.17.417				・オーダー情報を元にDICOMタグ情報変更をワンボタンで書替えできること。		
4.2.17.418				・ルーチン業務で修正するDICOMタグは、プリセット登録しておくことで簡単に呼び出すことができること。		
4.2.17.419				・オーダー情報から取得した検査インスタンスUIDをDICOMタグに反映できること。		
4.2.17.420				・MR検像時、シーケンス名やシリーズ記述を変更している最中に追加シリーズが入ってきても、初期状態へ戻ったり保留ステータスを変更することなく継続して検像処理ができること。		
4.2.17.421				・選択したシリーズのシリーズ記述を一括変更する機能を有すること。		
4.2.17.422			画像修正機能	・画像のトリミングは固定サイズ、任意サイズのそれぞれの機能を有すること。		

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.17.423				・固定サイズ、任意サイズそれぞれの処理に対して、切り抜きもしくはトリミング枠の外側を塗りつぶす設定を選択できること。		
4.2.17.424				・トリミングした範囲(サイズ)と位置を選択した別シリーズにそのまま適用できること。		
4.2.17.425				・WW/WLの変更は、ドラック&ドロップ操作とキーボードにて値を指定して入力できること。		
4.2.17.426				・MRIでは検査記述などの情報修正を頻繁に行うのでよく使う文字を登録してプルダウン入力ができること。		
4.2.17.427				・Dynamicのシリーズ画像に0～15sec、15～30sec、30～45sec・・・と画像4枚ずつにアノテーションを付加したい場合、画像4枚ずつにアノテーションをワンボタンでマーキングする機能を有すること。		
4.2.17.428				・アノテーション(R・L・立位など)を例えば10ポイントでプリセット登録している場合、CRや長尺画像のように画像サイズが大きいデータでは、文字サイズが小さくなるケースがあるが、画像マトリックスサイズを自動識別し最適な大きさと入力できる処理を有すること。		
4.2.17.429				・シングルフレームのRGB画像に対して回転、アラインメント、トリミング、アノテーション、塗りつぶし処理ができること。		
4.2.17.430				・ワークリスト画面上のサムネイルを右クリックメニューから反転と回転させる機能を有すること。複数シリーズのサムネイルを選択し同時処理される機能も有すること。また右クリックメニューの機能名称をユーザーにて編集できること。		
4.2.17.431				・選択した複数シリーズのWW、WLをサムネイルを右クリックメニューから設定したプリセットにて変更できる機能を有すること。プリセット登録は15個まで登録でき名称はユーザー側で任意に設定できること。		
4.2.17.432			自動検像機能	・設定はモダリティ+AEタイトルの組み合わせでできること。AEタイトルの指定なしの場合は、指定のモダリティの全AEに対して実行されること。		
4.2.17.433				・任意範囲トリミング、固定範囲トリミングができ、固定範囲はトリミング範囲を設定したサイズでプリセット登録もできること。また縦横比をワンボタンで反転させる機能を有すること。		
4.2.17.434				・必ず実施する検像処理(検像ワークフロー)をあらかじめ設定することができ、自動検像ボタンを押下することにより設定された処理を実行することができること。また一括処理ボタンと機能別のボタンを作成することができること。		
4.2.17.435				・ダイナミックCTのPhase単位のシリーズ分割ができること。またMRIのIn Phase、Out of Phaseの分離ができること。		
4.2.17.436				・特定の条件(タグ指定+文字)に合致した検査画像に対して、サブシリーズ分解ができること。		
4.2.17.437				・検査記述やプロトコル名をキーにシリーズ、イメージの並び替えができること。		
4.2.17.438				・透視画像と断層撮影(TOMO)が1検査になっている検査を分割できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.17.439				・装置側で造影剤名の欄に造影剤を入力してもDICOMタグに正しい情報が反映されないケースがあり、指定のタグの造影剤略称を参照し、あらかじめ設定した造影剤の正式名称へ変換することができること。		
4.2.17.440				・RISのオーダー情報と連携して画像情報の照合ができ、アクセス番号、患者ID、患者名、モダリティの照合を行い、差異がある場合はサーバに転送せず、検像端末に警告表示を行いデータをストックする機能を有すること。差異が無い場合は一定時間ストックした後、設定されたサーバに自動転送できること。		
4.2.17.441				・透視装置の長尺スロット撮影時に自動でモダリティコードをRFからCRへ変換することができること。		
4.2.17.442				・同一検査内で別シリーズの画像を、同一シリーズにまとめる機能を有すること。		
4.2.17.443				・特定の条件(タグ指定+文字)に合致したシリーズ画像に対してシリーズ番号を指定できること。		
4.2.17.444			被ばく線量管理機能	・CR画像に付帯しているDICOMタグのEI値をデータベース登録、管理出来ること。		
4.2.17.445				・EI値の蓄積しないAEタイトルを複数指定できる機能を有すること。		
4.2.17.446				・登録されたEI値を度数分布グラフ表示機能を有すること。		
4.2.17.447				・画像に必要なタグが格納されている際は、分布グラフにてAEタイトル、性別、検査コード、年齢による分類ができること。		
4.2.17.448				・グラフにEI値を設定でき、アラートレベルも設定できること。		
4.2.17.449			ログ機能	・ログイン管理と検像確定管理を別々に管理し後日、いつ、誰が、ログイン、確定処理を行ったかきっちりログで管理することができること。		
4.2.17.450		業務機能以外	性能等	・システム運用(I/F仕様)は関係する各ベンダーと密接に連携し構築させること。		
4.2.17.451				・現在運用中のサーバ全データを移行し、新システム上で稼働させること。(データ移行費用はすべて契約に含まれること)		
4.2.17.452				・現在稼働中のサーバ内全データに加え、新システム稼働後7年間以上分のデータを十分保管できるシステムを構築すること。		
4.2.17.453				・システムは24時間365日の安定した連続運用ができること。		
4.2.17.454				・停電や瞬停、電圧降下などの電源異常が発生した場合は、無停電電源装置により5分以上電源供給ができること。		
4.2.17.455				・無停電電源装置は停電を通知するアラーム機能を有し、かつ停電した旨をサーバに通知し安全にオートシャットダウンできる機能を有すること。		
4.2.17.456				・ネットワークへの不正な接続及びクライアントなどへの不正なソフトウェアのインストールができないこと。		
4.2.17.457				・各システム及び関係モダリティ間の円滑な情報連携を実現すること。		
4.2.17.458				・システムは耐震対策を行うこと。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.17.459				・サーバのコンソールモニタを装備し接続すること。モニタは解像度XGA(1240×1024pixel)、19型以上で最大8台のCPUを切り替えできる一体式の液晶コンソールモニタであること。		
4.2.17.460				・周辺機器(放射線科用画像専用端末、放射線科医専用画像支援端末、業務専用端末、ネットワーク機器、ネットワークカラープリンタ等)の更新を行うこと。性能、機能、必要台数に関しては当院放射線科担当者と十分協議し、決定すること。またネットワーク機器更新は現状の環境を引き継ぎ、当院放射線科と詳細な打ち合わせを行うこと。		
4.2.17.461				・ネットワークは冗長性を取ること。各ネットワーク機器は停電時10分以上運用できるUPSを装備すること。またリモートメンテナンス環境を構築し、定期的に予防保守を行い、障害発生時は速やかに復旧できること。		
4.2.17.462				・納入決定後、機器発注時点でメーカーの所有する最新のモデルシリーズ並びに最新バージョンであること。		
4.2.17.463				・システムのセキュリティが万全であり、検査データの機密保護が徹底されたシステム構築とすること。		
4.2.17.464				・光回線等の常時接続によるサーバーシステム(ネットワーク機器含む)に対する24時間365日のリモート監視保守体制、24時間365日コールセンターを導入ベンダー側で保有すること。またハードウェア、ソフトウェアの障害検知、自動通報機能を有すること。		
4.2.17.465				・常時接続保守回線を用いてウィルス定義ファイルを更新可能なシステムを導入しベンダーが自社で構築し、導入する全サーバー、PC機材に対して最新定義ファイルに更新可能なウィルス対策を行えること。		
4.2.17.466				・ベンダーで提供する全サーバークライアントにアンチウイルスを構築すること。全機器の定義ファイルは、自動で更新し、導入後も常に更新(1週間以内の定義ファイル配信)すること。人員現地派遣実施やリモートによる適当なタイミングの定義ファイル更新は認めないこととする。		
4.2.17.467				・稼働後7年間以上、バージョンアップしなくても当院の日常業務に耐えられる十分なCPU性能、メモリ容量、RAIDシステム等、十分な容量を有していること。		
4.2.17.468				・サーバ並びに各端末機器の詳細な性能、運用、必要台数は当院放射線科と十分協議決定し納入すること。		
4.2.17.469				・各サーバは停止、再起動、リセットをリモートアクセスにより制御できること。		
4.2.17.470				・画像表示は電子カルテ(オーダリング含む)システムベンダーと連携して行うこと。仕様に関しては入札前に当院担当者を含め詳細な打ち合わせを行うこと。		
4.2.17.471		DICOM PDIパブリッシャーシステム(患者紹介用ディスク発行システム)	自動CD/DVD発行機能 CD/DVD取り込み機能	・ディスク自動発行取込装置は、CD/DVD書き込みドライブと、プリンターが同一筐体にセットされ、自動でブランクディスクをロボット機構がつかみ、ライティングかつレーベルをプリンティングする機構を有すること。		
4.2.17.472				・制御用PCは外付けとなり、OSはWindows10が搭載されること。また、高速化のためにストレージ部分にはSSDを採用すること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.17.473			ディスク作成機能	・既存設置DICOM Serverに対してDICOM Query&Retrieve (DICOM QR) SCUを用いて画像データを取得できること。		
4.2.17.474				・DICOM QR時には検索条件として、「患者ID」、「患者名」、「検査日(期間指定可)」、「受付番号」、「モダリティ」を使用できること。		
4.2.17.475				・複数のサーバに対するDICOM QR時は、自動で複数サーバへのマルチクエリーを実施し、リストを一つにまとめて表示して、検査を選択する機能を有すること。		
4.2.17.476				・検査結果表示機能では、以下の情報を表示させることができること。 患者情報: 患者ID、患者名(漢字可) 検査情報: 検査日、検査記述 シリーズ情報: シリーズNo.、モダリティ、部位名		
4.2.17.477				・CD-R IHE PDI規格準拠のディスクを発行できること。		
4.2.17.478				・画像容量がCD-R 1枚のディスク容量を越える場合には、自動で2枚目のディスクへ分割することができること。あるいはDVD-Rに自動で書込むこと。		
4.2.17.479				・ラベル印刷機能として、患者提供用ディスクの場合は患者ID、患者名、検査日、検査部位、スタディディスクリプション、メディア作成日、画像枚数を印刷できること。		
4.2.17.480				・ユーザー認証機能として「システム管理者」「一般ユーザー」に権限を分け、パスワードによる認証機能を有すること。		
4.2.17.481				・Webブラウザを利用してディスクを発行する際、システム導入後でもID連携等を用いてオーダーリンクやRIS等と連携出来るようにすること。		
4.2.17.482			ディスクインポート機能	・メディアから画像を自動で読み込み、患者情報、検査情報、シリーズ情報を一覧表示し、必要な画像をDICOMサーバへDICOM Storage SCUで転送する機能を有すること。		
4.2.17.483				・患者名、患者ID、生年月日、などのDICOMタグ情報を任意に修正する機能を有すること。		
4.2.17.484				・DICOMタグ情報を修正する際にはオプションとして、DICOM MWM SCUにて、RISなどから患者情報を取得する機能を有すること。		
4.2.17.485				・インポートはDICOM画像のみではなく、非DICOMデータである、JPEG形式のデータもDICOMヘッダ情報を入力することにより、DICOM変換インポートすることが出来る機能を有すること。		
4.2.17.486			Disc同梱の画像ビューワー機能	・画像選択機能として、スタディ単位、シリーズ単位で選択できること。		
4.2.17.487				・画像表示機能として、2次元画像表示機能、ウィンドウ値変更、拡大、縮小、PAN、回転、上下反転、左右反転ができること。		
4.2.17.488			その他	・設置導入後、1年間の無償保証期間を含めること。		
4.2.17.489				・パブリッシャーシステムの詳細な機能・性能は当院放射線科と十分協議決定し納入すること。		
4.2.17.490				・県内にサービス拠点を置き、4時間以内での対応ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.17.491				・本装置の設置に関する搬入、据え付け、調整などに必要な費用は落札者の負担とする。		
4.2.17.492				・搬入、据え付け、調整を行うにあつては当院担当者と協議し、その指示に従うこと。		
4.2.17.493				・機器設置については、期間、内容を事前に協議したスケジュールに従い完了すること。		
4.2.17.494				・本装置の設置後は十分に調整し、機能および動作などの試験を行い、異常のないことを確認の後、当院担当者の検査を受けること。		
4.2.17.495		内視鏡ゲートウェイ	機能・性能等	・画像系保存方式は「DICOM3.0準拠」形式であること。		
4.2.17.496				・DICOM Storage SCU機能を装備し、院内PACSと接続すること。		
4.2.17.497				・DICOM MWM SCUの機能を装備し 院内MWMサーバーと接続すること。		
4.2.17.498				・30秒程度のDicom MultiFrame動画 (30frame/sec) 保存とその送信が可能なこと。		
4.2.17.499				・動画データはFTPを利用した送信も可能とし、その場合は30分程度の保存に対応できること。		
4.2.17.500				・また、FTPによる転送はMP4(+XML)に対応すること。		
4.2.17.501				・動画撮影中であっても、静止画の撮影が可能であること。		
4.2.17.502				・記録された画像は、検査中であってもプレビュー機能を利用して、任意の画像を確認することができる機能を有すること。		
4.2.17.503				・画像の記録中に、新規シリーズの作成/画像の回転・削除・序列入れ替えに対応できること。		
4.2.17.504				・画像の記録中に、PC内に保存されている任意のファイルを追加で登録する機能を有すること。		
4.2.17.505				・対応する、ファイル拡張子は *.BMP/*.GIF/*.JPG/*.JPEG/*.JPE/*.PNG/*.TIF/*.TIFF/*.avi/*.wmv/*.mts/*.m2ts/ *.mp4/*.pdfに対応してること。		
4.2.17.506				・不要ファイルの削除機能として保存日計算で一定の期間以前の画像データを自動削除する機能を有すること。		
4.2.17.507			その他	・内視鏡ゲートウェイの詳細な性能、台数は当院放射線科と十分協議決定し納入すること。		
4.2.17.508				・設置導入後、1年間の無償保証期間を含めること。		
4.2.17.509				・県内にサービス拠点を置き、4時間以内での対応ができること。		
4.2.17.510				・搬入、据え付け及び調整は以下の仕様を満たすこと。		
4.2.17.511				・本装置の設置に関する搬入、据え付け、調整などに必要な費用は落札者の負担とする。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.17.512				・搬入、据え付け、調整を行うにあつては当院担当者と協議し、その指示に従うこと。		
4.2.17.513				・機器設置については、期間、内容を事前に協議したスケジュールに従い完了すること。		
4.2.17.514				・本装置の設置後は十分に調整し、機能および動作などの試験を行い、異常のないことを確認の後、当院担当者の検査を受けること。		
4.2.17.515		内視鏡洗浄管理システム	機能・性能等	・内視鏡スコープの洗浄履歴が登録できること。		
4.2.17.516				・洗浄機の消毒液濃度確認履歴が試験紙画像選択で登録できること。		
4.2.17.517				・患者情報がスコープに紐づき登録ができること。		
4.2.17.518				・洗浄機の消毒液交換履歴が登録できること。		
4.2.17.519				・漏水検知の確認履歴が登録できること。		
4.2.17.520				・アルコールフラッシュの実施登録ができること。		
4.2.17.521				・再洗浄の登録ができること。		
4.2.17.522				・各種マスター情報が簡単に追加・登録できること(スコープ・スタッフ・洗浄機)。		
4.2.17.523				・登録情報の検索が簡単に行えること(カメラごと・洗浄機ごと・患者ごと等)。		
4.2.17.524				・用手洗浄の洗浄履歴が登録できること。		
4.2.17.525				・洗浄履歴に関連する集計・統計ができること。		
4.2.17.526				・内視鏡スコープのメンテナンス管理(修理・貸出等)ができること。		
4.2.17.527				・内視鏡スコープの使用頻度の確認ができること。		
4.2.17.528				・洗浄機ごとに、洗浄履歴・消毒液濃度確認・各種交換履歴が時系列で表示ができること(洗浄のトレサビリティとして使用ができること)。		
4.2.17.529				・データの修正が簡単にできること。また修正の履歴が確認できること。		
4.2.17.530				・データのバックアップが簡単に行えること。		
4.2.17.531				・各種登録データがCSVデータとして出力できること。また印刷できること。		
4.2.17.532				・サポート内容が明確であり、サポート窓口が確立されていること。		
4.2.17.533				・タブレットPCを使用していること。		
4.2.17.534				・ハンディターミナルを使用し、タブレットPC-ハンディターミナル間は無線仕様のこと。また詳細な性能、台数は当院放射線科と十分協議決定し納入すること。		
4.2.17.535				・患者IDは院内で出力したバーコードを使用できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.17.536	レポートサーバー	レポートシステム	基本機能	・レポート端末ソフトウェアの主たる機能および付加機能はサーバーからの配信型方式とし、端末への個別インストール作業を必要としないシステムであること。		
4.2.17.537				・レポート端末ソフトウェアは他システムとの干渉を考慮し、データベース接続クライアントを使用しない設計であること。		
4.2.17.538				・レポート端末ソフトウェアはインターネット閲覧ソフトウェアなど、レポート端末ソフトウェア以外のソフトウェアを使用することなく稼働できること。		
4.2.17.539				・日本消化器内視鏡学会が制定するJEDIに対応していること。		
4.2.17.540				・レポート端末を設定する情報はレポートサーバーに保存し運用できるシステムであること。		
4.2.17.541				・ネットワーク環境と端末コンピュータの環境が許される範囲でどの端末からでもレポートの機能を利用できること。		
4.2.17.542				・入力支援として定型文機能やテンプレート機能を装備し、すべての検査に対し効率的なレポート作成をサポートすること。		
4.2.17.543				・ログオフ機能を有していること。		
4.2.17.544			ユーザー管理機能	・利用者IDとパスワードによりログイン・ログオフができること。		
4.2.17.545				・ユーザー認証には、バーコードや磁気カードなどの利用ができること。		
4.2.17.546				・利用者の権限は、「参照のみ、入力可、確定可、修正可」の4段階で設定できること。		
4.2.17.547				・権限設定により、外部データ出力(印刷・CSV・HTMLなど)を禁止できること。		
4.2.17.548				・ユーザーグループごとに表示項目や入力可否の設定ができること。		
4.2.17.549				・ユーザーグループごとに参照・編集制限の設定ができること。		
4.2.17.550			一覧機能	・DICOM画像から作成したサムネイル画像がシリーズ単位で表示できること。		
4.2.17.551				・サムネイル画像からビューワの指定したレイアウト位置へ画像を表示する機能を有すること。		
4.2.17.552				・確定時に張り付けたキー画像も表示できること。シリーズ単位のサムネイルとワンボタンで切り替え表示ができること。		
4.2.17.553				・レポート一覧では、誰がログインしているか把握できるように利用者氏名が表示されること。		
4.2.17.554				・レポート一覧では患者属性情報、検査情報(患者ID/氏名/生年月日/検査種別/検査部位/造影の有無 等)の各項目を任意に設定でき、これらの情報は各項目でソートができること。		
4.2.17.555				・ユーザーごとに検索条件をプリセットすることができ、設定した検索条件はワンタッチで引用することができること。		
4.2.17.556				・レポート一覧に表示された結果をCSV形式(カンマ区切り形式)で出力できること。		

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.17.557				・一覧に表示された項目は、その項目をドラッグ&ドロップで移動し表示順を変更できること。		
4.2.17.558				・レポート一覧より、まだ作成されていない所見に対して作成医を予め設定できる所見確保機能を有していること。		
4.2.17.559				・ユーザーごとに一覧に表示される項目によって文字の色づけ設定ができること。(例:確定レポートは青、緊急レポートは赤など)		
4.2.17.560				・一覧の中から複数のレコードを選択し、選択されていないレコードについて非表示にすることができること。		
4.2.17.561				・レポート一覧より、同一患者・同一検査種の複数のレポートが存在する場合にそれらのレコードを選択しグループ化させ一括で所見入力ができること。		
4.2.17.562				・レポート一覧からリスト内の検査を選択することで、同一患者の過去検査履歴が容易に確認できること。		
4.2.17.563				・レポート一覧からリスト内の未読影以外の検査を選択することで、その検査の所見・診断等が画面展開しなくても表示(所見プレビュー欄)、確認できること。また所見プレビュー欄の文字サイズ変更がユーザー単位で設定できること。		
4.2.17.564				・レポート一覧において、作成レポートを“未入力・保留・チェック待ち・確定・編集中”の5つのステータスにより確認ができること。		
4.2.17.565				・レポート入力画面を閉じた際に対象レポートリストを自動的に保存し、『履歴』タブより履歴リスト一覧として表示することができること。		
4.2.17.566			検索機能	・入力項目すべてについて完全一致、部分一致で検索できること。また所見や診断部分については、AND検索、OR検索ができること。		
4.2.17.567				・通常よく使用される検索に加え、割り込み読影依頼に対応するため患者ID患者名での検索ができること。この際、今まで読影していた一覧にボタン一つで戻る事ができること。		
4.2.17.568				・複数のキーワードから検索を行なう全文検索機能を有し、全文検索のスピードは、約50万件のデータから1000件のデータ抽出に10秒以内で処理ができること。		
4.2.17.569				・一度検索を行った検索結果リストに対して、更に絞り込み検索ができること。また更に異なる条件を設定し検索する事ができること。		
4.2.17.570				・詳細検索機能で一度検索を行った検索結果リストに対して、本文診断欄に疾病に対して「～は認めない」「～は否定する」などの否定的表現(正常所見)が含まれている検査をワンボタンでハイライト表示することが出来ること。またワンボタンでこれらの検査をリストから削除することが出来ること。		
4.2.17.571				・検索結果のリストデータを展開した時に、本文検索に使用した語句が、その語句に色を付ける機能を有し検索に使用した語句の確認が容易であること。		
4.2.17.572				・検索機能は、通常検索・患者検索・プリセット検索・詳細検索の4つの検索方法に分類され目的に応じた検索ができること。		
4.2.17.573				・検索結果レポートのキー画像の最初の登録画像を一覧表示する機能を有すること。キー画像をクリックすると該当検査の所見、診断のプレビューができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.17.574			入力機能	・任意に新規レポートの作成ができること。オーダー情報や検査情報がない場合でも単独でレポートの作成ができること。この場合は依頼情報、実施情報の入力もできること。		
4.2.17.575				・RIS、またはオーダーリングシステムから渡されたオーダー情報(患者情報)を元にレポートを作成できること。		
4.2.17.576				・DICOM Serverに登録される画像情報を元にレポートを作成できること。		
4.2.17.577				・レポート入力画面を開くと同時に対象の画像が参照でき、レポートを閉じる際にはその画像を閉じることができること。		
4.2.17.578				・レポート入力欄は所見、診断、コメントの3項目を基本とし、これらの表示名は設定で変更できること。また他に追加情報欄を設け15種類以上の項目をプルダウン・チェックボックス・テキスト形式で、ユーザーが設定登録することができること。		
4.2.17.579				・前項の所見、診断、コメントの文字入力について各々最大10,000文字(全角)まで入力ができること。		
4.2.17.580				・同一患者の過去レポート一覧及びその内容を入力画面と同じ画面で参照できること。		
4.2.17.581				・過去レポートに添付された画像を同一Window内で参照できること。		
4.2.17.582				・過去レポートの所見をボタン1つで引用でき、その際に設定登録した文章を挿入できること。		
4.2.17.583				・レポート作成者は、ログインユーザーを基本とするが、最大4名まで登録ができること。		
4.2.17.584				・レポートの一時保存(保留)ができること。		
4.2.17.585				・レポート確定後はレポート内容を改変できない仕組みであること。確定後にレポート内容の変更が必要な場合は修正履歴を残す修正機能により行う仕組みであること。		
4.2.17.586				・確定レポートと修正前のレポートを比較し、変更、追加がある文節を自動的にハイライト表示できる機能を有していること。		
4.2.17.587				・研修医等がレポートのチェックを依頼する「チェック待ち」のステータスを有していること。この場合、読影医と確定医の登録が可能となっていること。		
4.2.17.588				・チェック待ちレポートと確定レポートの内容に相違がある場合、変更があった事が把握できるようにレポート入力画面の一部にマーク等を表示することができること。		
4.2.17.589				・レポートに画像やシェーマをキー画像として貼付することができ、画像添付処理は1ボタンでできること。また貼付した画像やシェーマには矢印やコメント等の画像編集(矢印線描画、直線描画、円描画、四角描画、文字挿入等)ができること。		
4.2.17.590				・キー画像として添付された画像やシェーマは、ドラック&ドロップにより並び替えができ、添付画面からの削除ができること。		
4.2.17.591				・利用するシェーマは任意に登録でき、ペンタブレット等での編集もできること。		

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.17.592				・JPEG、Bitmap、Tiffなどの汎用画像をキー画像としてクリップボード経由で貼付ができること。		
4.2.17.593				・レポート添付情報として検査単位でTWAIN対応のスキヤナーからスキャン画像を直接取り込み、保存ができること。		
4.2.17.594				・キー画像として貼付できる画像やシェーマ数は、30画像以上であること。		
4.2.17.595				・貼り付けられたキー画像は所見入力欄と同じWindow階層で表示すること。		
4.2.17.596				・キー画像はショートカットキーなどでワンタッチでビューワから貼付できること。		
4.2.17.597				・ショートカットキー操作で同一患者別検査の画像を貼付けた場合は、キー画像に別検査であることと検査日をキー画像内に自動的に埋め込む機能を有すること。		
4.2.17.598				・ショートカットキー操作で別患者画像をキー画像として貼付けようとした場合、警告アラートを表示する機能を有すること。		
4.2.17.599				・貼付けられたキー画像は、外部ペイントツール(E-toile)を使用してオブジェクトの編集または再編集可能な機能を有すること。		
4.2.17.600				・患者単位でのコメント入力ができること。(同一患者のレポート作成時に入力したコメントの参照、編集ができること。)		
4.2.17.601				・IRDコード入力に対応していること。またPDFやWORD、EXCEL等のファイルを検査単位でレポートに添付できること。		
4.2.17.602				・患者取り違え防止のため、同時に複数の患者のレポートを開くことができない設定ができること。但し、同時に複数レポートの展開を可能とする設定もできること。		
4.2.17.603				・レポート入力時、同一患者、同一検査種(モダリティ)の検査であれば、グループ化して同時に同じ内容の入力ができること。またグループ化されたレポートは解除することもできること。		
4.2.17.604				・ユーザーごとにフォントサイズを設定できること。		
4.2.17.605				・日本語入力機能のユーザー辞書はユーザーごとに管理され、どの端末でもユーザーが同じ辞書で操作ができること。		
4.2.17.606				・スペルチェック機能を有していること。		
4.2.17.607				・ディクテーションシステムが利用できること。レポートごとに音声ファイルを保管できる機能を有すること。		
4.2.17.608				・レポート入力欄の所見と診断は、フォントや文字サイズ、太字、斜体、下線、文字色の書式設定が可能なりッチテキスト形式での入力に対応していること。		
4.2.17.609				・読影時間の積算機能を有していること。また設定にてレポート入力画面に表示、非表示の設定ができること。		
4.2.17.610				・ビューワの表示状態を記録、再現できる機能を有すること。表示状態はシリーズレイアウト、画像表示位置、拡大/縮小、ウィンドニング、フィルター、アンテーション、計測等の記録と再現ができ、記録はフォルダーの階層構造で公開フォルダーまたはユーザー単位の非公開フォルダーとして管理できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.17.611				・レポート単位で個人コメントを入力できる機能を有すること。		
4.2.17.612				・読影レポートの見落とし防止を目的として、特に注意すべき内容がある場合は専用のコメント欄に注意喚起コメントを入力できる機能を有すること。また入力したコメントは配信レポート参照時に注意喚起コメントとしてアラート表示できること。		
4.2.17.613			入力支援機能	・マンモグラフィ、超音波(腹部、乳腺、心、頸動脈 等)、心カテ、内視鏡、胸部X線検診、胃透視の標準的なテンプレートが装備されていること。また要望に応じてテンプレートの作成にも対応できること。		
4.2.17.614				・内視鏡部門に関してはJEDIに対応できること。		
4.2.17.615				・レポート入力にあたり、所見、診断、コメントに対して定型文機能を有していること。		
4.2.17.616				・定型文機能では、定型文をユーザーごとに作成でき、個人利用・共有利用の設定ができること。		
4.2.17.617				・定型文入力では、日付やモダリティなどの入力の効率化のために、予め設定した文字列をマシン時刻や展開レポートの情報から自動入力するプレースホルダ機能を有していること。		
4.2.17.618				・定型文は検査種別、部位、性別の区分で振り分けられ、定型文引用時に各項目で絞り込み表示ができること。		
4.2.17.619				・定型文はユーザーごとに管理され、どの端末でもユーザーが同じ定型文を利用できること。		
4.2.17.620				・定型文は既に入力済みのレポートから記載内容を引用して、定型文として登録ができること。		
4.2.17.621				・注意喚起コメント入力にあたり、定型文を使用できる機能を有すること。		
4.2.17.622			症例管理機能	・所見レポートについては、ユーザー単位で任意の名称を付けたフォルダを作成して登録/管理ができること。		
4.2.17.623				・フォルダはツリー状に階層管理されており、ユーザーインターフェイスはWindowsのエクスプローラーのフォルダツリーと同等であること。		
4.2.17.624				・フォルダ名称は任意に設定でき、登録した検査を簡単に把握することができること。		
4.2.17.625				・フォルダへの登録はレポート一覧画面/レポート入力画面どちらからでもできること。		
4.2.17.626				・フォルダは他ユーザーへ公開/非公開の設定ができること。		
4.2.17.627				・登録した内容は、リストにより一覧表示ができ、その一覧の内容について項目によるソートができること。またソートした状態で保存することができること。		
4.2.17.628				・リストをクリックすると該当検査の所見、診断内容がプレビューできること。		
4.2.17.629				・フォルダに登録したレポート内を指定条件で検索し抽出することができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.17.630				・あらかじめ登録された病名マスターを参照し、所見、診断に該当病名が記述されている検査を病名ごとに自動仕分けをして管理する機能を有すること。その際、「～は認めない」「～は否定する」など否定形で記述されているものは除外する機能を有すること。		
4.2.17.631				・バインダー登録レポートの一覧にて通常検索や詳細検索とは別に表示したいカラムを表示可能とすること。		
4.2.17.632				・バインダー登録レポートに対して見出し(コメント)を設定できる機能を有すること。		
4.2.17.633				・バインダー登録レポートの一覧にて誰が登録したレポートか確認する機能を有すること。またバインダー登録レポートを移動できる機能を有すること。		
4.2.17.634			印刷機能	・レポート一覧を印刷できること。またレポート一覧から指定したレポートを一括印刷できること。		
4.2.17.635				・記載された所見を部数設定の上、印刷することができること。		
4.2.17.636				・印刷時、プレビューにより印刷画面の確認ができること。		
4.2.17.637				・所見レポート内の検査種別、モダリティ別、診断医などの条件により自動的に印刷フォームを選択する機能を有していること。		
4.2.17.638				・所見を印刷するフォームは、ユーザー側で設定変更が容易にでき、検査種別/モダリティ別/依頼科等の各種条件によりフォームを設定できること。		
4.2.17.639				・院内用、院外用(紹介状)など、複数の印刷フォームを一度に印刷することができること。		
4.2.17.640				・確定レポートをCSV/HTML形式でファイル書き出しができること。		
4.2.17.641				・確定レポートのDICOM-PDF形式でのファイル書き出し及びPACS登録ができること。		
4.2.17.642				・所見と診断はリッチテキスト形式での印刷とHTML書き出し、DICOM-PDF書き出しができること。		
4.2.17.643			メール機能	・読影医及びスタッフ間でのメール機能を有していること。またメールの開封確認ができること。		
4.2.17.644				・メールには任意の所見レポートへのリンクを添付できること。		
4.2.17.645				・メールの機能として送信先グループ設定/送信機能、タイマー送信機能、リマインダー機能を装備すること。		
4.2.17.646			読影率計算機能	・検査数と確定ステータスの検査数から、自動的に読影率計算ができる機能を有すること。		
4.2.17.647				・指定期間の全検査数及び全読影数(確定検査数)、当日読影数、当日読影率、翌日読影数、翌日読影率、翌々日以降の読影数、翌々日以降の読影率、未読影数の計算及び一括表示ができること。		
4.2.17.648				・計算対象期間の設定を任意に行うことができること。また今日、昨日、今月、前月、今年、去年については、プリセットボタンでワンタッチ設定ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.17.649				・ 休診日の条件設定ができること。曜日別の休診日及び祝日や特定の休診日などはあらかじめ任意に設定しておく機能を有すること。		
4.2.17.650				・ 計算対象のモダリティを任意に設定できること。		
4.2.17.651			統計機能	・ あらかじめ登録された病名マスターを参照し、診断に該当病名が記述されている検査を病名ごとに自動仕分けをして疾病別の患者数を自動で集計できること。		
4.2.17.652				・ 期間指定、患者数指定(例 50人～500人)、検査年別、年代別、併発病名別で集計を行いグラフ表示にも対応すること。		
4.2.17.653			レポート配信機能	・ 確定レポートについてWeb方式あるいはWeb方式と同等の方法でレポート参照ができること。		
4.2.17.654				・ レポート一覧からリスト内の未読影以外の検査を選択することで、その検査の所見・診断等が画面展開しなくても確認できること。		
4.2.17.655				・ Web方式等でレポート参照を行う場合は、表示される画面から過去のレポートも表示できること。		
4.2.17.656				・ 指定の改版履歴(旧版)と最終確定レポートを並べて比較できる機能を有すること。		
4.2.17.657				・ 指定の検査履歴と最終確定レポートを並べて比較できる機能を有すること。		
4.2.17.658				・ Web配信されたレポート画面から専用のフォームにて出力できること。		
4.2.17.659				・ Web方式で配信されたレポートを印刷する場合、レイアウトを崩すことなくフォームの自動調整を行い印刷することができること。		
4.2.17.660				・ 作成され配信されたレポートについて、オーダー担当医等が確認した際には確認済の状態が把握できる機能を有していること。		
4.2.17.661				・ 配信レポートを別IDの複数ユーザーが参照した場合、参照確認を行った全てのユーザーをデータベースに記録できること。また記録ユーザー数の制限がないこと。		
4.2.17.662				・ 注意を要するレポートに対してはレポート記述時に注意喚起コメントを入力する機能を有し、同注意喚起コメントは配信レポート参照時にアラートとして表示されること。		
4.2.17.663				・ 配信レポート参照時にアラートとして注意喚起コメントが表示された際、注意喚起コメント確認ボタンを押すことにより確認済み情報がデータベース記録される機能を有すること。またこの情報の有無を条件に検索、抽出ができること。		
4.2.17.664				・ 注意喚起コメントの記述内容を全文検索の対象として検索する機能を有すること。		
4.2.17.665			セキュリティ機能	・ レポート端末ソフトウェアは一定時間操作しなかった場合に、自動的にログアウトする機能を有していること。		
4.2.17.666				・ 所見入力中の排他制御ができ、あるレポートが開かれている場合、次に開こうとした場合は参照のみ可能となり、誰が開いているかが表示され確認することができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.17.667				・ 端末ごとの利用者をログ管理する機能を有し、このログについては病院のシステム管理者が何時でも確認することができること。		
4.2.17.668				・ 確定、修正、保存等の操作を行なった場合のログ管理機能を有し、このログについては、病院のシステム管理者が随時確認することができること。		
4.2.17.669			その他の機能	・ 電子カルテ統合ビュー表示に必要なレポート情報、添付画像を送信できること。またレポートの結果通知は遠隔読影分も含まれること(レポート確定通知)。		
4.2.17.670				・ レポート端末ソフトウェアのリスト画面から外部への読影依頼を行う機能を有し、また外部からの読影所見を取り込むカスタマイズができること。		
4.2.17.671				・ レポート端末ソフトウェアのレポート入力画面から、任意の設定された実行ファイルに患者IDやアクセス番号などの引数を渡し起動することができること。		
4.2.17.672				・ ログインしているユーザーの読影作業履歴(何時、誰のレポートについて作業したか)を確認できること。		
4.2.17.673				・ 読影開始から完了までの時間管理ができ、1日の読影処理率が計算できること。		
4.2.17.674				・ レポート入力欄と連携した付箋機能を有していること。付箋からレポート入力欄への貼付け、レポート入力欄から付箋紙への貼付けができること。		
4.2.17.675				・ レポート端末ソフトウェアの検索リスト画面で未検査の検査オーダーリストを表示することができること。またリスト画面からオーダー詳細が確認できる検査指示入力画面が起動し、検査指示入力ができること。入力された検査指示情報はRISに反映されること。		
4.2.17.676			読影トレーニングシステム機能	・ 読影レポートシステムと連携動作する読影トレーニングシステムを実装すること。		
4.2.17.677				・ 読影トレーニングシステムはサーバクライアント型で動作し、ユーザー情報、読影課題(問題)、評価、付帯情報はサーバーで管理される仕組みであること。		
4.2.17.678				・ 読影トレーニングシステムは放射線レポートシステムから切り離されたシステムであり、放射線レポートシステムと情報が混在、干渉しない論理的に独立したシステムであること。また読影トレーニングシステムの情報は院内に配信されないこと。		
4.2.17.679				・ 読影端末上で読影トレーニングシステムと読影レポートシステムが共存できること。		
4.2.17.680				・ 当院が指定する読影端末で読影トレーニングシステムを稼働させること。		
4.2.17.681				・ 読影トレーニングシステムと読影レポートシステムの起動アイコンは明確に別のものとする。		
4.2.17.682				・ 読影トレーニングシステムに登録された読影課題(問題)は、一つの課題をログインユーザーごとに未読影レポートとして何度でも利用できること。		
4.2.17.683				・ 読影トレーニングシステムは指導医用と研修医用のそれぞれのインターフェイス及び機能を持ち、ログインユーザーにより指導医権限、研修医権限を管理できること。読影レポートシステムのユーザーマスターを参照しユーザー認証することもできること。		
4.2.17.684			指導医用機能	・ 指導医権限者用の機能として放射線レポートシステムから、任意の検査をワンステップで読影トレーニングシステムに読影問題(課題)として登録できること。		

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.17.685				・指導医権限者が放射線レポートシステムから読影トレーニングシステムに検査を登録する際は、患者の年齢及び性別、依頼情報、実施詳細(撮影時情報)を設問に、所見/診断情報、キー画像は模範解答として自動的にコピー登録されること。またそれらの情報は必要に応じて編集ができること。		
4.2.17.686				・前項の読影課題登録時に5段階で難易度設定ができること。		
4.2.17.687				・模範解答の付帯情報として、症例解説、症例の採点ポイント(読影ポイント)、参照画像を記録できること。参照画像は別患者検査を含む他の症例画像を任意登録する事ができ、「常に参照可」「採点前参照可」「採点后参照可」のステータスを付与できること。		
4.2.17.688				・症例の採点ポイントは一つの課題に対し主ポイントを一つ、副ポイントを5つ設定できること。また各採点ポイントに対し5段階で評価を記録できる機能を有すること。		
4.2.17.689				・作成された課題はフォルダで階層構造を作成し任意のディレクトリの課題グループ(課題集)に登録できること。課題集に登録された段階で、課題は研修医ユーザーには非公開であること。		
4.2.17.690				・指導医権限者は課題集単位で問題の公開(出題)ができること。出題の条件設定として、タイトル、出題開始日、回答提出期限、出題対象者、自習可否の設定ができること。		
4.2.17.691				・出題中のステータスの課題集が一覧でリスト表示、確認できること。また課題が出題中の対象者一覧も表示できること。		
4.2.17.692				・研修医ユーザーが課題を回答済みの場合は、出題中ステータスリストに回答済みステータスが表示され、採点作業を行う課題が一目でわかること。		
4.2.17.693				・課題の採点画面は主ポイント、副ポイントの各採点ポイントに対し5段階で評価を記録でき、総合スコアとして5段階で評価を記録する機能を有すること。主ポイントにはフリーテキストで講評が記述できること。		
4.2.17.694			研修医用機能	・研修医権限者はユーザーごとに出題課題、回答済課題の評価記録が管理されること。		
4.2.17.695				・研修医ユーザーは課題リスト画面で現在出題中の課題集及び課題の一覧が表示され、課題リストの任意の課題をクリックする事により、所見入力画面と該当課題に関連付けられた画像が展開すること。		
4.2.17.696				・読影トレーニングシステムから起動されたビューワの患者情報は全て匿名化されること。またタグ情報表示など一部機能の制限ができること。		
4.2.17.697				・課題の読影開始から読影完了までの読影時間がカウントされ、カウントされた時間を自動的に記録される機能を有すること。		
4.2.17.698				・研修医用の所見入力画面では指導医用画面で記録された依頼情報(検査指示)と参照画像の参照ができること。		
4.2.17.699				・研修医用の所見入力画面には必要に応じてキー画像を添付できること。		
4.2.17.700				・研修医ユーザーが離席などで読影を中断するための読影中断ボタンと読影再開ボタンを装備すること。読影中断中は読影時間のカウントが中断されること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.17.701				・読影完了後、読影完了ボタン(提出ボタン)をクリックすることにより課題を提出できること。		
4.2.17.702				・課題が自習モードに設定されている場合は、提出と同時に模範解答との比較参照と症例解説の参照ができること。評価内容は指導医が採点后に参照可能になること。		
4.2.17.703				・課題が自習モードに設定されていない場合は、指導医の採点后に模範解答との比較参照と症例解説の参照及び指導医の評価内容が参照可能になること。		
4.2.17.704				・多重読影機能を有すること。任意の検査種別(胸部, マンモなど)を多重読影の対象とすることができること。		
4.2.17.705				・多重読影機能は1検査に対し技師1名、医師2名の最大3人までの多重読影を行う機能を有すること。		
4.2.17.706				・多重読影時の医師2名には確定権限を付与できること。また技師には確定権限が付与できないこと。		
4.2.17.707				・多重読影用のリストでは検査に対する各読影者のステータスが一目で確認できること。		
4.2.17.708				・多重読影時の各読影者は他の読影者の読影内容に関してブラインドで読影が可能であること。ただし他の読影者が確定後であれば、操作により参照もできること。		
4.2.17.709				・多重読影機能の各読影者のレポートの記述画面は、メインの読影レポートシステムの記述画面に準拠すること。		
4.2.17.710				・多重読影機能として1段階前の読影者の所見を自動的に引用する機能を有すること。		
4.2.17.711				・多重読影機能はレポートの統合画面を有すること。統合画面は読影者全員のレポートが比較表示でき、それぞれのレポートを引用、編集できること。		
4.2.17.712				・前項レポートの統合画面により、統合後確定されたレポートが最終的な確定レポートとして保存、配信できる仕組みであり、統合確定前のレポートは配信されないこと。最終確定後も必要に応じてレポートの統合画面を呼び出し、各読影者のオリジナルレポートの参照ができること。		
4.2.17.713		業務機能以外	性能等	・システム運用(I/F仕様)は関係する各ベンダーと密接に連携し構築させること。		
4.2.17.714				・システムは24時間365日の安定した連続運用ができること。		
4.2.17.715				・停電や瞬停、電圧降下などの電源異常が発生した場合は、無停電電源装置により5分以上電源供給ができること。		
4.2.17.716				・また無停電電源装置は停電を通知するアラーム機能を有し、かつ停電した旨をサーバに通知し安全にオートシャットダウンできる機能を有すること。		
4.2.17.717				・ネットワークへの不正な接続及びクライアントなどへの不正なソフトウェアのインストールができないこと。		
4.2.17.718				・各システム間の円滑な情報連携を実現すること。		
4.2.17.719				・システムは耐震対策を行うこと。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.17.720				・サーバのコンソールモニタを装備し接続すること。モニタは解像度XGA(1240×1024pixel)、19型以上で最大8台のCPUを切り替え可能な一体式の液晶コンソールモニタであること。		
4.2.17.721				・周辺機器(ネットワーク機器含む)の更新を行うこと。性能、機能、運用、必要台数に関しては当院放射線科担当者と十分協議し、決定納入すること。またネットワーク機器更新は現状の環境を引き継ぎ、当院放射線科及び関係ベンダーと詳細な打ち合わせを行うこと。		
4.2.17.722				・ネットワークは冗長性を取ること。各ネットワーク機器は停電時10分以上運用できるUPSを装備すること。またリモートメンテナンス環境を構築し、定期的に予防保守を行い、障害発生時は速やかに復旧できること。		
4.2.17.723				・納入決定後、機器発注時点でメーカーの所有する最新のモデルシリーズ並びに最新バージョンであること。		
4.2.17.724				・システムのセキュリティが万全であり、検査データの機密保護が徹底されたシステム構築とすること。		
4.2.17.725				・光回線等の常時接続によるサーバーシステム(ネットワーク機器含む)に対する24時間365日のリモート監視保守体制、24時間365日コールセンターを導入ベンダー側で保有すること。またハードウェア、ソフトウェアの障害検知、自動通報機能を有すること。		
4.2.17.726				・常時接続保守回線を用いてウイルス定義ファイルを更新可能なシステムを導入しベンダーが自社で構築し、導入する全サーバー、PC機材に対して最新定義ファイルに更新可能なウイルス対策を行えること。		
4.2.17.727				・稼働後7年間以上、バージョンアップしなくても当院の日常業務に耐えられる十分なCPU性能、メモリ容量、RAIDシステム等、十分な容量を有していること。		
4.2.17.728				・サーバ並びに各端末機器の詳細な性能、機能、運用及び必要台数等は当院放射線科と綿密に協議決定し納入すること。		
4.2.17.729				・各サーバは停止、再起動、リセットをリモートアクセスにより制御できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.18	リハビリテーション部門システム					
4.2.18.1		操作性		・患者一覧、予約画面、実績画面が同一画面に表示できること。		
4.2.18.2				・磁気診察カードリーダー(複数メーカー)により、患者の認識ができること。		
4.2.18.3				・基本的(種別・訓練・疾患名・障害名・手術名・住所等)なマスターは初期準備されていること。		
4.2.18.4				・患者データの登録は、氏名、日付以外はマウスで操作できること。		
4.2.18.5				・ログイン機能があり履歴を参照できること。		
4.2.18.6				・ログイン者毎に設定情報及び画面情報を保存できること。		
4.2.18.7				・ログイン者毎にシステム全体・マスタの設定変更権限を制御することができること。		
4.2.18.8				・単一の端末上で電子カルテとの相乗りが出来ること。		
4.2.18.9				・IDカードリーダーにより、患者名、生年月日、性別等患者の属性が取込みできること。		
4.2.18.10				・院内の全端末にインストールされており操作ができること。(同時接続制限あり)		
4.2.18.11				・クライアントのマスタ端末を作成できること。		
4.2.18.12				・シングルサインオンに対応しており、院内システム(電子カルテ)へのログインで利用できること。		
4.2.18.13				・クライアント端末は自動でPG更新が行われること。		
4.2.18.14				・無線LANでの運用に対応できること		
4.2.18.15		患者データ		・氏名、フリガナ、性別、生年月日、年齢、入退院情報、介護度、郵便番号、住所、電話番号の情報を管理できること。		
4.2.18.16				・「別に厚生労働大臣が定める患者」に対して、9単位算定可能最終日を登録できること。		
4.2.18.17				・摂食機能療法の治療開始日を保持できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.18.18				・障害者手帳の発効日を保持できること。		
4.2.18.19				・感染症、せき損患者のチェックができること。		
4.2.18.20				・1患者1療法に対し、基本パターンを9個登録できること。		
4.2.18.21				・また基本パターン1つ1つに対し予定パターンが登録できること。		
4.2.18.22				・起算日、治療開始日、計画評価の基準日、リハビリ開始日、中止日、再開日、リハビリ終了日を保持できること。		
4.2.18.23				・呼吸器リハビリテーション及び心大血管疾患リハビリテーションについては、加算の起算日を保持できること。		
4.2.18.24				・申し送り欄があること。また、申し送り事項のタイトル名を変更できること。		
4.2.18.25		患者一覧		・表示項目は通し番号、患者ID、患者氏名、フリガナ、病棟、種別、算定パターン、担当者、診療報酬区分、最終実施日、リハ終了日、診療科、当日実施の有無を表示できること。		
4.2.18.26				・表示項目はログイン者毎で任意に設定できること。ログイン者ごとに並び替えもできること。		
4.2.18.27				・表示項目の表示順を設定できること。		
4.2.18.28				・フォントのサイズをログイン者毎に設定できること。		
4.2.18.29				・退院患者、終了患者は表示・非表示に設定できること。		
4.2.18.30				・表示内容を病棟&担当者(複数指定)できること。		
4.2.18.31				・当日予約患者のみ表示できること。		
4.2.18.32				・患者ID、フリガナで患者を検索できること。		
4.2.18.33		予約管理		・予約ウィンドウは担当者ウィンドウ、患者ウィンドウ、病棟ウィンドウが準備されていること。		
4.2.18.34				・担当者ウィンドウは日付ごとに予約患者数(実人数・延べ人数)、予約単位数、予約週単位数が表示できること。		
4.2.18.35				・担当者ウィンドウは複数担当者の表示ができること。		
4.2.18.36				・一担当者表示の場合は複数日数(最大220日)の表示ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.18.37				・担当者ウィンドウの表示項目は患者名、ID、入外区分、病棟、診療報酬区分、種別、起算日からn日以内の識別、基本パターン、基準担当者、予定パターン優先度、予定開始時刻、訓練場所、診療科が表示できること。表示する内容と表示順はログイン者毎に設定できること。		
4.2.18.38				・担当者ウィンドウのフォントサイズ & 行間隔をログイン者毎に指定できること。		
4.2.18.39				・担当者ウィンドウの予約時間枠を設定できること(5～60分)。		
4.2.18.40				・担当者ウィンドウの実績登録した患者は患者名の表示色が変わること。またツールチップが表示され、実施担当者、実施時間がわかること。		
4.2.18.41				・担当者ウィンドウで時間重複している患者は患者名の表示色が赤くなること。またツールチップが表示され、エラー内容と重複している患者名がわかること。		
4.2.18.42				・担当者ウィンドウでは同一時間枠に複数患者が表示できること(心大リハや集団療法の場合)。		
4.2.18.43				・担当者ウィンドウに会議やカンファレンスなど対象外時間帯予約が設定できること。		
4.2.18.44				・担当者ウィンドウ内での予約登録は患者検索または、患者一覧から患者を選択してドラック&ドロップまたはクリック操作で予約が取れること。		
4.2.18.45				・患者ウィンドウは日付ごとに予約単位数、当月実施単位数が表示できること。		
4.2.18.46				・患者ウィンドウの予約単位数は「別に厚生労働大臣が定める患者」については9単位まで。それ以外は6単位までとし。それ以上予約すると赤字で表示されること。		
4.2.18.47				・患者ウィンドウは理学、作業、言語、リハビリ以外の予約が表示できること。		
4.2.18.48				・患者ウィンドウから予約が取れること。最大220日間先まで取れること。		
4.2.18.49				・患者ウィンドウでは次回予約が確認できること(次回が半年先の場合などでも一目でわかること)。		
4.2.18.50				・患者ウィンドウの患者切り替えは患者検索または患者一覧の患者から、担当者ウィンドウの患者から指定して変更できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.18.51				・患者ウィンドウと担当者ウィンドウが同一画面に表示できること。		
4.2.18.52				・患者ウィンドウで予約した内容はリアルタイムで担当者ウィンドウに反映できること。		
4.2.18.53				・患者ウィンドウのフォントサイズ&行間隔をログイン者毎に指定できること。		
4.2.18.54				・病棟ウィンドウは日付ごとに予約単位数、当月実施単位数が表示できること。		
4.2.18.55				・病棟ウィンドウの予約単位数は「別に厚生労働大臣が定める患者」については9単位まで。それ以外は6単位までとし。それ以上予約すると赤字で表示されること。		
4.2.18.56				・病棟ウィンドウは理学、作業、言語、リハビリ以外の予約が表示できること。		
4.2.18.57				・病棟ウィンドウの患者の並び順を変更できること。フリガナ、病室、当月単位数で並び替えできること。		
4.2.18.58				・病棟ウィンドウと担当者ウィンドウを同一画面に表示できること。		
4.2.18.59				・病棟ウィンドウで予約した患者はリアルタイムで担当者ウィンドウに反映できること。		
4.2.18.60				・対象外時間帯にリハビリ予約を登録する際に警告メッセージが表示されること。		
4.2.18.61				・患者の予約変更(予約時間、担当者、訓練場所、種別移動)ができること。また他の療法への変更もできること(例:理学の予約を作業へ変更)。		
4.2.18.62				・他の療法、リハビリ以外予約、対象外時間帯に予約を登録する場合は警告メッセージが表示されること。		
4.2.18.63				・予約のコピー機能があること。コピー先に予約がある場合は「上書き」「上書きしない」「確認メッセージを表示」ができること。		
4.2.18.64				・一度に全患者の予定一括作成ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.18.65				<ul style="list-style-type: none"> ・ 予定一括作成の条件設定 作成単位は全療法、療法、担当者ができること。 作成期間は最大1ヶ月間できること。 患者毎に条件設定(曜日ごとの「予定時刻」、「担当者」、「訓練場所」、「種別」、「週回数」)指定できること。 担当者が休みのとき、または単位数オーバーの際に他の担当者に振り分ける機能があること。 リハビリ以外の予約を調整して作成できること。 		
4.2.18.66				<ul style="list-style-type: none"> ・ リハビリ以外の予約が取れること。予約日は一日単位、もしくは指定週、指定曜日単位でおこなえること。 		
4.2.18.67				<ul style="list-style-type: none"> ・ 予約の削除ができること。 		
4.2.18.68				<ul style="list-style-type: none"> ・ 全期間一括削除ができること。 		
4.2.18.69				<ul style="list-style-type: none"> ・ 患者毎に指定日以降の一括削除ができること。 		
4.2.18.70				<ul style="list-style-type: none"> ・ 削除時に予定データの内外選択・曜日指定ができること。 		
4.2.18.71				<ul style="list-style-type: none"> ・ 退院する患者に関する翌日以降の入院時リハビリ予約について、オプションで退院日以降の予約に対し、以下の処理を行うことができること。 「そのまま表示する」「表示しない」「外来リハビリ予約に変更する」 		
4.2.18.72				<ul style="list-style-type: none"> ・ 入院する患者に関する翌日以降の外来時リハビリ予約について、オプションで入院日以降の予約に対し、以下の処理を行うことができること。 「そのまま表示する」「表示しない」「入院リハビリ予約に変更する」 		
4.2.18.73				<ul style="list-style-type: none"> ・ 予約作成時、「担当者の上限単位数(週108単位)、患者の上限単位数(標準的算定日数超え、月13単位)のチェックを行うことができること。 		
4.2.18.74				<ul style="list-style-type: none"> ・ 当日の単位数は「当日予約単位数」または「当日実績単位数」を選択することができること。 		
4.2.18.75		予約票発行印刷		<ul style="list-style-type: none"> ・ 患者ID単位で予約票を印刷できること。 		
4.2.18.76				<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定日以降の予約を印刷できること。 		
4.2.18.77				<ul style="list-style-type: none"> ・ 予約票のレイアウト変更ができること。 		
4.2.18.78		受付・実績登録		<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当者の予定ウィンドウと実績ウィンドウが同一画面内に表示できること。 		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.18.79				・担当者の予定ウィンドウと実績ウィンドウに表示する担当者はそれぞれに設定できること。		
4.2.18.80				・担当者の予定ウィンドウと実績ウィンドウに表示する時間枠はそれぞれに設定できること(例: 予定ウィンドウは20分枠。実績ウィンドウは22分枠)。		
4.2.18.81				・実績ウィンドウは日付ごとに実施患者数、実施単位数、実施週単位数が表示できること。		
4.2.18.82				・実績ウィンドウは複数担当者の表示ができること。		
4.2.18.83				・一担当者表示の場合は複数日数(最大220日)の表示ができること。		
4.2.18.84				・実績ウィンドウの表示項目は患者名、ID、入外区分、病棟、診療報酬区分、種別、起算日からn日以内の識別、基本パターン、基準担当者、受付開始時間、受付開始終了時間、訓練場所、診療科、備考入力済みに識別が表示できること。表示する内容と表示順はログイン者毎に設定できること。		
4.2.18.85				・登録した基本パターンを利用して実績登録ができること。		
4.2.18.86				・実績登録時に単位数等を変更した際も基本パターンは変更されないこと。		
4.2.18.87				・実績ウィンドウのフォントサイズ&行間隔をログイン者毎に指定できること。		
4.2.18.88				・実績ウィンドウの実績時間枠を設定できること(5~60分)。		
4.2.18.89				・実績ウィンドウに実績登録する前に、他の療法の登録情報が確認できること(訓練時間、担当者、療法、単位数)。		
4.2.18.90				・実績ウィンドウでは実施コメントを入力した患者を識別できること。		
4.2.18.91				・時間重複している患者は患者名の表示色が赤くなること。		
4.2.18.92				・またツールチップが表示され、エラー内容がわかること。		
4.2.18.93				・実績登録は予定ウィンドウの患者を選択または、患者一覧の患者を選択してドラック&ドロップまたはクリック操作で登録ができること。		
4.2.18.94				・患者を検索して実績登録ができること。		
4.2.18.95				・磁気診察カードリーダーから実績登録ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.18.96				・脳血管疾患等リハビリテーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、運動器リハビリテーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、心大血管疾患リハビリテーションⅠ・Ⅱ、呼吸器リハビリテーションⅠ・Ⅱ、(以下、疾患別リハビリ)、難病患者リハビリテーション、がん患者リハビリテーションが算定できること。		
4.2.18.97				・脳血管疾患等リハビリテーションについては廃用症候群とそれ以外を区別して算定できること。		
4.2.18.98				・それぞれの疾患別リハビリにおいて定められている算定上限日数を超えた場合、確認メッセージが表示され制限がかかること。		
4.2.18.99				・それぞれの疾患別リハビリにおいて定められている起算日(発症日)より14日以内は初期リハビリテーション加算が、30日以内は早期リハビリテーション加算が自動算定されること。		
4.2.18.100				・それぞれの疾患別リハビリにおいて定められている算定上限日数を超えた場合、1ヶ月当たり13単位まで算定できること。		
4.2.18.101				・また要介護被保険者等については維持期リハビリテーション評価として算定できること。		
4.2.18.102				・算定上限日数を超えた場合でも、厚生労働大臣が定める患者であって、治療を継続することにより状態の改善が期待できると判断される場合には、算定上限日数を超えても所定点数が算定できること。		
4.2.18.103				・理学・作業・言語聴覚療法あわせて患者1人につき1日6単位を超えた場合、確認メッセージが表示され種別の変更要求が表示されること。		
4.2.18.104				・別に厚生労働大臣が定める患者については1日9単位を超えた場合、確認メッセージが表示されること。		
4.2.18.105				・訓練開始日からの訓練経過月を表示できること。		
4.2.18.106				・担当療法士不在の場合、実施時に警告ができること。		
4.2.18.107				・算定可能日数が30日を切った患者の実施登録時、残り日数を表示できること。		
4.2.18.108				・表示させる日数は0～30日の中から選択できること。		
4.2.18.109				・実施登録時、当月にリハ総合計画評価を算定していない患者はメッセージが表示されること。		
4.2.18.110				・毎月何日から表示させるか設定できること。		
4.2.18.111				・実績登録時、訓練の空き時間を自動で作ることができること。		
4.2.18.112				・訓練場所毎に空き時間を設定できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.18.113				・複数患者を同時に一括実施できること。		
4.2.18.114				・療法士1人当たり1日最大24単位までの制限ができること。		
4.2.18.115				・1担当で患者の時間重複チェックを自動で行い重複している場合は確認メッセージが表示されること。		
4.2.18.116				・また、1患者で他療法(理学・作業・言語)での時間重複もチェックされ確認メッセージが表示されること。		
4.2.18.117				・回復期リハビリテーション病棟入院料を算定する患者に対して、別に厚生労働大臣が定める患者に該当するので、1日9単位まで算定可能となり、それぞれの日数チェックができること。		
4.2.18.118				・回復期リハビリ病棟専従療法士の受付管理や集計なども区別して行うことができること。		
4.2.18.119				・消炎鎮痛器具等による処置を管理できること。		
4.2.18.120				・障害児(者)リハビリテーション料が算定できること。		
4.2.18.121				・また年齢別による自動判定が可能なこと。		
4.2.18.122				・疾患別リハビリ、がん患者リハビリテーション及び障害児(者)リハビリテーション料は同一日に算定できないので確認メッセージをだし制限をかけること。		
4.2.18.123				・在宅訪問リハビリテーション指導管理料が単位制として管理できること。		
4.2.18.124				・また、患者1人つき、週6単位まで、急性増悪した患者については6月に1回、14日間に限り1日4単位まで算定できること。		
4.2.18.125				・摂食機能療法が1人の患者につき、月4回まで算定できること。		
4.2.18.126				・ただし、治療開始後から3ヶ月以内の患者については毎日算定が可能なこと。		
4.2.18.127				・集団コミュニケーション療法(言語のみ)は1人につき1日3単位まで算定でき、集団療法3単位を疾患別リハビリテーション1単位とみなして算定できること。		
4.2.18.128				・リハビリ総合評価見直は毎月受付時、確認メッセージが表示されること。		
4.2.18.129				・当月で既にリハビリ総合実施計画書登録済みの場合算定有無を表示できること。		
4.2.18.130				・実施登録時に訓練内容・時間の変更を行なうことができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.18.131				・リハビリ受付後、処置内容を表示し処置表として印刷が可能であること。		
4.2.18.132				・リハビリ訓練内容や実施コメントを入力できること。		
4.2.18.133				・実施コメント入力は一括して複数患者をまとめて入力ができること。		
4.2.18.134				・実施コメント入力画面では過去の実施内容を参照しながら入力できること(最大30日間の履歴参照)。		
4.2.18.135				・実施コメントを登録した文章の選択式で入力できること。(担当者毎に定型文登録可)		
4.2.18.136				・実施コメント欄にFIM、BIの評価内容を取り込むことができること。		
4.2.18.137				・指導料、処置、装具採型なども算定可能であること。		
4.2.18.138				・1療法内で1患者が複数回(例えば午前中個別1単位、午後から個別1単位)受付できること。		
4.2.18.139				・医療保険から介護保険への移行期間の2月目については疾患別リハビリテーションを7単位までとして算定できること。		
4.2.18.140				・単位数の計算を医療と介護を合わせて行えること。		
4.2.18.141				・予定情報を優先しながら実施入力できること。		
4.2.18.142				・入退室時間の設定が行えること。		
4.2.18.143				・訓練時間は分数を表示する機能があり、分単位で入力が可能で、開始と終了を入力したら訓練時間を自動計算し表示すること。		
4.2.18.144				・受付患者を表示することができること。		
4.2.18.145				・実施登録時に外来処置票を自動で印刷する機能があること。		
4.2.18.146				・印刷済みは色を付けて表示ができること。		
4.2.18.147		統計資料		・日間集計表が診療科別や病棟別で作成できること。		
4.2.18.148				・週単位数の印刷が出来ること。		
4.2.18.149				・日毎にリハビリ状況を確認することができること。		
4.2.18.150				・月間集計表が担当者別で作成できること。		
4.2.18.151				・月間集計表が診療科別や病棟別で作成できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.18.152				・リハビリの実施記録が期間指定で作成できること。		
4.2.18.153				・また担当者別や患者別で複数パターンできること。		
4.2.18.154				・診療報酬の年間集計が作成できること。		
4.2.18.155				・年間の疾患別取り扱い集計表が作成できること。		
4.2.18.156				・年間の訓練集計表が作成できること。		
4.2.18.157				・予定表が担当者別に作成できること。		
4.2.18.158				・予定表は日付指定で複数日分作成できること。		
4.2.18.159				・病棟別で予定表が作成できること。		
4.2.18.160				・患者のスケジュール表が作成できること。		
4.2.18.161				・実績表の作成が出来ること(担当者別、病棟別)。		
4.2.18.162				・患者の一覧を表示できること。療法や疾患別等様々な条件で絞込みができること。		
4.2.18.163				・経過報告書の印刷が行えること。		
4.2.18.164				・リハビリの算定上限チェック一覧が残日数等指定で印刷できること。		
4.2.18.165				・リハビリ総合計画評価料算定対象者一覧が表示ができること。		
4.2.18.166				・全帳票画面表示機能があること。		
4.2.18.167				・データを他アプリケーションソフト(Excel等)へ変換できること。		
4.2.18.168				・印刷項目がある程度選択自由であること。		
4.2.18.169				・院内の全端末から上記の統計資料等の閲覧、書き込みができること(同時接続制限あり)。		
4.2.18.170				・一度項目設定した帳票は、名前を付けて100パターンまで登録、管理できること。		
4.2.18.171				・事業団本部提出用304統計が行えること。		
4.2.18.172		機能効果		・FIM、BI、脳血管疾患初期評価、SIAS、徒手筋力検査、関節可動域検査、MMSE、CDR、ADASが準備されていること。		
4.2.18.173				・患者別に評価内容がグラフ表示できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.18.174				・マウスで選択するだけで評価点数の入力ができること。		
4.2.18.175				・病院独自の評価表形式も、ユーザで簡単に作成・変更ができること。		
4.2.18.176				・病院独自の形式に対応できること。ユーザで簡単に作成・変更ができること。		
4.2.18.177		回復期管理機能		・様式49の1～6に必要な情報が出力できること(最新の診療報酬に対応していること)。		
4.2.18.178				・期間指定による出力項目指定で患者情報をCSV出力できること。		
4.2.18.179				・日常生活機能評価、FIM、パーセル指数、看護必要度A項目の入力ができること。		
4.2.18.180				・回復期管理機能に未登録の患者一覧を確認できること。		
4.2.18.181				・単位数予測機能があること。		
4.2.18.182				・また予測した単位数に対し、不足単位数・残り期間の必要実施平均単位数が算出されること。		
4.2.18.183				・実績指数(利得率)の算出ができること。		
4.2.18.184				・また実績指数は高次脳機能障害の患者を省いて計算できること。		
4.2.18.185				<ul style="list-style-type: none"> ・当月(もしくは指定期間)の回復期患者の以下の情報を表示し、設定した値以下の場合には赤字表示ができること。 ・現在入棟患者数 ・回復期対象患者数 ・当月新規入棟患者数 ・日常生活評価10点以上の患者数 ・重症患者の割合 ・当月新規退棟患者数 ・在宅復帰率 ・重症患者改善率(3点以上) ・一日当たりの提供単位数 ・(休日)単位数 ・(休日以外)単位数 ・アウトカム除外対象患者の割合(%) ・高次脳機能障害患者の割合(%) 		
4.2.18.186		地域包括ケア管理機能		・様式50の3に必要な情報が出力できること(最新の診療報酬に対応していること)。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.18.187				・期間指定による出力項目指定で患者情報をCSV出力できること。		
4.2.18.188				・日常生活機能評価、FIM、バーセル指数、看護必要度A項目の入力ができること。		
4.2.18.189				・地域包括ケア管理機能に未登録の患者一覧を確認できること。		
4.2.18.190				・単位数予測機能があること。		
4.2.18.191				・また予測した単位数に対し、不足単位数・残り期間の必要実施平均単位数が算出されること。		
4.2.18.192				・当月(もしくは指定期間)の地域包括ケア患者の以下の情報を表示し、設定した値以下の場合には赤字表示ができること。 <ul style="list-style-type: none"> ・現在入棟患者数 ・地域包括ケア対象患者数 ・当月新規入棟患者数 ・重症患者の割合 ・当月新規退棟患者数 ・在宅復帰率 ・一日当たりの提供単位数 		
4.2.18.193		計画書・各種評価表		・Web機能により、院内のネットワーク上の端末で、閲覧・作成ができること。		
4.2.18.194				・職種毎に記載範囲を表示できること。		
4.2.18.195				・厚生労働省が指定する総合実施計画書や実施計画書が標準で準備されていること。		
4.2.18.196				・病院指定の書式で複数パターン作成でき、新規作成や変更に費用が発生しないこと。		
4.2.18.197				・作成状況(未作成・一部作成・作成済み)が表示でき、職種毎に記載状況が確認できること。		
4.2.18.198				・作成帳票を患者・帳票・記載者・作成日・作成状態で絞り込みをかけて検索できること。		
4.2.18.199				・機能効果や回復期管理機能で作成したFIM、BIを取込むことができること。		
4.2.18.200				・各項目で入力した点数の合計が自動計算されること。		
4.2.18.201				・前回作成した計画書・評価表を複写して、作成できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.18.202				・期間指定による各評価項目の条件指定で患者を絞り込むことができ、CSV出力できること。		
4.2.18.203				・管理者権限によりユーザで簡単に項目マスタや職種マスタの作成・変更・削除ができること。		
4.2.18.204				・作成した計画書・評価表をExcelまたはテキスト出力できること。		
4.2.18.205				・作成した計画書・評価表をPDFプレビューできること。		
4.2.18.206				・帳票毎に分類できること。		
4.2.18.207		他システム連携		・患者属性(ID・名前・生年月日・性別・入院情報等)の取込みができ、随時自動変更されること。		
4.2.18.208				・医事システムに実績(会計)情報を送信できること。		
4.2.18.209				・リハビリの予約情報を送信できること。		
4.2.18.210				・また、オーダーリングより他科の予約情報を取込み画面に表示できること。		
4.2.18.211				・オーダ情報(処方、指示)の取込みができ、オーダ患者の一覧が画面に随時表示できること。		
4.2.18.212				・電子カルテに実施内容(リハカルテ)を送信できること。		
4.2.18.213		その他		・サポート契約締結によりユーザ様の要望を受入れ随時機能アップを行い、最低年1回バージョンアップを行うこと。		
4.2.18.214				・ また疑義解釈への対応を行うこと。		
4.2.18.215				・最低年1回パッケージの機能強化を行うこと。		
4.2.18.216				・施設基準 I、II、IIIに対応できること。		
4.2.18.217				・サポート契約締結により診療報酬改訂の大小に関わらず即対応していること。		
4.2.18.218				・47都道府県に納入実績があること(1000ユーザー以上)。		
4.2.18.219				・介護保険にも対応していること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.19	給食システム					
4.2.19.1	基本機能			・クライアント/サーバ方式による分散処理であること。		
4.2.19.2				・24時間運用を考慮したシステム(パッケージ)であること。		
4.2.19.3				・データバックアップを自動化する事によって、日次、月次処理においても24時間運転に支障を来さないようなハードウェア構成を採用すること。		
4.2.19.4				・電子カルテシステムと食事オーダー情報が連携可能であること。		
4.2.19.5				・現給食システムのデータを過去5年分移行できること。 献立情報関係 食品・料理・献立・仕入先		
4.2.19.6		患者管理	食事箋管理	・電子カルテ連携により患者属性、食事依頼情報が受信できること。		
4.2.19.7				・指定時間に電子カルテ連携により患者属性、食事依頼情報が自動受信できること。		
4.2.19.8				・食事オーダー受信時に食札など任意の帳票を操作することなく出力することができること。		
4.2.19.9				・電子カルテの患者基本情報に食物禁忌が登録されている患者一覧表を出力できること。		
4.2.19.10				・注意が必要な患者のオーダーを受信した際に、チェックリストを出力できること。		
4.2.19.11				・サーバ障害、ネットワーク障害に備えて、オーダー受信時に2食先までの必要な帳票をローカルディスクにPDF形式で自動格納されること。		
4.2.19.12				・電子カルテシステムが停止した場合でも、食数管理業務が動作すること。		
4.2.19.13				・患者の食歴情報を確認、出力できること。		
4.2.19.14				・患者食事情報は5年以上保存できること。前回の略歴、コメント等が分かること。		
4.2.19.15				・電子カルテ連携により患者属性、食事依頼情報の訂正ができること。		
4.2.19.16				・アレルギーコメント・禁止コメント・コメントは集計時分類でき、合計 20項目(1日共通、各食毎の属性)出力できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.19..17				<ul style="list-style-type: none"> 各食で食事内容が異なり継続した時の対応ができること。 <例> 7/23～7/31 ・朝: 常食 ・昼: 軟食 ・夕: 糖尿病食 ・曜日別で食事内容が異なり継続した時の対応が出来ること。 		
4.2.19..18				<ul style="list-style-type: none"> 経管栄養管理(種類・本数)ができること。 		
4.2.19..19				<ul style="list-style-type: none"> 調乳管理ができること。 		
4.2.19..20			食事箋管理	<ul style="list-style-type: none"> 該当患者の食事履歴を別の端末でも参照している場合、警告メッセージが表示されること。 		
4.2.19..21				<ul style="list-style-type: none"> 外来透析やデイケアなど外来の患者をカレンダー形式で登録できること。 		
4.2.19..22			食数管理帳票管理	<ul style="list-style-type: none"> 予定給食数一覧表(食種・主食・コメント・飲み物・形態)が病棟別・時間区分・一日共通(まとめて合計)と区別して出力できること。 		
4.2.19..23				<ul style="list-style-type: none"> アレルギーコメント・禁止コメント・コメントの集計表がコメント別・病棟別・時間区分・一日共通(まとめて合計)と区別して出せること。 		
4.2.19..24				<ul style="list-style-type: none"> アレルギーコメント・禁止コメント・コメントの別患者一覧表がコメント別・病棟別・時間区分・一日共通(まとめて合計)と区別して出せること。 		
4.2.19..25				<ul style="list-style-type: none"> アレルギーコメント・禁止コメント・コメントの患者数がコメント別・病棟別・時間区分・一日共通(まとめて合計)と区別して出せること。 		
4.2.19..26				<ul style="list-style-type: none"> アレルギーコメント・禁止コメント・コメントの食数一覧表がコメント別・病棟別・時間区分・一日共通(まとめて合計)と区別して出せること。 		
4.2.19..27				<ul style="list-style-type: none"> 経管栄養患者一覧表が病棟別・時間区分・一日共通(まとめて合計)と区別して出せること。 		
4.2.19..28				<ul style="list-style-type: none"> 上記の22～27について、一日共通(まとめて合計)の詳細が出せること。 		
4.2.19..29				<ul style="list-style-type: none"> 患者変更リストが出せること(前食と比較)(時間差比較)。 		
4.2.19..30				<ul style="list-style-type: none"> 経腸栄養が個人画面から設定でき、食札としても印刷できること。 		
4.2.19..31				<ul style="list-style-type: none"> 調乳管理ができること、また、電子カルテと連動させることができること。 		
4.2.19..32				<ul style="list-style-type: none"> 食札において変更分及び前回出力との差分が出力できること。 		
4.2.19..33				<ul style="list-style-type: none"> 前回受信・今回受信等の患者の差分情報を出力できること。 		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.19..34				・ 帳票類は出力前に画面で確認できること。		
4.2.19..35				・ 食事箋が出力できること。		
4.2.19..36		献立管理	予定献立管理	・ 補食の献立を作成出来、一日・時間区分、一食種、一選択Noで6食分まで登録ができること。		
4.2.19..37				・ 献立の作成状況を食種ごとにカレンダー形式で確認できること。		
4.2.19..38				・ 献立作成画面に、料理・食品・主栄養成分値・栄養値合計が表示ができること。		
4.2.19..39				・ 献立作成の価格が一食品・一料理・一食・1日単位で算出、画面表示できること。		
4.2.19..40				・ 献立作成の画面より料理名が変えられること。		
4.2.19..41				・ 献立内容を指定日付範囲・時間区分・食種単位で複写できること。		
4.2.19..42				・ 献立内容を指定日付範囲・時間区分・異食単位で複写できること。		
4.2.19..43				・ 献立内容を指定日付範囲・指定食種範囲で時間区分の入れ替えが可能なこと。		
4.2.19..44				・ 指定料理・指定食品の検索機能を有し、食品コード・かな検索が可能なこと。		
4.2.19..45				・ 日付・時間・食種の範囲を限定し、一括に修正・変換ができること。		
4.2.19..46				・ 指定料理・指定食品の追加・削除・修正・書き換えが一括処理できること。		
4.2.19..47				・ 献立の追加・削除・修正・複写が1料理・1食・1日単位でできること。		
4.2.19..48				・ 選択食対応のこと。患者・病棟・食種ごとに選択食メニューの選択結果を入力できること		
4.2.19..49				・ 献立は5年以上保存し、予定献立作成に利用できること。		
4.2.19..50				・ 献立作成画面上にて料理マスタ登録が容易にできること。		
4.2.19..51				・ 画面上にて献立が週間及び食種別で作成できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.19..52				・一画面で他日付の献立内容と照らし合わせながら献立作成ができること(同食種14日)。		
4.2.19..53				・32、一画面で他食種の献立内容と照らし合わせながら献立作成ができること(同日付14食種)。		
4.2.19..54				・画面を初期表示したときから、変更した箇所は背景色が変わり、変更箇所が容易に把握できること。		
4.2.19..55				・日付・食種単位で献立にロックをかけることができること。ロックされた献立は、修正・削除が行えないこと。		
4.2.19..56			献立表管理	・献立表が構成食品を出力するか否かを選択して食種別7日別に打ち出せること。		
4.2.19..57				・献立表が選択食を出力するか否かを選択して食種別16日別に打ち出せること。		
4.2.19..58				・献立表(4連、5連、7連)を縦、横に出力するかを選択できること。		
4.2.19..59				・食種毎に予定数をもとにした仕込み量が出ること。		
4.2.19..60				・献立表は1食種・2食種・4食種・6食種・8食種・20食種に設定し、1日・指定時間区分(朝食・昼食・夕食)・時間区分組み合わせ(朝昼・朝夕・昼夕)で打ち出せること。		
4.2.19..61				・給食日誌が出力できること。		
4.2.19..62				・献立により微量栄養成分・アミノ酸・脂肪酸の算出が可能なこと。		
4.2.19..63				・献立により糖尿単位・腎臓単位の算出が可能なこと。		
4.2.19..64				・料理毎の各食材の使用量は個数、またはg単位で管理することができること。		
4.2.19..65				・食種ごとに目標摂取栄養量を設定できること。 また帳票に出力する栄養価の項目は、食種ごとに設定できること。		
4.2.19..66				・検索した結果を印刷できること。		
4.2.19..67				・過去5年分の献立を全て、移行できること。		
4.2.19..68			個人献立管理	・個人別の献立を作成できること。		
4.2.19..69				・個人の主食の量に対応させて、各料理を量を変更した別の料理に差し替えることができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.19..70				・個人のコメント情報に対応させて、個人の献立の料理を差替え、または削除することができること。		
4.2.19..71			個人献立表管理	・個人別の献立表を印刷できること。		
4.2.19..72				・個人別の禁止食品チェック表を印刷できること。		
4.2.19..73		発注管理	発注管理 (ニュークックチル)	・予定人数は電子カルテから受信でき、修正・集計ができること。		
4.2.19..74				・食品ごとの契約情報(単価・業者・換算量など)を管理できること。		
4.2.19..75				・献立・予定人数・契約情報をもとに、材料集計・発注処理ができること。		
4.2.19..76				・ニュークックチルに対応した集計処理ができること。		
4.2.19..77				・入力した予定人数が一覧表で印刷できること。		
4.2.19..78				・発注処理後の情報を修正できること。		
4.2.19..79				・食品の発注と納品が異なる場合、修正できること。		
4.2.19..80				・食品の使用量はg・kg Kg、または包装単位で管理することができること。		
4.2.19..81		調理指示表	調理指示表関係	・調理指示表(ニュークックチル対応)が印刷できること。		
4.2.19..82				・チルド保存カード(ニュークックチル対応)が印刷できること。		
4.2.19..83				・仕込みカード(ニュークックチル対応)が印刷できること。		
4.2.19..84				・料理数一覧表(専用レイアウト)が印刷できること。		
		日報、月報管理	日報、月報管理 機能	以下、各所報告書が印刷できること。		
4.2.19..85				・栄養日報・月報		
4.2.19..86				・消費日計表・月計表		
4.2.19..87				・病院給食食品量日計表		
4.2.19..88				・病院給食食品量表		
4.2.19..89				・在庫食品入出庫明細表		
4.2.19..90				・食糧構成表		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.19..91				・食数一覧表(月報・年報)		
4.2.19..92				・栄養検討表(月報)		
4.2.19..93				汎用食数月報(食種、形態、主食、病棟、特禁事項、付加、配膳場所から任意の縦軸と横軸を選択可能)を出力できること。		
4.2.19..94				・日報、月報をそれぞれ一括で印刷できること。		
4.2.19..95				・トラブル時、遠隔操作で対応できること。		
4.2.19..96				・食品成分表・糖尿病交換表・腎臓病交換表の改定時は、新しいものをシステムにできること。		
4.2.19..97				・献立作成時、前後7日間で同一料理を登録する時、警告画面が出ること。		
4.2.19..98				・アレルギー食品・禁止食品使用の献立に対し、代替献立が作成出来ること。		
4.2.19..99				・各栄養素は、少数第何位まで出力するか栄養素別で設定出来ること。		
4.2.19..100				・献立画面と電子カルテ画面が同時に表示が出来ること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.20	NSTシステム					
4.2.20..1		基本条件	パッケージ基本	・電子カルテ／オーダーリングシステム・看護支援システム・栄養管理システムと情報連携を図れること。		
4.2.20..2				・Webブラウザを利用して、各端末から操作できること。		
4.2.20..3				・電子カルテ／オーダーリングシステムからも起動できること。		
4.2.20..4				・各業務画面からヘルプ画面を素早く呼び出せること。		
4.2.20..5			操作性	・マウス操作が中心になる操作性を実現していること。		
4.2.20..6				・紙資源節約のため印刷物は基本的にプレビュー機能を有し、本出力の前に出力内容を確認できること。		
4.2.20..7			セキュリティ	・システム起動はID、パスワードによる認証の仕組みとなっていること。		
4.2.20..8				・システム起動はID、電子カルテ／オーダーリングシステムと連携できること。		
4.2.20..9				・職制によって、「参照のみ」/「更新可能」の権限設定ができること。		
4.2.20..10		栄養管理計画書	患者一覧	・入院中の患者が一覧で表示できること。		
4.2.20..11				・入院患者情報を、電子カルテ／オーダーリングシステムと連動できること。		
4.2.20..12				・各業務(SGA・管理計画書・再評価・計画書ビューア)を起動できること。		
4.2.20..13				・患者基本情報が表示できること。		
4.2.20..14				・SGAの判定、点数が表示できること。		
4.2.20..15				・管理計画書作成有無が表示できること。		
4.2.20..16				・再評価作成回数が表示できること。		
4.2.20..17				・再評価判定が表示できること。		
4.2.20..18				・次回評価日が表示できること。		
4.2.20..19				・NST介入状況が表示できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.20..20				・退院時評価状況が表示できること。		
4.2.20..21				・電子カルテ/オーダーリングシステムへの報告書送信状況が表示できること。		
4.2.20..22				・各種条件で絞り込み表示できること。(入院期間指定、退院期間指定、患者指定、病棟指定、SGA結果、管理計画作成有無、NST介入状態、退院時評価有無、再評価日範囲指定)		
4.2.20..23				・入院中患者のみならず、退院済み患者も表示できること。		
4.2.20..24			入院時の栄養状態評価	・SGAの各項目の選択もしくは入力を行い判定ができること。		
4.2.20..25				・他システムから引用可能な情報(入院日、病棟、病室、診療科、担当医、病名、身長、体重、検査結果、食種、入院時体温、日常生活自立度)を取得できること。		
4.2.20..26				・検査結果は、最大4項目まで取得できること。		
4.2.20..27				・各項目を点数化し自動的に判定ができること。		
4.2.20..28				・各項目の説明文が必要に応じて表示されること。		
4.2.20..29				・栄養不良と判定された患者は、NST介入候補者としてチェックされること。		
4.2.20..30				・判定結果により、NST介入候補一覧に表示できること。		
4.2.20..31			栄養管理計画書	・SGAの結果を参照しながら、管理計画書が作成できること。		
4.2.20..32				・栄養管理計画書の各項目を選択もしくは入力を行うことができること。		
4.2.20..33				・SGAの判定結果によって、管理計画書の規定値が設定されること。		
4.2.20..34				・目標栄養量はマスタから設定できること。		
4.2.20..35				・目標栄養量は食種で選択できること。		
4.2.20..36				・直近の食事内容が確認できること。		
4.2.20..37				・退院時評価ができること。		
4.2.20..38				・再評価日はSGAの判定結果によって、自動的に作成日より計算して設定できること。		
4.2.20..39				・管理計画書をプレビュー表示・印刷できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.20..40			栄養アセスメント	・栄養再評価の各項目を選択もしくは入力を行うことができること。		
4.2.20..41				・他システムから引用可能な情報(患者基本情報や検査結果、処方内容、注射内容、喫食量、食事内容)を取得できること。		
4.2.20..42				・検査結果は必要な項目のみ設定できること。		
4.2.20..43				・食事の摂取栄養量を献立から計算し表示できること。		
4.2.20..44				・食事の摂取栄養量の計算に際しては、看護フローシートで入力された喫食量あるいはシステムに直接入力した喫食量で計算できること。		
4.2.20..45				・経腸栄養(処方薬剤)の内容から栄養量が計算できること。		
4.2.20..46				・静脈栄養(注射・輸液薬剤等)の内容から栄養量が計算できること。		
4.2.20..47				・経口・経腸・静脈の各栄養量の合計量が計算され、表示できること。		
4.2.20..48				・BEE、必要エネルギー、必要たんぱく質、必要水分は計算式から算出できること。		
4.2.20..49				・食事オーダー内容が表示できること。		
4.2.20..50				・処方オーダー内容が表示できること。		
4.2.20..51				・注射オーダー内容が表示できること。		
4.2.20..52				・管理計画時の課題と目標が表示できること。		
4.2.20..53				・目標に対しての結果を入力できること。		
4.2.20..54				・次回の目標設定ができること。		
4.2.20..55				・次回再評価日の設定ができること。		
4.2.20..56				・問題点、ケアプラン等のコメント入力ができること。		
4.2.20..57				・退院時評価ができること。		
4.2.20..58			栄養再評価書出力	・栄養再評価書をプレビュー表示・印刷できること。		
4.2.20..59			栄養再評価履歴書出力	・栄養再評価履歴書(4履歴を1枚に出力)をプレビュー表示・印刷できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.20..60				.栄養再評価履歴書に印字する日付は、4履歴まで任意に選択できること。		
4.2.20..61		作成文書ビューア	作成文書ビューア	.参照したい作成文書(栄養管理計画・再評価書・栄養治療計画書・栄養治療計画書患者用)を選択できること。		
4.2.20..62				.参照したい作成文書の日を指定できること。		
4.2.20..63				.作成文書をプレビューできること。		
4.2.20..64				.作成文書を印刷できること。		
4.2.20..65				.作成文書のイメージ送信は、新規のみならず修正もできること。		
4.2.20..66		NST支援	コンサル依頼	.特定の患者の栄養状態を参照し、NST介入候補者としてリストアップできること。		
4.2.20..67				.介入候補者にリストアップする際に、NSTメンバーへの連絡事項を伝達できること。		
4.2.20..68				.他システムから引用可能な情報(身長、体重、食事内容、検査結果、処方内容、注射内容、喫食量)を取得できること。		
4.2.20..69				.BMI、IBW、必要栄養量(エネルギー、たんぱく質、脂質、炭水化物)の値が計算式より算出できること。		
4.2.20..70				.必要栄養量(エネルギー、たんぱく質、脂質、炭水化物)は、現体重、理想体重のどちらでも算出できること。		
4.2.20..71				.必要エネルギー(は、Harris-Benedict、[体重×エネルギー係数]のどちらでも算出できること。		
4.2.20..72				.必要栄養量の算出時に使用するストレス係数、活動係数、体重あたりのたんぱく質量、脂質エネルギー比、エネルギー係数の初期値をマスタで自由に設定できること。		
4.2.20..73				.摂取栄養量を経口、経腸、静脈毎に計算できること。		
4.2.20..74				.経口栄養量は、栄養量マスタ、献立のどちらからでも計算できること。		
4.2.20..75				.必要栄養量と過去7日間の平均摂取栄養量を比較して、摂取栄養量が下回っている場合は「栄養不足」と表示できること。		
4.2.20..76				.栄養管理計画書のデータを参照できること。		
4.2.20..77			スクリーニング	.指定期間内のデータで、一括してスクリーニングができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.20..78				・スクリーニング条件として、主食の1日平均摂取量を設定できること。		
4.2.20..79				・スクリーニング条件として、副食の1日平均摂取量を設定できること。		
4.2.20..80				・スクリーニング条件として、BMIを設定できること。		
4.2.20..81				・スクリーニング条件として、5日間の平均エネルギー量を設定できること。		
4.2.20..82				・スクリーニング条件として、5日間の平均たんぱく質量を設定できること。		
4.2.20..83				・スクリーニング条件として、任意の検査項目を設定できること。		
4.2.20..84				・スクリーニング項目は、1項目のみではなく最大30項目を組み合わせて設定できること。		
4.2.20..85				・スクリーニングのパターン(検査項目のみ、栄養状態+検査項目など)は最大5つまで設定できること。		
4.2.20..86				・該当者の選定は、基準点数を設けて設定点数以上の患者をリストアップできること。		
4.2.20..87				・該当者をNST介入候補、NST介入のどちらへも登録できること。		
4.2.20..88				・スクリーニング結果の一覧表を出力できること。		
4.2.20..89			NST介入候補者一覧	・SGA、コンサル依頼で登録された介入候補者が一覧表示できること。		
4.2.20..90				・介入時の判定(入力日、点数、結果)が表示できること。		
4.2.20..91				・介入要否判断ができ、介入判断者はNST介入患者一覧に表示できること。		
4.2.20..92				・介入要否判断を行う際に、介入理由の登録ができること。		
4.2.20..93				・介入要否判断を行う際に、チームの登録ができること。		
4.2.20..94				・SGA、コンサル依頼内容を参照できること。		
4.2.20..95				・基本情報は電子カルテ/オーダーリングシステムと連動できること。		
4.2.20..96				・処理済み(介入、介入不要)患者も表示できること。		
4.2.20..97			NST介入患者一覧	・NST介入中の患者の一覧を表示できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.20..98				・各種情報(患者コード、漢字氏名、性別、生年月日、年齢、病棟、病室、診療科、介入日、次回回診日、終了日、退院日、評価回数、担当チーム、NST状態)が表示できること。		
4.2.20..99				・基本情報は電子カルテ/オーダーリングシステムと連動できること。		
4.2.20..100				・病棟、NST状態、チームや次回回診日範囲で抽出できること。		
4.2.20..101				・退院した患者も表示できること。		
4.2.20..102				・各患者の栄養治療計画書兼実施報告書作成画面を起動できること。		
4.2.20..103				・介入理由や終了理由、受け持ちチームの設定ができること。		
4.2.20..104				・NST状態の変更ができること。		
4.2.20..105		栄養治療計画書 兼実施報告書	NST治療計画書	・栄養治療計画の各項目を選択もしくは入力を行うことができること。(項目は厚労省様式の項目に準拠できること。)		
4.2.20..106				・他システムから引用可能な情報(患者基本情報、病名、身長、体重、検査結果、喫食量、食事内容、処方オーダー、注射オーダー)を取得できること。		
4.2.20..107				・基礎エネルギー、BEE、標準体重、BMI、%BWを計算できること。		
4.2.20..108				・看護支援システムから喫食量を取得できること。		
4.2.20..109				・摂取内容を取得して、栄養量を計算表示できること。		
4.2.20..110				・実摂取内容に合わせて、栄養量計算を修正できること。		
4.2.20..111				・食種、主食の栄養計算は、栄養量を半分にするなどの計算が容易に行えること。		
4.2.20..112				・摂取栄養量の製品名称、栄養価はマスタが存在しなくても入力できること。		
4.2.20..113				・栄養量計算は、前回値から引用できること。		
4.2.20..114				・登録されている病名を参照・引用できること。		
4.2.20..115				・コメント入力ができること。		
4.2.20..116				・コメントは、院内用・患者用の2種類管理できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.20..117				・体重あたりの栄養量やエネルギー比率の投与バランスが確認できること。		
4.2.20..118				・新栄養管理プランを立てることができること。		
4.2.20..119				・アセスメント時系列画面を起動できること。		
4.2.20..120			コメント入力／参照	・コメントは時系列に記録できること。		
4.2.20..121				・ログイン者が記載者として記録されること。		
4.2.20..122				・記載者以外は修正できないこと。		
4.2.20..123			栄養治療計画書兼実施報告書表示	・入力画面で入力した内容が参照できること。		
4.2.20..124				・アセスメント時系列画面を起動できること。		
4.2.20..125				・入力画面を起動できること。		
4.2.20..126				・栄養治療計画書兼実施報告書をプレビュー表示・印刷できること。		
4.2.20..127				・栄養治療計画書兼実施報告書は、報告用と患者用の2種類が作成できること。		
4.2.20..128		NSTラウンド記録	NSTラウンド記録	・NSTラウンド結果を5回分一画面で確認できること。		
4.2.20..129				・最大6つの栄養素で5回分の栄養量の推移がグラフ描画できること。		
4.2.20..130				・NSTラウンド記録表(4履歴を1枚に出力)をプレビュー表示・印刷できること。		
4.2.20..131				・NSTラウンド記録表に印字する日付は、4履歴まで任意に選択できること。		
4.2.20..132		アセスメント時系列	栄養アセスメント一覧	・10日間のアセスメント情報を表示できること。		
4.2.20..133				・身体状況・検査結果・栄養評価は電子カルテシステム・オーダーリングシステム・看護支援システムよりデータを取得できること。		
4.2.20..134				・身体計測情報を表示できること。		
4.2.20..135				・検査結果は必要な項目のみ設定できること。		
4.2.20..136				・食事の摂取栄養量を献立から計算し表示できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.20..137				・ 食事の摂取栄養量の計算に際しては、看護フローシートで入力された喫食量で計算できること。		
4.2.20..138				・ 経腸栄養(処方薬剤)の内容から栄養量が計算できること。		
4.2.20..139				・ 静脈栄養(注射・輸液薬剤等)の内容から栄養量が計算できること。		
4.2.20..140				・ 経口・経腸・静脈の各栄養量の合計量が計算され、表示できること。		
4.2.20..141				・ 栄養量はmg、mEqのいずれにも対応できること。		
4.2.20..142				・ 食事オーダー内容が表示できること。		
4.2.20..143				・ 処方オーダー内容が表示できること。		
4.2.20..144				・ 注射オーダー内容が表示できること。		
4.2.20..145				・ 表示項目は、マスタで自由に設定できること。		
4.2.20..146				・ 検査結果のある日のみ絞って時系列が表示できること。		
4.2.20..147				・ 身体測定結果のある日のみ絞って時系列が表示できること。		
4.2.20..148				・ 登録されている病名を参照できること。		
4.2.20..149				・ コメント画面を起動できること。		
4.2.20..150				・ コメントは時系列に記録できること。		
4.2.20..151				・ ログイン者が記載者として記録されること。		
4.2.20..152				・ 記載者以外は修正できないこと。		
4.2.20..153		アセスメントデータ収集	アセスメントデータ収集	・ 指定期間のデータを収集できること。		
4.2.20..154				・ 収集データは電子カルテシステム・オーダーリングシステム・看護支援システム・栄養管理システムより取得できること。		
4.2.20..155				・ 対象患者はNST介入中の患者が表示されること。		
4.2.20..156				・ 収集対象患者を指定できること。		
4.2.20..157		NST統計	NST統計	・ 病棟別NST実施件数集計表(日、病棟、算定、非算定毎の件数)をプレビュー表示・印刷できること。		
4.2.20..158			月報	・ 診療科別NST実施件数集計表(日、診療科、算定、非算定毎の件数)をプレビュー表示・印刷できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.20..159			年報	・病棟別年間NST実施件数集計表(月、病棟、算定、非算定毎の件数)をプレビュー表示・印刷できること。		
4.2.20..160				・診療科別年間NST実施件数集計表(月、診療科、算定、非算定毎の件数)をプレビュー表示・印刷できること。		
4.2.20..161			CSV出力	・収集したデータをCSV形式で出力できること。		
4.2.20..162		マスタ管理	各種マスタメンテ	・各種マスタのメンテナンスができること。		
4.2.20..163				・各種マスタの一覧表を作成できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.21	イントラネットシステム					
4.2.21.1		全体要件		・すべてのグループウェア操作がクライアント側のブラウザ(Internet Explorer 10以上)で利用できること。		
4.2.21.2				・Webサーバとデータベースサーバを分離して運用することができ、システムへの負荷分散ができること。		
4.2.21.3				・XSS(クロスサイトスクリプティング)の脆弱性に対応していること。		
4.2.21.4				・関連システムとの連携をスムーズにするためのシステム連携機能を有すること。 (シングルサインオン機能など)		
4.2.21.5				・クライアントライセンスがフリーであること。		
4.2.21.6				・各機能に操作方法を説明した「ヘルプ」機能を有すること。		
4.2.21.7		グループウェア本体		・ログイン時は、ID・パスワードを利用したユーザー認証ができること。		
4.2.21.8				・次回のログイン時のセキュリティを考慮し、ログアウト時にCookieを削除できること。		
4.2.21.9				・パスワード総当たり攻撃の防御ができること。 (パスワード入力間違いによるアカウントロック機能)		
4.2.21.10				・ログイン後メイン画面に移る前に、確実に知らせたい内容が表示される機能があること。		
4.2.21.11				・タブレットなどのモバイル端末から各機能を利用できること。		
4.2.21.12				・スケジュール等のユーザー選択で使えるオリジナルのグループを各個人で作成できること。 作成したオリジナルグループを公開するユーザーを設定できること。		
4.2.21.13				・メール等の入力雛形を設定できること。 また、雛形のユーザーへの公開・非公開を設定できること。		
4.2.21.14				・各機能のタイトル・内容・添付ファイルなどを、その機能を含めた各機能へコピーできること。		
4.2.21.15		ログイン機能		・ユーザーID、パスワードにてログイン制御できること。		
4.2.21.16				・パスワードの有効期限が設定でき、定期的な変更を促す運用ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.21.17				・ログインと同時に新着メールのチェックができること。		
4.2.21.18		デスクトップ機能		・ログイン時のユーザー名を表示できること。		
4.2.21.19				・各機能をメニューとして表示できること。		
4.2.21.20				・利用可能なメニューの権限設定ができること。		
4.2.21.21				・各機能はワンクリックで起動できること。		
4.2.21.22				・各メニューは各個人で選択することにより、表示位置(右/上)や表示項目(説明のあり・なし)を自由に設定できること。		
4.2.21.23				・スケジュールの表示方法(個人一週間(縦・横))とメールの表示方法(フォルダ・新着)、メール・掲示板・ToDoリストの表示件数を設定できること。		
4.2.21.24				・ユーザー宛ての新着情報は、デスクトップ画面への表示・非表示が選択できること。		
4.2.21.25				・ユーザー宛ての新着情報(未読メール、未読掲示板、未読回答閲覧板、未読伝言)を一箇所に表示でき、その際には、件数も表示できること。		
4.2.21.26				・ユーザー宛ての新着情報表示は、オプション機能についても同様に表示すること。		
4.2.21.27				・ユーザー宛ての新着情報は、表示内容の更新間隔を設定できること。		
4.2.21.28				・管理者からのメッセージをユーザー宛ての新着情報に表示できること。		
4.2.21.29				・スケジュール、メールの表示方法、メール、掲示板、ToDoリストの表示件数を設定できること。		
4.2.21.30				・デスクトップより、行き先案内板機能のログイン者本人の在席・帰宅を1クリックで変更できること。		
4.2.21.31				・ユーザー共通・個人のWEBリンクを表示できること。		
4.2.21.32				・WEBリンクはフォルダを階層化表示できること。		
4.2.21.33				・不在者への伝言メモを作成できること。 緊急度に応じて、メモ内容をメールにて送信可能であること。		
4.2.21.34				・登録された伝言メモの未読件数が表示されること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.21.35				・メモの内容をスケジュール・ToDoリストへコピー登録できること。		
4.2.21.36				・作成した伝言メモを一覧で管理できること。		
4.2.21.37				・アプリケーションソフトやWeb型アプリケーションを起動させることができるシングルサインオンに対応していること。		
4.2.21.38		ローカルメール機能		・メールサーバを介さずにグループウェアユーザー間でのメールの送受信できること。		
4.2.21.39				・未読メールの判別ができること。		
4.2.21.40				・受信メールに添付された画像ファイルを縮小サイズで表示できること。		
4.2.21.41				・メールを保存できること。 保存形式(eml形式、テキスト形式)を選択できること。		
4.2.21.42				・メール本文と添付ファイルを同一フォルダに保存できること。		
4.2.21.43				・メールは削除せずに、添付ファイルのみ削除できること。		
4.2.21.44				・メール一覧で一画面に表示される件数を任意に設定できること。		
4.2.21.45				・メール一覧からチェックされたメールを一括で未読・既読設定ができること。		
4.2.21.46				・メール一覧からチェックされたメールを一括でごみ箱や任意のフォルダへ移動できること。		
4.2.21.47				・メール一覧からチェックされたメールを一括でPCのローカルディスク等に保存できること。		
4.2.21.48				・メール一覧からチェックされたメールの添付ファイルを一括で削除できること。		
4.2.21.49				・ごみ箱にあるメールは一括で削除可能であること。		
4.2.21.50				・差出人・宛先・CC・件名・添付ファイル名・本文・送受信日付でメール内容の検索ができる日付については期間指定が可能であること。		
4.2.21.51				・複数の署名の設定が可能であること。		
4.2.21.52				・フォルダ設定ができること。 フォルダは階層化できること。		
4.2.21.53				・受信メールをフォルダに振り分けて保管できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.21.54				・差出人・宛先・CC・件名・内容・添付ファイル名によるフォルダ振り分け設定ができること。		
4.2.21.55				・受信済みメールに対しても振り分けできること。		
4.2.21.56				・送信メールの状況(未読/既読)を確認できること。		
4.2.21.57				・送信メールの取り下げが可能であること。		
4.2.21.58				・メールを作成する際に、宛先、CC、BCC、件名、内容、添付ファイルを下書きとして保存できること。		
4.2.21.59				・メールの内容(タイトル・内容・添付ファイルなど)を、メール・ローカルメール・掲示板・回覧板・スケジュール・全体スケジュール・施設予約・アドレス帳・伝言メモ・ToDo/依頼・電子会議室・電子書庫へコピーできること。		
4.2.21.60				・HTMLメールを表示できること。		
4.2.21.61				・HTMLメールを作成できること。		
4.2.21.62				・HTMLメールの作成では、WordやExcelなどからコピー&ペーストできること。		
4.2.21.63				・複数ファイルを添付できること。		
4.2.21.64				・1回のアクションで複数ファイルを添付できること。		
4.2.21.65				・メールの保管容量をユーザー個別に設定できること。		
4.2.21.66				・部署ごとのローカル代表メールを権限のあるユーザーで共有利用できること。		
4.2.21.67				・権限のあるユーザーはログインIDを切り替えることなく、部署ごとのローカル代表メールの操作ができること。		
4.2.21.68				・ユーザーのローカルメールを権限のある利用者で代理利用できること。		
4.2.21.69				・権限のあるユーザーはログインIDを切り替えることなく、代理ローカルメールの操作ができること。		
4.2.21.70				・ローカル代表メールの操作権限が設定できること。		
4.2.21.71				・代理ローカルメールの操作権限をユーザーで自身が設定できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.21.72				・代理ローカルメール・ローカル代表メールでは各メールに関する操作の履歴を収集できること。		
4.2.21.73				・代理ローカルメール・ローカル代表メールでは各メールに関する操作の履歴では、メールタイトル、受信日、操作日時、操作者、操作内容が収集できること。		
4.2.21.74				・管理者により、指定日付以前のメールデータを、全員またはユーザーごと一括削除できること。		
4.2.21.75		スケジュール機能		・15分単位でのスケジュール入力ができること。		
4.2.21.76				・個人スケジュールの管理ができること。		
4.2.21.77				・グループスケジュールの管理ができること。		
4.2.21.78				・イベント入力(時間指定なし)ができること。 表示色でスケジュールと区別できること。		
4.2.21.79				・カテゴリによりスケジュール・イベントの表示色を設定できること。		
4.2.21.80				・スケジュールの内容をHTML形式でも入力できること。		
4.2.21.81				・HTML形式の場合は、WordやExcelなどからコピー&ペーストできること。		
4.2.21.82				・スケジュール・イベントの公開・非公開を選択できること。		
4.2.21.83				・非公開に設定したスケジュールを公開したいユーザーがいる場合は、ユーザーを選択し共有できること（その他のメンバーからは参照できないこと）。		
4.2.21.84				・入力済みの内容をコピーして、別のスケジュール・イベントを作成できること。		
4.2.21.85				・スケジュールのタイトル・内容・添付ファイルなどを、その機能を含めた各機能へコピーできること。		
4.2.21.86				・他利用者のスケジュールの登録ができること。		
4.2.21.87				・複数ユーザーに対するスケジュール調整機能を有すること。		
4.2.21.88				・スケジュール調整時に、スケジュール表から会議等の参加・不参加の確認ができること。		
4.2.21.89				・登録スケジュールに対する他ユーザーの召集が行えること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.21.90				・スケジュールの入力時に施設予約が同時に登録できること。		
4.2.21.91				・同一の時間帯に複数の予定が設定できること。		
4.2.21.92				・定期的なスケジュールを、毎日・平日のみ・曜日指定・毎月日付指定で一括入力(繰返し設定)できること。		
4.2.21.93				・必要に応じて、ファイルを添付できること。		
4.2.21.94				・1回のアクションで複数ファイルを添付できること。		
4.2.21.95				・登録されたスケジュールは選択されたメンバー間で共有できること。		
4.2.21.96				・自動的にスケジュールの開始時間をメールで通知できること。		
4.2.21.97				・カレンダー形式での個人スケジュールを表示できること。		
4.2.21.98				・週間表示での個人スケジュール・グループスケジュールを表示できること。		
4.2.21.99				・週間表示では、全体スケジュールの1カテゴリも同時に表示できること。		
4.2.21.100				・一日表示での個人スケジュール・グループスケジュールを表示できること。		
4.2.21.101				・一日表示では、全体スケジュールの1カテゴリも同時に表示できること。		
4.2.21.102				・カレンダー表示は本日・土・日・祝日で色分け表示されること。		
4.2.21.103				・グループ表示では全体スケジュールも含めて表示できること。		
4.2.21.104				・スケジュールをドラッグにて入力でき、グラフ表示できること。		
4.2.21.105				・グラフ表示は、最低でも30分単位で表示できること。		
4.2.21.106				・グラフ表示されたスケジュールにマウスポインタを合わせるとタイトルが表示されること。		
4.2.21.107				・グラフ表示されたスケジュールをクリックすることでスケジュールの詳細が確認できること。		
4.2.21.108				・種別によりグラフの色を変更できること。		
4.2.21.109				・ドラッグ操作により日付・時間を指定してスケジュールの入力ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.21.110				・スケジュールの時間設定をドラッグ操作で指定できること。		
4.2.21.111				・ドラッグ&ドロップ操作によりスケジュールの移動及び時間変更ができること。		
4.2.21.112				・設定した複数のユーザーに対して、入力内容をメールで通知できること。		
4.2.21.113				・登録した「場所」の履歴を表示・整理できること。		
4.2.21.114				・ユーザー・施設を含めた空き時間の検索ができること。		
4.2.21.115				・ユーザー・施設を含めたスケジュールの重複チェックができること。		
4.2.21.116				・よく使う利用者・施設の組み合わせパターンを登録できること。		
4.2.21.117				・スケジュールの印刷用画面があること。		
4.2.21.118				・スケジュールをCSV出力できること。		
4.2.21.119				・CSVファイル等によるスケジュールの一括登録ができること。		
4.2.21.120		全体スケジュール機能		・組織全体のスケジュールを管理する仕組みを有すること。		
4.2.21.121				・スケジュールをカテゴリごとに登録できること。		
4.2.21.122				・30分より細かい単位でのスケジュール入力ができること。		
4.2.21.123				・時間を設定せずにスケジュールを登録できること。		
4.2.21.124				・スケジュールの内容をHTML形式でも入力できること。		
4.2.21.125				・HTML形式の場合は、WordやExcelなどからコピー&ペーストできること。		
4.2.21.126				・スケジュールのタイトル・内容・添付ファイルなどを、その機能を含めた各機能へコピーできること。		
4.2.21.127				・スケジュールのカテゴリ別に登録権限の設定ができること。		
4.2.21.128				・カレンダー表示は土・日・祝日で色分け表示されること。		
4.2.21.129				・全体スケジュールはデスクトップ画面にも表示できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.21.130				・全体スケジュールの表示開始日を「月初めから」と「当日から」の選択ができること。		
4.2.21.131				・全体スケジュールの表示期間を選択できること。		
4.2.21.132				・登録した全体スケジュールをCSV出力できること。		
4.2.21.133		行き先案内板機能		・グループ毎に行き先、時間を表示できること。		
4.2.21.134				・スケジュールから反映(参照)できること。		
4.2.21.135				・行き先、戻り時間を設定できること。		
4.2.21.136				・他ユーザーの在席状況が一覧表示できること。		
4.2.21.137				・他ユーザーの在席状況を変更できること。		
4.2.21.138				・ユーザーの連絡先電話番号、その他連絡先を入力・表示できること。		
4.2.21.139				・ユーザーの内線番号を入力・表示できること。		
4.2.21.140				・在席状況一覧から伝言メールを送信できること。		
4.2.21.141				・メールの連絡先をクリックすることにより、メール作成画面より送信できること。		
4.2.21.142				・行き先の登録を行った日時が表示されること。		
4.2.21.143				・行き先の表示方法を、ユーザー全員・不在者のみから選択できること。		
4.2.21.144				・行き先を設定した時間を表示できること。 設定時間から日付が変わると表示色が変わること。		
4.2.21.145		伝言メモ機能		・不在者への伝言メモを作成できること。		
4.2.21.146				・緊急度に応じてメモ内容をメールにて送信できること。		
4.2.21.147				・伝言の内容をHTML形式でも入力できること。		
4.2.21.148				・HTML形式の場合は、WordやExcelなどからコピー&ペーストできること。		
4.2.21.149				・登録された伝言メモの未読件数が表示されること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.21.150				・メモのタイトル・内容・添付ファイルなどを、その機能を含めた各機能へコピーできること。		
4.2.21.151				・作成した伝言メモを一覧で管理できること。		
4.2.21.152		施設予約機能		・施設分類による施設の管理ができること。		
4.2.21.153				・施設を登録し、それに対して30分より細かい単位での利用予約ができること。		
4.2.21.154				・定期的な施設利用を、毎日・曜日指定・毎月日付指定で一括入力（繰返し設定）できること。		
4.2.21.155				・施設予約をすることで、関係するユーザーのスケジュールにも登録できること。		
4.2.21.156				・施設利用ユーザーを登録し、ユーザーに登録内容をメールで通知できること。		
4.2.21.157				・予約状況を施設ごとに、日・週・月単位で表示できること 時間・内容・予約者が表示されること。		
4.2.21.158				・施設を利用する人数を登録できること。		
4.2.21.159				・登録されている施設情報に備考欄があり、備品・設備などの説明を付加できること。		
4.2.21.160				・登録した「場所」の履歴を表示・整理できること。		
4.2.21.161				・施設により予約権限を設定できること。		
4.2.21.162				・施設管理者を登録し、施設管理者に登録内容をメールで通知できること。		
4.2.21.163				・グラフ表示は、最低でも30分単位で表示できること。		
4.2.21.164				・グラフ表示された内容にマウスポインタを合わせるとタイトルが表示されること。		
4.2.21.165				・グラフ表示された内容をクリックすることで詳細が確認できること。		
4.2.21.166				・ドラッグにて入力でき、グラフ表示できること。		
4.2.21.167				・ドラッグ操作により日付・時間を指定して施設予約の入力ができること。		
4.2.21.168				・施設予約の時間設定をドラッグ操作で指定できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.21.169				・ドラッグ&ドロップ操作により予約情報の移動及び時間変更ができること。		
4.2.21.170				・施設毎に施設の利用可能時間を設定できること。		
4.2.21.171				・施設毎に予約可能期間を設定できること。 また、グループを作成することにより異なる予約可能期間を設定できること。		
4.2.21.172				・各施設において、複数日予約が可能であること。		
4.2.21.173				・各施設において、予約密度が1ヶ月単位で参照できること。		
4.2.21.174		掲示板機能		・グループウェアのユーザー全員へ周知したい事項を掲載できること。		
4.2.21.175				・掲示者は掲示物の掲示開始日の設定ができ、掲載期限も設定ができること。		
4.2.21.176				・Windowsアプリケーションの各種ファイルを掲示可能であること。		
4.2.21.177				・必要に応じて、複数のファイルを添付できること。		
4.2.21.178				・1回のアクションで複数ファイルを添付できること。		
4.2.21.179				・重要な文書は文書一覧画面で容易に区別でき、利用者に重要文書である事を周知徹底できること。		
4.2.21.180				・掲示されている文書が一覧で表示できること。		
4.2.21.181				・一度既読になった掲示板も未読に変更できること。		
4.2.21.182				・掲示板の作成時に雛形の挿入が可能であること。		
4.2.21.183				・掲示板は検索機能があり、タイトル・本文・作成者で検索ができること。		
4.2.21.184				・掲示板の入力では、文字の装飾(太字・色付・サイズ変更)Word、Excelからコピー&ペーストできること。		
4.2.21.185				・掲示内容は分類・属性・掲示期日を設定できること カテゴリ別に表示ができること。		
4.2.21.186				・掲示はカテゴリ別に利用権限を設定できること。		
4.2.21.187				・カテゴリは階層化できること。		
4.2.21.188				・掲示期日を過ぎた掲示板の、表示・非表示を設定できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.21.189				・既読の掲示にはチェックが入り、未読の掲示と区別できること。		
4.2.21.190				・掲示内容をコピーして、掲示板を新規作成できること。		
4.2.21.191				・掲示内容のタイトル・内容・添付ファイルなどを、各機能へコピーできること。		
4.2.21.192				・掲示内容の下書き保存ができること。		
4.2.21.193		回覧板機能		・回覧ユーザーを設定して、周知したい事項を掲載できること。		
4.2.21.194				・作成日と期限を表示できること。		
4.2.21.195				・回覧板作成時に雛形の挿入ができること。		
4.2.21.196				・回覧板の入力では、文字の装飾(太字・色付・サイズ変更)Word、Excelからコピー&ペーストできること。		
4.2.21.197				・回覧板の作成時に回答時のコメントを必須に設定できること。		
4.2.21.198				・内容に対して回覧ユーザーは状況とコメントを入力(返信)できること。		
4.2.21.199				・回覧作成時に複数のファイルを添付できること。		
4.2.21.200				・1回のアクションで複数ファイルを添付できること。		
4.2.21.201				・回覧メンバーは、コメント入力できること。		
4.2.21.202				・回覧されてきた回覧板と、自分が作成した回覧板を分けて表示できること。		
4.2.21.203				・回覧板は検索機能があり、タイトル・本文・作成者で検索ができること。		
4.2.21.204				・回覧板の内容を確認したかどうかタイムリーにわかること。		
4.2.21.205				・回覧内容のタイトル・内容・添付ファイルなどを、その機能を含めた各機能へコピーできること。		
4.2.21.206				・回覧板作成者は、未回答ユーザーに対して督促メールを送ることができること。		
4.2.21.207				・回答時の返信方法を制御できること。 コメント要不要、ボタン表示文字等(了承/却下、参加/不参加、出席/欠席、する/しない)など。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.21.208				・ 一斉同報閲覧時の回答の返信は、五者択一までの設定ができること。		
4.2.21.209				・ 閲覧順番を設定できること。(ワークフロー機能) 閲覧は了承されるまで次の人には回らないように設定できること。		
4.2.21.210				・ ワークフローにて閲覧が却下された場合、閲覧作成者にその旨をメール送信できること。		
4.2.21.211				・ 閲覧の回答時刻を表示できること。		
4.2.21.212				・ 回答状況は、了承・却下・未回答別に回答時間順で表示できること。		
4.2.21.213				・ 回答結果をCSV出力できること。		
4.2.21.214				・ 閲覧内容の下書き保存ができること。		
4.2.21.215		ToDo機能		・ 自分の仕事や予定等をToDoとして登録できること。		
4.2.21.216				・ ToDoの期日・優先度を設定できること。		
4.2.21.217				・ 期日を設定した場合、入力内容をスケジュールに反映できること。		
4.2.21.218				・ 期日が近いToDoの内容をメール送信することができること。 メールを送る日付は、当日から6日前まで一日毎・一週間前・二週間前から設定できること。		
4.2.21.219				・ 当日及び期日を過ぎたToDoは色を変えて表示すること。		
4.2.21.220				・ ToDoの一覧表示を、完了・継続毎、期日順、優先度順に並び替えができること。		
4.2.21.221				・ ToDoの内容をHTML形式でも入力可能であること。		
4.2.21.222				・ HTML形式の場合は、WordやExcelなどからコピー&ペーストできること。		
4.2.21.223				・ ToDoに複数ファイルを添付できること。		
4.2.21.224				・ 1回のアクションで複数ファイルを添付できること。		
4.2.21.225				・ 一覧からチェックされたToDoを一括で削除できること。		
4.2.21.226				・ ToDo内容のタイトル・内容・添付ファイルなどを各機能へコピーできること。		
4.2.21.227		リンクページ(Webリンク)機能		・ インtranet上のWebサイトへのリンク作成ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.21.228				・ユーザー共通・個人のWebリンクを管理できること。		
4.2.21.229				・Webリンクはフォルダを階層化できること。		
4.2.21.230		人員構成図機能		・組織構成・所属が一覧で階層表示できること。		
4.2.21.231				・アドレス帳に登録された内線番号を人員構成図に表示できること。		
4.2.21.232				・アドレス帳に登録された個人情報を閲覧できること。		
4.2.21.233				・チェックを入れたユーザーに対してローカルメールを一括送信できること。		
4.2.21.234		電子書庫機能		・ユーザー間でのファイル共有ができること。		
4.2.21.235				・ユーザー及び組織単位にフォルダを作成できること。		
4.2.21.236				・フォルダの作成ができ、階層化できること。		
4.2.21.237				・フォルダ・文書に対し、更新・参照権限の設定ができること。		
4.2.21.238				・配下のフォルダにアクセス権限を継承できること。		
4.2.21.239				・登録したフォルダ・文書を閲覧する権限を設定できること。		
4.2.21.240				・フォルダ・文書は絞込み検索ができること。		
4.2.21.241				・文書の登録時にファイルを添付できること。		
4.2.21.242				・フォルダの使用状況が表示できること。		
4.2.21.243				・1回のアクションで複数ファイルを添付できること。		
4.2.21.244				・登録した文書ファイルの説明文章が付け加えられること。		
4.2.21.245				・説明文章をHTML形式でも入力できること。		
4.2.21.246				・HTML形式の場合は、WordやExcelなどからコピー＆ペーストできること。		
4.2.21.247				・登録された文書を添付ファイル含めてメールで送信できること。		
4.2.21.248				・登録した画像データ(JPEG、GIF)はサムネイル表示できること。		
4.2.21.249				・文書内容のタイトル・内容・添付ファイルなどを、その機能を含めた各機能へコピーできること。		
4.2.21.250				・文書登録時にユーザーを選択し、メールで通知できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.21.251				・登録された文書を直接指定できるリンクが表示されること。		
4.2.21.252				・閲覧権限がないフォルダは閲覧できないこと。		
4.2.21.253				・全てのフォルダを閲覧可能な権限は管理者以外に設定できること。		
4.2.21.254		管理機能		・管理者はCSVファイルによる、組織・役職・人員の一括登録ができること。		
4.2.21.255				・組織変更、人事異動等に対応するために事前に変更情報を登録・管理し一括で更新できる仕組みを有すること。		
4.2.21.256				・組織利用者の事前異動設定中でも運用に支障なく利用が継続できること。		
4.2.21.257				・ユーザーのログイン情報を収集できること。		
4.2.21.258				・ユーザーのログイン情報では、ユーザーID、利用者名、HOSTアドレス、アクションの日時が収集されること。		
4.2.21.259				・ユーザーのログイン情報をCSV形式で出力できること。		
4.2.21.260				・ユーザーの各機能に関するアクセスログを収集できること。		
4.2.21.261				・ユーザーの各機能に関するアクセスログでは、メニュー名、ユーザーID、HOSTアドレス、アクションの日時が収集されること。		
4.2.21.262				・ユーザーの各機能に関するアクセスログをCSV形式で出力できること。		
4.2.21.263				・ユーザーの各機能の添付ファイルに関するアクセスログを収集できること。		
4.2.21.264				・ユーザーの各機能に添付ファイルに関するアクセスログでは、ユーザーID、利用者名、HOSTアドレス、アプリケーション名、ファイル名、アクションの日時が収集されること。		
4.2.21.265				・ユーザーの各機能の添付ファイルに関するアクセスログをCSV形式で出力できること。		
4.2.21.266				・管理者により個人設定のメンテナンスが行えること。		
4.2.21.267				・個人設定のメンテナンスは、ユーザー個別・ユーザー一括で設定できること。		
4.2.21.268				・管理者により設定の既定値を設定できること。		
4.2.21.269				・管理者によりメニュー設定が行えること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.21.270				・管理者の負担を軽減するための権限移譲の仕組みを備えていること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.22	勤怠管理システム					
4.2.22.1	職員、勤務	共通	ログイン	・システムはユーザID、パスワードで保護されていること。		
4.2.22.2			シングルサインオン	・電子カルテシステム等の他システムからログインユーザ情報 (ID) を引き継ぎ、シングルサインオンができること。		
4.2.22.3				・ポータルまたは電子カルテシステムのメニューから起動できること。		
4.2.22.4			簡易ポータル	・メニュー画面では操作者の勤務予定、会議、委員会、院内研修などのイベントが確認できること。		
4.2.22.5				・TODOリストには操作を促すメッセージが表示でき、クリックすることにより該当する画面へ遷移できること。		
4.2.22.6			セキュリティ	・システムの利用者情報として、ユーザID、氏名、パスワード、権限セットを登録することができること。		
4.2.22.7				・システムの利用できる機能、範囲を権限セットとして登録することができること。		
4.2.22.8				・職員の職種、役職などの属性情報から権限セットを自動で割り当てできること。		
4.2.22.9				・異動、昇格などと連動して自動的に権限が変更されること。		
4.2.22.10		行事予定管理		・カレンダー形式で会議、委員会、研修などの行事予定が確認できること。		
4.2.22.11				・行事予定として日時、種別、名称、場所、主催、備考、公開範囲が登録できること。		
4.2.22.12				・行事予定にはあらかじめ参加予定者を登録できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.22.13				・任意に参加者を登録、削除、修正できること。		
4.2.22.14				・行事への参加実績は本人の勤務実績とチェックできること。		
4.2.22.15				・看護部門においては勤務時間から行事への参加時間を控除して入院基本料へ反映できること。		
4.2.22.16		看護職員管理	職員情報登録	・基本情報は職員番号、氏名、カナ氏名、ローマ字氏名、性別、生年月日、現住所（郵便番号、住所、都道府県）、職員番号（給与番号）、寮利用の有無、寮名称、部屋番号、電話番号（自宅）、電話番号（携帯）、Eメールアドレス（固定）、Eメールアドレス（携帯）、配偶者の有無、本籍、血液型の管理ができること。		
4.2.22.17				・連絡先は連絡先氏名（漢字）、連絡先氏名（カナ）、続柄、郵便番号、住所、都道府県、電話番号（自宅）、電話番号（携帯）、電話番号（勤務先）、Eメールアドレス（PC）、Eメールアドレス（携帯）Eメールアドレス（勤務先）が管理できること。		
4.2.22.18				・連絡先は緊急連絡先を2つ登録できること。		
4.2.22.19				・改姓情報は旧姓氏名、旧姓（別姓）使用の有無、戸籍氏名が管理できること。		
4.2.22.20				・旧姓（別姓）使用の職員は必要に応じて旧姓（別姓）と本名（戸籍名）を使用できること。		
4.2.22.21				・院内の連絡先としてPHS番号、携帯電話番号、E-Mailアドレスの管理ができること。		
4.2.22.22				・通勤情報は通勤手段、通勤時間、通勤距離、最寄駅が管理できること。		
4.2.22.23				・職員600人まで管理できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.22.24			採用・退職情報	・採用は当院採用日、発令日、雇用条件、雇用条件選択理由の履歴管理ができること。また、同一経営主体の施設における採用日も管理できること。		
4.2.22.25				・再雇用時は従前の職員情報を引き継いで登録できること。		
4.2.22.26				・雇用条件の変更は変更日、職員番号、雇用条件選択理由、労働時間の履歴管理ができること。		
4.2.22.27				・退職は退職日、退職理由、復職支援キーワード、備考が履歴管理できること。		
4.2.22.28			異動・昇格	・部署の異動は異動日、部署が履歴管理できること。また、システム稼働後であっても過去の異動歴を登録できること。		
4.2.22.29				・昇格は昇格日、役職が履歴管理できること。また、システム稼働後であっても過去の昇格歴を登録できること。		
4.2.22.30				・職種は異動日、職種が履歴管理できること。		
4.2.22.31				・兼務は開始日、発令日、終了日、兼務部署、役職を履歴管理できること。		
4.2.22.32			一般学歴	・一般学歴は学歴区分、入学日、卒業日、学校区分、都道府県、学校名、学部・学科・専攻、備考が管理できると。		
4.2.22.33				・学校名はテキスト入力できること。		
4.2.22.34				・最終学歴が区別できること。		
4.2.22.35			専門学歴	・専門学歴は学歴区分、入学日、卒業日、学校区分、都道府県、学校名、学部・学科・専攻、備考が管理できると。		
4.2.22.36				・学校名はテキスト入力できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.22.37				・最終学歴が区別できること。		
4.2.22.38			職歴	・職歴として期間、勤務先、経験診療科、採用条件、職種等、役職等、備考、実働日数が管理できること。		
4.2.22.39				・職歴から経験年数が算出できること。		
4.2.22.40			所属団体	・所属団体として所属団体名、期間、会員番号、役割、備考が管理できると。		
4.2.22.41			長期休暇	・長期休暇は理由、期間、備考が管理できること。		
4.2.22.42			産前産後休暇	・産前産後休暇は出産予定日、産前休業期間、出産日、産後休業期間の履歴管理ができること。		
4.2.22.43				・育児休業は出産日、育児休業期間 が履歴管理できること。		
4.2.22.44				・産前休業期間は出産予定日から自動計算できること。また、多胎の場合も考慮して計算できること。		
4.2.22.45				・産後休業期間は出産日から自動計算できること。		
4.2.22.46			家族情報	・家族情報は生年月日、続柄、氏名、同居、扶養、備考が管理できること。		
4.2.22.47			免許	・免許、取得日、免許番号、都道府県、有効期限、最終更新日、備考が管理できると。		
4.2.22.48			資格	・資格、取得日、認定番号、都道府県、有効期限、備考が管理できると。		
4.2.22.49			委員会	・委員会活動は委員会、期間、役割、備考が管理できると。		
4.2.22.50			研修情報	・研修名、サブタイトル、研修分類、研修形式、主催者、受講日、開始時刻、終了時刻、参加／不参加が管理できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.22.51				・研修内容として、定員、申込受付期間、研修目標、主な内容、レベル、対象者、応募条件、受講料、添付ファイル、受講ポイント、その他が管理できること。		
4.2.22.52				・研修受講するうえで申込理由、到達目標、受講ポイントが管理できること。		
4.2.22.53				・受講結果として、受講状況、費用、評価ポイント、アンケート、習得できたこと、習得できなかったこと、今後の課題、所感、備考が管理できること。		
4.2.22.54			キャリアラダー	・ラダー区分、認定日、ラダーレベルが管理できること。		
4.2.22.55				・ラダーレベル毎の滞留年数が表示できること。		
4.2.22.56			検索機能	・登録された職員情報から指定した条件に該当する職員を検索することができること。		
4.2.22.57				・検索条件に基準日を指定することができること。		
4.2.22.58				・検索対象に在職職員、退職職員、全職員を指定することができること。		
4.2.22.59				・検索条件はテンプレートとして保存でき再利用ができること。		
4.2.22.60				・検索結果は一覧で参照することができ、CSV形式で出力できること。		
4.2.22.61			職員情報のエクスポート機能	・任意の項目を選択して職員情報をCSV形式で出力できること。		
4.2.22.62				・履歴項目は期間を指定して出力できること。		
4.2.22.63				・選択した項目はテンプレートとして保存できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.22.64			職員情報のインポート機能	・ E X C E L 形式の職員情報（職員番号、退職時職員番号、氏名（姓）、氏名（名）、氏名カナ（姓）、氏名カナ（名）、氏名ローマ字（姓）、氏名ローマ字（名）、性別、生年月日、採用日、発令日、雇用条件、雇用条件選択理由、所属、職種、役職、経験年、経験月、ユーザID、パスワード）を一括登録できること。		
4.2.22.65			帳票	・ 個人プロフィールが印刷出力できること。		
4.2.22.66				・ 配置表が印刷出力できること。		
4.2.22.67				・ 職員の明細データが印刷出力できること。		
4.2.22.68				・ 職員の集計データが印刷出力できること。		
4.2.22.69				・ 長期休暇一覧が印刷出力できること。		
4.2.22.70				・ 産前・産後・育児休暇一覧が印刷出力できること。		
4.2.22.71				・ 学歴等統計表が印刷出力できること。		
4.2.22.72				・ 年齢一覧が印刷出力できること。		
4.2.22.73				・ 配置数一覧が印刷出力できること。		
4.2.22.74				・ 経験年数一覧が印刷出力できること。		
4.2.22.75				・ 在院年数一覧が印刷出力できること。		
4.2.22.76				・ 勤務動向調査が印刷出力できること。また、過去5年間の退職率の推移が確認できること。		
4.2.22.77				・ 帳票はプレビュー表示ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.22.78		勤務管理	勤務予定作成	・ 4週または1ヶ月を指定して勤務予定が作成できること。		
4.2.22.79				・ 作成した勤務予定は複数保存できること。		
4.2.22.80				・ 勤務記号の入力は勤務記号を一覧から選択して入力できること。		
4.2.22.81				・ 勤務記号の入力は、キーボード及びマウスから入力できること。 キーボードから入力する場合のキーの割り当てが自由に設定できること。		
4.2.22.82				・ 勤務記号はコピー、切り取り、貼り付け、置換、検索、消去、全消去ができること。		
4.2.22.83				・ 4週8休の区切りが画面で確認でき、前後の公休日数が集計・表示できること。		
4.2.22.84				・ スクロールすることにより前月の実績が参照できること。		
4.2.22.85				・ スタッフによる休み希望の入力ができ、優先順位、コメントが入力できること、希望入力の締切日が設定でき、回数制限ができること。		
4.2.22.86				・ 休み希望と勤務予定は2段で表示でき、予定のみの表示へ自由に切り替えできること。		
4.2.22.87				・ 文字サイズが自由に変更できること。		
4.2.22.88				・ 個人別集計機能として月間及び4週間の勤務日数、休暇日数、労働時間、週労働時間が集計・表示できること。		
4.2.22.89				・ 部署毎に夜勤時間の合計、平均が表示できること。		
4.2.22.90				・ 日別の集計機能として全体、チーム別の勤務人数、休暇人数が集計できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.22.91				・ 集計項目は部署毎に自由に設定できること。		
4.2.22.92				・ 勤務表は指定したチームのみ表示できること。また、チーム毎の人数が確認できること。		
4.2.22.93				・ 職員の並び順は5パターンまで登録・表示できること。		
4.2.22.94				・ 師長、看護助手、クラークなどを日別集計に含めるか否かを指定できること。		
4.2.22.95				・ クロスポインタの表示ができること。		
4.2.22.96				・ 希望勤務、要請勤務、リリーフの入力ができ、表示色が変更できること。		
4.2.22.97				・ リリーフ先を指定して勤務記号を入力できること。		
4.2.22.98				・ リリーフ先を指定した場合、リリーフ先の勤務表に表示できること。		
4.2.22.99				・ あらかじめ職員毎に登録した勤務パターンを割り振ることができること。		
4.2.22.100				・ 勤務記号はあらかじめ各部署で使用する勤務を指定でき、一覧の並び順を指定できること。		
4.2.22.101				・ 頻繁に利用する勤務記号はお気に入りとして登録することができること。		
4.2.22.102				・ 行事予定を参照しながら勤務表が作成できること。		
4.2.22.103				・ 行事予定は表示・非表示の切り替えができること。		
4.2.22.104				・ 職員の属性として役職、雇用条件、夜勤専従者、短時間勤務者、産休・育休取得者の表示ができること。		
4.2.22.105				・ 会議、委員会、研修等の予定が勤務記号又は出席時間で勤務表に反映されること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.22.106			タイムスケール	・ 1日の勤務状況が24時間表記で参照できること。		
4.2.22.107				・ 30分単位で勤務人数の過不足をチェックできること。		
4.2.22.108				・ 勤務時間中の会議、研修への出席、時間単位の休暇を取得した時間帯が視覚的に表現できること。		
4.2.22.109			所属設定	・ 部署を複数のチームに分割して勤務表を作成する場合、チーム数と各チームの名称を設定できること。		
4.2.22.110			職員情報の設定	・ 職員の並び順が5パターン以上登録できること。		
4.2.22.111				・ 職員情報としてスキルレベルが設定できること。		
4.2.22.112				・ 個人別の勤務条件として、夜勤可否、夜勤上限回数、曜日制限が登録できること。		
4.2.22.113			勤務条件の設定	・ 部署ごとに勤務帯、曜日毎に勤務人数の設定ができること。		
4.2.22.114				・ チームごとに勤務帯、曜日毎の勤務人数が設定できること。		
4.2.22.115				・ 好ましい連続勤務を設定できること。		
4.2.22.116				・ 不可能な勤務、好ましくない連続勤務を登録できること。		
4.2.22.117				・ 各勤務毎の上限日数と間隔日数が登録できること。		
4.2.22.118				・ 休日の下限日数が登録できること。		
4.2.22.119				・ 連続勤務の上限日数が設定できること。		
4.2.22.120				・ 組み合わせを禁止する技量（新人同士、リーダー同士など）の設定ができること。		
4.2.22.121				・ 特定の職員の組み合わせを禁止する設定ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.22.122				・勤務終時刻から次の勤務開始時間までに最低必要な時間を設定できること。		
4.2.22.123			自動勤務表作成	・あらかじめ設定した勤務条件に従って自動作成できること。		
4.2.22.124				・自動作成終了後、作成画面で勤務修正ができること。		
4.2.22.125			エラーチェック	・各勤務帯毎、曜日毎に指定した必要人数との過不足をチェックできること。		
4.2.22.126				・各勤務帯毎、曜日毎に指定したチーム毎の必要人数との過不足がチェックできること。		
4.2.22.127				・あらかじめ設定した不可能な勤務、好ましくない勤務パターンとのチェックができること。		
4.2.22.128				・各勤務毎の上限回数と間隔日数がチェックできること。		
4.2.22.129				・経験度合の禁止組み合わせ（新人同士は夜勤不可など）がチェックできること。		
4.2.22.130				・職員毎に指定した不可能な勤務、上限回数をチェックできること。		
4.2.22.131				・チェック結果は一覧で確認でき、エラーレベルが表示できること。		
4.2.22.132				・一覧を選択するとエラーが発生している該当箇所が判別できること。		
4.2.22.133			日本看護協会のガイドラインチェック機能	・夜勤の連続回数がチェックできること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.22.134				・ 11時間以上の勤務間隔が確保されているかチェックできること。		
4.2.22.135			勤務実績登録	・ 部署、対象期間を指定して職員の勤務実績を登録、削除、変更できること。		
4.2.22.136				・ 勤務予定に変更がなければ勤務実績として扱うことができること。		
4.2.22.137				・ 勤務実績登録の画面は上段に勤務予定、下段に勤務実績が表示できること。		
4.2.22.138				・ 勤務変更時（実績登録）時に休み希望が確認できること。		
4.2.22.139				・ 4週8休の区切りが画面で確認でき、前後の公休日数が集計・表示できること。		
4.2.22.140				・ 個人別集計機能として月間及び4週間の勤務日数、休暇日数、労働時間が集計・表示できること。		
4.2.22.141				・ 労働時間は週単位で集計・表示できること。		
4.2.22.142				・ 部署毎に夜勤時間の合計、平均が表示できること。		
4.2.22.143				・ 日別の集計機能として全体、チーム別の勤務人数、休暇人数が集計できること。		
4.2.22.144				・ 師長、看護助手、クラークなどを日別集計に含めるか否かを指定できること。		
4.2.22.145				・ 集計項目は部署毎に自由に設定できること。		
4.2.22.146			夜勤専従者、育児短時間取得者	・ 夜勤専従者として勤務する職員が一覧で確認できること。		
4.2.22.147				・ 育児短時間制度の利用者が一覧で確認できること。		
4.2.22.148			入院基本料算定	・ 入院基本料算定届出書類（様式8）が印刷出力できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.22.149				・入院基本料算定届出書類（様式9）が印刷出力できること。		
4.2.22.150				・入院基本料算定 部署別・項目別一覧が印刷出力できること。		
4.2.22.151				・小児入院医療管理料、回復期リハビリ病棟入院料、緩和ケア病棟入院料、精神療養病棟入院料等の特定入院料の算定届出書類（様式9）が印刷出力できること。		
4.2.22.152				・入院基本料に算定する時間は研修・会議等への参加時間、時間休暇の取得時間を差し引くことができること。		
4.2.22.153			帳票	・勤務予定表が印刷出力できること。		
4.2.22.154				・勤務実績表が印刷出力できること。		
4.2.22.155				・個人別勤務表が印刷出力できること。		
4.2.22.156				・週別勤務表が印刷出力できること。		
4.2.22.157				・勤務実績サマリ（職員別）が印刷出力できること。		
4.2.22.158				・勤務実績サマリ（所属別）が印刷出力できること。		
4.2.22.159				・年次休暇取得状況一覧（職員別）が印刷出力できること。		
4.2.22.160				・年次休暇取得状況一覧（所属別）が印刷出力できること。		
4.2.22.161				・勤務データ明細出力が印刷出力できること。		
4.2.22.162				・日当直予定表が印刷出力できること。		
4.2.22.163				・日当直実績表が印刷出力できること。		
4.2.22.164				・日当直予定・実績表が印刷出力できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.22.165				・ 帳票はプレビュー表示ができること。		
4.2.22.166			マスタメンテナンス	・ 勤務記号はユーザ側で自由に登録ができ、登録可能な件数に制限がないこと。また、勤務記号には自由に表示色が設定できること。		
4.2.22.167			電子カルテとの連携機能	・ 勤務実績、職員情報を電子カルテシステムに送信できること。		
4.2.22.168		教育支援	研修管理	・ 年間の研修計画の立案ができること。		
4.2.22.169				・ 管理番号、研修名、サブタイトル、研修分類、研修形式、主催者、管轄、受講日、開始時刻、終了時刻、場所、研修内容が管理できること。		
4.2.22.170				・ 研修内容として、定員、外部定員、研修目標、主な内容、レベル、対象者、受講条件、申込みの可否、申込受付期間、レポートの要否、レポートの提出期限、受講ポイントが管理できること。		
4.2.22.171				・ 年間の研修一覧から受講申込みができること。		
4.2.22.172				・ スタッフが申請した受講申請を管理者が承認又は否認できること。		
4.2.22.173				・ 管理者はスタッフの一括申請ができること。		
4.2.22.174				・ 管理者は申請者を一覧で確認でき、受講者を決定できること。		
4.2.22.175				・ 受講が決定したスタッフは受講前のレポートが登録できること。		
4.2.22.176				・ 管理者はレポートの提出状況が一覧で確認できること。		
4.2.22.177				・ 受講したスタッフは受講後のレポートが登録できること。		
4.2.22.178				・ 管理者はレポートの提出状況が一覧で確認できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.22.179				・スタッフが登録したレポートを指導者が確認でき、コメントを入力できること。		
4.2.22.180				・研修の受講結果は個人の履歴として管理できること。		
4.2.22.181	時間外	超過勤務時間管理	超過勤務の申請・承認	・超過勤務は開始時刻、終了時刻、理由を5件以上登録できること。		
4.2.22.182				・また、休憩時間、休息时间、雑時間等、超過勤務以外の時間も登録できること。		
4.2.22.183				・スタッフは年月を指定して個人別画面から超過勤務を申請できること。		
4.2.22.184				・個人別画面では1ヶ月の超過勤務が表示できること。		
4.2.22.185				・勤務日数、休暇日数、月間の超過勤務時間が割増率毎に表示できること。		
4.2.22.186				・スタッフは申請した超過勤務の承認状況を個人別画面で確認できること。		
4.2.22.187				・管理者はスタッフが申請した超過勤務を承認できること。また、承認は未承認一覧から職員が申請した超過勤務を承認できること。		
4.2.22.188				・管理者はスタッフが登録した超過勤務を日別入力画面で確認/承認できること。		
4.2.22.189			超過勤務実績照会	・各部署ごとに月間の超過勤務の合計時間及び割増率毎の時間を職員別に確認できること。		
4.2.22.190			給与システム連携	・超過勤務は人事・給与システムと連携できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.22.191				・連携データはCSV、固定長の形式が選択でき、レイアウトは自由に設定できること。		
4.2.22.192			マスタメンテナンス	・勤務形態毎に超過勤務の入力可否、開始時刻を登録できること。		
4.2.22.193				・超過勤務の理由はあらかじめマスタに登録できること。また各部署毎に使用する理由を選択できること。		
4.2.22.194			帳票	・時間外勤務命令簿が印刷出力できること。		
4.2.22.195				・時間外勤務取得状況一覧（職員別）が印刷出力できること。		
4.2.22.196				・時間外勤務取得状況一覧（所属別）が印刷出力できること。		
4.2.22.197				・時間外勤務データ出力（職員別）が印刷出力できること。		
4.2.22.198				・時間外勤務データ出力（所属別）が印刷出力できること。		
4.2.22.199				・時間外勤務データ明細出力が印刷出力できること。		
4.2.22.200	出退勤管理	出退勤管理	機器台数	・打刻機は5台（更衣室前2台、玄関1台、裏側出入口1台、医局入口1台）とすること。		
4.2.22.201			打刻登録	・メニュー画面で出勤、退勤の打刻が登録できること。		
4.2.22.202				・ICカードリーダーで打刻された出退勤打刻を取り込むことができること。		
4.2.22.203			打刻登録	・期間、所属、雇用条件を指定して出退勤のエラーチェックができ、エラーリストとして画面に表示できること。		
4.2.22.204				・エラーチェックは申告された勤務実績や時間外勤務と出退勤打刻を比較し、入力ミスや遅刻、早退の検出ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.22.205				・エラーリストから打刻の追加・修正、勤務変更や時間外の修正ができること。すでにチェック済みのエラーは一覧で確認できること。		
4.2.22.206			在院照会	・現在時刻の在院状況を一覧で確認できること。		
4.2.22.207				・日付、時刻を指定して在院状況を確認できること。		
4.2.22.208				・在院状況は在院・不在の別、所属、氏名、PHS番号、勤務予定、勤務時間、打刻時間が表示できること。		
4.2.22.209			出勤簿	・職員を指定して出勤簿が参照できること。		
4.2.22.210				・出勤簿は日付、勤務予定、時間外、時間休暇、出退勤時刻が表示できること。		
4.2.22.211				・出勤簿は月間の勤務日数、休暇日数、有給休暇取得日数、割増率毎の時間外勤務時間数が確認できること。		
4.2.22.212		勤務予定作成	勤務パターン設定	・月間の勤務パターンを作成でき、特定の職員に割り当てができること。		
4.2.22.213			勤務予定自動生成	・職員に割り当てられた勤務パターンで月間の勤務予定が自動で作成できること。		
4.2.22.214	働き方改革関連法対応	働き方改革関連法対応	労働時間の適正把握	・職員の実働時間、在院時間、所定外勤務時間、法定外勤務時間、法定外勤務時間+休日勤務時間の各時間が出勤簿の画面で把握できること。		
4.2.22.215				・在院時間は出勤時間と退勤時間から自動計算されること。		
4.2.22.216				・労働外時間（労働と見做されない在院時間）の時間と理由が登録でき、出勤簿に表示・出力できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.22.217				・カード忘れ、打刻忘れ等により出退勤打刻の登録を要する場合は本人申請と所属長による承認をもって申請した打刻情報が登録されること。		
4.2.22.218				・出退勤区分の押し間違い、2重打刻等により出退勤打刻の修正を要する場合は本人申請と所属長による承認をもって申請した打刻情報が登録されること。		
4.2.22.219			時間外労働の上限規制チェック	・時間外労働が月45時間、年360時間を超えた場合、又は任意に指定した上限時間を超えた場合は本人、所属長、勤務時間管理者に警告できること。		
4.2.22.220				・時間外労働が月45時間を超える月が6ヶ月を超えた場合、又は任意に指定した上限時間を超えた場合は警告できること。		
4.2.22.221				・時間外労働が年720時間を超えた場合、又は任意に指定した上限時間を超えた場合は本人、所属長、勤務時間管理者に警告できること。		
4.2.22.222				・時間外労働及び休日労働の合計時間が月100時間以上となる場合は本人、所属長、勤務時間管理者に警告できること。		
4.2.22.223				・時間外労働及び休日労働の合計時間が6ヶ月平均80時間を超える場合、又は任意に指定した上限時間を超えた場合は本人、所属長、勤務時間管理者に警告できること。		
4.2.22.224				・各上限時間は職種、所属毎に設定できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.22.225			就業状況の確認	<ul style="list-style-type: none"> 職員の各月毎の実働時間、在院時間、所定外、法定外（時間数）、法定外+休日時間数（時間数）法定外+休日時間数（2ヶ月～6ヶ月平均）が一覧で確認できること。また、上限値を超える場合又は超える恐れがある場合は画面上で識別できること。 		
4.2.22.226			有給休暇の取得チェック	<ul style="list-style-type: none"> 所属毎に各職員の有給休暇の取得状況が確認できること。 		
4.2.22.227				<ul style="list-style-type: none"> 各職員の各月毎に有給休暇の取得状況が確認できること。取得状況は予定も含めて確認できること。 		
4.2.22.228				<ul style="list-style-type: none"> 有給休暇の取得が困難と思われる職員が存在する場合、本人、所属長、勤務時間管理者に警告できること。 		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.23 医事会計システム						
4.2.23.1	医事会計システム	共通	ログオン	・職員コード、パスワードによるログインができること。		
4.2.23.2				・パスワードの有効期限が設定できること。		
4.2.23.3				・各画面にログオンした職員の氏名が表示できること。		
4.2.23.4		基本事項	全般業務	・システム導入にあたり事故、トラブル等の至急案件の対応はもちろんのこと日常レベルでの詳細な要望に対応できる体制がとれること。		
4.2.23.5				・コンピュータとの対話は、原則、日本語で行われること。システムの自動運転機能、リモート監視等を有した操作性の簡便なものであること。システムは24時間稼動とする。		
4.2.23.6				・レセプト電算処理システムに対応していること。		
4.2.23.7				・預かり金が管理できること。		
4.2.23.8				・診療データについては、稼働後5年以上のデータが保持でき、いずれのクライアントにおいても本システムに登録されている情報が検索参照できること。		
4.2.23.9				・入金データは5年間保存できること。		
4.2.23.10				・未納金データ、支払証明データは永久保存できること。		
4.2.23.11				・点数マスタは履歴型で世代数に制限なく保持していること。		
4.2.23.12				・医療(点数)改正に柔軟に対応できること。		
4.2.23.13				・遡及処理が可能なこと。		
4.2.23.14				・診療データは無制限でオンライン保存管理できること。但し、MO等の磁気媒体での保存も可能とする。その際は、保存データの抽出・訂正、処理帳票出力が可能なこと。		
4.2.23.15				・点数改定時における加算、月1回、通減、包括等の自動算定に対応できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.23.16				・レセプト電算コードが付与されていること。		
4.2.23.17				・診療報酬改定に伴う薬価改正及び医科歯科労災等の各改正項目に対応でき、法改正あるいは診療報酬改定に対応した点数マスターと、それらの情報を簡便に提供できること。		
4.2.23.18				・県単の診療報酬改定にも対応できること。		
4.2.23.19				・診療報酬改定時、自動でマスタ設定が可能なこと（極力病院側の負担が軽減できるよう）		
4.2.23.20				・自動再来受付機、エンボッサ、入金機等とのインターフェイスが用意されていること。		
4.2.23.21				・キーボードマウスにより簡単に入力可能なこと。また、キーボードのみでも入力可能としカナローマ字の設定が可能なこと。		
4.2.23.22				・登録できる診療科は40科以上とし（院内標榜にも対応）、追加登録が可能なこと。		
4.2.23.23				・マニュアル手引書（日本語による）を作成すること。また、システム更新時には必ず改訂版を発行すること。		
4.2.23.24				・各画面のすべてのハードコピーができること。		
4.2.23.25				・診療科コードについて医療法に準ずること。		
4.2.23.26				・オーダリングシステム導入時において、実施した診療行為のみが会計データに反映できるものとする。		
4.2.23.27				・異なった端末からの同一患者の会計入力は禁止すること。		
4.2.23.28				・情報検索がサーバを設置し、システムの構造、レイアウトを意識することなく容易にデータの参照、抽出及びそれを利用した加工（作表など）が実現できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.23.29				・テスト患者による現地テストが可能なこと。		
4.2.23.30				・新薬、材料、セット等の追加などは、病院職員でのメンテナンスもできること。		
4.2.23.31				・入力中の患者が保持している有効保険を表示できること。		
4.2.23.32				・外来の検査オーダを累積し、一日単位のまとめ処理ができること。		
4.2.23.33				・患者単位に個別のコメントを複数保有する事が出来、各業務画面展開時にコメント文字がポップアップされる機能を有すること。		
4.2.23.34				・患者番号は一患者一番号制とし、自動的に付番できる機能を有すること。また患者番号の手入力も可能なこと。		
4.2.23.35				・レジ入金端末と連動可能なこと。		
4.2.23.36				・DPCシステムとの整合性が取れること。		
4.2.23.37				・自費課税・非課税などの保険については用途に合わせた保険名称の表示が可能であること。		
4.2.23.38				・日計一覧表の出力ができること。又、EXCEL出力に対応し、出力結果の変更が可能なこと。		
4.2.23.39				・患者情報画面に、支払人、保証人(父母子供等)、保証書の有無表示ができること。		
4.2.23.40				・統計処理が適時に行えること。		
4.2.23.41				・診療日(期間)と請求日別々の管理が可能なこと。		
4.2.23.42				・有効病名のみ表示できる設定機能を有すること。		
4.2.23.43		マスター管理	マスタ登録 変更業務	・下記のマスターを標準提供し、診療報酬改定等の定期的な追加変更のメンテナンスができること。		
4.2.23.44				・点数マスター		
4.2.23.45				・治療材料マスター		
4.2.23.46				・病名マスター(ICD10対応)		
4.2.23.47				・住所マスター		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.23.48			点数マスター登録 変更	・点数マスターの登録変更削除が可能なこと。		
4.2.23.49				・点数改正に伴い、点数マスターの一括変更、登録ができること。その時に、点数マスターは新たなマスターとして追加され、過去のマスターは消去されないこと。		
4.2.23.50				・点数マスターは履歴型で管理可能なこと。		
4.2.23.51				・自動算定マスターの設定を行うことにより、自動で月上限回数まで自動算定できる機能があること。		
4.2.23.52				・点数マスターにおいて、該当項目入力時の使用量の上限の設定が可能なこと。		
4.2.23.53				・点数マスターにおいて、該当項目の3月1月1日内の算定可能上限回数の設定が可能であり、診療行為入力時に自動で0点化または入力チェックが可能なこと。		
4.2.23.54				・点数マスターは年数回提供または最新版へ更新されること。		
4.2.23.55				・点数マスターは参考点数マスターより複写登録が可能なこと。		
4.2.23.56				・新薬保険認可検査等、点数マスターへ新規登録されるべき項目は、できる限り早い時期に提供すること。提供までの期間に、登録が必要になった場合は、登録予定内容の資料を提示すること。		
4.2.23.57				・その他マスター登録変更。		
4.2.23.58				・病名マスターの登録変更削除が可能なこと。		
4.2.23.59				・オペレータコード氏名の登録変更削除が可能なこと。		
4.2.23.60				・ドクターコード氏名の登録変更削除が可能なこと。		
4.2.23.61				・病棟または部屋別に、病棟区分入院料区分入院料加算区分食事区分等の登録変更削除が可能なこと。		
4.2.23.62				・セットマスターの登録変更削除が可能なこと。		
4.2.23.63				・セットマスターの登録時、他項目からの流用が可能なこと。		
4.2.23.64				・セット入力時の使用量が、セットマスターの各項目の使用量へ乗算できること。		
4.2.23.65			・セットマスターの管理が簡易に行えること。			
4.2.23.66			出力帳票	・各種日報を出力できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.23.67		患者登録業務	患者基本登録	・新規来院患者の下記の基本情報が登録できること。 氏名（カナ、漢字、旧姓、別名） 生年月日性別住所TELコメント		
4.2.23.68				・登録された基本情報は永久保存情報として常時オンラインの照会が可能なこと。		
4.2.23.69				・患者基本登録情報の永久保存及び院内共通利用が可能なこと。年齢については、他の入力画面上に何歳何ヶ月で表示できること。		
4.2.23.70				・患者番号について二重登録防止機能(カナ氏名、性別、生年月日等)が可能なこと。登録済患者の場合は、変更修正モードへの切り替えができること。		
4.2.23.71				・主保険について、保険者番号、記号番号、負担率、被保険者名、続柄、事業所名、取得日、期限、確認日の登録ができること。		
4.2.23.72				・公費について、負担者番号、受給者番号、取得日、期限、窓口限度額（外来入院）の登録ができること。		
4.2.23.73				・県単公費について、受給者番号、申請先が登録できること。		
4.2.23.74				・保険毎に適用科の限定登録が外来入院別にできること。		
4.2.23.75				・患者自動付番機能（チェックデジット付）で管理ができること。		
4.2.23.76				・自動付番の設定が変更できること。また、指定付番ができること。 （登録患者削除後再登録等）		
4.2.23.77				・患者登録データは、基本情報として、第2氏名(旧姓等)の登録ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.23.78				・カナ氏名では、英数字の入力もできること。・フリガナ・氏名・生年月日・郵便番号・住所・電話番号・勤務先住所・コメント・保証人等の登録ができ、氏名のカナ漢字変換では、漢字氏名またはカナ氏名を入力し、それぞれカナ氏名または漢字氏名を表示させる機能を有すること。		
4.2.23.79				・カナ漢字変換では、漢字氏名、漢字保険記号、漢字保険番号の直接漢字（ワプロ）入力ができること。		
4.2.23.80				・患者コメントは、漢字30文字分以上を登録表示できること。登録された患者コメントは、該当患者の他の入力画面に表示ができること。患者コメントはカルテ1号紙、外来基本カード、患者請求書にも出力できること。区分として個人情報の登録管理ができること。		
4.2.23.81				・患者の受診情報の変更ができること。また、一覧で受付患者一覧・未会計・会計済みの状況確認が行えること。		
4.2.23.82				・労災保険においては、レセプト出力用に事業所名事業所住所等の入力が可能なこと。		
4.2.23.83				・労災保険に四肢加算の区分を登録することで、自動加算が行えること。		
4.2.23.84				・労災長期新継再別、転帰、年金証書番号（9桁）、療養期間（外来入院）の登録ができること。		
4.2.23.85				・労災長期新継再別、転帰、労働保険者番号（14桁）、療養期間（外来入院）、負傷発病年月日、事業所名称、事業所所在地、労災区分、疾病分類の登録が、できること。		
4.2.23.86				・各種保険と年齢の妥当性のチェックを行えること。		
4.2.23.87				・患者登録画面で診察券・カルテ1号紙の発行ができること。		
4.2.23.88				・同一画面にて患者基本情報の登録変更削除ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.23.89			保険登録 保険詳細 情報ウィンド	・保有保険情報が基本情報登録画面で入力可能であり、同一画面で当日受診科の入力も全科可能なこと。		
				保険詳細情報ウィンドでは、以下の設定ができること。		
4.2.23.90				・ 船員区分		
4.2.23.91				・ 高額療養費委任払いサイン		
4.2.23.92				・ 低所得者サイン(一般/長期/老人等)		
4.2.23.93				・ 食事標準負担区分		
4.2.23.94				・ 入外別の公費一部負担金の月額		
4.2.23.95				・ 入外別の限定科(適用/非適用)各々6科		
4.2.23.96				・負担割合のほか、食事標準負担区分、公費一部負担金額の自動設定と画面からの変更処理ができること。		
4.2.23.97				・保険記号のカナ漢字変換は保険者コードをキーとする保険記号辞書をベースに行われること。保険記号辞書による漢字変換時にはカナ記号の入力は、不要とすること。		
4.2.23.98				・漢字保険記号、漢字保険番号の直接(ワープロ)入力も可能なこと。		
4.2.23.99				・被保険者名、続柄、職種等の入力が可能なこと。		
4.2.23.100				・保険登録時、入外別に限定科(6科以上)及び公費一部負担金月額の設定が、可能なこと。		
4.2.23.101			患者検索	・患者検索した際に、その履歴(外来受診歴、入院歴)が容易に確認できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.23.102				・検索結果に入院している場合は、入院病棟が表示されること。		
4.2.23.103				・旧姓検索ができること。		
4.2.23.104				・氏名の漢字検索の追加ができること。		
4.2.23.105			住所登録	・住所マスタのメンテナンスができること。		
4.2.23.106				・郵便番号（7桁）入力により、該当する住所を選択入力できること。 また、その逆も可能なこと。		
4.2.23.107				・住所の詳細情報(番地、アパート名等)までの登録が可能なこと。		
4.2.23.108			受付機能 (手動受付)	・患者IDを入力すると、漢字氏名、生年月日、年齢、性別、（入院患者の場合、入院科、入院病棟）と受付可能科（設定により全科）が表示されること。		
4.2.23.109				・患者を名前から検索することができること。		
4.2.23.110				・診察医を指定できること。		
4.2.23.111				・外来基本カードを発行できること。		
4.2.23.112				・一度受付を行った情報を削除し、元に戻すことができること。		
4.2.23.113				・保険が選択できること。		
4.2.23.114			チェック機能	・新規来院患者登録時、同一カナ氏名生年月日性別により患者二重登録を防止するチェック機能を有すること。		
4.2.23.115				・同姓同名のチェックができ、登録済みの場合でも常に注意を促す表示機能を有すること。		
4.2.23.116				・保険の有効期限が切れていないかのチェックができること。		
4.2.23.117				・今月初めての来院か（保険証を確認しているか）のチェックができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.23.118				・未収金があるかのチェックができること。		
4.2.23.119				・各保険本人家族などの年齢妥当性チェック、未就学や前期後期などの給付割合チェックなどが可能なこと。		
4.2.23.120		患者登録業務	入退院登録	・患者の入退院及び入院中患者の転科・転室・転棟情報の登録が可能なこと。又、電子カルテシステム等で入力された転科・転室・転棟情報も反映すること。		
4.2.23.121				・上記入力が入全病棟あるいは指定病棟単位の空床照会機能や、指定病室の入院患者照会機能にオンライン処理にて即時に反映されること。		
4.2.23.122				・入院基本料、入院基本料加算、食事、食事加算、差額室料、看護類別、室区別等が病棟病室マスタ情報より自動設定できること。また、柔軟な病棟運用も考慮し、入退院登録画面からの直接指定ができること。		
4.2.23.123				・差額室料はベッド毎に設定できること。		
4.2.23.124				・入院カルテ1号紙(表紙)に必要な帳票類(氏名、生年月日、住所、保険、入院年月日及び病棟)の発行ができること。又、レイアウト変更時対応できること。		
4.2.23.125				・入院登録時、前回迄の医学管理料算定履歴を自動的に引き継ぐ機能を有すること。ただし、3か月後以上の再入院については、前回医学管理料は、引き継がないこと。		
4.2.23.126				・入院料(特食、欠食等)の算定状況をカレンダー形式で表示可能なこと。		
4.2.23.127				・対象年月の変更により、過去あるいは未来のカレンダー表示も行えること。		
4.2.23.128				・入退院歴は登録可能なこと。(転科、転室、転病棟歴についても同様)		
4.2.23.129				・外泊、特食、欠食等、入院基本診療関連の登録も同一画面において可能なこと。		
4.2.23.130				・複数の入院履歴があった場合、新規入院・再入院の訂正が可能であり、入院料計算もそれによって自動に訂正されること。		
4.2.23.131				・再入院の場合の入院料日数計算が引き継がれること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.23.132				・各病棟毎の入院料を持ち、転棟時に自動変更ができること。		
4.2.23.133				・入院登録時及びその後に主治医名（主治医コード）が登録でき、それが変更できること。		
4.2.23.134				・食事料（特別食加算欠食）が随時変更できること。また、それがオーダーリングシステムに対応できること。（自動に取り込みができること）		
4.2.23.135				・退院処理を行わなくても、請求金額の試算ができること。		
4.2.23.136				・同月内の保険変更があった場合、変更保険の登録によりデータ変更が、容易にできること。		
4.2.23.137				・入力済み行為データの科保険等の一括変更ができること。		
4.2.23.138				・未来日の入院登録ができること。		
4.2.23.139				・同一日の入退院登録ができること。		
4.2.23.140				・退院処理を取り消した場合、中止した未来データが容易に復活できること。		
4.2.23.141				・退院証明書が発行できること。		
4.2.23.142				・医学管理料算定履歴は標準で最低20ヶ登録可能なこと。		
4.2.23.143		患者登録業務	病名登録	・レセプトに出力する病名を登録することができ、これらのコード入力に際し簡易なコード検索機能を有すること。		
4.2.23.144				・保険病名登録機能と合わせ診断病名(ICD準拠)、疑い登録機能を有し、識別できること。		
4.2.23.145				・病名の直接漢字入力による修正登録ができること。		
4.2.23.146				・病名単位に科、外来、入院、保険の限定ができること。		
4.2.23.147				・病名照会画面からの転記(コピー)機能を有し、科、入外、病名、保険、開始/終了日等を部分流用しての病名登録が可能なこと。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.23.148				・病名登録画面では入外別又は両方、科別又は全科の適用病名の照会限定機能を有すること。		
4.2.23.149				・電子カルテ・DPCとの病名連動が可能なこと。		
4.2.23.150		受付業務	再来受付	・再来患者の保険の内容確認ができること。		
4.2.23.151				・外来基本診療票の発行が可能なこと。		
4.2.23.152				・患者の最終来院日及び前回退院日の表示が可能なこと。		
4.2.23.153				・併科受診の処理が可能なこと。		
4.2.23.154				・前回来院日からの経過期間により、初診／再診等の来院区分判断情報を画面や外来基本診療票上に表示可能なこと。		
4.2.23.155				・診察券の再発行が可能なこと。		
4.2.23.156				・再来受付機と接続し来院歴チェック、受診科チェック等を行い、受診票を発行することが可能なこと。		
4.2.23.157				・保険別の保険確認、修正処理が可能なこと。		
4.2.23.158				・受付時に未収金情報が表示されること。		
4.2.23.159				・受付票のレイアウトは病院指定のものが可能なこと。		
4.2.23.160				・当日受付入力ができること。		
4.2.23.161			機能	・保険の有効期限が切れていないかのチェックができること。		
4.2.23.162				・今月初めての来院か（保険証を確認しているか）のチェックができること。		
4.2.23.163				・未収金があるかのチェックができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.23.164				・本日2回目の受付であるかのチェックができること。		
4.2.23.165				・マイナンバーカードによる身分証明及び保険証確認が行われるようになった場合、その対応ができる機能を有すること。		
4.2.23.166		算定履歴照会業務		・会計窓口での算定履歴情報を患者単位で登録照会変更できること。		
4.2.23.167				・算定履歴情報として、初診算定日、初診算定科を表示できること。		
				算定履歴の算定起算日情報として、以下の項目の算定起算日または初回算定日が表示できること。		
4.2.23.168				・ 入院精神療法定算日		
4.2.23.169				・ 心臓ペースメーカー埋込日		
4.2.23.170				・ 呼吸心拍監視起算日		
4.2.23.171				・ 熱傷温浴療法定算日		
4.2.23.172				・ 外来栄養食事指導算定日		
4.2.23.173				・ 在宅患者訪問栄養食事指導算定日		
4.2.23.174				・ 悪性腫瘍特異物質治療管理料算定日		
4.2.23.175				・ 在宅療養指導算定日		
4.2.23.176				・ 通院集団精神療法定算日		
4.2.23.177				・ 特定薬剤治療管理料算定日（ジキタリス製剤）		
4.2.23.178				・ 特定薬剤治療管理料算定日（テオフィリン製剤）		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.23.179				・ 特定薬剤治療管理料算定日（不整脈用剤）		
4.2.23.180				・ 特定薬剤治療管理料算定日（ハロペリドール製剤）		
4.2.23.181				・ 特定薬剤治療管理料算定日（リチウム製剤）		
4.2.23.182				・ 特定薬剤治療管理料算定日（バロプロ酸ナトリウム）		
4.2.23.183				・ 特定薬剤治療管理料算定日（抗てんかん剤）		
4.2.23.184				・ 特定薬剤治療管理料算定日（サリチル酸系製剤）		
4.2.23.185				・ 特定薬剤治療管理料算定日（メトトレキサート）		
4.2.23.186				・ 特定薬剤治療管理料算定日（シクロスポリン）		
4.2.23.187				・ 特定薬剤治療管理料算定日（タクロリムス水和物）		
4.2.23.188				・ 特定薬剤治療管理料算定日（免疫抑制剤）		
4.2.23.189				・ 特定薬剤治療管理料算定日（アミノ配糖体抗生物質）		
4.2.23.190				・ 特定薬剤治療管理料算定日（ジキタリス製剤の急速飽和）		
4.2.23.191				・ ニコチン依存症		
4.2.23.192				・ 特定薬剤治療管理料算定日（トリアゾール系抗真菌剤）		
4.2.23.193				・ 算定履歴の診察料情報として、算定年月、算定科（医科歯科）をもとに保険情報、診療名称を表示できること。		
4.2.23.194		料金計算業務(外来／入院)	外来会計	・ 外来患者に対する全診療行為にわたる、オーダ情報実施情報を取込み、入力された診療内容は保険情報を基に点数、料金計算を行えること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.23.195				・作成した会計データをカレンダー形式で検索変更削除することができること。		
4.2.23.196				・データに変更が生じた場合、会計データの変更に患者請求金額の再計算を行うことができること。		
4.2.23.197				・会計データは5年以上保有できること。		
4.2.23.198				・診療データ履歴参照時に入力者の把握が可能なこと。		
4.2.23.199				・指導料、受診歴が表示されている状態で行為入力ができること。		
4.2.23.200				・死亡患者の場合は画面にその旨を表示できること。		
4.2.23.201				・会計入力中行為から自動的に算定されるデータの変更ができること。		
4.2.23.202				・診療行為日の入力ができ、日数、点数等に自動反映されること。		
4.2.23.203				・すべての診療行為をコード、略称で入力でき、入力された診療内容と保険情報をもとに点数計算、負担金計算を行い請求書が発行できること。		
4.2.23.204				・前回処方、前回診療情報が会計画面に表示できること。		
4.2.23.205				・診察料算定日、指導料算定日、判断料算定日が参照できること。		
4.2.23.206				・番号入力、略称入力又は略称コード入力ができること。また、コード検索機能を有すること。 ※（検索機能はコード番号、略称等いずれからも検索できること。）		
4.2.23.207				・コメント入力がワープロ入力に対応し、レセプトに反映できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.23.208				・入院料はカレンダー方式の入力表示ができ、入院料算定状況が一目で確認できること。また、入院登録された情報により自動生成ができること。		
4.2.23.209				・外来会計入力画面で直近の入退院日の情報を表示させることができること。		
4.2.23.210				・すべての診療行為を保険使用時と同一のコードを使用して保険適用外として扱えること。		
4.2.23.211				・保険選択画面に保険証確認日の表示ができること。		
4.2.23.212				・基本料や指導料の前回算定日を表示できること。		
4.2.23.213				・外来処方箋は院内処方、院外処方の明確な表示があること。		
4.2.23.214				・労災自費の請求に対応すること。（月締めでなく、日々精算可能なこと）		
4.2.23.215				・障害福祉サービスの保険登録・計算・患者への請求ができる事。		
			初診	次に示す自動計算、自動チェック、自動算定機能を有すること。		
4.2.23.216				・ 乳幼児加算（医科／歯科）		
4.2.23.217				・ 保険種別による行為別点数自動置換（一般、老人、労災）		
4.2.23.218			再診	・ 乳幼児加算（3歳未満、3歳以上）（医科／歯科）		
4.2.23.219				・ 外来診療料の自動包括		
4.2.23.220				・ 労災歯科の再診料自動算定		
4.2.23.221				・ 再診料他科算定済みの表示、初診料他科算定の表示		
4.2.23.222			指導	・ 月内算定回数チェック		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.23.223				・ 初診日、初回算定日、前回算定日からの算定チェック		
4.2.23.224				・ 退院日からの算定チェック		
4.2.23.225				・ 退院指導料の該当患者の算定チェックただし、入院栄養食事指導料との同時算定のチェック		
4.2.23.226				・ 薬剤管理指導料の月4回の算定チェック		
4.2.23.227				・ 悪性腫瘍特異物質治療管理料腫瘍マーカー検査初回月加算の算定チェック		
4.2.23.228				・ 悪性腫瘍治療管理料を入力した際、該当検査が管理料に、自動包括（0点化）させること。また、強制入力可能なこと。		
4.2.23.229				・ 特定薬剤治療管理料が薬剤別による算定および、逡減ができること。		
4.2.23.230			投薬	・ 調剤料、処方料、麻薬料（麻薬向精神薬覚醒剤原料等含む）（医科/歯科）の算定		
4.2.23.231				・ 調剤料1日1回チェック（入院）		
4.2.23.232				・ 調剤技術基本料（医科/歯科）の算定		
4.2.23.233				・ 調剤技術基本料の同一月2回目以降の警告		
4.2.23.234				・ 院内製剤加算(M i x、フラグ等で自動発生)		
4.2.23.235				・ 院外院内処方のチェック処方		
4.2.23.236				・ 長期投与不可薬剤（向精神薬等）の処方日数のチェック。日数超過の場合は警告を出すこと。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.23.237				<ul style="list-style-type: none"> ・ (外来) 7種通減 (90/100) への対応。会計データを、修正したときに薬剤数が増減した場合にも自動的に反映すること。同一診療科で複数保険にまたがる場合も適切に処理されること。 		
4.2.23.238				<ul style="list-style-type: none"> ・ 院外院内処方併用の場合に院内の調剤基本料がチェックでき、警告を発すること。 		
4.2.23.239			注射	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児加算 (動脈注射、脳脊髄、硬膜外等) 		
4.2.23.240				<ul style="list-style-type: none"> ・ 点滴 I V H 計算 (手技料の注射の量による自動算定、注射料同日のまるめ) 		
4.2.23.241				<ul style="list-style-type: none"> ・ 注射手技料 1日1回チェック (入院) 		
4.2.23.242				<ul style="list-style-type: none"> ・ 小児点滴の自動計算 		
4.2.23.243			処置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 腰椎穿刺等の乳幼児加算 		
4.2.23.244				<ul style="list-style-type: none"> ・ 直達牽引の新生児乳児加算 		
4.2.23.245				<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科乳幼児加算 		
4.2.23.246				<ul style="list-style-type: none"> ・ 労災四肢加算 (自動算定) 		
4.2.23.247			手術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児加算 		
4.2.23.248				<ul style="list-style-type: none"> ・ 新生児乳児加算 (医科/歯科) 		
4.2.23.249				<ul style="list-style-type: none"> ・ 麻酔時間による麻酔料の自動算定、麻酔法による加算 		
4.2.23.250				<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科乳幼児加算 		
4.2.23.251				<ul style="list-style-type: none"> ・ 酸素代補正率による計算 		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.23.252				・ 労災四肢加算(自動算定)		
4.2.23.253				・ 実施日の自動入力		
4.2.23.254				・ 手術実施日を算定情報として残す (入院/外来)		
4.2.23.255			検査	・ 乳幼児加算、新生児加算 (血液採取、穿刺、心臓、カテーテル等)		
4.2.23.256				・ 各種検査まるめへの自動算定		
4.2.23.257				・ 検体検査管理加算の自動算定		
4.2.23.258				・ 血液化学検査入院加算の自動算定		
4.2.23.259				・ ホルター型心電図検査所要時間の計算		
4.2.23.260				・ 90 / 100 遞減処理		
4.2.23.261				・ 採取料 (外来) の算定		
4.2.23.262				・ 同一日、同一月の同時算定不可の検査に対して注意表示される。		
4.2.23.263				・ 生化学初回加算の自動算定		
4.2.23.264				・ 悪性腫瘍特異物質治療管理料算定時の腫瘍マーカー検査の算定		
4.2.23.265				・ 呼吸心拍監視の装着日と算定日のチェック、期間による自動遞減計算		
4.2.23.266			画像	・ 乳幼児加算 (注入手技穿刺、動脈)		
4.2.23.267				・ 再来受付時に時間外加算を指定することにより、時間外加算自動算定(医科/歯科)		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.23.268				・ フィルム乳幼児加算		
4.2.23.269				・ 撮影料（単純、特殊、造影剤使用、脳脊髄腔）の算定		
4.2.23.270				・ 新生児3歳未満加算（撮影料）（医科／歯科）		
4.2.23.271				・ 診断撮影料の撮影回数計算		
4.2.23.272				・ 一連の行為による画像診断料の通減		
4.2.23.273				・ 分画数、方向数の計算		
4.2.23.274				・ 核医学診断料の算定		
4.2.23.275				・ コンピュータ断層診断の算定		
4.2.23.276				・ C T、M R I の部位通減及び労災の自動置換		
4.2.23.277				・ C T、M R I、R I の実施日をレセプトに自動表示できること。		
4.2.23.278				・ 画像診断管理加算		
4.2.23.279				・ 電子画像管理保存加算		
4.2.23.280				・ C T、M R I の労災保険使用時の読み替え		
4.2.23.281			理学療法、その他	・ 月内の算定上限チェック、算定上限期間チェック（但し、強制入力もできること）		
4.2.23.282				・ 労災保険使用時の自動置換		
4.2.23.283				・ リハ算定起算日の自動任意指定が可能であり起算日が自動で表示される。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.23.284				・ 各種加算（四肢、脳血管加算等）への対応が可能である。		
4.2.23.285				・ 理学療法および、消炎鎮痛処置の同時算定チェック		
4.2.23.286			輸血	・ 輸血手技料初回、2回目以降の点数変更に対応できる。		
4.2.23.287				・ 不規則抗体、クームス検査の自動加算。ただし、修正ができること。		
4.2.23.288			入院	・ 輸液量の袋単位の自動計算		
4.2.23.289		・ 室料差額（部屋ごとの料金設定が可能で任意に料金の変更ができる）				
4.2.23.290				・ 入院食事療養（食堂加算、選択メニュー、特別食加算含む）		
4.2.23.291				・ 入院食事療養（保険による倍率計算）		
4.2.23.292				・ 標準食事負担額（一般、低所得、低所得3ヶ月超、低所得年金）		
4.2.23.293				・ 基本料、各種加算、各種減算、特掲入院料に対応できること。 （抜粋）乳幼児加算、看護補助夜間勤務等看護加算、地域加算、病衣加算（労災保険適用時時）、紹介外来加算、診療録管理体制加算、褥瘡対策未実施減算、入院診療計画実施減算、院内感染防止対策未実施減算等		
4.2.23.294				・ 外泊点数が各種保険に対応できること。		
4.2.23.295				・ 入院料の各種加算はカレンダー入力とする。		
4.2.23.296				・ 後期高齢者特定入院料に対応できること。		
4.2.23.297				・ 特別入院料に対応すること		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.23.298				・ 180日超えの選定療養に対応できること。		
4.2.23.299			その他全般	・ 自動選択保険表示／前回指定保険自動表示		
4.2.23.300				・ 保険による単価計算（労災、自賠）		
4.2.23.301				・ 保険による消費税率計算（保険分、保険外分、自費分による課税／非課税）		
4.2.23.302				・ 公費等負担限度額による計算ができること。高額委任請求で一円単位の請求ができること。		
4.2.23.303				・ 外来／入院／保険適用チェック		
4.2.23.304				・ 保険適用科チェック		
4.2.23.305				・ 月1回チェック		
4.2.23.306				・ 数量入力有／無チェック、許容量チェック		
4.2.23.307				・ 使用量／回数省略時の自動発生（省略値：1）		
4.2.23.308				・ 他保険入院中の場合でも、実日数の出力ができること。		
4.2.23.309				・ 医療法改正等による病院側の要望については、適宜協議すること。		
4.2.23.310				・ 保険によるチェック		
4.2.23.311				・ 通算1回チェック		
4.2.23.312				・ 画像診断の入力では、枚数方向数の入力も強制算定入力ができること。核医学診断およびコンピューター断層診断も同様とする。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.23.313				・入力内容の項目名称、使用量、単位、点数、回数を一度に表示できること。		
4.2.23.314				・主行為（手技）、薬剤、材料のグループごとの点数計算と表示ができること。		
4.2.23.315				・入力時の包括、未算定項目については、0点表示が可能なこと。		
4.2.23.316				・入力番号とエラー／警告メッセージ対応をわかりやすく表示できること。		
4.2.23.317				・また、エラー／警告メッセージを10個分表示できること。		
4.2.23.318				・入力方法として、項目コード／略称コード／伝票コード、前回DO入力、 約束手入力セット入力などの機能を有していること。		
4.2.23.319				・略称コードについては、覚えやすく、かつ剤形、規格など表現できるように、5桁までの設定が可能なこと。 (1項目に複数の略称を設定可能なこと)		
4.2.23.320				・項目コードおよび項目の区切りや入力終了なく、指示が、基本的にテンキーで行え片手操作ができること。行削除や行挿入もワンタッチで行えること。		
4.2.23.321				・入力単位については、主単位（入力の省略が可）のほか、サブ単位でも入力可能なこと。		
4.2.23.322				・検査種の混入入力（グループ入力時においても）、検査種ごとの自動振り分けとその表示ができること。（まるめ計算含む）		
4.2.23.323				・過去に入力したデータは、すべてDO入力可能なデータとして利用できること。		
4.2.23.324				・セット入力についても、全診療区分のデータ利用ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.23.325				・セットデータを入力画面上に展開し、自由に追加修正削除ができること。		
4.2.23.326				・レセプトや処方（用法）コメントは、コード入力、略称入力、コード／ 略称検索入力及びワープロ修正入力が可能なこと。		
4.2.23.327				・コメントの保険指定入力が可能なこと。処方（用法）コメントについては分服数（使用量）の入力も可能なこと。		
4.2.23.328				・診療行為入力中に入力内容の複写が行えること。		
4.2.23.329				・診療行為入力中に前回の処方内容を入力部に展開できること。		
4.2.23.330				・基本料の自動振り分け（一般、労災、歯科等）ができること。		
4.2.23.331				・院外処方箋料と院内処方の同時入力を警告できること。		
4.2.23.332				・院外処方箋料算定時、調基とのチェックが可能なこと。		
4.2.23.333				・手術を入力すると、翌月のレセプト用に手術実施日コメントを自動で作成できること。		
4.2.23.334				・公費のレセプト請求や計算（請求）・必要事項や表示金額が正確にできる事。		
4.2.23.335				・算定の際、入力中に一緒に算定できない項目があった場合は警告が出る等の機能があること。		
4.2.23.336				・加算等算定できる可能性がある項目を、主の項目を入力した際に教えてくれる等の機能があること。		
4.2.23.337				・限度額の計算で4ヶ月目からの減算が自動でできること（一年を通しての内容を加味して）。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
				下記項目を包括算定できること。		
4.2.23.338				・ 特定入院料		
4.2.23.339				・ 特定集中治療室管理料		
4.2.23.340				・ 新生児特定集中治療管理料		
4.2.23.341				・ 救命救急入院料		
4.2.23.342				・ 精神療養病棟入院料		
4.2.23.343				・ 精神科急性期治療病棟入院料		
4.2.23.344				・ 緩和ケア病棟入院料		
4.2.23.345				・ 総合周産期特定集中治療室管理料		
4.2.23.346				・ 特殊疾患病棟入院料		
4.2.23.347				・ 小児入院医療管理料		
4.2.23.348				・ 回復期リハビリテーション病棟入院料		
4.2.23.349				・ 亜急性期入院医療管理料		
4.2.23.350				・ 地域包括ケア病棟入院料		
4.2.23.351				・ 小児科外来診察料		
				下記項目の診療行為を自動置き換えすることができること。		
4.2.23.352				・ 特定薬剤治療管理料（4ヶ月以降）		
4.2.23.353				・ 照会機能ヘルプについて		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.23.354				・ 患者番号照会では、カナ氏名（カナ氏名の一部でも可）、性別、生年月日、第二氏名（旧姓等）、電話番号を検索条件にして、該当患者の患者番号、氏名、性別、生年月日、入院をしている場合は入院病棟の照会ができること。		
4.2.23.355				・ 有効期限切れの保険に対する警告と、その内容照会が行えること。		
4.2.23.356				・ 一部負担金算定歴については、算定金額を表示できること。		
4.2.23.357				・ 算定情報については、入院算定区分および外来算定区分の同時照会が可能なこと。		
4.2.23.358				・ 診療データ入力終了時、自動もしくは指示により、費用照会確認ウィンドウを表示できること。また費用照会確認ウィンドウでは会計請求書に記載されるすべての料金明細が1画面で表示可能なこと。		
4.2.23.359				・ 費用照会の料金明細については、点数表示および患者請求金額表示が可能なこと。		
4.2.23.360				・ 初診日、最終来院日（入力科又はレセプト科と全科での最終来院日）の確認ができること。（退院日の表示）		
4.2.23.361				・ 保険確認受診歴情報はリアルタイムに更新されること。		
4.2.23.362				・ 入院中の診療科については、初期設定され入力が省略できること。		
4.2.23.363				・ 入院日および退院日の表示ができること。現在入院中の科と全科での最終来院日の表示ができること。		
4.2.23.364				・ 診療行為が継続するデータの容易な入力が可能なこと。		
4.2.23.365				・ 継続データは、退院登録時に終了日を自動設定できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.23.366				・会計入力された診療日、科、指定保険および診療データの修正（会計）入力ができること。また、これらのデータはすべて画面展開後、上書きでの修正入力が可能なこと。		
4.2.23.367				・再計算後は、差額分または全額分（新規）の請求書の発行が可能であること。		
4.2.23.368				・適用保険の自動選択処理ができると共に、複数の保険に対する診療データを同一画面上で同時に入力可能なこと。（社保継続、国保の同時入力等）		
4.2.23.369				・適用保険のさかのぼり請求が可能なこと。		
4.2.23.370				・院内／科共通等のセット入力についても、全診療区分対応可能であり、画面呼出し後の自由な追加／修正／削除が可能なこと。		
4.2.23.371				・患者請求書を発行する直前迄、入力中の診療データについて全画面分遡っての修正が可能なこと。		
4.2.23.372				・請求書は保険と保険外を分けて出すことができること。		
4.2.23.373			入院会計	・入院患者に対する全診療行為にわたるオーダ情報実施情報を取込み、入力された診療内容は保険情報を基に点数、料金計算を行えること。		
4.2.23.374				・入院患者に対する全診療内容を、コードまたは略称等で入力していくことが可能なこと。		
4.2.23.375				・入院日の表示ができ、診療行為が継続するデータの容易な入力が可能なこと。		
4.2.23.376				・終了日が未入力の継続データについては、退院登録時、自動的に終了日を設定できること。		
4.2.23.377				・継続データ入力において、間欠(何日おき)入力が可能なこと。		
4.2.23.378				・室料差額、重症者室料特別加算の自動算定及び室料差額の変更ができること。		
4.2.23.379				・入院を繰り返した場合の医学管理料及び入院時負担金の自動算定ができること。		
4.2.23.380				・その他、全て前記外来会計機能に準ずること。		
4.2.23.381				・継続入院患者、退院予定患者に対して、入院料の概算請求書が発行できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.23.382				・注射手技料について、実施タイミングがずれても・設定により一つの手技に纏めることができること。		
4.2.23.383			修正会計	・会計入力イメージをそのまま画面に呼び出しての自由な診療内容の追加／修正／削除が可能なこと。画面上で指定保険等の現入力分の情報が確認可能なこと。		
4.2.23.384				・再計算後の患者請求書は、差額分、全額分のどちらでも作成が可能なこと。		
4.2.23.385				・過去の会計データ検索、修正が可能なこと。また、レセプトまで再処理できること。		
4.2.23.386				・同一日施行したものを一画面で訂正入力できること。		
4.2.23.387		料金計算業務(外来／入院)	各種算定状況照会	・初診料、調剤技術基本料、各種指導料、及び検査判断料等の各種算定状況の照会が可能なこと。		
4.2.23.388			入院基本診療登録	・入院患者に対する基本診療データとして、入院適用保険、外泊、特食、欠食をカレンダー形式で登録／表示可能なこと。		
4.2.23.389				・対象年月の変更により、過去あるいは未来のカレンダー表示も行えること。		
4.2.23.390				・入退院登録画面と同一画面において入力が可能なこと。		
4.2.23.391			退院会計・定期請求	・入院患者に対して、入院データ入力と入院基本診療登録で入力されたデータを基に、診療費の計算を行い患者請求書兼領収書の発行が可能なこと。		
4.2.23.392				・即時処理の退院会計、概算会計及び一括処理の定期請求の機能を有すること。		
4.2.23.393				・退院会計、概算会計では請求書イメージでの画面表示が可能なこと。		
4.2.23.394				・請求済み期間の再計算が行え、差額分または全額分の患者請求書の発行が可能なこと。		
4.2.23.395				・退院会計後、追加診療分の請求書発行も可能なこと。		
4.2.23.396				・入院中の請求書でも追加発行、修正、追加分のみが発行が可能なこと。		
4.2.23.397				・病棟で定期請求、退院前日に概算請求書の発行が可能なこと。		
4.2.23.398				・外来と入院領収書のトレイ別自動印刷ができること。		
4.2.23.399				・診療明細書発行機能追加ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.23.400		入金／未収金 管理業務	収入金管理	・診療会計終了後同時に領収書の発行ができること。		
4.2.23.401				・領収書の再発行ができること。		
4.2.23.402				・料金計算業務で計算された患者への請求金額を基に、未収金の管理が可能なこと。		
4.2.23.403				・一部入金として分納履歴管理が可能なこと。		
4.2.23.404				・患者請求書の再発行、訂正、削除及削除取消機能を有すること。		
4.2.23.405				・未収情報は永久保存とする。		
4.2.23.406				・入金明細一覧、未収金一覧、診察区分別／保険別科別収入日報月報、未納整理簿及び請求書出力一覧表の出力が可能なこと。		
4.2.23.407				・クレジット入金対応(レジ対応)可能なこと。		
4.2.23.408				・患者未収一覧画面は、直近の請求情報から表示できること。		
4.2.23.409				・入金項目別の検索(入金銀行振込委任保留等)ができること。		
4.2.23.410			債権管理	・少なくとも過去5年間の債権管理データが蓄積でき連続的に管理できること。		
4.2.23.411				・債務者の請求書情報が任意の端末で管理できること。		
				下記帳票の情報が、画面表示及び印刷出力及びCSV形式のデータで出力できること。		
4.2.23.412				・未納一覧		
4.2.23.413				・入金患者一覧		
4.2.23.414				・返金患者一覧		
4.2.23.415				・請求患者一覧		
4.2.23.416				・退院請求一覧		
4.2.23.417				・書損患者一覧		
4.2.23.418				・定期請求一覧		
4.2.23.419			診療報酬請求業務(コメント登録)	・レセプトに出力する摘要欄コメントの登録、変更、削除ができること。		
4.2.23.420				・コメント単位に翌月以降にも保存できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.23.421				・適用保険の登録ができること。		
4.2.23.422				・1コメントの文字数は38文字まで登録できること。		
4.2.23.423			診療報酬請求業務(汎用検索)	・指定した点数コードを使用している患者情報を検索できること。		
				端末画面での出力条件として、以下の設定と選択機能を有していること。		
4.2.23.424				・ 検索年月		
4.2.23.425				・ 入院/外来		
4.2.23.426				・端末画面での出力選択機能として、以下の指定ができること。		
4.2.23.427				・次の項目が出力できること。		
4.2.23.428				・診療報酬請求業務(Dファイル、Eファイル/Fファイル、様式1、様式4)		
4.2.23.429				・指定年月のデータ記録(Dファイル/Eファイル/Fファイル/様式1/様式4)の作成ができること。		
4.2.23.430				・Dファイル/Eファイル/Fファイルをタブ区切りのテキスト形式で出力できること。		
4.2.23.431				・Dファイル/Eファイル/Fファイルはレセプト電算マスタで記録されること。		
4.2.23.432				・様式4をタブ区切りのテキスト形式で出力できること。		
4.2.23.433			診療報酬請求業務(症状詳記登録)	・レセプト電算に出力する症状詳記レコードの登録、変更、削除ができること。		
4.2.23.434				・1段落の文字数は1200文字まで登録できること。		
4.2.23.435				・1回の登録で10段落まで登録できること。		
4.2.23.436				・登録する際、半角文字が全角文字に自動変換できること。		
4.2.23.437				・外字チェックを行うことができること。		
4.2.23.438				・既に登録してあるデータを複写し、登録できること。		
4.2.23.439			診療報酬請求業務(会計カードリスト/3号様式/高額日計表)	・患者登録業務で登録された基本情報、保険、病名、コメント及び入院会計業務、外来会計業務で入力された診療内容を編集し、会計カードリストの作成が行えること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.23.440				・ 医科／歯科／労災／公害／自賠に対応できること。		
4.2.23.441				・ 会計入力後、即座にオンライン業務中に出力できること。		
4.2.23.442				・ 入院料の締め処理(退院登録／中間請求／定期請求)を行わなくとも出力できること。(月末日まで入院していると仮定されること)		
4.2.23.443				・ 高額日計表は標準様式であること。		
4.2.23.444				・ 複数端末、複数プリンタでの処理と出力を随時行うことができること。		
4.2.23.445				・ 会計カードリストに0点の行為及び健保外金額の行為も出力できること。		
4.2.23.446				・ 会計カード業務の高額日計表の医科及び、歯科の外来分、入院分を出力できること。		
				端末画面での出力条件として、以下の設定と選択機能を有していること。		
4.2.23.447				・ 診療年月		
				端末画面での出力選択機能として、以下の指定ができること。		
4.2.23.448				・ 診療科、患者番号		
4.2.23.449				・ 退院患者分が随時出力できること。		
4.2.23.450				・ 入退院履歴を最大999履歴まで出力できること。		
4.2.23.451				・ 3号様式は日別に下記の行為別内容に健保内点数／健保内金額／健保外金額が集計できること。		
4.2.23.452				・ 高額日計表の出力対象点数は、任意の点数に変更できること。		
4.2.23.453				・ 会計カード業務にて、当月の包括評価分を出力できること。		
4.2.23.454		診療報酬請求業務	レセプト発行	・ 患者登録業務で登録された基本、保険、病名情報と料金計算(会計)業務で入力された診療内容を編集して、診療報酬明細書(レセプト)及び包括表等の作成が可能なこと。		
4.2.23.455				・ レセプト編集出力チェックの作業負荷分散を図るため、レセプト作成を早期、定期にわけて処理できること。		
				次のレセプトチェック機能を有し、チェック機能は随時追加できること。		
4.2.23.456				・ 保険者番号 抜け		
4.2.23.457				・ 被保険者記号番号 抜け		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.23.458				・公費負担者番号受給者番号 抜け		
4.2.23.459				・病名 抜け		
4.2.23.460				・点滴の回数、実日数 超え		
4.2.23.461				・処方料の回数、実日数 超え		
4.2.23.462				・1回あたりの投与日数、14日 超え		
4.2.23.463				・実日数が0日で診療データが入っている		
4.2.23.464				・初診日と病名開始日の関連チェック		
4.2.23.465				・年齢と適用保険のチェック		
4.2.23.466				・初診患者で当月発生病名の登録もれ		
4.2.23.467				・検査投薬処置手術に関する病名もれ		
4.2.23.468				・初診料を他科で算定した場合、当該科と日付情報が確認可能なこと。		
4.2.23.469			レセプト等出力	・レセプトの保留査定返戻過誤調整再請求等のデータ管理及びそれらを反映させた各種債権管理帳表の出力ができること。		
4.2.23.470		統計処理		・次の統計資料の作成ができること。各種統計表は、統計に必要な期間を任意に設定できること。		
4.2.23.471				・保険別・入外別・科別・病棟別・医師別件数、日数、点数、金額		
4.2.23.472				・入外別・診療項目別・科別・病棟別・医師別・収入、件数		
4.2.23.473				・統計帳票を出力指示しても他の業務は実行できること。		
4.2.23.474				・あるタイミングで取得した統計帳票の数値データを保存することができること。 また、保存に際しては帳票イメージでの保存だけでなく、その数値データの二次利用ができること。		
4.2.23.475				・医事会計システムのデータが業務遂行上、追加削除更新されたことで統計数値データが変動する場合、統計システム側からその理由が調査できる仕組みを有していること。 (3月末時点で取得した3月分の統計情報と、4月末に取得した3月分の統計情報では、業務の遂行上値が変動することがあり得る。この原因を調査することができる仕組みを統計システム側で有していること)		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.23.476				<ul style="list-style-type: none"> ・医事会計システムでの過月修正行為(*1)を含めた最新の情報を利用して、過去の任意のタイミングにおける集計情報をいつでも作成できること。 ・(*1)過月修正行為以下の例示で説明。 3月末時点で医事会計システムで3名の退院処理を実施。 4月に入ってから医事会計システムで3月分の退院処理を1名分実施。 5月や6月に、過去の「3月の退院患者数」を再集計すると最新の4名(4月のヶ月修正行為を踏まえて)として集計が可能。 		
4.2.23.477				<ul style="list-style-type: none"> ・統計システムには、統計数値だけではなく、統計数値を集計する元となる素データを保持していること。また、必要に応じてユーザが素データを利用した新たな検索(集計)ができる仕組みを有していること。 		
4.2.23.478			統計帳票の仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・帳票はすべてExcel処理が可能で、帳票作成時には印刷イメージを画面で確認する機能を有していること。 		
4.2.23.479				<ul style="list-style-type: none"> ・以降に挙げる帳票が作成できる仕組みを有していること。 ・また、各帳票の「集計単位(～別)」、および、「集計期間(日次/月次/年次)」として、以下の集計に対応できること。 		
				<集計単位>集計単位は、以下のとおり		
4.2.23.480				<ul style="list-style-type: none"> ・科別 		
4.2.23.481				<ul style="list-style-type: none"> ・医師別 		
4.2.23.482				<ul style="list-style-type: none"> ・地域別 		
4.2.23.483				<ul style="list-style-type: none"> ・年齢別 ・男女別 		
4.2.23.484				<ul style="list-style-type: none"> ・保険別 		
4.2.23.485				<ul style="list-style-type: none"> ・病棟別 		
4.2.23.486				<ul style="list-style-type: none"> ・診療行為別 		
4.2.23.487				<ul style="list-style-type: none"> ・統計コード別 		
				<集計期間>		
4.2.23.488				<ul style="list-style-type: none"> ・日報取得用の当日のみの集計 		
4.2.23.489				<ul style="list-style-type: none"> ・患者日報について、前日分を翌日に取り込み、印刷だけでなく画面表示もできること。 		
4.2.23.490				<ul style="list-style-type: none"> ・患者日報(外来)外来は科別の新規、再来、合計数がわかること。 		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.23.491				・患者日報(入院)は病棟別、定床、入院、退院、在院患者数、延患者数、利用率、転入、転出数がわかること。		
4.2.23.492				・月報取得用の当月(当月1日から当月末日)の集計		
4.2.23.493				・年報や任意期間での集計をするための指定範囲集計(期間を開始年月日と終了年月日で指定した集計)		
				患者数一覧帳票		
4.2.23.494				・外来患者数		
4.2.23.495				・入院患者数		
4.2.23.496				・年代別外来患者数 ・男女別		
4.2.23.497				・年代別入院患者数 ・男女別		
4.2.23.498				・有料個室使用状況		
4.2.23.499				・重症者室使用状況		
				患者一覧帳票		
4.2.23.500				・新患登録患者一覧		
4.2.23.501				・外来患者一覧		
4.2.23.502				・入院患者一覧		
4.2.23.503				・入退院患者一覧表		
4.2.23.504				・在院患者一覧		
4.2.23.505				・退院患者一覧		
4.2.23.506				・転科転棟患者一覧		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.23.507				・ 有料個室使用患者一覧		
4.2.23.508				・ 重症者室使用患者一覧		
4.2.23.509				・ 指定傷病名患者一覧		
4.2.23.510				・ 保険公費有効期限切れ患者一覧		
4.2.23.511				・ 指定保険公費使用患者一覧		
4.2.23.512				・ 報酬額帳票（診療行為別統計） 月別で診療行為別金額が出せること。		
				稼働統計（大・詳細分類）		
4.2.23.513				・ ・ 入院科別行為別稼働統計（大・詳細分類）		
4.2.23.514				・ ・ 入院病棟別行為別稼働統計（大・詳細分類）		
4.2.23.515				・ ・ 外来科別行為別稼働統計（大・詳細分類）		
4.2.23.516				・ 診療行為点数(外来)		
4.2.23.517				・ 診療報酬請求額（外来）		
4.2.23.518				・ 診療報酬請求額（入院）		
4.2.23.519				・ 診療行為点数(入院)		
4.2.23.520				・ D P C 出来高比較表		
4.2.23.521				・ 診療行為帳票		
4.2.23.522				・ 診療行為件数		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.23.523				・臨床検査件数		
4.2.23.524				・手術件数点数		
4.2.23.525				・麻酔件数点数		
4.2.23.526				・処置件数点数		
4.2.23.527				・放射線件数一覧		
4.2.23.528				・理学療法件数一覧		
4.2.23.529				・レセプト債権、不備返戻、査定減の登録ができること。 またリスト作成ができること。		
4.2.23.530				・出産育児一時金一覧のリスト作成ができること。 (請求書・明細書作成、分娩区分別、加入保険情報、妊婦負担額、代理受領額)		
4.2.23.531				・救急外来受診者のリストが管理・作成できること。 (患者別 (ID,氏名)、年齢別、男女別、救急車別、時間別、医師別、科別)		
4.2.23.532				・点数マスター使用者の一覧が作成、検索できること。		
4.2.23.533				・ギブス、輸血、分娩の件数が作成できること。		
4.2.23.534				・医師別の初再診患者、延診療数、実数、診療点数、診療金額がわかるリストが作成できること。		
4.2.23.535				・外来患者数のリストの作成ができること。 (新患者数、再診数、延数、1日平均、平均通院数、新患者率、実患者数、基本料なし)		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.23.536				・ 労災の患者数のリストが作成できること (外来患者数のリストと同じ内容)		
4.2.23.537				・ 地域別の入院外来患者数のリストが作成できること。		
4.2.23.538				・ 処方投薬状況(処方箋投与情報)統計が作成できること。 (入院分、外来分、科別、処方枚数、調剤件数、剤数、薬剤点数、 院外処方箋件数)		
4.2.23.539				・ 看護必要度の統計がとれること。		
4.2.23.540				・ 薬品使用量		
4.2.23.541				・ 使用高一覧(薬剤、材料、特定器材)		
4.2.23.542			福祉医療	・ 長野県の福祉医療制度に則り、毎月のデータ作成 (CD-Rに取込用の作成) 歯科外来分の処理 子どもの福祉医療については、公費扱		
4.2.23.543				・ 福祉受給対象者のリストを作成できること。		
4.2.23.544				・ システム内において、福祉受給者情報登録、福祉提出情報の編集、 電子作業ができること。		
4.2.23.545		電子レセプト		・ 電子レセプトに対応できること。		
4.2.23.546				・ 電子レセプトの提出前自動チェック判断機能を有すること。		
4.2.23.547				・ 医科入外レセ、歯科入外レセ、労災レセのオンライン請求(国保・基金に 電送する)ためのデータ作成・取込ができること。		
4.2.23.548		現行システムからの移行		・ 現行システムの蓄積データのうち、新システムに移行しなければならないデータの範囲は依頼者側と請負者側の話し合いで決定するものとし、そのデータの移行は請負者側が行うこと。		
4.2.23.549				・ レセプトデータについては、過去に遡って参照または出力できる手段を提供すること。		
4.2.23.550		他システム連携		・ 電子カルテシステム、看護部門システム、診察券発行システム、再来機システムとの連携が密接にできること。		
4.2.23.551				・ 自動精算機連動(クレジット健診等含む)ができること。		
4.2.23.552	診察券発行システム		基本事項	・ 患者単位または科毎に診察券を発行できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.23.553				・ 医事システムから患者情報を取り込み診察券発行できること。		
4.2.23.554			診察券	・ 診察券はエンボスエンコード付とし、印刷面が摩耗により識別できないことがなく耐久性が高いものを使用すること。		
4.2.23.555			機器性能	・ カードの処理スピードは一枚当たり、10秒以内とすること。		
4.2.23.556				・ 診察券表面の内容としては次の項目が印字できること。 患者番号 カナ氏名 性別 生年月日		
4.2.23.557				・ エンコード(磁気スライド部分)に次項目を出力できること。 患者番号 カナ氏名 漢字氏名 生年月日(西暦年、元号) 性別 セキュリティコード (病院任意の英数カナで6文字まで指定可能)		
4.2.23.558			使用対象	・ 医事会計システムの業務(患者登録、入院登録、初診受付、再診受付、診療入力(入/外)、収納業務等)において本業務にて発行したIDカード及びIDカードリーダーによる患者番号の入力ができること。		
4.2.23.559				・ 再来受付機、自動入金機等での受付業務に使用できること。		
4.2.23.560				・ 医事会計システムとの連携が密接にできること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.24	レセプト返戻査定分析システム					
4.2.24.1				・増減点連絡書、返戻内訳書のCSVデータ等を読み込み、査定・返戻金額の集計や項目別の表示・帳票出力・CSV出力ができること。		
4.2.24.2				・上記を社保、国保、入院、外来、DPC、診療科、診療識別、医師、病棟に表示できること。		
4.2.24.3				・上記を時系列に表示できること。		
4.2.24.4				・上記を金額順・箇所数順に表示できること。		
4.2.24.5				・上記から対象レセプトの抽出・印刷ができる。また、増減点連絡書の記載内容を合わせて出力できること。		
4.2.24.6				・査定データ、返戻データ、再審査の内容を手入力により登録でき、各集計結果に反映できること。		
4.2.24.7				・返戻再請求する場合、オンラインシステム(国保・基金への電送)が使えること。		
4.2.24.8				・オンライン請求するためのデータ作成、取込ができること。		
4.2.24.9				・査定率、返戻率を表示・帳票出力・CSV出力できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.25	診察券発行システム					
4.2.25.1		連携		・電子カルテと連携すること		
4.2.25.2				・既存医療機器と連携すること		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.26	再来受付システム					
4.2.26.1		基本機能		・病院情報システム(以下HIS)と再来受付機システムをTCP/IPのLAN接続をし、ソケット通信で接続できること。		
4.2.26.2				・再来患者、および予約患者の受付ができること。		
4.2.26.3		本体概要		・制御装置、表示装置、受付票発行プリンタ、カード読取装置を内蔵した一体型装置であること。		
4.2.26.4				・自然な姿勢にて無理なく操作できる高さであること。		
4.2.26.5				・画面操作部が、車椅子の患者、お年寄りにも配慮してあること。		
4.2.26.6				・設置台には手荷物を置けるスペースがあること。		
4.2.26.7				・表示部分は、15インチ以上のカラー液晶ディスプレイであること。		
4.2.26.8				・入力操作部は、表示と一体となったタッチパネル方式であること。		
4.2.26.9				・操作画面(ディスプレイ)の角度を変更できること。		
4.2.26.10				・筐体色は病院のカラーに合わせ、複数色から選択ができること。		
4.2.26.11				・人感センサーを内蔵し、診察券や受付票の取り忘れを防止することができること。		
4.2.26.12				・カードリーダーは、カードや異物の誤挿入防止シャッターを装備していること。		
4.2.26.13				・電源ON/OFFのタイマーは受付機本体に内蔵していること。		
4.2.26.14				・オプションとして、覗き見防止フィルムやサイドパネルが取付できること。		
4.2.26.15		患者識別機能		・現在発行済みの診察券に対応していること。		
4.2.26.16				・診察券を取り忘れた場合、画面・音声メッセージによるお知らせができること。		
4.2.26.17				・他病院の診察券の受付を制限することができること。		
4.2.26.18		操作画面		・画面上に表示されるボタンは誤操作を防ぐよう大きなものであること。		
4.2.26.19				・待受け画面には診察券のイメージをそのまま表示できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.26.20				・画面操作は、「診療科選択」「行為選択」「医師選択」の3階層から操作ができること。 要望により1階層、2階層と運用に合わせることもできること。		
4.2.26.21				・1画面に表示できる診療科ボタンの数を打ち合わせ時に選択できること。		
4.2.26.22				・併科受診の場合、選択済み項目を灰色表示(表示はされるが選択はできない状態)にすることができること。		
4.2.26.23				・選択できないボタン(予約済み・受付済み・選択済み)の色が項目毎に変更ができること。		
4.2.26.24				・1画面に表示できる診療行為ボタンの数を打ち合わせ時に選択できること。		
4.2.26.25				・1画面に表示できる医師ボタンの数を打ち合わせ時に選択できること。		
4.2.26.26				・1度の操作で最大5科まで受付ができること。		
4.2.26.27				・受付内容表示時に患者氏名の表示の有無を設定できること。		
4.2.26.28				・予約患者に対してはHISより送信される以下の内容で表示・受付ができること。 ・予約情報(予約科、予約項目、予約時間)		
4.2.26.29				・条件により(保険証確認日から換算など)保険証確認メッセージをカード排出画面または、カード挿入時に表示することができ、注意を促すことができること。		
4.2.26.30				・各画面に対して、患者がスムーズに操作ができるよう、各種音声ガイダンスを流すことができること。		
4.2.26.31				・誤った方向での診察券挿入時、磁気読み取り失敗時、診察券以外のカード挿入時にエラーを表示することができること。		
4.2.26.32		受付票出力部		・出力プリンタは、感熱ロール紙方式であること。		
4.2.26.33				・出力プリンタに用紙をセットする際、オートフィード機能により用紙交換が容易に行えること。		
4.2.26.34				・ANK、漢字JIS第一、第二水準の印字ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.26.35				<ul style="list-style-type: none"> ・受付完了後、HISより送信される以下の内容の受付票が出力できること。 また、レイアウトは本院の要望に対応できること。 ・患者ID ・患者氏名 ・受付日時 ・受診科名 ・受診内容 ・医師名 ・診察番号 ・予約時間(予約の場合) ・コメント(150文字以上) ・病院名 ・インフォメーション ・バーコード(受付番号、患者番号) 		
4.2.26.36				<ul style="list-style-type: none"> ・設定により、特定患者の識別が可能なように印字ができること。 		
4.2.26.37				<ul style="list-style-type: none"> ・印字フォントが変更できること。(フォント種類、フォントサイズ等) 		
4.2.26.38				<ul style="list-style-type: none"> ・受付票を取り忘れた場合、画面・音声メッセージによるお知らせが可能なこと。 また、管理PCに通知し、警告表示ができること。 		
4.2.26.39				<ul style="list-style-type: none"> ・用紙残量がなくなった場合、管理PCに通知し、警告表示ができること。 		
4.2.26.40		音声出力部		<ul style="list-style-type: none"> ・音声ガイダンス機能を備えていること。 		
4.2.26.41				<ul style="list-style-type: none"> ・音声は各画面、本院の指定する文言で準備できること。 		
4.2.26.42				<ul style="list-style-type: none"> ・音声ガイダンスは、日本語のほか英語にも対応できること。 		
4.2.26.43		設定機能		<ul style="list-style-type: none"> ・診療科毎に診療行為の設定ができること。 		
4.2.26.44				<ul style="list-style-type: none"> ・時間区分(午前診察/午後診察/夜間診察)の設定ができること。 また当日受付可能な診療科及び診療行為を制御できること。 		
4.2.26.45				<ul style="list-style-type: none"> ・各診療科、各診療行為に対する受付時間の設定ができること。 		
4.2.26.46				<ul style="list-style-type: none"> ・各診療科、各診療行為に対する診療スケジュールの設定が週別、曜日別、時間帯別にできること。 		
4.2.26.47				<ul style="list-style-type: none"> ・保険の期限切れのチェックの設定ができること。 		
4.2.26.48				<ul style="list-style-type: none"> ・最終保険確認日のチェックの設定ができること。 		
4.2.26.49				<ul style="list-style-type: none"> ・最終来院日のチェックの設定ができること。 		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.26.50				・来院履歴の有効期間を任意に設定できること。		
4.2.26.51				・診療科スケジュールや時間設定等の登録項目について効力開始日を任意に設定できること。		
4.2.26.52				・自動再来機での表示ボタンの診療科名を設定できること。		
4.2.26.53				・自動再来機での表示ボタンの診療行為名を設定できること。		
4.2.26.54				・自動再来機の時間外メッセージの設定ができること。		
4.2.26.55				・受付票に印刷するコメントを設定できること。		
4.2.26.56				・受付を中止する診療科を設定でき、自動再来機を再起動せずにリアルタイムに反映できること。		
4.2.26.57				・自動再来機は受付時間を休日、科別、午前午後、診療行為別に設定変更できること。		
4.2.26.58				・臨時休診の設定ができ、自動再来機に即時反映が可能であること。		
4.2.26.59				・各端末の用紙交換状況(印字枚数・平均印字枚数)を制御コントロール側の画面で把握し、大よその交換時期を確認することが可能であること。		
4.2.26.60				・管理PCが無い場合、自動再来機本体で、これらの動作設定ができること。		
4.2.26.61		制御部		・自動再来機の自動起動/終了時刻を設定できること。		
4.2.26.62				・自動再来機の機器毎の動作スケジュール(受付、時間外、予約のみ受付)を設定できること。		
4.2.26.63				・自動受付機の手動起動、手動終了が可能であること。		
4.2.26.64				・自動再来機にて、患者が受付操作を行うことで、受付票に印字される以下の内容をHISに送信できること。 <ul style="list-style-type: none"> ・患者ID ・受付日時 ・患者氏名 ・希望受診科 ・希望受診内容 ・予約情報 		
4.2.26.65				・障害時の原因特定のため、管理PCにて自動再来機の通信記録を管理できること。 また、管理PCが無い場合は、自動再来機本体で管理できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.26.66				・万が一の障害発生時のダウンタイムを最小限に抑えるため、障害時の迅速な診断・処置が可能であるリモートメンテナンスができること。		
4.2.26.67				・自動再来機にエラーが発生した場合、その内容を表示できること。		
4.2.26.68				・自動再来機が複数台ある場合でも管理PCにて一元管理可能であること。 また、管理PCが無くとも、複数の自動再来機本体のうち1台が他の自動受付機を管理できる機能を有し、この管理機能を有する自動再来機本体に障害が発生した場合でも、この機能を他の自動再来受付機に引き継げる機能を有すること。		
4.2.26.69		その他		・再来受付システム導入後、取り扱い方法について教育訓練を行うこと。		
4.2.26.70				・保守は導入後、1年間を無償保守期間とし、6年間は修理対応を保証すること。		
4.2.26.71				・無償保守期間終了後の保守対応は、別途契約とすること。		
4.2.26.72				・設置場所は機器の設置に配慮した本院の指定場所とすること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.27	外来案内表示システム、会計案内表示システム					
4.2.27.1		外来案内表示システム	基本機能	・ HIS(以下HIS)と診察番号表示システムをTCP/IPのLAN接続をし、ソケット通信で接続できること。		
4.2.27.2			大型ディスプレイ	・ 画面サイズは43型以上であること。		
4.2.27.3				・ 画素数は、1920×1080ドット以上であること。		
4.2.27.4				・ スピーカーの実用最大出力は、7W+7W以上であること。		
4.2.27.5				・ 表示色は10.6億色以上であること。		
4.2.27.6				・ 業務用ディスプレイであること。		
4.2.27.7				・ 視野角は上下、左右178であること。		
4.2.27.8				・ 外形寸法は幅965mm以下とすること。		
4.2.27.9			大型液晶ディスプレイ制御装置	・ OSはWindows10相当以上であること。		
4.2.27.10				・ CPUはインテル® Celeron™G3900Tプロセッサ(2.6GHz)相当以上であること。		
4.2.27.11				・ メモリは4GB以上であること。		
4.2.27.12				・ ハードディスクの記憶容量は、物理容量500GB以上であること。		
4.2.27.13				・ ネットワークは、1000/100BASE-TX及び10BASE-Tのそれぞれに対応し、自動認識するEthernetインターフェースを1ポート以上有すること。		
4.2.27.14				・ 音声出力できる機能を有すること。		
4.2.27.15				・ 液晶ディスプレイの背面に設置可能な構造とし、制御装置の奥行寸法を取り付けてもモニター寸法は変わらないこと。		
4.2.27.16			小型液晶ディスプレイ	・ 画面サイズは対角15インチ以上の液晶ディスプレイであること。		
4.2.27.17				・ 画素数は、1920×1080ドット以上であること。		
4.2.27.18				・ 表示色は1677万色以上であること。		
4.2.27.19				・ スピーカーの実用最大出力は、1W+1W以上であること。		
4.2.27.20			小型液晶ディスプレイ制御装置	・ OSはWindows10相当であること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.27.21				・CPUはインテル® Celeron™G3900Tプロセッサ(2.6GHz)相当以上であること。		
4.2.27.22				・メモリは4GB以上であること。		
4.2.27.23				・ハードディスクの記憶容量は、物理容量500GB以上であること。		
4.2.27.24				・ネットワークは、1000/100BASE-TX及び10BASE-Tのそれぞれに対応し、自動認識するEthernetインターフェースを1ポート以上有すること。		
4.2.27.25				・音声出力できる機能を有すること。		
4.2.27.26			患者案内システムサーバ	・OSはWindows2012Server相当であること。		
4.2.27.27				・メモリは2GB以上であること。		
4.2.27.28				・ハードディスクはRAID1の構成で、記憶容量は物理容量70GB以上であること。24時間稼動に耐える仕様のものであること。		
4.2.27.29				・ネットワークは、1000BASE-T/100BASE-TX及び10BASE-Tのそれぞれに対応し、自動認識するEthernetインターフェースを1ポート以上有すること。		
4.2.27.30				・停電時、サーバに5分以上電源供給する無停電電源装置を装備し、サーバのOSを自動的にシャットダウンする機能を有すること。		
4.2.27.31				・HISと連携し、システムの運用を行い、各制御装置に連携する機能を有すること。		
4.2.27.32			システムソフトウェア	・受付ブロック内の診察室誘導患者情報を表示する機能を有すること。		
				表示項目は以下のとおりとする。		
4.2.27.33				・ ①診察室名		
4.2.27.34				・ ②担当医師名		
4.2.27.35				・ ③呼び込み患者の受付番号		
4.2.27.36				・ ④呼び込み予告患者の受付番号		
4.2.27.37				・ ⑤現在時刻		
4.2.27.38				・ ⑥テロップインフォメーション		
4.2.27.39				・受付番号は診療科毎に表示する機能を有すること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.27.40				・表示内容更新時には、呼び込み患者の受付番号を点滅表示させ、チャイム音または、「〇〇番の方お入りください」等の音声案内ができること。		
4.2.27.41				・番号が更新される際に鳴る呼出し音はON/OFFが選択できること。		
4.2.27.42				・診察中番号が更新された時にポップアップ表示として数秒間表示されること。		
4.2.27.43				・ディスプレイの表示する診療科・診察室の割り当てはマスター化できる機能を有すること。		
4.2.27.44				・担当医師が変更になった場合、HISと連動して診療科・診察室の変更・表示ができる機能を有すること。		
4.2.27.45				・担当医師が変更になった場合、表示システム側で診療科・診察室の変更・表示ができる機能を有すること。		
4.2.27.46				・当日診察室が変更になった場合、HISと連動して、診察室の変更・表示ができる機能を有すること。		
4.2.27.47				・当日診察室が変更になった場合、HISと連動なく、表示システム側で診察室の変更・表示ができる機能を有すること。		
4.2.27.48				・ディスプレイの表示デザインレイアウトは、外来棟の案内サインと連動させること。		
4.2.27.49				・医師が各診察室で電子カルテにログインするまでは、マスタ管理されている各診察室の担当医情報をもとに案内表示を行うこと。		
4.2.27.50				・テロップインフォメーション機能として、以下の要件を満たすこと。		
4.2.27.51				・テロップインフォメーションはサーバで入力し、院内共通テロップインフォメーションと、個別のブロックでのテロップインフォメーションの両方が表示できる機能を有すること。		
4.2.27.52				・テロップインフォメーションは、1000件以上登録できる機能を有すること。		
4.2.27.53				・テロップインフォメーションは、事前登録したテロップメッセージをディスプレイ毎に表示/非表示を任意に選択できる機能を有すること。		
4.2.27.54				・テロップの有効期限を設定できること。(指定日以降はテロップを流さないことができること)		
4.2.27.55				・テロップの流れるスピードは大型液晶ディスプレイについて、個別に設定できる機能を有すること。		
4.2.27.56				・テロップ表示スケジュール機能を有し、時間毎の設定ができる機能を有すること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.27.57				・インフォメーション画面表示機能として、以下の要件を満たすこと。		
4.2.27.58				・自由に入力できるインフォメーション画面を設定できること。		
4.2.27.59				・任意に設定した画面イメージを表示できる機能を有すること。		
4.2.27.60				・表示する画像イメージはBMP、JPG、GIF形式で登録できる機能を有すること。		
4.2.27.61				・動画を表示する機能を有すること。		
4.2.27.62				・緊急時の一斉表示ができる機能を有すること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.27.63				・管理機能として、以下の要件を満たすこと。		
4.2.27.64				・カレンダー機能を有し、外来休診日は起動しないことができる機能を有すること。		
4.2.27.65				・本院が指定する日を自由に休日とすることができる機能を有すること。		
4.2.27.66				・診察案内表示画面、インフォメーション画面、お知らせ画面の表示スケジュールは各大型ディスプレイについて、個別に且つ曜日毎に設定ができるスケジュール機能を有すること。		
4.2.27.67				・障害時の原因特定のため、管理コントローラにて診察番号表示の通信記録を管理できること。		
4.2.27.68				・各ディスプレイについて、電源ON/OFF管理をスケジュール設定通り、あるいは任意に制御する機能を有すること。また、その状況をモニタリングによる監視を行う機能を有すること。設定用端末から手動により全端末一斉、もしくは個別に電源ON/OFFができる機能を有すること。		
4.2.27.69				・万が一の障害発生時のダウンタイムを最小限に抑えるため、障害時の迅速な診断・処置が可能であるリモートメンテナンスができること。		
4.2.27.70				・各診察室の担当医割当て情報は、週単位でマスタ管理できること。		
				HISと以下の情報の連携ができること。		
4.2.27.71				・ 当日の患者受付情報		
4.2.27.72				・ 新患担当医情報		
4.2.27.73				・ 当日担当医変更情報		
4.2.27.74				・ 患者診療開始情報		
4.2.27.75				・ 患者診療中断情報		
4.2.27.76				・ 患者診療終了情報		
4.2.27.77				・ 患者会計終了情報		
4.2.27.78				・ (ただし、HISより情報が送信されることを条件とする)		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.28	POS・自動精算機					
4.2.28.1		連携		・電子カルテと連携すること		
4.2.28.2				・既存医療機器と連携すること		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.29	DPCコーディングシステム					
4.2.29.1			基本機能	・患者基本情報、入院情報、病名情報、医事算定情報(EFファイル)を上位システムから自動取得・変更できること。		
4.2.29.2				・入院歴は、入院決定、入院確認、転科、退院予定、退院確認の各ステータスで管理できる事。これらは上位システムから自動取得・変更できること。また、主治医、担当医を取得できること。		
4.2.29.3				・DPC決定業務は、管理者のみで精査・決定ができること。		
4.2.29.4				・医事算定情報等を使用し、仮決定されているDPC情報と実際の診療行為の差異を検出できること。		
4.2.29.5				・DPCの決定状況は、管理者の決定ステータスで管理できること。		
4.2.29.6				・DPC決定ステータスは、様式1対象になること。		
4.2.29.7				・管理者がログインした時点で、未決定、要確認等、決定・確認が必要な患者リストが自動表示されること。		
4.2.29.8				・入院患者は、DPCステータスや入院状態等により柔軟に検索でき、一覧表示できること。		
4.2.29.9				・職種に応じ、入力項目・画面の制御(非表示、更新可等)ができること。		
4.2.29.10				・DPC診断群分類の変更履歴は管理でき、容易に参照できること。		
4.2.29.11				・現時点における各入院期間情報(日数・点数・残日数など)を電子カルテ上へ表示できること。		
4.2.29.12				・データ提出のための形式チェックと同等のエラーチェックができること。		
4.2.29.13			病名情報	・患者に付与されている病名を上位システムから表示・入力できること。		
4.2.29.14				・病名は、上位システムからの選択、病名マスターからの選択、診療科ごとの病名セットから選択、当該患者の過去DPCからの付与ができること。		
4.2.29.15				・病名は、修飾語、本体を分けて登録できること。また各々レセ電算コードを設定できること。		
4.2.29.16				・副傷病となりうる病名がわかるように表示できること。		
4.2.29.17				・最も医療資源を投入した病名を決定する際、ダブルコードがある場合は明示的にICD10を表示させる事ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.29.18				・DPC画面上の登録病名を変更する場合は、候補病名を表示できること。		
4.2.29.19				・副傷病となりうるICD10コードから傷病名を検索できること。		
4.2.29.20			手術・処置情報	・DPC定義に基づいた手術情報を表示し、そこから選択可能とすること。選択漏れを防ぐため、表示する手術等はツリー図ではなく定義表から表示すること。		
4.2.29.21				・DPC、様式1、手術、処置の実績情報等を変更する場合は、変更履歴を管理・参照できること。		
4.2.29.22				・医事算定されている手術、処置等は自動でDPCデータに反映させること。		
4.2.29.23			DPCコーディング	・厚生労働省提示のDPC定義表の手術、手術・処置等、副傷病、重症度を、傷病名をもとに絞り込み表示できる事。また、選択入力できること。		
4.2.29.24				・病名別にDPCコードをグラフで一覧比較することが可能であること。診療行為情報(手術・処置)から診断群分類の検索が可能であること。		
4.2.29.25				・1患者ごとにDPC決定履歴を参照できること。		
4.2.29.26				・出来高と包括時の診療報酬点数が比較できること。		
4.2.29.27				・医事会計システムに連携した内容は、必要に応じ帳票出力できること。		
4.2.29.28				・医事会計システムへは、医事会計システムの要求するレイアウト、更新方法をもって連携できること。		
4.2.29.29				・DPCコーディングの適正検証のために、入院期間の条件で容易に検証対象患者を検索できること。		
4.2.29.30				・登録済みの傷病名・手術を基に、設定可能なDPCコードを一覧表示・印刷できること。		
4.2.29.31				・入力した全データおよび、DPCコードを印字できること。		
4.2.29.32				・点検用として連絡票が作成できること。		
4.2.29.33				・樹形図が参照できること。		
4.2.29.34			DPCコードチェック	・入力したDPCコーディングに関わる項目と、DPCコード間の不整合をチェックできること。		

【佐久市国保浅間総合病院】要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.29.35				・診療行為情報と、DPCコーディングに関わる項目間の不整合をチェックできること。		
4.2.29.36				・現時点における各入院期間(2SDまでの日数など)の残日数を表示できること。		
4.2.29.37			DPCLレセプト	・DPCコーディングに必要なデータ(様式1データ、DPC定義表中のデータ)、およびDPCコーディング結果を医事会計システム等と連動できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.31	DWH					
			全般	以下の機能で構成すること。		
4.2.31.1				・ 新着情報		
4.2.31.2				・ 全文検索		
4.2.31.3				・ データ抽出		
4.2.31.4				・ データ分析		
4.2.31.5				・ システム設定		
4.2.31.6				・ 管理者向けツール		
4.2.31.7				・ DWHのテーブル設計仕様は院内での利用を条件に開示すること。		
4.2.31.8				・ DWHのテーブル設計は、特定のベンダーに依存しない形で、データ形式、格納場所とも、院内システムと独立したシステムとして設計されていること。		
4.2.31.9				・ DWHに格納されたデータは専用アプリを利用しなくてもデータそのものが可視化されており、災害時などにも参照できるよう設計されていること。		
4.2.31.10				・ 部門システムを追加した際に、病院側でテーブルやカラムの追加が行えること。		
4.2.31.11				・ ユーザー、グループ単位に参照可能院内システムの選別(テーブル単位でアクセス権の指定)ができること。		
4.2.31.12				・ 個人情報を扱うテーブルは一つのテーブルに集約し、個人情報を扱うテーブルにアクセスできるユーザー、グループを選別できること。		
4.2.31.13				・ 経営指標だけでなく、臨床研究、臨床指標など様々な目的への利用を想定した、院内システムの二次利用基盤として構築できること。		
4.2.31.14				・ 院内で問題点を共有するための、作成、分析したデータを院内で共有できる仕組みを有すること。		
4.2.31.15				・ 自院の経営指標を、DPCの公開データと比較分析できる仕組みを有すること。		
4.2.31.16				・ 標準で30個以上のテンプレートが準備されていること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.31.17				・テンプレートは院内で作成できること。		
4.2.31.18				・Webアプリケーションとして動作し、クライアントPCにはアプリケーションのインストールは不要であること。		
4.2.31.19				・ライセンスは病床数単位であり、利用者の増加で追加購入の必要はないこと。		
4.2.31.20				・高速性を念頭に設計した構造／システムであること。		
4.2.31.21			データウェアハウ ス管理	・電子カルテ、オーダー、レセプト、DPC、検査、看護 など 院内システムのデータを蓄積できること。		
4.2.31.22				・ユーザー登録、グループ登録を一括して行うツールを有すること。		
4.2.31.23				・ユーザーの追加は、スケジュール実行により 電子カルテへのユーザー追加と同じタイミングで行うことができること。		
4.2.31.24				・テーブルやビューの追加、編集を行うツールを有すること。		
4.2.31.25				・抽出、分析したデータをインポート、エクスポートするツールを有すること。		
4.2.31.26				・病名、医薬品などのマスターを登録、更新するツールを有すること。		
4.2.31.27				・マスターの更新はスケジュール実行により、電子カルテのマスター更新と同じタイミングで行うことができること。		
4.2.31.28				・院内専用の類義語辞書を作成するツールを有すること。		
4.2.31.29				・システムエラー発生時は管理者側にメール通知を行う機能を有すること。		
4.2.31.30				・ETL構築向けに GSVファイルからDWHへ登録するツール(CSVローダー)を準備していること。		
4.2.31.31				・Office文書(Word,Excel)やPDF(サーチャブルPDF)から文章を取り出し、全文検索の対象として格納できるツールを準備していること。		
4.2.31.32				・本DWHで抽出した結果をダイレクトにBIツール(データ分析)に送り、抽出分析を連携させて行うことができること。		
4.2.31.33				・管理者、抽出分析者、一般のロールを設定でき、ロールごとに利用できる機能が限定されていること。		
4.2.31.34				・一定時間操作がない場合に、自動的にログアウトする機能を有すること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.31.35				・カルテに登録されたIDとは異なるDWH内の患者IDを付与することができ、DWHで抽出した患者IDから電子カルテなどの院内システムの患者を特定できないような仕組みがあること。		
4.2.31.36				・アクセスログを確認することで、ユーザーのログイン、利用した機能などを確認することができること。		
4.2.31.37			新着情報	・新たに参照可能となったデータ(抽出結果、ダッシュボード)を一覧で確認できること。		
4.2.31.38				・スケジュール実行などで更新されたデータ(抽出結果、ダッシュボード)を一覧で確認できること。		
4.2.31.39			全文検索	・DWHに蓄積された非定型データを対象に、全文検索を行う機能を有すること。		
4.2.31.40				・全文検索の対象となるテーブル、カラムは管理者側で設定できること。		
4.2.31.41				・複数のシステムを対象に串刺し検索でいること。		
4.2.31.42				・検索対象のシステムは、利用者側で選択できること。		
4.2.31.43				・検索対象のシステムを選択する際には、利用者の参照可能なテーブルのみが一覧されること。		
4.2.31.44				・アルファベットの全角/半角、ひらがな/カタカナなどの表記揺れを吸収した検索ができること。		
4.2.31.45				・検索キーワードに対する類義語を提示できること。		
4.2.31.46				・提示した類義語を含めて検索を行えること。		
4.2.31.47				・複数の検索キーワードを設定して検索できること。		
4.2.31.48				・複数の検索キーワードは、AND、OR、NOT の指定ができること。		
4.2.31.49				・検索キーワードは記憶でき、再ログイン後、別の端末でログインした場合でも記憶した検索キーワードで再検索できること。		
4.2.31.50				・検索結果を 期間、診療科・部署、データソース(テーブル)で絞り込みができること。		
4.2.31.51				・期間や日付を指定して検索を実行できること。		
4.2.31.52			データ抽出	・GUIによる 抽出条件設定ができ、医療やDBの知識が少なくても目的の抽出が行えること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.31.53				・電子カルテと手術システム、電子カルテとレセプトと処方 など、異なる複数のシステムを組み合わせた抽出が行えること。		
4.2.31.54				・AND、ORで複数の抽出条件が設定できること。		
4.2.31.55				・(A and B) or (C and D)のような抽出条件の設定ができること。		
4.2.31.56				・抽出条件に”未設定”を指定できること。		
4.2.31.57				・検査結果などは”最新のデータ”を取得 の指定ができること。		
4.2.31.58				・抽出対象のテーブルを選択する際には、プレビュー画面で内容の確認ができること。		
				数値データの抽出条件指定。		
4.2.31.59				・ 等しい、等しくない、以上、以下、より大きい、より小さい		
4.2.31.60				・ 範囲内、範囲外		
				日付形式データの抽出条件指定。		
4.2.31.61				・ 指定日、指定日以前、指定日以降		
4.2.31.62				・ 期間内、期間外		
4.2.31.63				・ 経過日数		
4.2.31.64				・ 本日、翌日、昨日、今週、翌週、来週、今月、来月、翌月		
4.2.31.65				・ 本年、前年、昨年		
4.2.31.66				・日付形式の条件には、別テーブル／カラムからの相対日数を指定できること。		
				文字列データの抽出条件指定。		
4.2.31.67				・ 直接入力、選択型、実データ参照、マスター参照		
4.2.31.68				・ 完全一致、部分一致、前方一致、末尾一致		
4.2.31.69				・ 含まない、未設定		
4.2.31.70				・文字列検索において、類義語選択を行うカラムを設定できること。		
4.2.31.71				・抽出条件に利用するテーブルやカラムを、テーブル名、カラム名に対する部分一致で検索できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.31.72				・出力結果の項目並び順は、ユーザー操作で任意に指定できること。		
4.2.31.73				・出力結果の項目ごとに昇順／降順の並び替えを指定できること。		
4.2.31.74				・出力結果の項目ごとに集計(グループ化、最大、最小、個数)の指定ができること。		
4.2.31.75				・出力結果をそのままBIツール(データ分析)に送ることができること。		
4.2.31.76				・出力結果を CSV、XLSXエクスポートできること。		
4.2.31.77				・GUIでの抽出条件をSQL文で確認できること。		
4.2.31.78				・GUIでなく、直接SQL文を指定して抽出を行えること。		
4.2.31.79				・直接SQL文を指定する抽出は、管理者のみが行えること。		
4.2.31.80				・抽出条件と出力結果はセットで名前をつけて保存できること。		
4.2.31.81				・保存した抽出条件と出力結果は、公開／非公開を選択でき、公開することで別の利用者にも編集権、参照権を与えることができること。		
4.2.31.82				・利用者毎のエクスポートの実行可否を、出力結果単位で設定できること。		
4.2.31.83				・抽出条件を「テンプレートとして保存」できること。		
4.2.31.84				・抽出条件のテンプレートは、公開／非公開を選択でき、公開することで院内共通のテンプレートとして利用できること。		
4.2.31.85				・保存した抽出条件をスケジュール実行 できること。		
4.2.31.86				・GUIでRDBのビューを作成し、ビューの条件を編集できること。		
4.2.31.87				・GUIで作成したビューを、他の抽出条件から利用できること。		
4.2.31.88			データ分析	・専用のBIツールを搭載すること。		
4.2.31.89				・データ抽出で抽出した結果をダイレクトにデータ分析を行えること。		
4.2.31.90				・データ抽出の出力結果以外に、CSVファイルやRDBからデータを取り込み、分析を行うことができること。		
4.2.31.91				・ピボットテーブル編集、チャート(グラフ作成)ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
				利用できるチャートには以下の種類があること。		
4.2.31.92				・ 折線グラフ: 折線、多軸折線		
4.2.31.93				・ 縦棒グラフ: 縦棒、積み上げ縦棒、100%積み上げ縦棒、判別グラフ(縦)		
4.2.31.94				・ 横棒グラフ: 横棒、積み上げ横棒、100%積み上げ横棒、判別グラフ(横)		
4.2.31.95				・ 面グラフ : 積み上げ面、100%積み上げ面		
4.2.31.96				・ 散布図 : 散布図、バブル		
4.2.31.97				・ レーダー		
4.2.31.98				・ 円		
4.2.31.99				・ ゲージ : ゲージ、パレットグラフ(縦)、パレットグラフ(横)		
4.2.31.100				・ 複合 : 縦棒、積み上げ縦棒、100%積み上げ縦棒、複合マーカー		
4.2.31.101				・ 地図パネル		
4.2.31.102				・ 地図パネル機能において、インターネット非接続環境でも地図を表示できること。		
4.2.31.103				・ 分析のための複数の帳票、グラフをまとめた、ダッシュボードを作成できること。		
				ダッシュボードでの分析操作では、以下の操作を行うことができること。		
4.2.31.104				・ 集計表のソート		
4.2.31.105				・ 帳票 ↔ チャート のクイック切り替え		
4.2.31.106				・ チャート種類のクイック切り替え		
4.2.31.107				・ ロールアップ、ドリルダウン		
4.2.31.108				・ 絞り込み		
4.2.31.109				・ クイックフィルター		
4.2.31.110				・ 検索フィルター		
4.2.31.111				・ 日付範囲フィルター		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.31.112				・ 基準日の切り替え		
4.2.31.113				・ フィルターとチャートの連動ON/OFF		
4.2.31.114				・ 明細表示		
4.2.31.115				・ 内訳表示		
4.2.31.116				・ 行、列の入れ替え		
4.2.31.117				・ xlsx、csvエクスポート		
4.2.31.118				・ チャート図をPNGファイルにエクスポート		
4.2.31.119				・ ダッシュボードを xlsx 形式にエクスポートできること。		
4.2.31.120				・ ダッシュボードを印刷することができること。		
4.2.31.121				・ ダッシュボードを任意の名前をつけて保存できること。		
4.2.31.122				・ 保存したダッシュボードは公開／非公開を選択でき、他の利用者に公開し、共有することができること。		
4.2.31.123				・ 保存したダッシュボード テンプレートを公開し、院内で共有することができること。		
4.2.31.124				・ ダッシュボードを分析して得られた”気づき”をレポート(アクションレポート)としてまとめることができること。		
4.2.31.125				・ 作成したアクションレポートは公開／非公開の選択ができ、院内の利用者に公開することで、”気づき”を院内で共有し、改善などに役立てることができること。		
4.2.31.126				・ アクションレポートではダッシュボードに対して、サマリーを記載したり、注目ポイントの明示ができること。		
4.2.31.127				・ 利用者毎の印刷・エクスポートの実行可否を、ダッシュボード単位、アクションレポート単位で設定できること。		
4.2.31.128				・ ダッシュボードのチャートを院内ポータルなどの院内Webページに埋め込むことで、JUST DWHを操作しなくても参照、共有できること。		
4.2.31.129				・ ダッシュボードの更新はスケジュール実行できること。		
4.2.31.130				・ ダッシュボード更新のスケジュール実行の際に、対応する データ抽出の実行完了後、ダッシュボードの更新を実行 と連動させての指定ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.31.131				・ダッシュボードの集計結果が特定条件を満たした場合に、グループメンバーやユーザーにアラートメールを送信できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.32	健康管理システム					
4.2.32.1		共通	ログオン	・職員コード、パスワードによるログインができること。		
4.2.32.2				・各画面にログオンした職員の氏名が表示できること。		
4.2.32.3		メニュー作成	検診メニュー作成	・1日ドック、宿泊ドック、専門ドック、検診(婦人科検診等)の検診メニュー、当日スケジュールの標準プランの作成、修正ができること。必要に応じて出力できること。		
4.2.32.4				・コース内容の変更・コース追加ができること。		
4.2.32.5			検診者登録	・医事システムから診療券を発行でき患者属性は電子カルテと共用のIDとすること。		
4.2.32.6				・登録済み受診者に対しては、診療券またはID番号、氏名、生年月日、電話番号、所属団体、保険証情報等で検索できること。		
4.2.32.7				・生年月日は、和暦・西暦どちらでも検索できるように切り替えられること。		
4.2.32.8			検診予約	・検診希望者に対し、日付、時間帯を指定した予約が行え、午前・午後の区別ができること。		
4.2.32.9				・予約時にコースや企業ごとの契約に応じた検診内容(検査項目)利用金額の表示ができ、必要に応じて出力できること。		
4.2.32.10				・内税・外税の設定および税率変更が適宜できること。		
4.2.32.11				・1年に複数回健診を受ける方で、受ける内容によって所属や請求先が異なる場合、内容ごとに所属や請求先が自動で変わること。		
4.2.32.12				・受付毎に所属団体を手動で変更することで、請求先も変更されること。(例:市職・夜勤者)		
4.2.32.13				・複数の契約先の健診を同日に実施する場合、契約先ごとに分けて受付ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.32.14				・本人宛のものはその日実施したものがすべて契約先ごとに分けた受付単位にまとめられ、契約先ごとに提出するもの(結果票、データ、請求等)は、その契約先ごとに作成できること。		
4.2.32.15				・検診予約者に対し、質問票、申込書等を出力できること。		
4.2.32.16		入力	検診受付	・当日、検診受診者の受付登録を行えること。		
4.2.32.17				・登録と同時に受付票の出力有無が選択でき、必要な者には受付票が出力できること。		
4.2.32.18				・予約登録者は、予約番号もしくはIDの入力により入力済み内容を表示すること。		
4.2.32.19				・再診者では、氏名生年月日等による検索ができること。		
4.2.32.20				・受付時、個人の検査実施対象項目を管理できること。		
4.2.32.21				・検診での発生料金(金額)を負担先毎に表示認定できること。		
4.2.32.22			未受診者管理	・予約済みでありながら、当日受付していない受診者をピックアップし、未受診者一覧表として出力できること。		
4.2.32.23			実施入力	・各関連システム機器とオンラインでデータが取込めること。 (検体検査、身体計測、肺機能等)		
4.2.32.24				・オフラインについては、結果を手入力できること。		
4.2.32.25				・バーコードで個人呼び出しができること。		
4.2.32.26				・受診者検索画面の個人番号欄でバーコード読み取りを行い、リストアップされたデータから入力画面が起動できること。		
4.2.32.27		医師支援	データ入力	・受診者別データ入力所属団体別データ入力項目別データ入力の3種類の入力方法が選択できること。		
4.2.32.28				・データタイプは、数値形式定性形式(非数値)メッセージフリーコメント等の扱いが可能であり、数値フリーコメントの混在もできること。		
4.2.32.29				・データ入力において入力した各種検査結果を元に、標準体重肥満度の諸数値を算出できること。		
4.2.32.30			成績表作成	・入力各種検査結果を編集し、成績表を作成できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.32.31				・出力内容を、全部・請求先宛・所属先宛等で選択できること。		
4.2.32.32			要精検者管理	・要精検者を判定された受診者をピックアップし、要精検者一覧表を作成できること。 返書結果が入力でき、未受診者の一覧が作成できること。 一覧は、所属やコース等での絞り込みができること。		
4.2.32.33			検査結果表示	・入力各種検査結果を編集し、今回と過去の比較形式で表示できること。		
4.2.32.34				・数値検査結果をグラフ表示できること。		
4.2.32.35			判定支援	・医師の判定論理を予めシステムに登録することにより、判定支援機能として各種項目ごとの仮判定を行えること。		
4.2.32.36				・また、判定論理はメンテナンスにより修正登録ができること。		
4.2.32.37				・検査結果ごとに境界値を設定できること。		
4.2.32.38				・判定により、医師の指示(コメント)が自動で出ること。		
4.2.32.39				・判定は手動で変更できること。		
4.2.32.40			統計	・任意の条件に従い、検診結果を表計算等の市販のパッケージソフトに抽出出力できること。		
4.2.32.41				・次の抽出条件を設定できること。 ・年齢		
4.2.32.42				・性別		
4.2.32.43				・判定		
4.2.32.44				・読影所見		
4.2.32.45				・検査結果等		
4.2.32.46				・任意の項目の数値		
4.2.32.47				・コース		
4.2.32.48				・検診日		
4.2.32.49				・所属団体		
4.2.32.50				・再検査返書判定		
4.2.32.51				・再検査受診先		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.32.52				・ 所属団体、コース等を指定して、労基署、保健所、厚労省、健保等、各種提出書類が作成できること。		
4.2.32.53				・ 受診者情報および実施したすべての検査結果、問診等のXMLデータ、CSVデータが作成できること。		
4.2.32.54				・ 複数の契約先の健診を同日に実施した場合は、契約先ごとに分けた受付単位に必要な項目で作成できること。		
4.2.32.55		請求業務	請求書発行	・ 健康保険組合等との契約内容(金額)に従い、受診者毎の利用金額を集計し、負担先毎にまとめて請求書請求明細書を発行できること。		
4.2.32.56				・ 項目別の請求書が発行できること。		
4.2.32.57				・ 請求金額の一覧表を作成できること。		
4.2.32.58		業務進捗管理	工程管理	・ 受診者/団体/契約別に納品物や各業務の進捗状況(遅れ/発送済み/未発送等)を把握ができること。		
4.2.32.59				・ 指定した期日または当日に実施しなければならない工程を確認できること。		
4.2.32.60				・ 各工程毎の状態をアイコンで表示できること。		
4.2.32.61				・ 工程管理の設定条件をマスタで設定できること。		
4.2.32.62				・ 成績表の発送状況を一覧で確認できること。		
4.2.32.63		他システム連携	検査依頼オーダー連携	・ 電子カルテシステムと検査依頼オーダーの連携ができること。		
4.2.32.64				・ 連携するオーダー種は、検体検査オーダー、画像生理オーダー、病理オーダーとすること。		
4.2.32.65				・ 各検査部門でも、午前・午後実施者の区別がつくこと。		
4.2.32.66			検査結果情報連携	・ 電子カルテシステムと検体検査結果情報の連携（自動取り込み）ができること。		
4.2.32.67			検査予約枠連携	・ 電子カルテシステムと検査予約枠情報の連携ができること。 (空き枠情報の取得、健診システムからの検査予約登録)		
4.2.32.68			電子カルテ起動	・ 健診システムから電子カルテシステムを起動でき、その際ログイン情報や受診者ID(患者ID)を引き継げること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.32.69			医事システム側 患者マスタ検索	・健診システム側から医事システム側の患者マスタを直接検索することができること。		
4.2.32.70			医事属性双方向 連携	・医事システムから患者属性情報の取得ができること。		
4.2.32.71				・また、健診システムから医事システムへ患者属性の修正、新患登録ができること。		
4.2.32.72		共通	共通	・画面サイズはWXGA/HD/HD+/フルHD/SXGAの各サイズに対応でき、パソコン画面サイズに合わせて、システム画面を表示できること。		
4.2.32.73				・プレビュー画面で倍率の変更でき、用紙のサイズに関わらず、初期表示はすべて100%で出ること。(Excel帳票は除く)		
4.2.32.74				・入力必須項目が画面上で分かること。		
4.2.32.75				・入力最大文字数が画面上で分かること。		
4.2.32.76				・ファンクションキーによるショートカット操作が可能であり、ファンクションキーの割当キーが画面に表示されること。		
4.2.32.77				・各業務から、ヘルプ画面が呼び出せること。		
4.2.32.78				・受診者、団体単位でメモ作成ができ、そのメモがすべての画面で確認できるようにすること。		
4.2.32.79				・同姓同名の受診者がいた場合、同姓同名者が一目で判別できる機能があること。		
4.2.32.80				・各種一覧画面(受診者一覧、団体一覧、予約者一覧、受付者一覧、入力対象者一覧、未請求一覧、未収一覧、請求一覧、団体別予約枠一覧)で、表示順の指定ができること。		
4.2.32.81				・表示対象の絞り込み(時間帯、所属、コース等)ができること。		
4.2.32.82				・表示不要の項目を指定することで、必要な項目の表示ができること。		
4.2.32.83				・各種一覧画面(受診者一覧、団体一覧、予約者一覧、受付者一覧、入力対象者一覧、未請求一覧、未収一覧、請求一覧)は、一覧画面上より簡単な操作でExcel出力ができ、運用帳票として活用できること。		
4.2.32.84		セキュリティ	セキュリティ	・操作ログとして下記情報が記録でき、画面にて確認できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.32.85				・全データの新規登録、変更、削除、参照の操作ログ		
4.2.32.86				・帳票印刷、データ外部出力		
4.2.32.87				・ユーザーの認証(IDパスワード)ができ、ログインの指定回数失敗時におけるアカウントのロックおよびパスワードの有効期限管理ができること。		
4.2.32.88				・ユーザーごとにシステム業務ごとの使用不可制限が設定できること。		
4.2.32.89			メニュー	・ログインユーザまたはグループ単位で、初期メニューの設定ができること。		
4.2.32.90				・ログインユーザ毎に、よく使う機能のショートカットの登録ができ、自分専用のメニューが作成できること。		
4.2.32.91		メニュー		・予約カレンダーに連絡メモの書込みができ、システム利用者間で参照でき、日別の予定も書込みおよび参照ができること。		
4.2.32.92		団体情報	団体情報	・団体情報管理として以下の要件を満たすこと。		
4.2.32.93				・団体コードは、自動発番機能があり、枝番管理もできること。		
4.2.32.94				・団体の名称は、画面表示名称、印字名称、フリガナ、検索名称、予備名称が管理でき、用途別（システム機能別）に名称の切り分けができること。		
4.2.32.95				・団体住所、電話番号、FAXは、住所1・住所2等の分割管理ができること。		
4.2.32.96				・団体への問合せ先である先方の担当部署、担当者を管理できること。		
4.2.32.97				・案内表や成績表および成績表控えの発送先が管理できること。		
4.2.32.98				・予約画面で設定、確認ができ、帳票ごとに設定先が印刷されること。		
4.2.32.99				・団体に関するコメント情報(団体の特徴・注意事項等)が管理でき、コメントの種類分類は、ユーザー側にて自在に追加でき、それらの情報は、必要とするシステム機能にて参照できること。		
4.2.32.100				・団体に関するコメント情報(団体の特徴・注意事項等)が管理でき、それらの情報は、必要とするシステム機能にて参照できること。		
4.2.32.101				・団体又はグループ単位で部署が管理できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.32.102				・ 部署の変更が一括でできること。		
4.2.32.103				・ 団体の分類が設定できること。(事業所、保険者、代行機関等)		
		受診者情報	受診者情報	受診者属性情報として以下の要件を満たすこと。		
4.2.32.104				・ 医事システムに登録がある場合、健診システムでID・氏名・生		
4.2.32.105				・ 予約画面から個人情報が一目でわかること。		
4.2.32.106				・ ID入力履歴がドロップダウンで見れること。		
4.2.32.107				・ 受診者の基本属性(住所、電話番号、連絡先、Eメールアドレス)が管理できること。		
4.2.32.108				・ 日本語氏名の入力で、自動でカナ氏名が入力されること。		
4.2.32.109				・ 受診者の所属団体情報(部署、社員番号、職種、備考等)が管理できること。		
4.2.32.110				・ 血液型(ABO、RH)や感染症の管理ができること。		
4.2.32.111				・ 個人情報保護の観点から受診結果の利用に関する情報(同意する同意しない未回答)を管理できること。		
4.2.32.112				・ 受診者からの問合せ対応として、受診者属性画面から過去の受診歴および健歴の参照ができること。(前回の受診コース、オプション等の確認)		
4.2.32.113				・ 受診者からの問合せ対応として、受診者属性画面から予約状況を確認し、予約の変更ができること。(予約日時、コース、オプションの変更等)		
4.2.32.114				・ 受診者の夫婦等の属性関連が登録できること。		
4.2.32.115				・ 受診者に関する各種コメント(受診者の特徴、注意事項等)が管理できること。		
4.2.32.116				・ また、コメントの種類分類は、ユーザ側にて自在に追加できること。(約100種類程度)		
4.2.32.117				・ それらのコメントは、それらのコメントを必要とするシステム機能にて参照できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.32.118				・受診者からの問合せ対応として、ID/カナ氏名、生年月日、電話番号、漢字氏名、所属団体、保険記号等による検索ができること。		
4.2.32.119				・また、受診歴の有無や最終受診日での検索もできること。		
4.2.32.120				・団体から提示される受診者情報(CSV形式またはEXCELファイル)を取込み、受診者情報の更新及び受診者追加ができること。		
4.2.32.121		契約支援	契約業務	・契約業務として以下の要件を満たすこと。 コース別に設定してある項目と料金の表が出力できること。		
4.2.32.122				・契約先ごとに、受診可能なコースおよび検査内容が設定できること。		
4.2.32.123				・契約は有効期限が設定でき、年度単位でも複数年単位でも作成できること。		
4.2.32.124				・契約コース毎に、受診条件(年齢、性別、本人/家族、職種)が設定できること。		
4.2.32.125				・契約コース団体毎に年齢起算日の設定ができること。(受診日年齢、年度末年齢、12月31日年齢、年度初年齢、受診当月末年齢)		
4.2.32.126				・契約先は、複数登録できること。		
4.2.32.127				・受診条件毎に、受診可能なオプション、負担金額が設定できること。		
4.2.32.128				・契約先毎のオプション(コースに関係ない共通のオプション)が受診条件および有効期限付きで設定できること。		
4.2.32.129				・特定検診の場合、受診条件、負担先ごとに上限金額が設定でき、上限金額を超える場合は、個人負担金に自動で振替えされること。		
4.2.32.130				・契約コース毎に税計算の方法(受診者毎、請求書毎、内税/外税)が設定できること。		
4.2.32.131				・個人オプションが受診条件および有効期限付きで設定できること。		
4.2.32.132				・契約コース毎に、案内・成績表の発送先を変更できること。		
4.2.32.133		健診準備業務	予約業務	・予約業務として以下の要件を満たすこと。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.32.134				・ 個人団体の予約申し込みの予約ができること。		
4.2.32.135				・ 予約時に契約で指定された条件により、受診可能なコース、受診期間、オプションのみが選択できること。		
4.2.32.136				・ 個人および契約のコメント情報の参照ができること。		
4.2.32.137				・ 個人からの予約時に予約コメントが入力でき、コメントをテンプレートから選択しての入力もでき、コメントの種類およびテンプレートはマスタで追加できること。		
4.2.32.138				・ 予約時に時間の指定、受診しない検査または後日受診する検査の指定、検査日が複数日にわたる場合の検査日の設定ができること。		
4.2.32.139				・ 予約時にコース、オプション別の負担金額(負担先含む)が確認でき、強制的に金額の変更ができること。		
4.2.32.140				・ 変更した場合は画面にマークが表示されること。		
4.2.32.141				・ 個人からの予約時に受診者属性情報、受診歴(過去に受診したコース、オプション、負担情報)が参照できること。		
4.2.32.142				・ 個人からの問合せ時に希望曜日、性別、希望オプション、希望コースによる空き枠検索ができること。		
4.2.32.143				・ また、空き枠の人数が参照できること。		
4.2.32.144				・ 予約の変更(日付、コース等)ができること。検査内容が変更になった場合は、検査と金額の差異がないかが画面上で確認できること。		
4.2.32.145				・ 個人予約登録画面で、予約変更の履歴が参照できること。		
4.2.32.146				・ 個人の予約時に、発送先が確認できること。個人別に発送先を変更できること。		
4.2.32.147				・ 基本的な予約枠パターンを保持でき、年度単位等の有効期間の設定		
4.2.32.148				・ コース枠は、曜日別、時間別、性別、コースのグループ毎に設定でき		
4.2.32.149				・ 検査枠は、曜日別、時間別、性別、検査グループ別に設定できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.32.150				・検査時間枠は、時間帯(9:00～9:30)や午前、午後による管理ができること。		
4.2.32.151				・コース、検査毎に予約可能な最大人数が設定できること。		
4.2.32.152				・枠人数は、時間毎や性別毎に設定できること。		
4.2.32.153				・コース、検査枠は日別で最大人数および予備枠の設定変更ができること。		
4.2.32.154				・祝祭日が事前に設定でき、カレンダー作成時に休日として扱われること。		
4.2.32.155				・デフォルトで表示される枠(コース枠または検査枠)を設定できること。		
4.2.32.156				・空枠状況をマークやゲージ等の視覚的表現、または実数での切替え表示ができること。		
4.2.32.157				・カレンダーの日付の色やゲージ等の視覚的表現で空枠状況が確認で		
4.2.32.158				・コース枠、検査枠は複数の枠を合計しての枠管理もできること。 (例)ドック20名、生活習慣病20名、ドック+生活習慣病30名		
4.2.32.159				・カレンダーの日付を選択することにより、予約団体及び予約者の一覧が参照できること。		
4.2.32.160				・また、予約者を選択して予約の変更、受診歴の参照ができること。		
4.2.32.161				・全体の1ヶ月間の予約状況が、検査項目単位で確認できること。		
4.2.32.162				・予約状況は、団体、コース、検査、時間帯による絞り込みができること。		
4.2.32.163				・コース、希望検査、希望曜日、期間を指定した空き枠の検索ができること。		
4.2.32.164				・予約日の変更は、簡単な操作で実現できること。		
4.2.32.165				・キャンセル待ち予約ができること。		
4.2.32.166				・キャンセル待ち対象者の検索ができ、どの検査でキャンセル待ちをしているかを参照できること。		
4.2.32.167				・キャンセル待ち対象者の希望受診日が分かること。		
4.2.32.168				・団体指定による人数、コース、検査の枠予約ができ、事後に受診者の割り当てができること。		
4.2.32.169				・予約キャンセル機能があること。キャンセルしたデータは予約歴として管理されること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.32.170				・受診予定日、受診コース、所属団体、検査の受診対象者や帳票の出力状況、予約の最終更新日、更新者等の様々な条件で予約の検索が行えること。		
4.2.32.171				・検索結果は個人だけではなく、団体単位に集計して表示もされること。		
4.2.32.172				・仮予約者(受診者が未割当)を検索する機能があること。受診されない場合は予約枠を解放できること。		
4.2.32.173			案内発送	・団体または契約先別に必要な発送物および発送先が管理できること。		
4.2.32.174				・案内発送一覧より、複数帳票のセット印刷ができること。		
4.2.32.175				・発送時に同封する便検査の有無等、検査対象者の確認ができること。		
4.2.32.176				・案内発送一覧より、帳票の印刷状況が確認できること。		
4.2.32.177				・複数コース受診者に対して警告が表示されること。		
4.2.32.178				・受診者毎の発送物を確認した日付と確認者を保存することができること。		
4.2.32.179				・案内物を発送した日付の管理がバーコード読み取り等で簡単にできること。		
4.2.32.180				・発送時の特記事項が、受付画面の備考欄などに追記できること。 (再送(付)手渡し等)		
4.2.32.181		健診前日業務	検体ラベル・スピッツ準備	・前日に、検体検査に必要なラベル・スピッツ等を検査室で準備できること。		
4.2.32.182		健診当日業務	受付業務	・施設内の受付業務として以下の要件を満たすこと。		
4.2.32.183				・受診日当日の予約者一覧を表示し、予約者を選択して受付ができること。		
4.2.32.184				・受付画面一覧上の受診者を、ID(バーコード読み)で選択ができること。		
4.2.32.185				・受付画面一覧上の受診者を、カナ氏名で絞込み表示ができること。		
4.2.32.186				・受付画面では、受診者および予約のコメントが表示できること。		
4.2.32.187				・受付時に受診者属性、予約枠、金額等の変更ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.32.188				・受付時に確認が必要な項目(便検査提出本数、保険証確認、受診券、クーポン券等)が表示され、チェック入力ができること。		
4.2.32.189				・受付時に請求する場合、受付時請求及び領収書の発行ができること。		
4.2.32.190				・予約外の飛び込み受付ができること。		
4.2.32.191				・一括して受付を行うことができること。		
4.2.32.192				・受付番号は手動でも採番できること。		
4.2.32.193				・各種条件(コース、団体、時間、性別、状態(未受付、受付済、キャンセル)、ID/カナ氏名、社員番号)による検索ができること。		
4.2.32.194				・同一日複数受診、または関連予約があることが画面上で確認できること。		
4.2.32.195				・予約者検索でID検索を行い、当日の予約が複数件存在する場合は、受付するコースを選択してそれぞれのコース毎に受付登録できること		
4.2.32.196				・検査部門と連動し、検査の進捗状況を把握できること(個人の進捗ではなく、検査ごとの実施済み・受付済み・未実施等)。		
4.2.32.197		健診実施処理業務	結果入力業務	・結果入力業務として以下の要件を満たすこと。		
4.2.32.198				・問診は、受付前に事前登録ができること。(受診者に事前に郵送して頂く場合)		
4.2.32.199				・過去の間診回答を今回の問診回答にコピーできること。(既往歴等)		
4.2.32.200				・個別入力時、バーコードで対象者の呼び出しができること。		
4.2.32.201				・受付されていない予約日には結果入力できないこと。		
4.2.32.202				・結果入力は、受診者別入力と検査項目別入力(検査項目別に受診者の一覧表示を行い、検査項目毎に結果を連続入力)ができること。		
4.2.32.203				・一括入力は、以下の項目で入力できること。 胃内視鏡・バリウム・子宮頸癌・体癌・HPV・マンモグラフィー・乳腺エコー・眼底・胸部X線・肺らせんCT		
4.2.32.204				・受診者別入力では、実施した項目のみが表示されること。		
4.2.32.205				・検査項目別入力では、実施した者のみ表示されること。(午前・午後による管理ができること)		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.32.206				・ 受診日、受付番号、コース、団体、受診者ID、管理番号(フィルム番号等)、氏名、生年月日による受診者の検索ができること。		
4.2.32.207				・ 受診者別の入力画面にて前回値の結果の参照ができること。		
4.2.32.208				・ 数値入力は、入力上限値及び入力下限値のチェックができること。		
4.2.32.209				・ 標準体重、BMI、eGFR、血圧平均値等は自動計算されること。計算式はマスタにて設定できること。		
4.2.32.210				・ 結果が異常値の場合は、結果値が高値は赤色、低値は青色で表示されること。		
4.2.32.211				・ また矢印表示にて視覚的に高値異常、低値異常が確認できること。		
4.2.32.212				・ 定性値、所見は、ガイドランスから選択した入力ができること。		
4.2.32.213				・ 所見については、組合せ(部位部位所見等)入力ができること。		
4.2.32.214				・ 所見の入力は、マスタから選択後、ワープロ入力による修正ができること。		
4.2.32.215				・ 全項目を一覧表示して結果の入力ができること。		
4.2.32.216				・ 個別入力時、対象者のみをページ送りで表示できること。		
4.2.32.217				・ 受診者検索で対象者を絞り込んで表示し、リストアップされた対象者を一括結果入力画面に表示させて、結果入力ができること。		
4.2.32.218				・ 検査結果未入力チェック画面から対象の検査入力欄へジャンプができること。		
4.2.32.219				・ オプション検査が入力画面上で判別できること。		
4.2.32.220				・ 検査結果未入力チェック画面で検査種別単位での入力状況が確認できること。		
4.2.32.221				・ シェーマー入力ができること。		
4.2.32.222				・ 判定入力時に、問診の内容が参照できること。		
4.2.32.223				・ 検査項目別に受診者を一覧表示し、連続で結果入力ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.32.224				・受診者全員に一括入力(正常値の一括入力)ができること。		
4.2.32.225				・結果入力画面で「後日」(検体忘れ、生理中による後日採尿等)の確認ができること。		
4.2.32.226				・入力後更新する際、入力漏れがあった場合にはメッセージが表示されること。		
4.2.32.227				・結果参照は、健診端末以外(健診システムをインストールしていない病院の外来端末等)にて参照できること。		
4.2.32.228				・手入力する検査のみの入力画面と、手入力および自動取り込みすべての項目が確認、修正できる画面があること。		
4.2.32.229				・1泊2日ドックは、2日目に実施したのもすべて1日目の日付で入力できること。		
4.2.32.230				・再検査の返書の内容が入力ができること。 (判定、受診日、受診医、フリー入力等)		
4.2.32.231			自動判定	・自動判定は以下の要件を満たすこと。		
4.2.32.232				・自動判定が済んでいるかどうかの確認が、一括でできる。 (入力や判定の進捗がマーク等で表示される)		
4.2.32.233				・自動判定をする際、判定後、ともに午前、午後と指定をし、表示できること		
4.2.32.234				・自動判定の条件は、検査項目毎の正常基準値範囲、異常値の範囲設定と判定結果の設定ができること。		
4.2.32.235				・問診回答、所見、前回値比較、性別、検査項目間、空腹・随時別等による自動判定が実施できること。		
4.2.32.236				・単独の脳ドックの場合自動判定ができること。 (現在は必要ないが、将来的に追加できるか)		
4.2.32.237				・機能別判定、総合判定、総合所見が自動的に設定できること。		
4.2.32.238			結果発送業務	・結果発送業務として以下の要件を満たすこと。		
4.2.32.239				・成績表の発送状況を一覧で確認できること。		
4.2.32.240				・成績表の仮印刷、本印刷ができ、出力日を保存できること。		
4.2.32.241				・成績表のセット印刷ができること。		
4.2.32.242				・本印刷時はイメージファイル化してファイルに保存できること。		
4.2.32.243				・発送日の管理がバーコード読み取り等で簡単にできること。		
4.2.32.244				・発送時の特記事項が追記できること。(再送付・手渡し等)		
4.2.32.245				・発送日から検索・一覧表示ができること。(〇月〇日に発送した人の一覧)		
4.2.32.246				・データ作成の要否がわかること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.32.247			二次検査業務	・二次検査業務として以下の要件を満たすこと。		
4.2.32.248				・二次検査用のコース及び契約の作成と予約管理ができること。		
4.2.32.249				・二次検査の結果の登録ができること。		
4.2.32.250		会計業務	個人会計	・個人会計として以下の要件を満たすこと。		
4.2.32.251				・予約に対して個人負担金の請求ができ、同時に入金処理も選択処理できること。		
4.2.32.252				・請求の際に、請求書兼領収書が発行できること。		
4.2.32.253				・料金の明細が作成できること。		
4.2.32.254				・受診日範囲、受診者、コース、団体にて請求対象者の絞り込みができること。		
4.2.32.255				・請求画面一覧上の受診者を、カナ氏名で絞り込み表示ができること。		
4.2.32.256				・受付前の予約に対しても請求書が発行できること。		
4.2.32.257				・文書料等の健診項目以外のオプションも追加請求ができること。		
4.2.32.258				・請求書の宛名および適用が変更でき、請求書として保存できること。		
4.2.32.259				・コースとオプションが分割請求ができること。		
4.2.32.260				・会計締日以前の請求書の作成および入金はやできないこと。		
4.2.32.261				・入金は、一部入金、全額入金に対応でき、入金方法(現金、振込等)も管理ができること。		
4.2.32.262				・請求書の取消ができること。		
4.2.32.263				・請求日や受診日、請求書の状態(完納、未収)の条件で、請求書が検索できること。		
4.2.32.264				・入金日、入金方法で入金された金額を一覧表示できること。		
4.2.32.265			団体会計	・団体会計として以下の要件を満たすこと。 受診者の団体負担金を集計して、団体宛の請求書が作成できること。		
4.2.32.266				・その際、個人の当日キャンセル、追加項目が画面上に表示されること。		
4.2.32.267				・団体、締め区分(全て、月次、随時)、受診期間にて請求対象者の検索ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.32.268				・団体毎に請求書の管理ができ、請求書発行時に自動的に指定の書式にて印刷されること。(宛名、健診種別、該当日等の各団体に必要な項目が印字されること)		
4.2.32.269				・請求書の宛名および適用が変更でき、請求書として保存できること。		
4.2.32.270				・受診者明細のない請求明細(予防接種料、医師派遣代等)を請求できること。		
4.2.32.271				・団体宛の請求書を手動で作成できること。		
4.2.32.272				・請求書の取消ができること。		
4.2.32.273				・請求書に対しての入金ができること。		
4.2.32.274				・複数の請求書に対して一括入金ができること。		
4.2.32.275				・入金日、入金方法で入金された金額を一覧表示できること。		
4.2.32.276				・会計締日以前の請求書の作成および入金はできないこと。		
4.2.32.277			締め処理	・締め処理として以下の要件を満たすこと。		
4.2.32.278				・指定月で下記の締め処理ができること。		
4.2.32.279				・請求先別に繰越金額、当月入金分、当月発生分、翌月への繰越し金額を集計できること。		
4.2.32.280				・過去に締めた金額が検索できること。		
4.2.32.281				・受診人数月報が作成できる。 また、各種統計作成機能を適宜追加することができる。(都度条件を指定するのではなく、条件を登録し固定で書式が作成できるもの)		
4.2.32.282				・公衆衛生活動費収益の状況が出力できること。(前年度比を含む)		
4.2.32.283		統計業務	テキストファイル出力	・テキストファイル出力機能として以下の要件を満たすこと。		
4.2.32.284				・健診システムにて管理する受診者属性、予約情報、健診結果の抽出ができること。		
4.2.32.285				・出力形式は、EXCELファイルまたはCSVファイルが指定できること。		
4.2.32.286				・受診期間、団体、コース等の抽出条件を指定してデータが抽出でき、例えばた乳がん検査の受診者のみといった、検査内容での絞り込みができること。		
4.2.32.287				・抽出条件は保存可能とし、繰り返し同一条件による抽出ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.32.288				・抽出するデータの種類はマスタにて自由に作成ができ、基本的にシステムの全データが抽出できること。		
4.2.32.289				・所見結果の出力方法がコードの指定ができること。		
4.2.32.290				・検査結果の項目判定や異常値区分の出力指定ができること。		
4.2.32.291				・コース、健診種別、請求先等別に日計表が作成できる。		
4.2.32.292				・日計表は、個人会計、健保請求、会社請求それぞれの金額が集計され、別表で個人ごとの詳細が確認できる。		
4.2.32.293		特定健康診査業務	特定健康診査	・特定健康診査業務として以下の要件を満たすこと。		
4.2.32.294				・受診者が持参した受診券の情報が登録できること。		
4.2.32.295				・受診券情報の一括登録ができること。		
4.2.32.296				・健診結果にて特定健康診査の階層化ができること。		
4.2.32.297				・特定健康診査結果通知書が印刷できること。		
4.2.32.298				・階層化画面から結果入力画面、結果参照画面、受診券登録画面が呼び出せること。		
4.2.32.299				・医療保険者(代行機関)に提出する国指定の標準フォーマット「交換用基本情報ファイル」、「特定健診情報ファイル」、「決済用情報ファイル」、「集計情報ファイル」の作成ができること。		
4.2.32.300				・特定健康診査用の問診票、結果表、結果一覧表、階層化結果一覧表が印刷できること。		
4.2.32.301		メンテナンス	マスタメンテナンス	・基本設定はすべてマスタ化されており、必要に応じてマスタの追加、変更ができること。		
4.2.32.302				・各種マスタからマスタリストがエクセルファイルとして出力できること。		
4.2.32.303		帳票出力	帳票出力全般	・帳票出力全般について以下の要件を満たすこと。		
4.2.32.304				・各帳票等で午前・午後の区別ができること。		
4.2.32.305				・帳票出力対象者の抽出は、受付番号、年齢、生年月日、性別、団体、コース、受診者等の指定ができること。		
4.2.32.306				・各種ご案内(受診案内)、検体ラベル、成績表などの帳票がExcel等で出力でき、個別に変更ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.32.307				・ 帳票毎に出力するための基本条件、その他条件の設定ができること。 (コース、オプション、性別、曜日等による出力帳票の種類、部数の登録ができること。)		
4.2.32.308				・ 帳票出力時に改ページの条件、出力順の変更ができること。		
4.2.32.309				・ 企業ごとの契約や、コース、年齢等に応じて、帳票をセット化して印刷できること。(本人用だけでなく、会社控え等の帳票も含む) その際、契約に応じて発送先が振り分けられること。		
4.2.32.310				・ 各帳票は印刷前にプレビュー表示ができ、プレビュー画面から指定されたページの印刷ができること。		
4.2.32.311				・ 特定の帳票をセットで印刷できること。(例えば、案内票と問診票等は、コース毎に複数のパターンの組合せができる等)		
4.2.32.312				・ ワークシートのレイアウトに前年度の結果が表示されること。		
4.2.32.313				・ 再検査項目については、受診の有無および返書の判定が表示されること。		
4.2.32.314				・ スキャナーする帳票にはQRコードが表示されること。		
4.2.32.315				・ 帳票毎に印刷するプリンタの設定およびカラー・白黒の設定ができること。		
4.2.32.316				・ 各帳票のフォーマットは適宜変更が可能なこと。		
4.2.32.317				・ 1泊2日ドックは、2日目に実施したのもすべて1日目の帳票に合わせて出力できること。		
4.2.32.318				・ 各帳票の出力履歴が確認できること。		
4.2.32.319			健康診断のご案内	・ 健診予約者に予約内容をご案内するための帳票が印刷できること。		
4.2.32.320				・ 送付先が複数登録でき、選択できること。		
4.2.32.321				・ 検査内容に応じて、持ち物や注意事項など、必要な内容が表示されること。		
4.2.32.322				・ 検査ごとに必要な帳票がセットで印刷され、検体容器等の送付物がわかること。		
4.2.32.323				・ 個人宛だけでなく、団体ごとにまとめて送付印刷できること。		
4.2.32.324				・ その際、担当者宛と個人宛の案内がセットで印刷できること。		
4.2.32.325				・ 印刷する範囲は、日付・コース等で絞り込みができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.32.326			問診表	・ドック問診票が印刷でき、前年度の既住所が反映されること。		
4.2.32.327			特定健康診査質問票	・特定健康診査用の質問票が印刷できること。		
4.2.32.328				・印刷する条件が設定できること。		
4.2.32.329			受診票	・受診時の検査実施チェックに使用する帳票が印刷できること。		
4.2.32.330			健診カルテ	・健診用カルテの表紙が印刷できること。		
4.2.32.331				・個人ごとの実施項目がわかること。		
4.2.32.332			照射録	・レントゲン検査の対象者を印刷し、照射録として使用できること。		
4.2.32.333			各種所見記入用紙	・各種検査の所見を記入する用紙が印刷できること。		
4.2.32.334			精密検査のご案内	・精密検査対象者に精密検査の追跡調査を行うための帳票が印刷できること。		
4.2.32.335			再検査のご案内(精密検査)	・精密検査の実施が未確認の受診者へ受診状況を確認するための帳票が印刷できること。		
4.2.32.336			再検査のご案内(経過観察)	・経過観察の対象者に受診勧奨するための帳票が印刷できること。		
4.2.32.337			受診勧奨(はがき)	・今年度受診者に来年度の受診勧奨するための帳票が印刷できること。		
4.2.32.338			健康診断のご案内(団体向け送付)	・予約した日程を、企業、健保様に確認していただく帳票が印刷できること。		
4.2.32.339			結果のお知らせ(団体向け送付)	・団体への結果表発送時に使用する帳票が印刷できること。		
4.2.32.340			予定者一覧【詳細】	・健診予定者の予約内容を確認する帳票(A3縦)が印刷でき、表示される順番は、50音順や健診コース順等、帳票レイアウト作成時に設定ができること。		
4.2.32.341				・また、同姓同名にはマークが表示されるようにすること。		
4.2.32.342			予定者一覧	・健診予定者の予約内容を確認する帳票(オプション確認)が印刷できること。		
4.2.32.343				・表示順は変更できること。(50音順、コースなど)		
4.2.32.344			オプション検査確認リスト	・オプション検査の確認に使用する帳票が印刷できること。		
4.2.32.345			案内発送一覧(個人別)	・個人別に発送メモと同封物の有無を確認する帳票が印刷できること。		
4.2.32.346				・協会けんぽ受信者リストが印刷できること。		
4.2.32.347				・出力項目の選択ができること。 健診予定日、保険者番号・記号、生年月日、健診種類、会社名 など		
4.2.32.348			個人別売上確認用リスト	・オプションの確認と負担先別の負担金額を確認する帳票が印刷できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.32.349			団体別予定者名簿	・団体への予約者確認用(所属、保険)の名簿(50人/枚)が印刷できること。		
4.2.32.350			団体別予定者名簿(検査確認用)	・団体への予約者確認用(所属、保険、検査)の名簿(25人/枚)が印刷できること。		
4.2.32.351			団体別予定者名簿(オプション確認)	・団体への予約者確認用(オプション検査)の名簿(25人/枚)が印刷できること。		
4.2.32.352			案内発送一覧(団体・コース別)	・団体への案内発送に使用する帳票が印刷できること。		
4.2.32.353			団体別負担先一覧	・受診団体、受診明細別に負担先と金額を表示し、契約確認に使用する帳票が印刷できること。		
4.2.32.354			団体別予約枠一覧	・年間で団体へ枠取した日程を確認する帳票が印刷できること。		
4.2.32.355			宿泊予定者一覧	・宿泊コースの予定者を確認する帳票が印刷できること。		
4.2.32.356			部屋予約一覧	・部屋の予約状況を確認する帳票が印刷できること。		
4.2.32.357			予約内容変更一覧	・予約変更された内容を出力する帳票が印刷できること。		
4.2.32.358			月間予定表(枠別)	・月間のコース、検査枠別の予定者人数を確認する帳票が印刷できること。		
4.2.32.359			月間予定表(健診区分別)	・月間の健診区分別の予定者人数を確認する帳票が印刷できること。		
4.2.32.360			月間予定表(検査別)	・月間の検査別の予定者人数を確認する帳票が印刷できること。		
4.2.32.361			週間予定表	・週間の予約台帳が印刷できること。		
4.2.32.362			受付チェック用ワークシート	・受付時に検査の実施を確認するワークシートが印刷できること。 (予約内容、契約、個人毎の注意等が反映されること)		
4.2.32.363			血圧ワークシート	・血圧の測定結果を記入するワークシートが印刷できること。		
4.2.32.364			尿沈渣ワークシート	・尿沈渣の測定結果を記入するワークシートが印刷できること。		
4.2.32.365			記入用ワークシート(汎用:縦)	・結果を記入するワークシート(25人/枚)が印刷できること。		
4.2.32.366			眼底検査ワークシート	・眼底検査の結果を記入するワークシートが印刷できること。		
4.2.32.367			放射線科用ワークシート	・放射線検査の対象者リストが印刷できること。		
4.2.32.368			検査科用ワークシート	・生理検査の対象者リストが印刷できること。		
4.2.32.369			依頼用ワークシート(汎用:横)	・検査対象を確認するワークシートが印刷できること。		
4.2.32.370			胸部X線検査ワークシート	・胸部X線の読影結果を記入するワークシートが印刷できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.32.371			腹部超音波検査ワークシート	・腹部超音波検査の結果を記入するワークシートが印刷できること。		
4.2.32.372			心電図検査ワークシート	・心電図検査の結果を記入するワークシートが印刷できること。		
4.2.32.373			検査確認用ワークシート	・検査機器別の実施有無を確認するワークシートが印刷できること。		
4.2.32.374			未入力チェックリスト	・結果が未入力の検査項目をチェックする帳票が印刷できること。		
4.2.32.375			結果発送一覧(個人別)	・個人別に発送メモと同封物の有無を確認する帳票が印刷できること。		
4.2.32.376			結果発送一覧(団体・コース別)	・団体への結果発送に使用する帳票が印刷できること。		
4.2.32.377			団体請求書送付リスト	・団体請求時に必要な発送物を確認する帳票が印刷できること。		
4.2.32.378			精密検査一覧	・精密検査の対象者と対象となった結果を団体へ報告するための帳票が印刷できること。		
4.2.32.379			特定健康診査階層化一覧	・階層化結果の一覧表が印刷できること。		
4.2.32.380			成績表(ドック)	・人間ドックの成績表が印刷できること。		
4.2.32.381			成績表(生活習慣病)	・生活習慣病健診の成績表が印刷できること。		
4.2.32.382			成績表(定期健康診断)	・定期健康診断の成績表が印刷できること。		
4.2.32.383			成績表(特定健康診査)	・特定健康診査の厚労省指定様式が印刷できること。		
4.2.32.384			成績表(婦人科)	・婦人科検診の成績表が印刷できること。		
4.2.32.385			成績表(脳ドック)	・脳ドックコースの成績表が印刷できること。 (現在は必要ないが、将来的に追加できるか)		
4.2.32.386			成績表(脳ドックオプション)	・脳ドックオプションの成績表が印刷できること。 (現在は必要ないが、将来的に追加できるか)		
4.2.32.387			健康診断個人票(5号様式)	・定期健康診断の法定様式(5号様式)が印刷できること。		
4.2.32.388			健康診断個人票(雇入時)	・定期健康診断の法定様式(雇入時)が印刷できること。		
4.2.32.389			請求書兼領収書	・個人負担金の請求書兼領収書が印刷できること。		
4.2.32.390			個人向け領収書	・個人向け領収書が印刷できること。		
4.2.32.391			個人負担金一覧	・個人別の請求金額と入金金額を確認する帳票が印刷できること。		
4.2.32.392			団体請求書(受診者明細)	・団体請求書(受診者明細のみ)が印刷できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.32.393			団体請求書(項目明細)	・団体請求書(項目明細のみ)が印刷できること。		
4.2.32.394			団体請求受診者明細	・団体請求書(項目明細+受診者明細)が印刷できること。		
4.2.32.395			再請求書	・未収分を含めて再請求する場合に使用する帳票が印刷できること。		
4.2.32.396			団体向け領収書	・団体向けに領収書が必要な場合に使用する帳票が印刷できること。		
4.2.32.397			請求チェックリスト(受診者別)	・団体への請求時のチェック用として使用する帳票が印刷できること。(受診者別)		
4.2.32.398			請求チェックリスト(請求先別)	・団体への請求時のチェック用として使用する帳票が印刷できること。(請求明細別)		
4.2.32.399			団体請求書一覧	・団体への請求時のチェック用として使用する帳票が印刷できること。(請求明細別)		
4.2.32.400			団体請求書一覧(詳細)	・団体請求書の控えとして使用する帳票が印刷できること。(請求先、請求明細別)		
4.2.32.401			入金一覧	・指定期間の入金明細として使用する帳票が印刷できること。		
4.2.32.402			未収金一覧	・指定月での未収金のある団体を集計して出力する帳票が印刷できること。		
4.2.32.403			未回収金一覧	・今日現在で未収となっている請求を出力する帳票が印刷できること。		
4.2.32.404			健診者日報	・受診者数を集計して日報を印刷できること。(1人で2つのコースをとった場合には、人数カウントは別々に出せること)		
4.2.32.405			請求月報	・請求金額と入金金額を集計して月報を印刷できること。		
4.2.32.406			売上推移	・5年間の売上推移を集計し印刷できること。		
4.2.32.407			年間実績表(コース別)	・コース、月別で健診実績を集計し印刷できること。		
4.2.32.408			健診実績表(売上速報)	・健診実績(売上見込み)を速報として集計し印刷できること。		
4.2.32.409			団体別売上(速報)一覧	・健診実績を団体別に集計します。前年度も比較集計し印刷できること。		
4.2.32.410			定期健康診断結果報告書	・労働基準監督署へ提出するための帳票が印刷できること。		
4.2.32.411			人間ドック学会統計	・人間ドック成績報告に必要な集計を印刷できること。		
4.2.32.412			検体ラベル	・ラベルプリンタから検体ラベルを印刷できること。		
4.2.32.413			宛名ラベル	・案内や結果及び請求書の発送に使用できる宛名ラベルが印刷できること。(個人、団体)その際、敬称が選択できること。		
4.2.32.414			契約内容確認書	・契約登録された内容(検査、負担金額)の確認帳票が印刷できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.32.415		特定保健指導	予約	・ 指導コースが登録でき、コースに沿った予約ができること。		
4.2.32.416				・ コースや内容は、適宜追加・変更ができること。		
4.2.32.417				・ 契約ごとにポイントに応じた料金の設定ができること。		
4.2.32.418				・ 保健指導で検査オーダーの連携ができること。		
4.2.32.419			入力	・ 健診システムから健診データが取り込めること。		
4.2.32.420				・ 入力時、厚労省指定XMLの必須項目がわかること。		
4.2.32.421				・ 健診システムから検査結果の取り込みができること。		
4.2.32.422			データ	・ 厚労省指定のXMLデータが作成できること。 その際、ポイント・金額は自動計算されること。		
4.2.32.423				・ 協会けんぽ提出書類が作成できること。		
4.2.32.424				・ 日付・企業・性別・年齢等を指定して、対象人数、初回実施率、途中脱落率、評価終了率が作成できること。		
4.2.32.425			帳票	・ 本人の情報が入った、以下の帳票が出力できること。 それらは自由に文面の変更等ができ、必要な帳票がセット印刷できること。		
4.2.32.426				・ 目標・計画シート		
4.2.32.427				・ 質問票		
4.2.32.428				・ 経過記録		
4.2.32.429				・ 日程表		
4.2.32.430				・ 体重表		
4.2.32.431				・ 集団指導のお知らせ		
4.2.32.432				・ 継続支援のお知らせ		
4.2.32.433				・ 支援終了のお知らせ		
4.2.32.434				・ 評価のお知らせ		
4.2.32.435				・ 評価記入用紙		
4.2.32.436				・ 該当項目別指導リーフ		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.32.437				・ 日別・担当者別予定表		
4.2.32.438				・ 集団指導名簿(検査データ・生活情報入り)		
4.2.32.439		その他		・ データ移行できること。移行範囲は以下とする。 個人マスタ、団体マスタ、検査項目マスタ、コースマスタ、所見マスタ、判定基準値マスタ、健診結果データ 特定保健指導のデータ移行は対象外とする。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.33	医療相談システム					
4.2.33.1		医療相談システム	基本条件	・医療相談情報のデータベース化が可能であること。また、この情報が検索・参照・引用可能であること。		
4.2.33.2				・医療相談連携情報に対して、アクセス権が設定できること。		
4.2.33.3				・オーダーリングシステムと情報連携して情報を共有できること。		
4.2.33.4		システム要件	入院時スクリーニング機能	・オーダーリングシステムと連携し、自動で入院時スクリーニングシートの枠が生成されること。		
4.2.33.5				・入院時スクリーニングシートは未記入・記入済み等のステータスで管理可能なこと。		
4.2.33.6				・一覧画面で患者ID、記載日、診療科、担当者、病棟、作成ステータスの組み合わせで検索可能なこと。		
4.2.33.7				・スクリーニング項目は病院が指定する項目を表示できること。		
4.2.33.8				・特定の条件でスクリーニングの結果、自動でMSWへの介入依頼情報が生成されること。		
4.2.33.9			介入依頼機能	・医師や看護師から医療相談室へ介入の依頼登録ができること。		
4.2.33.10				・依頼内容はあらかじめ設定したマスタより選択可能なこと。		
4.2.33.11				・医療相談室で依頼一覧を日付・診療科・依頼者等で一覧表示できること。		
4.2.33.12				・入院時スクリーニング機能と連携して自動・任意で生成可能なこと。		
4.2.33.13			患者情報登録機能	・介入後に収集した患者情報の登録ができること。		
4.2.33.14				・管理する項目は病院指定の項目が登録できること。		
4.2.33.15				・オーダーリングシステムと情報連携し、入力負荷の軽減ができること。		
4.2.33.16			面談記録登録機能	・相談に紐付けて、面談記録を制限無く作成できること。		
4.2.33.17				・記録にあたり、テンプレート機能を利用できること。		
4.2.33.18				・過去に作成した面談記録を流用できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.33.19				・過去に作成した面談記録を患者単位(過去の相談含む)・相談単位(今回の相談)で一覧で参照できること。		
4.2.33.20				・面談記録は院内全体で共有するエリアと医療相談室内で管理するエリアの2通り入力できること。		
4.2.33.21			退院先・転院先情報登録機能	・退院先・転院先情報の登録ができること。		
4.2.33.22				・調整段階の医療機関および調整状況を登録できること。		
4.2.33.23				・その他必要な項目を管理できること。		
4.2.33.24			退院時指導記録・退院支援計画書作成機能	・相談に紐付けて、退院時指導記録・退院支援計画書が作成できること。		
4.2.33.25			統計機能	・日誌を簡単な操作で登録できること。		
4.2.33.26				・日誌は患者に直接紐付かない業務の登録もできること。		
4.2.33.27				・日誌は担当者、作成日(期間指定)で一覧表示でき、Excel等の市販ソフトへ展開できること。		
4.2.33.28				・月報・年報を期間指定して、統計出力できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.34	地域医療連携システム					
4.2.34.1		地域連携システム	基本条件	・地域医療連携情報のデータベース化が可能であること。また、この情報が検索・参照・引用可能であること。		
4.2.34.2				・地域医療連携情報に対して、アクセス権が設定できること。		
4.2.34.3				・オーダリングシステムと情報連携して情報を共有できること。		
4.2.34.4		システム要件	紹介患者登録機能	・紹介患者の基本情報等が登録、参照、出力できること。		
4.2.34.5				・紹介患者の管理項目は病院指定の項目が追加できること。		
4.2.34.6				・一紹介ごとに、紹介日、紹介元医療機関、診療科、担当医師等の紹介患者情報が作成、編集、参照、出力できること。		
4.2.34.7				・医療機関マスタを備え、各種情報登録時に利用できること。		
4.2.34.8				・全紹介患者が一覧表示できること。また、各項目で検索した結果を一覧表示できること。		
4.2.34.9				・逆紹介患者の基本情報等が登録、参照、出力できること。		
4.2.34.10				・逆紹介患者の管理項目は病院指定の項目が追加できること。		
4.2.34.11				・紹介患者登録されたことが、オーダリングシステムの患者一覧で確認できること。		
4.2.34.12			文書作成機能	・地域連携室にて受診・来院報告書を出力できること。		
4.2.34.13				・診療情報提供書・経過報告書などの地域連携に必要な文書が作成・出力できること。		
4.2.34.14				・文書作成にあたり、患者基本情報・病名オーダ情報・処方情報・検査結果情報をオーダリングシステムから引用できること。		
4.2.34.15				・過去に作成した文書の流用できること。		
4.2.34.16				・経過記入欄等への入力に関してはテンプレートが利用できること。		
4.2.34.17			文書管理機能	・医師の文書作成の進捗状況を一覧で参照できること。また任意の検索条件で一覧表示・出力ができること。		
4.2.34.18				・医師の作成状況に加え、提出状況も一元的に管理できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.34.19				・ 月別の紹介患者数を出力できること。		
4.2.34.20				・ 診療科別の紹介患者数を出力できること。		
4.2.34.21				・ 検査別の紹介患者数を出力できること。		
4.2.34.22				・ 転院先別の紹介患者数を出力できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
01	ID-LINK					
4.2.35.1		連携		・電子カルテと連携すること		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.36	インシデントシステム					
4.2.36.1		全般仕様		・本システムは、インシデントレポート作成・集計・管理業務と、統計・詳細分析業務について、トータルで支援できること。		
4.2.36.2				・システムへのログインはユーザIDとパスワードにより認証できること。		
4.2.36.3				・厚生労働省(医療機能評価機構)のヒヤリ・ハット収集事業に準拠した項目を、画面から入力できること。		
4.2.36.4				・本システムに利用するクライアントは、入出力業務の応答速度が病院業務を円滑に遂行でき、且つその作業能率の向上を実現できる水準を有すること。		
4.2.36.5				・本システムは、当院が導入を予定している電子カルテ端末に相乗りできること。		
4.2.36.6				・病院情報システム(電子カルテ、オーダーリングシステム)にログインした状態から、パラメーターを受け取ることにより、職員はID、パスワードの入力なしでシステムのメニューを表示させること(SSO起動:シングルサインオン)ができること。		
4.2.36.7				・病院情報システム(電子カルテ、オーダーリングシステム)と、職員情報(氏名、所属、ID、パスワード等)、患者情報(氏名、性別、年齢、ID等)の連携ができること。		
4.2.36.8				・システムログイン時、新着情報(差戻し、未読レポート件数情報など)を表示する機能があること。		
4.2.36.9				・詳細分析機能については、医療現場で実績のある分析機能(RCA)が備わっていること。		
4.2.36.10				・同規模の他施設での豊富な稼働実績があること。		
4.2.36.11				・本システム用サーバのオペレーションシステム(OS)は運用管理が容易なWindowsOSであること。		
4.2.36.12				・インシデントレポートの収集の他、死亡報告、安全管理者行動日誌、感染症報告などへ将来的に発展できること。		
4.2.36.13				・現行のインシデントレポートデータにおける基本項目が移行できること。		
4.2.36.14		レポート作成・報告機能		・システムの運用の基本構造は、報告者、各部署管理者、医療安全管理者の3層構造であること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.36.15				・厚生労働省(医療機能評価機構)のヒヤリ・ハット収集事業のフォーマットに準拠した形式でインシデントレポート作成を行えること。		
4.2.36.16				・以下の入力項目を有し、且つ発生日・報告日等で管理できること。		
4.2.36.17				・発生日時、発生場所、事故レベルの入力ができること。		
4.2.36.18				・報告者情報(報告者名・所属部署)は、ログイン情報にて自動で入力できること。		
4.2.36.19				・報告者が当事者である場合と発見者である場合の両方に対応できること。		
4.2.36.20				・当事者情報(職種・経験年数・所属部署・部署配属年数・勤務時間等)が入力できること。		
4.2.36.21				・患者情報(ID・年齢・性別・疾患名・診療科等)が入力できること。		
4.2.36.22				・関係した患者情報については2人まで入力できること。		
4.2.36.23				・インシデントの種類(何が発生したか)。なお、同項目はマスタ登録できることが望ましい。		
4.2.36.24				・インシデント事象を詳細分析する為に、有効となる経過情報を時系列に入力(いつ、誰が、何を)できること。		
4.2.36.25				・インシデントレポートの一時保存ができ、複数回に分けてレポート作成が行えること。		
4.2.36.26				・報告済みのインシデントレポートは修正ができないように制限がかかること。なお、参照・印刷は可能であること。		
4.2.36.27				・入力された内容を印刷できること。また、1報告がA4用紙1枚に印刷できること。		
4.2.36.28				・病院内での情報収集の流れにおいて、「報告」「差し戻し」「再報告」「承認」等の一連の運用業務フローをシステム上でシームレスに操作できること。		
4.2.36.29				・報告者は、自身が作成しているレポートを一覧画面にて確認できること。		
4.2.36.30				・入力項目の必須・任意を設定できること。必須設定された入力項目については、入力画面上にて項目名称が赤字で表示されること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.36.31				・レポートを報告する際、必須設定されている項目で未入力が残っている場合、報告者にわかりやすく、全ての未入力項目を一覧表示されること。		
4.2.36.32		レポート管理機能		・報告された情報はリアルタイムで一覧表示画面に表示できること。		
4.2.36.33				・一覧表示画面で、何が発生しているかを確認できること。「いつ」「どこで」「誰が」「何を」について確認できること。		
4.2.36.34				・報告されたレポート内容が簡易な表示画面(1画面)で容易に確認(表示)できること。		
4.2.36.35				・報告されたレポート内容が簡易な表示画面(1画面)で表示でき、同画面にてレポートの表示切替ができること。		
4.2.36.36				・報告された情報の一覧表示機能を有し、報告されたレポートを絞り込んで表示できること。		
4.2.36.37				・報告されたレポート内容を印刷できること。また、1報告がA4用紙1枚に印刷できること。		
4.2.36.38				・所属長、医療安全管理者は、自身が「承認」したレポートは修正できないこと。なお、参照・印刷は可能であること。		
4.2.36.39				・医療安全管理者が「承認」したレポートは、報告者名が自動的に匿名化される機能が用意されていること。		
4.2.36.40				・レポートを報告者へ差し戻しできること。その際、報告者へのコメント入力が可能であること。		
4.2.36.41				・事故発生状況等を撮影した画像ファイル(JPEG・BMP等)等をレポートへ添付・保存して管理できること。		
4.2.36.42				・「報告者」「管理者」間で情報(コメント)交換等ができること。		
4.2.36.43				・集計データは市販のソフトウェア(Excel等)へファイル出力が可能であること。		
4.2.36.44				・入力項目の必須・任意の設定が可能であること。		
4.2.36.45				・管理者の一覧画面に表示される項目は、項目(列)単位で並び替え(昇順・降順)が可能であること。		
4.2.36.46				・各部署管理者、医療安全管理者の一覧画面では、レポートの未読・既読を管理できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.36.47				・同一事象に対して複数の職員からレポートが報告された場合、同一事象としてレポートのまとめを行うことが可能であること。またその際、報告件数と事象件数で、別々に件数管理が可能であること。		
4.2.36.48				・集計されたレポートに対して、「発生期間」「報告期間」等の期間や、「レベル」「発生場所」等の項目を対象条件に設定した検索ができること。		
4.2.36.49				・集計されたレポートに対して、「発生期間」「報告期間」等の期間や、「レベル」「発生場所」等の項目を対象条件に設定したグラフ作成が行えること。		
4.2.36.50				・グラフ化された数値から対象となるレポートの一覧画面へ遷移でき、且つレポート内容を表示できること。		
4.2.36.51				・毎月作成するようなグラフに対して、管理者個別に定型パターンとして登録する機能を有すること。また、登録されたグラフは一括出力が可能であること。		
4.2.36.52				・各レポートに対して解決・未解決など、レポートにフラグ設定が可能であり、一覧表上で、設定情報が確認できること。		
4.2.36.53				・「転倒・転落入力」「患者様相談」などの専用入力タブ画面の追加設定ができ、新規作成ボタンと入力タブ画面の紐付け設定が可能であること。		
4.2.36.54				・専用入力タブ画面には、ラジオボタン形式、チェックボックス形式、記述形式などの入力項目を設定できること。且つ、設定された項目は、検索、集計の対象項目へ自動反映されること。		
4.2.36.55		事例分析支援機能	基本機能	・事例分析支援ツールは、医療業界で実績のある分析手法「ImSAFER」、「VA-RCA」と利用した事例分析を行うことができること。		
4.2.36.56				・事例分析支援機能は、全ての端末で使用できること。		
4.2.36.57				・レポート作成時に入力された経過情報が、時系列事象関連図のデータとして自動で連携・反映される機能を有すること。		
4.2.36.58				・時系列事象関連図、背後要因関連図など、事例分析した結果が、視覚的に分かり易く画面上に表示できること。		
4.2.36.59				・事例分析した情報が蓄積され、一覧表示でき、且つ他の事例分析に活用(複製)できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.36.60				・事例分析のデータ入力を行った際、分析手法のどの手順を実施しているか画面に明示されること。		
4.2.36.61				・分析手法の各手順について、手順のポイントとなるガイダンス(PDFファイル)を画面上から参照可能であること。		
4.2.36.62				・事例分析データについて、作成者が閲覧設定(作成者のみ、所属部署内、院内全体)を管理できること。		
4.2.36.63			時系列事象関連図	・時系列事象関連図の基本的な標記を全て表現できること。		
4.2.36.64				・時系列事象関連図は、縦方向(上から下へ)で時系列情報が入力できること。		
4.2.36.65				・事象を結ぶ矢印が、縦方向に一括で入力されること。		
4.2.36.66				・マウスのドラッグ操作で矢印を簡単な操作で任意に追加できること。なお、矢印の種類として、直線・クランクが選択可能であること。		
4.2.36.67				・縦列をまとめて横方向に移動(列の入替)でき、且つ矢印の連結がそのまま維持されること。		
4.2.36.68				・画面に入力された情報(ノード)は、マウスのドラッグ操作で容易に画面上で移動が可能であること。模造紙上での付箋紙の貼り換えイメージが画面上で可能であることが望ましい。		
4.2.36.69				・時系列事象関連図を印刷できること。		
4.2.36.70				・時系列事象関連図で入力されたデータをExcelファイルへ出力できること。		
4.2.36.71				・登場人物毎に、列の背景色を変更できること。		
4.2.36.72			背後要因関連図	・背後要因関連図は、時系列事象関連図とデータ連携が行われること。		
4.2.36.73				・背後要因関連図では、「問題点」「背後要因」「改善案」が色分けされ、階層構造で表示できること。		
4.2.36.74				・背後要因関連図では、背後要因を20階層以上入力できること。		
4.2.36.75				・背後要因関連図を印刷できること。		
4.2.36.76				・背後要因入力を支援する為の、背後要因パターン(事象発生のパターン、行動のエラーパターンなど)がテンプレート化され、複数パターン登録されていること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.36.77				・背後要因パターンについては追加設定が可能であり、今後も最新情報が反映されること。		
4.2.36.78				・背後要因を入力する際、推定の漏れを防ぐためのツール(P-mSHELLなど)が活用できること。		
4.2.36.79				・過去に入力された背後要因情報を参照でき、分析しているデータに取込みができること。		
4.2.36.80				・背後要因関連図で入力されたデータをExcelファイルへ出力できること。		
4.2.36.81				・改善案を考える際、支援機能としてツール(STEP4/Mなど)が活用できること。		
4.2.36.82				・一つの背後要因に対して、複数の改善案が紐づけができること。		
4.2.36.83				・行動分析に有効な行動分析シートを作成でき、背後要因と情報連携できること。		
4.2.36.84			改善案の評価・決定・管理	・入力された改善案を一覧画面で表示できること。		
4.2.36.85				・改善案を評価する為の判断基準(コスト・効果等)を任意に設定できること。		
4.2.36.86				・入力された評価結果(○・△等)をもとに、評価の参考となる合計点数が表示されること。		
4.2.36.87				・改善策の採用・不採用情報を入力できること。		
4.2.36.88				・採用された改善策の管理情報として、次の情報を入力・管理できること。「改善策の実施責任者」「実施期間」「実施後の評価」など。		
4.2.36.89				・改善策の評価・管理の一覧を印刷できること。		
4.2.36.90		是正管理機能		・報告されたレポートに対して、各部署管理者で是正管理書を作成できること。		
4.2.36.91				・是正管理画面では、是正情報、開始日付、評価日付等の項目を入力できること。		
4.2.36.92				・是正管理画面では、是正処置の実施・評価について、複数回(PDCA管理)入力管理できること。		
4.2.36.93				・対象レポートを参照しながら、必要な情報入力が行えること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.36.94				・医療安全管理者は是正一覧画面で、院内の各部署での実施状況を把握できること。		
4.2.36.95				・是正一覧画面から入力データをExcelファイル形式で出力できること。		
4.2.36.96				・是正一覧画面上にて、各是正管理にて入力されている評価日が近づいているデータをわかりやすく表示できること。		
4.2.36.97				・是正管理書を印刷できること。		
4.2.36.98		システムマスタ管理機能		・管理者のアカウント・パスワードは、システム画面内から容易にメンテナンスできること。		
4.2.36.99				・閲覧権限設定は、稼働後に柔軟に変更でき、院内管理者にて編集できること。		
4.2.36.100				・入力項目の必須・任意を設定できること。		
4.2.36.101		電子掲示板機能		・医療安全管理者が自由に書き込みができること。		
4.2.36.102				・閲覧対象者を全職員、所属部署、職種別、グループ別で指定できること。		
4.2.36.103				・動画を含めたファイルを添付できること。		
4.2.36.104				・掲示期間を設定できること。		
4.2.36.105		院内情報周知機能		・医療安全管理者は、所属部種別、職種別、個人別にて、掲示したファイルに対しての参照状況を確認できること。		
4.2.36.106				・周知対象者を全職員、所属部署、職種、グループ別で指定できること。		
4.2.36.107				・参照履歴はExcelファイル形式で出力できること。		
4.2.36.108				・院内周知期間を設定できること。		
4.2.36.109		任意テーマ報告機能		・日常業務における「気づき」や「業務改善」等の情報を、各利用者から医療安全管理者へ情報提供できること。		
4.2.36.110				・提供された情報に対して医療安全管理者から利用者にフィードバックできること。		
4.2.36.111				・未読・既読の管理ができること。		
4.2.36.112				・一覧画面から入力データをExcelファイル形式で出力できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4.2.36.113		レポート公開機能		・報告されたレポートは、医療安全管理者の判断で職員が閲覧可能な状態で公開できること。		
4.2.36.114				・公開対象者を全職員、所属部署、職種、グループなどで指定できること。		
4.2.36.115				・公開されたレポートは、自動で報告者名が匿名化されること。		
4.2.36.116				・公開期間を設定できること。		
4.2.36.117				・公開されたレポートを印刷できること。		
4.2.36.118				・公開されたレポートへ意見などコメント書込みができること。また、書き込まれた内容を管理者側で確認できること。		
4.2.36.119				・管理者が、公開対象者の閲覧状況を確認できること。		
4.2.36.120		医療事故調査制度対応		・医療事故調査制度に対応した入力フォームが用意されていること。		
4.2.36.121				・入力された情報を印刷できる機能を有すること。		
4.2.36.122				・入力された情報をExcelファイルへ出力できる機能を有すること。		
4.2.36.123		利用者マニュアル		・利用者マニュアルを添付し、ダウンロードして参照・利用できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
4.2.37	感染管理システム					
4.2.37.1				・システムへのログインはユーザIDとパスワードにより認証できること。		
4.2.37.2				・本システムは、当院が導入を予定している電子カルテ端末に相乗りできること。		
4.2.37.3				・報告された情報はリアルタイムで一覧表示画面に表示できること。		
4.2.37.4				・報告できる種類は「感染症報告」「インフルエンザ報告」「針刺し・切創報告」「皮膚粘膜汚染報告」「針刺し・切創報告(手術部門用)」「皮膚粘膜汚染報告(手術部門用)」「手指衛生遵守状況チェックシート」の7種類であること。		
4.2.37.5				・一覧表示画面で、何が発生しているかを確認できること。		
4.2.37.6				・一覧表示画面では、全報告一覧と個別の一覧と切り替えて表示できること。		
4.2.37.7				・報告された情報の一覧表示機能を有し、報告されたレポートを絞り込んで表示できること。		
4.2.37.8				・報告されたレポート内容を印刷できること。また、1報告がA4用紙1枚に印刷できること。		
4.2.37.9				・感染管理者は、随時レポートは修正できるが、報告者本人は報告済みのレポートは修正できないこと。なお、参照・印刷は可能であること。		
4.2.37.10				・「感染症報告」および「インフルエンザ報告」では、レポートを報告する際に、同じ発症者の報告が提出されているかどうかの「重複チェック」機能があること。		
4.2.37.11				・集計データは市販のソフトウェア(Excel等)へファイル出力が可能であること。		
4.2.37.12				・管理者の一覧画面に表示される項目は、項目(列)単位で並び替え(昇順・降順)が可能であること。		
4.2.37.13				・集計されたレポートに対して、「期間」や、「疾患名」「報告部署」等の項目を対象条件に設定した検索ができること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕 様	コメント	実現性
4.2.37.14				・「針刺し・切創報告」「皮膚粘膜汚染報告」「針刺し・切創報告(手術部門用)」「皮膚粘膜汚染報告(手術部門用)」については、日本版エビネットに準拠した入力項目があること。		
4.2.37.15				・「針刺し・切創報告」「皮膚粘膜汚染報告」「針刺し・切創報告(手術部門用)」「皮膚粘膜汚染報告(手術部門用)」には、管理者専用の画面および項目が用意されており、一般利用者からは見られないようになっていること。		
4.2.37.16				・「針刺し・切創報告」「皮膚粘膜汚染報告」「針刺し・切創報告(手術部門用)」「皮膚粘膜汚染報告(手術部門用)」には、未入力項目のチェック機能が備わっていること。		
4.2.37.17				・「手指衛生遵守状況チェックシート」では、「1.患者への接触前」「2.清潔操作の前」「3.血液・体液に暴露されたおそれのある時」「4.患者への接触後」「5.患者周囲環境への接触後」の各○×項目数を入力でき、かつ遵守率が自動計算されること。		
4.2.37.18				・感染管理部門から掲示板機能に自由に書き込みができること。		
4.2.37.19				・閲覧対象者を全職員、所属部署、職種別、グループ別で指定できること。		
4.2.37.20				・掲示期間を設定できること。		
4.2.37.21				・感染管理者は、院内周知機能によって、所属部種別、職種別、個人別にて、掲示したファイルに対しての参照状況を確認できること。		
4.2.37.22				・周知対象者を全職員、所属部署、職種、グループ別で指定できること。		
4.2.37.23				・参照履歴はExcelファイル形式で出力できること。		
4.2.37.24				・院内周知期間を設定できること。		

【佐久市国保浅間総合病院】 要求仕様書

No	分類	業務機能	機能区分	仕様	コメント	実現性
4	システム機能					
4.2部門システム						
01	血糖測定装置					
4.2.38.1		連携		・電子カルテと連携すること		
4.2.38.2				・既存医療機器と連携すること		

5 障害対策

5 障害対策

医療情報システムの障害対策として、必要最低限の機能を次に示す。

しかしながら、障害対策としては、医療情報システムを開発する際の基本的な姿勢に因るところが大きいことから、障害の発生を未然に防止するために必要な管理、監視体制及び対策、障害が発生した場合の復旧体制及び対応、また、障害の発生を想定したマニュアルの作成等について、病院と十分な協議を行うこと。

システムは十分な障害及び災害対策がなされており、病院業務に極力支障を来さずに保守・復旧ができること。

- (1) 予防保全として、サーバーに対して、「死活監視」「ディスク残量監視」「ハード障害検知」「バックアップの成否確認」「データベースタスクの成否確認」を毎日行い、障害、疑義が発生した場合、病院担当者への連絡を行うこと。または、簡易的に同内容の情報を病院担当者が確認できること。
- (2) サーバー機器は機器障害によるシステム停止を抑える構成で提案すること。障害復旧時間の短縮が図られている構成を提案すること。サーバー機器は、障害により交換が必要になった場合、特殊な場合を除いて3時間以内に保守部品を手配し、保守対応できること。
- (3) コアスイッチ～サーバースイッチ、コアスイッチ～フロアスイッチまでの経路は冗長化し、それぞれの経路をアクティブに運用させること。故障時の機器交換は再設定をするのではなく、外部メディアなどを利用して迅速に設定が出来るようにすること。
- (4) トラブル時の迅速な対応、原因究明を望む観点からも、特に基幹システム（電子カルテシステム（オーダーリング、看護支援機能を含む）、医事会計システム）に関しては、請負業者の直接サポートが可能なシステムであること。

電子カルテシステムは、瞬電時等において、端末の電源が不慮の事案で落ちた場合、再電源投入時に瞬電前の入力途中の状態に復元されること。

電子カルテ等のサーバー障害、ネットワーク障害時等の対応として、院内に参照用サーバーを設置し、障害時においてもカルテ内容が確認出来るようにすること。

プログラムの不具合については速やかに対処すること。（保守範囲内に含まれること。）
当院からのシステム障害連絡、仕様変更要求等に対して、速やかに回答を行うこと。

- (5) トラブル発生時の対応体制、及び運用のための教育体制を整備すること。

トラブル発生時における一次対応窓口を設けること。また、一次対応者はトラブル内容を検証できる請負業者のSEを充てること。

請負業者は、本調達において納入した全ての機器、ソフトウェア等に関して、アフターサービス、修理、部品等の提供、各種相談の受付等連絡窓口を一本化し、常時速やかに障害に対処できる体制を確保すること。

6 セキュリティ対策

6 セキュリティ対策

医療情報システムのセキュリティ対策として、「物理的な事故（停電、火事等）への対策」と「人為的な行為（不正アクセスやウィルス等）への対策」を提案すること。

提案する医療情報システムは、法令に保存義務が規定されている診療録及び診療諸記録を電子媒体に保存する場合の3原則（真正性、見読性、保存性）を満たすシステムとして、動作を保障できるシステムであること。

厚生労働省の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に記載している、必ず実施しなければならない事項（『C. 最低限のガイドライン』という）を満たすシステムであること。また、経済産業省の「医療情報を受託管理する情報処理事業者における安全管理ガイドライン」に準拠していること。

個人情報保護、データ保護の観点から個人認証の確立、アクセス制御、暗号復号技術等の十分なセキュリティレベルを保つことができるシステムであること。

(1) 個人認証

ア 利用者個人単位に利用者認証が行えること。

また、個人情報等の漏洩を防止するための対策が効果的に行われる機能を持つこと。

イ 利用者認証に用いられるパスワードは任意に変更可能なほか、セキュリティを考慮してパスワード有効期限を設定でき、有効期限が切れた場合は利用者に対しパスワード変更を促せること。パスワードの有効期限が切れた場合は、利用者自身がパスワードを変更することで継続して利用できること。パスワードは英数字、記号文字を組み合わせに対応していること。パスワードは利用者以外に知られないようにするため、暗号化してサーバで保存されること。

ウ 利用者認証のリトライ回数はシステム管理者が任意に設定できること。利用者認証時は、入力間違い等による再入力のリトライ回数を設定でき、設定されたリトライ回数を越えて入力を間違った場合は自動的にログイン不可能に出来ること。また、管理者によるパスワードリセットにより再度使用できること。

エ キー操作がない状態で一定時間経過後に操作不可の状態にできること。再度IDとパスワードを入力することで操作できること。一定時間の長さはシステム管理者が調整できること。

オ 利用者認証は、医療情報システムへシングルサインオンできること。ログイン情報は、電子カルテシステムにログイン者として反映されること。また、関連部門システムに引き継がれること。

(2) アクセス制限

- ア 各業務・利用者それぞれに病院で設定する制限レベルを設け、職種により使用可能な業務を限定できるようにすること。
- イ 利用者が権限を越える操作を行おうとしても、システム側でそれをチェックし、その操作を行えないように設定可能なこと。データ参照範囲・データ入力範囲に関するセキュリティレベルの設定が職種（医師、看護師等）に応じてできること。
- ウ 医療情報システムへのログイン・ログアウト及び主要な情報の参照・更新がログ情報として蓄積されること。
- エ 不正な利用を防止するため、各システムを利用する職員の登録を管理し、そのアクセスを制限することができること。
- オ ネットワークや可搬媒体によって情報を受け取る機能について、必要に応じてこれを限定できること。
- カ OS のシステム領域へのアクセス等を必要に応じて制限できること。
端末管理システムには、クライアントポリシー等を一括管理、コントロールに対応できる機能を備えること。
- キ カルテの閲覧・更新が可能な操作者は、VIP を患者ごとに設定できること。
VIP 患者の設定は対象ユーザに対し容易にできること。

(3) データの改ざん防止

- ア 電子カルテシステムは、厚生労働省の通達にある通り、診療記録としての真正性を保証する必要がある、その為の過去データの改竄防止策を講じること。
カルテを参照及び電子カルテシステムから帳票を出力した際に、アクセスログを取得する仕組みがあること。
- イ オーダ・実施履歴等のデータについては、入力者・操作日時を記録し、改ざんされた場合は、データを分析できること。

(4) ウィルス対策

- ア 記憶媒体を経由してのウィルスに対して防御できること。また、システム全体に最新の情報を基に定期的にウィルスチェックを行えること。医療情報システムで導入するウィルス対策ソフトは、サーバーや全ての機器が対象になりパターンファイルの自動更新が可能なこと。
- イ USB ポート等を物理的または論理的に遮蔽し、ウィルスの持ち込みを避ける他、情報漏洩の危険を防護すること。USB ポートを使用する各種メディア装置への入出力制限が掛けられ、登録許可したメディア以外は使用できない

こと。

ウ ウィルスチェック・駆除ソフトは請負業者が用意すること。

(5) 無線LANのセキュリティ

ア 無線LANは医療情報システムのネットワークへの不正侵入や個人情報の漏洩などの危険性があるため、セキュリティを確保すること。

イ セキュリティを確保する方法として認証方法、通信の暗号化に留意すること。

(6) その他

ア サーバー、端末、プリンターその他周辺機器は持ち出し対策として、家具・什器などに固定できるなど対策を講ずることができること。また、院内の利用端末、往診用の端末が盗難にあった場合等、端末からの情報漏洩が無い仕組みであること。

イ 提案する医療情報システムは、十分なセキュリティ機能を搭載することを条件に、外部ネットワーク（厚生労働省の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」最新版に準拠した）を通じて、当院で診療情報を登録・参照等、共有できること。また、連携する診療所で診療情報を参照等、共有できること。

ウ ISO/IEC27001(情報セキュリティマネジメントシステム)の資格を取得していること。プライバシーマーク使用許諾事業者であること。

7 導入計画

7 導入計画

(1) 基本方針

医療情報システム及び院内の LAN を介して接続されている全ての医療情報システム・医療機器が安定稼働し、システム間の通信が確実に行われるようシステムの構築を行うこと。

ネットワーク構築、ハードウェア仕様調達作成、運用フロー、障害・セキュリティ対策、リハーサル等において人員の配置、品質の確保等を十分に考慮し、設定したスケジュールの上でプロジェクト管理を実施すること。

(2) 導入（稼働）スケジュール

医療情報システムの導入に要する業務を各段階に分類し、令和2年8月1日を稼働とした、各段階の詳細なスケジュールを立案すること。

導入期間は、契約締結日より令和2年8月31日（本稼働1か月後まで）とすること。

導入段階ごとに、工程名称、工程期間、工程の目的、工程管理項目、定例報告、レビュー予定を明記すること。

ハードウェア設置時期、ネットワーク工事時期、テスト期間、業務並行テスト期間、検収テスト、ユーザー教育等について、その時期を明記すること。

また、次年度から南棟の改築工事が予定されています。工事に併せ導入計画などを当院と協議しながら進めること。

(3) 導入段階ごとの業務内容及びサポート体制

ア プロジェクト体制について

病院における医療情報システムの導入を十分に経験した専門チームを配置すること。当院と打ち合わせの上、導入業務を行う。現状のヒアリング及び運用の見直しを行うこと。

請負業者はサポート体制・導入スケジュール・担当要員の配置予定表と経験の概要を提出すること。

また、導入中はもちろんシステム稼働後も病院職員が業務に習熟する間、担当要員により適宜説明会を開催して十分にサポートを行うこと。

イ 教育研修について

請負業者は、病院職員に対して、システムを稼働させるために必要な教育及び端末操作の訓練を請負業者の負担において行うこと。

また、これに必要なマニュアル・教材・操作手引書などの作成、提出についても業務の範囲とする。教材及び手引書は全て日本語で記載し、病院に

CD等媒体を提出すること。

ウ マスタ作成支援、文書等作成支援について

システム導入時に必要となる各種マスター及び文書等の作成については、病院職員の負担を最小限にとどめ、日常業務に支障を来さないようにすること。マスター作成においては職員のサポートを十分に行うこと。

エ テストについて

設置する機器の接続テスト、機能テスト及びプログラムテストは、必ず病院職員の立会いのもとで行い、その評価を受けること。プログラムのテストランに使用するデータは、病院の提供するものを用い、実際の稼動に適切なプログラムであるかどうか確認すること。

オ 本稼働について

システムの稼動は、病院の確認及び許可により行うこと。

カ 定例会について

請負業者は、あらかじめシステム導入にかかわるスケジュールを病院に提示した上、導入の進捗状況を月1回以上の定例会において当院へ報告すること。

キ 検収について

- ・システム導入の個別契約書を作成する際にシステム検収期間・システム化の範囲等・PMの役割等について明記する。
- ・医療情報システムチェックリストを事前に作成して、請負業者が検収期間に必ずリストに従い実施し、ユーザーはリストに沿って確認を行う。

ク その他

医療情報システム稼動までに、医療情報システム運用計画書及び医療情報システム利用規定等の作成を支援し、医療情報システムの運用を管理できるようにすること。

保守サポートは、本稼働日から可能な体制を組むこと。

8 移行計画

8 移行計画

浅間総合病院で使用している既存の医療情報システムの全てのデータの所有権は病院側にあるものとする。

また、既存の医療情報システムのデータは、新システムにおいても利用できるように請負業者側の責任と負担で移行すること。また、移行に必要な関連業務についても同様とする。

なお、将来、他システムへのデータ移行の必要性が発生した場合は、病院側に全面的に協力するものとする。

(1) 移行計画

移行対象業務ごとに移行計画を立案すること。移行計画については、提案前に当院に提示し、内容について了承を得ること。

(2) 移行対象業務

ア 移行対象業務の範囲

移行対象業務の範囲は、3の医療情報システム更新範囲（1）対象業務範囲によるものとする。

イ 移行対象データ

移行対象データは（4）のとおりとする。

(3) 移行対策業務分担及びサポート体制

業務分担 ●:業務実施 ○:業務協力

業務名	内容	病院	請負業者
マスタ設定 (各科)	・マスタ(案)の作成	○	●
	・マスタの洗い出し	●	○
	・マスタの決定	●	○
	・マスタの作成	●	●
	・マスタの検査	●	○
移行計画	・移行方法(案)の作成	○	●
	・移行方法(案)の検討	●	○
	・移行方法の決定	●	○
	・移行計画書(案)の作成	○	●
	・移行計画書(案)の検討	●	○
	・移行計画書の作成	○	●
	・移行計画書の決定	●	○
データ移行	・移行対象データの洗い出し	●	○
	・移行対象データの検討	●	○
	・移行対象データの決定	●	○
	・移行対象データの実施	○	●
	・移行データの検証	●	○

ア 各種マスタ作成（病名マスタ、薬剤マスタ等）やデータセット（検査セット、処置セット等）作成などシステム構築において基本となるデータの作成については、請負業者が情報提供及び支援を行うこと。

イ マスタデータの作成は請負業者側の負担とするが、データ移行後は、当院職員でマスタの作成、管理が出来るように支援する。

なお、具体的な移行対象、方法等については、当院と協議のうえ決定する。

(4) 移行対象データ

業務種別	対象データ	業務種別	対象データ	
マスタ情報	診療科マスタ	患者プロフィール情報		
	病棟マスタ	カルテ情報	カルテ記事情報	
	病室マスタ		医師記録	
	ベッドマスタ		オーダー記録	
	薬剤マスタ		看護記録	
	処置マスタ		コメディカル記録	
	手術マスタ		シエマ情報	
	検体検査マスタ		文書ファイル ①レポートリスト	各種報告書
	輸血検査マスタ	同意書		
	細菌検査マスタ	手書きスキャン文書		
	病理検査マスタ	バイタル情報		
	生理検査マスタ	実施情報		
	内視鏡検査マスタ	②ファイルメーカ文書		
	放射線マスタ			
	食事マスタ	予約情報	診療予約情報	
	リハビリマスタ		検査予約情報	
	病名マスタ		手術予約情報	
	看護マスタ		検査予約情報	
	点数マスタ	各種オーダー	処方オーダー	
	職員マスタ		注射オーダー	
	・メッセージマスタ		レジメンオーダー	
	・コメントマスタ		処置オーダー	
	・用法・単位マスタ		検体検査オーダー	
	・傷病名マスタ		細菌検査オーダー	
	・診療行為マスタ		病理検査オーダー	
	・特定機材マスタ		放射線オーダー	
	・医薬品マスタ		生理検査オーダー	
	・統一点数マスタ		内視鏡検査オーダー	
	・標準マスタ (電算医薬品)		食事オーダー	
	・標準マスタ (個別医薬品)		リハビリオーダー	
	・クリニカルパスマスタ		栄養指導オーダー	
	・スケジュールマスタ		服薬指導オーダー	
	・アナムネ各種マスタ		輸血オーダー	
	・ケアプランマスタ		手術オーダー	
	・問題点マスタ		未来日オーダー	
	・住所マスタ		前回処方オーダー	
	・保険者マスタ		看護オーダー	
	・変換マスタ (レセ電)		検査結果データ	検体検査結果
	・オーダーセット		看護支援	看護記録
	・点数セットマスタ			看護バイタル情報
	・検査セットマスタ			看護問題情報
	・医師別画面セット			ケアプランデータ
	患者基本情報			看護必要度
	患者住所情報			看護日誌
	患者保険情報			勤務スケジュール
	患者公費情報	基本指示		
	患者公費限度額情報	フローシート		
患者労災保険情報	アナムネ			
患者保険パターン情報	D P C 情報	診療関連情報		
患者高額保健情報		コーディング情報等		
患者来院歴情報		D P C 履歴情報ファイル		
患者未収情報				
患者入退院履歴情報				
患者転科転棟履歴情報				
患者算定情報				
患者リハビリ算定情報				
患者病名情報				
患者コメント情報				
点数マスタの入力略称				
福祉受給者管理情報				
レセプト電算				
入院マスタカレンダー				
②セット関連				
医事会計				

9 運用計画

9 運用（保守）計画

(1) 運用（保守）体制及び業務内容

ア 医療情報システム担当者の支援。

情報システム全体に関する企画立案業務、保守・修繕業務、研修の実施等を一元的に行えるよう積極的な支援を行うこと。

イ 委員会等の支援

医療情報システム運用（保守）に係る委員会等の各種会議に出席し、医療情報システムの運用（保守）、企画、開発、改良作業に関する各部門間の調整等の積極的な支援を行うこと。

(2) 医療情報システムの運用（保守）

ア 24時間365日の運用（保守）

医療情報システムは、原則として24時間365日運用（保守）できる体制を整えることとする。24時間対応のコールセンターを設置し夜間、休日等運用（保守）担当者が不在の際であっても、円滑に対応できる運用（保守）管理体制と運用手続を確立すること。

イ システム保守等のための運用

医療情報システムの運用（保守）にあたりデータのバックアップ、医療情報システムの保守作業等により医療情報システムを停止しないこと。ただし、やむを得ず医療情報システムを停止しなければならない場合は、日常業務に影響を与えない時間帯を設定すること。

ウ 常駐保守

医療情報システムの運用（保守）をスムーズに行なうため、7年間の保守期間中サポート要員1名を常駐させること。作業内容は、電子カルテシステムの利用方法等、職員の操作指導に対応すること。また、データの抽出やマスタの設定等専門的知識を必要とする業務のサポート及び作業。また、当院職員がマスタの作成、管理が出来るように指導、支援をすること。なお、常駐時間は8時30分から17時15分までとする。

(3) ソフトウェアの保守・管理

ソフトウェアの保守・管理については、システム構築とは別に詳細を定めるものとする。主な内容は以下の通りとする。

ア 日常運用における業務支援を効率的に行なうためにすべてのシステムにおいてリモート環境を構築しサポートを行うこと。

イ ソフトウェアの故障及び障害時に、速やかに対応できる運用（保守）体制を整える。

(4) ハードウェアの保守・管理

ハードウェアの保守・管理については、システム構築とは別に詳細を定めるものとする。

ア 機器の正常な機能を保ち、業務に支障を来さないために、サーバハードウェアの異常については、24 時間監視する体制を持ち、サーバの障害状況を遠隔で監視し、障害時にはシステム担当者が当院に出動できること。障害発生時には、当院が指定するシステム担当者にも速やかに報告すること。

イ ハードウェアの故障及び障害時に、速やかに対応できる運用（保守）体制を整えること。

(5) 研修・教育の実施

当院職員に対し、医療情報システムの操作方法等についての研修を行うこと。また、個人情報等の漏洩を防止するため、十分な守秘義務教育も行うこと。毎年 4 月に新任医師及び看護師等への操作説明に 3 日間訪問すること。新任医師への操作説明用にマニュアルを納品すること。

(6) マニュアルの納品

マニュアルには、各システムの全ての操作方法が記載されていること。また、システムのバージョンアップ時には、バージョンアップしたマニュアルを納品すること。

マニュアルについては、全て操作画面から最新のマニュアルの呼び出しが出来ること。

1 0 機器構成

10 機器構成

(1) ハードウェア機器選定の基本方針

医療情報システムの更新時で、最適と思われる仕様及び機能を持ったハードウェアとミドルウェアを選定する。

次にそれぞれの基本的な性能を示す。

ア サーバー

- (ア) 日常業務においてアクセス数やデータ量がピークに達しても、レスポンス及び処理能力が低下しない仕様であること。
- (イ) 稼動後7年間はバージョンアップを行わずに日常業務に耐えられる十分なCPU性能、メモリ、ハードディスクを有していること。
- (ウ) 24時間365日稼動できること。
- (エ) ソフトウェアが要求するOS、DBMS(データベースマネジメントシステム)が搭載されていること。
- (オ) 医療情報システムで発生したデータの安全性(真正性、見読性、保存性)を技術的に保証できること。
- (カ) 無停電電源装置を設けること。
- (キ) 総合医療情報システムのプラットフォームとして仮想サーバーによる導入を前提とする。検査部門及び放射線部門のシステムは、FTサーバー又は仮想サーバーの導入を前提とし、配置場所は所管科とする。導入に必要なサーバーは本業務で調達すること。
- (ク) ラックマウントタイプのサーバーを採用する。
 - ・19インチサーバーラックを基本とする。
 - ・EIA規格に準拠すること。
 - ・耐震対策を施すこと。
- (ケ) フロントドア。
 - ・ラックの内部が見えるアクリル窓又はメッシュ仕様とすること。
 - ・着脱が容易にできること。
 - ・施錠が可能なこと。
- (コ) リアドア。
 - ・着脱が容易にできること。
 - ・施錠が可能なこと
- (サ) 引き出し式
 - ・ガイドレールに挿入して固定するコンソールドロア方式とすること

イ 端末

- (ア) 医療情報システムで使用する各端末は、それぞれの業務量を分析した上で、日

常業務においてアクセス数やデータ量がピークに達してもそのレスポンス及び処理能力が低下しない仕様の機器が対応可能であること。

- (イ) 画像を扱う端末に関しては、その表示性能が診療上障害にならない機器が対応可能であること。
- (ウ) 他のソフトウェア(例 画像ファイリングシステムなど)と同一端末で稼動できること。
- (エ) ソフトウェアは、市販のあらゆる種類の端末に対し障害が発生せず、かつ、機能低下せずに動作すること。
- (オ) 医療情報システムにおいて、あらゆるソフトウェアが他のソフトウェアに対し干渉せず又干渉を受けずに支障なく同時に動作し、かつ、機能低下しないこと。
- (カ) パソコンにインストールするソフトウェア等
Microsoft Office Standard ライセンス(プレインストールモデルは不可)
JustSystem ATOK 医学辞書
File Maker18 永続ライセンス
ウィルス対策ソフト
設置作業を含む

ウ その他周辺機器

- (ア) 医療情報システムで使用する各プリンターその他周辺機器は、それぞれの業務量を分析した上で、日常業務においてアクセス数やデータ量がピークに達してもそのレスポンス及び処理能力が低下しない仕様の機器であること。
- (イ) パソコン一式、プリンター、スキャナー及びペンタブレットについては、市内調達にて別途契約の予定ですが、事業規模を示すため参考見積りをする事。
- (ウ) 次の周辺機器については、本業務で調達すること。
 - ・バーコードリーダー 90 台
- (エ) 次のラベルプリンターは現在の機器が使用できること。
 - ・検体用ラベルプリンター (エプソン TML90E262)
 - ・注射他ラベルプリンター (エプソン TML90E211)
- (オ) 上記以外で、本業務で必要となる周辺機器がある場合は見積りすること。

(2) ネットワーク構築の基本方針

ア 基本方針

- (ア) 耐障害性、冗長性及び復旧時の迅速性を考慮し、診療業務を円滑に提供できる LAN を構築すること。
- (イ) 医療情報システムネットワークと院内ネットワーク(院内 LAN 系ネットワーク、独自 A 系ネットワーク、独自 B 系ネットワーク)を全て分離し、物理的に分割したネットワークを構築すること。医療情報システムネットワークはシステムダウンを防止するため冗長化すること。(基幹システムは FT サーバー又は仮想サーバーの導入を前提とする)
- (ウ) ネットワーク監視ツールを利用すること。障害発生時のアラートの通知方法等詳細については、当院と協議の上設定すること。
- (エ) ネットワークの考え方については、医療情報システムネットワークと院内イントラネットのセキュリティーの技術的な確保の方法及び公開 Web サーバー、メールサーバーの考え方及び仕様を含んだものとする。

下記事項を含める。

- a 公開 Web サーバーの通信プロトコルは TCP/IP を用いる。
 - b メールサーバーは POP3/SMTP プロトコルに対応する。
 - c 公開 Web サーバーについては SSL に対応可能な提案を行う。
 - d メールサーバーについてはパスワードを含めたセキュリティー機能を含める。
 - e ソフト・ハード両面からの障害対策の提案を行う。
 - f 対応コンテンツには最低限、HTML、JavaScript、CGI、Flash、CompactHTML 等を含むこととする。
- (オ) 障害時の解析および復旧を容易にするため、有線および無線のネットワーク機器は同一のベンダーの機器とすること。
 - (カ) 医療情報システムの配線及びネットワーク機器等については、医療情報システムを導入するのに影響が出ない範囲で、現在使用している機器を最大限利用すること。機器の入れ替えが必要な場合は、本仕様を満たす機器と入替を行うこと。なお、現在使用している機器を使用する場合は、【(2)-カ(ネットワーク機器仕様)】を満たさなくても良いこととする。

また、院内ネットワーク及び独自インターネットネットワークについては、本業務と関与しないことから、ネットワーク機器の入れ替えは原則行わないこと。必要な場合は、当院と協議の上入替を行うこと。技術提案の際は、入替の必要な機器の見積もりを含めること。

- (キ) 当院は、南棟改修を次年度に予定しているので、改修前にネットワーク機器等の回収を行うこと。また、南棟改修後にネットワーク機器等の再設置・再設定を行うこと。

イ 基本事項

(ア) 基幹系

- a 基幹系は、1階サーバー室に設置するセンタースイッチを中心としたスター型のギガビットイーサネットとすること。
- b センタースイッチの下にはエッジスイッチが接続され、センタースイッチとはギガビットイーサネットで接続すること。
- c センタースイッチは電源を二重化すること。

(イ) 支線系

- a 支線系にはエッジスイッチを設置し、端末やプリンターはこのエッジスイッチに接続すること。
- b エッジスイッチはセンタースイッチと接続すること。この間は、距離に応じて、60メートル以内の場合は UTP にて、それ以上の場合は、MMF にて接続する。また、各フロアのエッジスイッチは既存の MMF を最大限活用する構成とすること。
- c 医療情報システムネットワークのエッジスイッチからのアップリンクは二重化されたセンタースイッチまたは二重化されたネットワークインターフェイスカードでリンクアグリゲーション接続すること。
- d 端末やプリンターは 10/100/1000BASE-T のどちらでも接続可能なこと。

(ウ) その他

- a 医療情報システムネットワークのセンタースイッチは同時にトラフィックの処理が可能なアクティブ/アクティブ構成による二重化とし、病院全体やフロア全体が障害の影響を受けないようにすること。
- b 医療情報システムや医用画像システムで使用するデータやその手順等を十分考慮し、効率的な伝送が行えること。
- c 院内ネットワークにおいて V-LAN 機能を使用する場合、ルーティング処理はすべてセンタースイッチで実施すること。
- d 院内ネットワークは、佐久市地域イントラネットとの接続を行うこと。なお、接続詳細については佐久市広報情報課と協議をおこなうこと。
- e 無線 LAN コントローラーをセンター部分に設置し無線アクセスポイントを一括管理すること。また無線 LAN コントローラーの対障害性を考慮し二重化構成とすること。
- f 無線 LAN 設置箇所のエッジスイッチには、PoE 機能を有したスイッチを設置し、無線 LAN アクセスポイントに給電すること。
- g 無線 LAN 使用時、各種機器等と電波干渉しないよう自動チャネル配置および送信電力設定が可能な設計を行うこと。
- h 機器等の設置、設定については、必ず請負業者より設定値等の提案を行い当院と協議を行うこと。また、請負業者は既存 NW からの移行について協議事項が生じた場合、当院と協議し対応を行うこととする。

ウ 配線

(ア) 基幹系

- a 可能な限り既存の光ファイバーケーブル(MMF 50/125 μ m 短波長/長波長両用)を用いること。
- b 竣工後の増設や変更を行う際に、大規模な配線工事を要しない配線システムであること。
- c 配線管理は集中して行えること。また、各種スイッチとの接続が容易に確認できること。

(イ) 支線系

- a エッジスイッチから端末およびプリンターへのケーブルは既存の UTP ケーブル(カテゴリ5e 以上)を基本とするが、距離およびルートに応じては、STP ケーブルまたはカテゴリ6 を部分的に考慮すること。特に、1000BASE-T 接続箇所はカテゴリ6 を考慮すること。
- b 配線管理は集中して行えること。また、エッジスイッチとの接続が容易に確認できること。
- c 施工会社その他の運用サポート(年間保守契約)を受けることが可能なこと。

エ ネットワーク機器等に対する非常用電源

- (ア) 全てのネットワーク機器は、非常時及び災害時等に医療業務に障害が発生しないよう、請負業者が UPS を設置すること。

オ 機器の廃棄

- (ア) 従来機器は当院と協議の上で適切に廃棄すること。

カ ネットワーク機器仕様

1. 医療情報ネットワーク センタースイッチ

項目	仕様
パフォーマンス	<ul style="list-style-type: none"> バックプレーン容量:1.92Tbps 以上 スイッチングファブリック容量:768Gbps 以上。 パケット転送レート能力:570Mpps 以上。 10G モジュール(最大 96 ポート)を搭載可能なこと。 フラッシュメモリー:256MByte 以上。 MAC アドレスの登録可能数:32,000 個以上。
冗長	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク経路及びネットワーク機器の冗長化を行うこと。 制御部および電源部は冗長化とし故障等により片系に障害が発生しても継続したネットワーク動作が可能なこと。 (医療情報システムネットワークで1台構成の場合) 9 台までのスタック構成が可能なこと。 スタック接続ケーブルが完全に切断されてしまう障害が発生した場合に、複数の同一設定装置がネットワーク上に出現することになり、アドレス重複障害や通信障害が発生する。これを防ぐ機能を有すること。 10GbE/40GbE の標準規格インターフェース(例えば 10GBASE-SR や 40GBASE-LR4)にてスタック接続可能なこと。 スタック接続ケーブルに関して近距離はメタルケーブル、長距離は光ケーブルのように、どちらでも接続可能なこと。 Ethernet OAM のコネクティビティ OAM、サービス OAM (IEEE802.1ag)に対応していること。 Ethernet OAM のリンク OAM(IEEE802.3ah)に対応していること。
VLAN	<ul style="list-style-type: none"> ポートベース VLAN/IEEE 802.1Q タグベース VLAN。 プロトコル VLAN、IP サブネット VLAN に対応していること。 VLAN 登録数:4,094 個以上。
ループ検出	<ul style="list-style-type: none"> スパニングツリー機能を使用することなく、専用フレームによるループ検出・抑止機能を有し、ループしたポートを自動的に遮断することが可能なこと。 専用フレームを装置内の別のポートで受信するような状態であってもループを検出し、自動的にポートを遮断および復旧が可能なこと。 ループ検出時にはループ該当ポートをログ/トラップで管理者に通知が可能なこと。

ルーティング	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワイヤースピード/ノンブロッキングで以下のルーティングが可能なこと。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ スタティックルーティング ➤ RIP v1/v2 ➤ OSPF v2 ・ IPv4 ルート登録数: 96,000 エントリ以上。 ・ IPv6 アドレス付与、IPv6 ルーティング機能があること。
マルチキャスト	<ul style="list-style-type: none"> ・ IGMP v1/v2/v3。 ・ PIM-SM、PIM-DMに対応できること(本調達では不要)。
ポート認証	<ul style="list-style-type: none"> ・ クライアントを直接接続する際には下記の認証を必要とする設定ができること。 ・ HUB 経由で接続された場合でも、IEEE 802.1X 認証/Web 認証/MAC アドレスベース認証を同一ポート上で併用できること。 ・ 同一認証ポート配下に複数端末が接続された環境において、端末及びユーザー毎に同時に認証が可能なこと。 ・ ポートセキュリティ機能を有すること。 ・ すべての外部 RADIUS サーバーが無応答だった場合、認証ポートを認証成功とすることが可能であること。 ・ 1 ポートあたり最大認証端末数: 1024 <ul style="list-style-type: none"> 802.1x 認証/MAC アドレス認証:2,000 WEB 認証:1,000 ・ 1 筐体あたり最大認証端末数: 2048 <ul style="list-style-type: none"> 802.1x 認証/MAC アドレス認証:2,000 WEB 認証:1,000
トラフィック制御	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハードウェアでパケットをフィルターできること。
管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNMP/RMON 機能を有すること。 ・ NTP サーバ/クライアント機能を有すること。 ・ Telnet/SSH/FTP/TFTP/HTTP にて設定変更が可能なこと。 ・ FTP/TFTP にてファイル転送が可能なこと。
保守運用性	<ul style="list-style-type: none"> ・ USB を使用し、ファームウェアのバージョンアップや設定情報の Update が可能なこと ・ 装置前面にコンソールポート(RJ-45) があること
電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最大消費電力:1,500W 以下

2. 院内 LAN ネットワーク センタースイッチ

項目	仕様
ポート数他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10/100/1000BASE-T: 2ポート(Combo)以上 ・ SFP スロット: 24(Combo2ポート含む)以上 ・ SFP+スロット: 2以上
パフォーマンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ スイッチングファブリック: 72Gbps 以上 ・ パケット転送能力: 65.5Mpps 以上 ・ 10G モジュールを搭載可能なこと。 ・ フラッシュメモリー: 128MByte 以上 ・ MAC アドレスの登録可能数:16,000 個以上
冗長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電源冗長構成が可能なこと。
VLAN	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポートベース VLAN/IEEE 802.1Q タグベース VLAN ・ VLAN 登録数:4,094 個以上
ループ検出	<ul style="list-style-type: none"> ・ スパニングツリー機能を使用することなく、専用フレームによるループ検出・抑止機能を有し、ループしたポートを自動的に遮断することが可能なこと。 ・ 専用フレームを装置内の別のポートで受信するような状態であってもループを検出し、自動的にポートを遮断および復旧が可能なこと。 ・ ループ検出時にはループ該当ポートをログ/トラップで管理者に通知が可能
ルーティング	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワイヤースピード/ノンブロッキングで以下のルーティングが可能 <ul style="list-style-type: none"> ➤ スタティックルーティング ➤ RIP v1/v2 ➤ OSPF v2 ・ IPv4 ルート登録数: 96,000 エントリ以上
マルチキャスト	<ul style="list-style-type: none"> ・ IGMP v1/v2/v3 ・ PIM-SM、PIM-DMに対応できること
ポート認証	<ul style="list-style-type: none"> ・ クライアントを直接接続する際には下記の認証を必要とする設定ができること。 ・ HUB 経由で接続された場合でも、IEEE 802.1X 認証/Web 認証/MAC アドレスベース認証を同一ポート上で併用できること。 ・ 同一認証ポート配下に複数端末が接続された環境において、端末及びユーザー毎に同時に認証が可能なこと。 ・ すべての外部 RADIUS サーバーが無応答だった場合、認証ポートを認

	<p>証成功とすることが可能であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 ポートあたり最大認証端末数: 1024 1 筐体あたり最大認証端末数: 1024
トラフィック制御	<ul style="list-style-type: none"> ハードウェアでパケットをフィルターできること
管理	<ul style="list-style-type: none"> SNMP/RMON 機能を有すること NTP サーバ/クライアント機能を有すること Telnet/SSH/FTP/TFTP/HTTP にて設定変更が可能なこと
保守運用性	<ul style="list-style-type: none"> USB を使用し、ファームウェアのバージョンアップや設定情報の Update が可能なこと 装置前面にコンソールポート(RJ-45) があること
電源	<ul style="list-style-type: none"> 最大消費電力:56W 以下

3. 医療情報システムネットワーク用エッジスイッチ

項目	仕様
ポート数他	<ul style="list-style-type: none"> 10/100/1000BASE-T:48 ポート以上。 SFP スロット:2 つ以上。 (但し、10/100/1000BASE-T とのコンボポートでも可) ポート数が 1 台で足りない箇所のスイッチはスタックすること。 無線アクセスポイントを接続するエッジスイッチについては IEEE802.3af あるいは IEEE802.3at 準拠の PoE 対応のこと。
VLAN	<ul style="list-style-type: none"> ポートベース VLAN/IEEE 802.1Q タグベース VLAN。 VLAN 登録数: 256 個以上。
ループ検出	<ul style="list-style-type: none"> スパニングツリー機能を使用することなく、専用フレームによるループ検出・抑止機能を有し、ループしたポートを自動的に遮断することが可能なこと。 専用フレームを装置内の別のポートで受信するような状態であってもループを検出し、自動的にポートを遮断および復旧が可能なこと。 ループ検出時にはループ該当ポートをログ/トラップで管理者に通知が可能なこと。
スイッチング	<ul style="list-style-type: none"> IEEE 802.3ad Link Aggregation でセンタースイッチまたはセンタースイッチに搭載のネットワークインターフェイスカードと接続すること。
マルチキャスト	<ul style="list-style-type: none"> IGMP v1/v2/v3スヌーピング。
ポート認証	<ul style="list-style-type: none"> IEEE 802.1X 認証/Web 認証/MAC アドレスベース認証を同一ポート上で併用できること。

	<ul style="list-style-type: none"> 同一認証ポート配下に複数端末が接続された環境において、端末及びユーザー毎に同時に認証が可能なこと。 すべての外部 RADIUS サーバーが無応答だった場合、認証ポートを認証成功とすることが可能であること。 1 ポートあたり最大認証端末数: 256 802.1x 認証/MAC アドレス認証:2,000 WEB 認証:512 1 筐体あたり最大認証端末数: 256 802.1x 認証/MAC アドレス認証:2,000 WEB 認証:512
トラフィック制御	<ul style="list-style-type: none"> ハードウェアでパケットをフィルターできること
管理	<ul style="list-style-type: none"> SNMP/RMON 機能を有すること。 NTP サーバ/クライアント機能を有すること。 Telnet/SSH/FTP/TFTP/HTTP にて設定変更が可能なこと。 FTP/TFTP にてファイル転送が可能なこと。
設置条件	<ul style="list-style-type: none"> 19 インチラックに収容できること
保守運用性	<ul style="list-style-type: none"> USB マネージメントソフトウェアを使用し、ファームウェアのバージョンアップや設定情報の Update が可能なこと。 装置前面にコンソールポート(RJ-45) があること。 複数の設定ファイルを異なる名前で作成可能。また、それらを必要に応じて切り替えて使用することが可能なこと。

34. 院内ネットワーク用エッジスイッチ

項目	仕様
ポート数他	<ul style="list-style-type: none"> 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T:24 ポート以上 SFP スロット:2 スロット以上 (但し、10/100/1000BASE-T とのコンボポートでも可)
VLAN	<ul style="list-style-type: none"> ポートベース VLAN/IEEE 802.1Q タグベース VLAN/マルチプル VLAN VLAN 登録数:256 個以上
ループ検出	<ul style="list-style-type: none"> スパニングツリー機能を使用することなく、専用フレームによるループ検出・抑止機能を有し、ループしたポートを自動的に遮断することが可能なこと。 専用フレームを装置内の別のポートで受信するような状態であってもループを検出し、自動的にポートを遮断および復旧が可能なこと。

	<ul style="list-style-type: none"> ループ検出時にはループ該当ポートをログ/トラップで管理者に通知が可能
マルチキャスト	<ul style="list-style-type: none"> IGMP v3スヌーピング
ポート認証	<ul style="list-style-type: none"> IEEE 802.1X 認証/Web 認証/MAC アドレスベース認証を同一ポート上で併用できること。 同一認証ポート配下に複数端末が接続された環境において、端末及びユーザー毎に同時に認証が可能 すべての外部RADIUSサーバーが無応答だった場合、認証ポートを認証成功とすることが可能であること。 1ポートあたり最大認証端末数：256 1筐体あたり最大認証端末数：256
管理	<ul style="list-style-type: none"> SNMP/RMON 機能を有すること NTP サーバ/クライアント機能を有すること Telnet/SSH/FTP/TFTP/HTTP にて設定変更が可能なこと
設置条件	<ul style="list-style-type: none"> 19 インチラックに収容できること
保守運用性	<ul style="list-style-type: none"> 複数の設定ファイルを異なる名前で保存可能なこと。また、それらを必要に応じて切り替えて使用することが可能なこと

45. 無線 LAN コントローラスイッチ

項目	仕様
一般機能	<ul style="list-style-type: none"> マネージメントソフトウェアにて複数の無線コントローラを一元管理できる機能をサポートすること。 複数の AP 間をローミングに対し再認証が発生しない機能を有すること。 ユーザ及びロールベースのアクセスコントロールが可能なこと。 利用制限を可能とする帯域契約機能をサポート可能なこと。 ケーブル誤接続等により、誤ってループ状態が構成された場合に自動的にポートをブロックしブロードキャストストームを防止する機能（ループ検出機能）を有すること。 2 台までのスタック接続が可能なこと。 1GbE/10GbE の標準規格インターフェース(例えば 10GBASE-SR)にてスタック接続が可能なこと。 スタック接続ケーブルに関して近距離はメタルケーブル、長距離は光ケ

	<p>ーブルのように、どちらでも接続可能なこと。</p>
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 機器認証/ユーザ認証 (802.1x 認証、MAC 認証、Web 認証) が可能なこと。 ▪ IEEE 802.1X 認証/Web 認証/MAC アドレスベース認証。 ▪ WPA2-AES(CCMP)。 ▪ 不正 AP 検出、不正アクセス端末検出クライアントなりすまし攻撃検出。 ▪ MAC フィルタリング。 ▪ ESSID 隠蔽。 ▪ ANY 接続拒否。 ▪ 無線 LAN スイッチ配下のクライアント間通信禁止。
チャンネル設計	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 集中又は分散構成機能が、AP の配置を自動化し最適な送信電力とチャンネル調整を実現できること。 ▪ 複数アクセスポイント間のロードバランスが可能であること。 ▪ 干渉検知及びカバレッジホール検知が可能であること。 ▪ 自動不正アクセスポイント検知 AP なりすまし検出が可能であること。
VLAN	<ul style="list-style-type: none"> ▪ ESSID ごとに VLAN マッピングが可能 (IEEE 802.1Q タグベース VLAN) ▪ ESSID 登録数:1631 個以上。 ▪ 最大 4,094 の VLAN を同時にタグ VLAN で通信可能なこと。
管理	<ul style="list-style-type: none"> ▪ SNMP 機能を有すること。 ▪ 無線トラフィックをモニター確認できる機能を有すること。 ▪ NTP クライアント機能を有すること。 ▪ Telnet/SSH/FTP/TFTP/HTTP にて設定変更が可能なこと。 ▪ FTP/TFTP にてファイル転送が可能なこと。 ▪ マネージメントポート(運用ネットワークに影響を与えることなく、ファームウェアや設定ファイルを転送したり、SNMP で情報を取得する目的で使用する管理用 Ethernet ポート)を標準搭載すること。 ▪ 通信パケットのパケットフィルタ機能を有すること。
保守運用性	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Web ベースの設定、管理が可能なこと。 ▪ SNMP/RMON 機能を有すること。 ▪ NTP サーバ/クライアント機能を有すること。 ▪ Telnet/SSH/FTP/TFTP/HTTP にて設定変更が可能なこと。 ▪ FTP/TFTP にてファイル転送が可能なこと。
環境条件	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 動作時温度:0~4045℃。 ▪ 動作時湿度:10~90%以下(結露なきこと)。

	<ul style="list-style-type: none"> 19 インチラックに収容が可能であり、搭載金具が標準添付であること。
--	--

56. 無線アクセスポイント

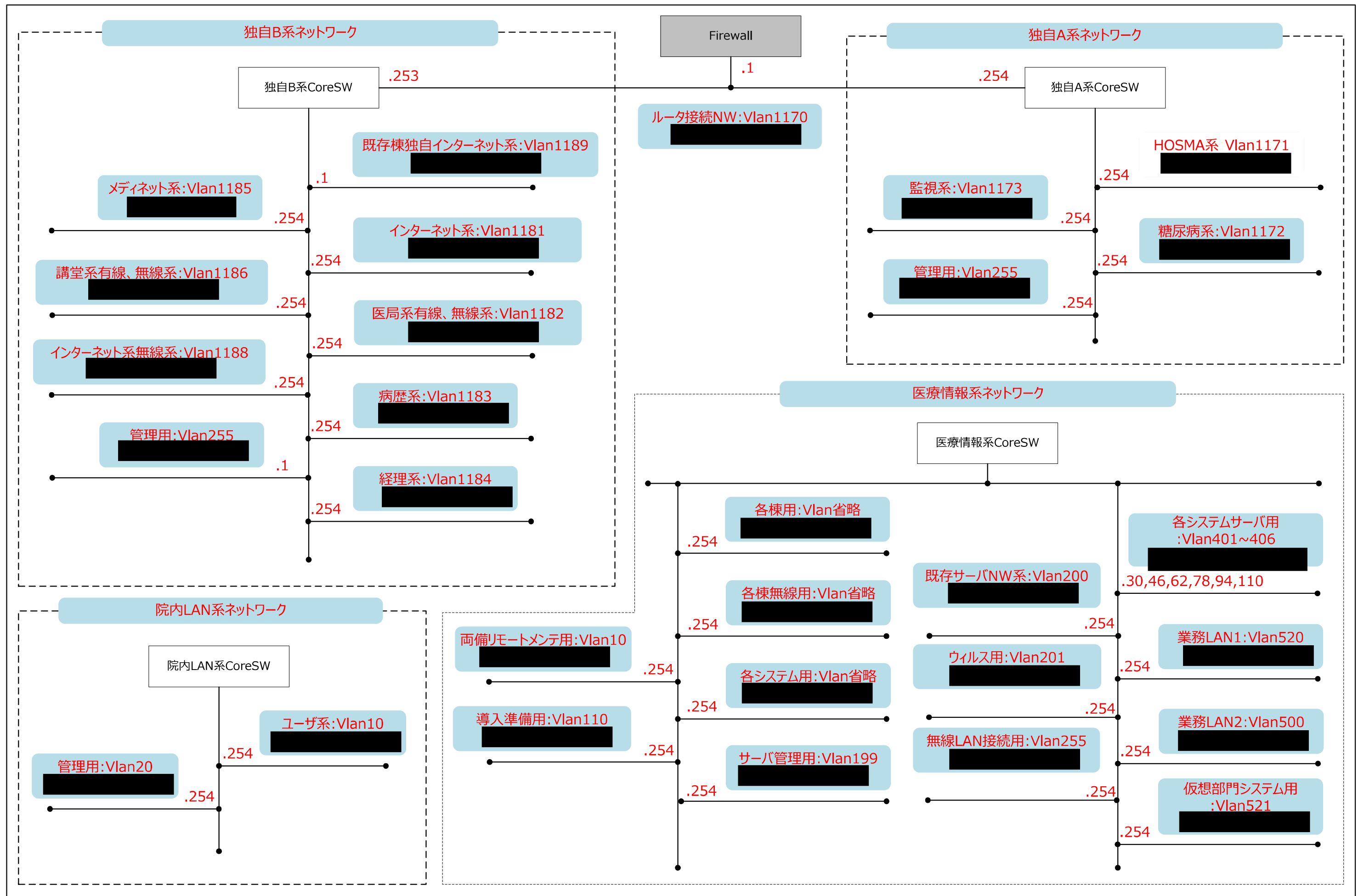
項目	仕様
無線部	<ul style="list-style-type: none"> IEEE802.11a/b/g/n/ac (wave2)。 同時に 2.4G/5G 帯域のチャンネルを使用できること。
有線部	<ul style="list-style-type: none"> PoE-IN(受電) ×1。 PoE は IEEE802.3af または IEEE802.3at に準拠していること。
保守運用性	<ul style="list-style-type: none"> 無線セキュリティに関する設定情報を持たないこと
環境条件	<ul style="list-style-type: none"> 動作時温度: 0~50/45℃。 動作時湿度: 010~90%以下(結露なきこと)。

67. マネージメントソフトウェア

項目	仕様
動作環境	<ul style="list-style-type: none"> 対応 OS: Windows XP/2003/Vista/2008/710Pro (64bit 版)、Windows Server 2016。
ネットワーク構成表示	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークの構成要素(サブネット、デバイス、ポートなど)をツリー形式で階層的に表示可能なこと。 アイコンにより、各要素の種類や状態を一目で確認でき、周期監視も可能なこと。 有線・無線 LAN のクライアントの情報を一括表示でき、各クライアントの情報を確認できること。
自動探索機能	<ul style="list-style-type: none"> 指定したサブネット内のデバイスを自動的に探索し、各機器搭載の MIB 情報を収集・解析してネットワーク構成ツリーの作成管理対象として追加が可能なこと。 ホスト名や IP アドレスを指定することにより、手動で構成要素を追加することが可能なこと。
マップ機能	<ul style="list-style-type: none"> マップ形式トポロジマップでネットワーク構成を表示するマップ機能に対応可能なこと。 監視が必要な機器を選んでマップを作成し、アイコンの色によって状態を監視可能なこと。 管理対象機器間のリンクに使用されているインターフェース番号をトポロジマップに表示できる機能を有すること。
しきい値設定	<ul style="list-style-type: none"> 任意の統計情報にしきい値を設定し、しきい値を超えた場合に各種アクシ

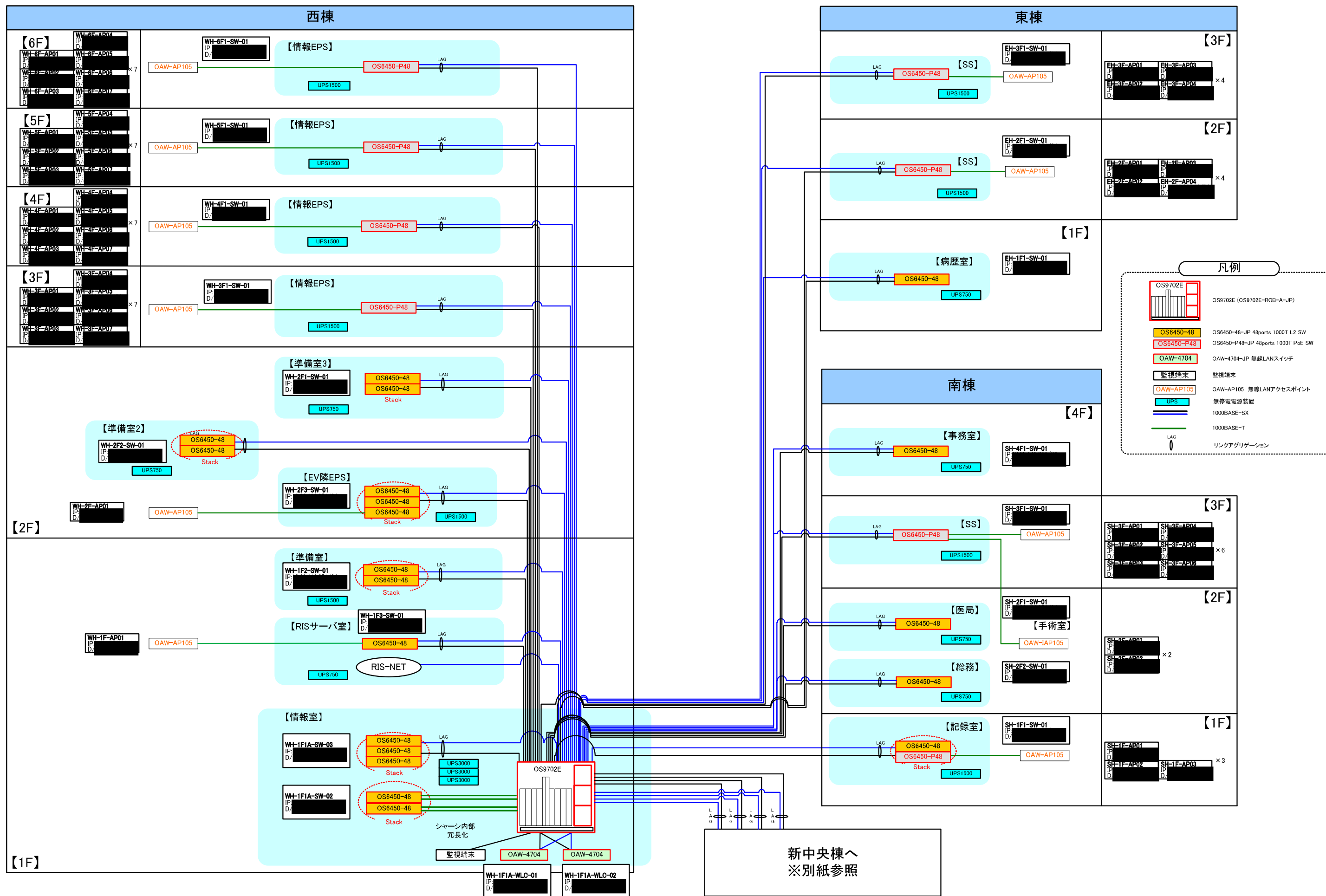
機能	<p>オン(メール送信、ポップアップ、外部コマンド)を実行させることが可能通知する機能を有すること。</p>
イベント管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監視機器の状態変化、アラーム、またはトラップなどのイベントを記録し、ログとして履歴管理が可能なこと。 ・ 標準的なネットワーク管理プロトコル(SNMP、Syslog、trap など)を使用し、管理運用が可能なこと。 ・ イベント発生時にメール送信やポップアップ、ユーザー指定コマンド実行などのアクションを実行し、管理者へイベントを通知可能なこと。 ・ 管理対象機器の情報を収集/蓄積し、レポートを作成する機能を有すること。
設定管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数L2スイッチをグループ化する機能を有しており、VLAN、優先制御、アクセスフィルタ設定を WebGUI により一括管理できること。
障害復旧	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理対象機器のコンフィグ情報をバックアップし、障害発生時に交換機器に適用する機能を有すること。 ・ L2 スイッチ故障の場合は、代替機に事前に設定をすることなく交換できる機能を提供すること。
パネル ウィンドウ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監視デバイスの機器パネルを模した「パネルウィンドウ」を表示し、ポートの通信状態、LED の表示、機器の管理名などの情報を一目で把握可能なこと。 ・ ポートやボタンの絵をクリックすることで、より詳しいポート情報を表示可能なこと。
RMON	<ul style="list-style-type: none"> ・ RMON(4 グループ:Statistics、History、Alarm、Event)をサポート。
トラフィックの 管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 送受信パケット数やエラーパケット数などの統計情報を、棒グラフや折れ線グラフ、表(テーブル)形式で表示でき、統計情報をファイルに保存することも可能なこと。
無線 LAN シミュレーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 任意のフロア図面を取り込み、電波状況、使用チャネルについて無線 LAN アクセスポイント設置に関するシミュレーションができること。

(3) ネットワーク系統図

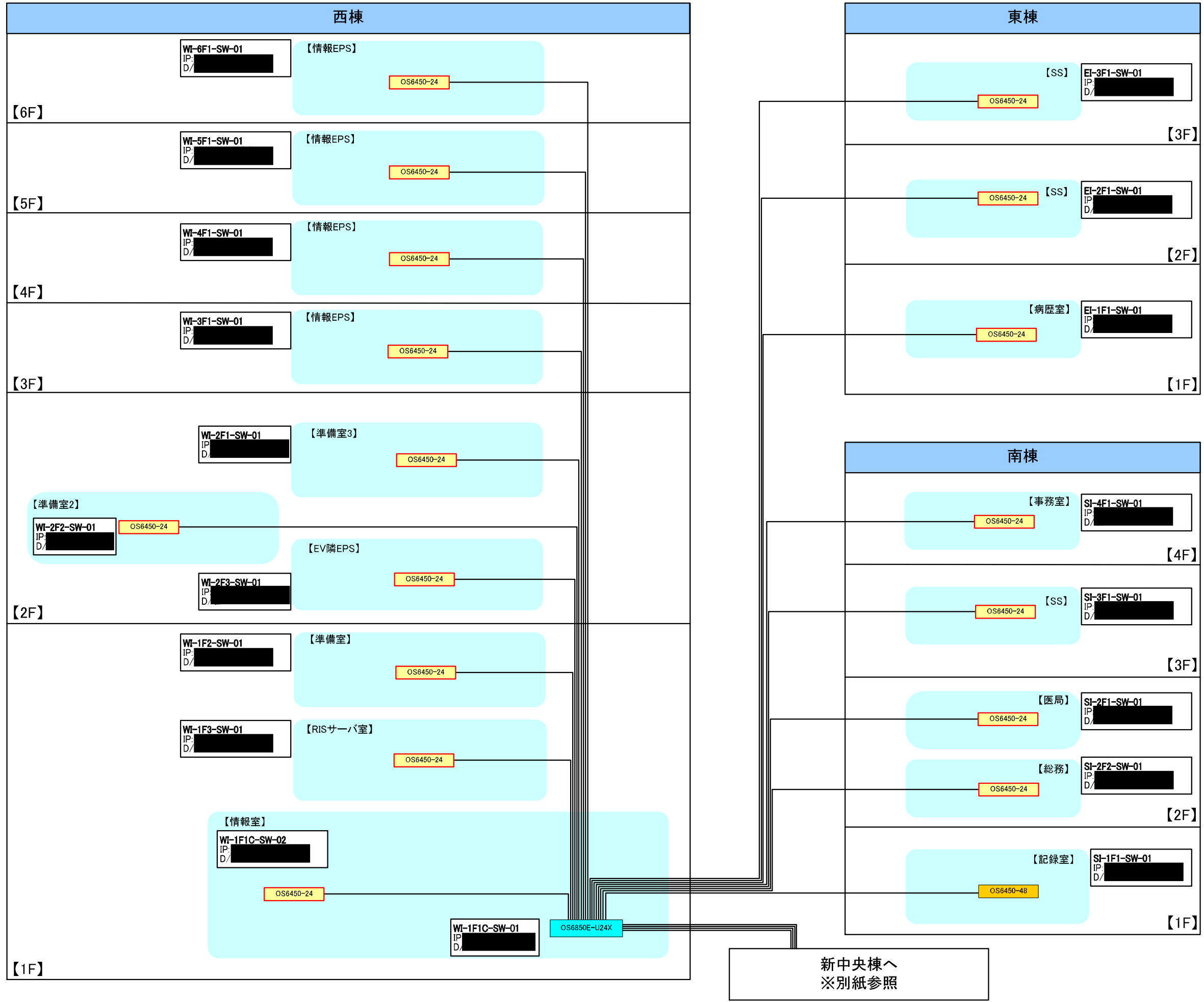


(4) 医療情報ネットワーク系統図

佐久市立国保浅間総合病院様 医療情報系ネットワーク構成図



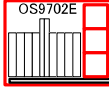


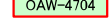
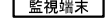


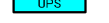
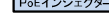



佐久市立国保浅間総合病院様 院内LANネットワーク構成図



凡例

	OS6850E-U24X OS6850E-U24X 22port SFP +2port SFP/1000T 24ポート
	OS6400-24 OS6450-24-JP 24ports 1000T L2 SW
	OS6400-48 OS6450-48-JP 48ports 1000T L2 SW
	1000BASE-SX
	1000BASE-T

凡例

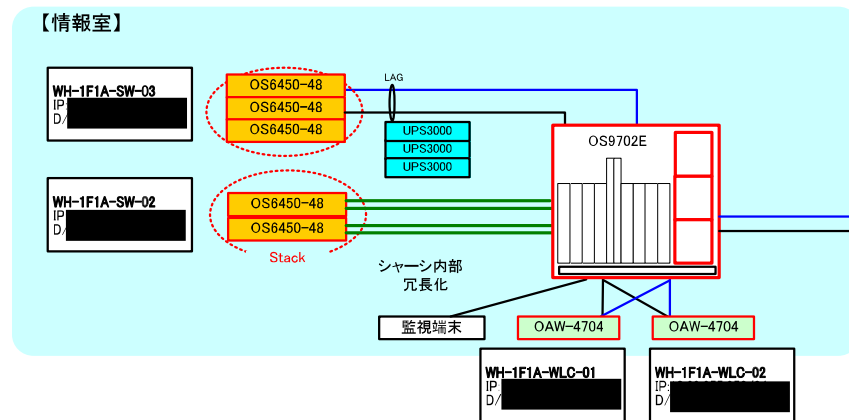
-  OS9702E (OS9702E-RCB-A~JP)
-  OS6450-48 OS6450-48-JP 48ports 1000T L2 SW
-  OS6450-P48 OS6450-P48-JP 48ports 1000T PoE SW
-  OAW-4704 OAW-4704-JP 無線LANスイッチ
-  監視端末 監視端末
-  OAW-AP215 OAW-AP215 無線LANアクセスポイント
-  OAW-AP105 OAW-AP105 無線LANアクセスポイント
-  UPS 無停電電源装置
-  PoEインジェクター PoEインジェクター
-  1000BASE-SX
-  1000BASE-T
-  LAG リンクアグリゲーション

西棟

【2F~6F】

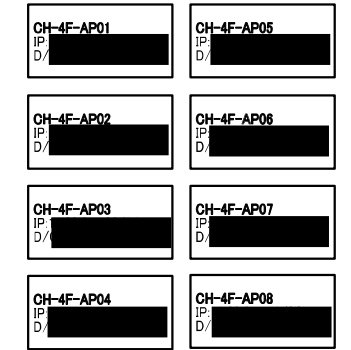
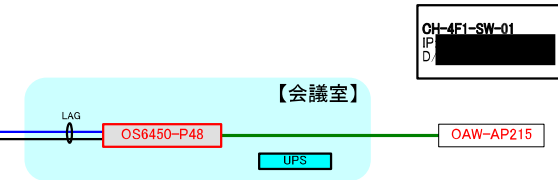
省略

【1F】

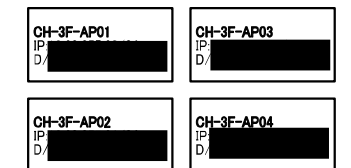
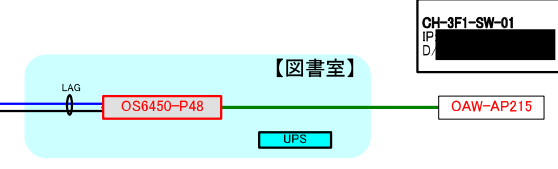


新中央棟

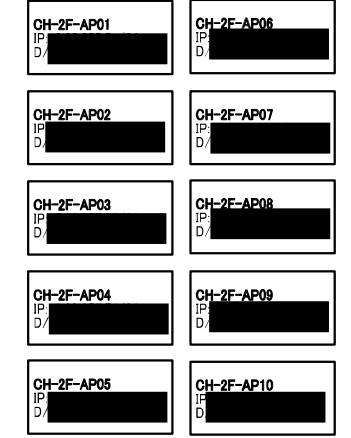
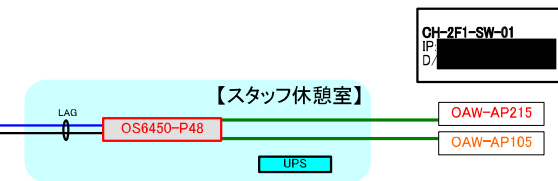
【4F】



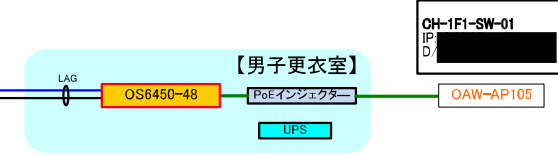
【3F】



【2F】



【1F】



凡例

OS6850E-U24X OS6850E-U24X 22port SFP +2port SFP/1000T対応モデル

OS6450-48 OS6450-48-JP 48ports 1000T L2 SW

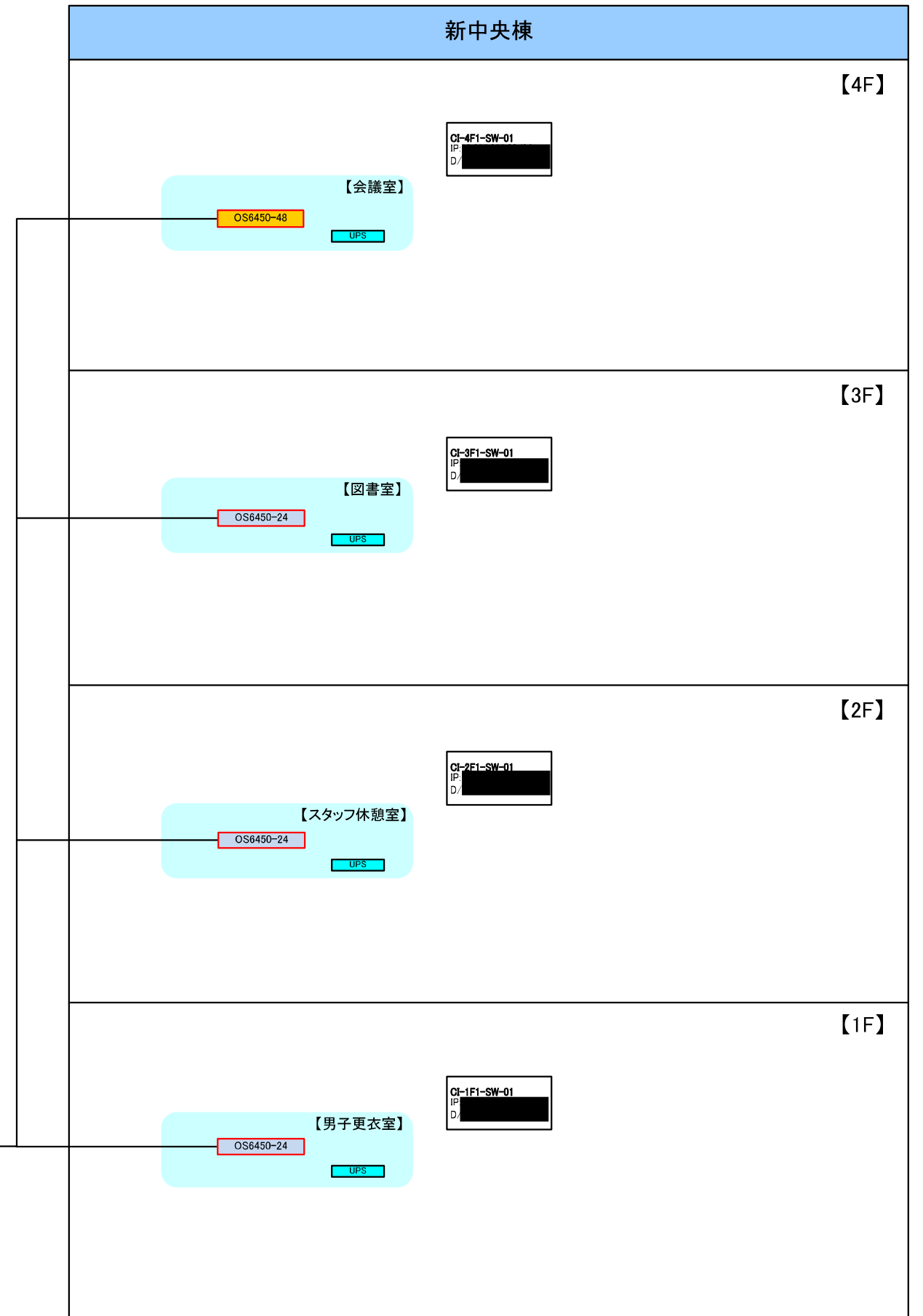
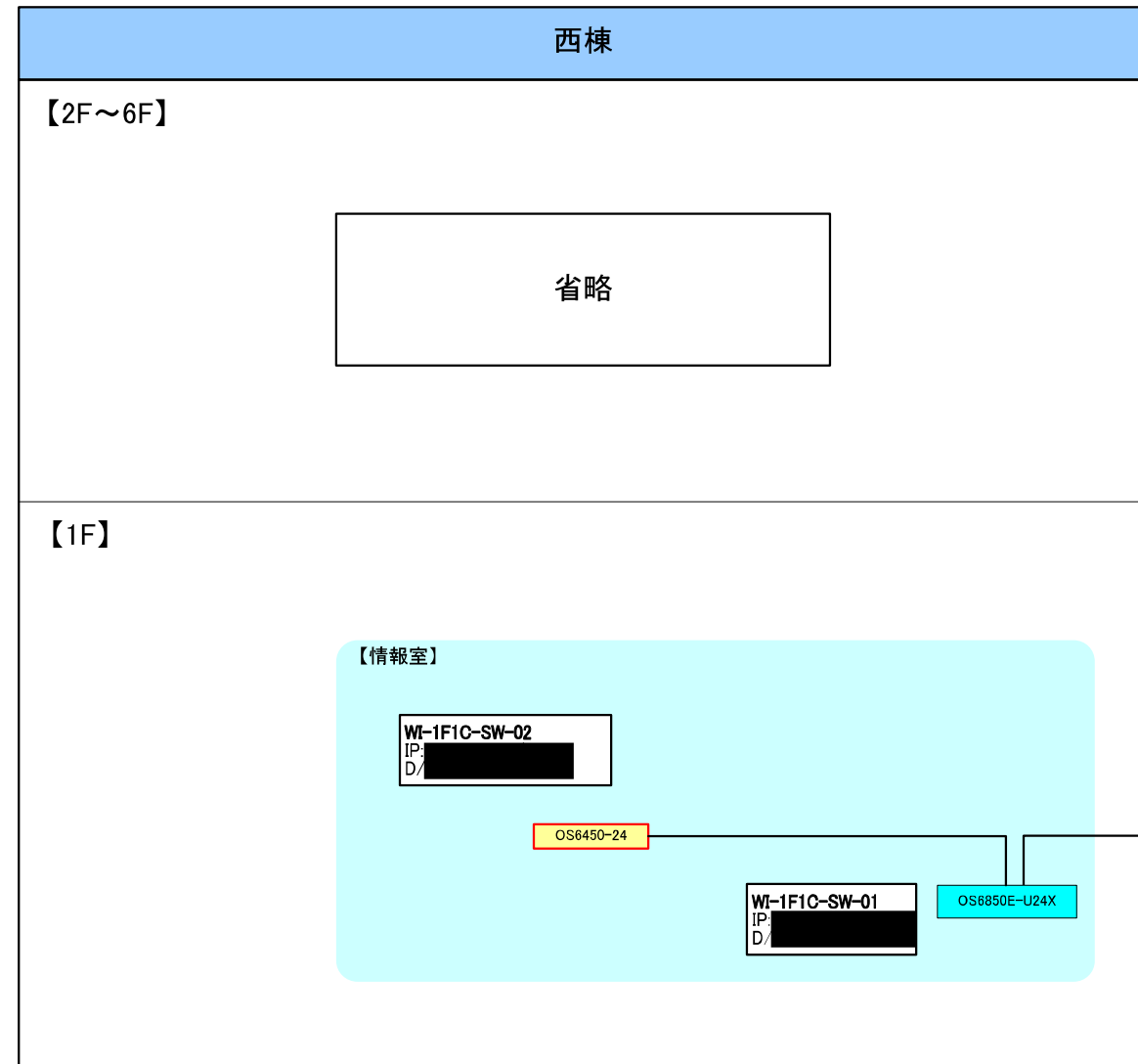
OS6450-24 OS6450-24-JP 24ports 1000T L2 SW

OS640-24 OS6450-24-JP 24ports 1000T L2 SW

UPS 無停電電源装置

1000BASE-SX

1000BASE-T



凡例

- OS6850E-U24X OS6850E-U24X 22port SFP +2port SFP/1000Tコネクタポート
- OS6450-48 OS6450-48-JP 48ports 1000T L2 SW
- OS6450-24 OS6450-24-JP 24ports 1000T L2 SW
- YAMAHA NVR510 他社製導入機器
- UPS 無停電電源装置
- 1000BASE-SX
- 1000BASE-T

西棟

【2F~6F】

省略

【1F】

【情報室】

YAMAHA NVR510

WA-1F1B-SW-01
IP: [REDACTED]
D: [REDACTED]

OS6450-U24

新中央棟

【4F】

【3F】

【2F】

【スタッフ休憩室】

OS6450-24

UPS

CA-2F1-SW-01
IP: [REDACTED]
D: [REDACTED]

【1F】

【男子更衣室】

OS6450-24

UPS

CA-1F1-SW-01
IP: [REDACTED]
D: [REDACTED]

凡例

OS6850E-U24X OS6850E-U24X 22port SFP +2port SFP/1000Tコネクタポート

OS6450-48 OS6450-48-JP 48ports 1000T L2 SW

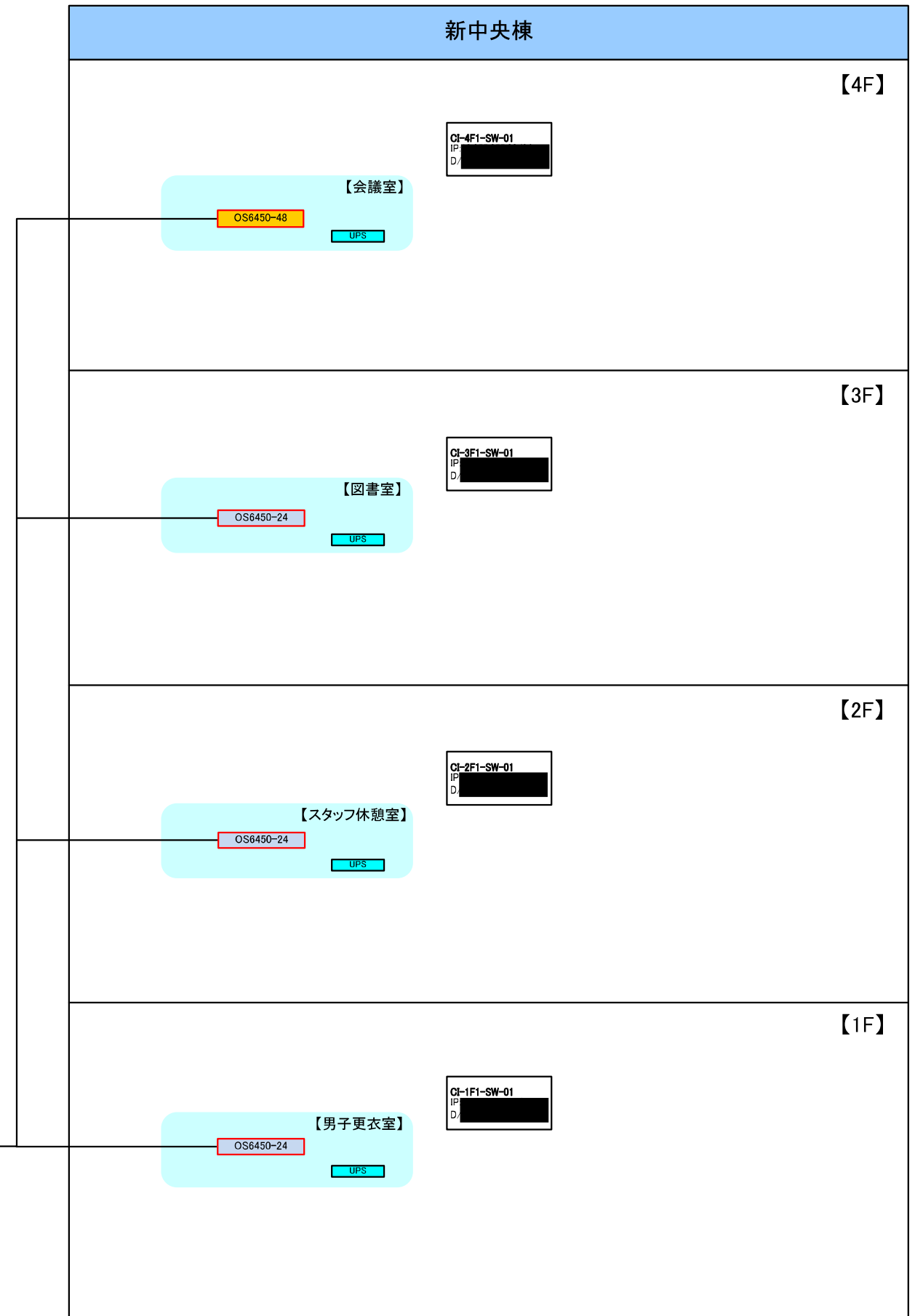
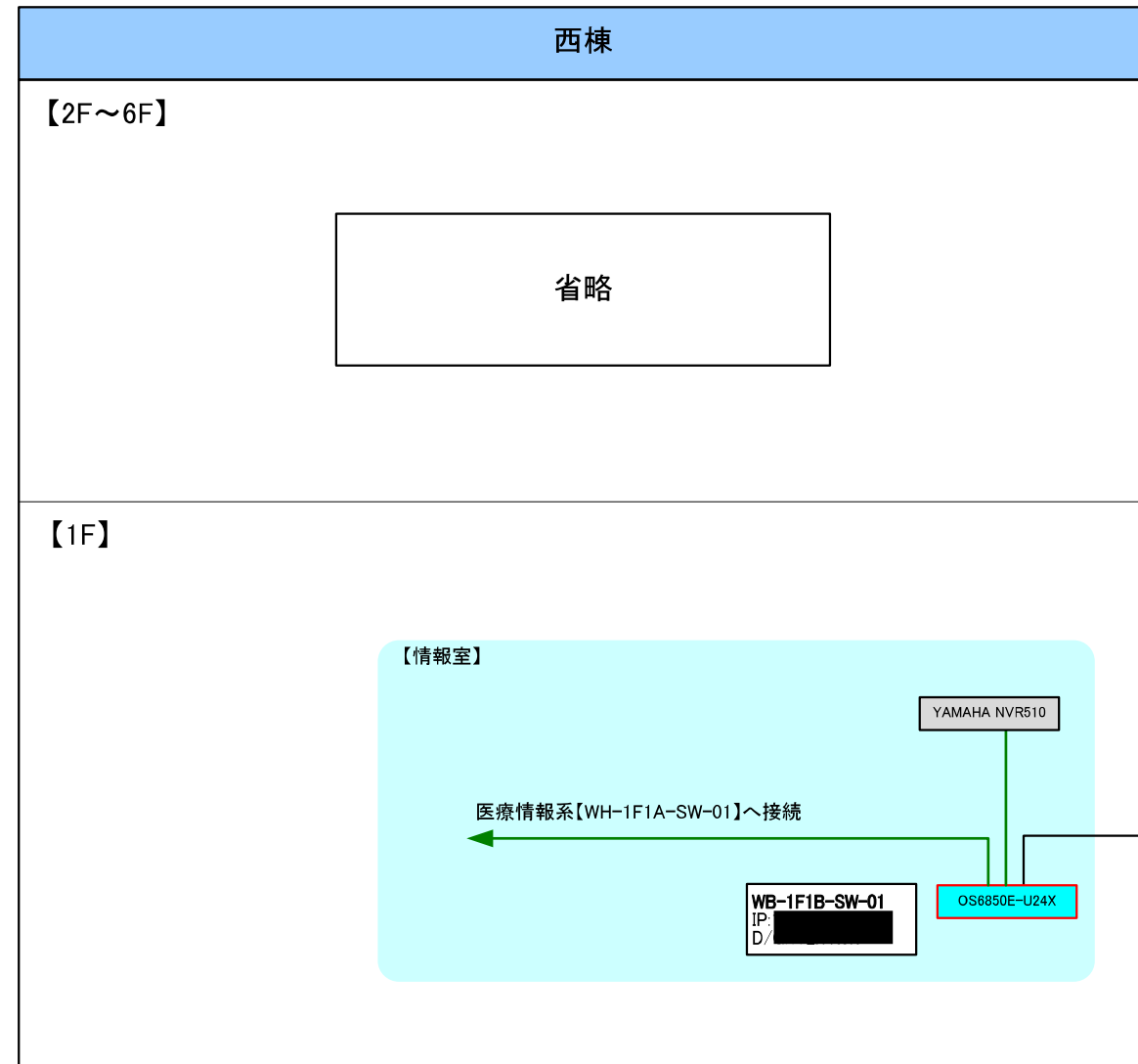
OS6450-24 OS6450-24-JP 24ports 1000T L2 SW

OS640-24 OS6450-24-JP 24ports 1000T L2 SW

UPS 無停電電源装置

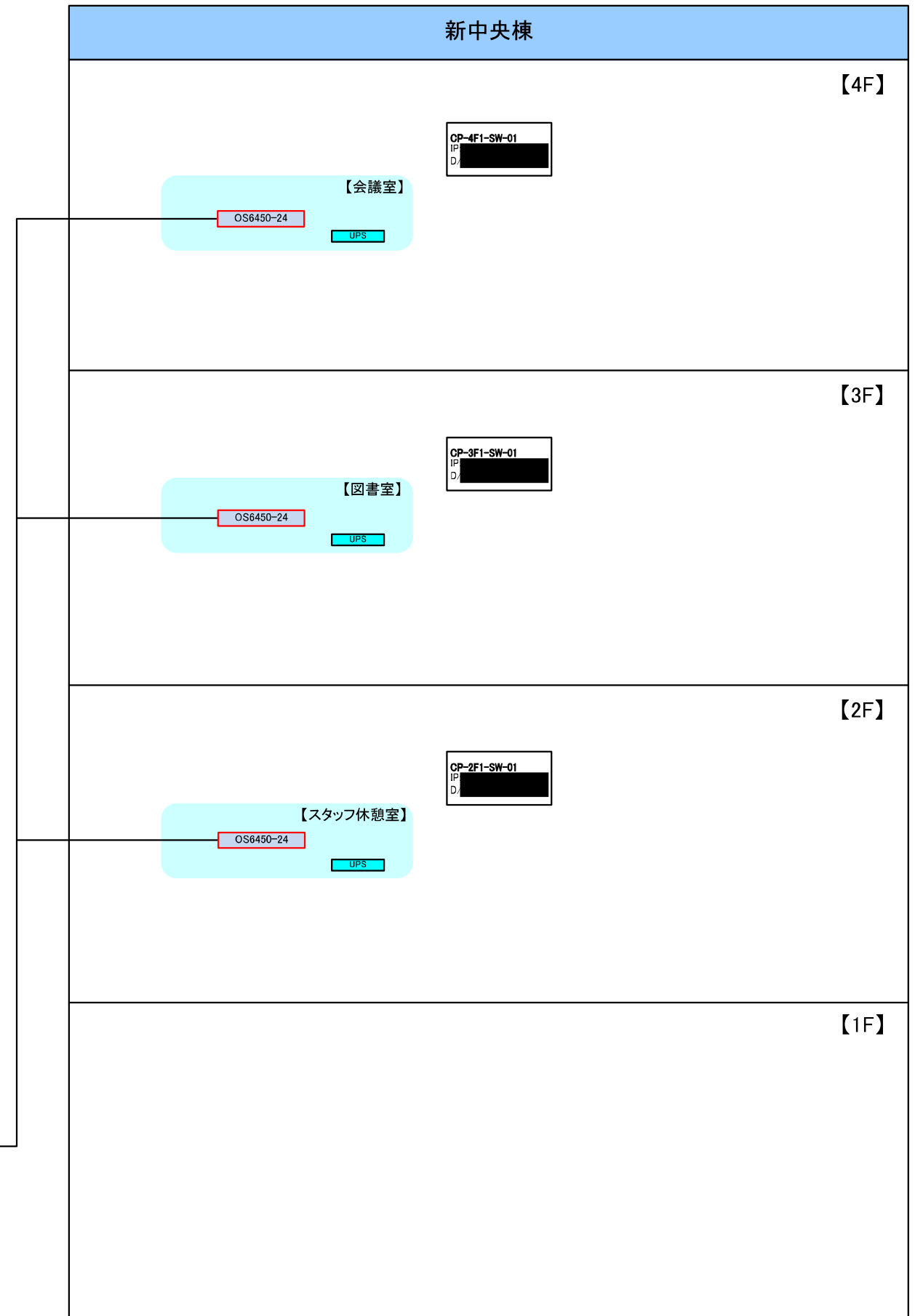
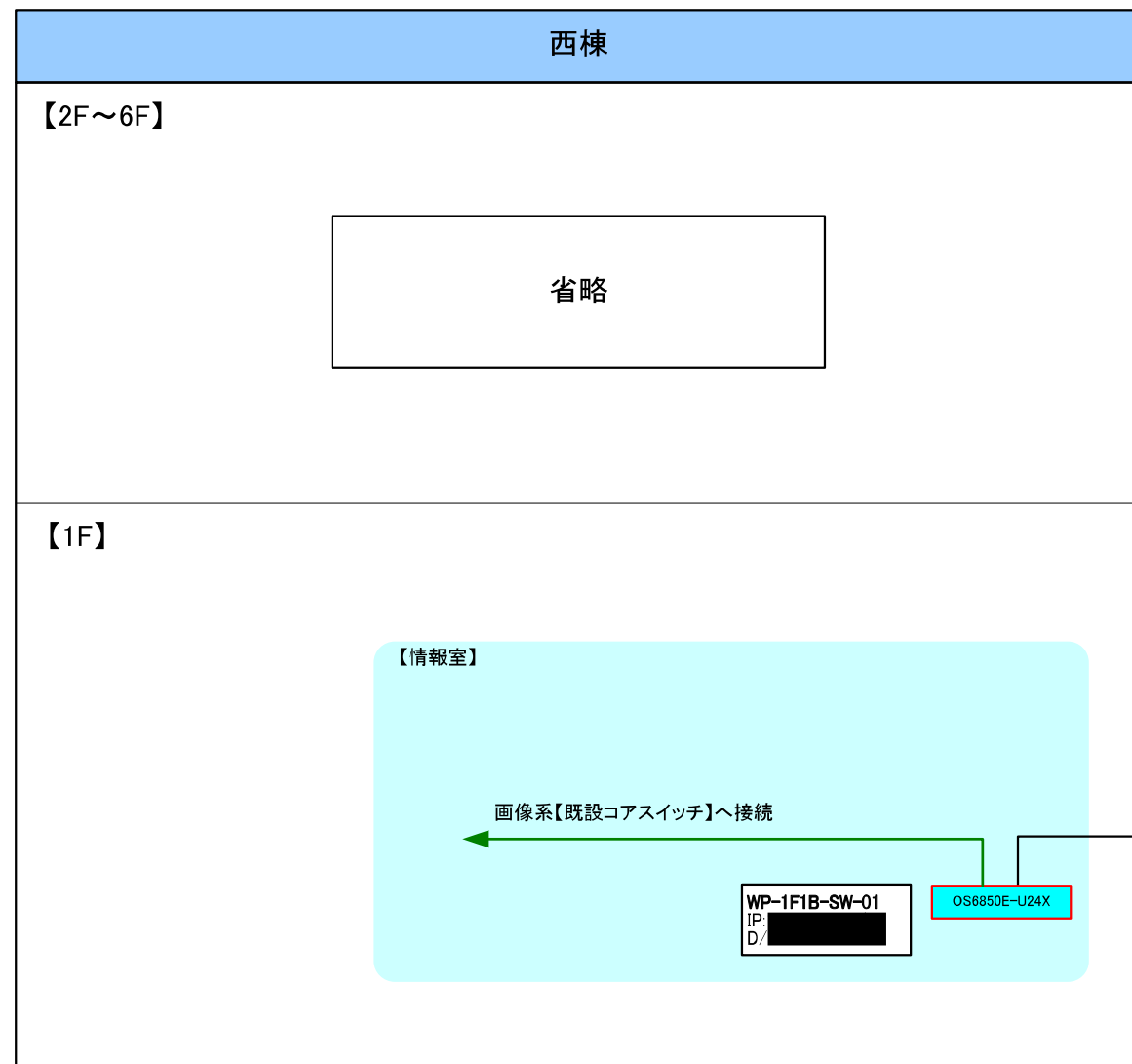
1000BASE-SX

1000BASE-T



凡例

- OS6850E-U24X OS6850E-U24X 22port SFP +2port SFP/1000Tコネクタ
- OS6450-24 OS6450-24-JP 24ports 1000T L2 SW
- UPS 無停電電源装置
- 1000BASE-SX
- 1000BASE-T



1 1 見積範囲

1.1 見積範囲

医療情報システムの更新範囲を見積範囲とする。本仕様書を熟読し、提案すること。

ま

た、提案内容にかかる条件として、流用するシステムについては基幹システムと接続することとし、他のシステムについては、基幹システムとの最適な連携を考慮して提案すること。

「見積範囲」

1. ハードウェア
2. アプリケーションソフト
3. 基本ソフト、ミドルウェア、ソフトライセンス（ウィルスソフト含む）
4. 流用するシステム・機器との接続費用
5. ネットワーク費用
6. 導入費用
7. 移行費用
データ移行（現行ベンダー費用含む）
8. 保守費用 7年間

※過去システムの入替えに関する物流費用や設置費用など、必要な費用は全て含むものとする。
(過去システムの廃棄は含まないが、院内の一次保管場所への撤去作業は作業分担を協議の上支援すること。)

なお、優先交渉権者決定後に当該者と佐久市国保浅間総合病院の間で機能の詳細や部門システムの採否等を協議し、最適なシステムの仕様を決定する。したがって、提案内容の全項目の導入を保証するものではない。